本資料のうち，枠囲みの内容は営業秘密
又は防護上の観点から公開できません。

敦賀発電所2号炉
敷地の地形，地質・地質構造について
参考資料1
連続性評価の具体的プロセス

平成３０年１１月３０日
日本原子力発電株式会社

余白

目　次（参考資料1　連続性評価の具体的プロセス）

1　検討範囲図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考1-5

2　原子炉建屋及びその周辺の重要施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考1-7

3　放水ピット逆流防止設備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考1-67

4　原子炉補機冷却海水取水路，貯留堰等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考1-83

5　防潮堤（防潮扉含む）及びその周辺の重要施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考1-439

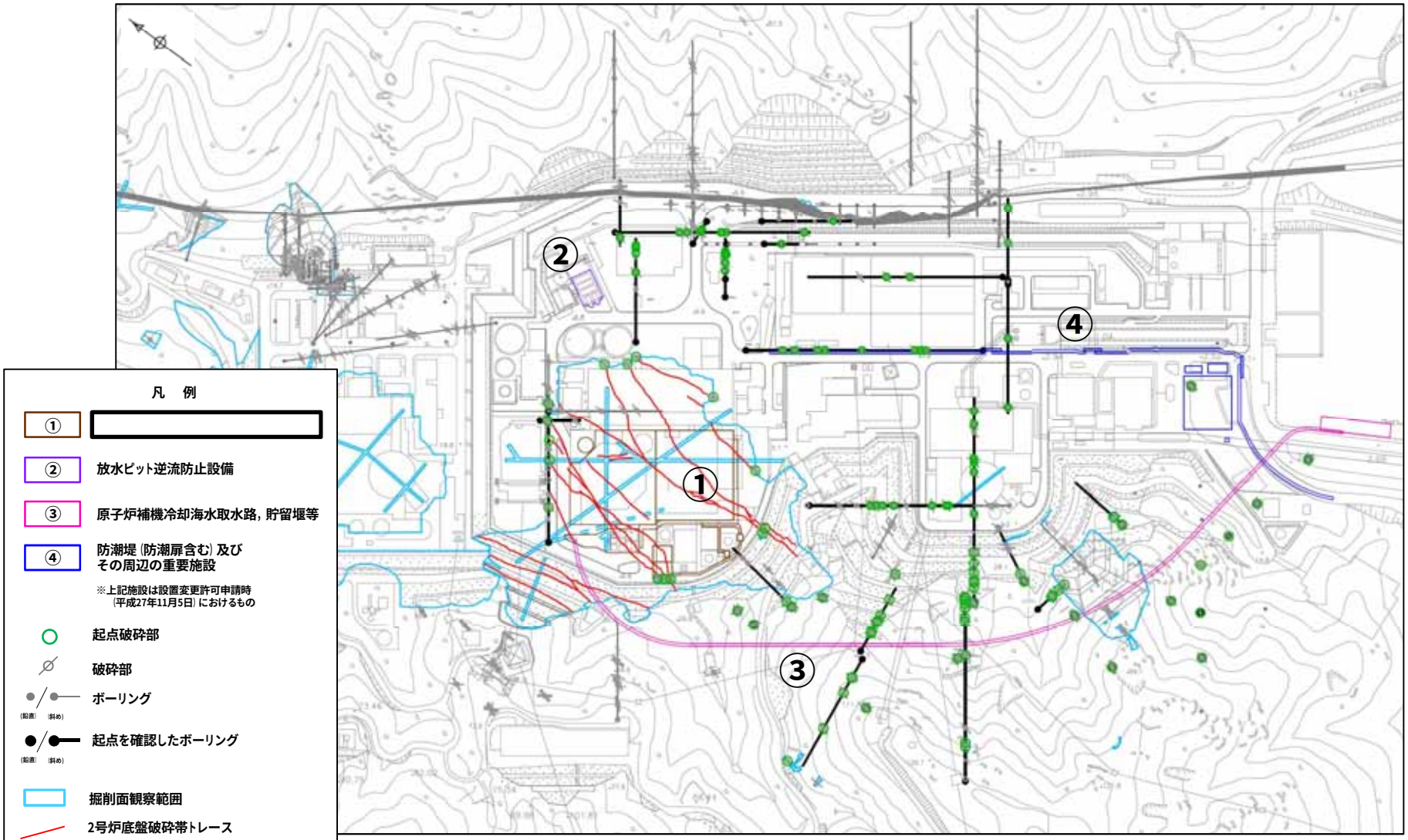
余白

1　検討範囲図

連続性評価の具体的提示方法

3条対象破砕帯又は重要施設の近傍に分布する破砕帯（連続性の乏しい破砕部※を含む）について，下記の重要施設毎に破砕帯との位置関係を示す。

※ 近傍のボーリングに連続しない，他の破砕帯を越えて連続しないと判断されること等から，連続性が乏しいと判断される破砕部。



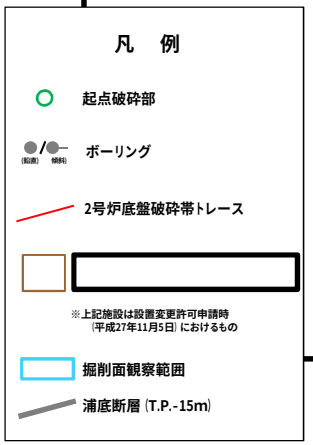
3条対象破砕帯又は重要施設の近傍に分布する起点破砕部

枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

2　原子炉建屋及びその周辺の重要施設

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋及びその周辺の重要施設）

・　原子炉建屋及びその周辺の重要施設を設置する地盤に破砕帯の露頭がある破砕帯等の連続性評価のプロセスを示す。



枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

0　100m

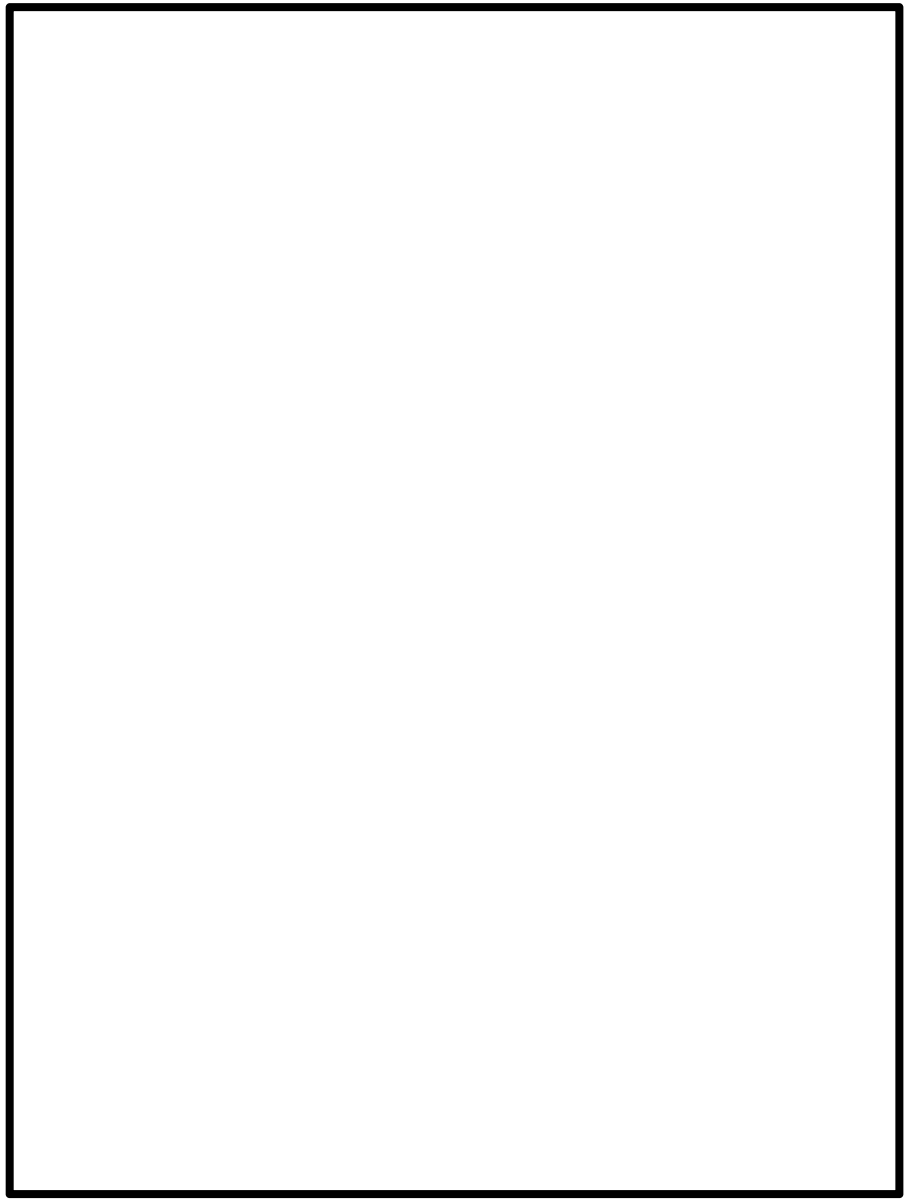
原子炉建屋及びその周辺の重要施設を設置する地盤に破砕帯の露頭がある破砕帯等

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋及びその周辺の重要施設：起点破砕部リスト）

No.	起点		破砕帯名	ページ
	名称	番号		
1	2号炉原子炉建屋南側斜面	①	D-1	参考1-11
2	H24-D1-2	①	D-1	参考1-15
3	2号炉原子炉建屋南側斜面	②	H-7	参考1-19
4	2号炉底盤北端，H-7破砕帯	-	H-7	参考1-23
5	2号炉底盤北端，H-3c破砕帯	-	H-3c	参考1-27
6	2号炉原子炉建屋南側道路	①	H-3a	参考1-31
7	2号炉底盤北端，H-6c破砕帯	-	H-6c	参考1-35
8	2号炉底盤南端，D-2破砕帯	-	D-2	参考1-39
9	H24-D1-5	②	H-3d	参考1-43
10	2号炉底盤南端，D-3破砕帯	-	D-3	参考1-47
11	2号炉底盤北端，D-3破砕帯	-	D-3	参考1-55
12	2号炉底盤北端，H-3e破砕帯	-	H-3e	参考1-59
13	H27-B-3	④	H-2	参考1-63

余白

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側斜面，①）



枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

平面位置図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

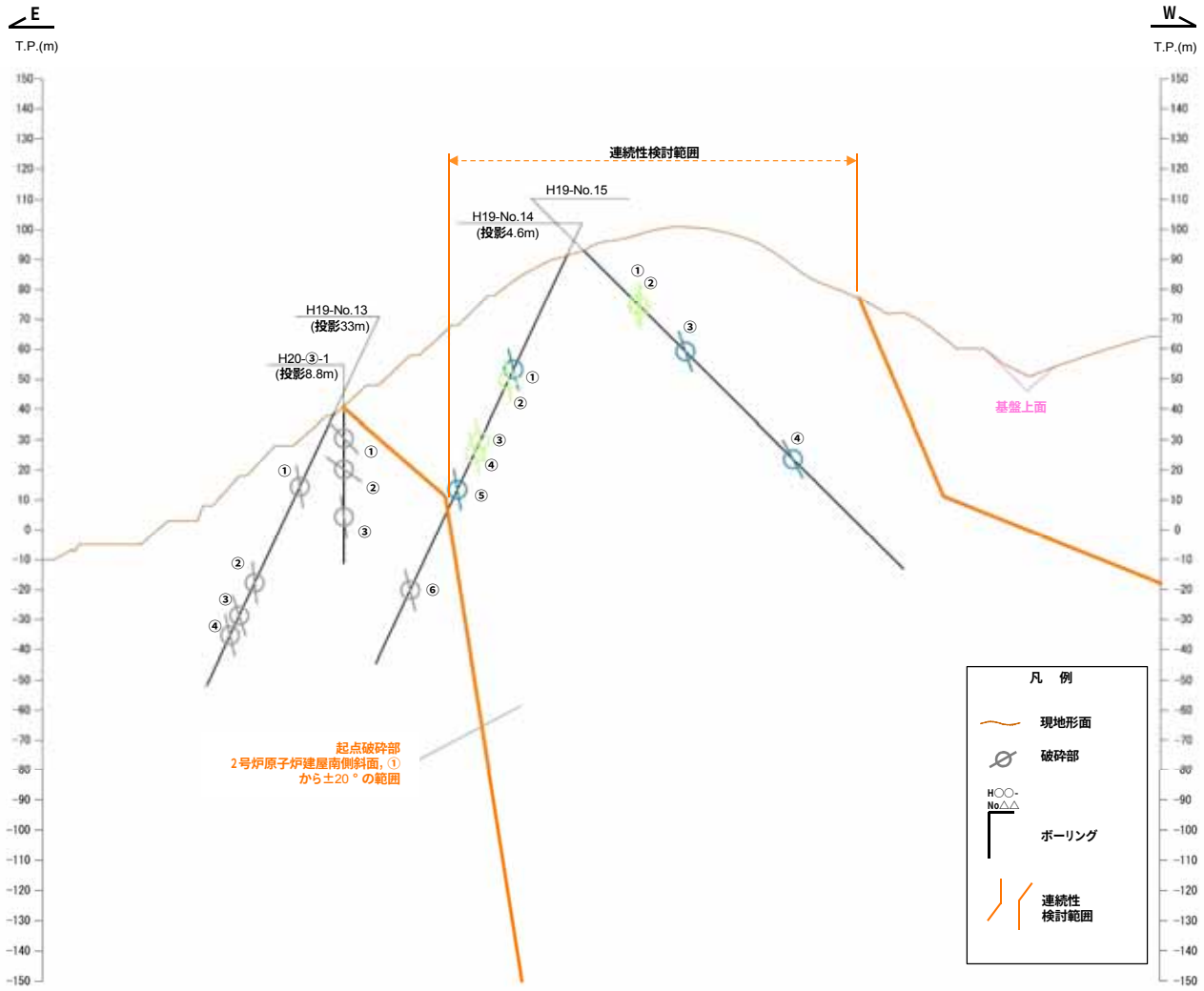
- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

- 2号炉底盤破砕帯トレース

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側斜面，①）



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側斜面，①）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側斜面	-	-	①	(T.P.11 2m)		N21E		61W		有	有	68L	N		D-1		
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27 00	N5E	16	81W	20	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62 37	NS	21	84W	23	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74 59	N10E	11	73W	12	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82 37	N15E	6	78W	17	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40 56	40 57	N11E	10	77W	16	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45 63	45 70	N18E	3	83W	22	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	32	78W	17	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72 70	N32W	53	77W	16	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87 03	N20E	1	81W	20	有	有	-	N,RL	○	D-1	参考2-37	
		範囲外	⑥	123 32	123.34	N32E	11	79W	18	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24 58	24 67	N7W	28	88E	31	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25 83	25.93	N6E	15	89E	30	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	1	74W	13	有	無	73L	-	×	f-④-3-1	参考2-143	※3
			④	97 82	97 85	N17E	4	64W	3	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	80	73S	12	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18 53	N59E	38	61N	58	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34 50	N1E	20	80W	19	有	無	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

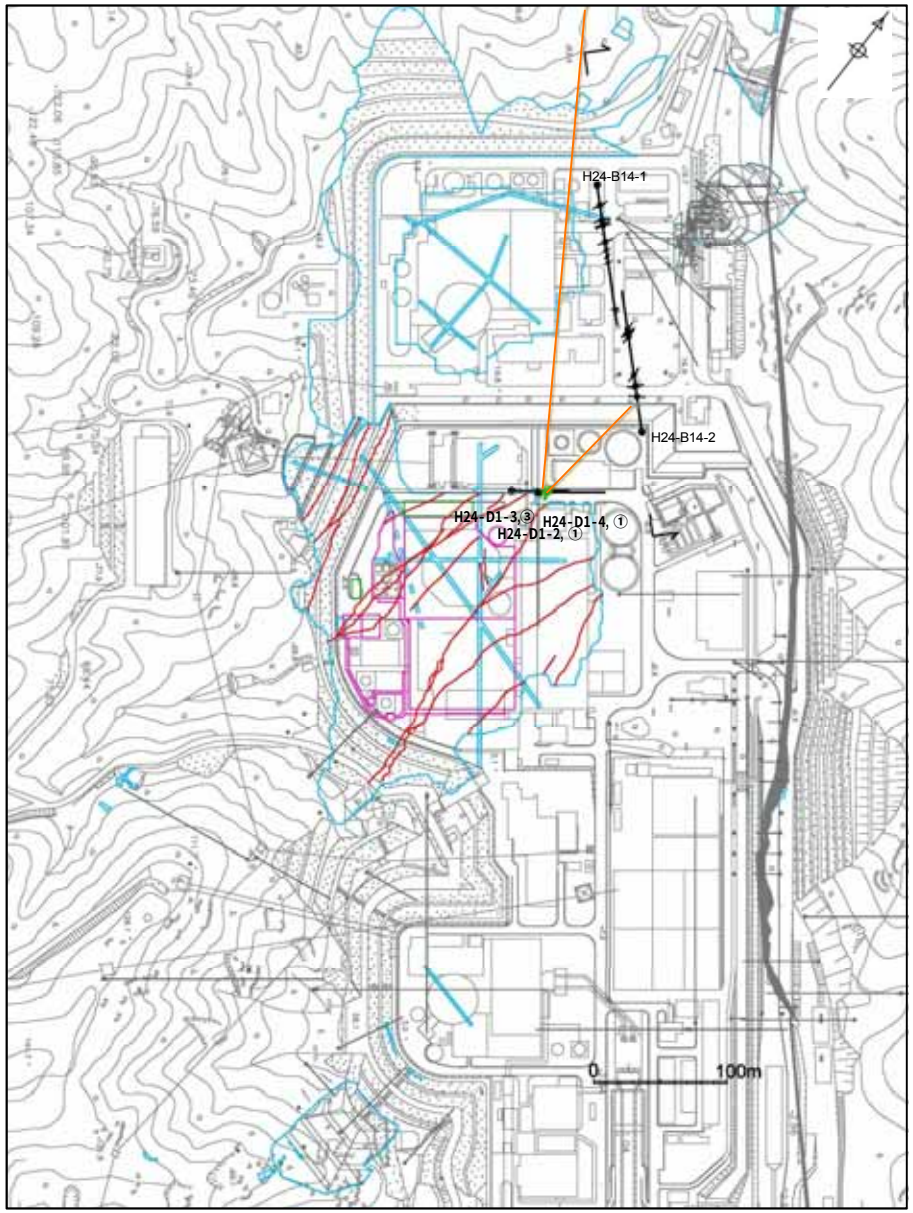
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破砕部：H24-D1-2, ①)



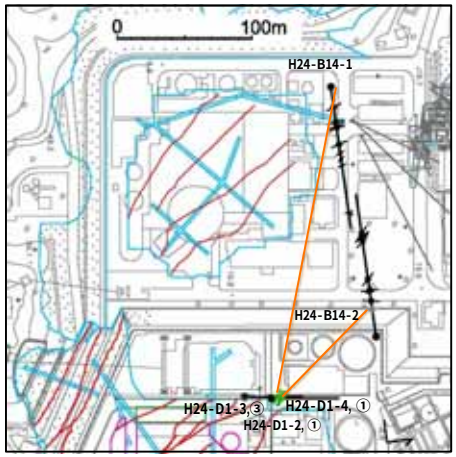
拡大範囲図 (破砕帯及び破砕部分布)

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層 (T.P.-15m)
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
- ※上記施設は設置変更許可申請時 (平成27年11月5日) におけるもの
- 2号炉底盤 破砕帯トレース

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破砕部：H24-D1-2, ①)



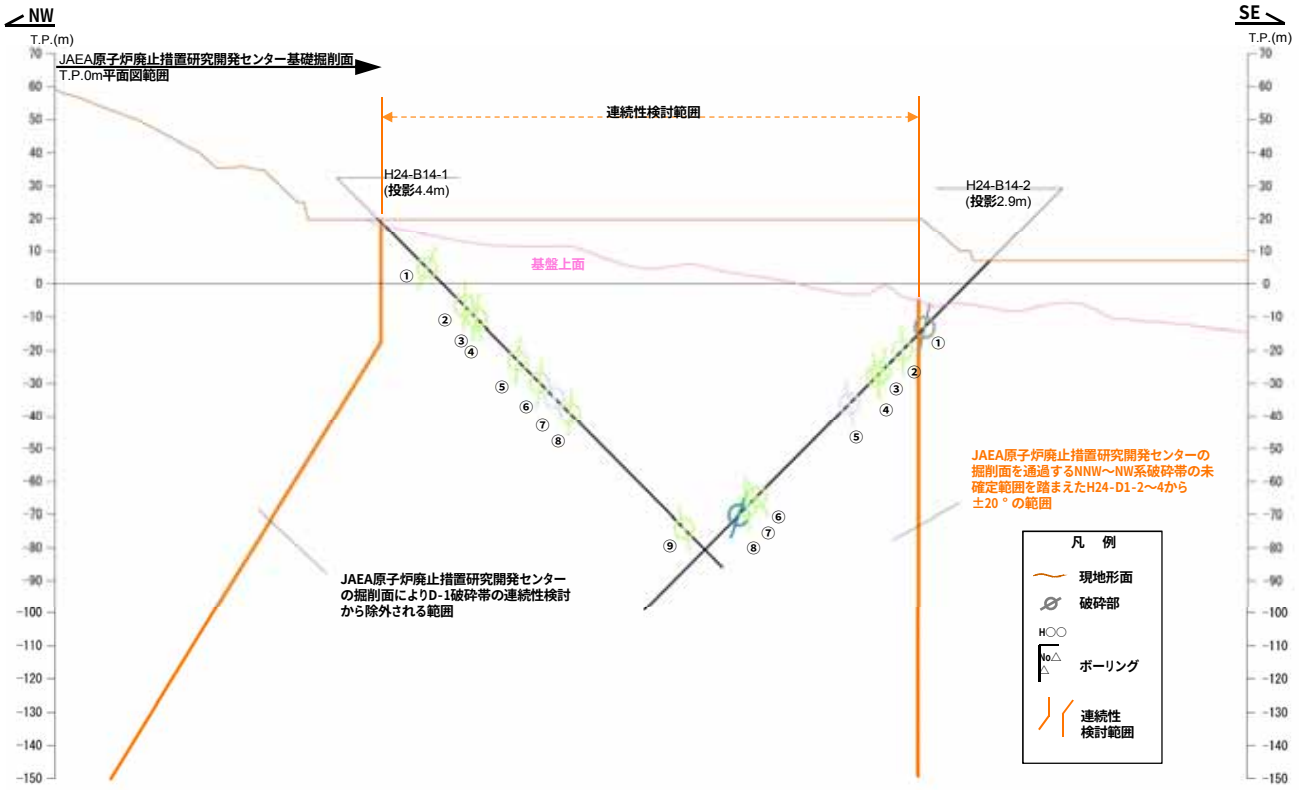
拡大範囲図 (破砕帯及び破砕部分布)

拡大範囲図凡例

- 起点破砕部
- 検討断面位置
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 掘削面観察範囲
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 2号炉底盤及びJAEA掘削面の破砕帯トレース
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時 (平成27年11月5日) におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破砕部：H24-D1-2, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス (N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ)	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-D1-2	-	-	①	12.38	12.97	N14W		70W		有	有	80R	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-3	-	-	③	34.23	34 52	N12W		89W		有	有	75L	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-4	-	-	①	10.91	10.93	N13W		78W		有	有	80L	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-2~D1-4	-	-	-	-	-	N12W~14W		70W~89W									
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面	該当破砕帯なし															
	H24-B14-1	範囲内	①	21.63	22.57	N25E	37-39	67W	3-22	無	-	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	49-51	88NW	1-18	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	34-36	81W	3-11	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	55-57	77SE	14-33	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	40-42	84W	5-14	無	-	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	31-33	85W	4-15	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	19-21	74E	17-36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	37-39	85W	4-15	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑨	133 38	134.77	N38E	50-52	74SE	17-36	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2	範囲外	①	28.50	28 66	N35E	47-49	77NW	1-12	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
		範囲内	②	38.10	38.27	N58E	70-72	88S	3-22	有	無	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	50-52	85NW	4-15	有	無	40R	RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	56-58	80E	11-30	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	13-15	83E	8-27	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
			⑥	101.47	101.52	N3E	15-17	65E	26-45	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105 54	105.61	N16E	28-30	84E	7-26	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	12-13	76W	2-13	有	有	-	N,RL	○	D-1	参考2-34	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

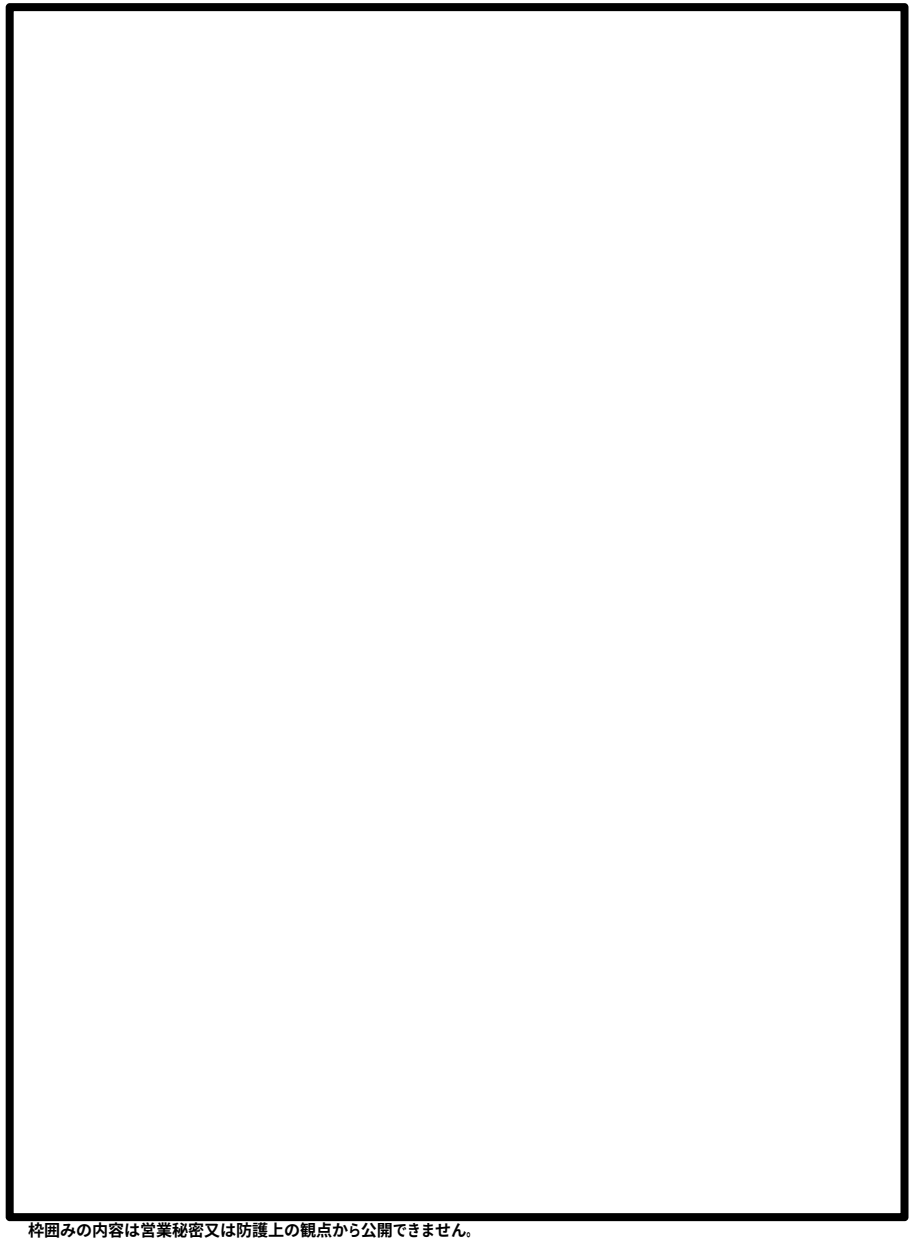
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側斜面, ②)



枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

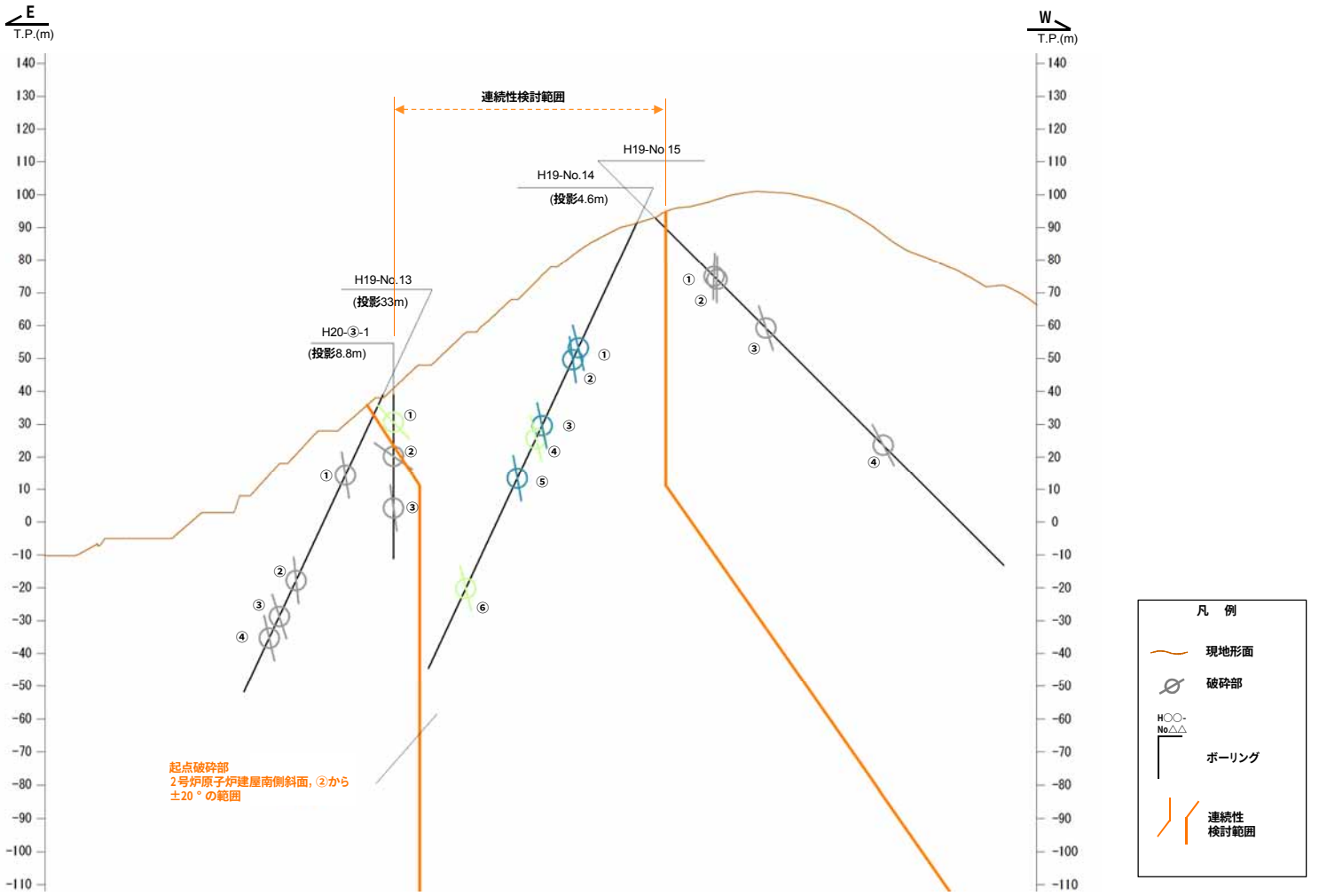
拡大範囲図 (破砕帯及び破砕部分布)

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
- ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの
- 2号炉底盤破砕帯トレース

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側斜面，②)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側斜面，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側斜面	-	-	②	(T.P.11.2m)		N5E		77W		有	有	6L	LL		H-7	参考2-174	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27 00	N5E	0	81W	4	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62 37	NS	5	84W	7	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74 59	N10E	5	73W	4	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82 37	N15E	10	78W	1	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40 57	N11E	6	77W	0	有	無	5L	-	×	f-14-1	参考2-131	※3
			②	45.63	45.70	N18E	13	83W	6	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	16	78W	1	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	37	77W	0	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87 03	N20E	15	81W	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123 32	123 34	N32E	27	79W	2	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24 67	N7W	12	88E	15	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	1	89E	14	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	15	74W	3	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97 85	N17E	12	64W	13	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	84	73S	4	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
		範囲外	②	18.46	18 53	N59E	54	61N	42	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34 50	N1E	4	80W	3	有	無	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

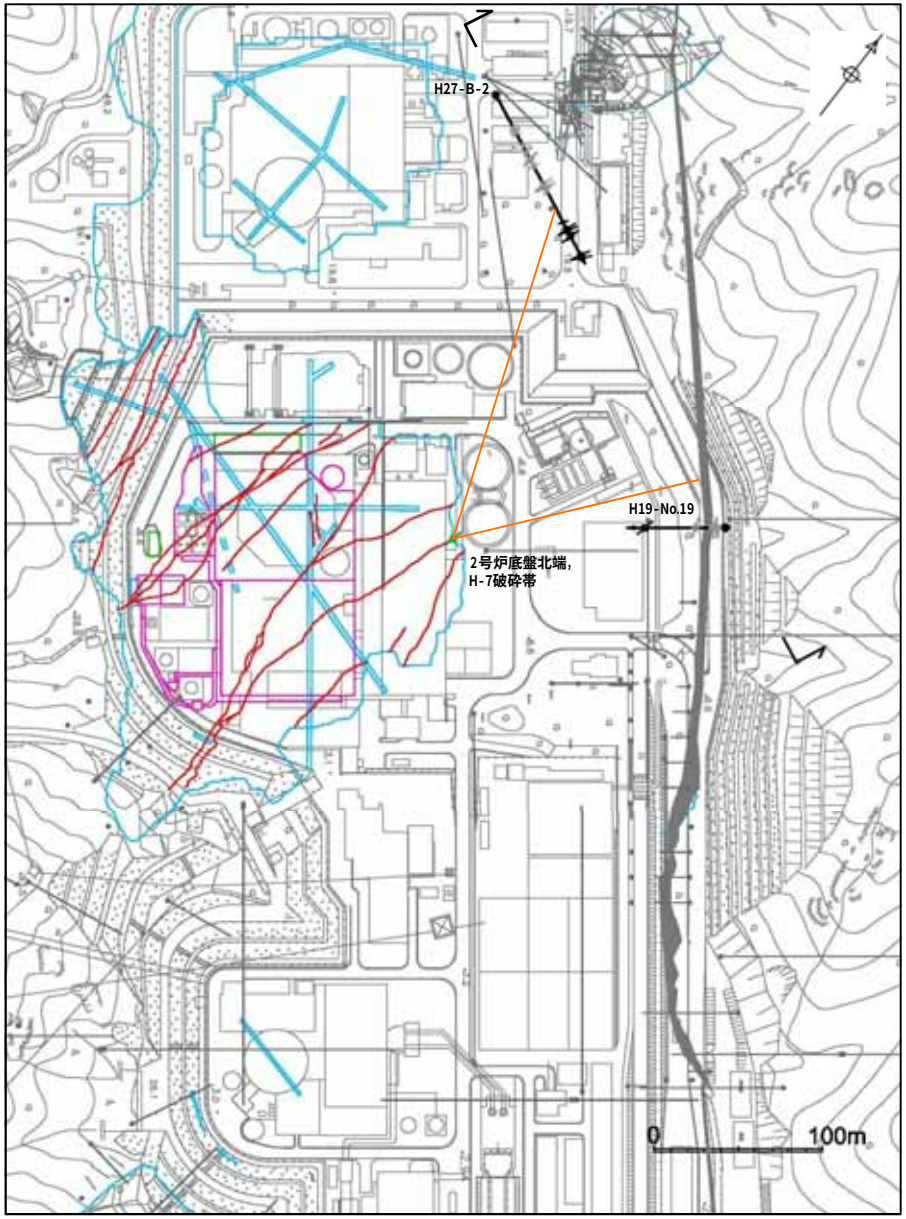
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－7破砕帯）



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

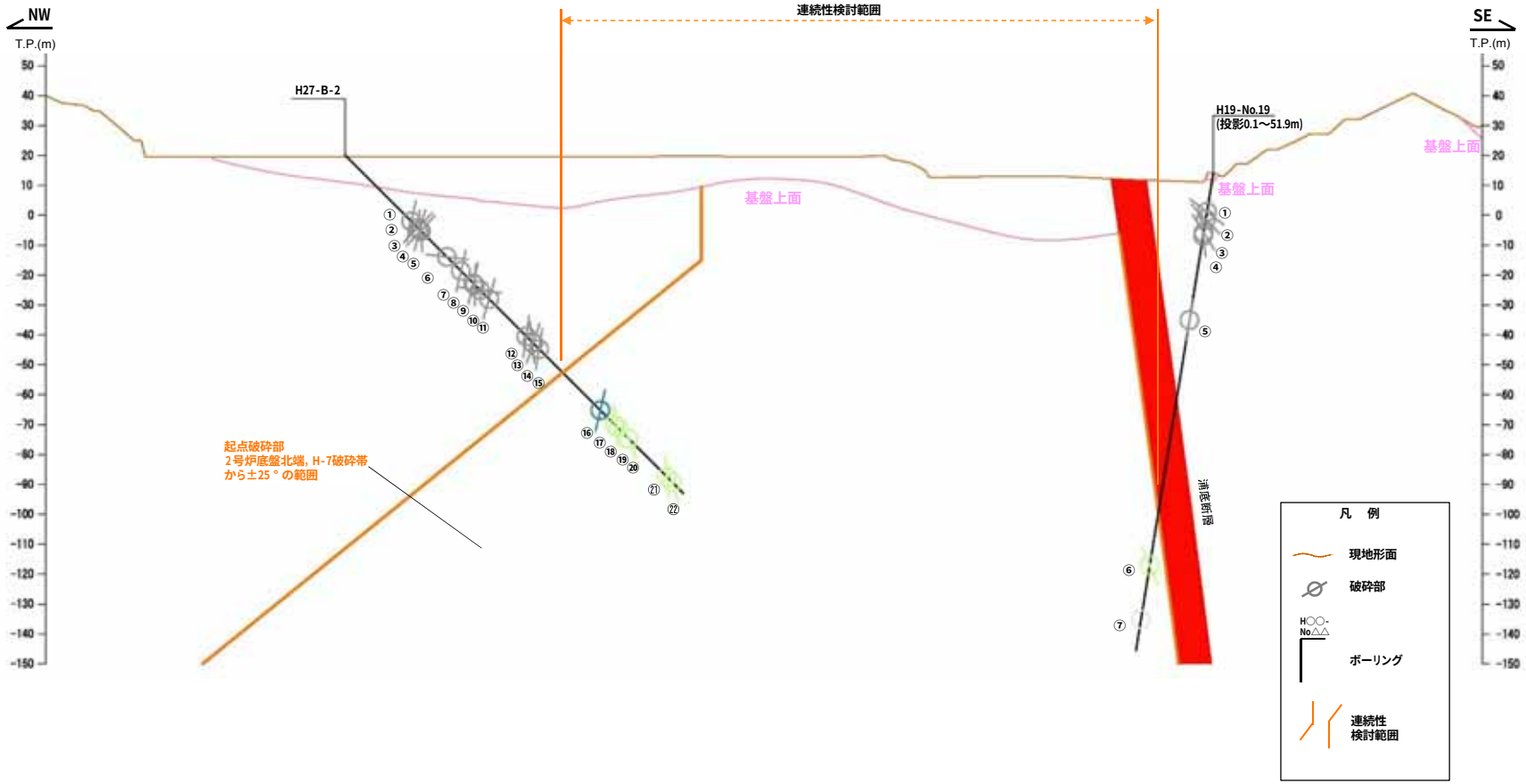
- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

- 2号炉底盤破砕帯トレース

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－7破砕帯）



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－7破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	(T.P.-15m)		N15E		70W		-	-	-	-		H-7		
-	H27-B-2	範囲外	①	31.15	31.66	N7E	8	78W	8	有	無	80L	N		非モデル化	2-194	
			②	34.37	34.48	N18E	3	46W	24	有	無	0	LL		非モデル化	2-194	
			③	35.36	35.46	N69E	54	79N	31	有	無	10R	RL		非モデル化	2-194	
			④	35.68	35.73	N7W	22	52W	18	有	無	70R	N		非モデル化	2-194	
			⑤	35.92	35.95	N4E	11	86E	24	無	-	50L	R,LL		非モデル化	2-194	
			⑥	48.08	48.12	N38W	53	15NE	95	有	無	0	RL		非モデル化	2-194	
			⑦	54.72	54.77	N8W	23	79W	9	有	無	0	LL		非モデル化	2-194	
			⑧	60.26	60.69	N18E	3	77W	7	無	-	60R	R		非モデル化	2-194	
			⑨	61.29	61.69	N8E	7	89W	19	有	有	90	N		D-1	参考2-34	
			⑩	63.75	63.85	N47W	62	24E	86	無	-	90	-		非モデル化	2-194	
			⑪	68.02	68.06	N23E	8	74W	4	有	無	90	N		非モデル化	2-195	
			⑫	85.58	85.76	N15E	0	82W	12	有	無	60L	N		非モデル化	2-195	
			⑬	88.38	88.43	N26E	11	84E	26	有	無	30L	N,RL		D-41	参考2-117	
			⑭	88.88	88.94	N35E	20	72W	2	有	有	25L	N,RL		f-b-2-14	参考2-178	
			⑮	91.69	91.76	N5W	20	82W	12	有	無	30R	RL		非モデル化	2-195	
		範囲内	⑯	120.63	120 65	N34E	19	77NW	7	有	無	30L	LL	×	非モデル化	2-195	※3
			⑰	127.41	127.48	N18E	3	82E	28	無	-	20L	RL		D-42	参考2-118	
			⑱	128.82	128.97	N28E	13	81E	29	有	無	20R	RL		D-44	参考2-119	
			⑲	133.75	133.92	N1E	14	72E	38	有	無	-	-		非モデル化	2-195	
			⑳	134.15	134 23	N16E	1	67E	43	有	有	85L	N		f-b-2-20	参考2-178	
			㉑	152.10	152.15	N28E	13	84E	26	有	無	30L	N,RL		f-b-2-21	参考2-178	
			㉒	154.53	154 71	N42E	27	75E	35	有	有	75R	N		f-b-2-22	参考2-178	
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	57	63E	47	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	51	65E	45	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	49	72E	38	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	56	87NE	23	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
			⑤	55.49	55.56	N20W	35	82W	12	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
		範囲内	⑥	147.93	148.12	N13E	2	68E	42	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168 32	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑A坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

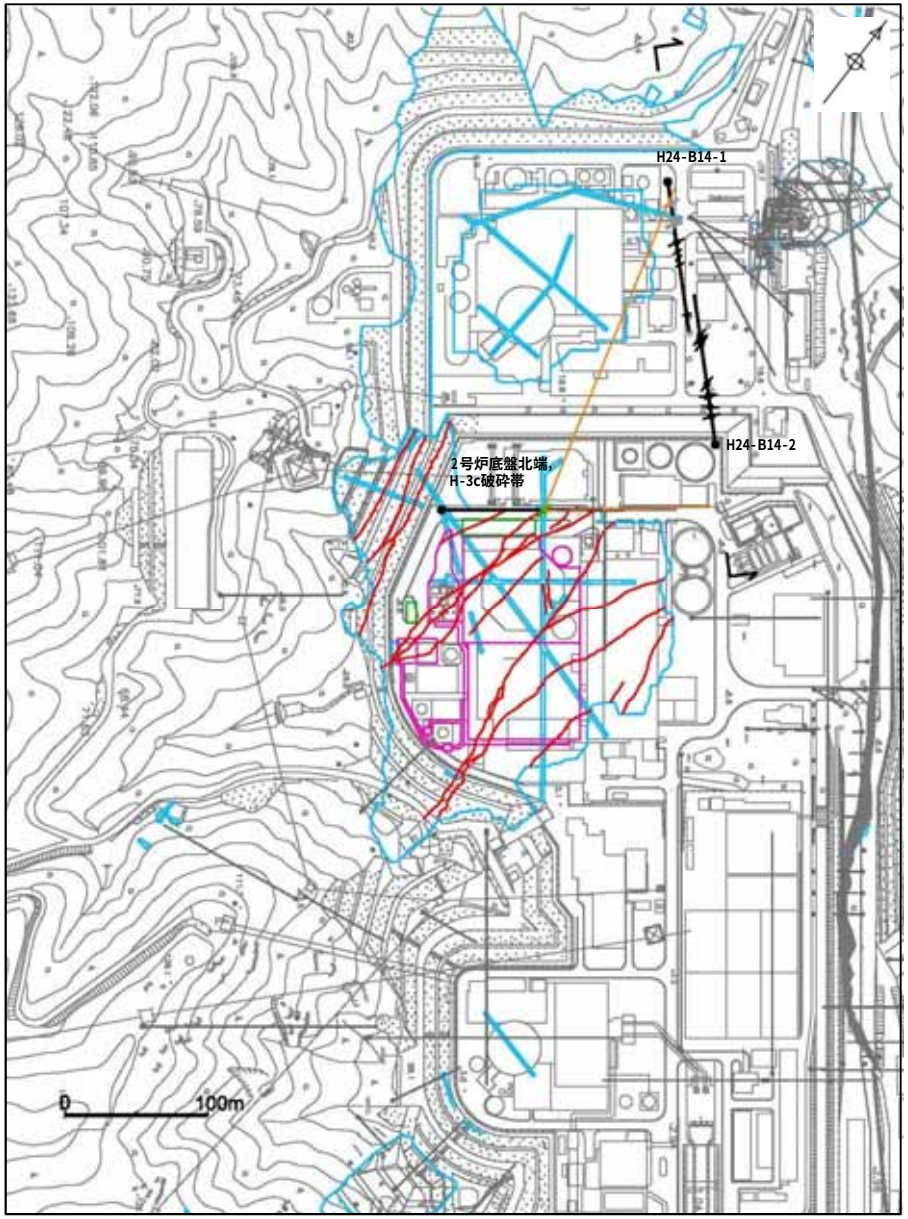
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－3c破砕帯）



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

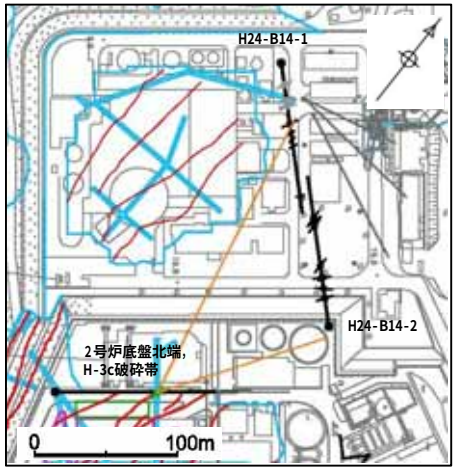
- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

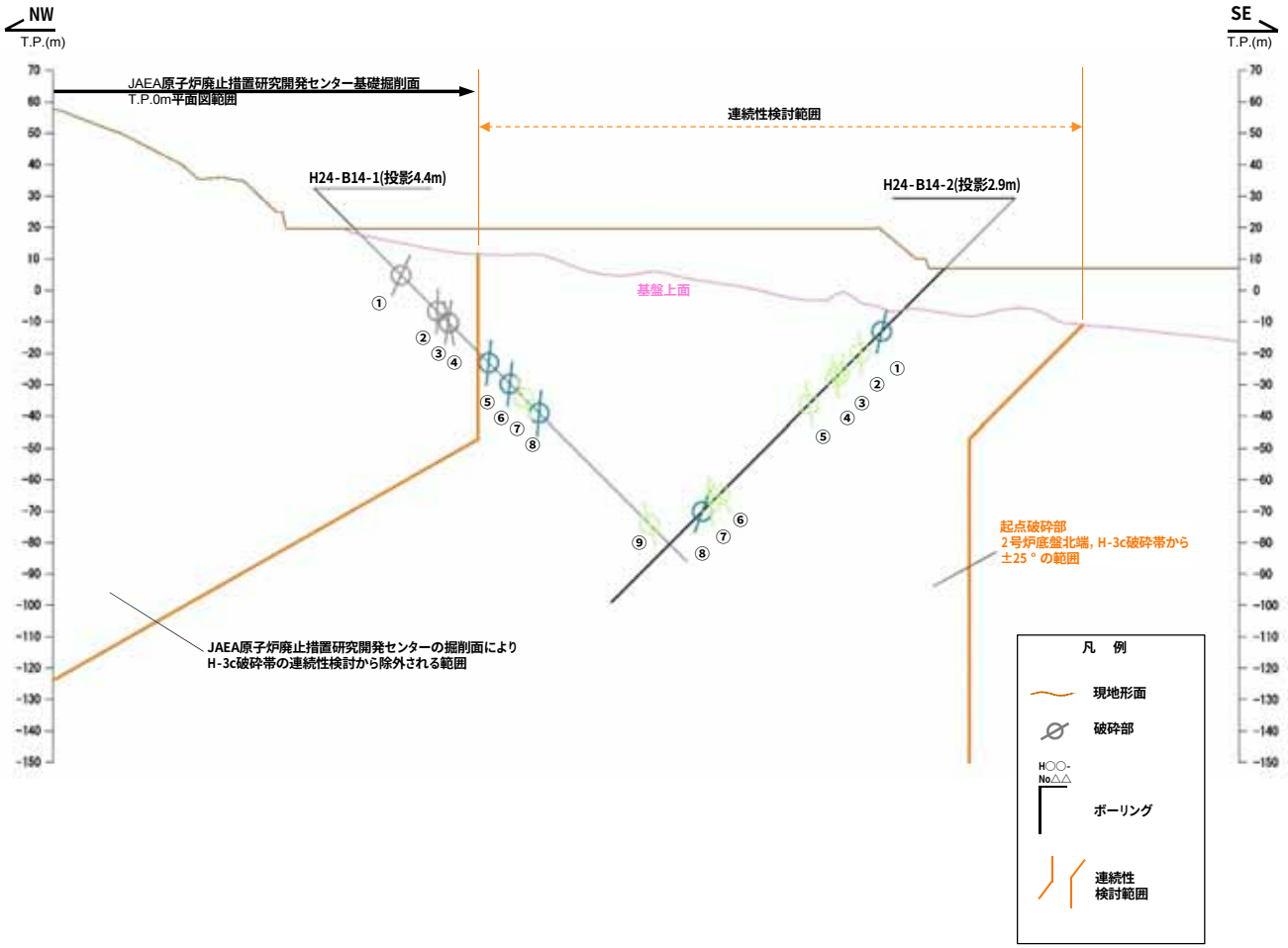
- 2号炉底盤破砕帯トレース

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－3c破砕帯）



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）



拡大範囲図凡例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 2号炉底盤及びJAEA掘削面の破砕帯トレース
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－3c破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	-	-	N10E		70W		-	-	-	-		H-3c		
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22 57	N25E	15	67W	3	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	27	88NW	18	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42 88	N22E	12	81W	11	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43 62	N43E	33	77SE	33	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
		範囲内	⑤	61.09	61 22	N28E	18	84W	14	有	無	18L	-	×	M	参考2-175	※4
			⑥	70.54	71.41	N19E	9	85W	15	無	-	40R	N,LL	×	非モデル化	参考2-192	※3
			⑦	76.94	77 03	N7E	3	74E	36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	15	85W	15	無	-	60R	N,LL	×	非モデル化	参考2-192	※3
			⑨	133.38	134.77	N38E	28	74SE	36	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2		①	28.50	28 66	N35E	25	77NW	7	有	有	50R	N,LL	×	f-b14-2-1	参考2-159	※1
			②	38.10	38 27	N58E	48	88S	22	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	28	85NW	15	有	無	40R	RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49 55	N44E	34	80E	30	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	9	83E	27	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
			⑥	101.47	101.52	N3E	7	65E	45	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	6	84E	26	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	11	76W	6	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-34	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑B坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

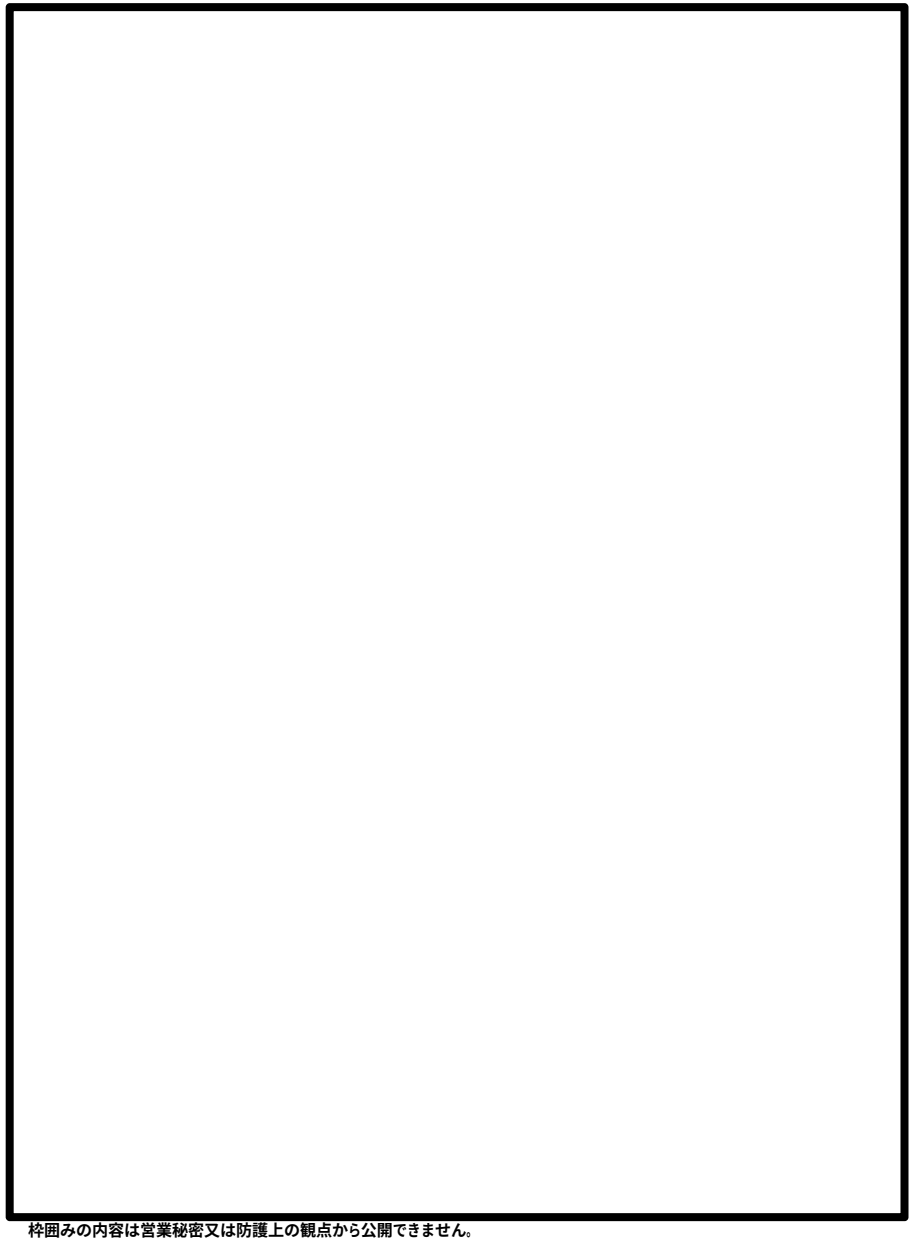
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，①）



枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

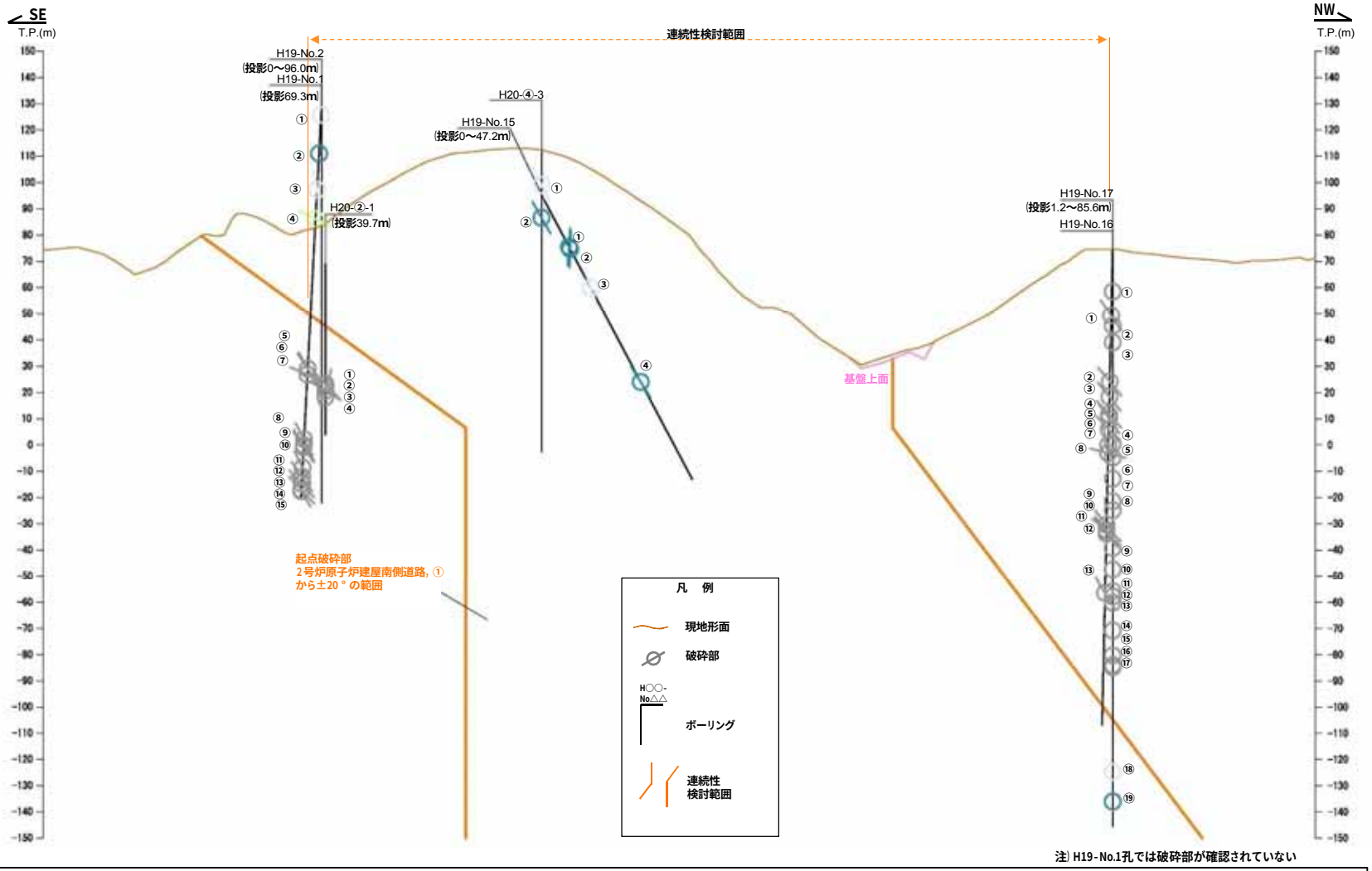
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
- ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの
- 2号炉底盤破砕帯トレース

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，①）



注）H19-No.1孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，①）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側道路	-	-	①	(T.P.6.5m)		N11E		75W		有	有	12L	RL		H-3a	参考2-78	
-	H19-No.16	範囲外	①	16.01	17.82	-	-	(60)	15	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	12	無	-	-	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	15	無	-	-	-		f-17-2	参考2-132	
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	34	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	20	有	無	-	-		D-12	参考2-91	
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	31	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	15	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	5	無	-	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	1	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	31	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	18	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	26	有	有	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	15	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	6	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	15	無	-	-	-		D-16	参考2-93	
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	7	無	-	-	-		D-17	参考2-98	
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	20	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
		範囲内	⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	11	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	9	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※2
	H19-No.17	範囲外	①	27.65	27.73	N34E	23	57W	18	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	24	51W	24	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
			③	55.45	55.46	N39E	28	52W	23	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	17	50W	25	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	1	62W	13	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	7	53W	22	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	3	77W	2	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	30	36W	39	無	-	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	19	67W	8	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	22	57W	18	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118.25	N11E	0	59W	16	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119.29	N14E	3	57W	18	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	1	65W	10	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	18	88E	17	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	5	89E	16	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	9	74W	1	無	-	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	6	64W	11	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※2
			③	39.83	39.88	N25E	14	82W	7	無	-	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	29	26W	49	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
		範囲外	⑤	61.25	61.30	N7E	4	68W	7	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	4	64W	11	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	42	70W	5	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N2W	13	72W	3	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N15E	4	61W	14	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	9	66W	9	無	-	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	21	64W	11	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	11	66W	9	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	17	63W	12	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	20	64W	11	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	15	61W	14	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	14	60W	15	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	52	71S	4	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	63	71SW	4	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	10	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-37	
	H20-④-3	範囲内	①	13.41	13.45	N5W	16	76W	1	無	-	70R	-		f-15-3	参考2-132	
			②	25.81	25.85	N23E	12	64W	11	有	無	50L	N,RL	×	f-④-3-1	参考2-143	※2

（　）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

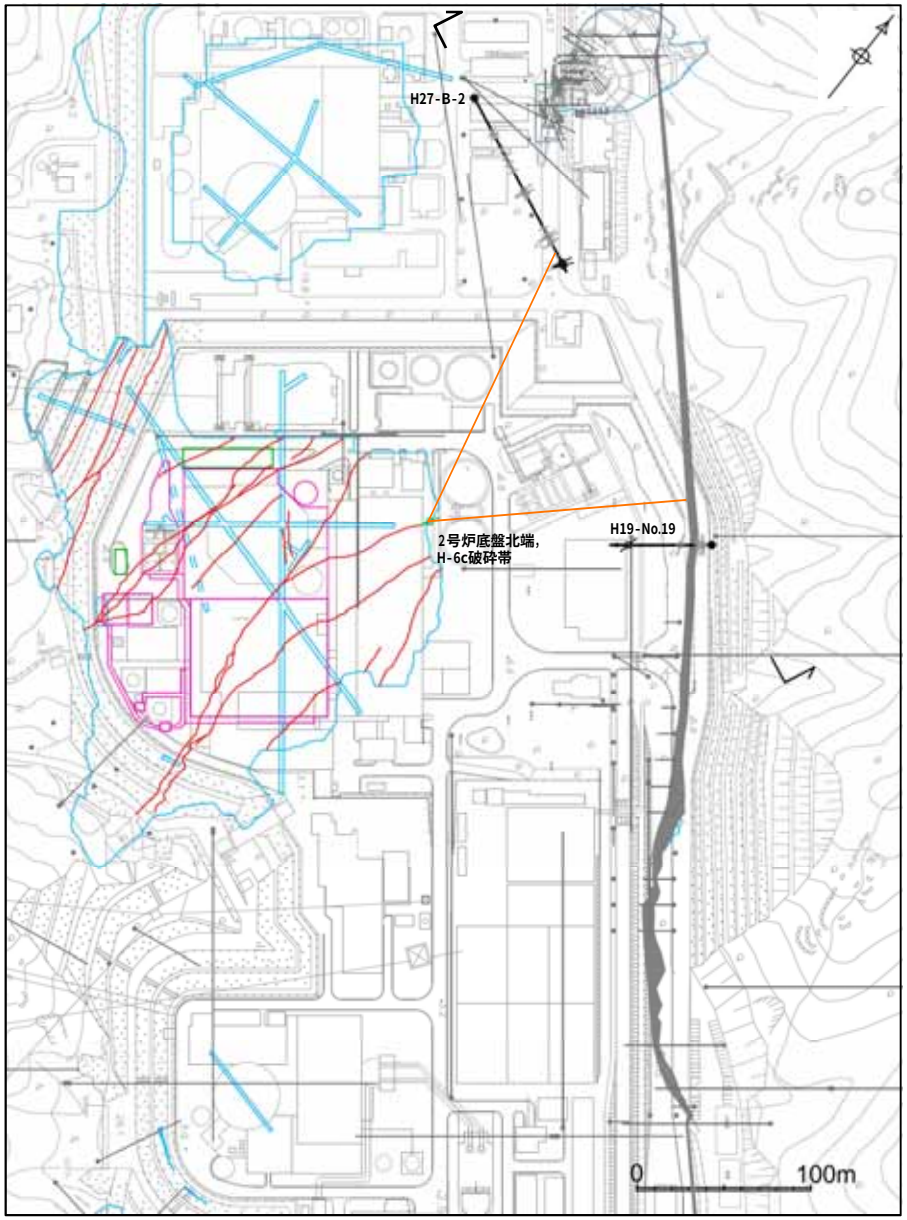
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状　断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－6c破砕帯）



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

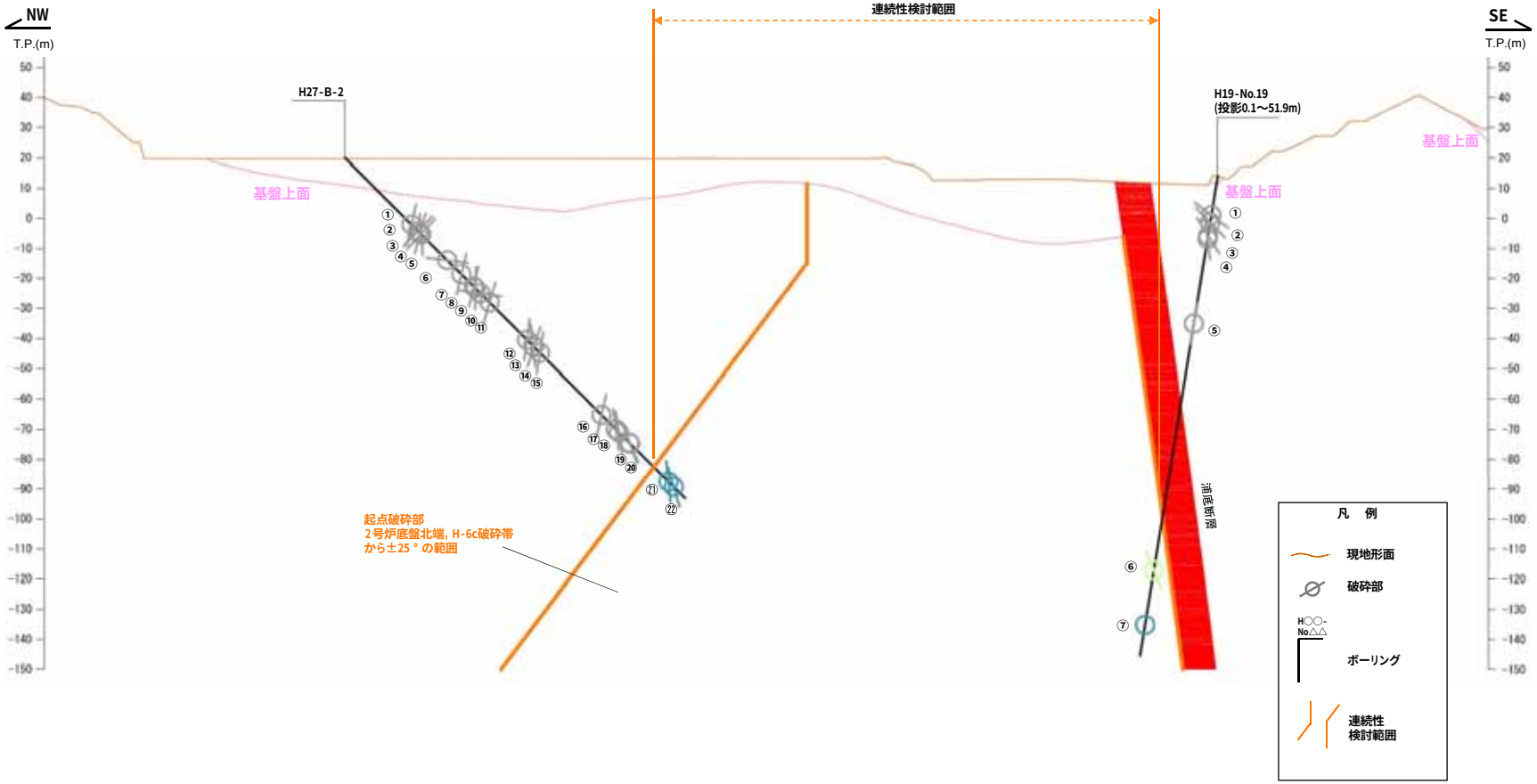
- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

- 2号炉底盤破砕帯トレース

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－6c破砕帯）



破砕部着色凡例

- a：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- b：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- b：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
- c：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- c：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- c：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- c：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，Ｈ－６ｃ破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	(T.P.-15m)		N30E		80W		-	-	-	-		H-6c		
-	H27-B-2	範囲外	①	31.15	31.66	N7E	23	78W	2	有	無	80L	N		非モデル化	参考2-194	
			②	34.37	34.48	N18E	12	46W	34	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-194	
			③	35.36	35.46	N69E	39	79N	21	有	無	10R	RL		非モデル化	参考2-194	
			④	35.68	35.73	N7W	37	52W	28	有	無	70R	N		非モデル化	参考2-194	
			⑤	35.92	35.95	N4E	26	86E	14	無	-	50L	R,LL		非モデル化	参考2-194	
			⑥	48.08	48.12	N38W	68	15NE	85	有	無	0	RL		非モデル化	参考2-194	
			⑦	54.72	54.77	N8W	38	79W	1	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-194	
			⑧	60.26	60.69	N18E	12	77W	3	無	-	60R	R		非モデル化	参考2-194	
			⑨	61.29	61.69	N8E	22	89W	9	有	有	90	N		D-1	参考2-34	
			⑩	63.75	63.85	N47W	77	24E	76	無	-	90	-		非モデル化	参考2-194	
			⑪	68.02	68.06	N23E	7	74W	6	有	無	90	N		非モデル化	参考2-195	
			⑫	85.58	85.76	N15E	15	82W	2	有	無	60L	N		非モデル化	参考2-195	
			⑬	88.38	88.43	N26E	4	84E	16	有	無	30L	N,RL		D-41	参考2-117	
			⑭	88.88	88.94	N35E	5	72W	8	有	有	25L	N,RL		f-b-2-14	参考2-178	
			⑮	91.69	91.76	N5W	35	82W	2	有	無	30R	RL		非モデル化	参考2-195	
			⑯	120 63	120.65	N34E	4	77NW	3	有	無	30L	LL		非モデル化	参考2-195	
			⑰	127.41	127.48	N18E	12	82E	18	無	-	20L	RL		D-42	参考2-118	
			⑱	128 82	128.97	N28E	2	81E	19	有	無	20R	RL		D-44	参考2-119	
			⑲	133 75	133.92	N1E	29	72E	28	有	無	-	-		非モデル化	参考2-195	
			⑳	134.15	134.23	N16E	14	67E	33	有	有	85L	N		f-b-2-20	参考2-178	
		範囲内	㉑	152.10	152.15	N28E	2	84E	16	有	無	30L	N,RL	×	f-b-2-21	参考2-178	※3
			㉒	154 53	154.71	N42E	12	75E	25	有	有	75R	N	×	f-b-2-22	参考2-178	※3
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	72	63E	37	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	66	65E	35	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	64	72E	28	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	71	87NE	13	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
			⑤	55.49	55.56	N20W	50	82W	2	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
		範囲内	⑥	147.93	148.12	N13E	17	68E	32	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑B坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

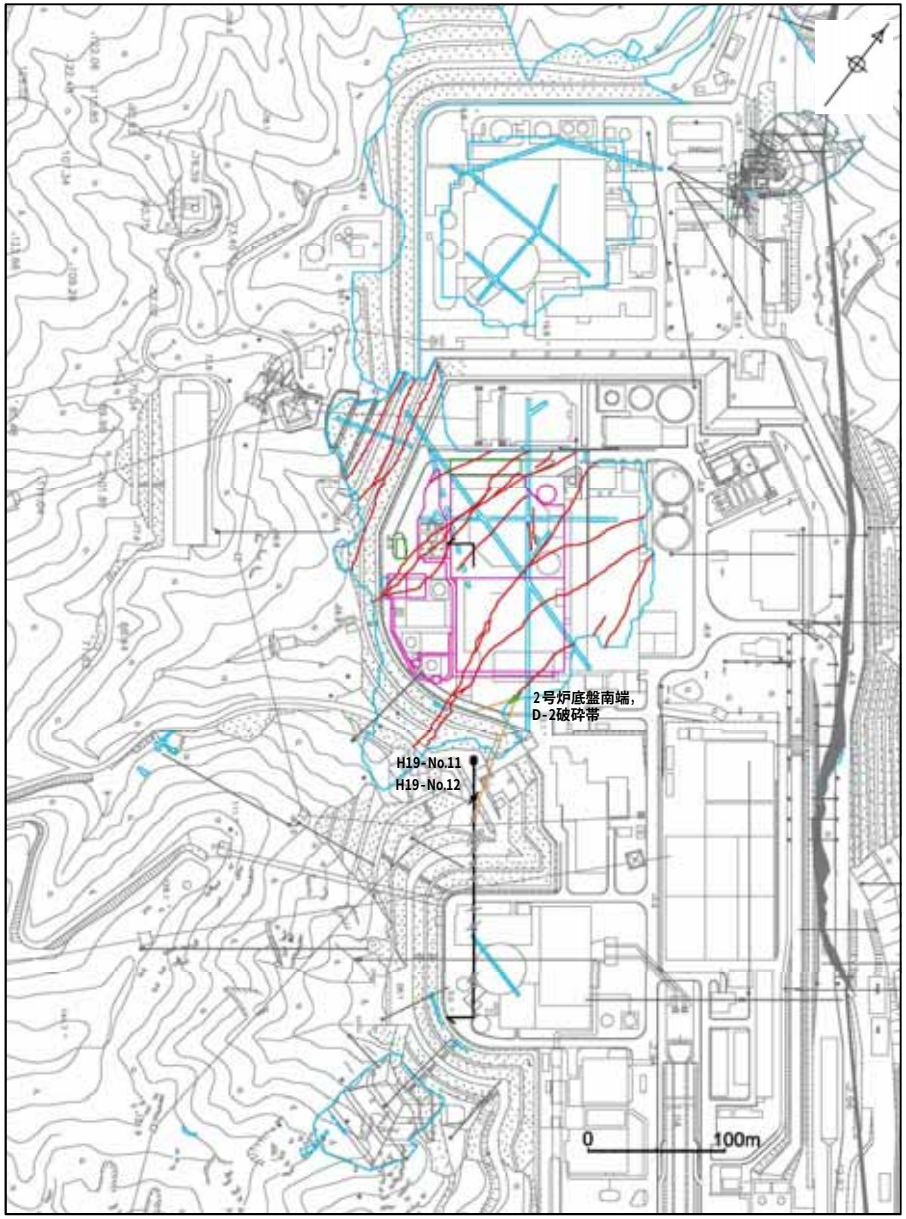
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤南端，D－2破砕帯）



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

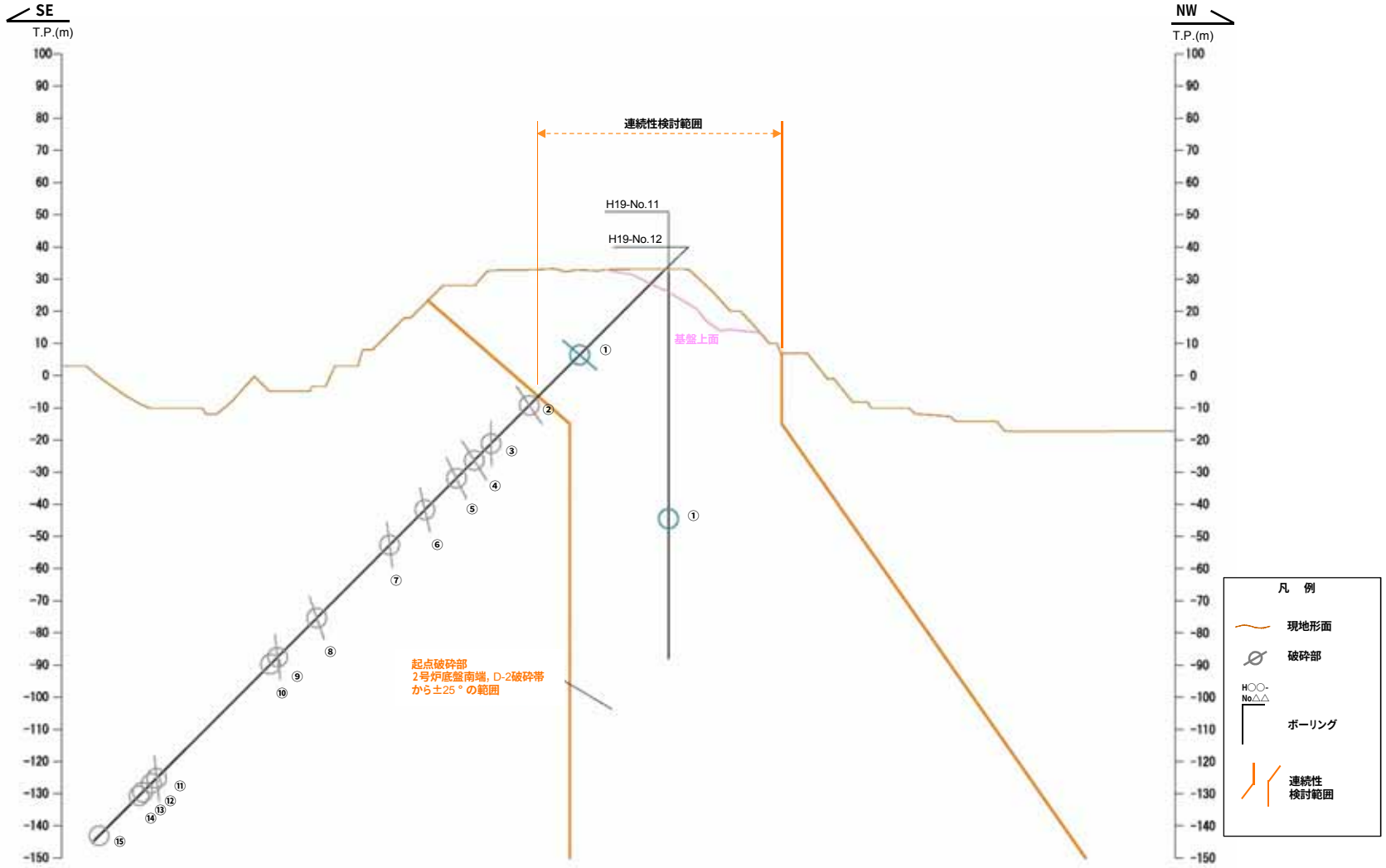
- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

- 2号炉底盤破砕帯トレース

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤南端，D－2破砕帯）



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤南端，D－2破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤南端	-	-	-	(T.P.-15m)		N10E	-	80W	-	-	-	-	-		D-2		
-	H19-No.11	範囲内	①	76.60	77.00	-	-	(74)	6	有	無	-	-	○	D-2	参考2-86	
	H19-No.12	範囲内	①	36.35	36.58	-	-	-	-	有	無	-	-	○	D-2	参考2-86	
		範囲外	②	58.41	58.43	N4W	14	70W	10	有	有	75L	-		D-3	参考2-87	
			③	75.04	75.08	N12E	2	89W	9	無	-	25L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	82.48	82.50	N25E	15	61W	19	無	-	56L	-		f-12-3	参考2-129	
			⑤	90.45	90.66	N8E	2	71W	9	無	-	30R	-		f-12-4	参考2-129	
			⑥	104.12	104.22	N4W	14	83W	3	有	無	50L	N,RL		D-4	参考2-89	
			⑦	119.64	119.72	N37E	27	83W	3	有	無	42L	-		f-12-6	参考2-129	
			⑧	152.06	152.09	N40E	30	71W	9	有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129	
			⑨	169.38	169.46	N21E	11	84W	4	有	無	85R	-		f-12-8	参考2-130	
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-		D-5	参考2-70	
			⑪	222.85	222.88	N14E	4	85W	5	有	無	24L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-		D-6	参考2-57	
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-		D-19	参考2-99	
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	
			⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-		D-7	参考2-90	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑C坑での値を示す。

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

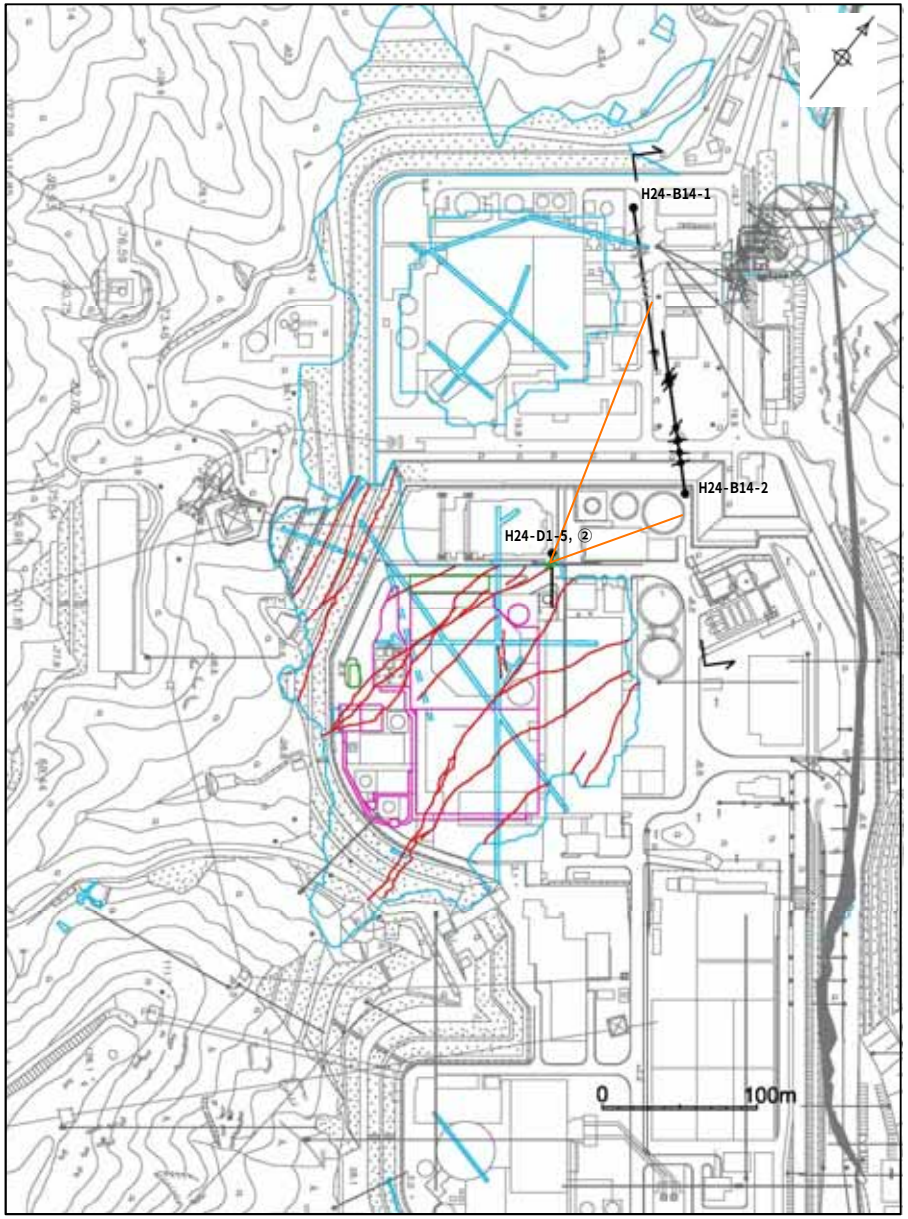
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破砕部：H24-D1-5, ②)



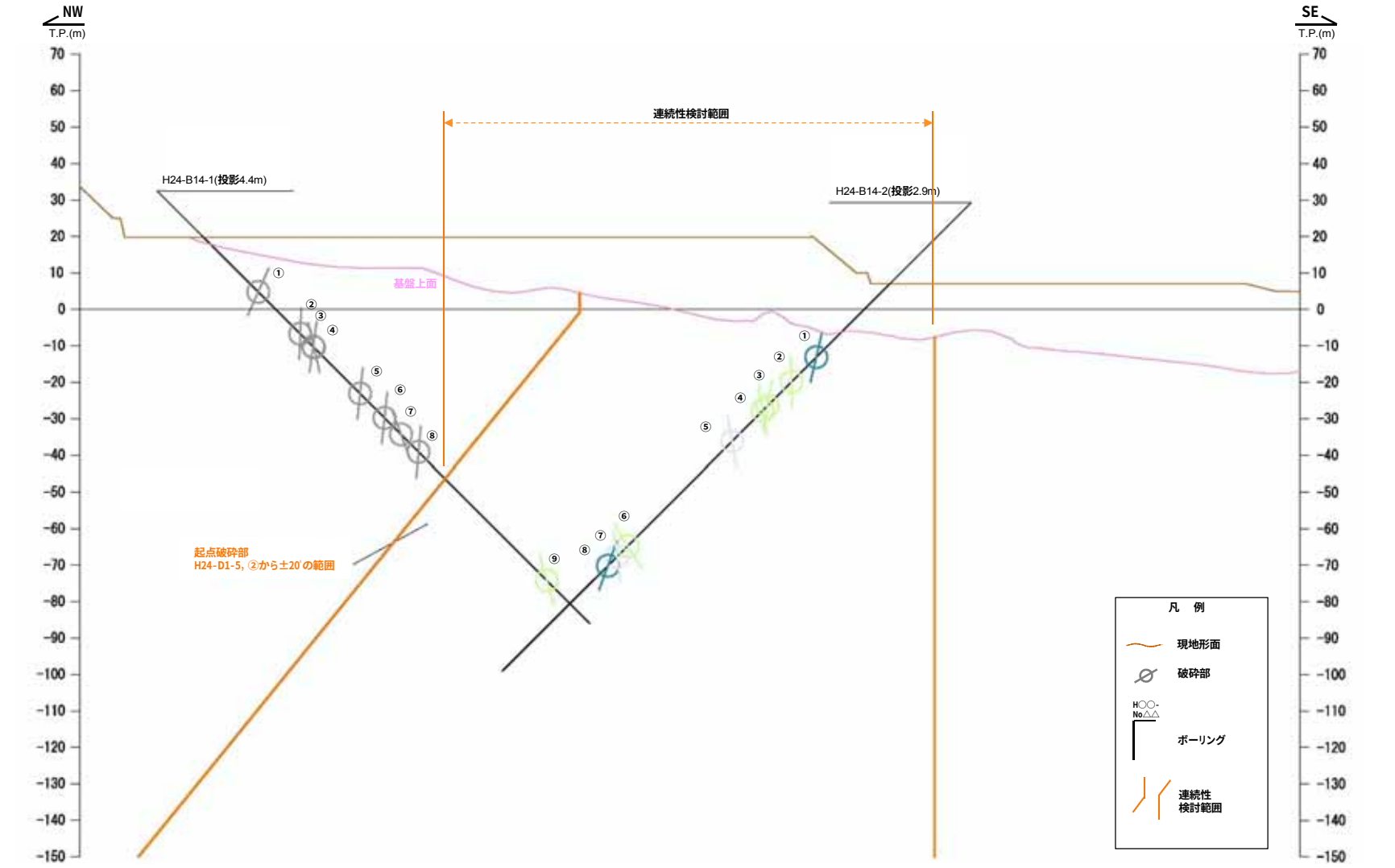
拡大範囲図 (破砕帯及び破砕部分布)

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層 (T.P.-15m)
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
- ※上記施設は設置変更許可申請時 (平成27年11月5日) におけるもの
- 2号炉底盤 破砕帯トレース

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破砕部：H24-D1-5, ②)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破砕部：H24-D1-5, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H24-D1-5	-	-	②	10.19	10.21	N12E		78W		有	有	20L	LL		H-3d	参考2-169	
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	13	67W	11	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	25	88NW	10	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	10	81W	3	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	31	77SE	25	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	16	84W	6	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	7	85W	7	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	5	74E	28	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	13	85W	7	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
		範囲内	⑨	133 38	134.77	N38E	26	74SE	28	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2		①	28.50	28.66	N35E	23	77NW	1	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
			②	38.10	38.27	N58E	46	88S	14	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	26	85NW	7	有	無	40R	RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	32	80E	22	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	11	83E	19	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
			⑥	101.47	101 52	N3E	9	65E	37	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105 54	105 61	N16E	4	84E	18	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	13	76W	2	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-34	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

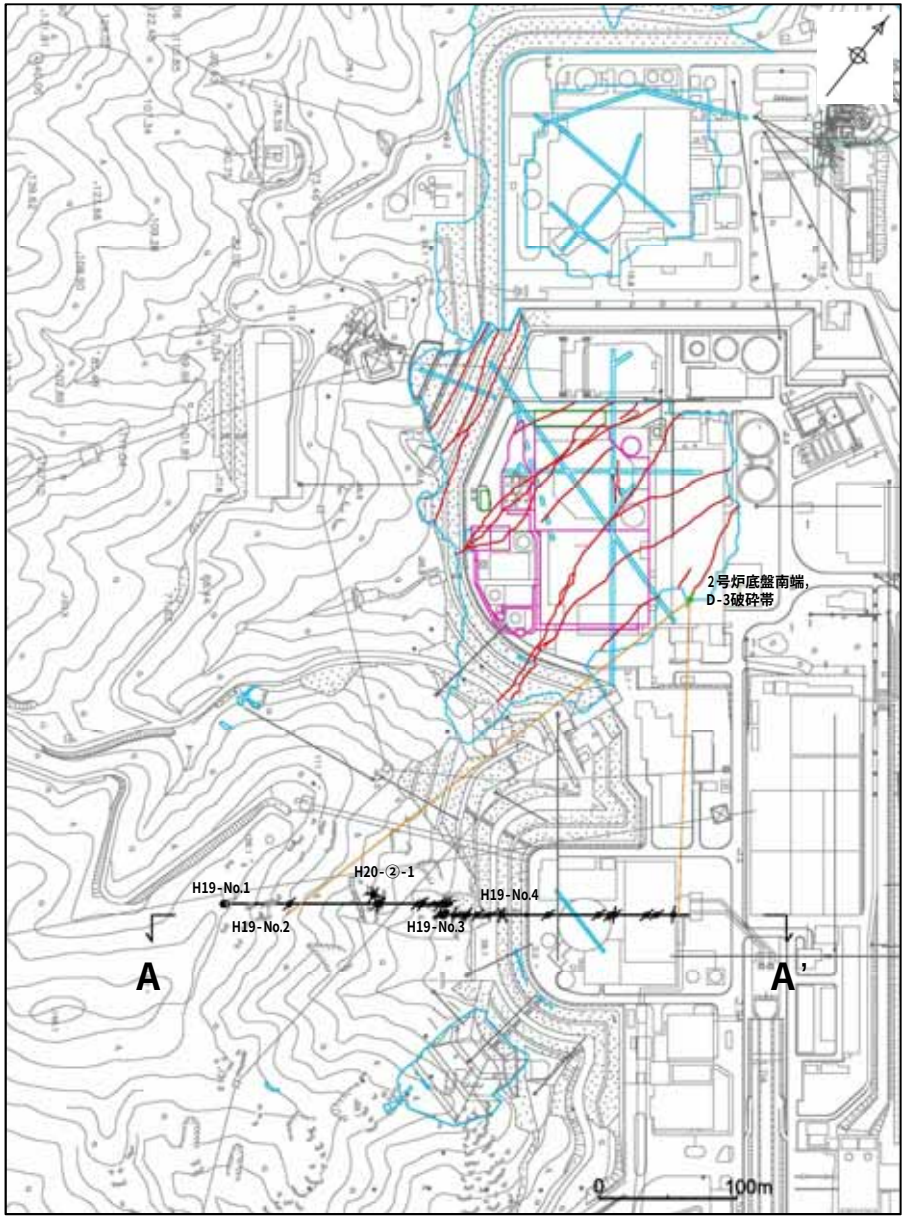
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤南端，D－3破砕帯)〔A-A’断面〕



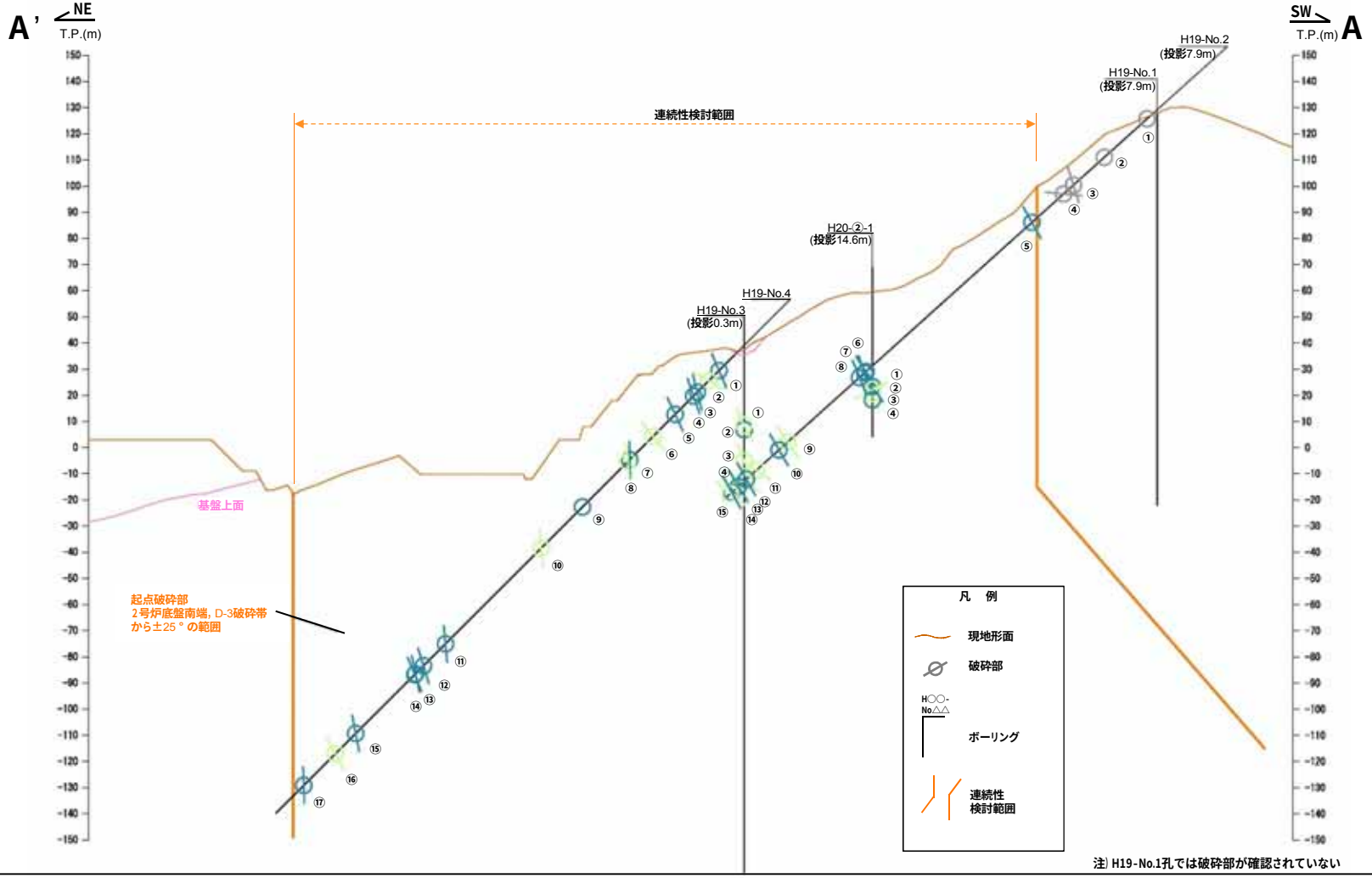
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
- ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの
- 2号炉底盤破砕帯トレース

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤南端，D－3破砕帯)〔A-A’断面〕



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤南端，D－3破砕帯)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤南端	-	-	-	(T.P.-15m)		N10W	-	80W	-	-	-	-	-		D-3		
-	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	35	82W	2	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	50	26W	54	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
		範囲内	⑤	61.25	61.30	N7E	17	68W	12	無	-	43L	-	×	f-14-1	参考2-131	※1
			⑥	146.29	146.32	N7E	17	64W	16	有	無	35R	-	×	f-2-3	参考2-125	※1
			⑦	147.04	147.48	N31W	21	70W	10	有	無	76R	-	×	D-20	参考2-101	※1
			⑧	149.71	149.84	N1E	11	72W	8	有	有	70L	N	×	D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	31	70W	10	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	12	66W	14	有	無	73L	-	×	f-2-7	参考2-125	※4
			⑪	202.81	202.85	N32E	42	64W	16	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	10	66W	14	有	有	60L	-	○	D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	4	63W	17	有	無	84R (不明瞭)	-	×	f-2-10	参考2-125	※4
			⑭	215.42	215.46	N9W	1	64W	16	有	無	74L	-	×	f-2-11	参考2-126	※4
			⑮	216.15	216.24	N26E	36	61W	19	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	42	80W	0	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	17	有	有	-	-	○	D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	27	77W	3	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	47	67W	13	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	6	70W	10	有	有	50L	-	○	D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	45	62W	18	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	13	79W	1	有	有	2L	-	×	f-2-11	参考2-126	※4
			④	24.12	24.41	N7W	3	73W	7	無	-	-	-	×	f-12-4	参考2-129	※4
			⑤	34.24	34.38	N12E	22	73W	7	無	-	-	-	×	f-2-12	参考2-126	※4
			⑥	46.13	46.38	N29E	39	72W	8	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	0	89W	9	有	無	80L	-	×	D-4	参考2-89	※3
			⑧	60.32	60.36	N71W	61	86N	14	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※4
			⑩	107.54	109.94	N16E	26	87W	7	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	25	87W	7	有	無	21L	-	×	f-12-10	参考2-130	※4
			⑫	171.69	174.88	N9E	19	78W	2	有	有	79L	N	×	D-6	参考2-57	※3
			⑬	175.27	175.28	N29W	19	78W	2	有	無	22R	-	×	f-4-9	参考2-127	※4
			⑭	175.64	175.65	N14E	24	76W	4	有	有	64R	-	×	f-4-10	参考2-127	※4
			⑮	207.69	207.72	N13E	23	83W	3	有	無	-	-	×	D-7	参考2-90	※4
			⑯	218.73	218.74	N20E	30	74W	6	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	18	88W	8	無	-	20R	-	×	f-6-2	参考2-127	※4
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	7	60W	20	有	無	80L	-	×	f-②-1-1	参考2-140	※3
			②	46.85	46.97	N63E	73	71S	9	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	42	71SW	9	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	15	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-37	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑C坑での値を示す。

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

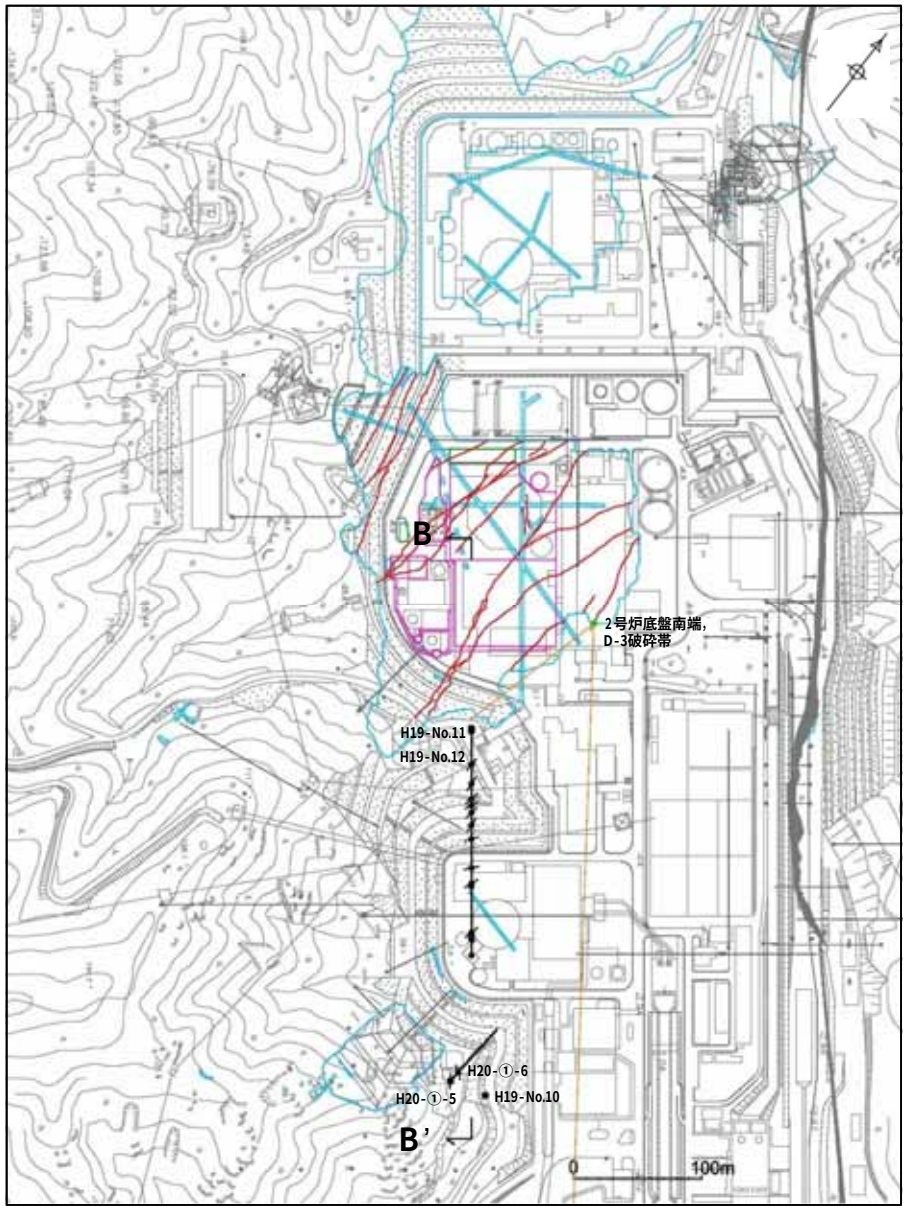
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤南端，D－3破砕帯)〔B-B’断面〕



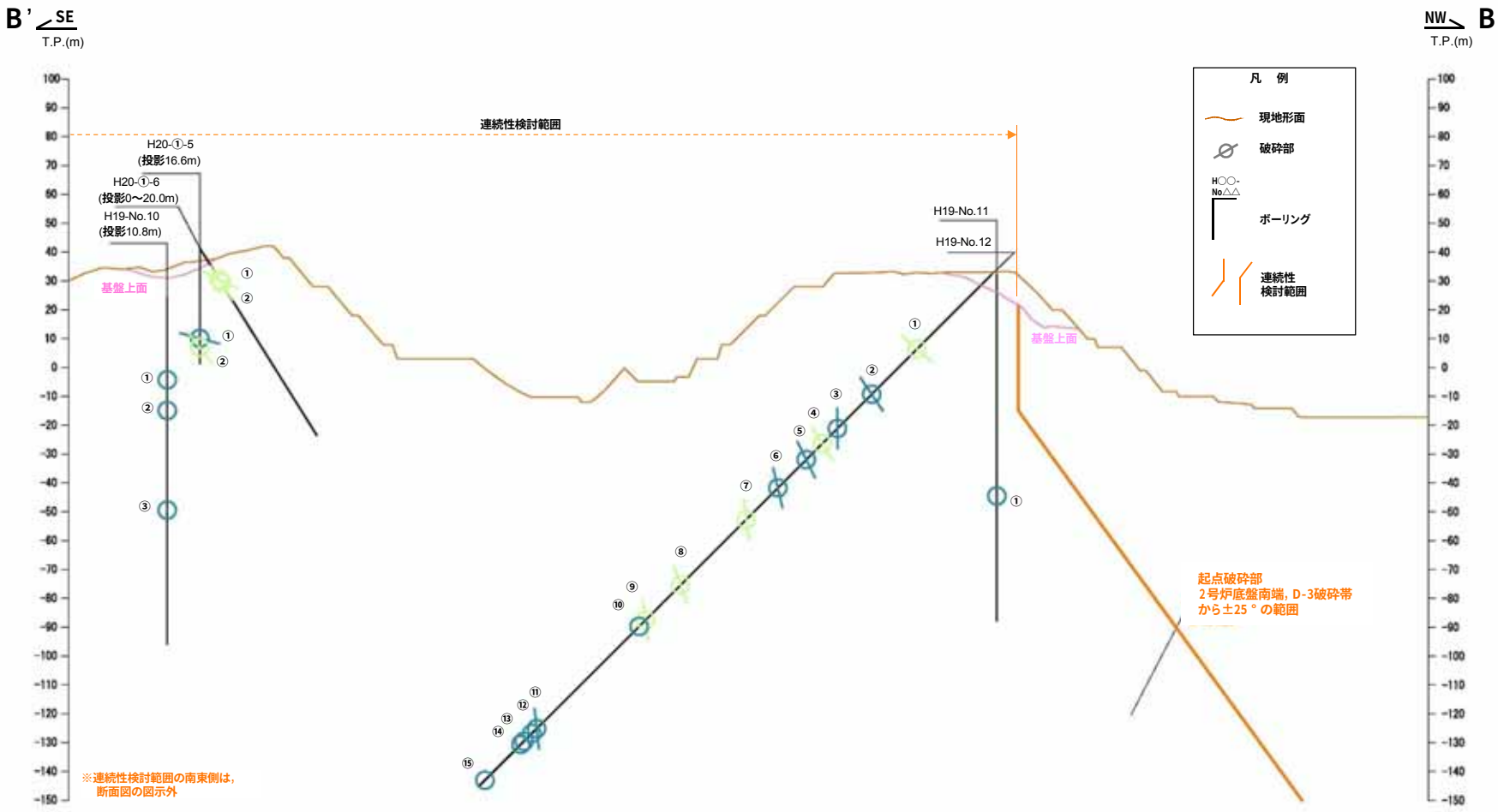
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
- ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの
- 2号炉底盤破砕帯トレース

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤南端，D－3破砕帯)（B-B’断面）



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤南端，D－3破砕帯)〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤南端	-	-	-	(T.P.-15m)		N10W	-	80W	-	-	-	-	-		D-3		
-	H19-No.11	範囲内	①	76.60	77.00	-	-	(74)	6	有	無	-	-	×	D-2	参考2-86	
	H19-No.12		①	36.35	36.58	N3E	13	53W	27	有	無	57L	-		D-2	参考2-86	
			②	58.41	58.43	N4W	6	70W	10	有	有	75L	-	○	D-3	参考2-87	
			③	75.04	75.08	N12E	22	89W	9	無	-	25L	-	×	f-13-3	参考2-130	※4
			④	82.48	82.50	N25E	35	61W	19	無	-	56L	-		f-12-3	参考2-129	
			⑤	90.45	90.66	N8E	18	71W	9	無	-	30R	-	×	f-12-4	参考2-129	※4
			⑥	104.12	104.22	N4W	6	83W	3	有	無	50L	N,RL	×	D-4	参考2-89	※4
			⑦	119.64	119.72	N37E	47	83W	3	有	無	42L	-		f-12-6	参考2-129	
			⑧	152.06	152.09	N40E	50	71W	9	有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129	
			⑨	169.38	169.46	N21E	31	84W	4	有	無	85R	-		f-12-8	参考2-130	
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-5	参考2-70	※4
			⑪	222.85	222.88	N14E	24	85W	5	有	無	24L	-	×	f-12-10	参考2-130	※4
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-6	参考2-57	※3
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-19	参考2-99	※3
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※3
			⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-7	参考2-90	※4
	H20-①-5		①	31.28	31.44	N33W	23	75W	5	無	-	75L	-	×	D-43	参考2-118	※3
			②	34.37	34.70	N89W	79	58S	22	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	43	60S	20	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	71	65S	14	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H19-No.10		①	28.46	28.53	-	-	(63)	17	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※4
			②	39.09	39.14	-	-	(73)	7	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※4
			③	73.62	73.63	-	-	(68)	12	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※4

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑C坑での値を示す。

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

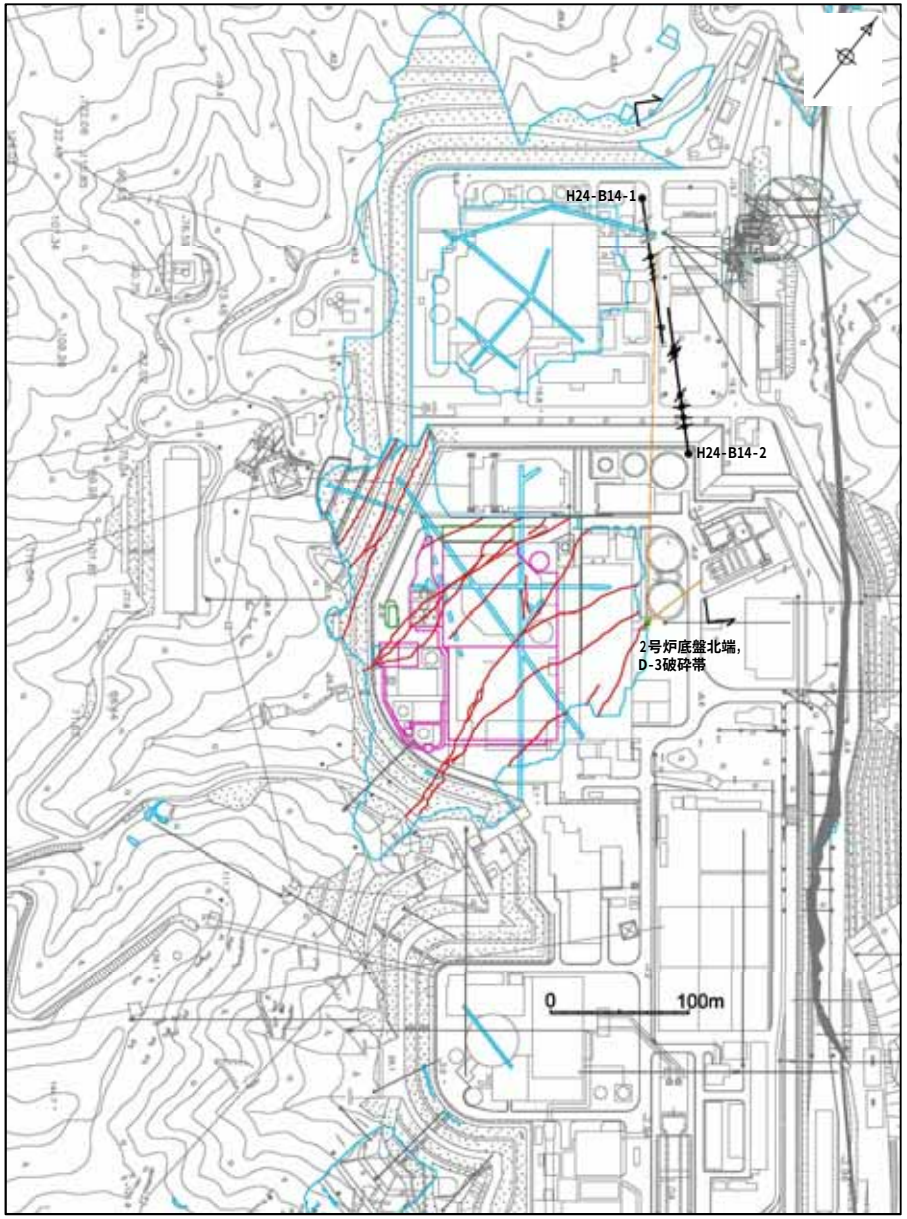
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，D－3破砕帯）



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

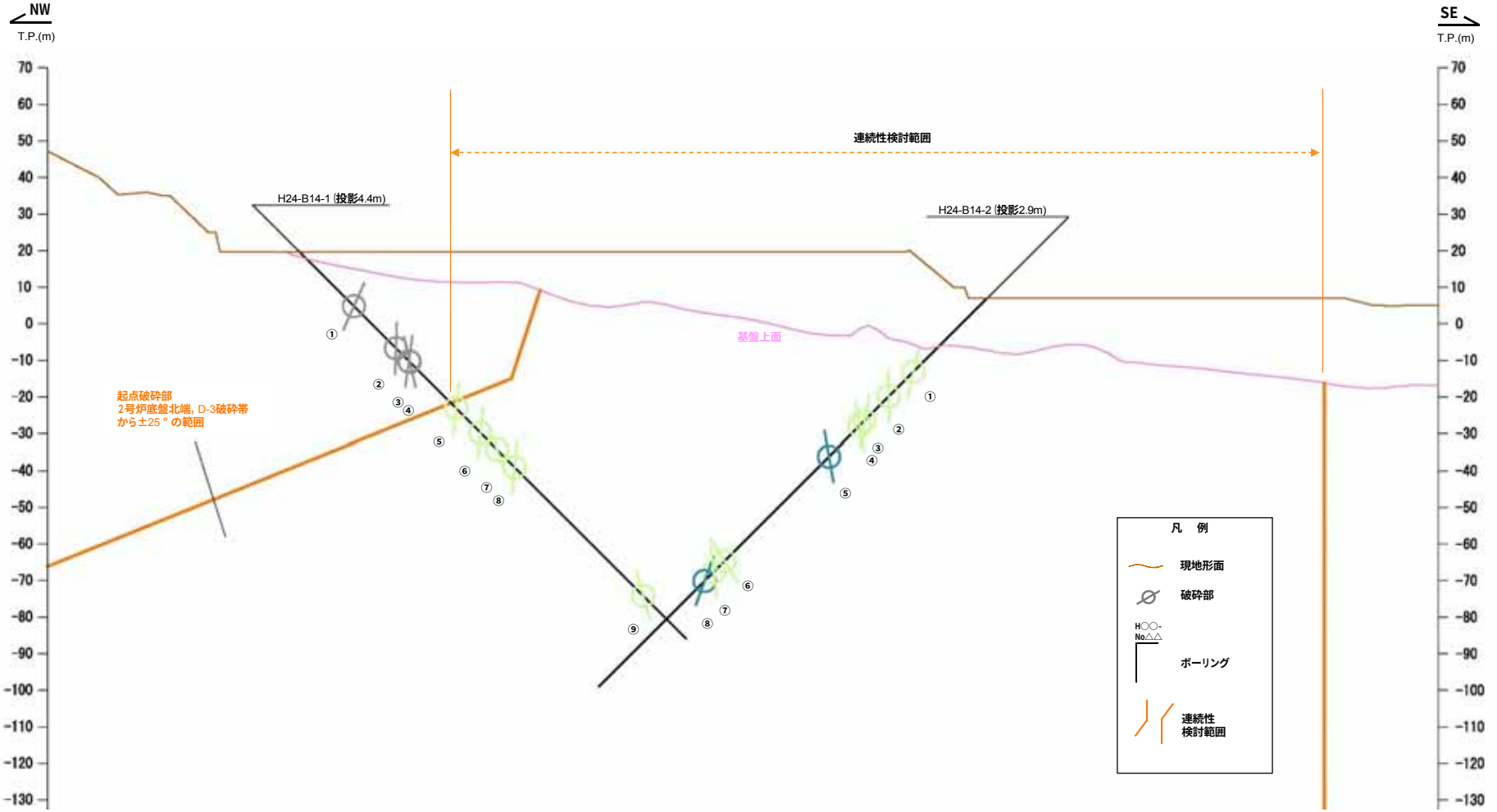
- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

- 2号炉底盤破砕帯トレース

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，D－3破砕帯）



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，D－3破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	(T.P.-15m)		N10W		80W		-	-	-			D-3		
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	35	67W	13	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	47	88NW	8	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	32	81W	1	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	53	77SE	23	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
		範囲内	⑤	61.09	61.22	N28E	38	84W	4	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	29	85W	5	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	17	74E	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	35	85W	5	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑨	133.38	134.77	N38E	48	74SE	26	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2		①	28.50	28.66	N35E	45	77NW	3	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
			②	38.10	38.27	N58E	68	88S	12	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	48	85NW	5	有	無	40R	RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	54	80E	20	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	11	83E	17	無	-	72R	-	×	D-42	参考2-118	※3
			⑥	101.47	101.52	N3E	13	65E	35	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	26	84E	16	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	9	76W	4	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-34	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑C坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

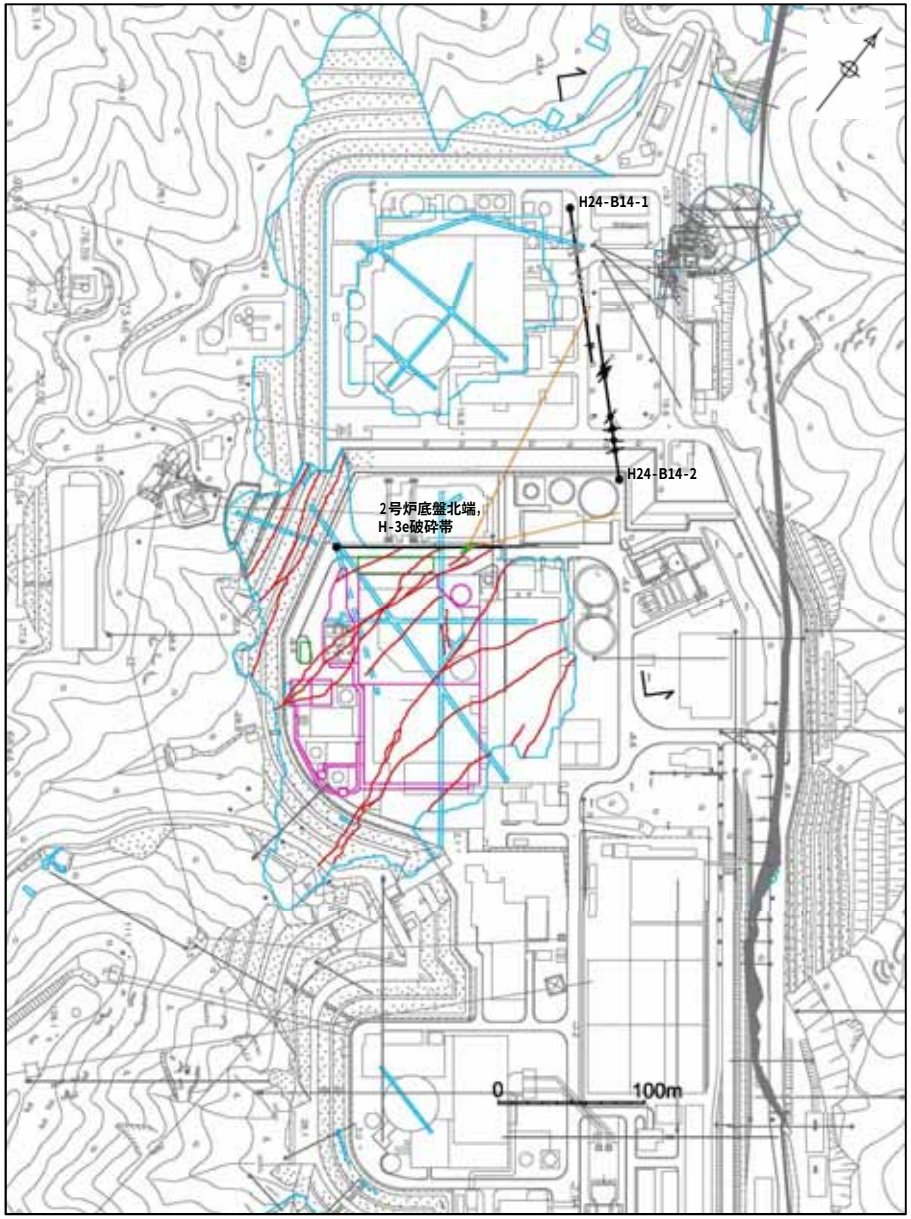
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－3e破砕帯）



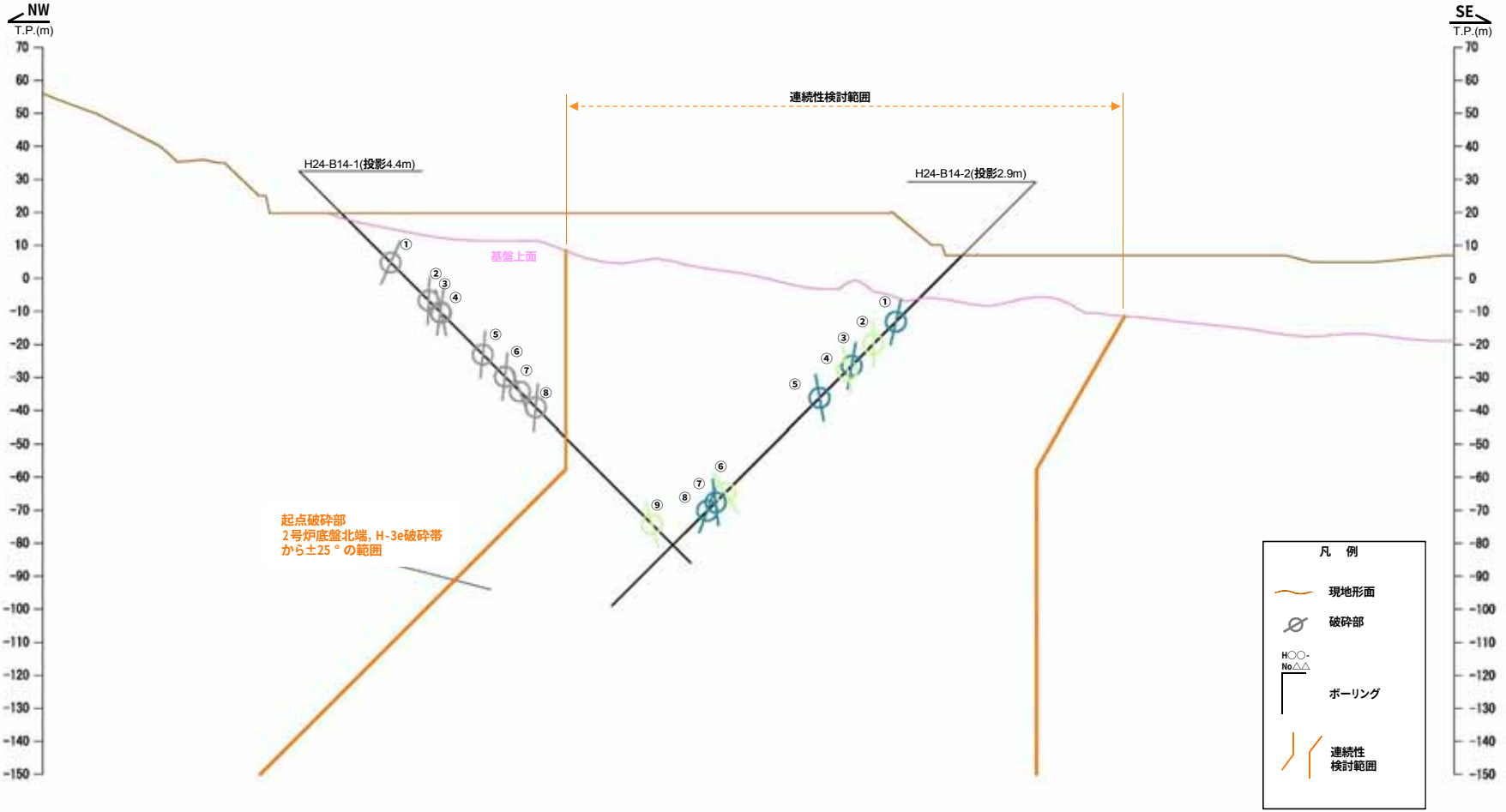
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
- ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの
- 2号炉底盤破砕帯トレース

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－3e破砕帯）



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－3e破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス (N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ)	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	-	-	N15E		75W		-	-	-	-		H-3e		
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	10	67W	8	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	22	88NW	13	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	7	81W	6	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	28	77SE	28	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	13	84W	9	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	4	85W	10	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	8	74E	31	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	10	85W	10	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
		範囲内	⑨	133 38	134 77	N38E	23	74SE	31	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2		①	28.50	28.66	N35E	20	77NW	2	有	有	50R	N,LL	×	f-b14-2-1	参考2-159	※1
			②	38.10	38.27	N58E	43	88S	17	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	23	85NW	10	有	無	40R	RL	×	非モデル化	参考2-192	※1
			④	49.24	49.55	N44E	29	80E	25	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	14	83E	22	無	-	72R	-	×	D-42	参考2-118	※1
			⑥	101.47	101 52	N3E	12	65E	40	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105 54	105 61	N16E	1	84E	21	無	-	12L	-	×	D-41	参考2-117	※1
			⑧	109.16	109.46	N1W	16	76W	1	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-34	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑A坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

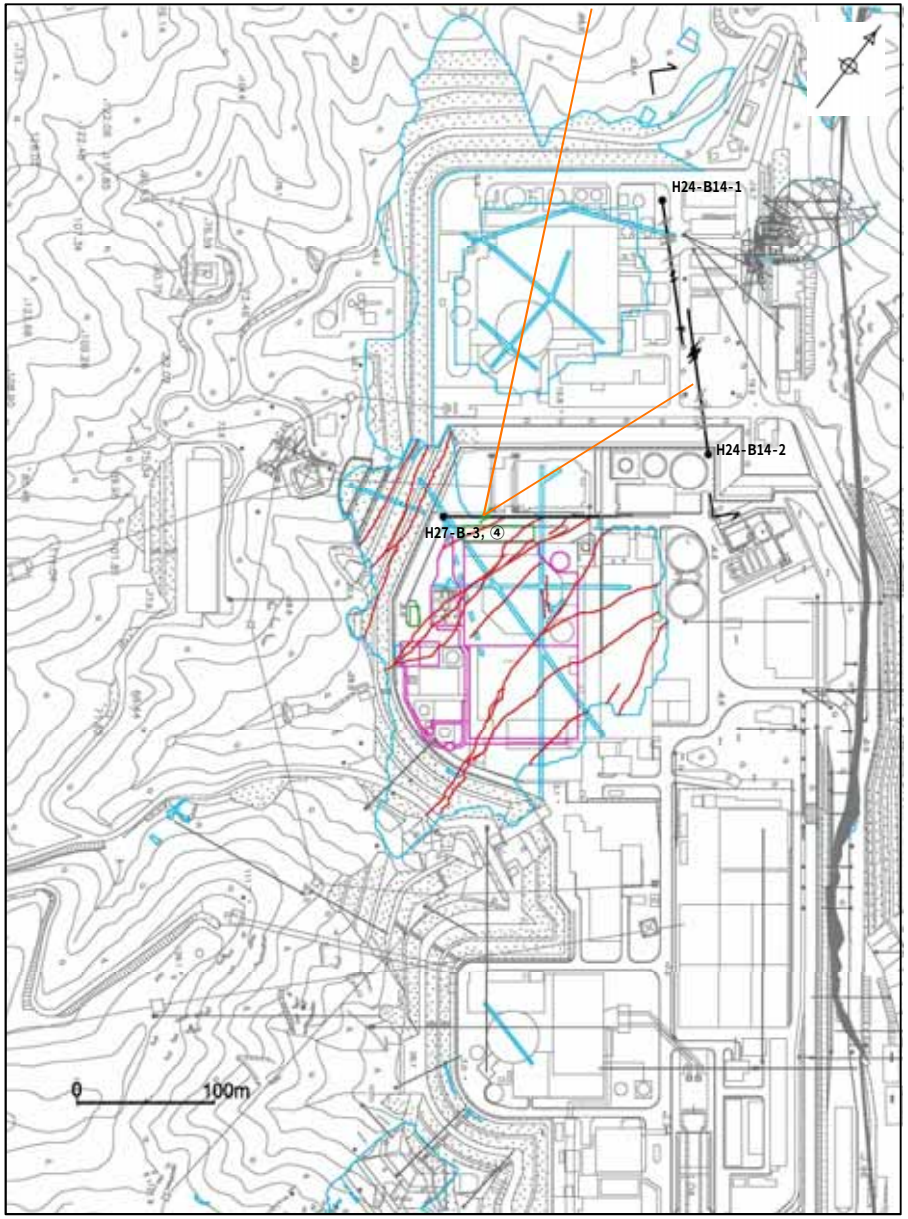
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破砕部：H27-B-3, ④)



拡大範囲図 (破砕帯及び破砕部分布)

凡　例

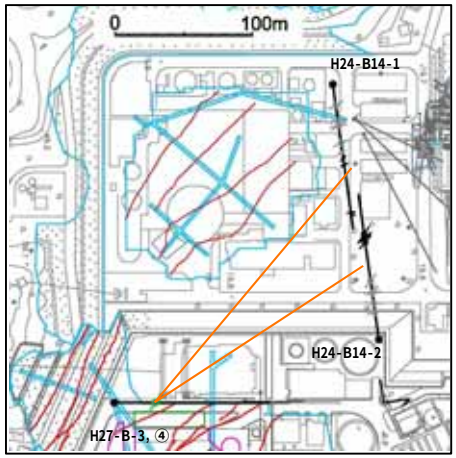
- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層 (T.P.-15m)
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時 (平成27年11月5日) におけるもの

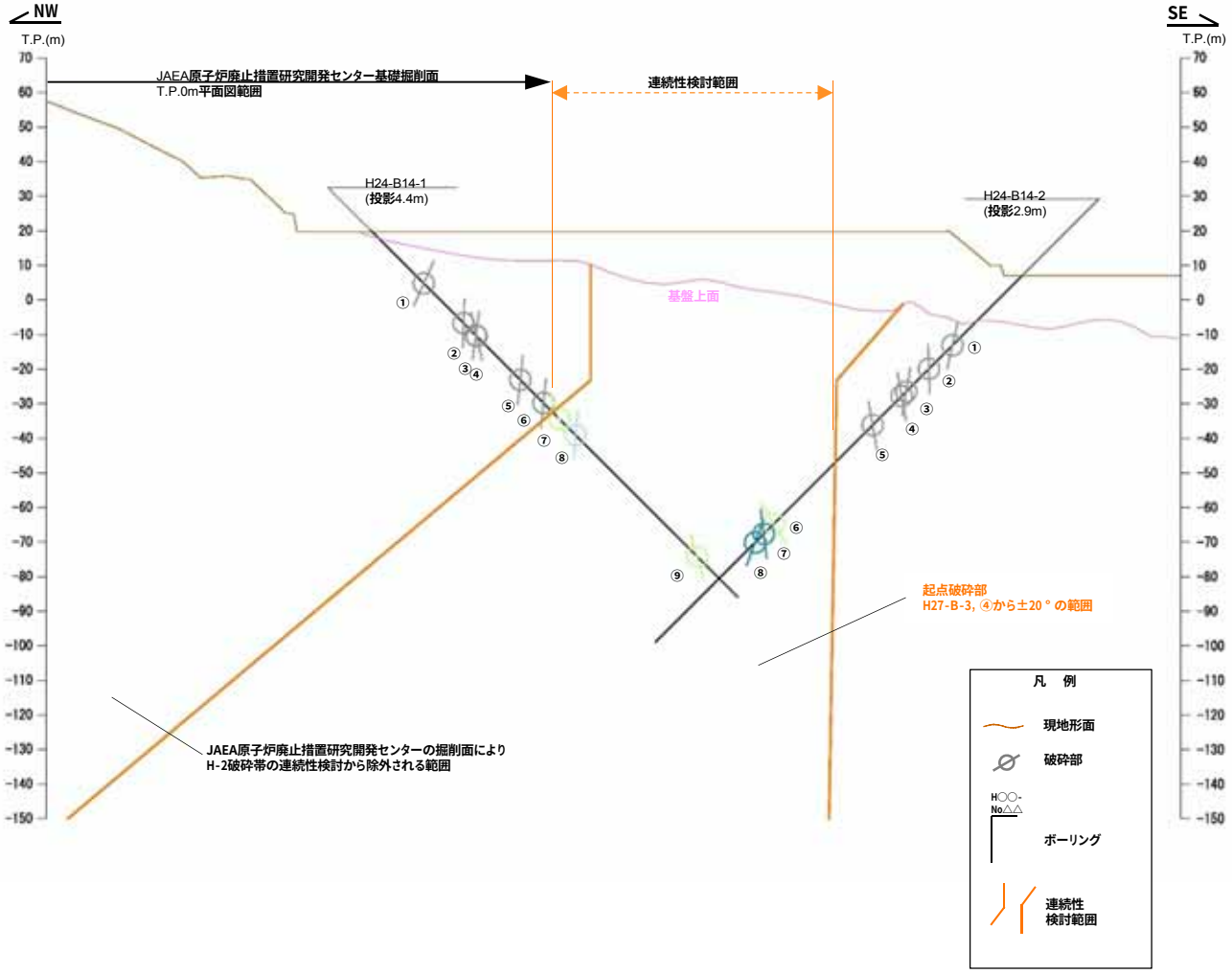
- 2号炉底盤破砕帯トレース

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破砕部：H27-B-3, ④)



拡大範囲図 (破砕帯及び破砕部分布)



拡大範囲図凡例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 2号炉底盤及びJAEA掘削面の破砕帯トレース
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時 (平成27年11月5日) におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

破砕部着色凡例

- c1：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- c2：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- c3：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- c4：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- c5：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- c6：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- c7：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破砕部：H27-B-3, ④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-B-3	-	-	④	42 85	42.91	NS		71W		有	無	0	RL		H-2	参考2-166	
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21 63	22.57	N25E	25	67W	4	無	-	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37 86	37.91	N37E	37	88NW	17	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42 62	42.88	N22E	22	81W	10	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	43	77SE	32	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61 09	61.22	N28E	28	84W	13	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70 54	71.41	N19E	19	85W	14	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
		範囲内	⑦	76.94	77.03	N7E	7	74E	35	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82 59	83.71	N25E	25	85W	14	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑨	133.38	134.77	N38E	38	74SE	35	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2	範囲外	①	28 50	28.66	N35E	35	77NW	6	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
			②	38.10	38.27	N58E	58	88S	21	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47 37	47.40	N38E	38	85NW	14	有	無	40R	RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49 24	49.55	N44E	44	80E	29	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60 85	61.12	N1E	1	83E	26	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
		範囲内	⑥	101.47	101.52	N3E	3	65E	44	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	16	84E	25	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	1	76W	5	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-34	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

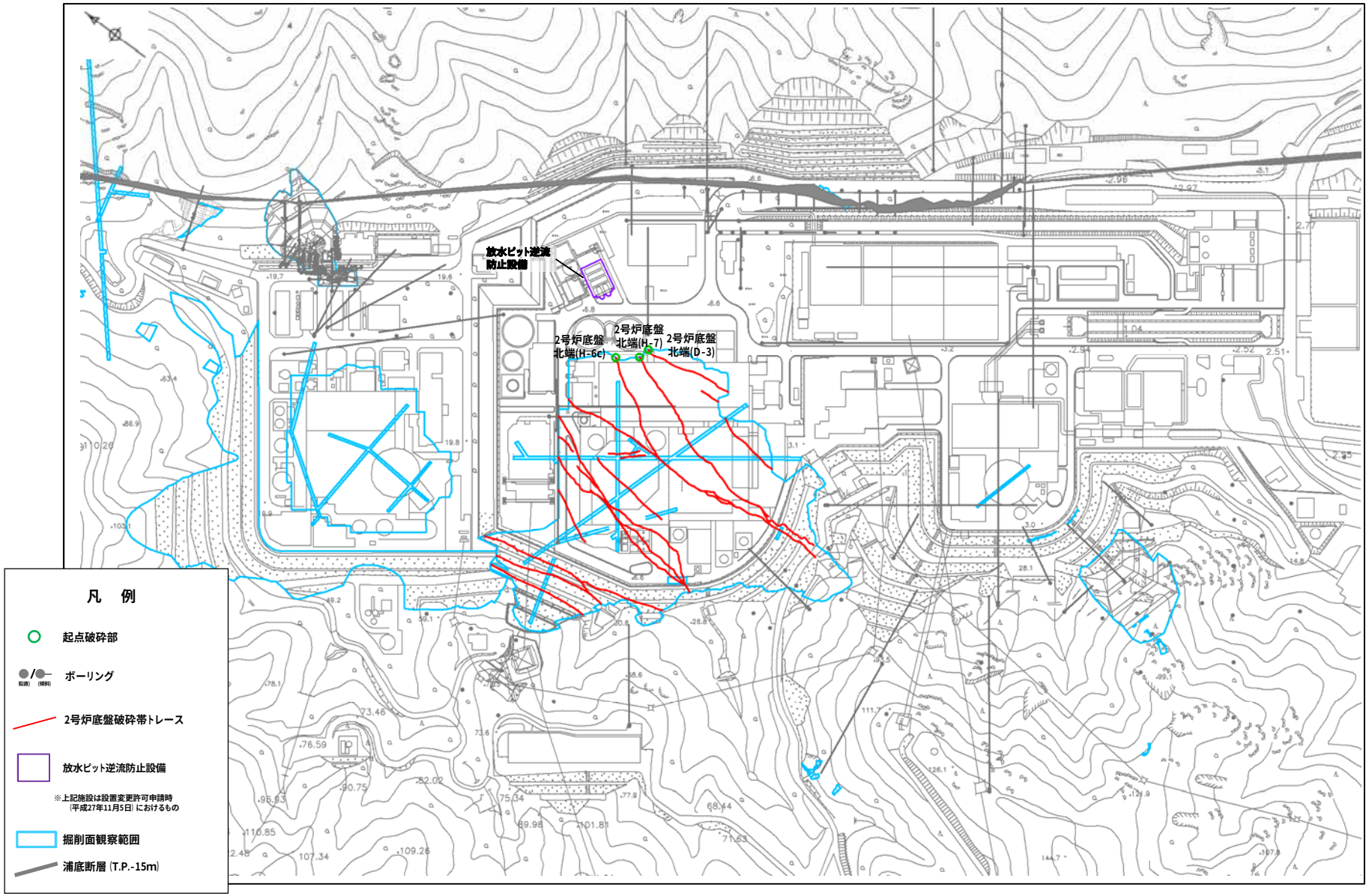
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

3　放水ピット逆流防止設備

連続性評価の具体的プロセス（放水ピット逆流防止設備）

- 重要施設のうち，放水ピット逆流防止設備の近傍に分布する下記の破砕帯の連続性評価のプロセスを示す。



放水ピット逆流防止設備の近傍に分布する破砕部

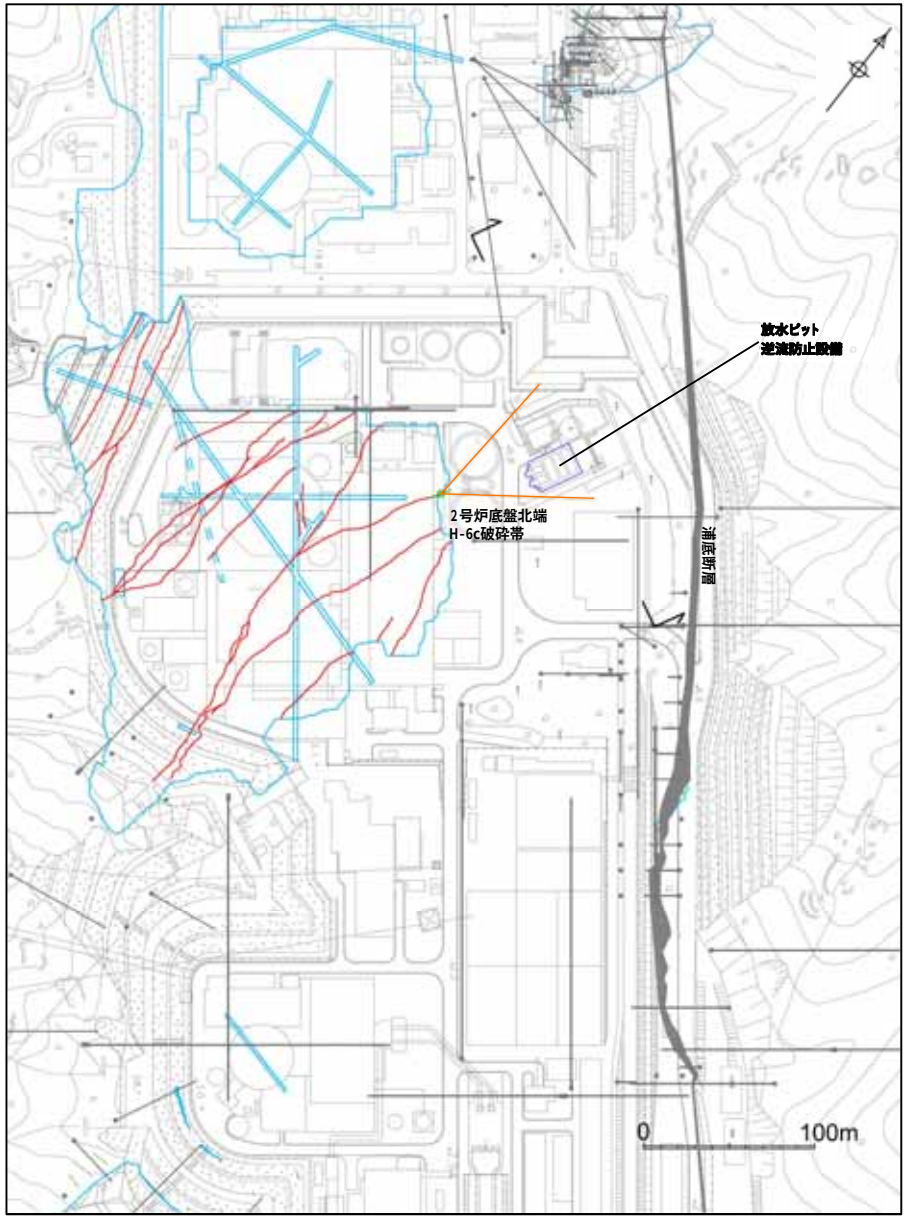
0　100m

連続性評価の具体的プロセス（放水ピット逆流防止設備：起点破砕部リスト）

No.	起点		破砕帯名	ページ
	名称	番号		
1	2号炉底盤北端，H-6c破砕帯	-	H-6c	参考1-71
2	2号炉底盤北端，D-3破砕帯	-	D-3	参考1-75
3	2号炉底盤北端，H-7破砕帯	-	H-7	参考1-79

余白

連続性評価の具体的プロセス（放水ピット逆流防止設備，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－6c破砕帯）



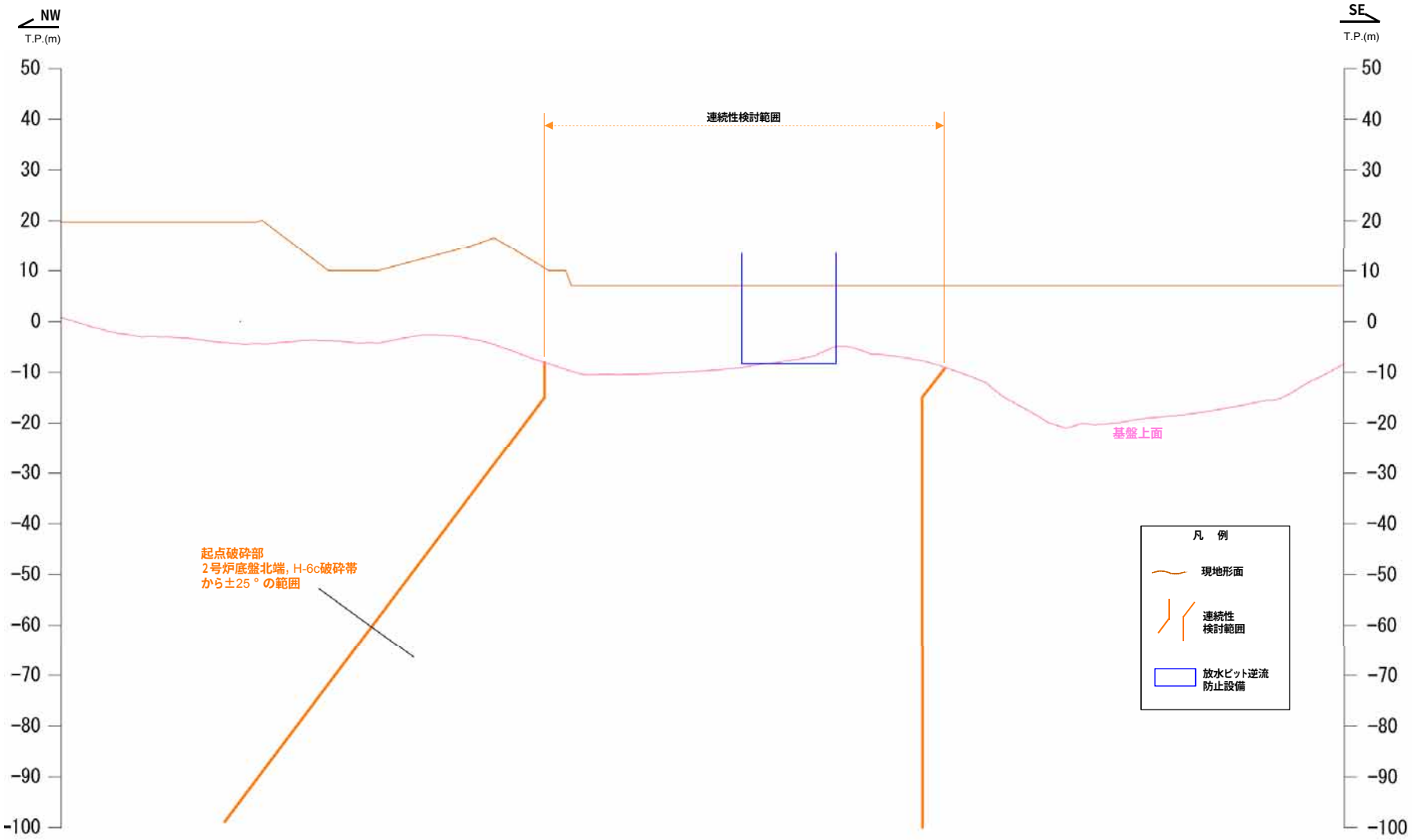
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設
- ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの
- 2号炉底盤破砕帯トレース

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス（放水ピット逆流防止設備，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－6c破砕帯）



連続性評価の具体的プロセス（放水ピット逆流防止設備，起点破砕部：2号炉底盤北端，Ｈ－６ｃ破砕帯）

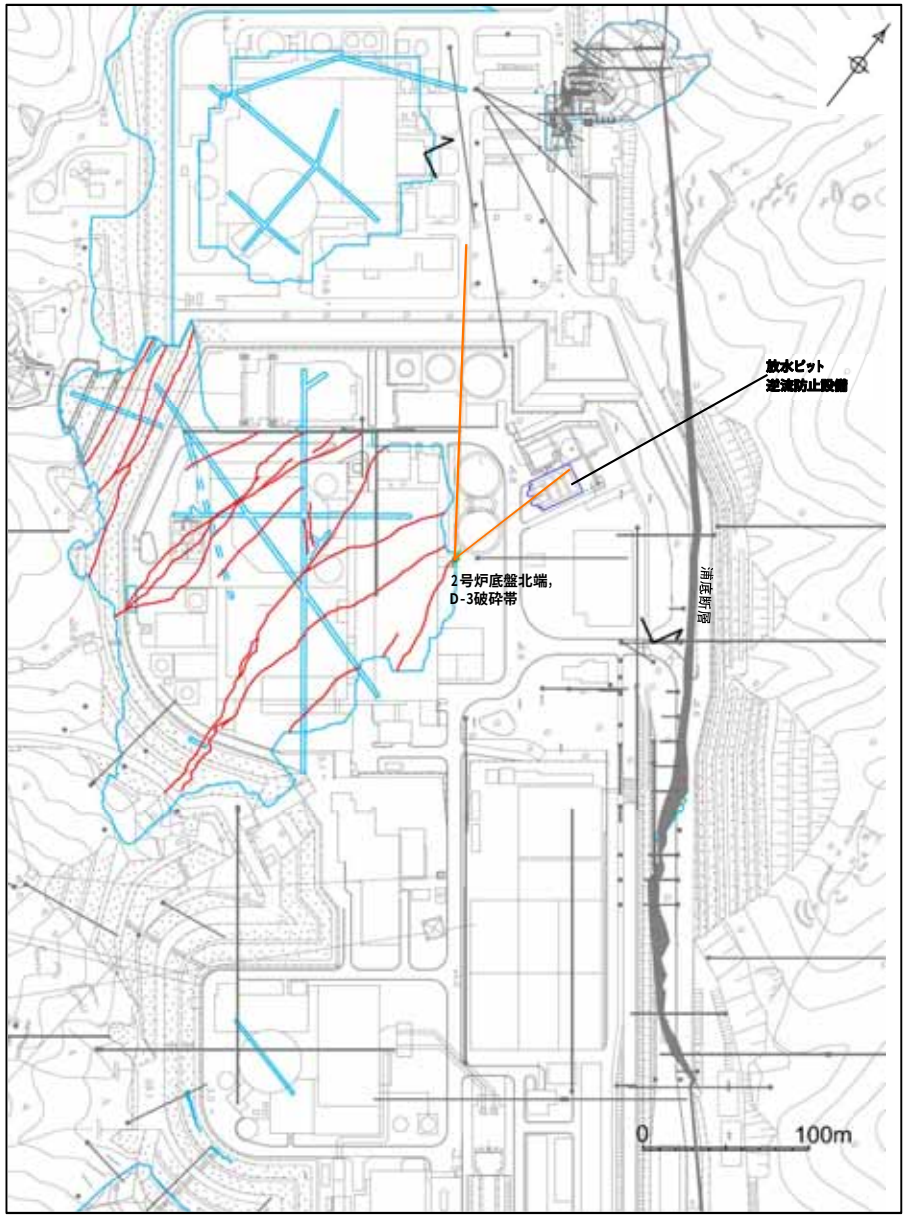
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差（°）	傾斜	比較対象との傾斜の差（°）	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
2号炉底盤北端	-	-	-	（T.P.-15m）		N30E		80W		-	-	-	-		H-6c		
検討対象範囲に調査無し																	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑B坑での値を示す。

余白

連続性評価の具体的プロセス（放水ピット逆流防止設備，起点破砕部：2号炉底盤北端，D－3破砕帯）



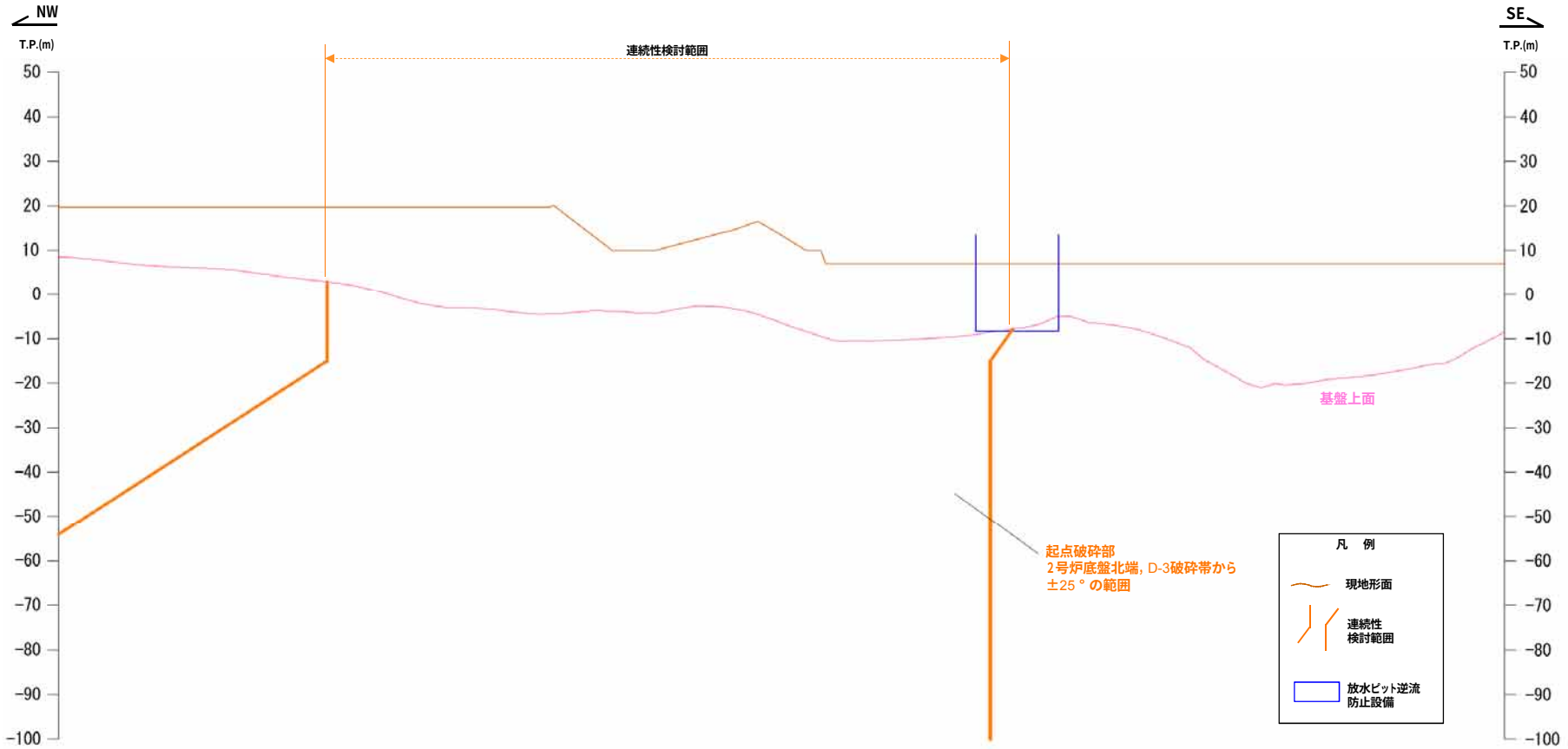
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの
- 2号炉底盤破砕帯トレース

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス（放水ピット逆流防止設備，起点破砕部：2号炉底盤北端，D－3破砕帯）



連続性評価の具体的プロセス（放水ピット逆流防止設備，起点破砕部：2号炉底盤北端，D－3破砕帯）

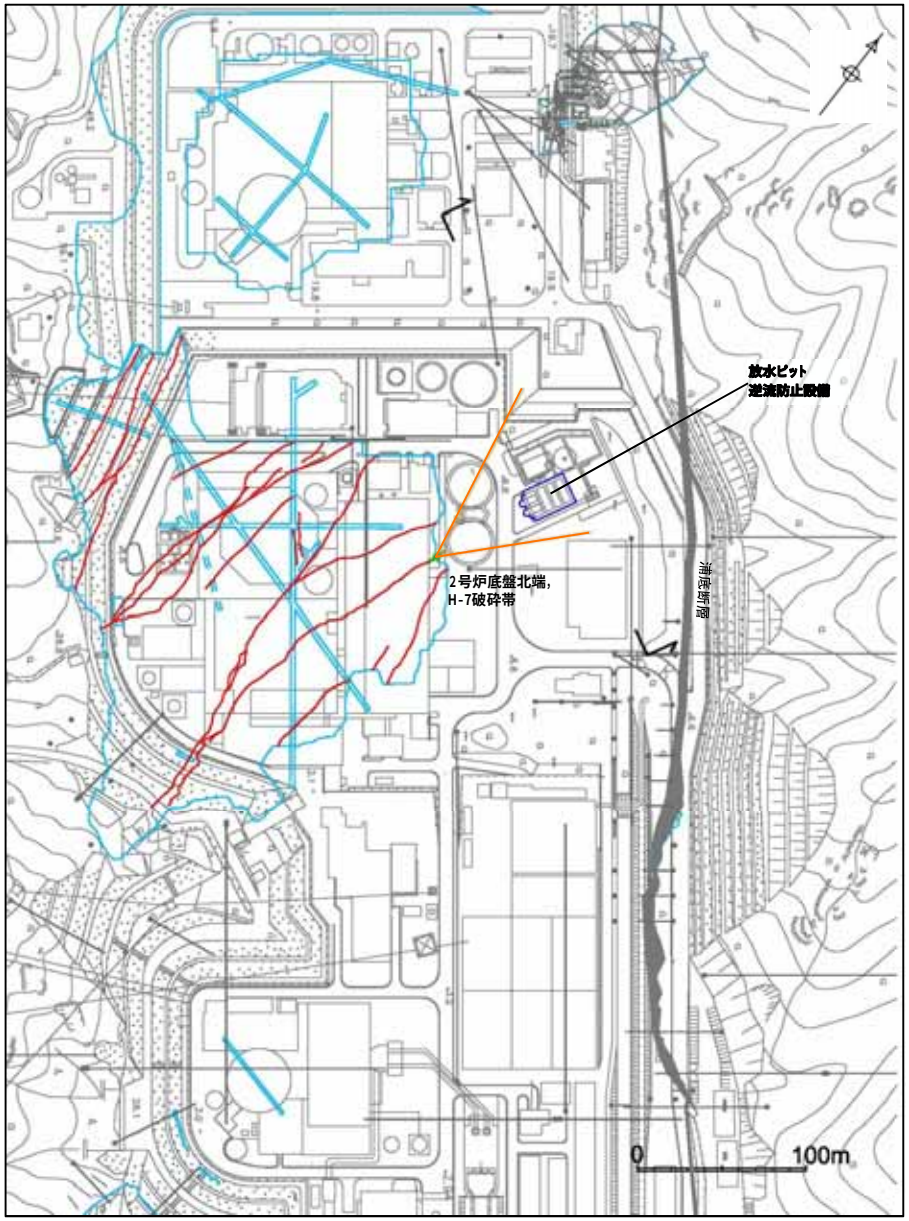
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差（°）	傾斜	比較対象との傾斜の差（°）	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度（m）	下端深度（m）					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
2号炉底盤北端	-	-	-	（T.P.-15m）		N10W	-	80W	-	-	-	-	-		D-3		
検討対象範囲に調査無し																	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑C坑での値を示す。

余白

連続性評価の具体的プロセス（放水ピット逆流防止設備，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－7破砕帯）



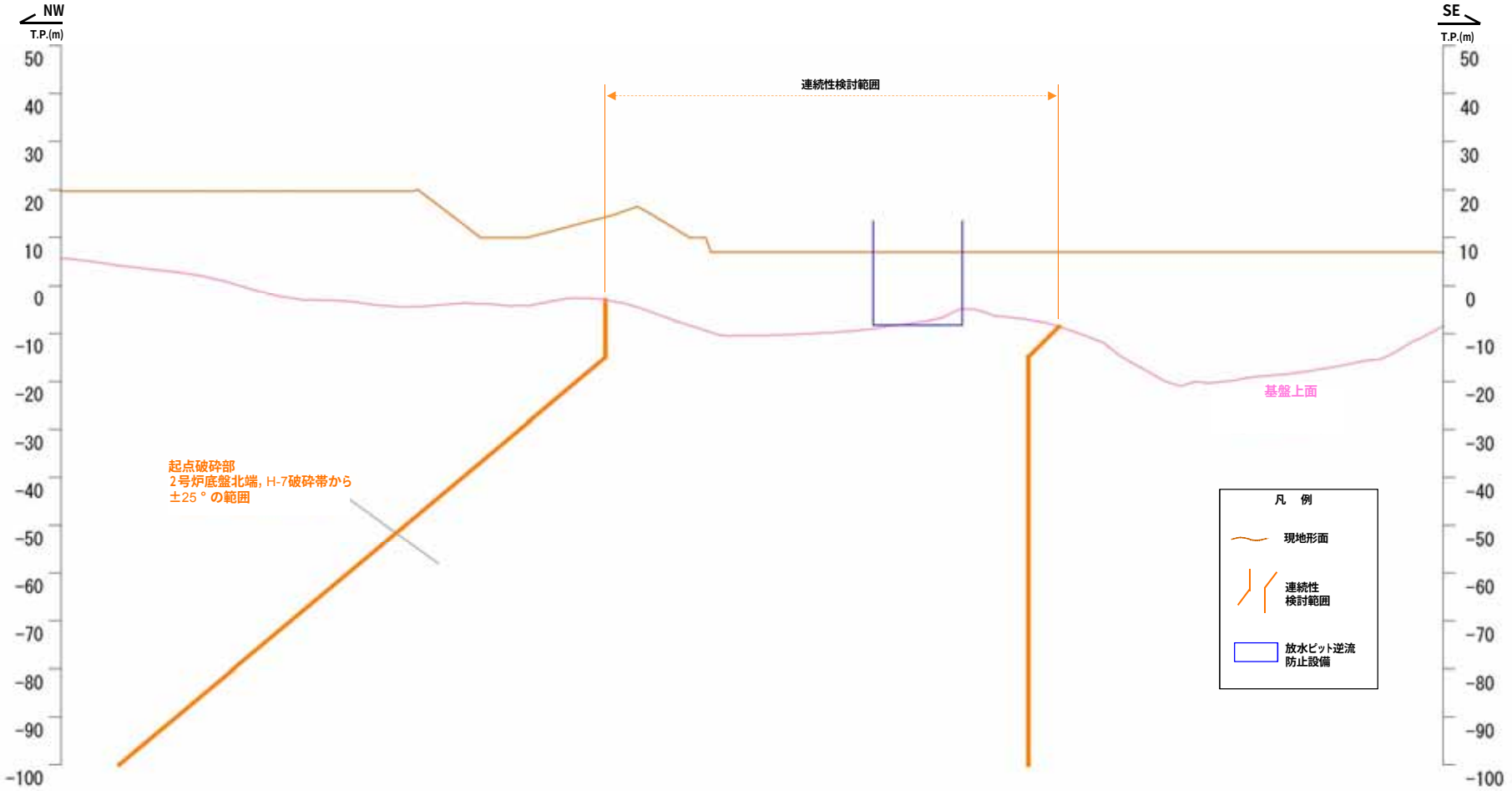
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの
- 2号炉底盤破砕帯トレース

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス（放水ピット逆流防止設備，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－7破砕帯）



連続性評価の具体的プロセス（放水ピット逆流防止設備，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－7破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差（°）	傾斜	比較対象との傾斜の差（°）	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
2号炉底盤北端	-	-	-	（T.P.-15m）		N15E		70W		-	-	-	-		H-7		
検討対象範囲に調査無し																	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

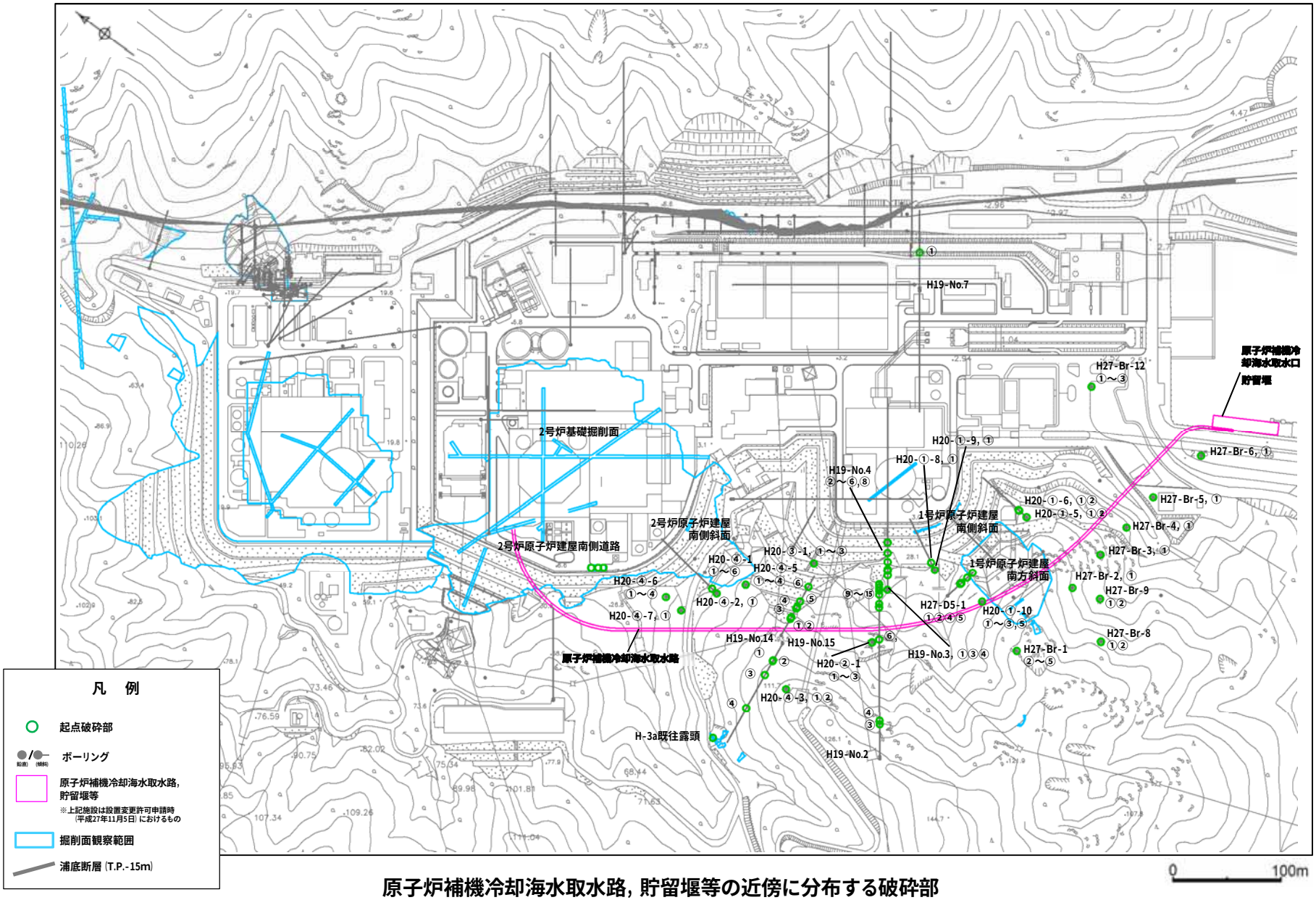
注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑A坑での値を示す。

余白

4　原子炉補機冷却海水取水路，貯留堰等

連続性評価の具体的プロセス（原子炉補機冷却海水取水路，貯留堰等）

- 重要施設のうち，原子炉補機冷却海水取水路，貯留堰等の近傍に分布する下記の破砕部の連続性評価の具体的プロセスを示す。



原子炉補機冷却海水取水路，貯留堰等の近傍に分布する破砕部

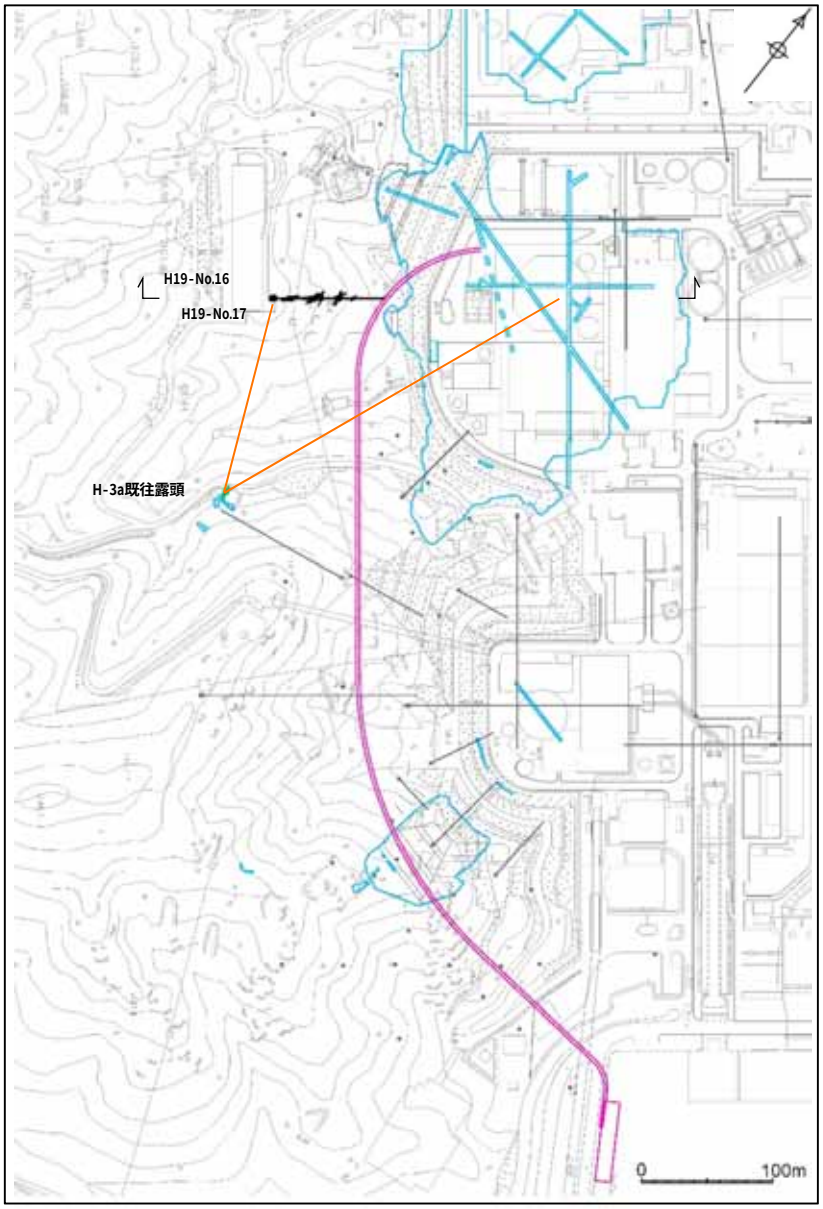
連続性評価の具体的プロセス（原子炉補機冷却海水取水路，貯留堰等：起点破砕部リスト）

No.	起点		破砕帯名	ページ
	名称	番号		
1	H-3a既往露頭	-	H-3a	参考1-87
2	H27-Br-1	③	f-br-1-3	参考1-91
3	H20-④-1	②	D-20	参考1-95
4	H27-Br-8	②	非モデル化	参考1-99
5	H27-Br-1	④	f-br-1-4	参考1-103
6	H19-No.2	④	非モデル化	参考1-107
7	H20-④-5	①	D-20	参考1-111
8	H19-No.14	③	D-20	参考1-115
9	H19-No.2	⑫	D-3	参考1-119
10	H19-No.7	①	D-24	参考1-123
11	2号炉原子炉建屋南側道路，H-3a破砕帯	-	H-3a	参考1-127
12	H20-②-1	①	f-②-1-1	参考1-131
13	H19-No.14	⑤	D-1	参考1-135
14	H27-Br-4	①	非モデル化	参考1-139
15	H27-Br-6	①	f-br-6-1	参考1-143
16	H20-④-7	①	f-④-7-1	参考1-147
17	H27-Br-2	①	D-7	参考1-151
18	H27-D5-1	①	D-4	参考1-155
19	H20-④-6	②	f-④-6-2	参考1-159
20	H19-No.4	④	f-12-4	参考1-163
21	H20-①-9	①	D-4	参考1-167
22	H20-④-5	③	f-④-9-1	参考1-171
23	H20-②-1	③	f-②-1-3	参考1-175
24	H20-④-1	⑤	f-④-1-4	参考1-179
25	H20-①-8	①	D-4	参考1-183
26	H19-No.4	⑥	f-4-3	参考1-187
27	H19-No.14	④	f-④-5-3	参考1-191
28	H20-④-1	⑥	D-21	参考1-195
29	H27-Br-3	①	非モデル化	参考1-199
30	H20-①-5	②	非モデル化	参考1-203
31	H27-Br-5	①	f-br-5-1	参考1-207
32	H20-④-1	①	f-④-2-1	参考1-211
33	H20-④-5	④	f-④-5-3	参考1-215
34	H27-Br-12	③	f-br-12-3	参考1-219
35	H20-①-10	②	f-①-10-2	参考1-223
36	H20-①-6	②	非モデル化	参考1-227
37	H20-①-10	①	D-4	参考1-231
38	H20-④-5	②	D-21	参考1-235
39	2号炉原子炉建屋南側道路，H-3b破砕帯	-	H-3b	参考1-239
40	H20-③-1	③	D-2	参考1-243
41	H20-④-2	①	f-④-2-1	参考1-247
42	H27-Br-8	①	D-7	参考1-251
43	H20-④-6	①	f-④-6-1	参考1-255
44	H27-D5-1	⑤	D-46	参考1-259
45	H19-No.14	②	f-14-2	参考1-263

No.	起点		破砕帯名	ページ
	名称	番号		
46	H27-Br-12	①	f-br-12-1	参考1-267
47	H27-Br-12	②	f-br-12-2	参考1-271
48	H19-No.15	①	f-15-1	参考1-275
49	H27-Br-1	②	f-br-1-2	参考1-279
50	H27-Br-9	②	非モデル化	参考1-283
51	H19-No.15	②	f-15-2	参考1-287
52	H19-No.4	②	f-2-10	参考1-291
53	H19-No.4	⑤	f-2-12	参考1-295
54	2号炉原子炉建屋南側道路，H-3c破砕帯	-	H-3c	参考1-299
55	H19-No.2	⑨	D-2	参考1-303
56	H19-No.2	⑭	f-2-11	参考1-307
57	H19-No.2	⑮	f-2-12	参考1-311
58	H19-No.3	④	f-2-12	参考1-315
59	H19-No.4	③	f-2-11	参考1-319
60	H20-①-5	①	D-43	参考1-323
61	H19-No.2	⑬	f-2-10	参考1-327
62	H27-D5-1	②	D-45	参考1-331
63	H27-D5-1	④	f-d5-1-4	参考1-335
64	H19-No.2	③	f-15-1	参考1-339
65	H19-No.2	⑪	f-2-8	参考1-343
66	H20-①-10	③	D-45	参考1-347
67	H20-②-1	②	f-②-1-2	参考1-351
68	H20-④-1	④	f-④-1-3	参考1-355
69	H27-Br-9	①	非モデル化	参考1-359
70	H19-No.2	⑥	f-2-3	参考1-363
71	H19-No.2	⑩	f-2-7	参考1-367
72	H20-④-6	③	f-④-6-3	参考1-371
73	H27-Br-1	⑤	f-br-1-5	参考1-375
74	H20-④-1	③	f-④-1-2	参考1-379
75	H20-④-3	②	f-④-3-1	参考1-383
76	H20-④-6	④	f-④-6-4	参考1-387
77	H19-No.3	①	f-2-8	参考1-391
78	H19-No.4	⑧	f-4-5	参考1-395
79	H20-③-1	②	f-③-1-2	参考1-399
80	H19-No.14	⑥	f-14-5	参考1-403
81	H19-No.15	④	f-15-3	参考1-407
82	H19-No.3	③	f-2-10	参考1-411
83	H20-①-6	①	D-43	参考1-415
84	H20-④-3	①	f-15-3	参考1-419
85	H20-①-10	⑤	D-46	参考1-423
86	H19-No.14	①	f-14-1	参考1-427
87	H19-No.15	③	f-④-3-1	参考1-431
88	H20-③-1	①	f-③-1-1	参考1-435

余白

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H-3a既往露頭，H-3a破砕帯)



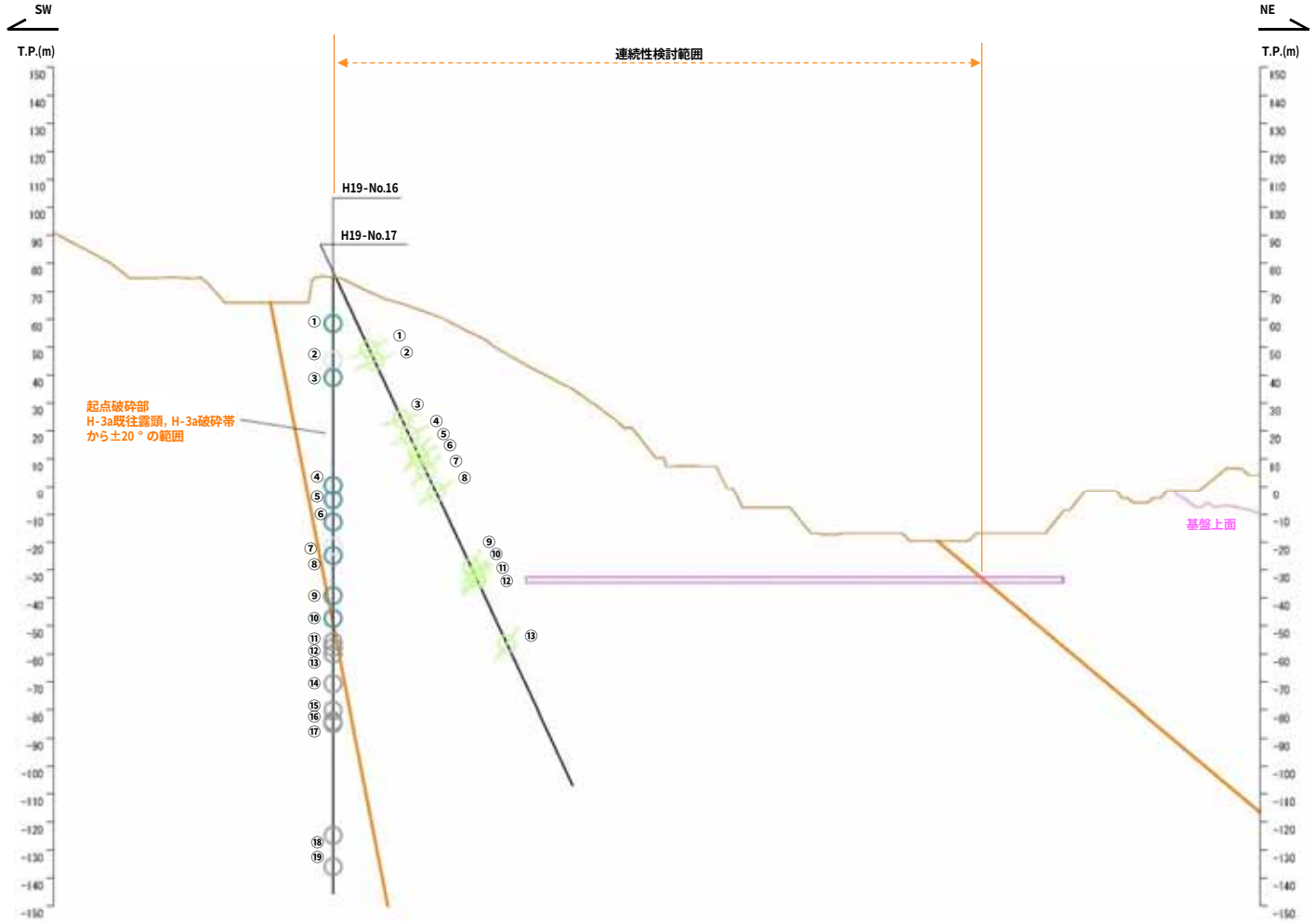
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

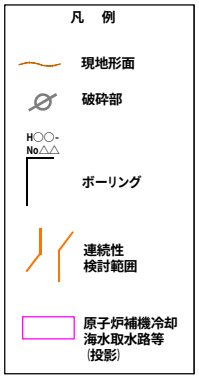
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H-3a既往露頭，H-3a破砕帯)





破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H-3a既往露頭，H-3a破砕帯)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
既往露頭	-	-	-	(T.P.67.0m)		N12W		61E		有	有	14R	RL		H-3a	参考2-79	
-	H19-No.16	範囲内	①	16.01	17 82	-	-	(60)	1	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※4
			②	28.92	29 04	-	-	(63)	2	無	-	-	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			③	35.33	35 35	-	-	(60)	1	有	有	-	-	×	f-17-2	参考2-132	※2
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	20	有	有	-	-	×	D-11	参考2-91	※2
			⑤	79.22	79 25	-	-	(55)	6	有	無	-	-	×	D-12	参考2-91	※2
			⑥	86.04	87 32	-	-	(44)	17	有	有	-	-	×	D-14	参考2-65	※3
			⑦	91.50	91 79	-	-	(60)	1	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	9	有	有	-	-	×	D-47	参考2-120	※3
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	13	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※2
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	17	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※4
		範囲外	⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	4	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	12	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	1	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	20	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	1	無	-	-	-		D-16	参考2-93	
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	7	無	-	-	-		D-17	参考2-98	
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	6	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	25	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	23	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.17	範囲内	①	27.65	27 73	N34E	46	57W	62	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32 75	N35E	47	51W	68	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
			③	55.45	55.46	N39E	51	52W	67	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62 22	N28E	40	50W	69	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69 25	N10E	22	62W	57	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	30	53W	66	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	26	77W	42	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85 61	N19W	7	36W	83	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	4	67W	52	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	1	57W	62	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118.25	N11E	23	59W	60	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119.29	N14E	26	57W	62	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	22	65W	54	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

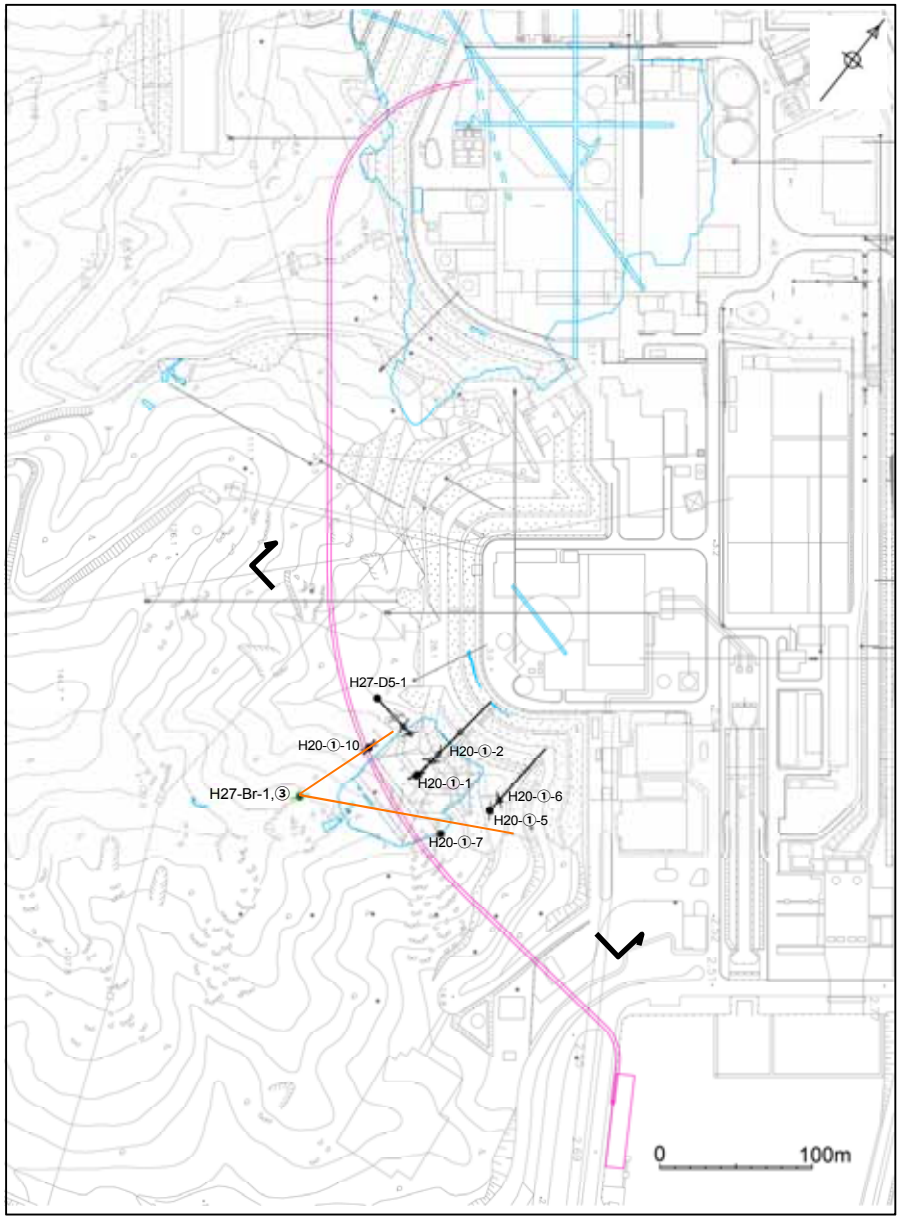
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，③)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

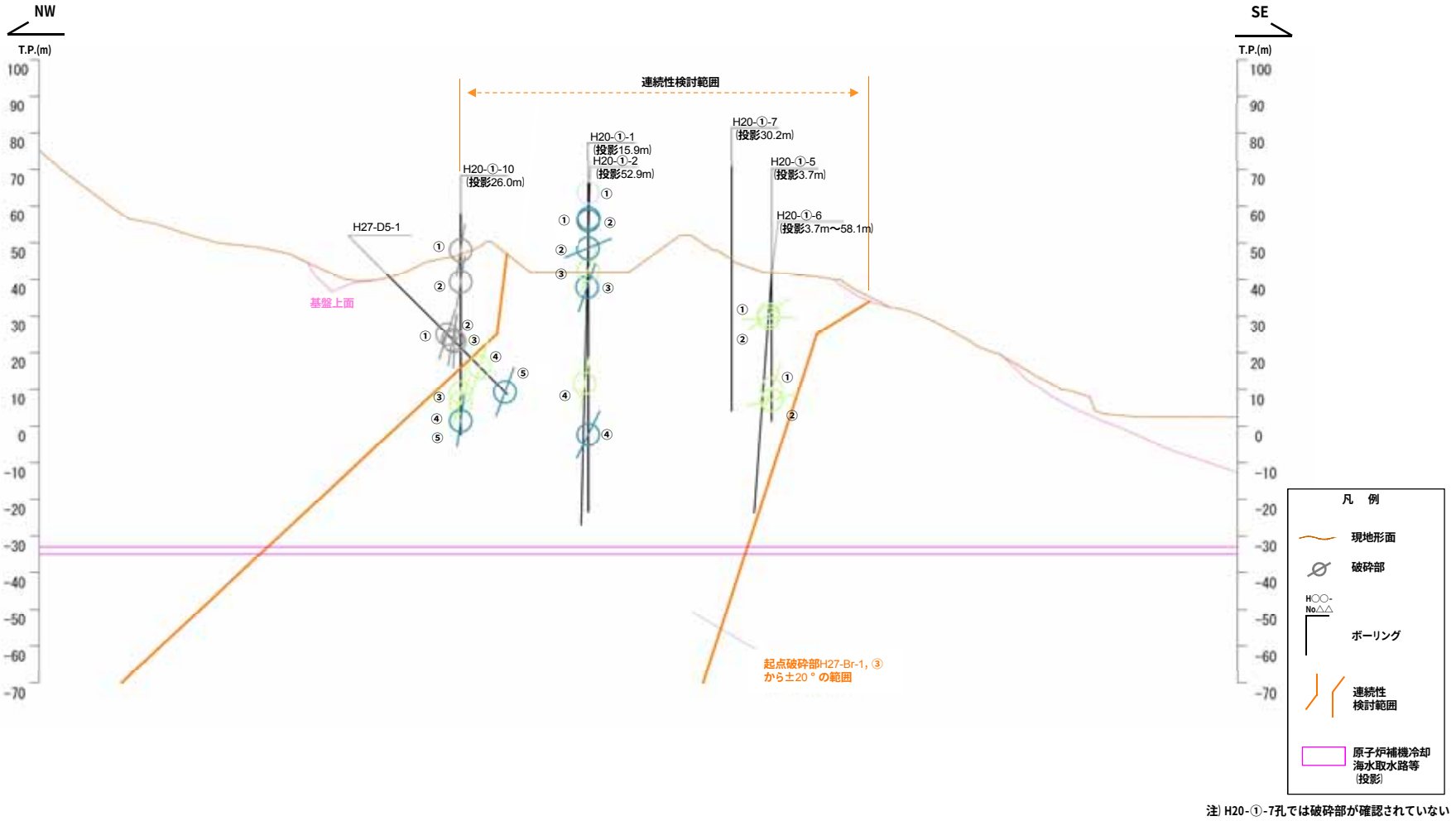
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，③)



注）H20-①-7孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-Br-1	-	-	③	67.63	70.76	N42E		64NW		有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
-	H27-D5-1	範囲外	①	22.91	23.23	N35E	7	74W	10	有	無	90	N		D-4	参考2-89	
			②	25.17	25.44	N31E	11	81W	17	有	無	80L	N		D-45	参考2-119	
			③	25.65	25.77	N21E	21	87W	23	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-71	
		範囲内	④	35.41	35.55	N2W	44	73W	9	有	無	80L	N		f-d5-1-4	参考2-178	
			⑤	45.12	45.37	N38E	4	72W	8	有	有	85R	N		D-46	参考2-119	
	H20-①-1		①	2 66	2.95	-	-	(70)	6	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	8 64	10.63	-	-	(74)	10	有	有	-	-	×	D-6	参考2-58	
			③	23.62	24.62	N25E	17	72W	8	有	無	60L	-	×	D-19	参考2-99	※1
			④	68.72	69.02	N36E	6	66W	2	有	無	30L	N,RL	×	f-①-1-3	参考2-138	※1
	H20-①-2		①	11.73	11.91	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			②	22.63	22.66	N62E	20	33N	31	有	有	55L	N,RL		f-①-2-2	参考2-138	
			③	32.90	34.91	N18W	60	73W	9	有	有	-	-		D-6	参考2-58	
			④	66.08	67.28	N4E	38	80W	16	有	無	88L	-		f-①-2-4	参考2-138	
	H20-①-5		①	31.28	31.44	N33W	75	75W	11	無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
			②	34.37	34.70	N89W	49	58S	6	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	85	60S	4	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	57	65S	2	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-10	範囲外	①	9 01	10.28	N1W	43	81W	17	有	無	77L	-		D-4	参考2-90	
			②	18.16	18.84	N26E	16	81W	17	無	-	90	-		f-①-10-2	参考2-140	
		範囲内	③	48.10	48.24	N6E	36	77W	13	無	-	80R	-		D-45	参考2-119	
			④	50.90	52.95	NS	42	71W	7	有	有	80R	N		D-5	参考2-71	
			⑤	55.99	56.05	N34E	8	83W	19	有	無	5L	LL		D-46	参考2-119	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，②)

拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

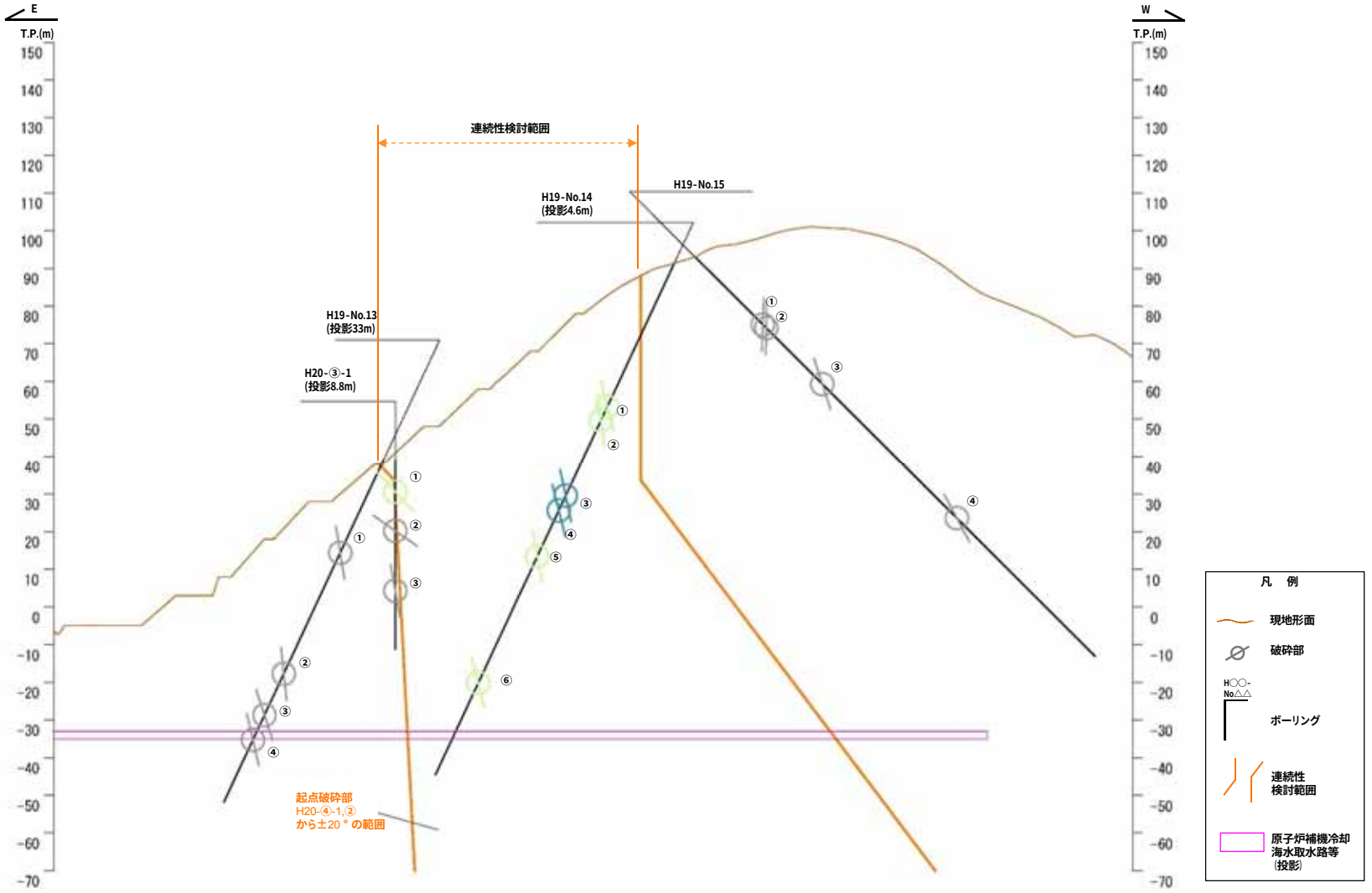
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，②)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-1	-	-	②	18 03	21.78	N31W		73W		有	無	65L	-		D-20	参考2-100	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	36	81W	8	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	31	84W	11	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	41	73W	0	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	46	78W	5	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	42	77W	4	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	49	83W	10	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	20	78W	5	有	無	56L	-	○	D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	1	77W	4	無	-	-	-	×	f-④-5-3	参考2-143	※2
			⑤	86.12	87.03	N20E	51	81W	8	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123 32	123.34	N32E	63	79W	6	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	24	88E	19	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	37	89E	18	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	51	74W	1	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97 82	97.85	N17E	48	64W	9	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	48	73S	0	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
		範囲外	②	18.46	18.53	N59E	90	61N	46	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	32	80W	7	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

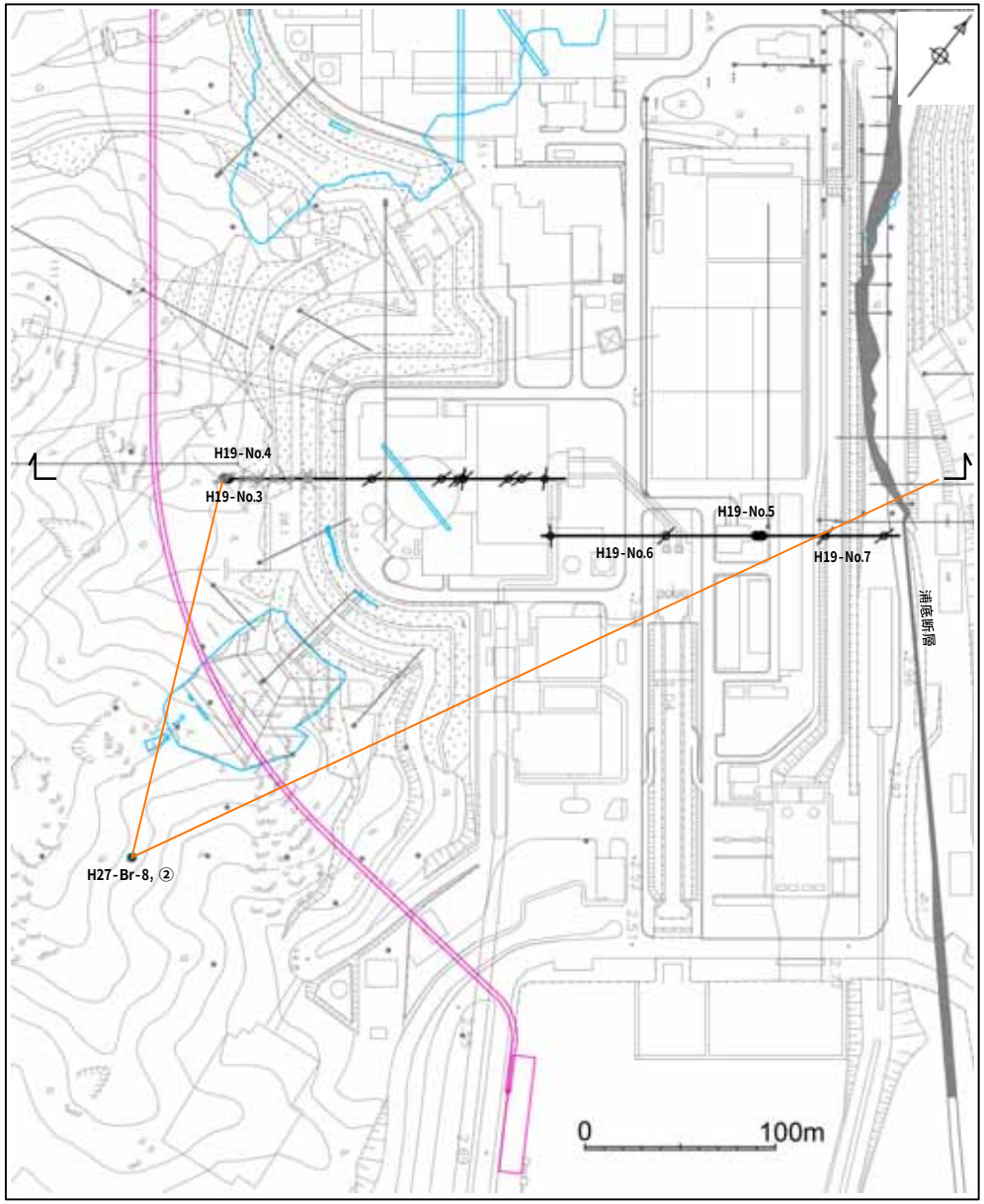
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-8，②)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

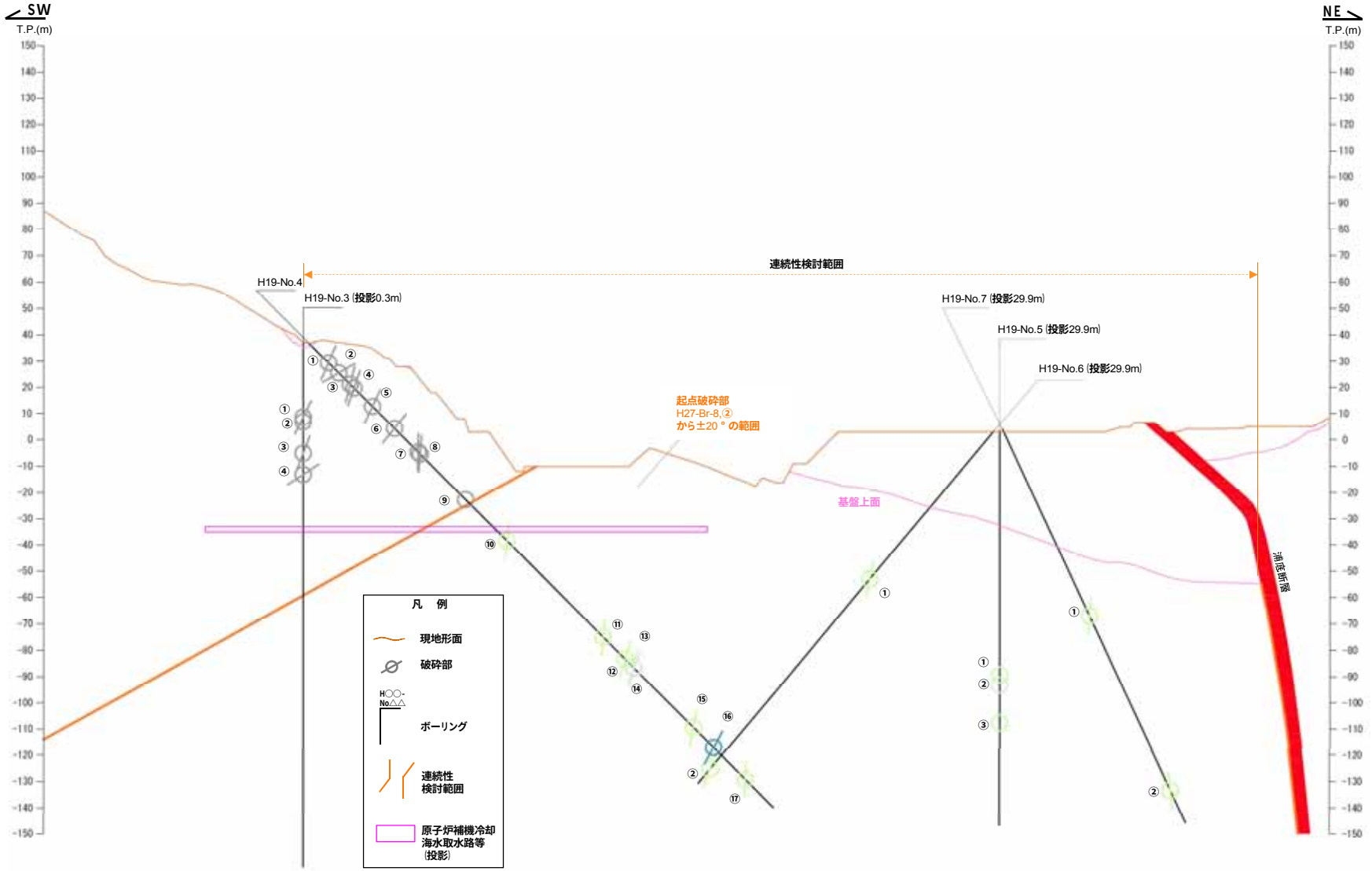
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-8，②)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-8，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度(m)	下端深度(m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-Br-8	-	-	②	65.81	67.33	N23E		56W		無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	9	80W	24	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	7	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	6	77W	21	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	14	67W	11	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	27	70W	14	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	12	62W	6	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	20	79W	23	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	30	73W	17	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	11	73W	17	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	6	72W	16	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	33	89W	33	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	94	86N	38	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
		範囲内	⑩	107 54	109.94	N16E	7	87W	31	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	8	87W	31	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171 69	174.88	N9E	14	78W	22	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175 27	175.28	N29W	52	78W	22	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175 64	175.65	N14E	9	76W	20	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207 69	207.72	N13E	10	83W	27	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	3	74W	18	有	無	64L	-	×	f-4-12	参考2-127	※2
			⑰	234 32	236.15	N28W	51	88W	32	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.5		①	92.63	92.65	-	-	(12)	44	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	96.46	96.49	-	-	(52)	4	有	有	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	110.93	110.95	-	-	(35)	21	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	17	82W	26	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167 53	168.54	N41W	64	69W	13	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.7		①	78.22	79.56	N7E	16	87W	31	有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
			②	151 35	151.38	N15E	8	86E	38	有	有	20L	-		f-8-11	参考2-128	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

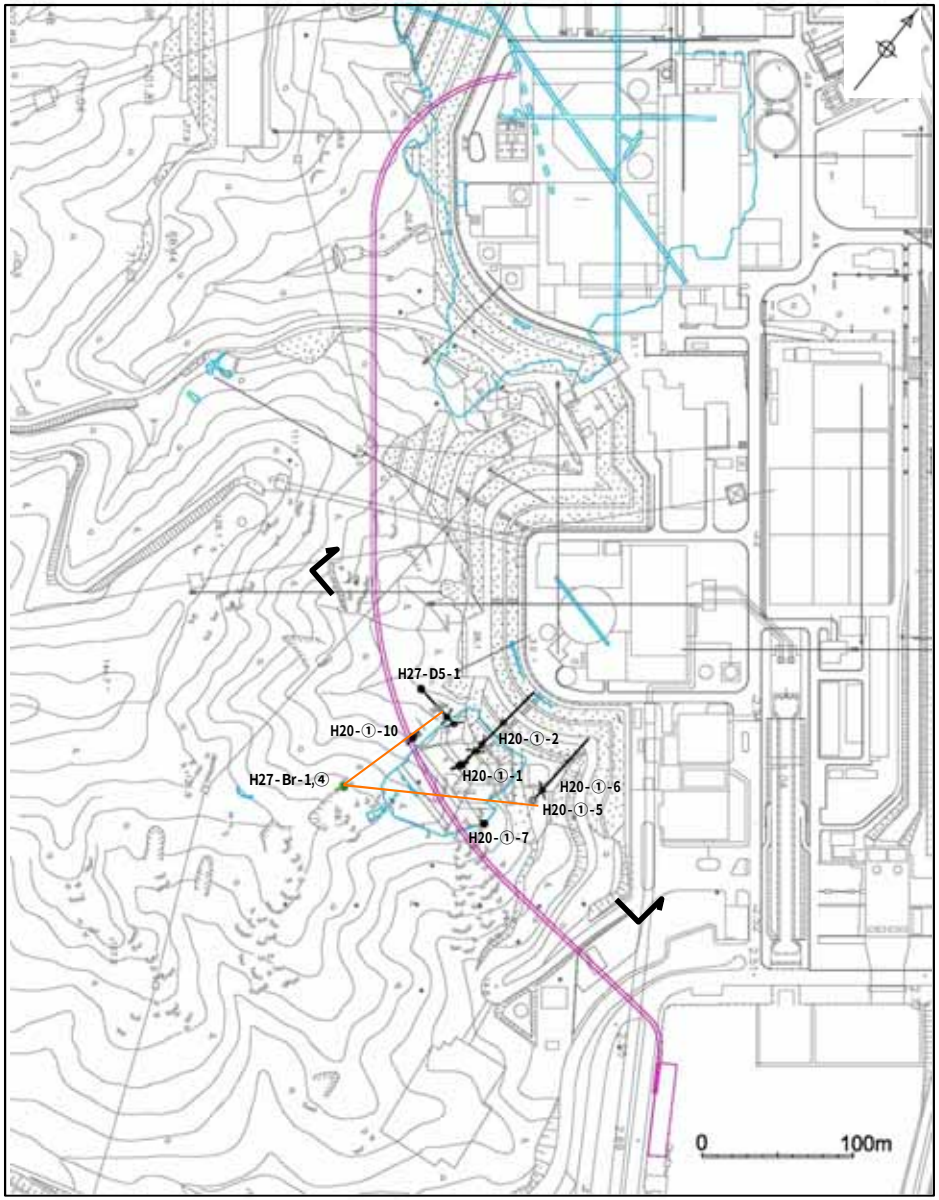
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，④)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

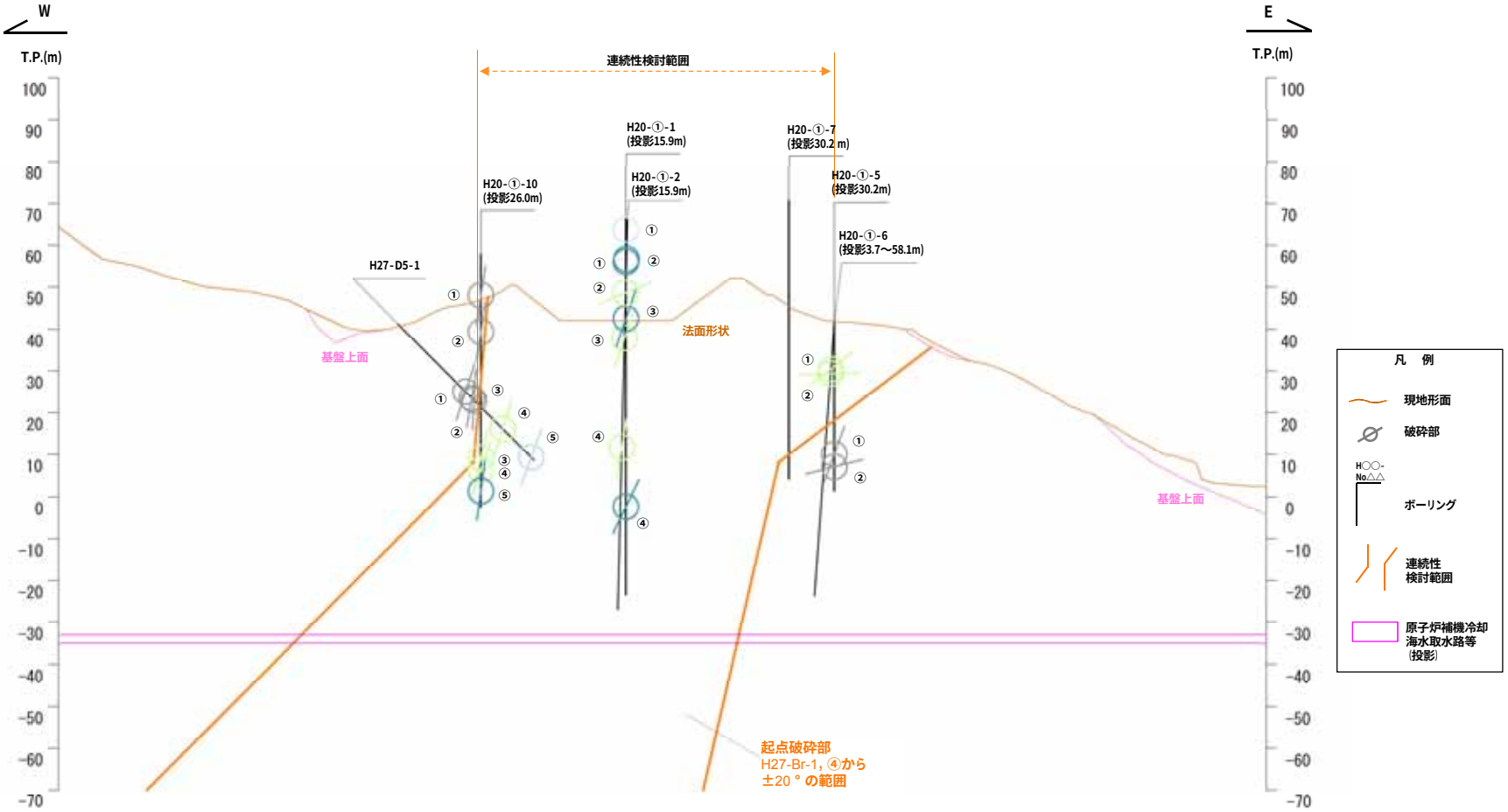
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，④)



注) H20-①-7孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-1	-	-	④	85.90	87 85	N34E		65W		有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
-	H27-D5-1	範囲外	①	22.91	23 23	N35E	1	74W	9	有	無	90	N		D-4	参考2-89	
			②	25.17	25.44	N31E	3	81W	16	有	無	80L	N		D-45	参考2-119	
			③	25.65	25 77	N21E	13	87W	22	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-71	
		範囲内	④	35.41	35 55	N2W	36	73W	8	有	無	80L	N		f-d5-1-4	参考2-178	
			⑤	45.12	45 37	N38E	4	72W	7	有	有	85R	N		D-46	参考2-119	
	H20-①-1		①	2.66	2.95	-	-	(70)	5	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	8.64	10 63	-	-	(74)	9	有	有	-	-	×	D-6	参考2-58	
			③	23.62	24 62	N25E	9	72W	7	有	無	60L	-	×	D-19	参考2-99	※1
			④	68.72	69 02	N36E	2	66W	1	有	無	30L	N,RL	×	f-①-1-3	参考2-138	※1
	H20-①-2		①	11.73	11.91	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			②	22.63	22 66	N62E	28	33N	32	有	有	55L	N,RL		f-①-2-2	参考2-138	
			③	32.90	34.91	N18W	52	73W	8	有	有	-	-		D-6	参考2-58	
			④	66.08	67 28	N4E	30	80W	15	有	無	88L	-		f-①-2-4	参考2-138	
	H20-①-5	範囲外	①	31.28	31.44	N33W	67	75W	10	無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
			②	34.37	34 70	N89W	57	58S	7	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6	範囲内	①	14.41	14.42	N53W	87	60S	5	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	65	65S	1	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-10	範囲外	①	9.01	10 28	N1W	35	81W	16	有	無	77L	-		D-4	参考2-90	
			②	18.16	18 84	N26E	8	81W	16	無	-	90	-		f-①-10-2	参考2-140	
		範囲内	③	48.10	48 24	N6E	28	77W	12	無	-	80R	-		D-45	参考2-119	
			④	50.90	52.95	NS	34	71W	6	有	有	80R	N		D-5	参考2-71	
			⑤	55.99	56 05	N34E	0	83W	18	有	無	5L	LL		D-46	参考2-119	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

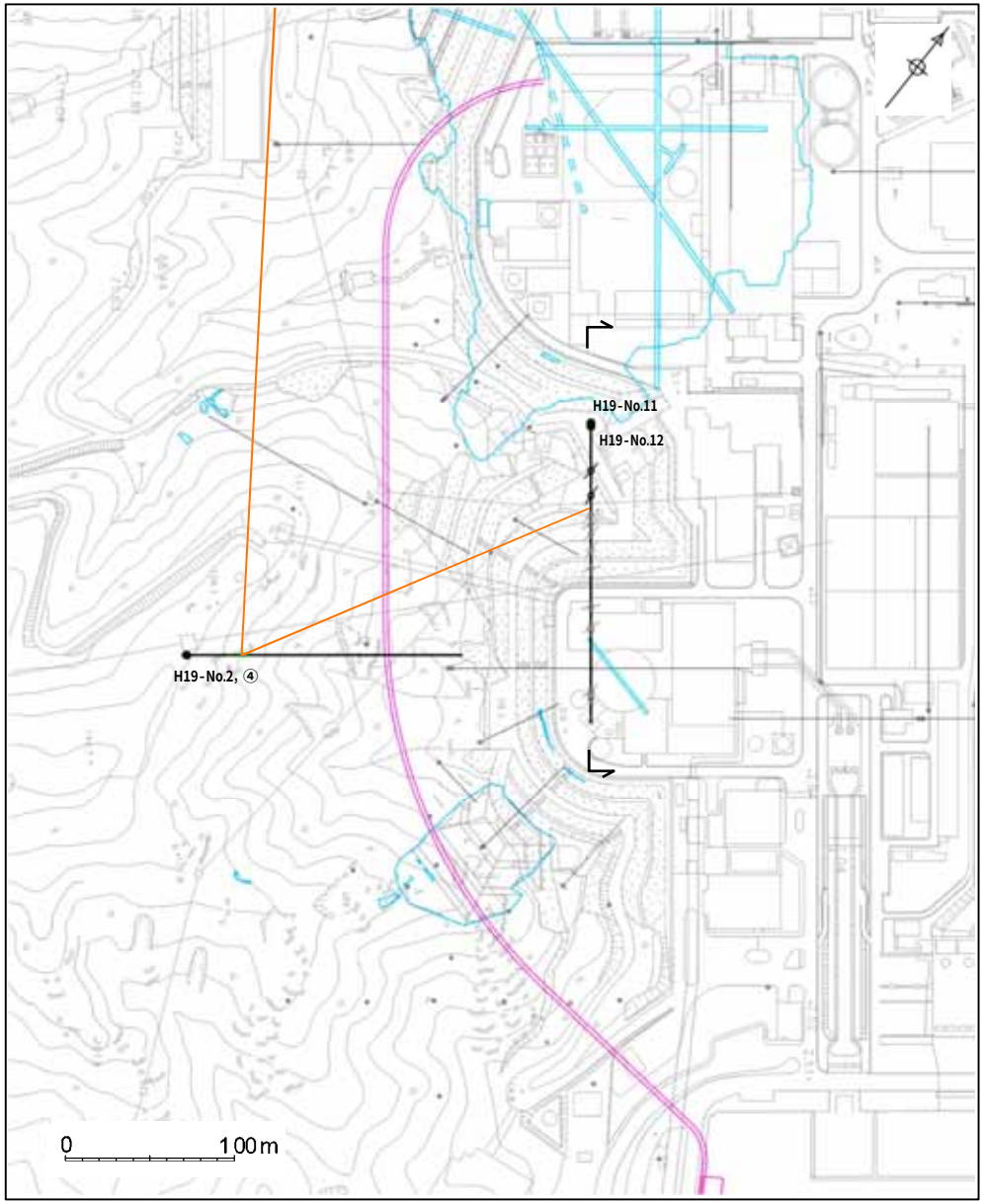
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No2，④)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

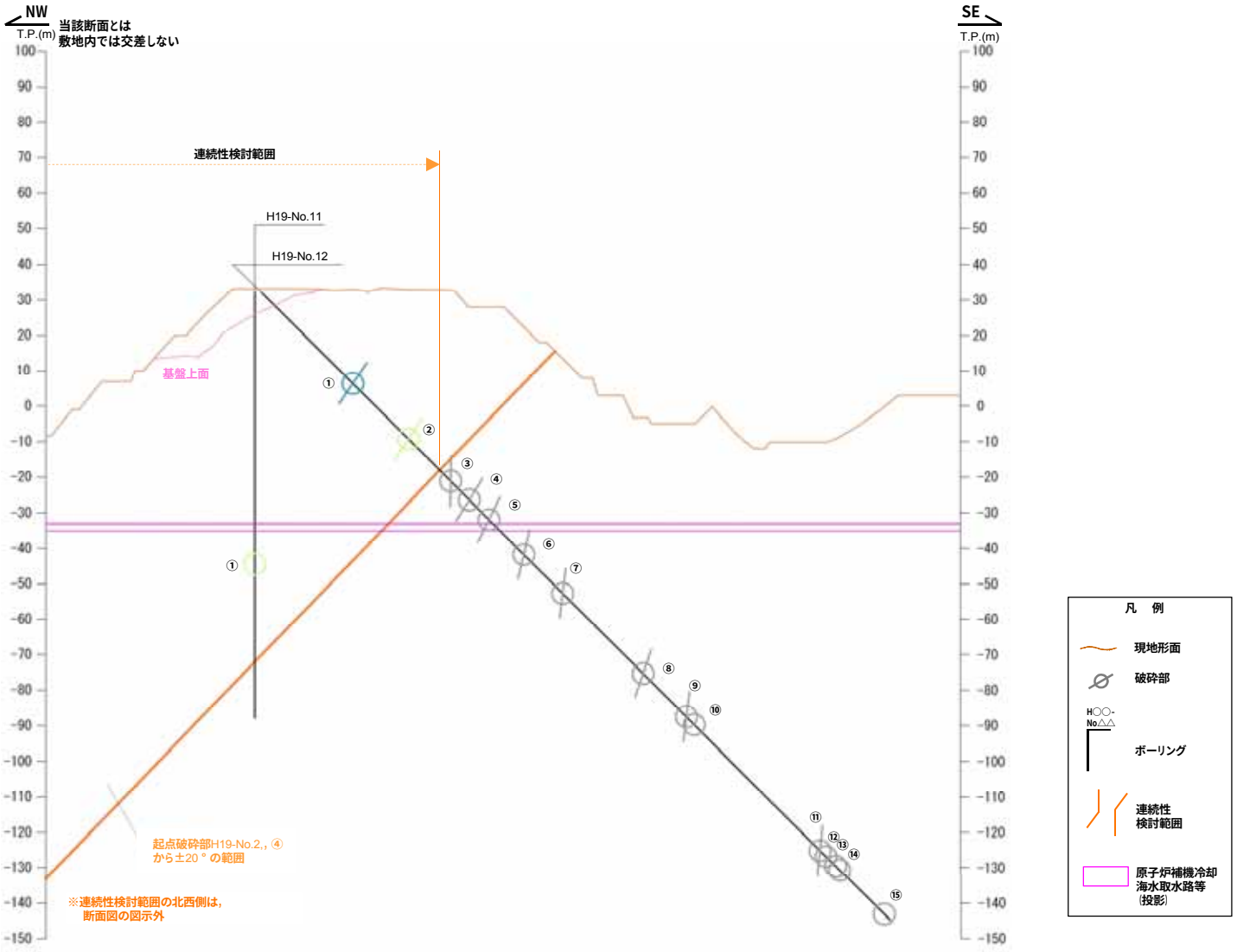
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No2，④)



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No2，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	④	44.90	45.75	N40E		26W		有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
-	H19-No.11	範囲内	①	76.60	77.00	-	-	(74)	48	有	無	-	-		D-2	参考2-86	
	H19-No.12	範囲内	①	36.35	36.58	-	-	-	-	有	無	57L	-	×	D-2	参考2-86	
			②	58.41	58.43	N4W	44	70W	44	有	有	75L	-		D-3	参考2-87	
		範囲外	③	75.04	75.08	N12E	28	89W	63	無	-	25L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	82.48	82.50	N25E	15	61W	35	無	-	56L	-		f-12-3	参考2-129	
			⑤	90.45	90.66	N8E	32	71W	45	無	-	30R	-		f-12-4	参考2-129	
			⑥	104.12	104.22	N4W	44	83W	57	有	無	50L	-		D-4	参考2-89	
			⑦	119.64	119.72	N37E	3	83W	57	有	無	42L	-		f-12-6	参考2-129	
			⑧	152.06	152.09	N40E	0	71W	45	有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129	
			⑨	169.38	169.46	N21E	19	84W	58	有	無	85R	-		f-12-8	参考2-130	
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-		D-5	参考2-70	
			⑪	222.85	222.88	N14E	26	85W	59	有	無	24L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-		D-6	参考2-57	
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-		D-19	参考2-99	
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	
			⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-		D-7	参考2-90	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

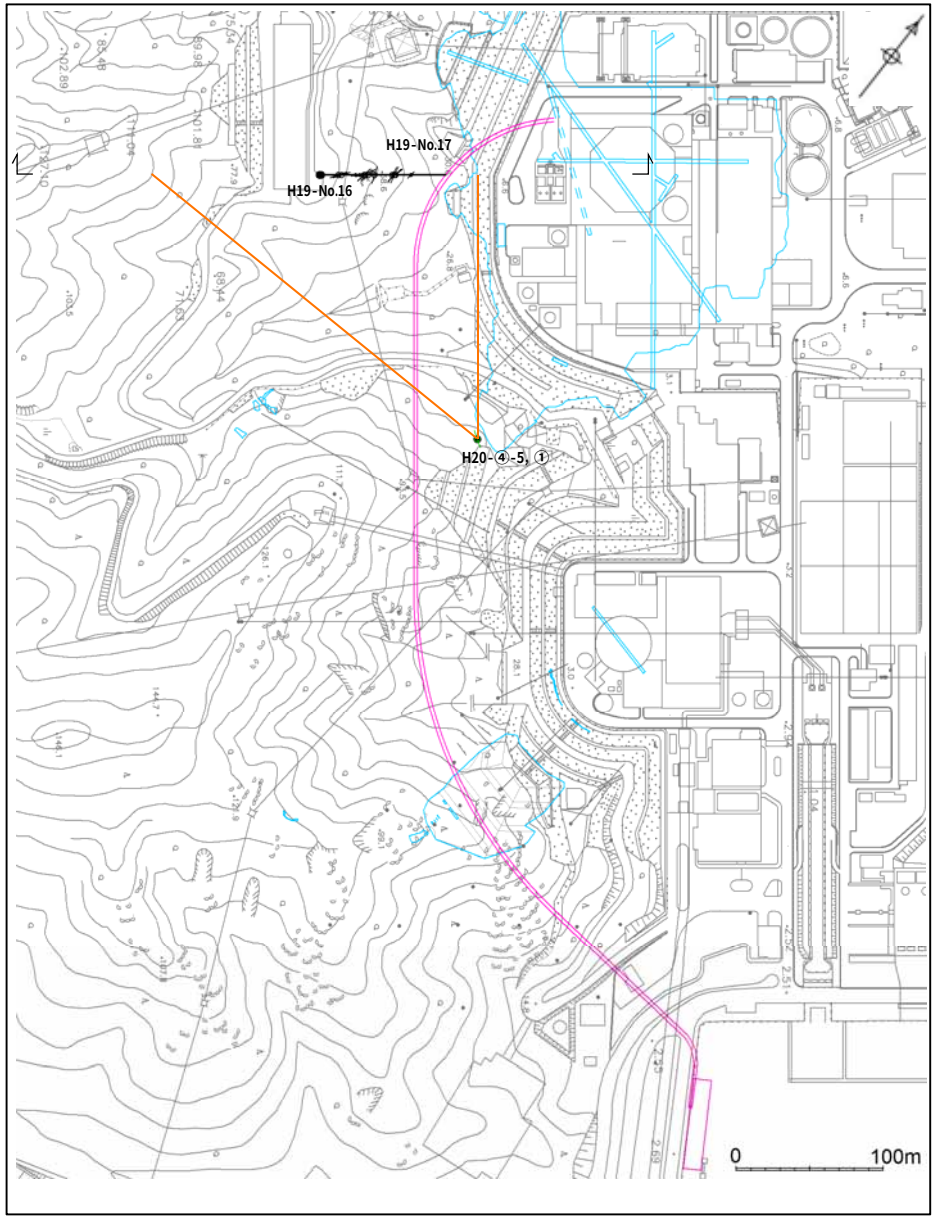
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

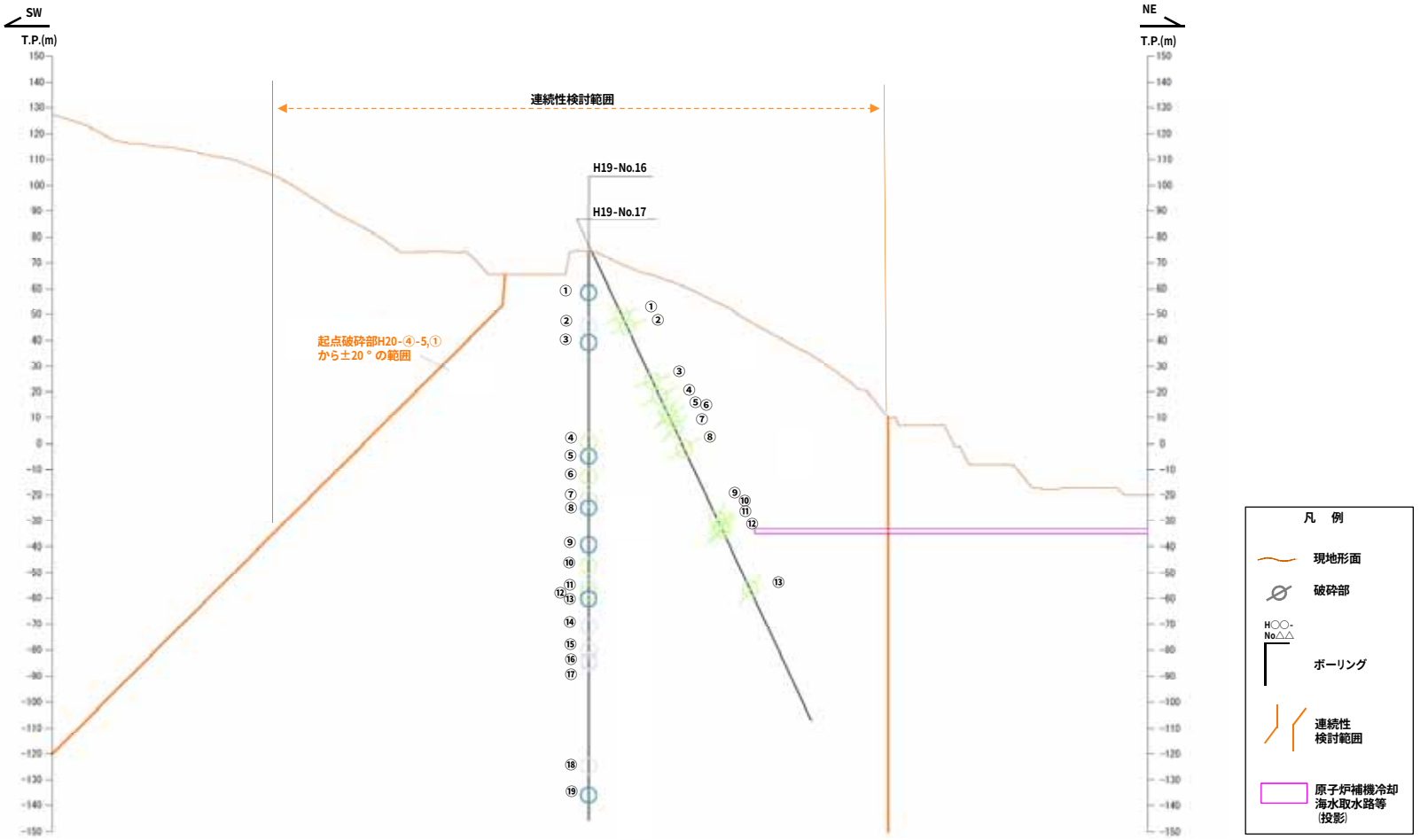
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，①)



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-5	-	-	①	7 85	9.71	N56W		70S		有	有	40L (不明瞭)	-		D-20	参考2-100	
-	H19-No.16	範囲内	①	16.01	17.82	-	-	(60)	10	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※3
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	7	無	-	-	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	10	有	有	-	-	×	f-17-2	参考2-132	※3
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	29	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	15	有	無	-	-	×	D-12	参考2-91	※2
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	26	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	10	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	0	有	有	-	-	×	D-47	参考2-120	※3
			⑨	113.66	113 77	-	-	(74)	4	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※2
			⑩	121.85	122 21	-	-	(44)	26	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131 28	-	-	(57)	13	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133 07	-	-	(49)	21	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136 00	-	-	(60)	10	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※3
			⑭	145.25	145 35	-	-	(81)	11	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑮	154.74	154 81	-	-	(60)	10	無	-	-	-		D-16	参考2-93	
			⑯	158.45	158 51	-	-	(68)	2	無	-	-	-		D-17	参考2-98	
			⑰	159.23	159 62	-	-	(55)	15	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
			⑱	199.22	200 00	-	-	(86)	16	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑲	210.70	210 71	-	-	(84)	14	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※2
	H19-No.17		①	27 65	27.73	N34E	90	57W	13	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32 54	32.75	N35E	89	51W	19	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
			③	55.45	55.46	N39E	85	52W	18	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61 89	62.22	N28E	84	50W	20	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68 84	69.25	N10E	66	62W	8	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	74	53W	17	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75 60	75.90	N14E	70	77W	7	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82 83	85.61	N19W	37	36W	34	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115 63	N8W	48	67W	3	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117 79	N11W	45	57W	13	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118 25	N11E	67	59W	11	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119 29	N14E	70	57W	13	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144 37	N10E	66	65W	5	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

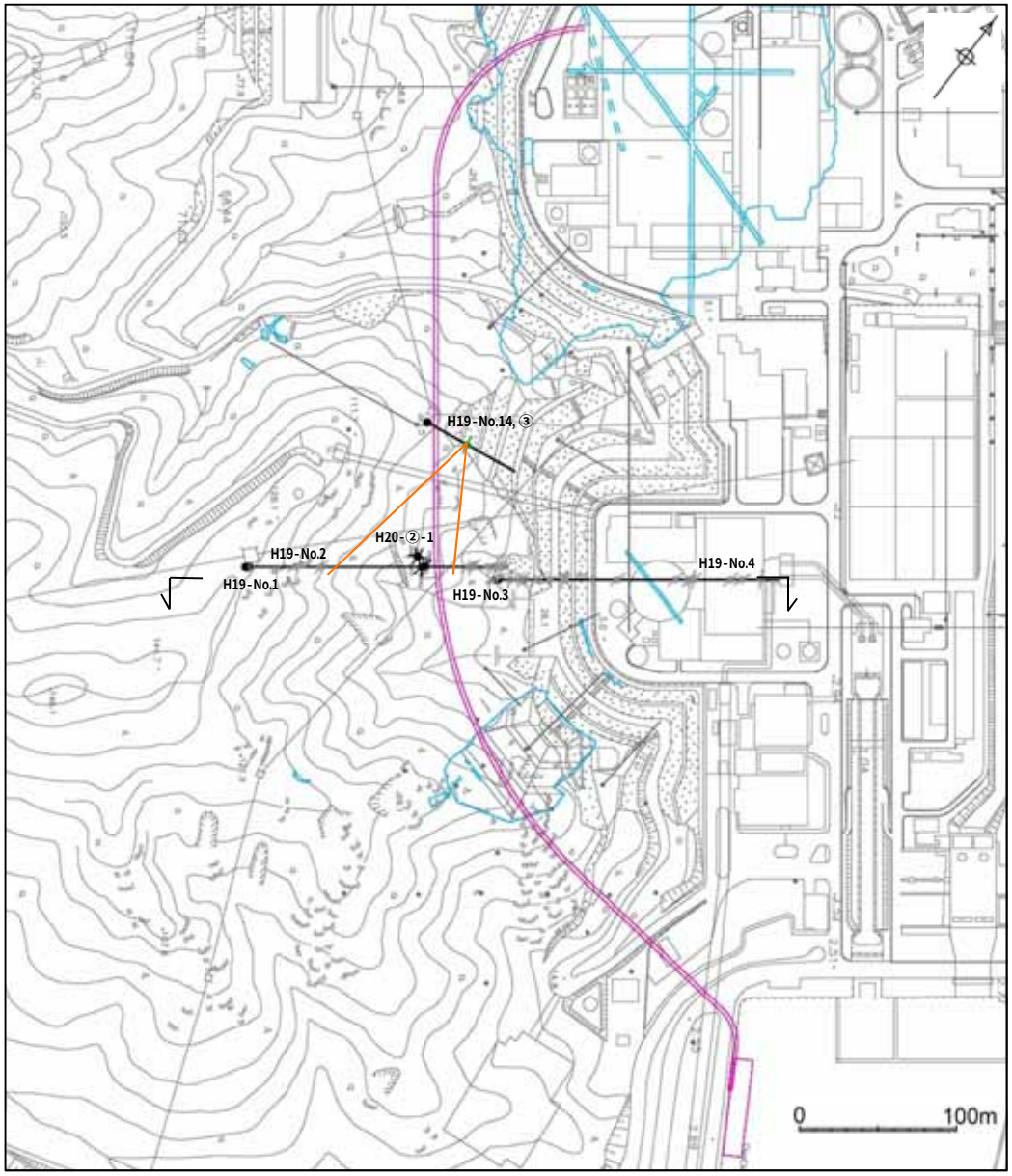
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，③)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

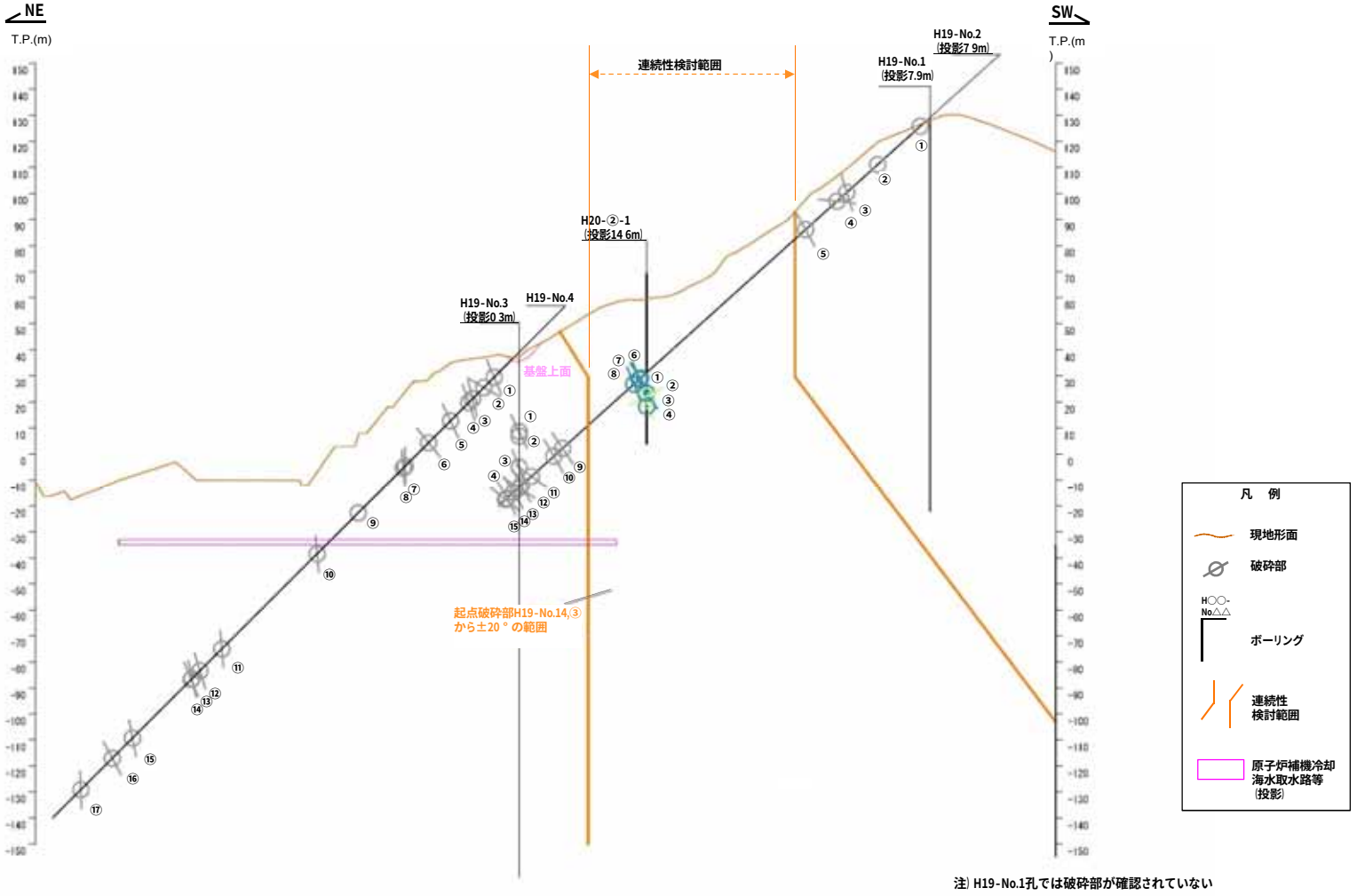
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，③)



注）H19-No.1孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	③	66.90	68.11	N11W		78W		有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
-	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39 88	N25E	36	82W	4	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45 75	N40E	51	26W	52	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61 30	N7E	18	68W	10	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
		範囲内	⑥	146.29	146.32	N7E	18	64W	14	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	20	70W	8	有	無	76R	-	○	D-20	参考2-101	※3
			⑧	149.71	149.84	N1E	12	72W	6	有	有	70L	N	×	D-1	参考2-37	
		範囲外	⑨	186.53	186.58	N21E	32	70W	8	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	13	66W	12	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	43	64W	14	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	11	66W	12	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	5	63W	15	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	2	64W	14	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	37	61W	17	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46 34	N3W	8	60W	18	有	無	80L	-	×	f-②-1-1	参考2-140	※3
			②	46.85	46.97	N63E	74	71S	7	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	41	71SW	7	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	13	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-37	
	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28 82	N32E	43	80W	2	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	-	-	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42 81	N17E	28	77W	1	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	48	67W	11	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11 53	N4W	7	70W	8	有	無	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16 31	N35E	46	62W	16	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22 26	N3E	14	79W	1	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	4	73W	5	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34 38	N12E	23	73W	5	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46 38	N29E	40	72W	6	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59 59	N10W	1	89W	11	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60 36	N71W	60	86N	16	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84 33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	27	87W	9	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	26	87W	9	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	20	78W	0	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	18	78W	0	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	25	76W	2	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	24	83W	5	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	31	74W	4	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	17	88W	10	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

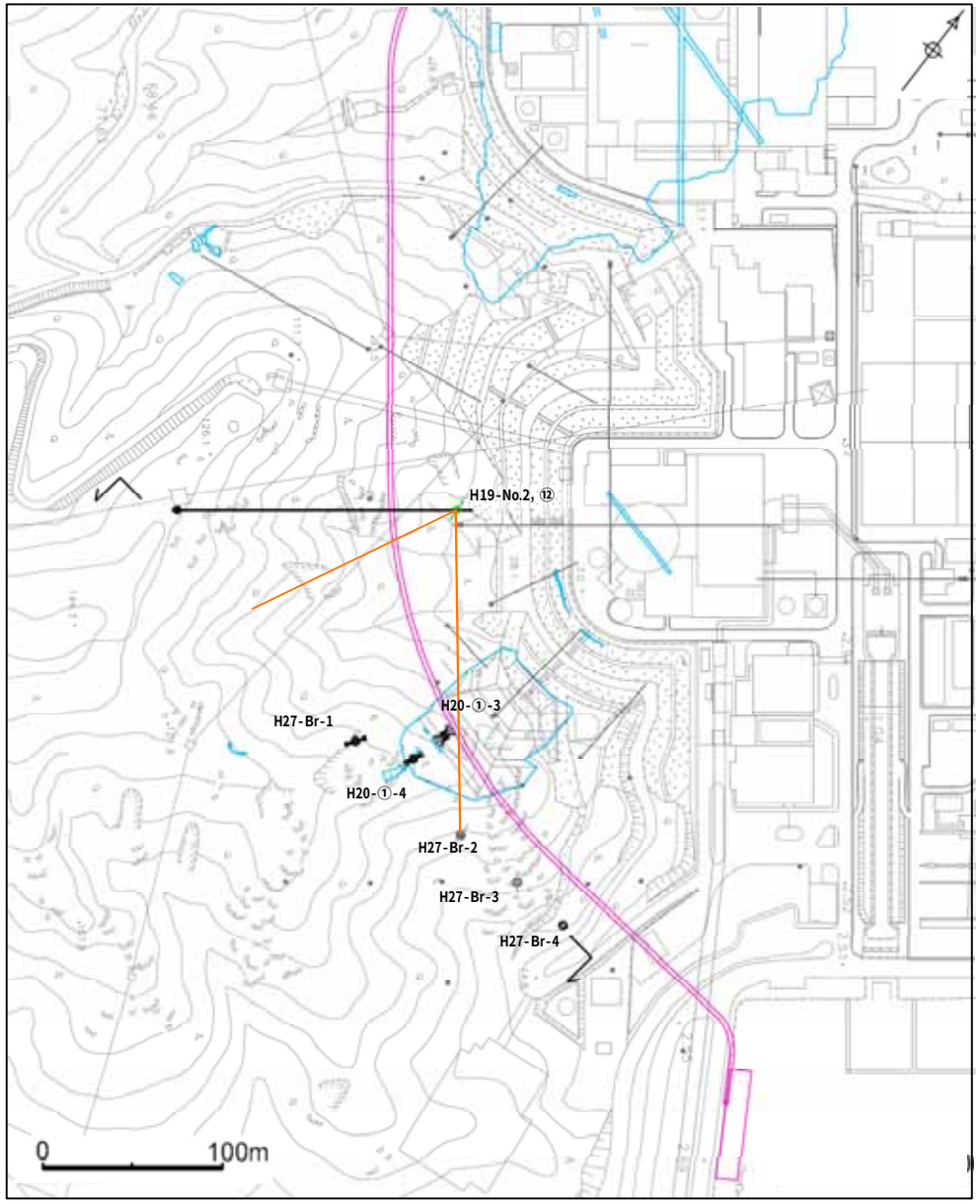
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑫)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

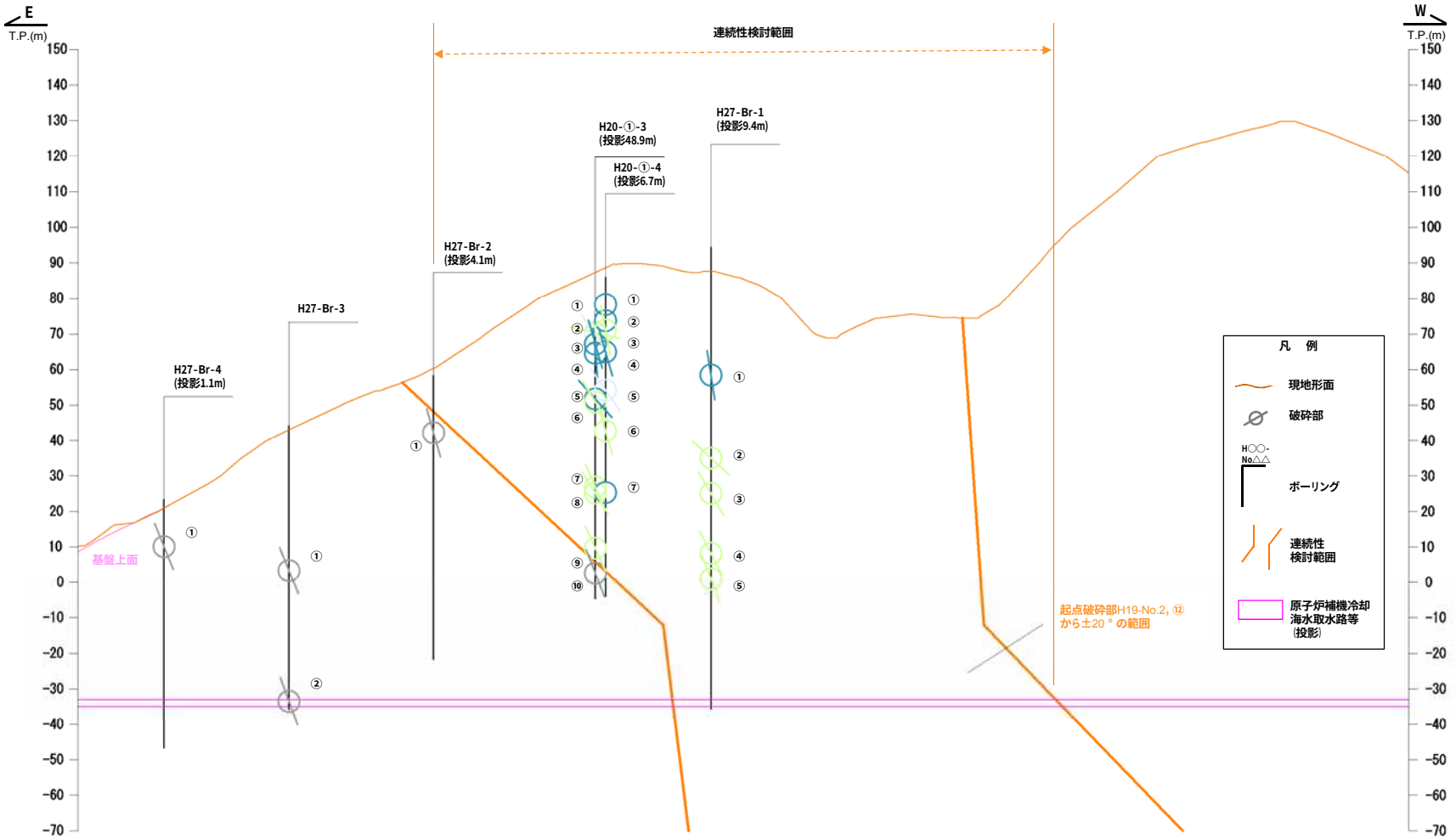
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑫)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑫)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No 2	-	-	⑫	207.94	208.69	NS		66W		有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	16	81W	15	有	有	76R	N	○	D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	31	45W	21	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	42	64NW	2	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	34	65W	1	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	46	73W	7	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	0	74W	8	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	51	73NW	7	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	38	76SW	10	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	8	68W	2	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	83	40N	26	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	11	55W	11	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	12	74W	8	有	有	55L	N,RL	×	D-6	参考2-58	※3
			④	11.06	11.17	N11W	11	85W	19	有	無	50L	-	×	f-①-3-4	参考2-139	※3
			⑤	23.28	23.62	N12E	12	48W	18	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	26	64W	2	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	35	69W	3	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	38	61W	5	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	49	71N	5	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
		範囲外	⑩	72 50	72.66	N40E	40	72W	6	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	19	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	※2
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	2	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※2
			③	12.70	15.25	N32E	32	80W	14	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	19	74W	8	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※2
			⑤	31.63	31.87	N6E	6	55W	11	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	36	76W	10	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	0	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※2

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

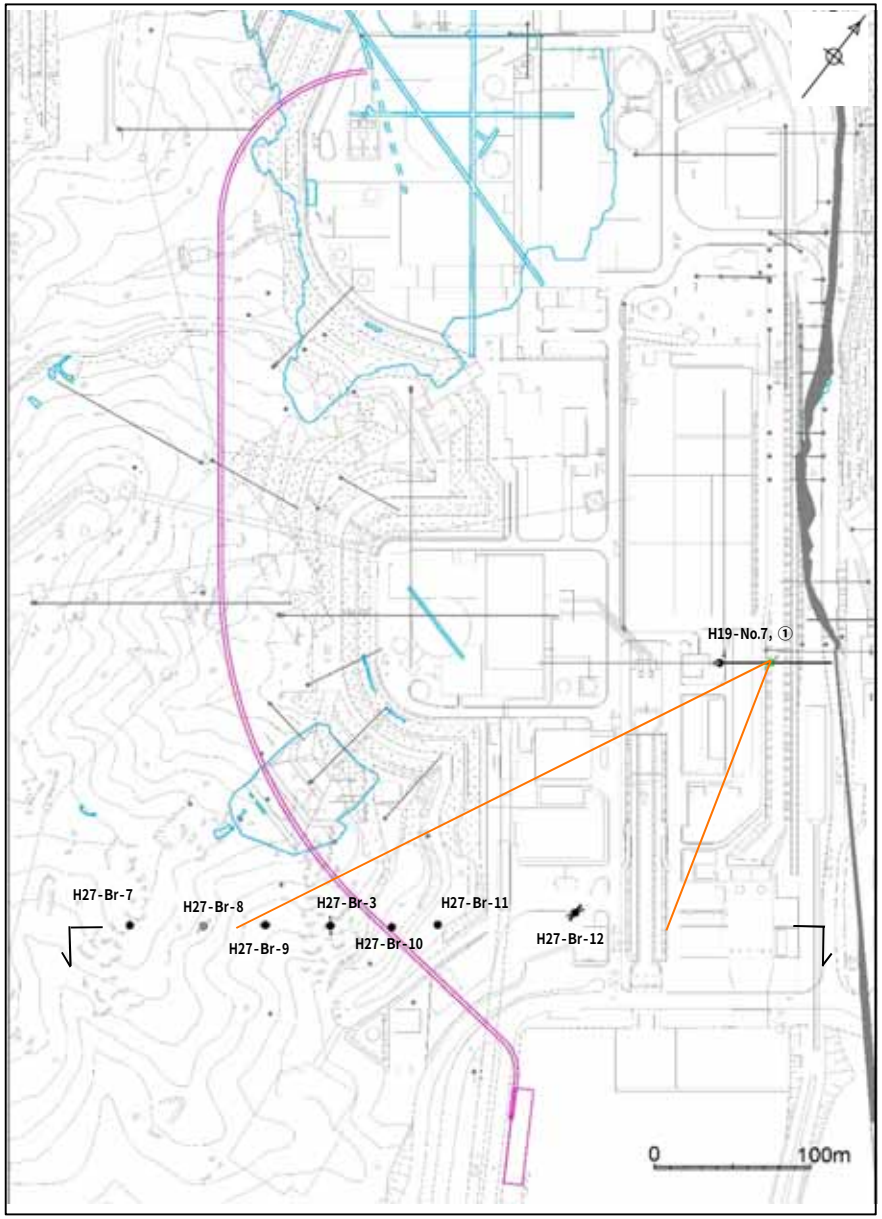
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.7，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

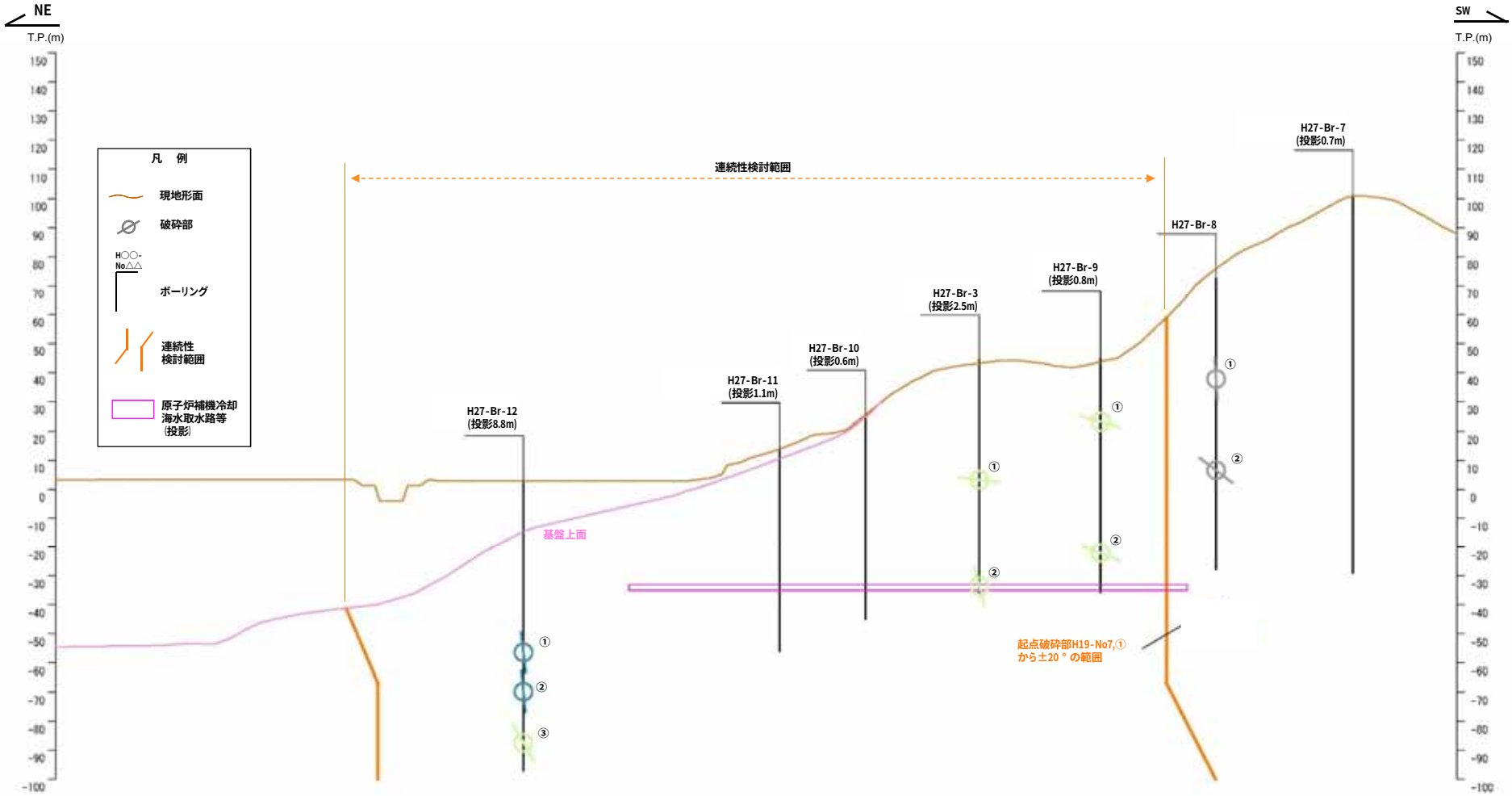
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.7，①)



注) H27-Br-7孔, H27-Br-10孔及びH27-Br-11孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.7，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No 7	-	-	①	78.22	79.56	N7E		87W		有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
-	H27-Br-3	範囲内	①	40 53	41.10	N51E	44	73NW	14	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77 72	77.90	N38W	45	76SW	11	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-8	範囲外	①	32.97	34.58	N9E	2	77SW	10	有	有	70L	N		D-7	参考2-91	
			②	65 81	67.33	N23E	16	78SW	9	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-9	範囲内	①	21 26	21.33	N45E	38	79SW	8	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	66 50	66.77	N48E	41	80SW	7	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-12		①	58.40	59.38	N7E	0	81SW	6	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	13	82SW	5	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89 68	90.32	N31E	24	83SW	4	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

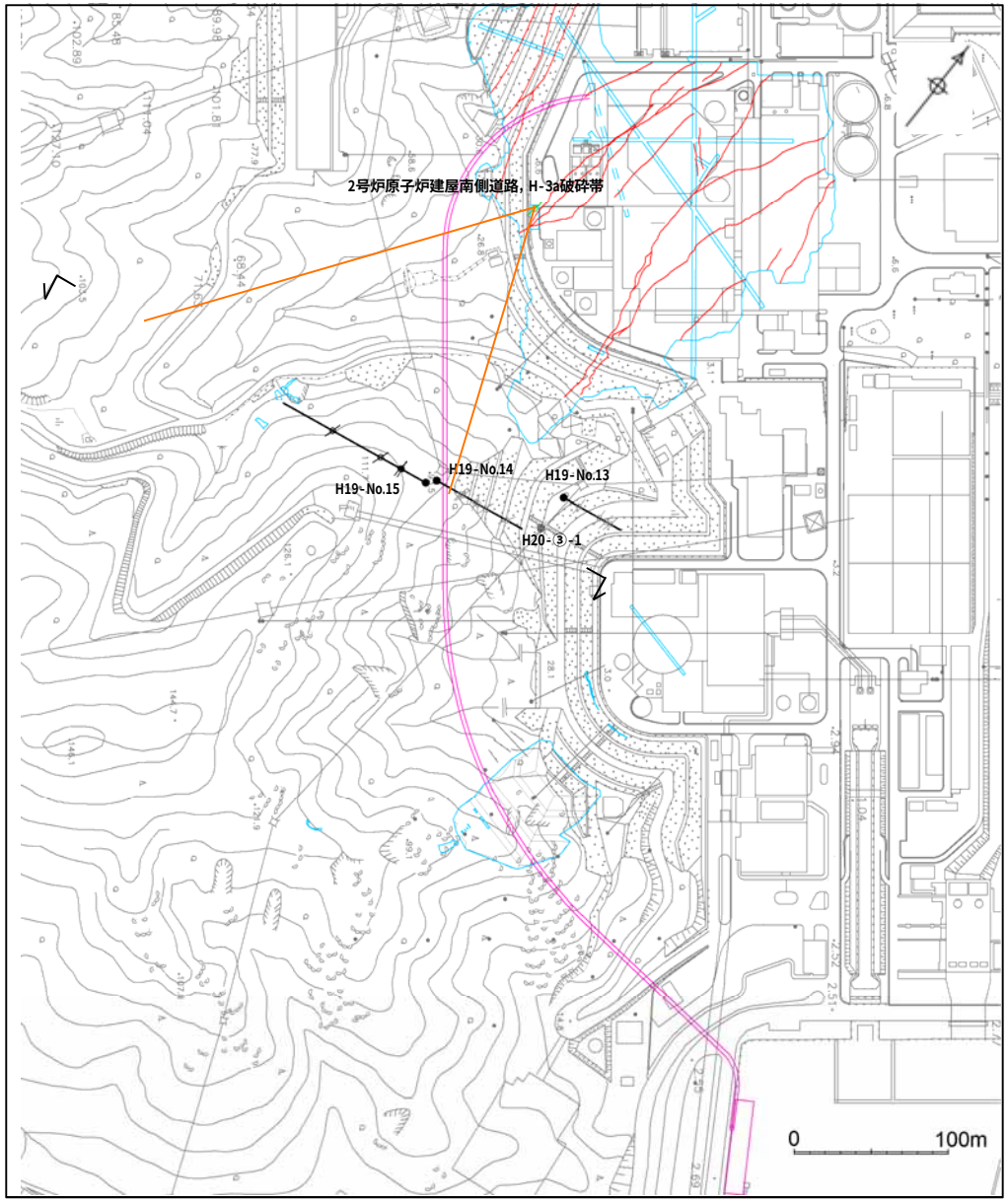
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，H-3a破砕帯)



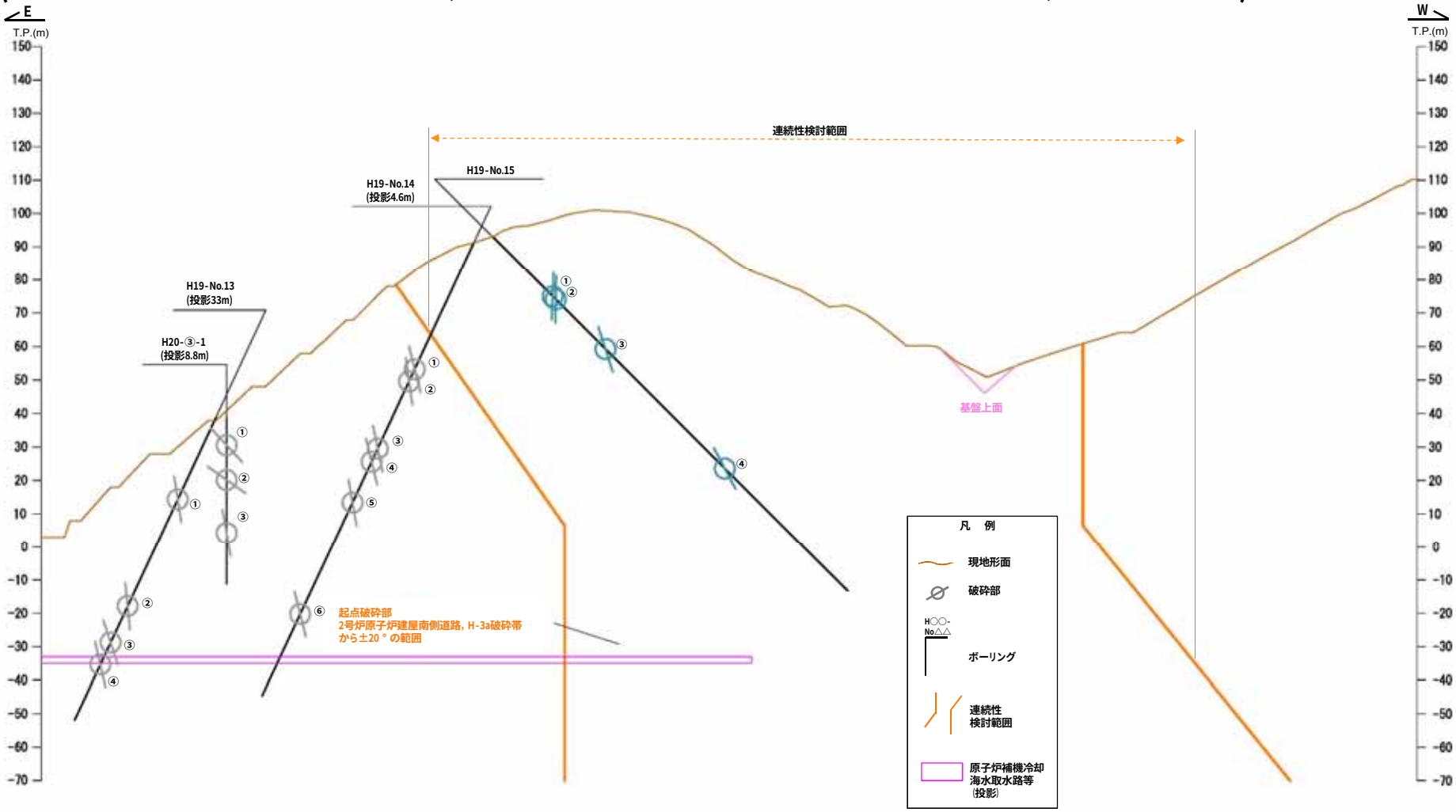
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設
- ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの
- 2号炉底盤破砕帯トレース

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，H-3a破砕帯)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，H-3a破砕帯)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
2号炉原子炉建屋南側道路	-	-	-	(T.P.6.5m)		N11E		75W		有	有	12L	RL		H-3a	参考2-78	
-	H19-No.13	範囲外	①	26 88	27.00	N5E	6	81W	6	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	11	84W	9	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74 52	74.59	N10E	1	73W	2	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	4	78W	3	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40 56	40.57	N11E	0	77W	2	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45 63	45.70	N18E	7	83W	8	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	22	78W	3	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	43	77W	2	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	9	81W	6	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123 32	123.34	N32E	21	79W	4	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24 58	24.67	N7W	18	88E	17	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25 83	25.93	N6E	5	89E	16	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	9	74W	1	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97 82	97.85	N17E	6	64W	11	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	90	73S	2	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	48	61N	44	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	10	80W	5	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

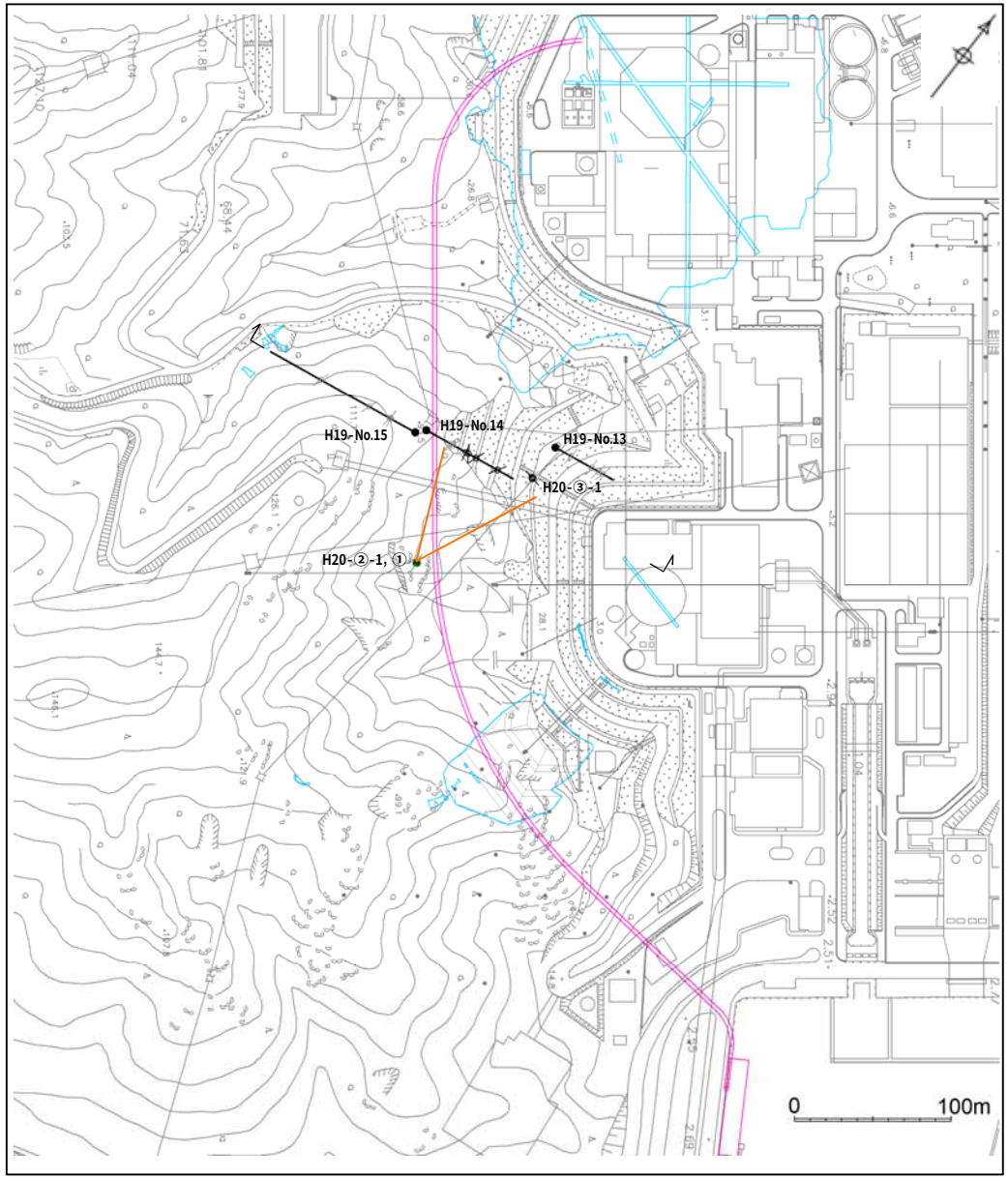
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-②-1，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

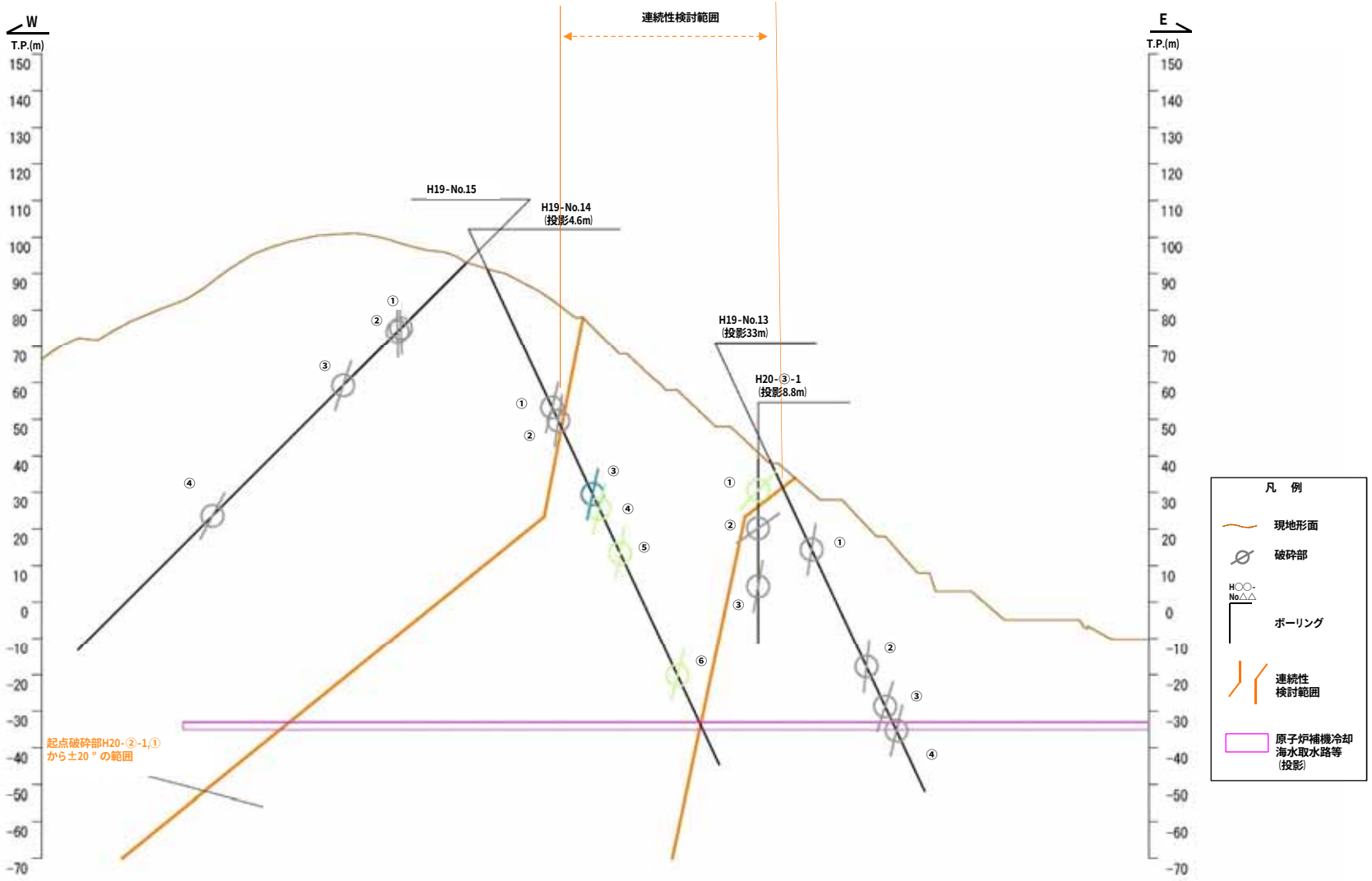
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-②-1，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-②-1，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-②-1	-	-	①	45.13	46.34	N3W		60W		有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	8	81W	21	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	3	84W	24	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	13	73W	13	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	18	78W	18	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	14	77W	17	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	21	83W	23	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
		範囲内	③	66.90	68.11	N11W	8	78W	18	有	無	56L	-	×	D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	29	77W	17	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	23	81W	21	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123 34	N32E	35	79W	19	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	4	88E	32	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	9	89E	31	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	23	74W	14	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	20	64W	4	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8 22	N79W	76	73S	13	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
		範囲外	②	18.46	18.53	N59E	62	61N	59	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	4	80W	20	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

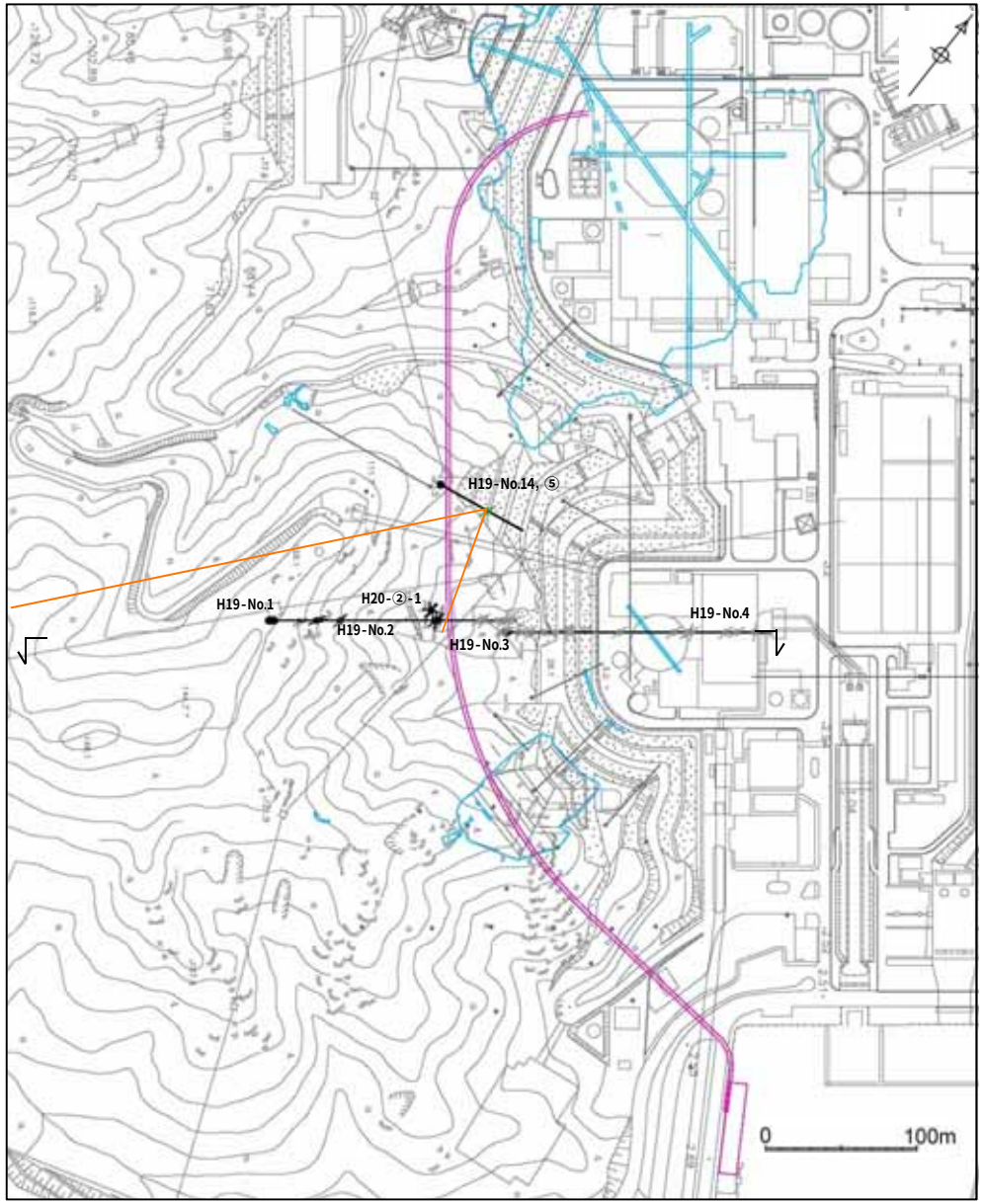
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，⑤)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

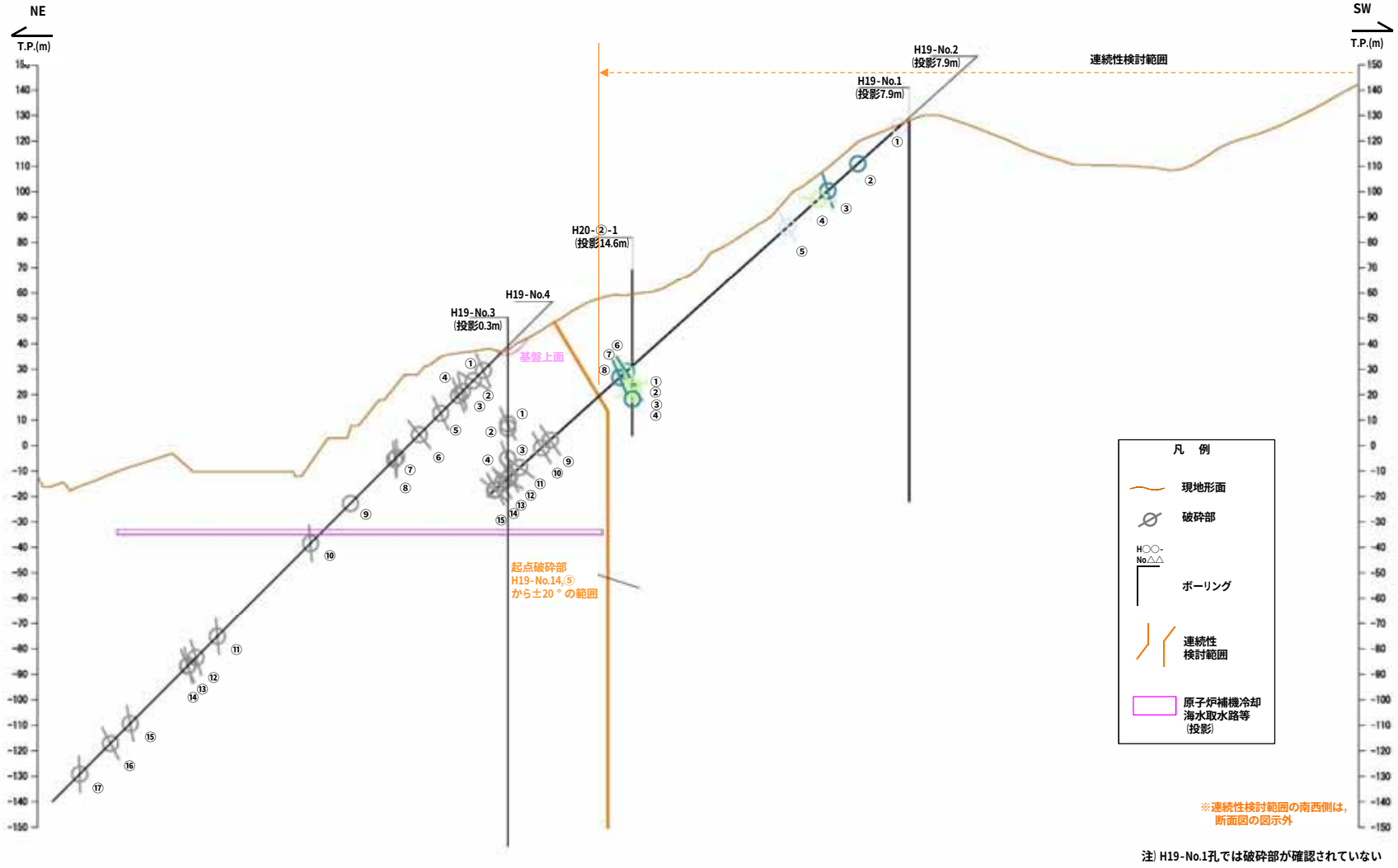
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，⑤)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	⑤	86.12	87.03	N20E		81W		有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※3
			③	39.83	39.88	N25E	5	82W	1	有	無	59R	-	×	f-15-1	参考2-131	※3
			④	44.90	45.75	N40E	20	26W	55	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	13	68W	13	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	13	64W	17	有	無	35R	-	×	f-2-3	参考2-125	※3
			⑦	147.04	147.48	N31W	51	70W	11	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	19	72W	9	有	有	70L	N	○	D-1	参考2-37	
		範囲外	⑨	186.53	186.58	N15E	5	61W	20	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	18	66W	15	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	12	64W	17	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	20	66W	15	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	26	63W	18	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	29	64W	17	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	6	61W	20	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	23	60W	21	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	43	71S	10	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	72	71SW	10	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	16	有	有	-	N,RL	○	D-1	参考2-37	
	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	12	80W	1	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	18	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	3	77W	4	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	17	67W	14	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	24	70W	11	有	無	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	15	62W	19	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	17	79W	2	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	27	73W	8	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	8	73W	8	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	9	72W	9	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	30	89W	8	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	89	86N	13	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	4	87W	6	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	5	87W	6	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	11	78W	3	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	49	78W	3	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	6	76W	5	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	7	83W	2	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	0	74W	7	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	48	88W	7	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

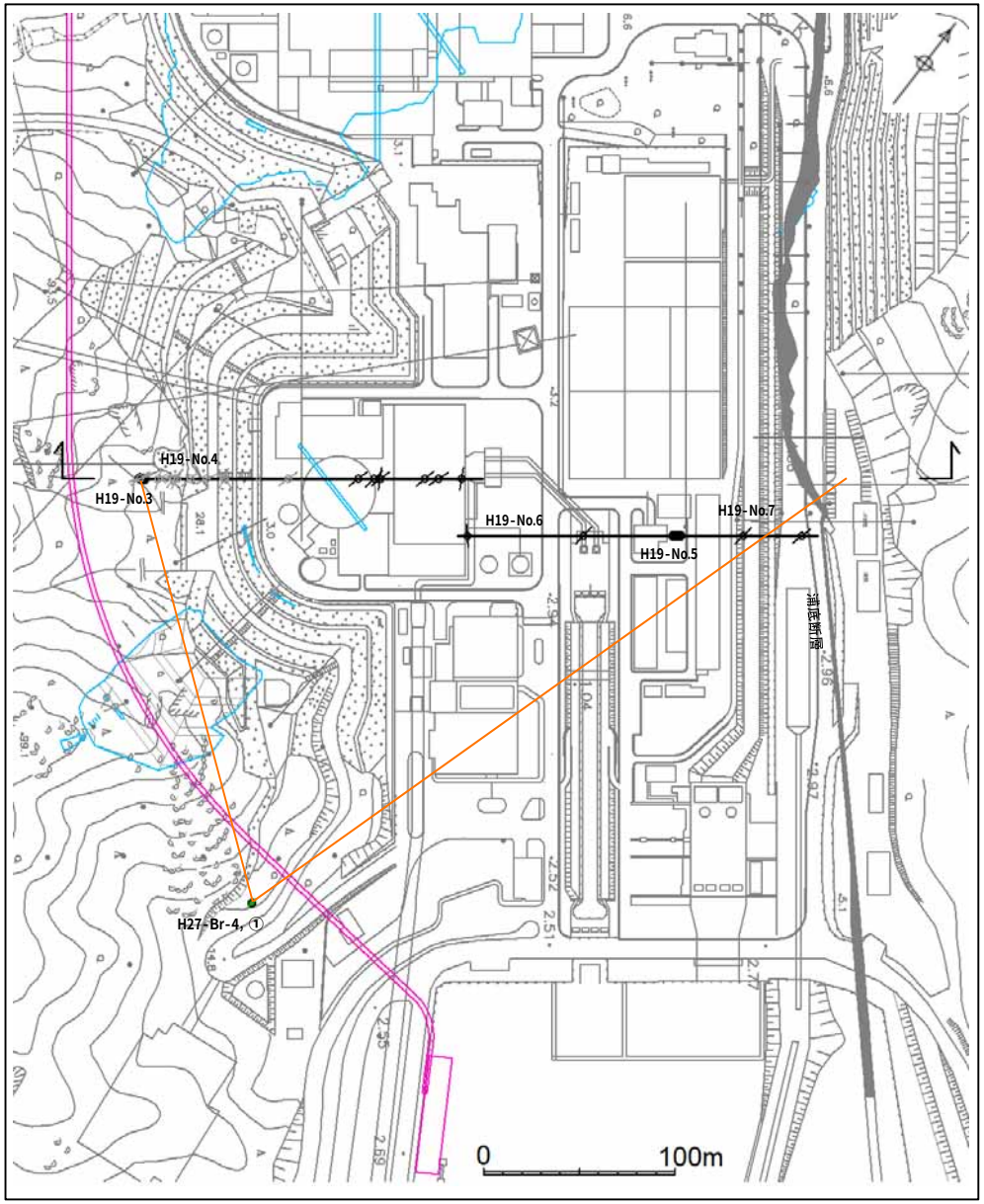
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-4，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

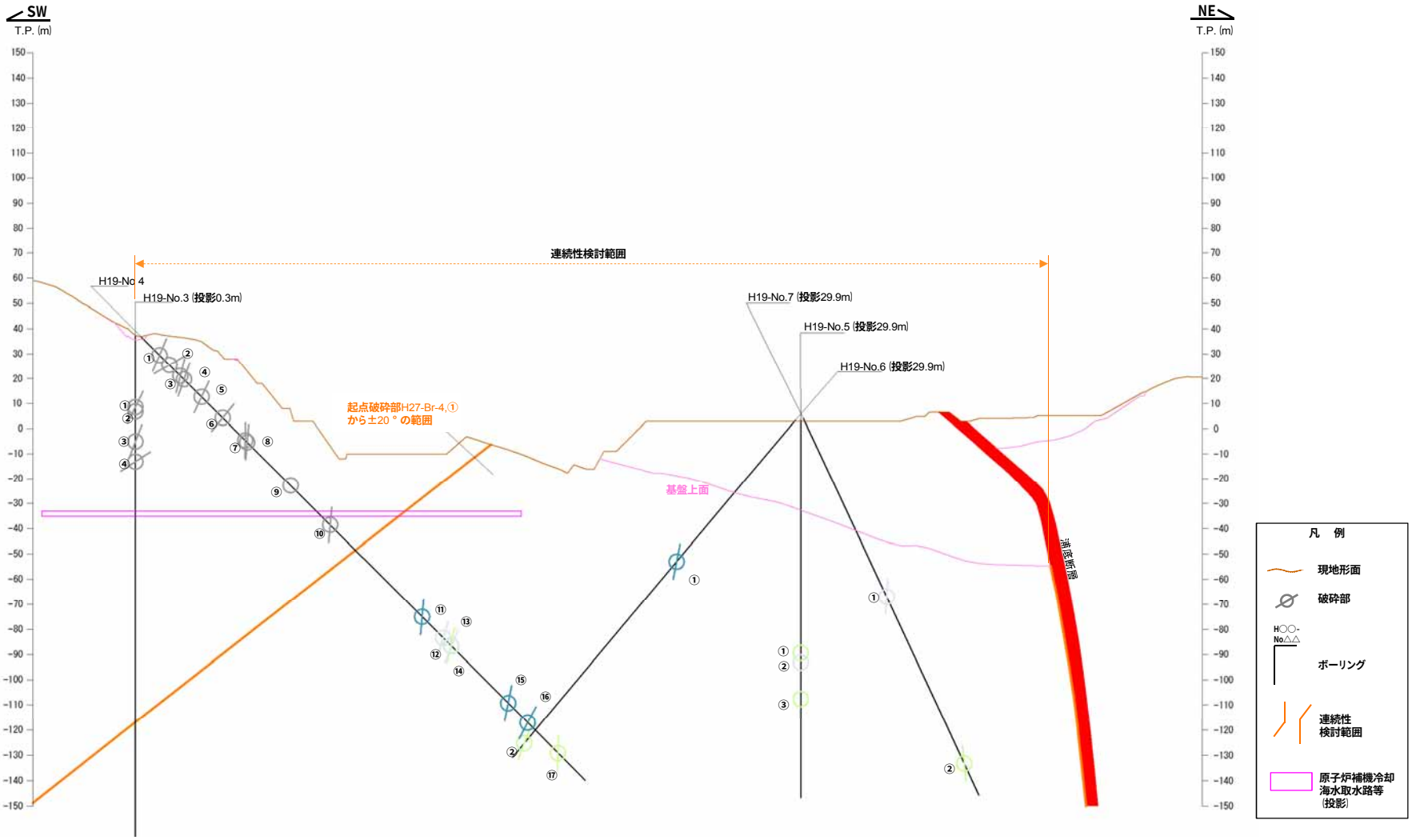
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-4，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-4，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度(m)	下端深度(m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-Br-4	-	-	①	12.91	13.24	N8E		68W		無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	24	80W	12	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	5	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	9	77W	9	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	29	67W	1	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	12	70W	2	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	27	62W	6	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	5	79W	11	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	15	73W	5	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	4	73W	5	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	21	72W	4	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	18	89W	21	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	79	86N	26	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107 54	109.94	N16E	8	87W	19	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
		範囲内	⑪	159.77	159 88	N15E	7	87W	19	有	無	21L	-	×	f-12-10	参考2-130	※1
			⑫	171 69	174 88	N9E	1	78W	10	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175 27	175 28	N29W	37	78W	10	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175 64	175 65	N14E	6	76W	8	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207 69	207.72	N13E	5	83W	15	有	無	-	-	×	D-7	参考2-90	※2
			⑯	218.73	218.74	N20E	12	74W	6	有	無	64L	-	×	f-4-12	参考2-127	※3
			⑰	234 32	236.15	N28W	36	88W	20	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.5		①	92.63	92.65	-	-	(12)	56	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	96.46	96.49	-	-	(52)	16	有	有	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	110.93	110.95	-	-	(35)	33	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	2	82W	14	有	無	75R	N	×	D-38	参考2-116	※3
			②	167 53	168 54	N41W	49	69W	1	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.7		①	78.22	79.56	N7E	1	87W	19	有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
			②	151 35	151 38	N15E	7	86E	26	有	有	20L	-		f-8-11	参考2-128	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

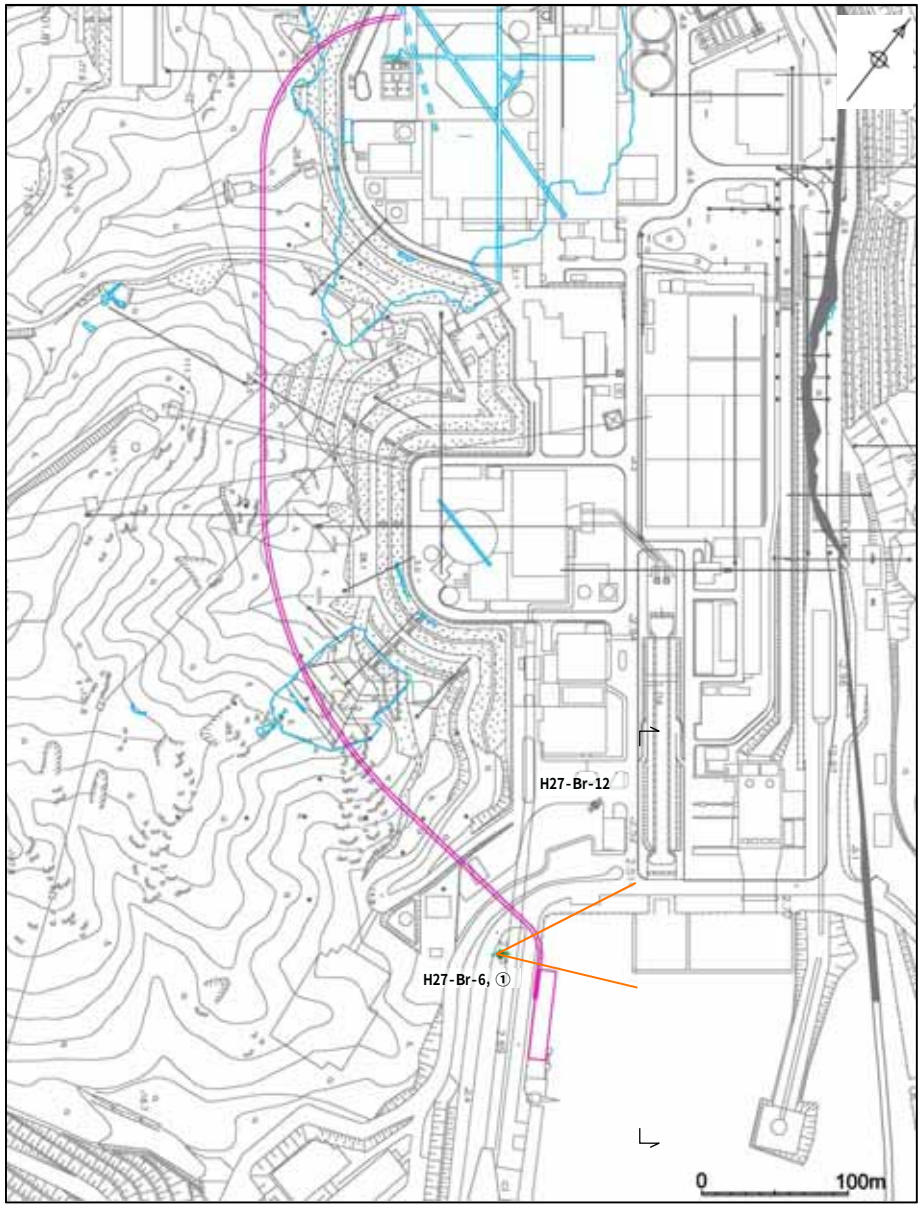
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-6，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

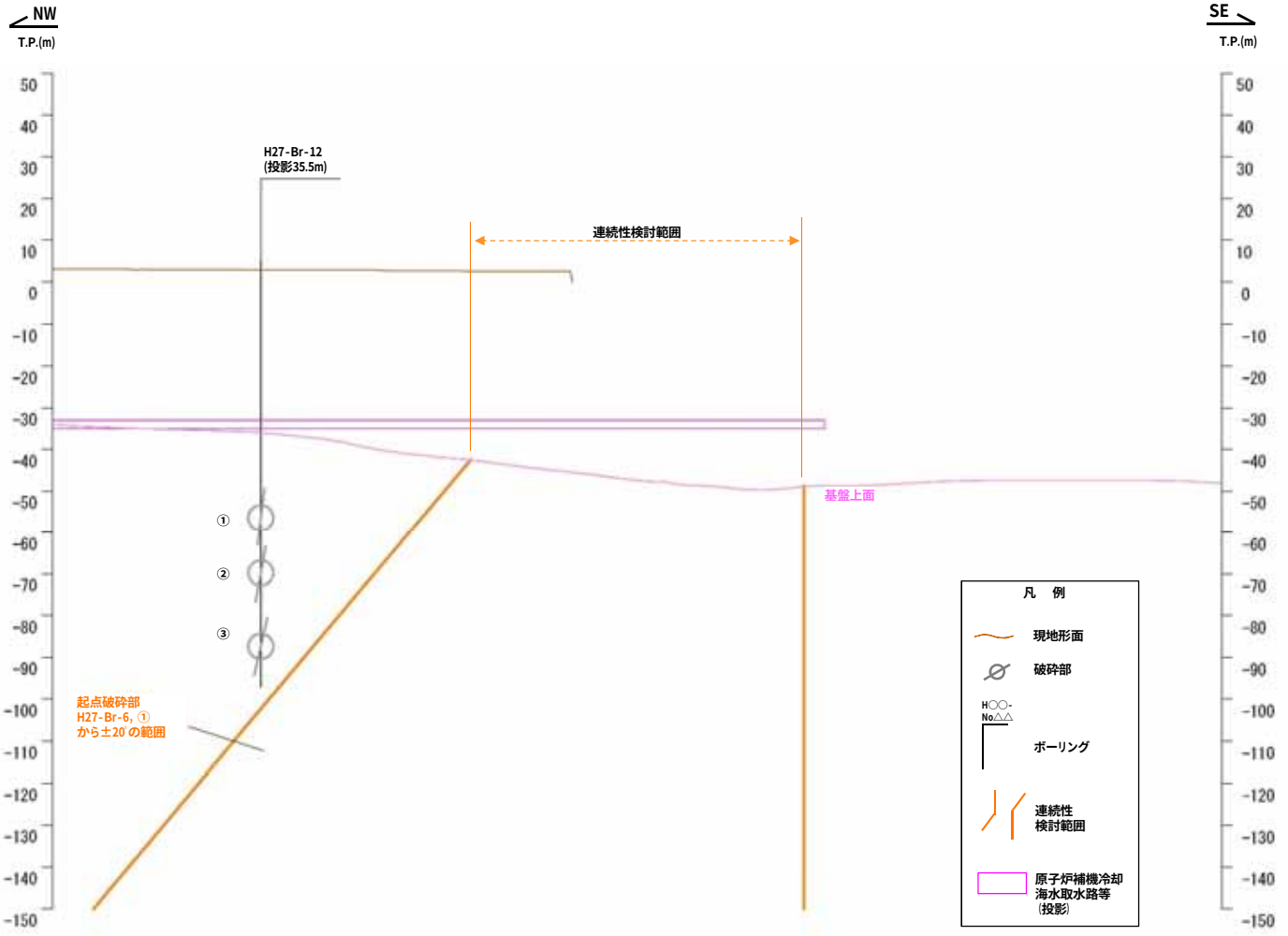
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-6，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-6，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-Br-6	-	-	①	33.02	34.01	N49E		72W		有	有	85R	N		f-br-6-1	参考2-177	
-	H27-Br-12	範囲外	①	58.40	59.38	N7E	42	85W	13	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	55	85W	13	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	18	78NW	6	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

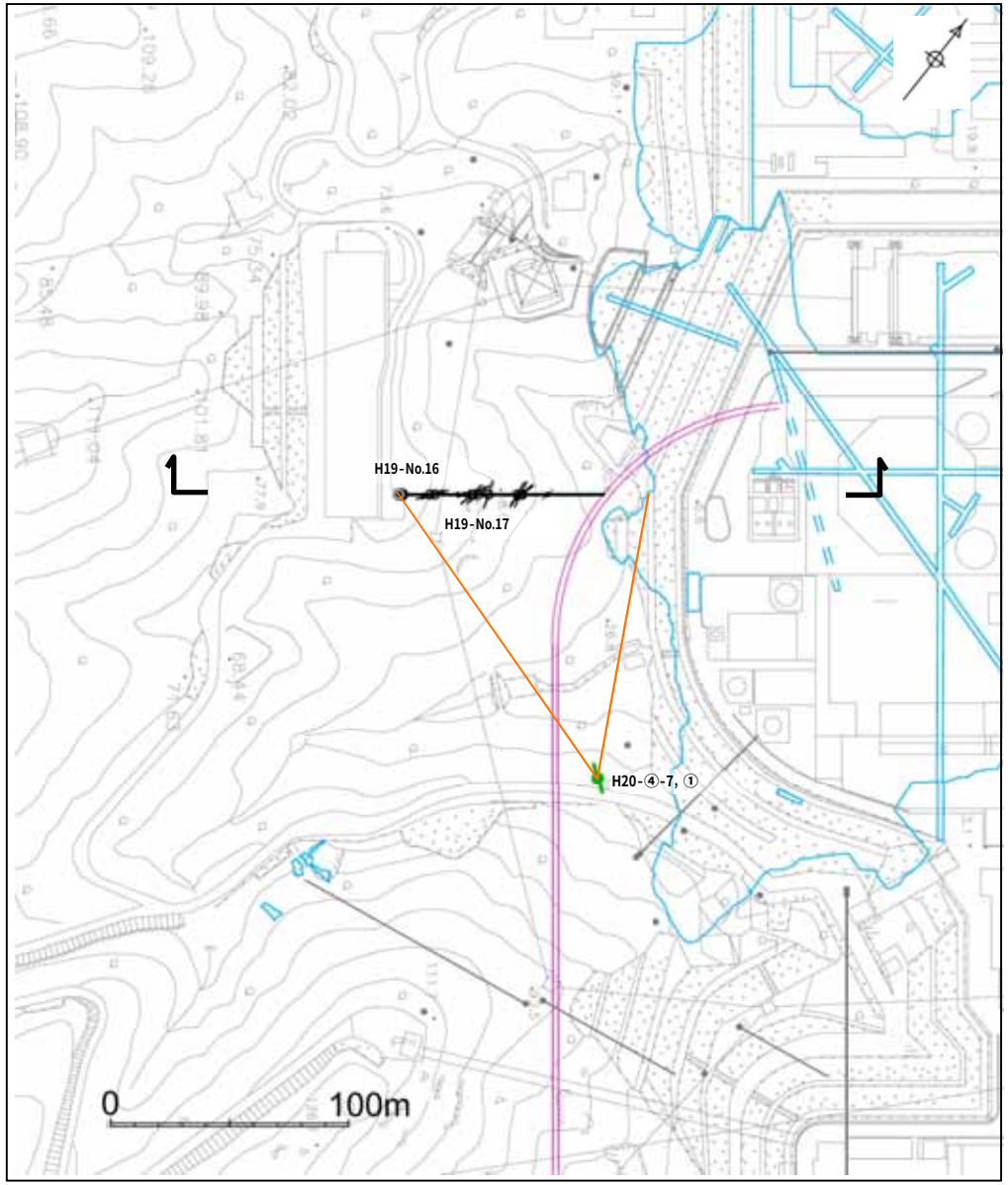
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-7，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

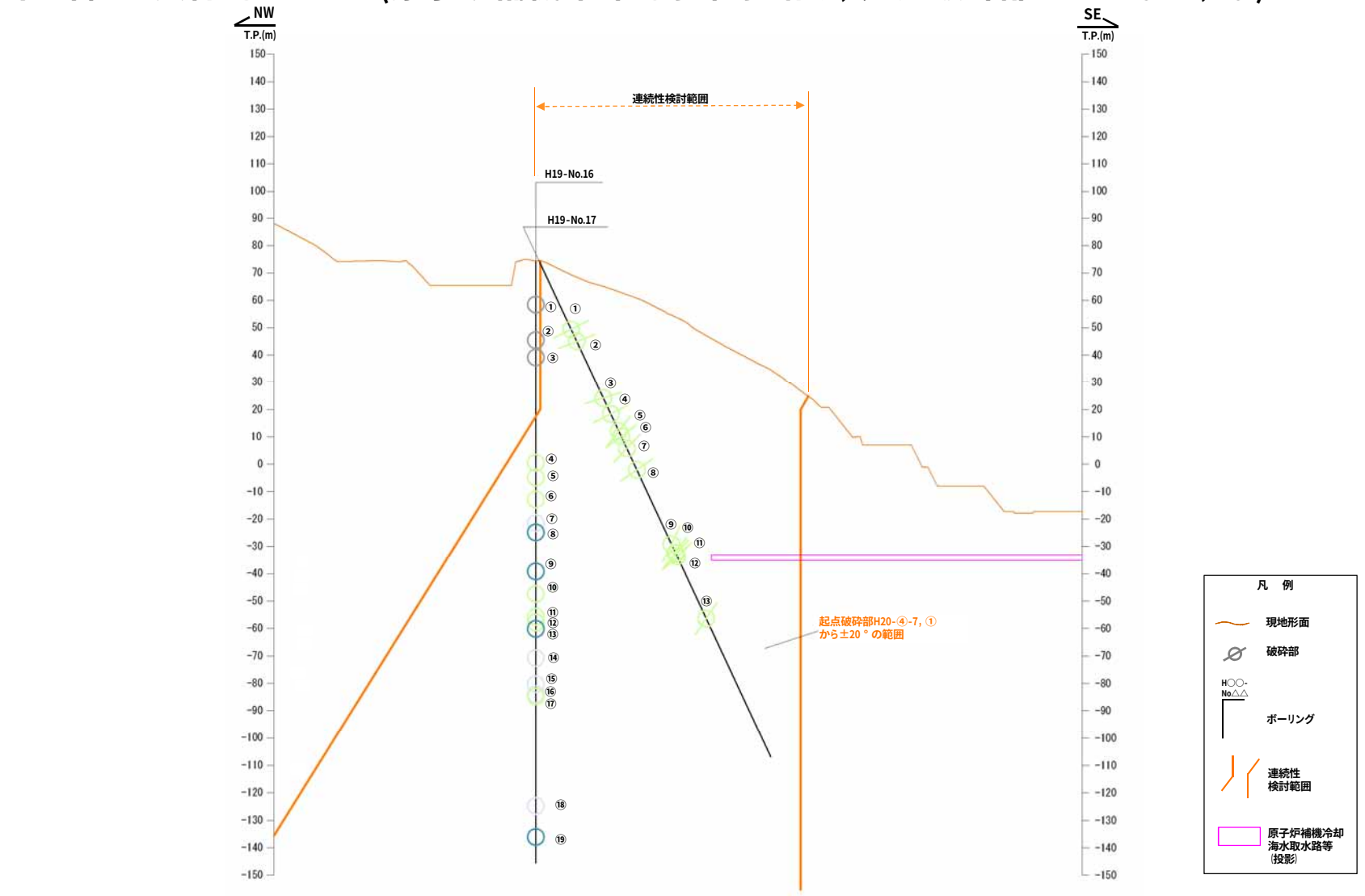
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-7，①)



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-7，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-7	-	-	①	22.75	23 53	N53W		80S		有	有	80L	-		f-④-7-1	参考2-144	
-	H19-No.16	範囲外	①	16.01	17 82	-	-	(60)	20	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			②	28.92	29 04	-	-	(63)	17	無	-	-	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			③	35.33	35 35	-	-	(60)	20	有	有	-	-		f-17-2	参考2-132	
		範囲内	④	73.91	73.93	-	-	(41)	39	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79 25	-	-	(55)	25	有	無	-	-		D-12	参考2-91	
			⑥	86.04	87 32	-	-	(44)	36	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91 79	-	-	(60)	20	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	10	有	有	-	-	×	D-47	参考2-120	※1
			⑨	113 66	113.77	-	-	(74)	6	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑩	121 85	122.21	-	-	(44)	36	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130 20	131.28	-	-	(57)	23	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	31	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133 70	136.00	-	-	(60)	20	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑭	145 25	145.35	-	-	(81)	1	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑮	154 74	154.81	-	-	(60)	20	無	-	-	-		D-16	参考2-93	
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	12	無	-	-	-		D-17	参考2-98	
			⑰	159 23	159 62	-	-	(55)	25	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
			⑱	199 22	200 00	-	-	(86)	6	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑲	210 70	210 71	-	-	(84)	4	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
	H19-No.17		①	27.65	27 73	N34E	87	57W	23	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32 75	N35E	88	51W	29	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
			③	55.45	55.46	N39E	88	52W	28	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62 22	N28E	81	50W	30	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69 25	N10E	63	62W	18	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	71	53W	27	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	67	77W	3	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85 61	N19W	34	36W	44	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114 31	115 63	N8W	45	67W	13	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117 77	117 79	N11W	42	57W	23	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118 22	118 25	N11E	64	59W	21	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118 66	119 29	N14E	67	57W	23	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144 35	144 37	N10E	63	65W	15	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

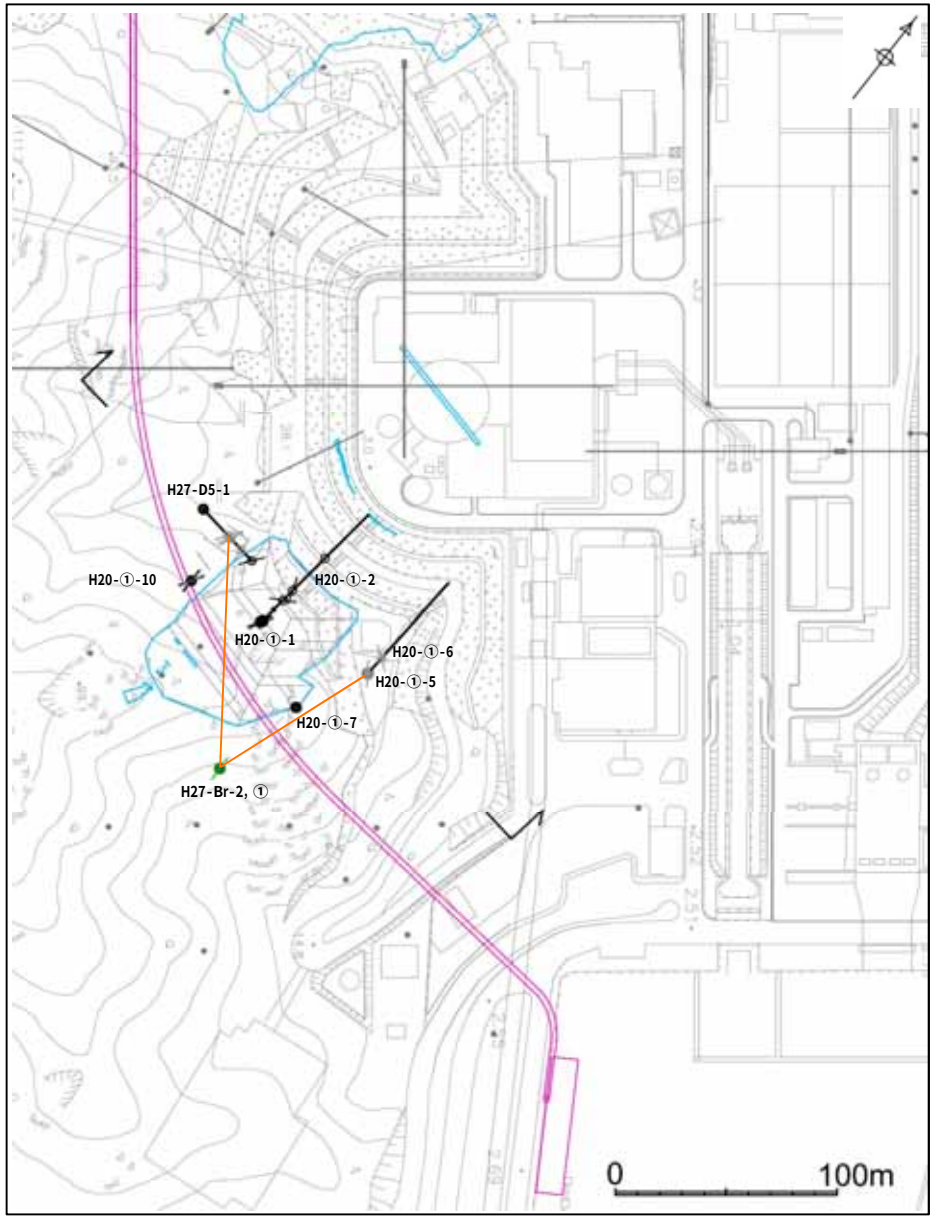
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-2，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

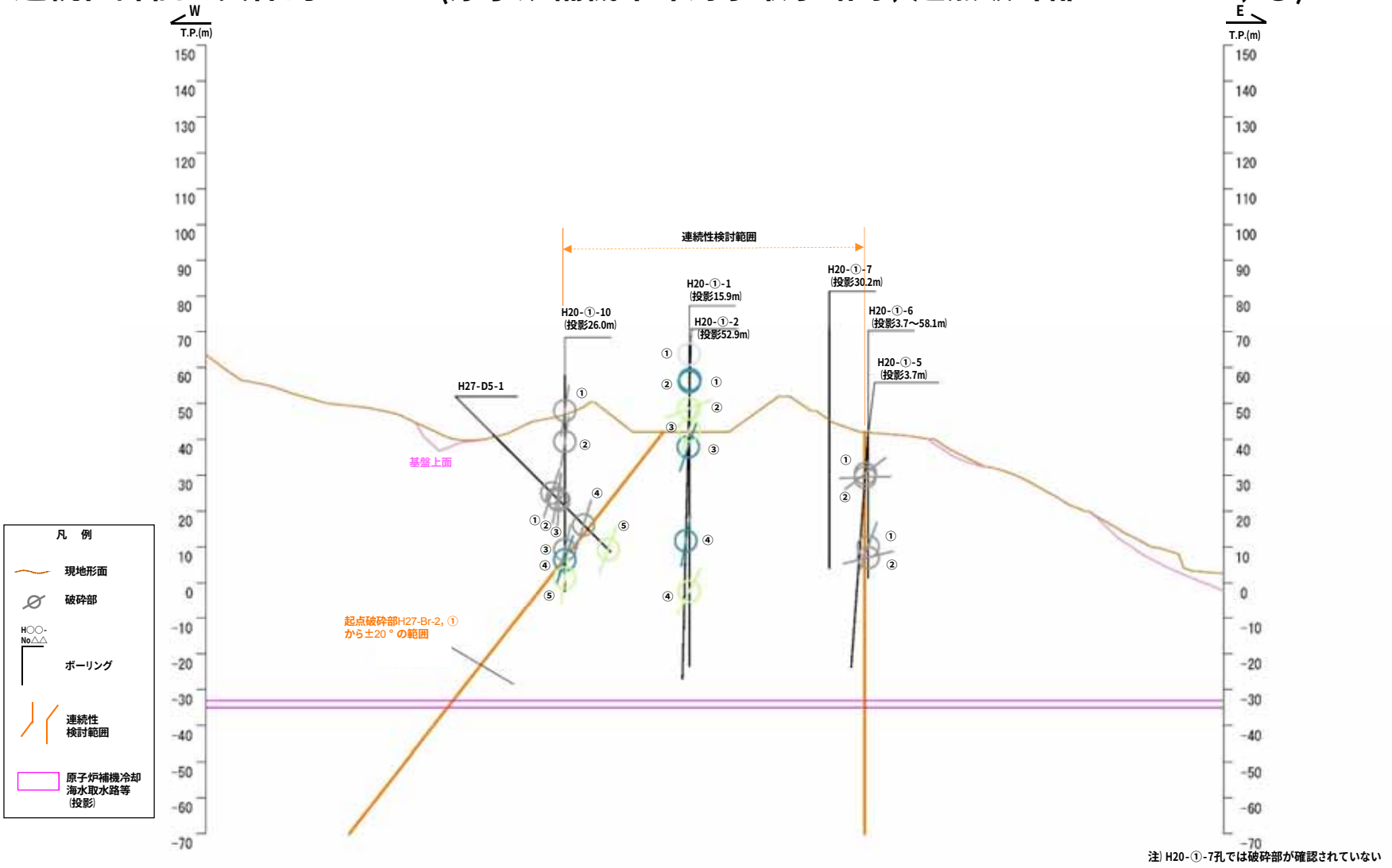
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-2，①)



注）H20-①-7孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-2，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-Br-2	-	-	①	15.94	16.99	NS		74W		有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
-	H27-D5-1	範囲外	①	22.91	23 23	N35E	35	74W	0	有	無	90	N		D-4	参考2-89	
			②	25.17	25.44	N31E	31	81W	7	有	無	80L	N		D-45	参考2-119	
			③	25.65	25 77	N21E	21	87W	13	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-71	
			④	35.41	35 55	N2W	2	73W	1	有	無	80L	N		f-d5-1-4	参考2-178	
		範囲内	⑤	45.12	45 37	N38E	38	72W	2	有	有	85R	N		D-46	参考2-119	
	H20-①-1		①	2 66	2.95	-	-	(70)	4	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	8 64	10 63	-	-	(74)	0	有	有	-	-	×	D-6	参考2-58	
			③	23.62	24 62	N25E	25	72W	2	有	無	60L	-		D-19	参考2-99	
			④	68.72	69 02	N36E	36	66W	8	有	無	30L	N,RL		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-2		①	11.73	11.91	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			②	22.63	22 66	N62E	62	33N	41	有	有	55L	N,RL		f-①-2-2	参考2-138	
			③	32.90	34.91	N18W	18	73W	1	有	有	-	-	×	D-6	参考2-58	
			④	66.08	67 28	N4E	4	80W	6	有	無	88L	-	×	f-①-2-4	参考2-138	※4
	H20-①-5	範囲外	①	31.28	31.44	N33W	33	75W	1	無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
			②	34.37	34 70	N89W	89	58S	16	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	53	60S	14	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	81	65S	9	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-10		①	9 01	10 28	N1W	1	81W	7	有	無	77L	-		D-4	参考2-90	
			②	18.16	18 84	N26E	26	81W	7	無	-	90	-		f-①-10-2	参考2-140	
			③	48.10	48 24	N6E	6	77W	3	無	-	80R	-		D-45	参考2-119	
		範囲内	④	50.90	52.95	NS	0	71W	3	有	有	80R	N	×	D-5	参考2-71	
			⑤	55.99	56 05	N34E	34	83W	9	有	無	5L	LL		D-46	参考2-119	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

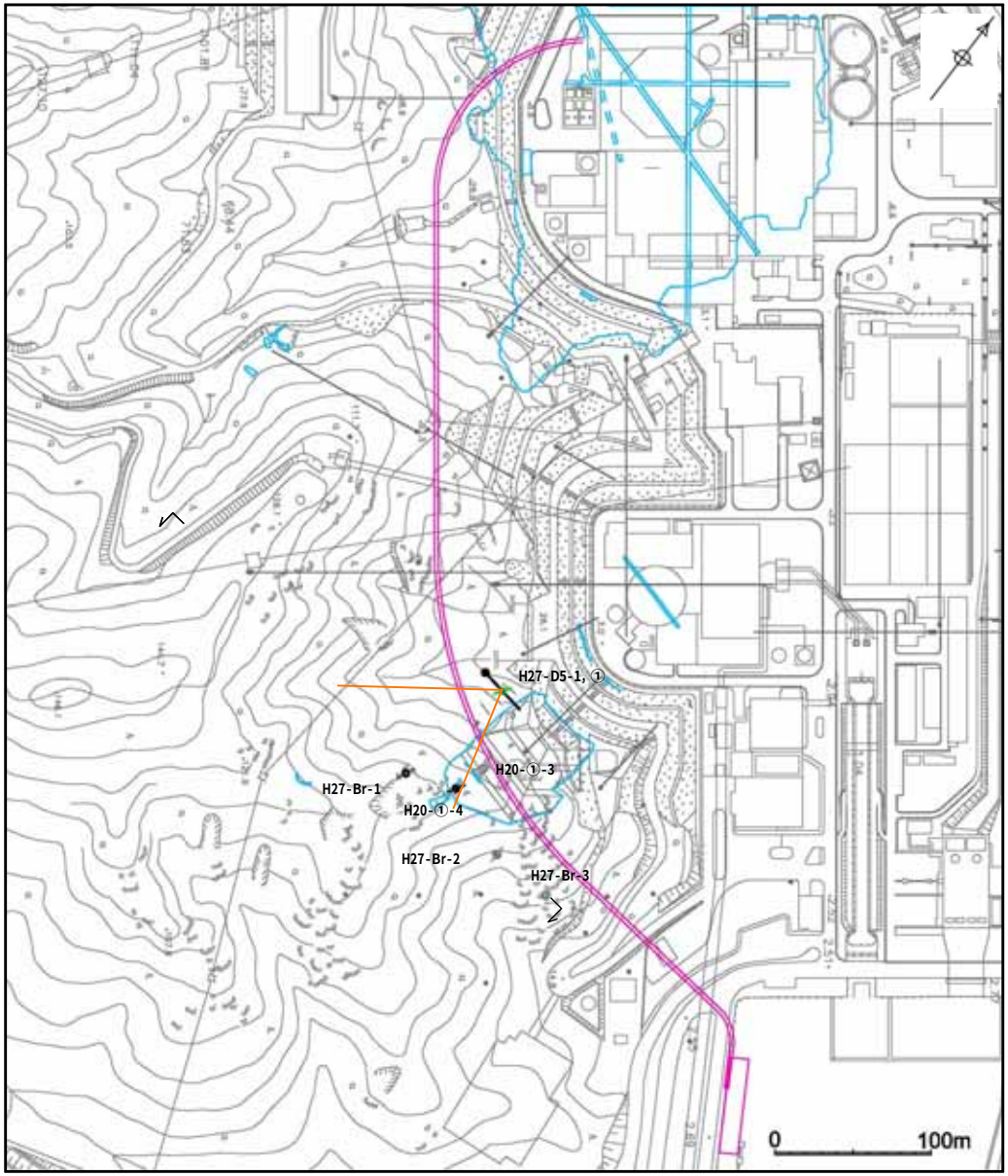
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-D5-1，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

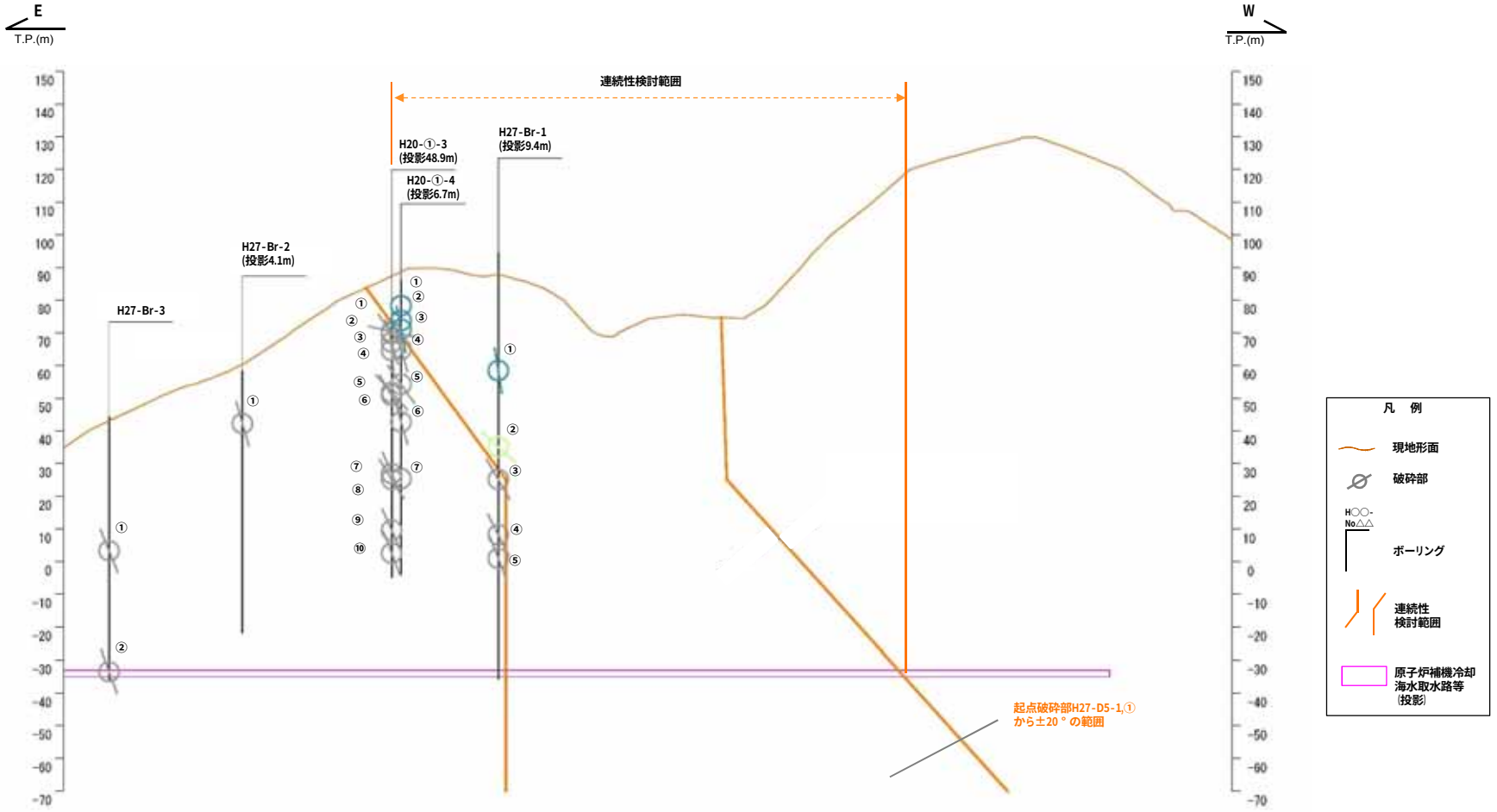
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-D5-1，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-D5-1，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-D5-1	-	-	①	22.91	23.23	N35E		74W		有	無	90	N		D-4	参考2-89	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33 27	35.90	N16E	19	81W	7	有	有	76R	N	×	D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	4	45W	29	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
		範囲外	③	67 63	70.76	N42E	7	64NW	10	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	1	65W	9	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93 36	93.45	N46E	11	73W	1	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	35	74W	0	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40 53	41.10	N51E	16	73NW	1	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	73	76SW	2	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲外	①	4.96	5 00	N83E	48	40N	34	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5 53	5 81	N11E	24	55W	19	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	23	74W	0	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11 06	11.17	N11W	46	85W	11	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23 28	23.62	N12E	23	48W	26	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	61	64W	10	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48 20	48 24	N35E	0	69W	5	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50 06	50.15	N38E	3	61W	13	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	14	71N	3	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72 50	72 66	N40E	5	72W	2	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	11	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12 25	12 26	-	-	(64)	10	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	3	80W	6	有	有	70L	N	×	D-6	参考2-59	
		範囲外	④	21.10	21.15	N19E	16	74W	0	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31 63	31.87	N6E	29	55W	19	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	1	76W	2	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	8	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

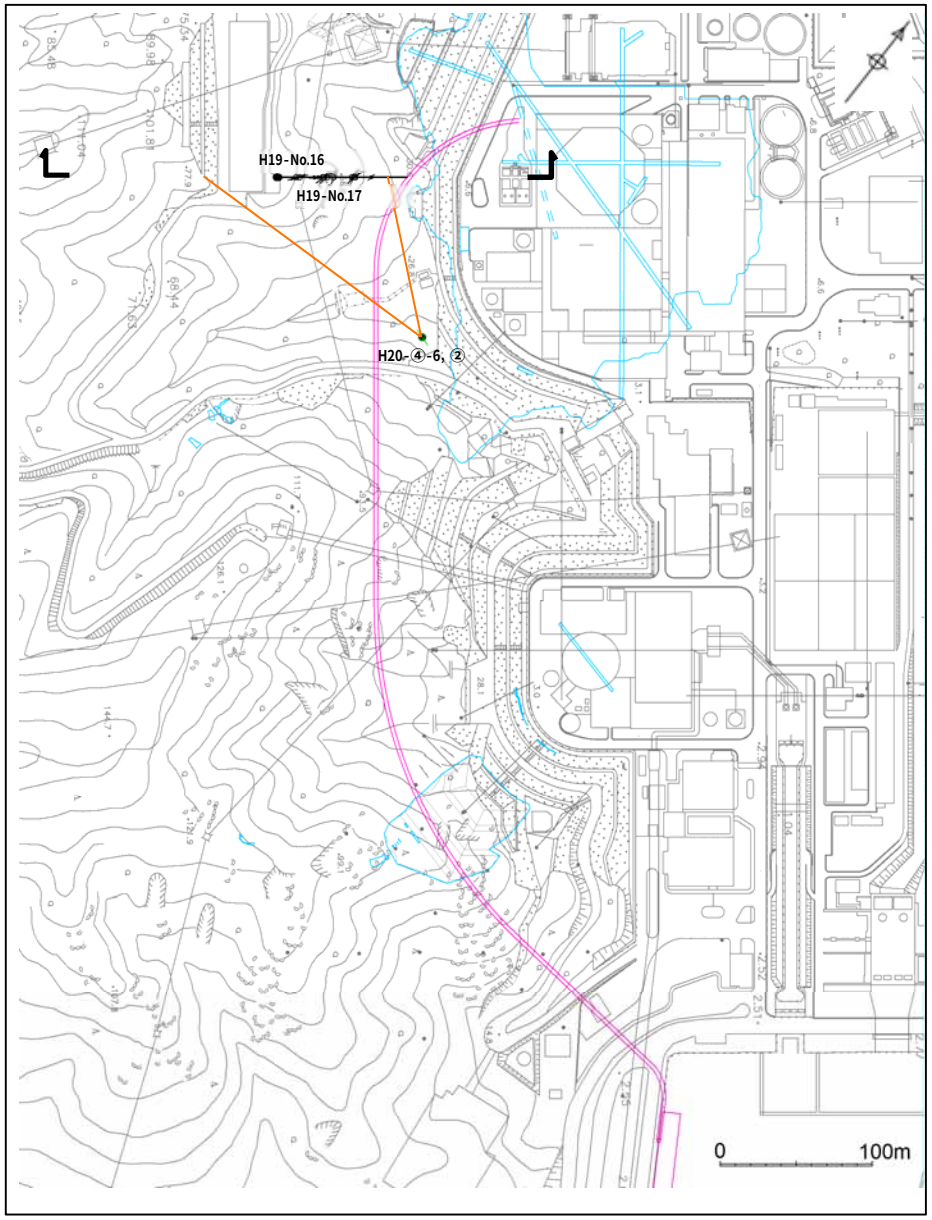
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，②)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

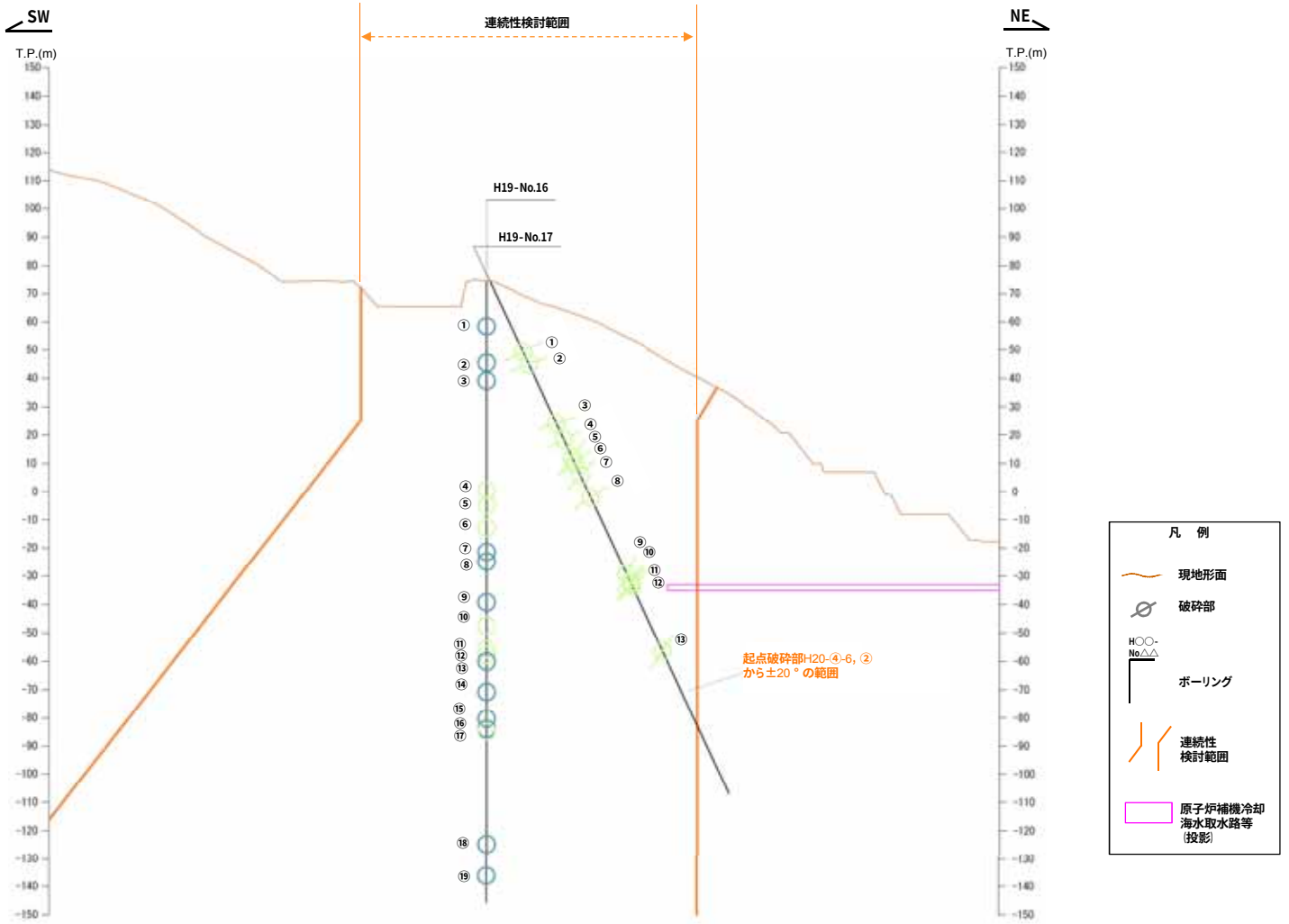
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，②)



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-6	-	-	②	7.94	9.00	N71W		79S		有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-143	
-	H19-No.16	範囲内	①	16 01	17.82	-	-	(60)	19	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	16	無	-	-	-	×	f-⑥-3-2	参考2-147	※1
			③	35 33	35.35	-	-	(60)	19	有	有	-	-	×	f-17-2	参考2-132	※1
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	38	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79 22	79.25	-	-	(55)	24	有	無	-	-		D-12	参考2-91	
			⑥	86 04	87.32	-	-	(44)	35	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91 50	91.79	-	-	(60)	19	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑧	93 75	96.18	-	-	(70)	9	有	有	-	-	×	D-47	参考2-120	※1
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	5	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	35	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	22	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	30	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	19	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	2	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	19	無	-	-	-	×	D-16	参考2-93	※1
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	11	無	-	-	-	×	D-17	参考2-98	※1
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	24	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	7	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	5	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
	H19-No.17		①	27 65	27.73	N34E	75	57W	22	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32 54	32.75	N35E	74	51W	28	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
			③	55.45	55.46	N39E	70	52W	27	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61 89	62.22	N28E	81	50W	29	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68 84	69.25	N10E	81	62W	17	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	89	53W	26	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75 60	75.90	N14E	85	77W	2	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82 83	85.61	N19W	52	36W	43	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	63	67W	12	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	60	57W	22	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118.25	N11E	82	59W	20	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119.29	N14E	85	57W	22	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	81	65W	14	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

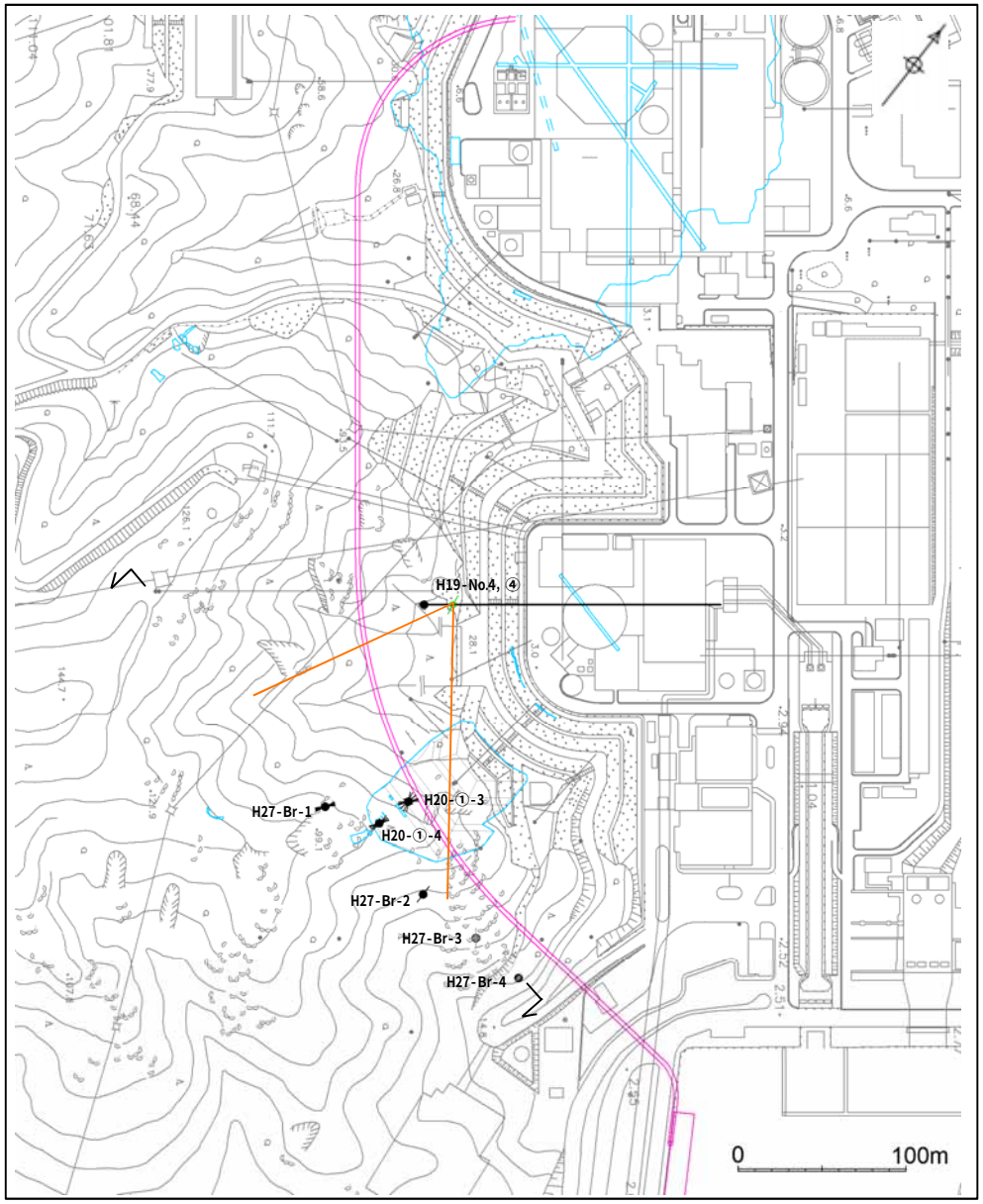
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，④)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

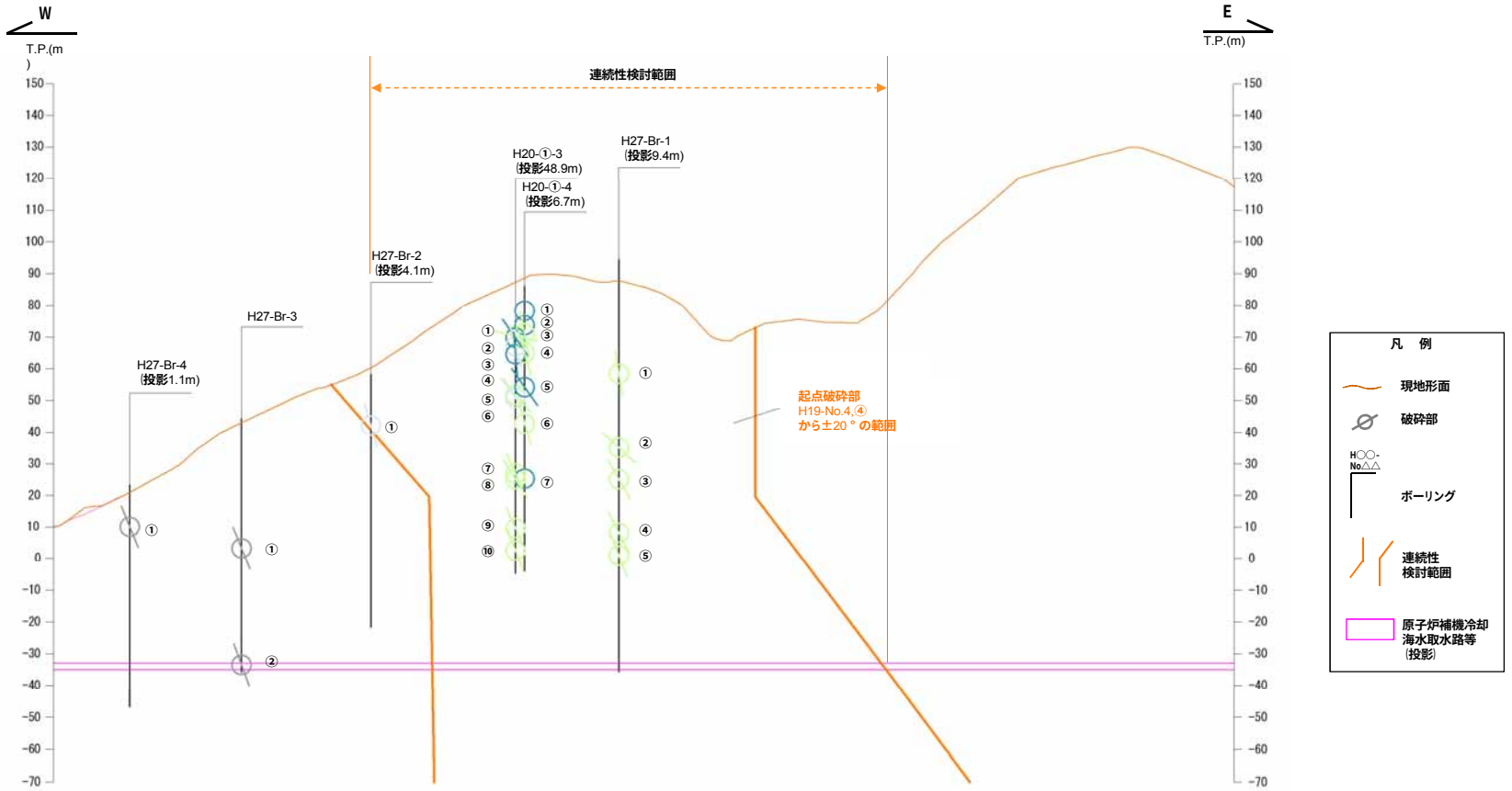
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，④)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	④	24.12	24.41	N7W		73W		無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	23	81W	8	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	38	45W	28	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	49	64NW	9	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	41	65W	8	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	53	73W	0	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	7	74W	1	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	58	73NW	0	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	31	76SW	3	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	15	68W	5	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5 00	N83E	90	40N	33	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5 81	N11E	18	55W	18	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8 73	N12E	19	74W	1	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	18	85W	12	有	無	50L	-	×	f-①-3-4	参考2-139	※1
			⑤	23.28	23.62	N12E	19	48W	25	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	19	64W	9	有	有	-	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	42	69W	4	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	45	61W	12	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	56	71N	2	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	47	72W	1	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7 70	-	-	(85)	12	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	9	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	39	80W	7	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	26	74W	1	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	13	55W	18	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1
			⑥	41.41	43.24	N36E	43	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	7	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

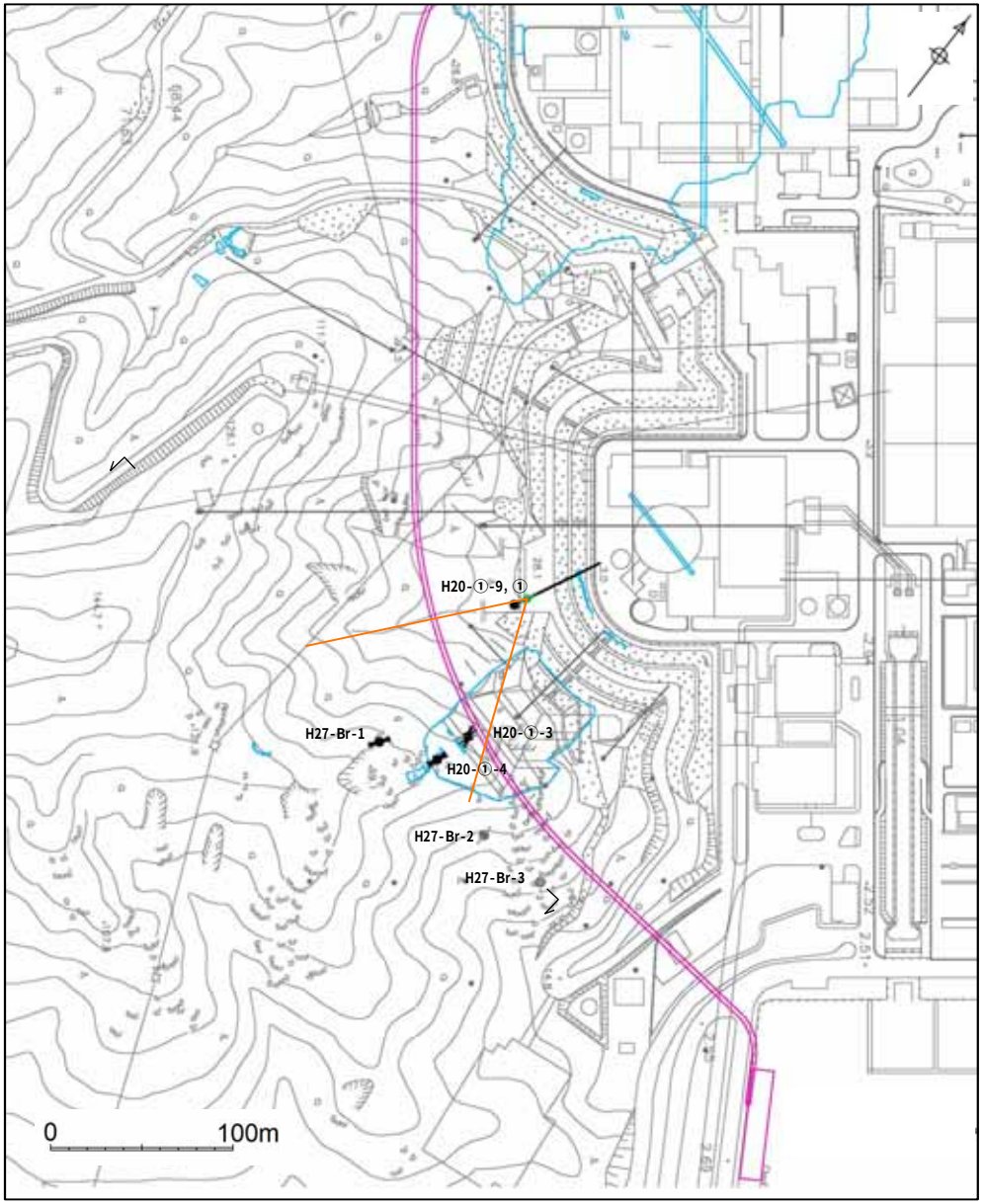
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-9，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

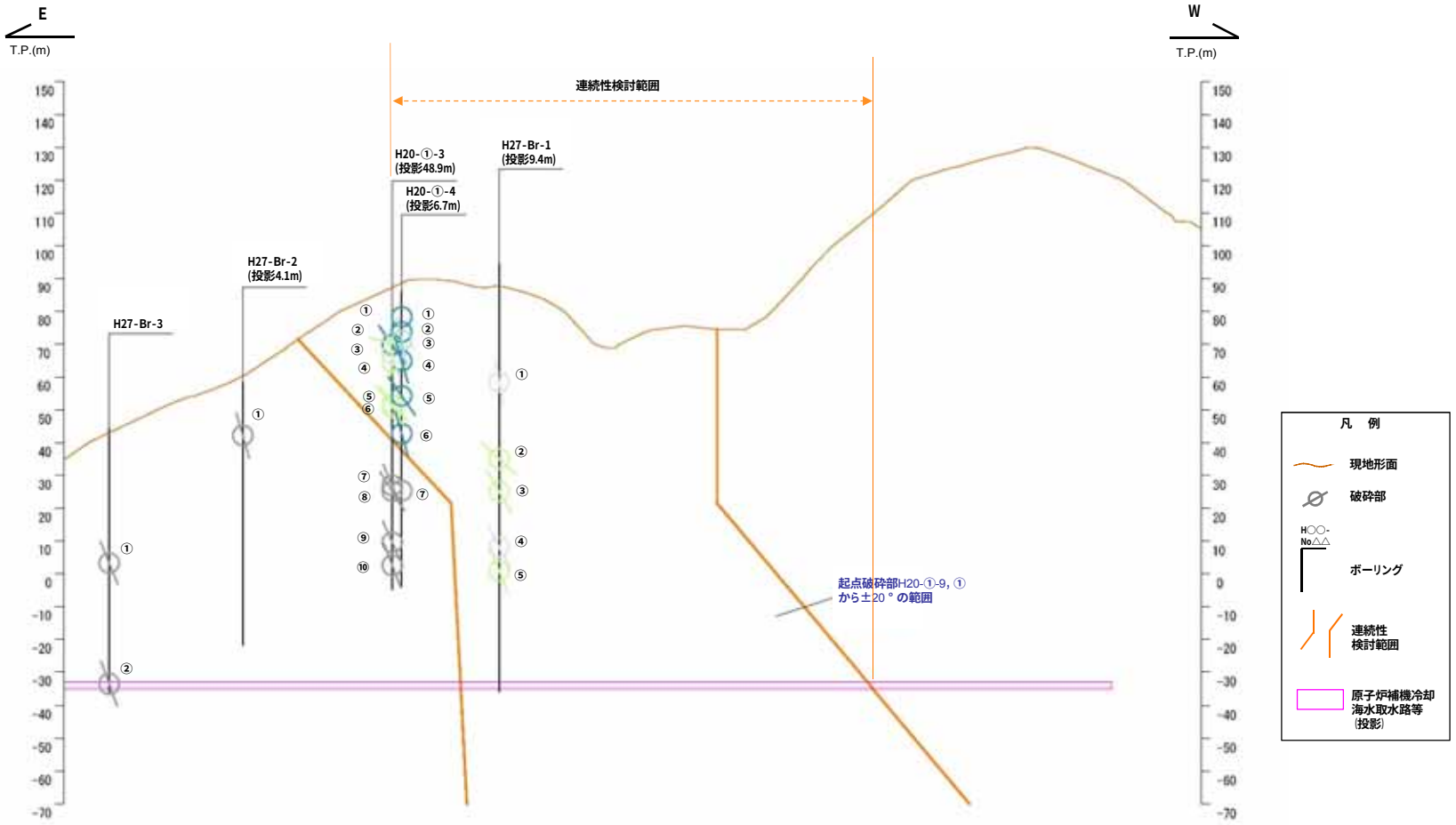
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-9，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-9，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H20-①-9	-	-	①	11.19	11 73	N21E		70W		無	-	48L	-		D-4	参考2-89	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	5	81W	11	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59 27	N31E	10	45W	25	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70 76	N42E	21	64NW	6	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87 85	N34E	13	65W	5	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	25	73W	3	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	21	74W	4	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	30	73NW	3	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	59	76SW	6	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	62	40N	30	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5 53	5.81	N11E	10	55W	15	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	9	74W	4	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	32	85W	15	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23 62	N12E	9	48W	22	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25 00	N26W	47	64W	6	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48.20	48 24	N35E	14	69W	1	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	17	61W	9	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65 89	N49E	28	71N	1	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72 66	N40E	19	72W	2	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	15	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12 26	-	-	(64)	6	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15 25	N32E	11	80W	10	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	2	74W	4	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31.63	31 87	N6E	15	55W	15	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1
			⑥	41.41	43 24	N36E	15	76W	6	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
		範囲外	⑦	60.47	60 67	-	-	(66)	4	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

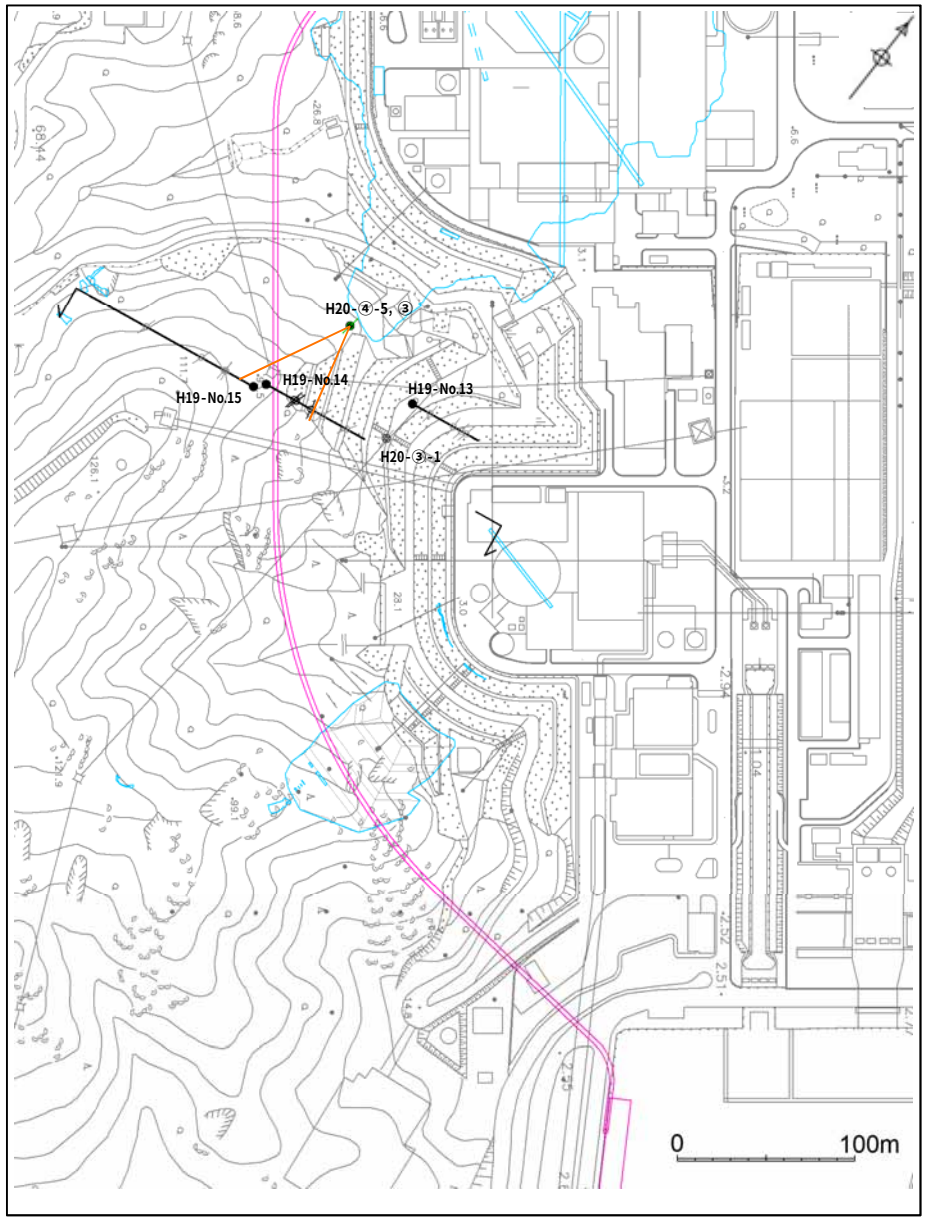
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，③)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

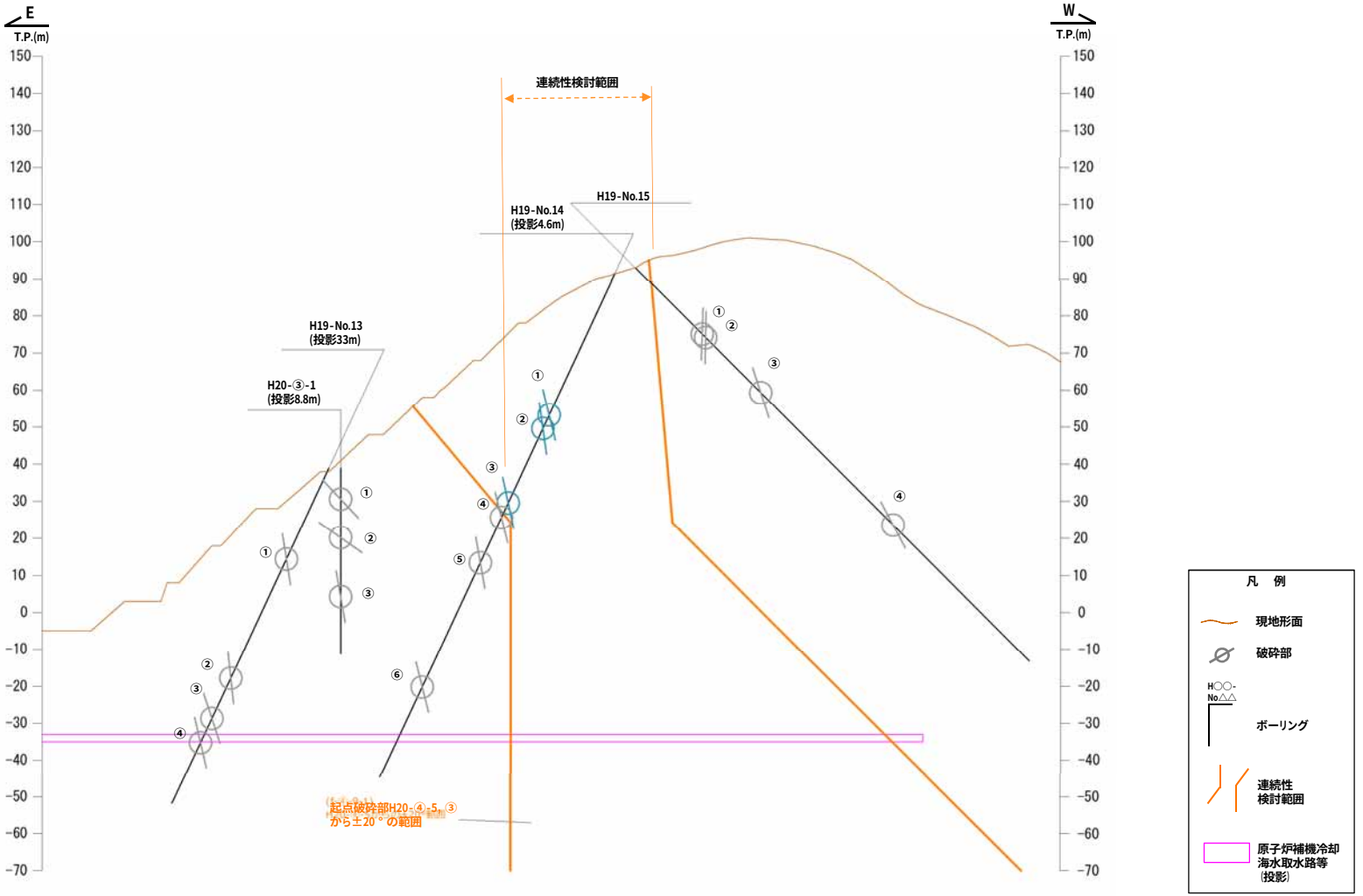
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，③)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-5	-	-	③	38.73	38.74	N9E		70W		有	無	10L	-		f-④-9-1	参考2-141	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	4	81W	11	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	9	84W	14	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	1	73W	3	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	6	78W	8	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	2	77W	7	有	無	5L	-	×	f-14-1	参考2-131	※1
			②	45.63	45.70	N18E	9	83W	13	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	20	78W	8	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
		範囲外	④	72.43	72.70	N32W	41	77W	7	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	11	81W	11	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123 32	123.34	N32E	23	79W	9	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15		①	24.58	24.67	N7W	16	88E	22	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	3	89E	21	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	11	74W	4	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	8	64W	6	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	88	73S	3	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	50	61N	49	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	8	80W	10	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

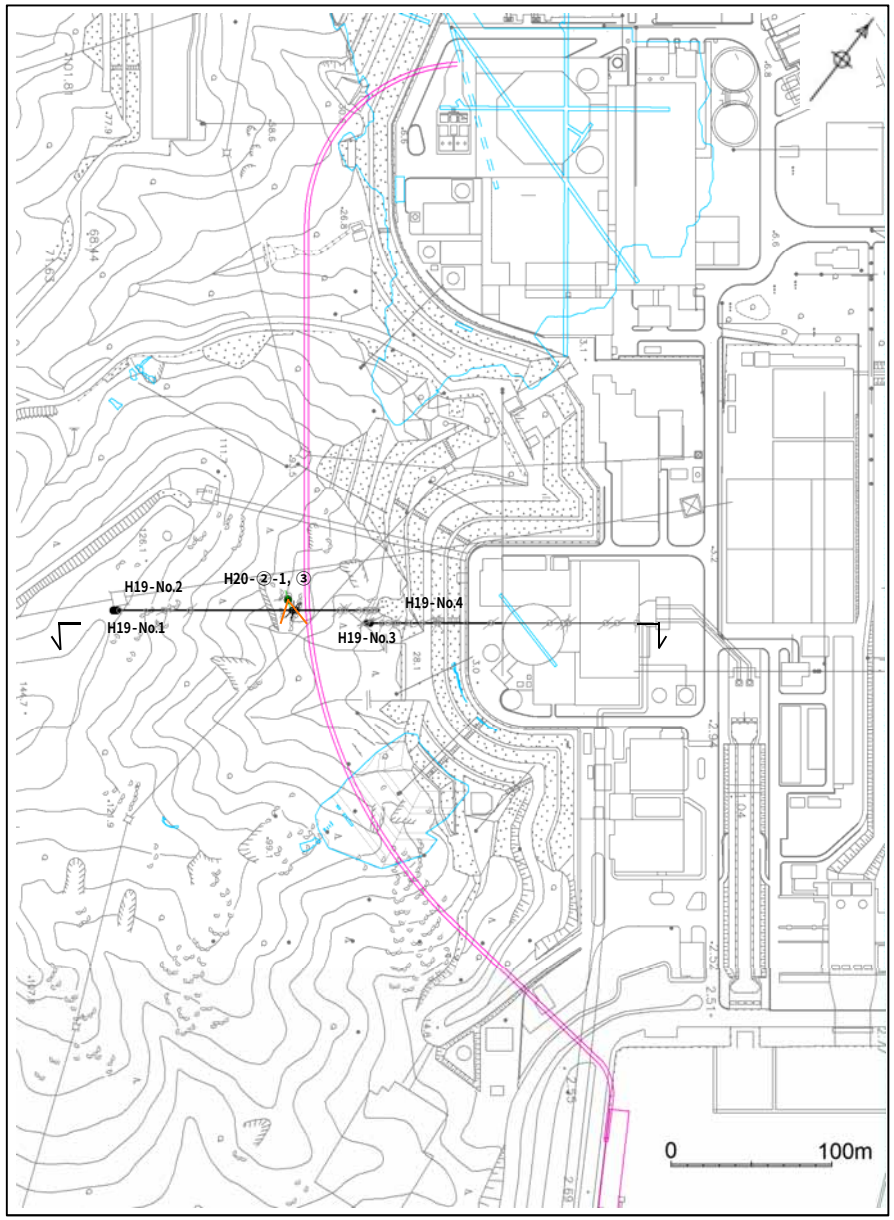
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-②-1，③)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

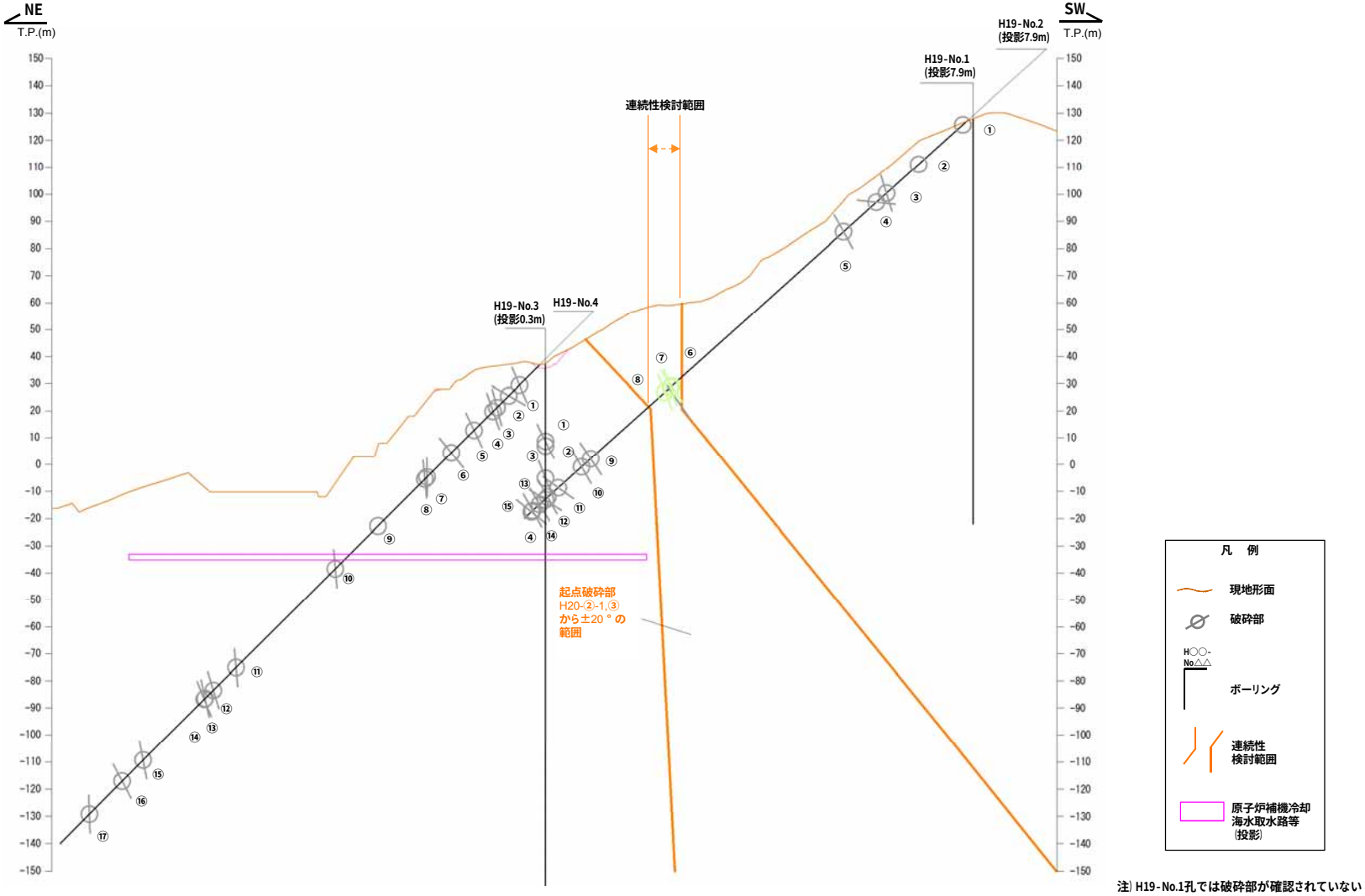
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-②-1，③)



注）H19-No.1孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-②-1，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H20-②-1	-	-	③	48.26	48.95	N52W		71SW		有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
-	H19-No 2	範囲外	①	2 35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39 88	N25E	77	82W	11	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45 75	N40E	88	26W	45	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61 30	N7E	59	68W	3	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
		範囲内	⑥	146 29	146.32	N7E	59	64W	7	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147 04	147.48	N31W	21	70W	1	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149 71	149.84	N1E	53	72W	1	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
		範囲外	⑨	186 53	186.58	N21E	73	70W	1	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	54	66W	5	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202 81	202 85	N32E	84	64W	7	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208 69	NS	52	66W	5	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212 00	212 07	N6W	46	63W	8	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	43	64W	7	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216 24	N26E	78	61W	10	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No 3		①	28.77	28 82	N32E	84	80W	9	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	8	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42 81	N17E	69	77W	6	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	89	67W	4	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11 53	N4W	48	70W	1	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16 31	N35E	87	62W	9	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22 26	N3E	55	79W	8	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	45	73W	2	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34 38	N12E	64	73W	2	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46 38	N29E	81	72W	1	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59 59	N10W	42	89W	18	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60 36	N71W	86	86N	23	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84 33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107 54	109.94	N16E	68	87W	16	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159 77	159 88	N15E	67	87W	16	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171 69	174 88	N9E	61	78W	7	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175 27	175 28	N29W	23	78W	7	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175 64	175 65	N14E	66	76W	5	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207 69	207 72	N13E	65	83W	12	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218 73	218 74	N20E	72	74W	3	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234 32	236.15	N28W	24	88W	17	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

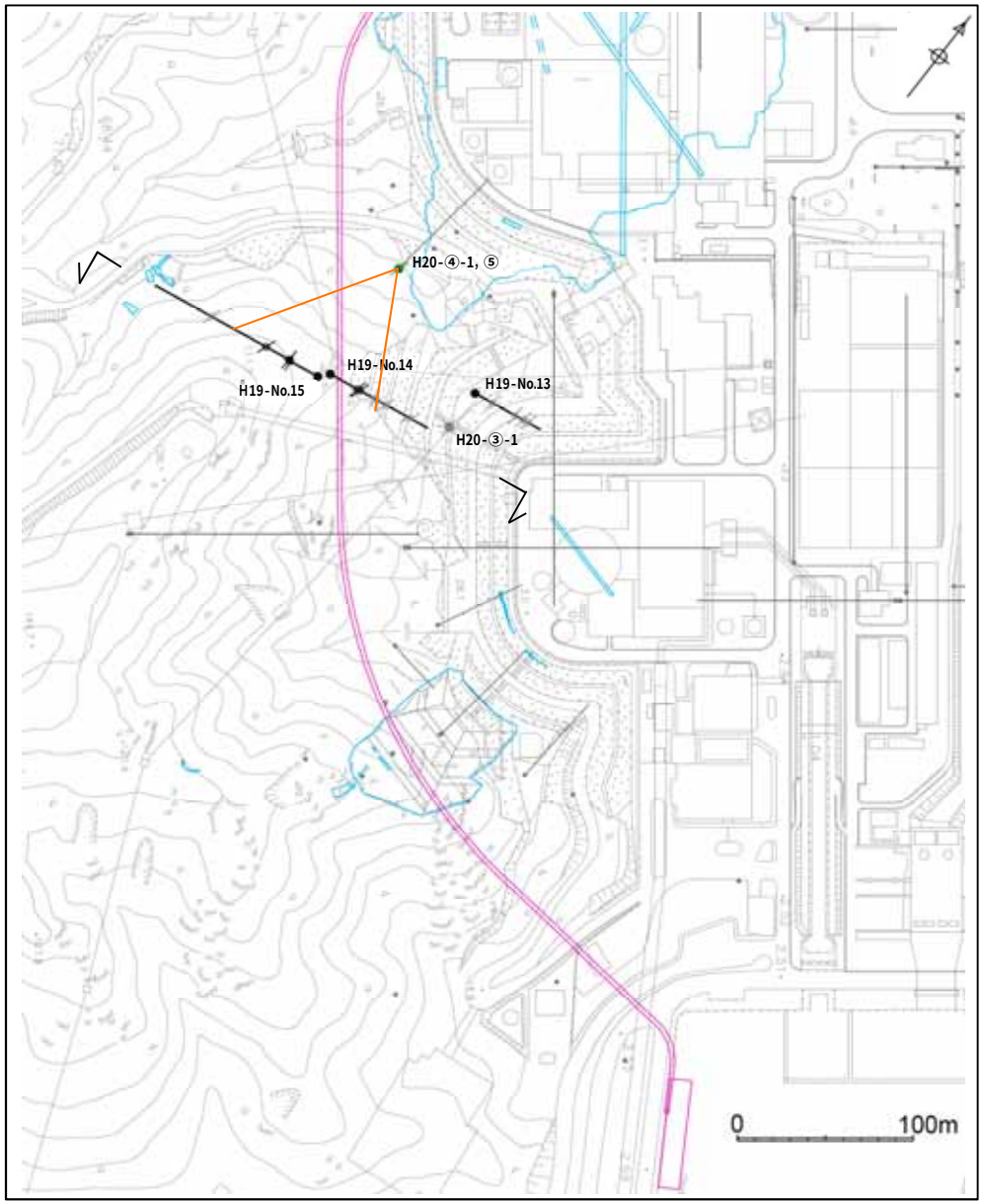
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，⑤)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

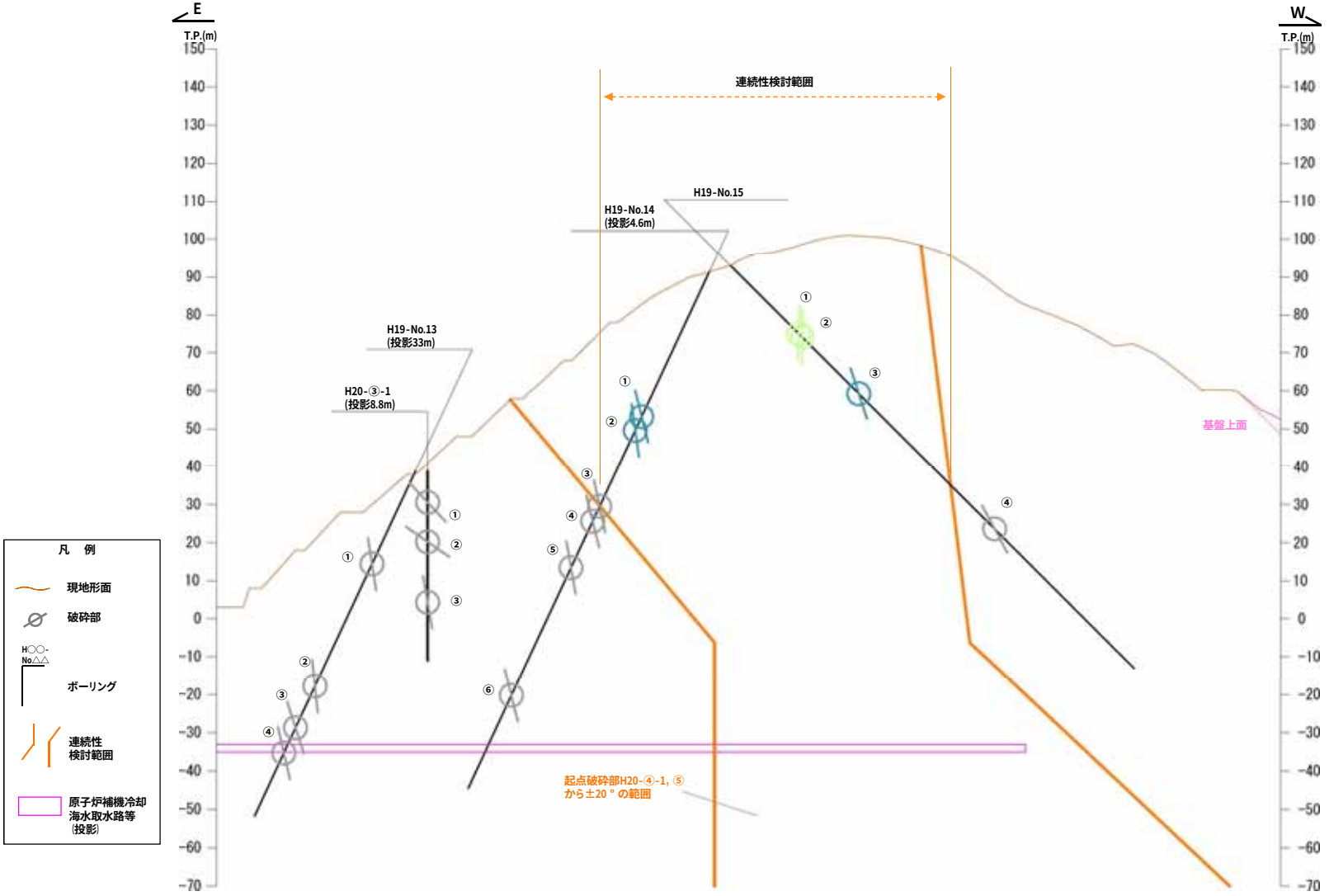
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，⑤)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-1	-	-	⑤	58 87	59.39	N17E		70W		有	無	45R	-		f-④-1-4	参考2-142	
-	H19-No.13	範囲外	①	26 88	27.00	N5E	12	81W	11	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	17	84W	14	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74 52	74.59	N10E	7	73W	3	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	2	78W	8	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40 56	40.57	N11E	6	77W	7	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45 63	45.70	N18E	1	83W	13	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
		範囲外	③	66.90	68.11	N11W	28	78W	8	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	49	77W	7	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	3	81W	11	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123 34	N32E	15	79W	9	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24 58	24.67	N7W	24	88E	22	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25 83	25.93	N6E	11	89E	21	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	3	74W	4	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
		範囲外	④	97 82	97.85	N17E	0	64W	6	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8 22	N79W	84	73S	3	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	42	61N	49	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	16	80W	10	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

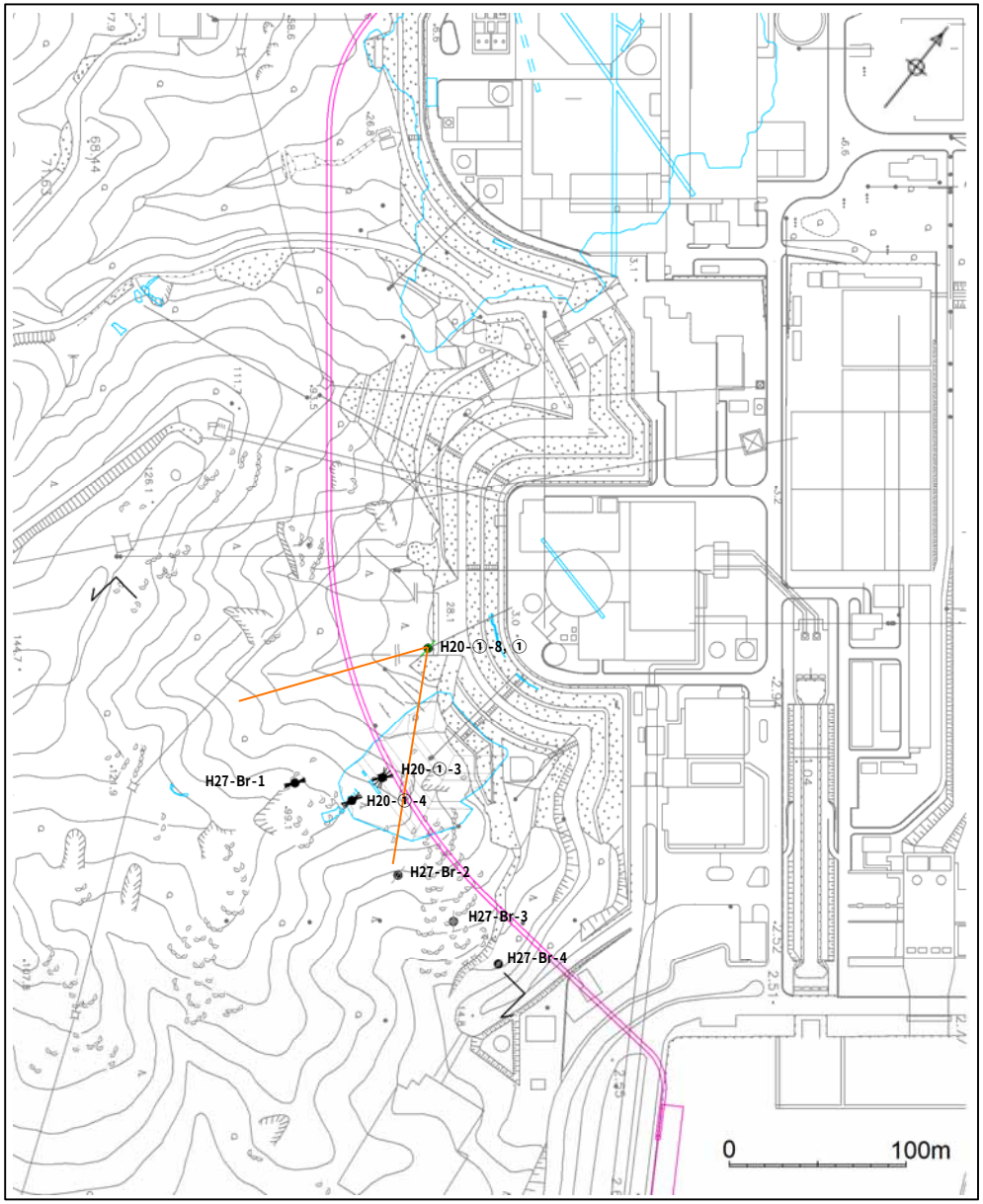
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-8，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

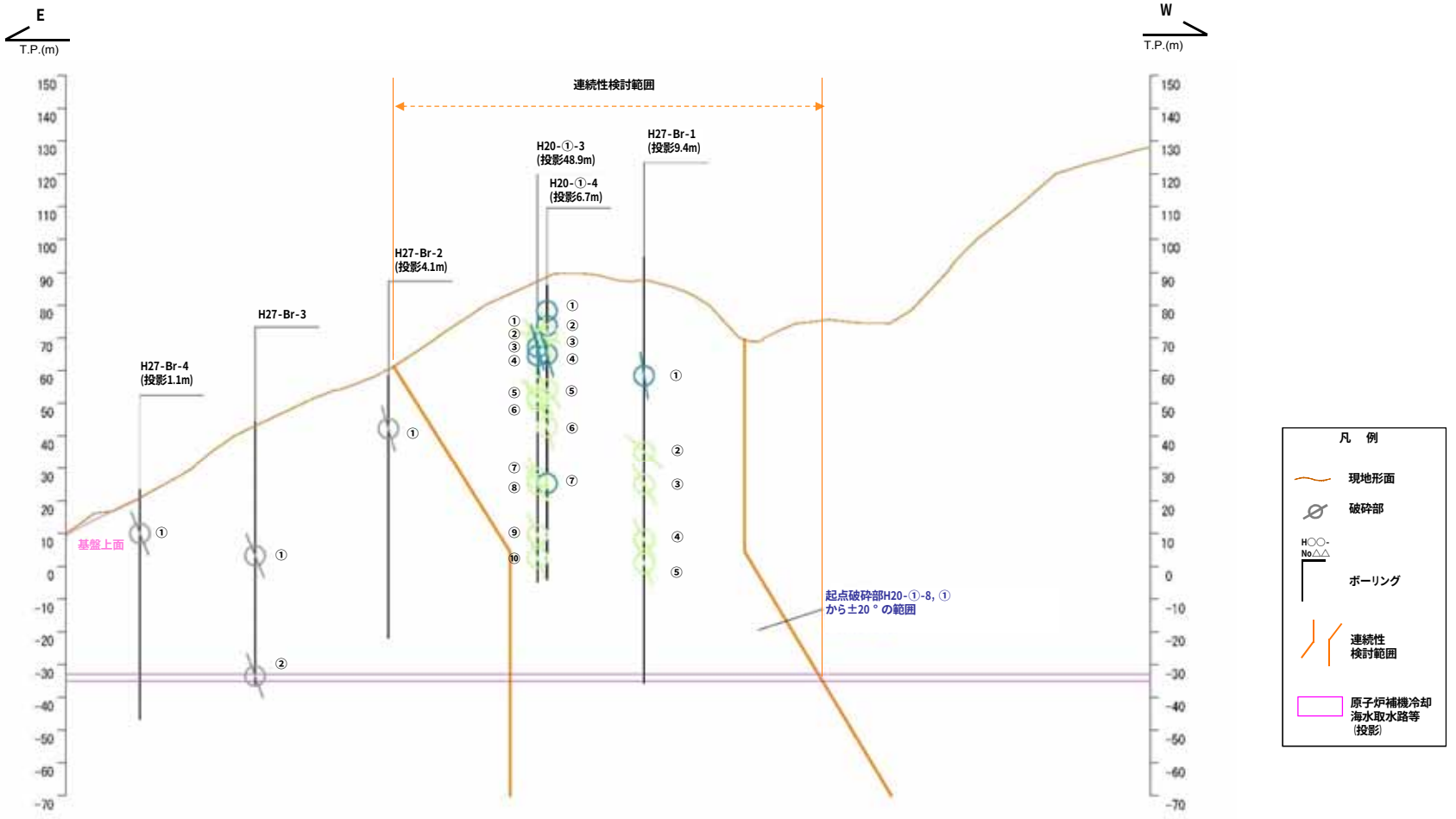
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-8，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-8，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-8	-	-	①	24.96	25 54	N5E		79W		有	無	80R	-		D-4	参考2-89	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	11	81W	2	有	有	76R	N	×	D-3	参考2-88	
			②	59.18	59 27	N31E	26	45W	34	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70 76	N42E	37	64NW	15	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87 85	N34E	29	65W	14	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	41	73W	6	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	5	74W	5	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	46	73NW	6	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	43	76SW	3	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13 24	N8E	3	68W	11	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	78	40N	39	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5 53	5.81	N11E	6	55W	24	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	7	74W	5	有	有	55L	N,RL	×	D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	16	85W	6	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23 62	N12E	7	48W	31	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25 00	N26W	31	64W	15	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48 24	N35E	30	69W	10	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	33	61W	18	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65 89	N49E	44	71N	8	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72 66	N40E	35	72W	7	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	6	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12 26	-	-	(64)	15	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15 25	N32E	27	80W	1	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	14	74W	5	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31.63	31 87	N6E	1	55W	24	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43 24	N36E	31	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60 67	-	-	(66)	13	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

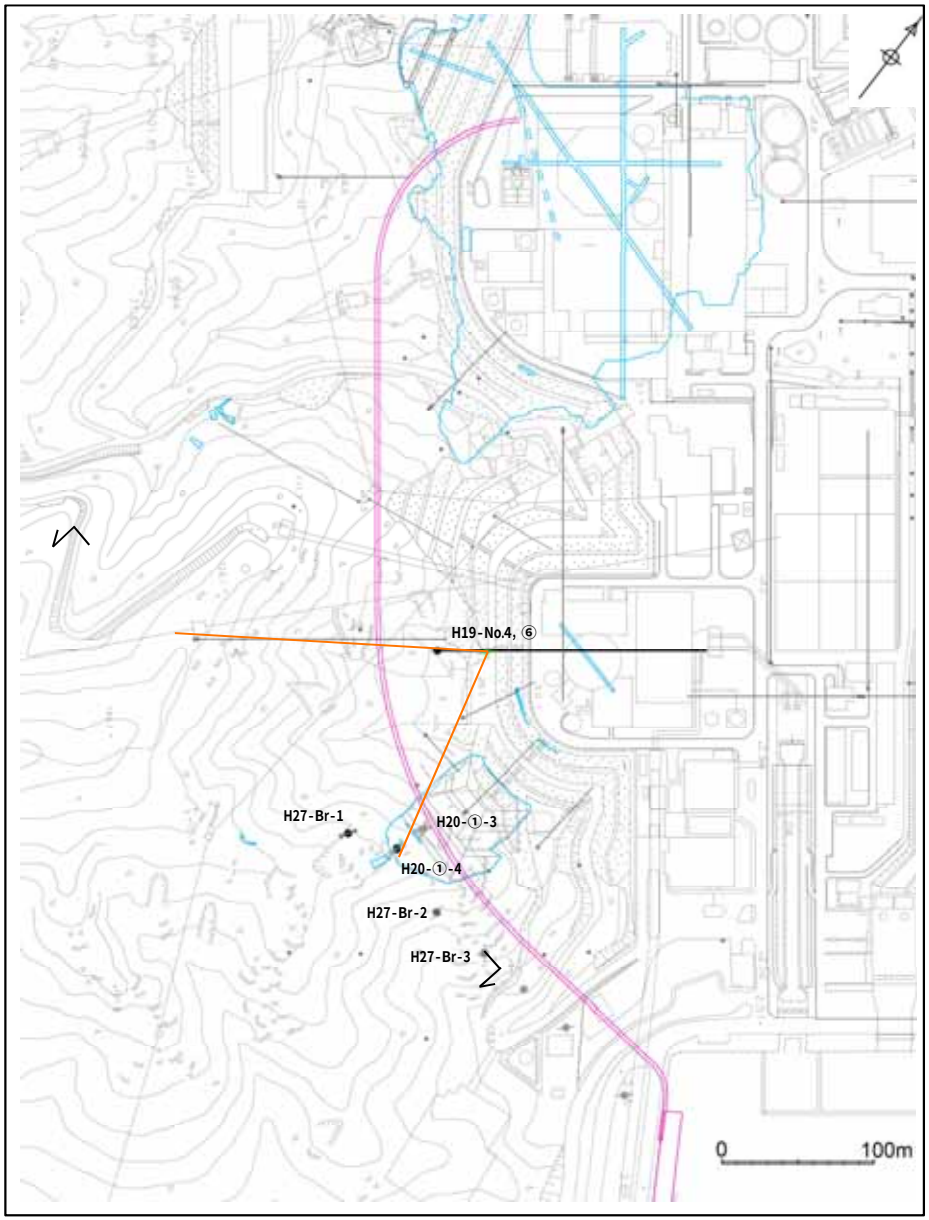
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑥)



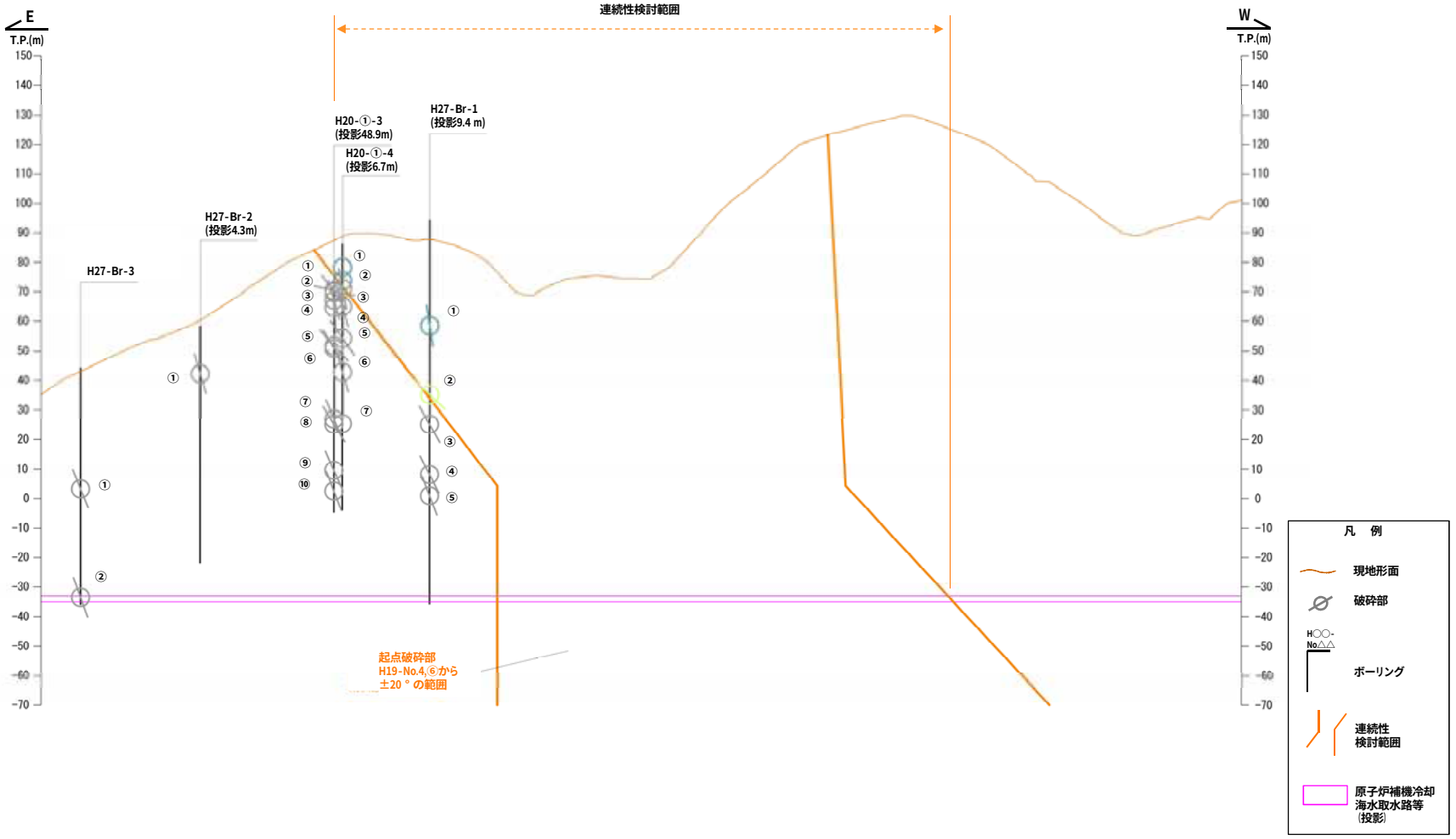
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑥)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑥)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑥	46.13	46.38	N29E		72W		有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	16E	13	81W	9	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	2	45W	27	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
		範囲外	③	67.63	70.76	N42E	13	64NW	8	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	5	65W	7	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	17	73W	1	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	29	74W	2	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	22	73NW	1	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	67	76SW	4	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	54	40N	32	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	18	55W	17	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	17	74W	2	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	18	85W	13	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	17	48W	24	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	55	64W	8	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	6	69W	3	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	9	61W	11	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	20	71N	1	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	11	72W	0	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	13	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	8	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
		範囲外	③	12.70	15.25	N32E	3	80W	8	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	10	74W	2	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	23	55W	17	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	7	76W	4	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	6	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

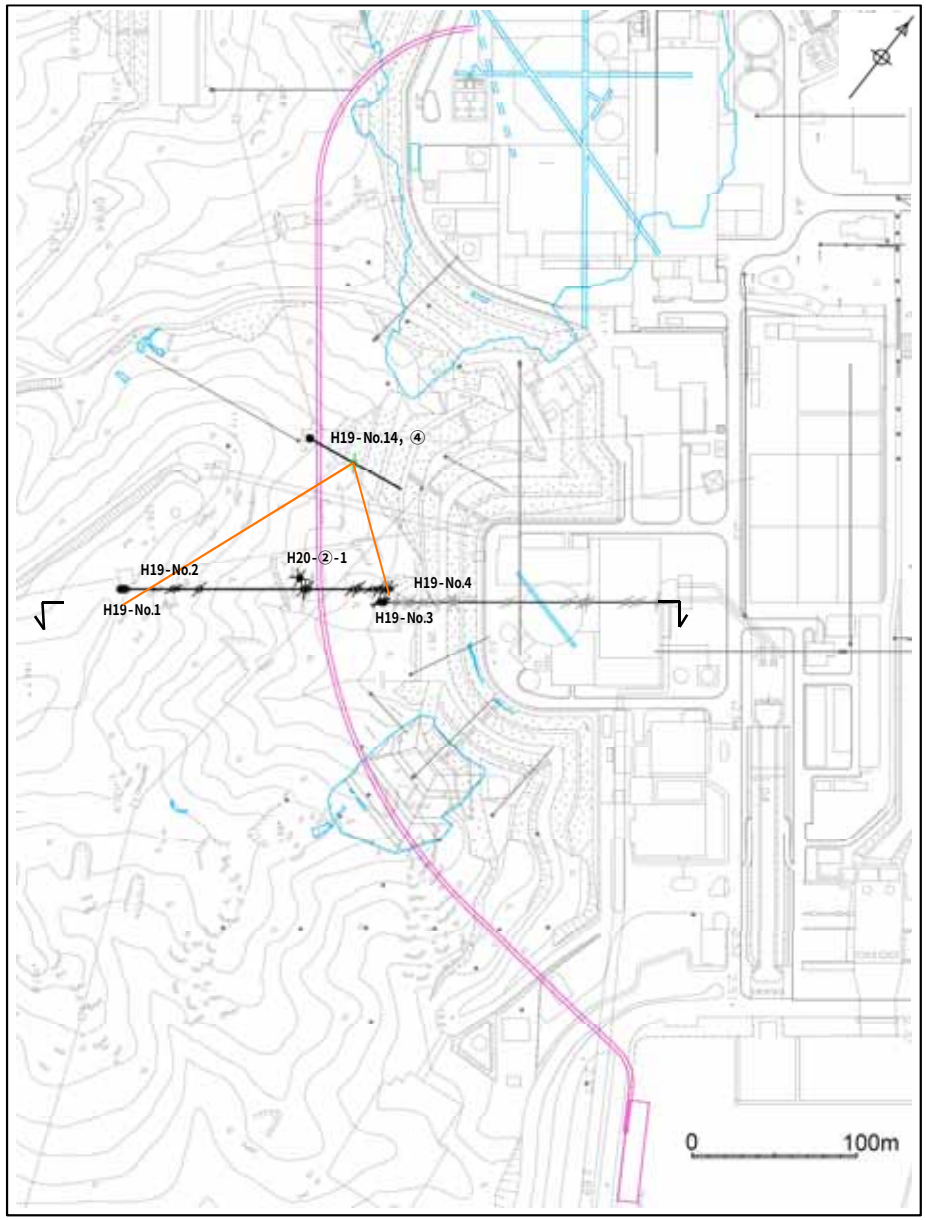
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，④)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

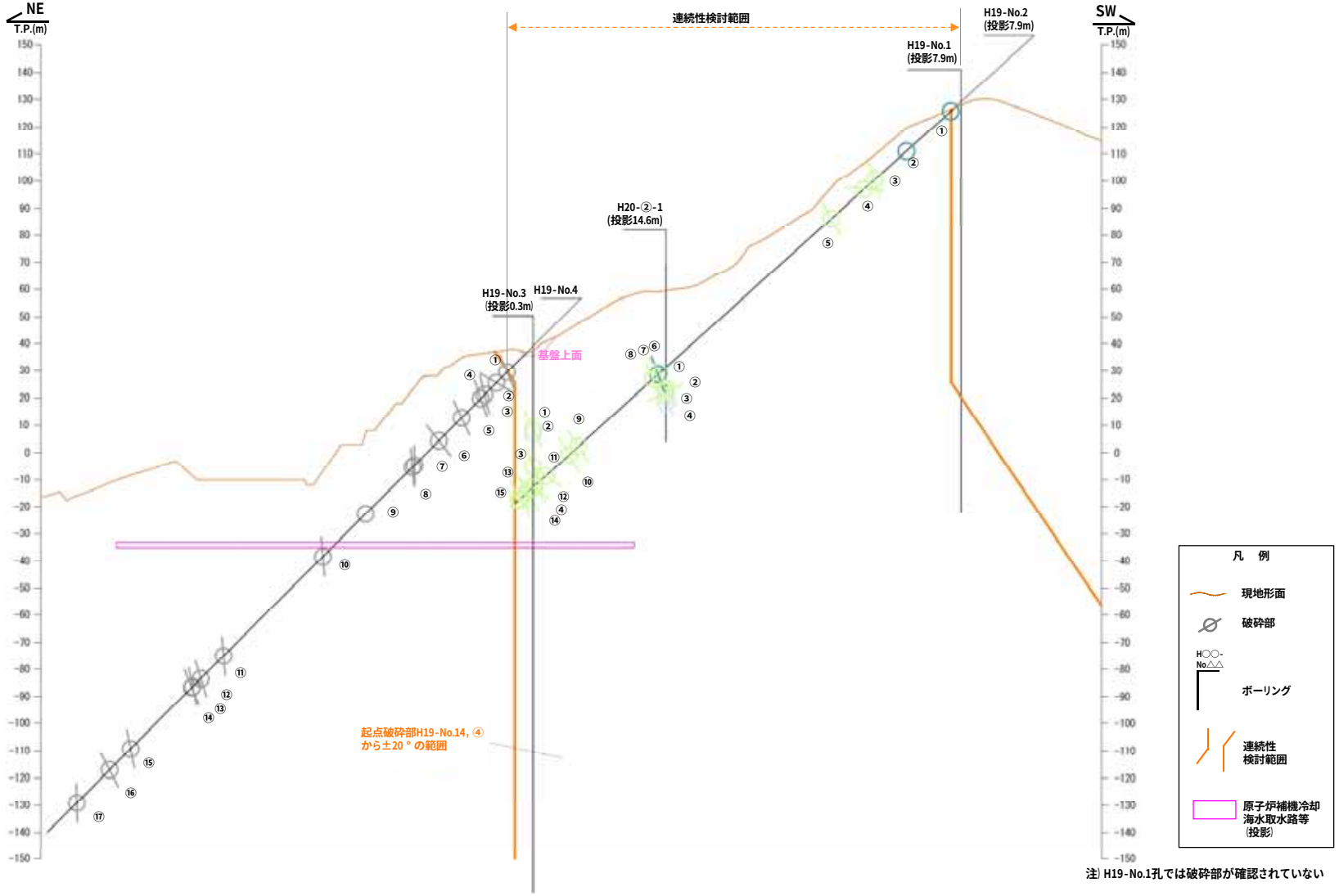
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，④)



注）H19-No.1孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	④	72.43	72 70	N32W		77W		無	-	-	-		f-④-5-3	参考2-143	
-	H19-No 2	範囲内	①	2 35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	×	f-15-2	参考2-131	※1
			②	24 38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※1
			③	39 83	39 88	N25E	57	82W	5	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45 75	N40E	72	26W	51	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61 25	61 30	N7E	39	68W	9	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	39	64W	13	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	1	70W	7	有	無	76R	-	×	D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	31	72W	5	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	53	70W	7	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	34	66W	11	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	64	64W	13	有	無	23L	-		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	32	66W	11	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	26	63W	14	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	23	64W	13	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	58	61W	16	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No 3		①	28 77	28 82	N32E	64	80W	3	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30 38	30.48	-	-	(63)	14	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42 75	42 81	N17E	49	77W	0	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50 35	50.48	N37E	69	67W	10	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4	範囲外	①	10.48	11 53	N4W	28	70W	7	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16 31	N35E	67	62W	15	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22 20	22 26	N3E	35	79W	2	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	25	73W	4	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34 24	34 38	N12E	44	73W	4	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46 38	N29E	61	72W	5	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59 22	59 59	N10W	22	89W	12	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60 32	60 36	N71W	86	86N	17	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84 25	84 33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	48	87W	10	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	47	87W	10	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	41	78W	1	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	3	78W	1	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	46	76W	1	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	45	83W	6	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	52	74W	3	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	4	88W	11	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46 34	N3W	29	60W	17	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46 85	46.97	N63E	85	71S	6	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48 26	48.95	N52W	20	71SW	6	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49 21	51.10	-	-	(65)	12	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

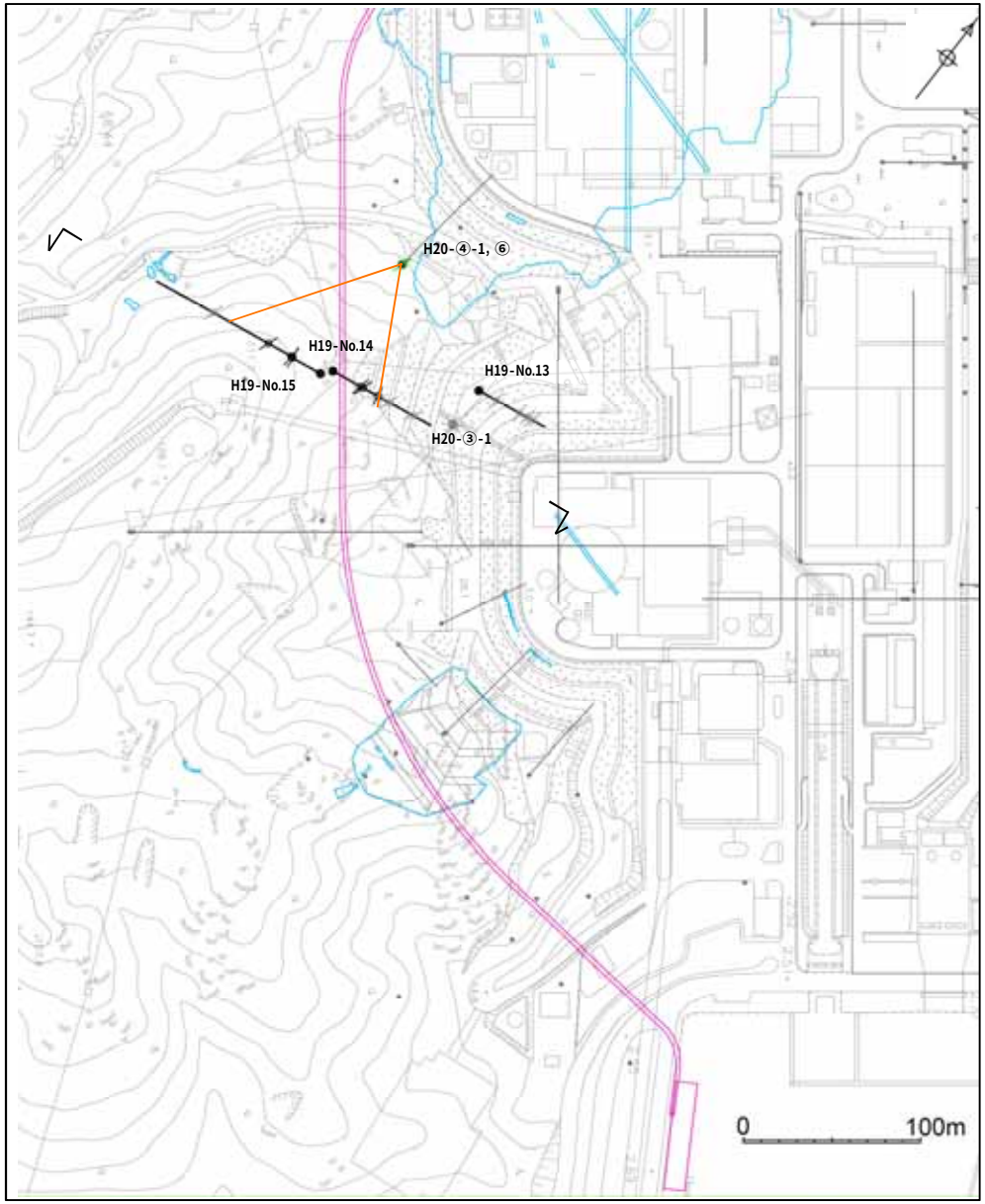
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，⑥)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

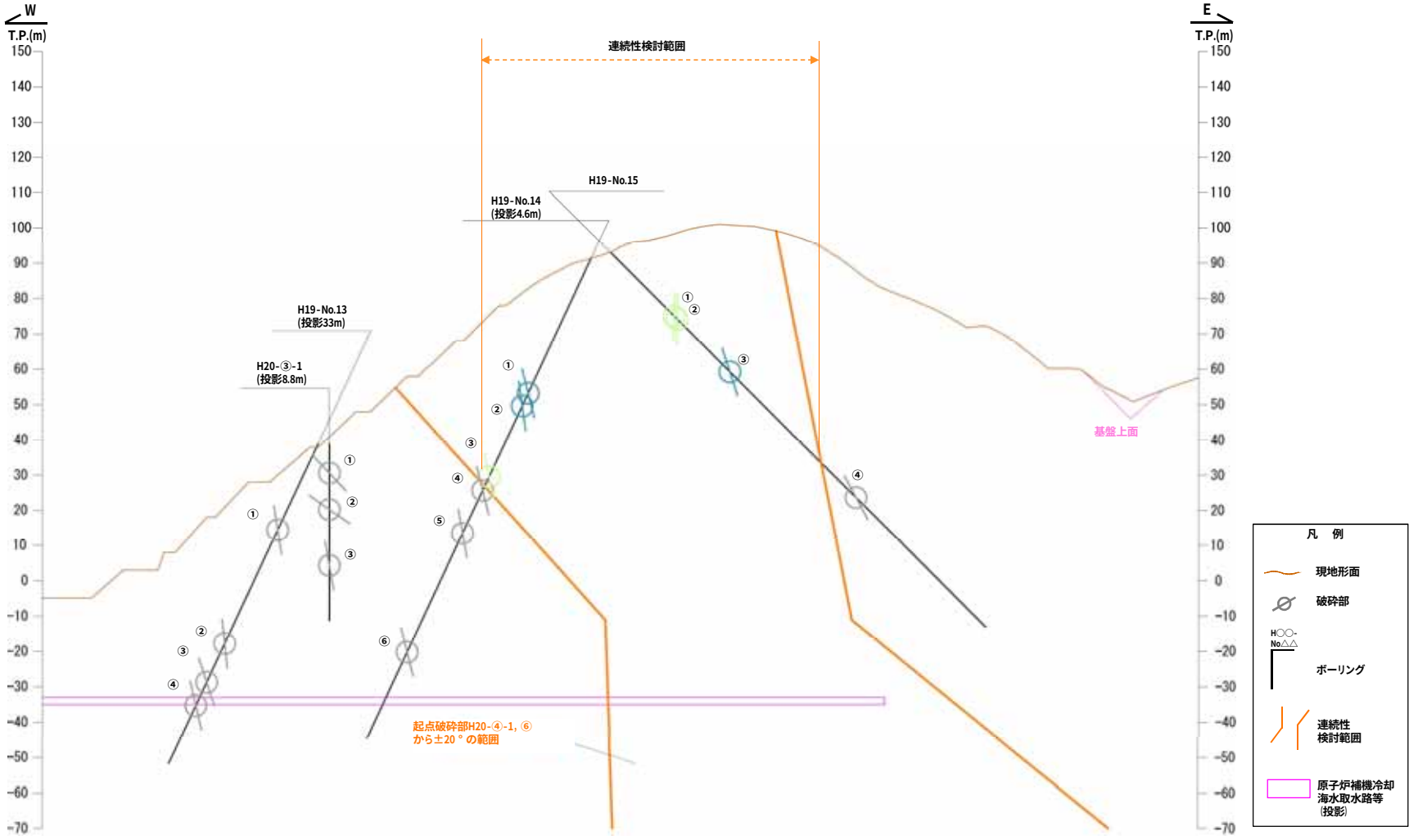
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，⑥)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，⑥)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H20-④-1	-	-	⑥	63.91	64.44	N19E		68W		有	無	80L	-		D-21	参考2-102	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27 00	N5E	14	81W	13	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62 37	NS	19	84W	16	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74 59	N10E	9	73W	5	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82 37	N15E	4	78W	10	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40 57	N11E	8	77W	9	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45 70	N18E	1	83W	15	有	有	80L	-	×	f-14-2	参考2-131	※1
			③	66.90	68.11	N11W	30	78W	10	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
		範囲外	④	72.43	72 70	N32W	51	77W	9	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87 03	N20E	1	81W	13	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	13	79W	11	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24 67	N7W	26	88E	24	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	13	89E	23	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	1	74W	6	有	無	73L	-	×	f-④-3-1	参考2-143	※1
		範囲外	④	97.82	97 85	N17E	2	64W	4	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	82	73S	5	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18 53	N59E	40	61N	51	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34 50	N1E	18	80W	12	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

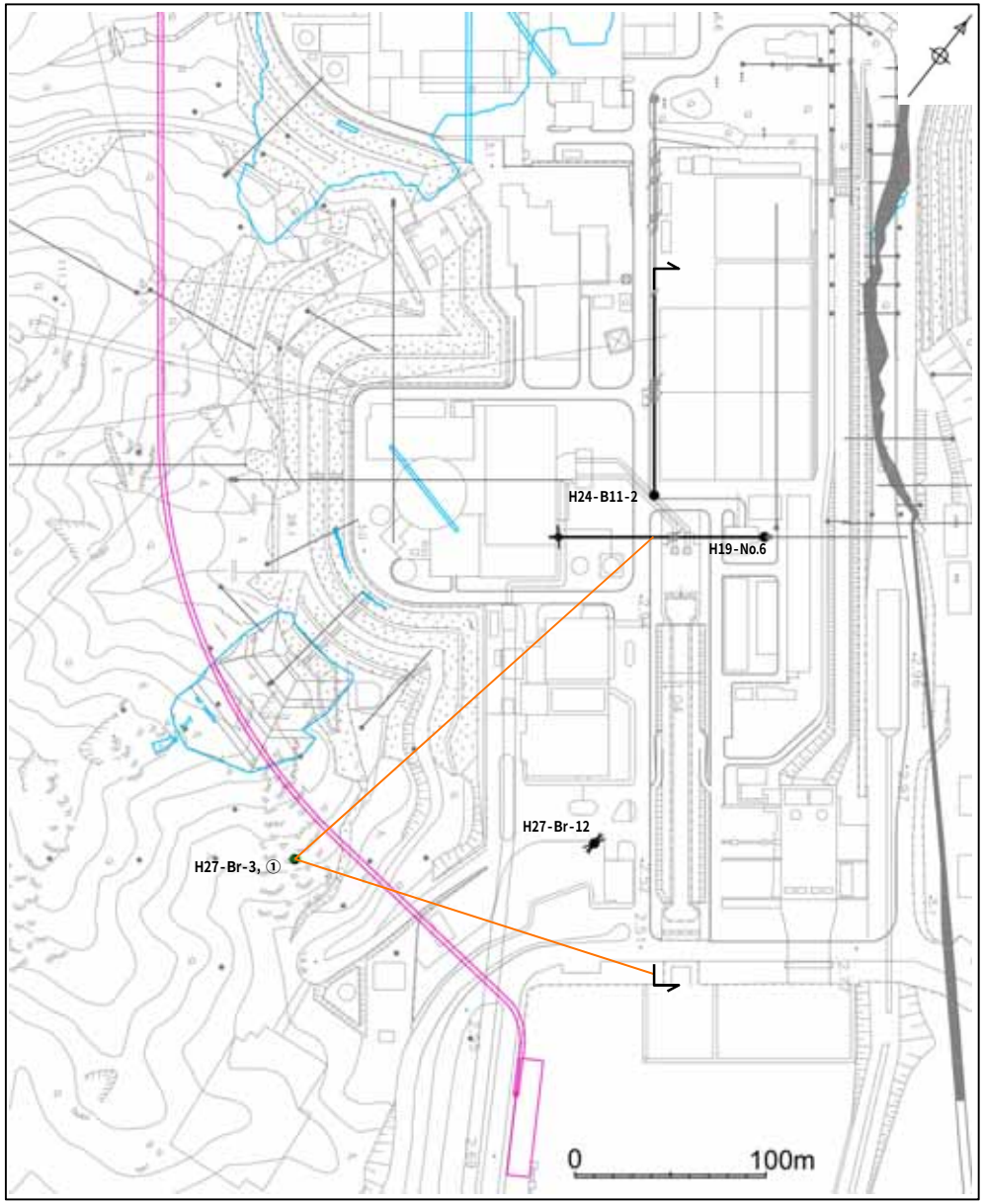
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-3，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

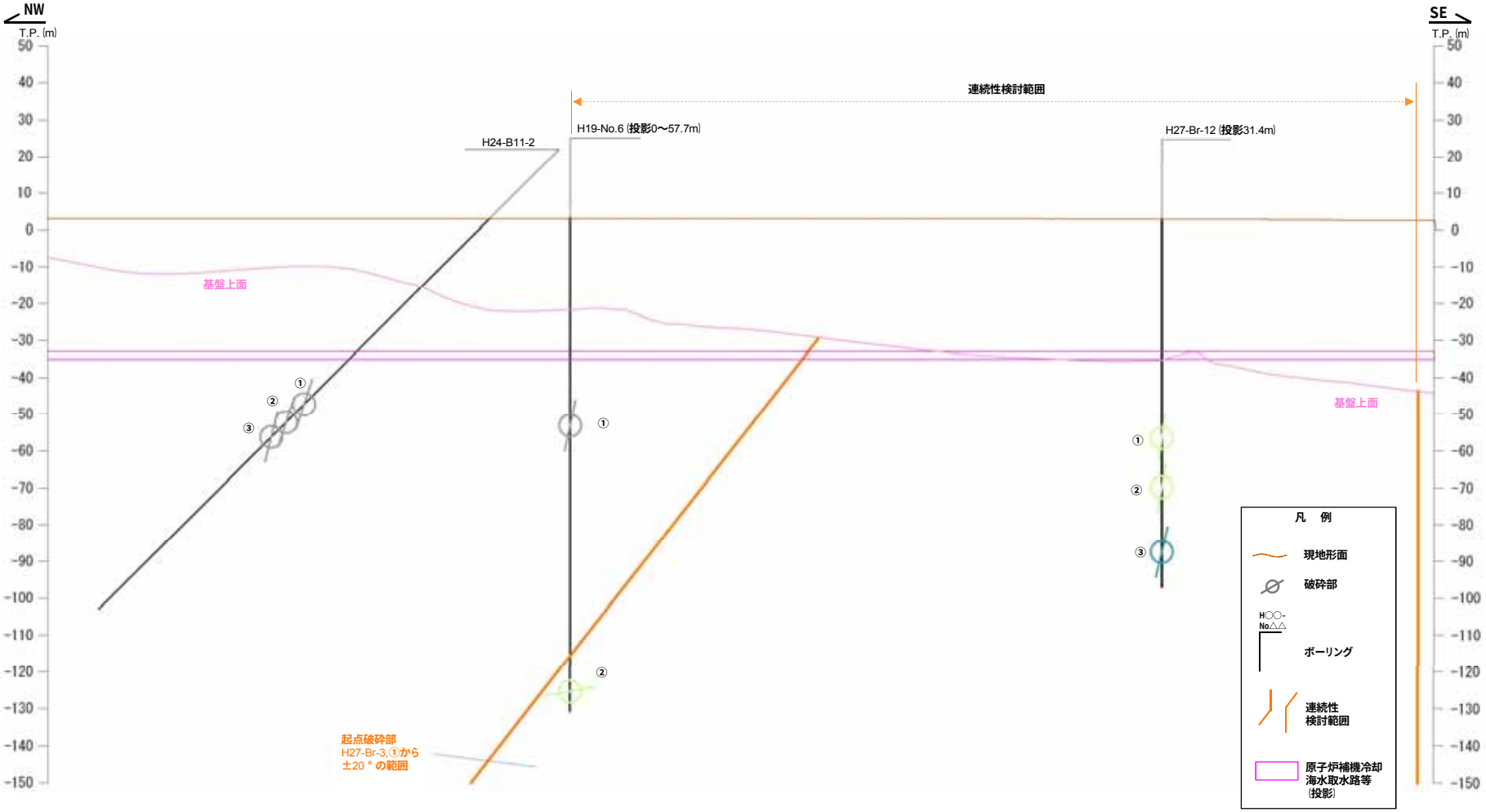
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-3，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-3，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-Br-3	-	-	①	40.53	41.10	N51E		73NW		有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71 24	N12E	39	76W	3	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	51	79W	6	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	42	80W	7	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	45	82W	9	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
		範囲内	②	167 53	168.54	N41W	88	69W	4	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H27-Br-12		①	58.40	59 38	N7E	44	85W	12	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72 72	N6W	57	85W	12	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89 68	90 32	N31E	20	78NW	5	有	有	90	N	×	f-br-12-3	参考2-177	※4

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

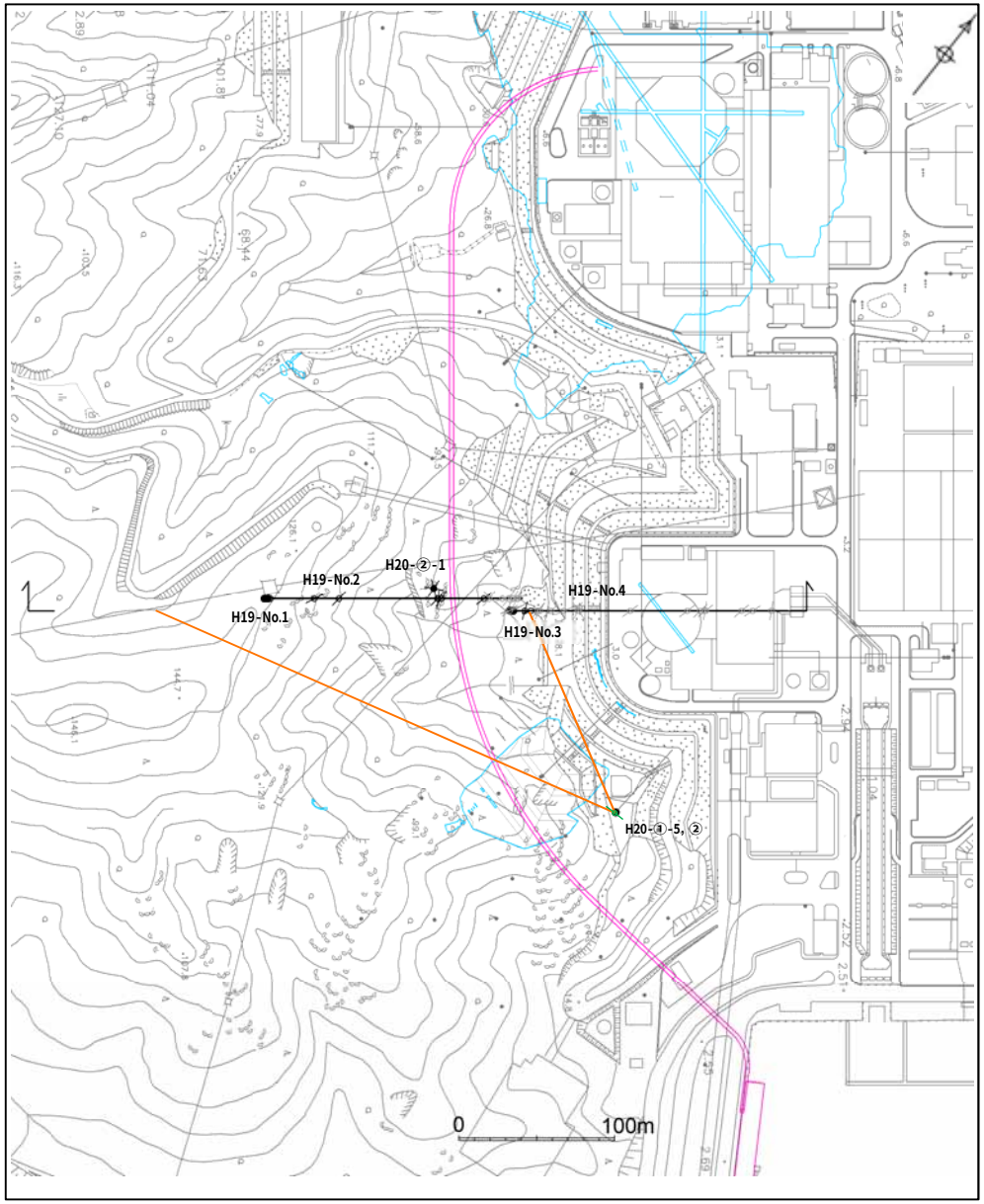
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-5，②)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

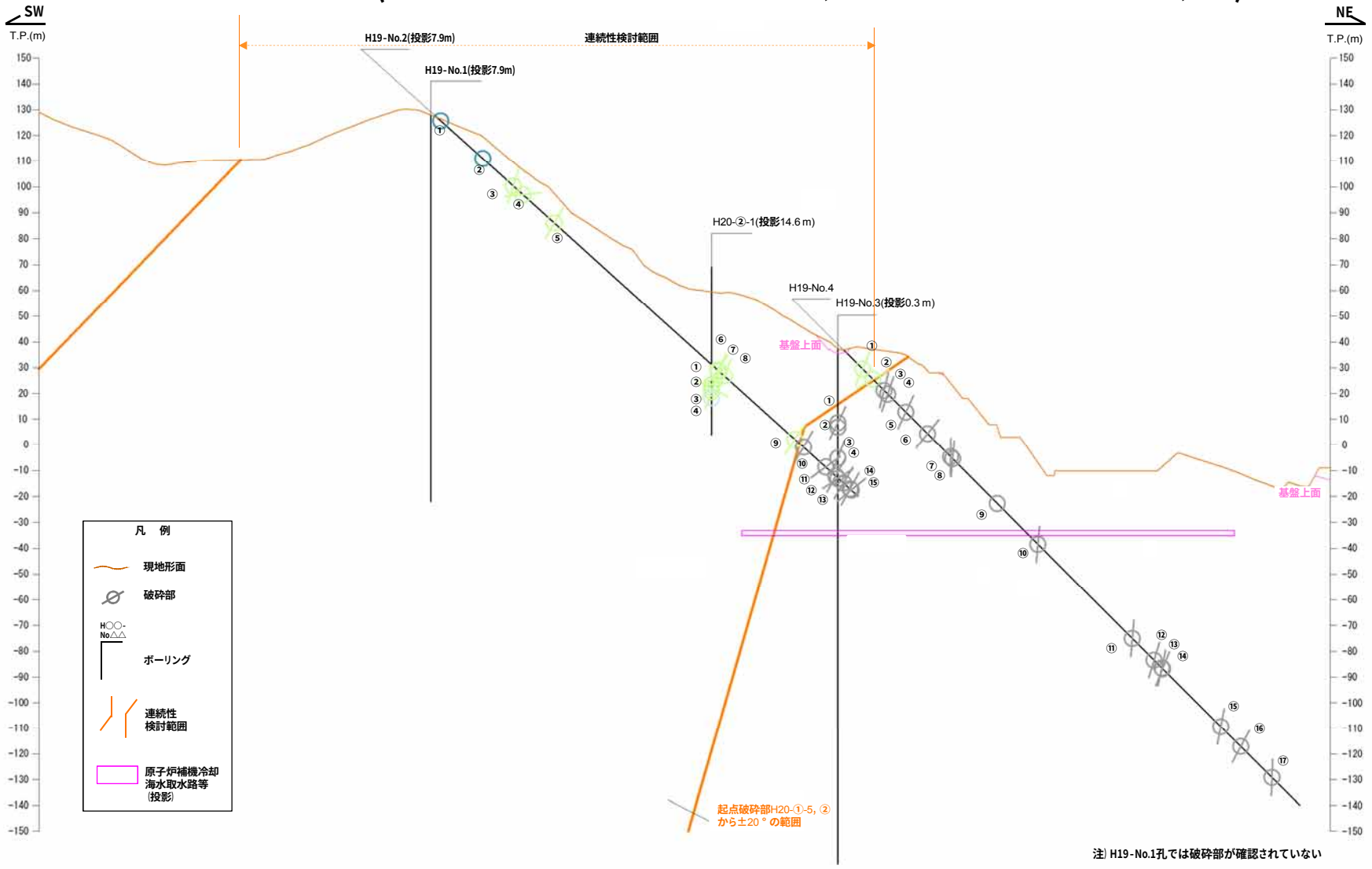
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-5，②)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-5，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-5	-	-	②	34 37	34.70	N89W		58S		無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
-	H19-No 2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	×	f-15-2	参考2-131	※1
			②	24 38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※1
			③	39 83	39 88	N25E	66	82W	24	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	51	26W	32	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61 25	61 30	N7E	84	68W	10	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146 29	146 32	N7E	84	64W	6	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147 04	147.48	N31W	58	70W	12	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149 84	N1E	90	72W	14	有	有	70L	-		D-1	参考2-37	
			⑨	186 53	186 58	N21E	76	70W	12	有	無	36L	-		D-2	参考2-87	
		範囲外	⑩	191.10	191.14	N2E	89	66W	8	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202 81	202 85	N32E	59	64W	6	有	無	23L	-		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208 69	NS	89	66W	8	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212 00	212 07	N6W	83	63W	5	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	80	64W	6	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216 24	N26E	65	61W	3	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No 3		①	28.77	28 82	N32E	59	80W	22	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30 38	30.48	-	-	(63)	59	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42 81	N17E	74	77W	19	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50 35	50.48	N37E	54	67W	9	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4	範囲内	①	10.48	11 53	N4W	85	70W	12	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16 31	N35E	56	62W	4	無	-	38L	-		f-2-10	参考2-125	
		範囲外	③	22 20	22 26	N3E	88	79W	21	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	82	73W	15	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34 24	34 38	N12E	79	73W	15	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46 38	N29E	62	72W	14	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59 22	59 59	N10W	79	89W	31	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60 32	60 36	N71W	18	86N	36	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84 25	84 33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107 54	109.94	N16E	75	87W	29	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159 88	N15E	76	87W	29	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171 69	174 88	N9E	82	78W	20	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175 27	175 28	N29W	60	78W	20	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175 64	175 65	N14E	77	76W	18	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207 69	207.72	N13E	78	83W	25	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	71	74W	16	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234 32	236.15	N28W	61	88W	30	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46 34	N3W	86	60W	2	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46 85	46.97	N63E	28	71S	13	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48 26	48.95	N52W	37	71SW	13	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49 21	51.10	-	-	(65)	7	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

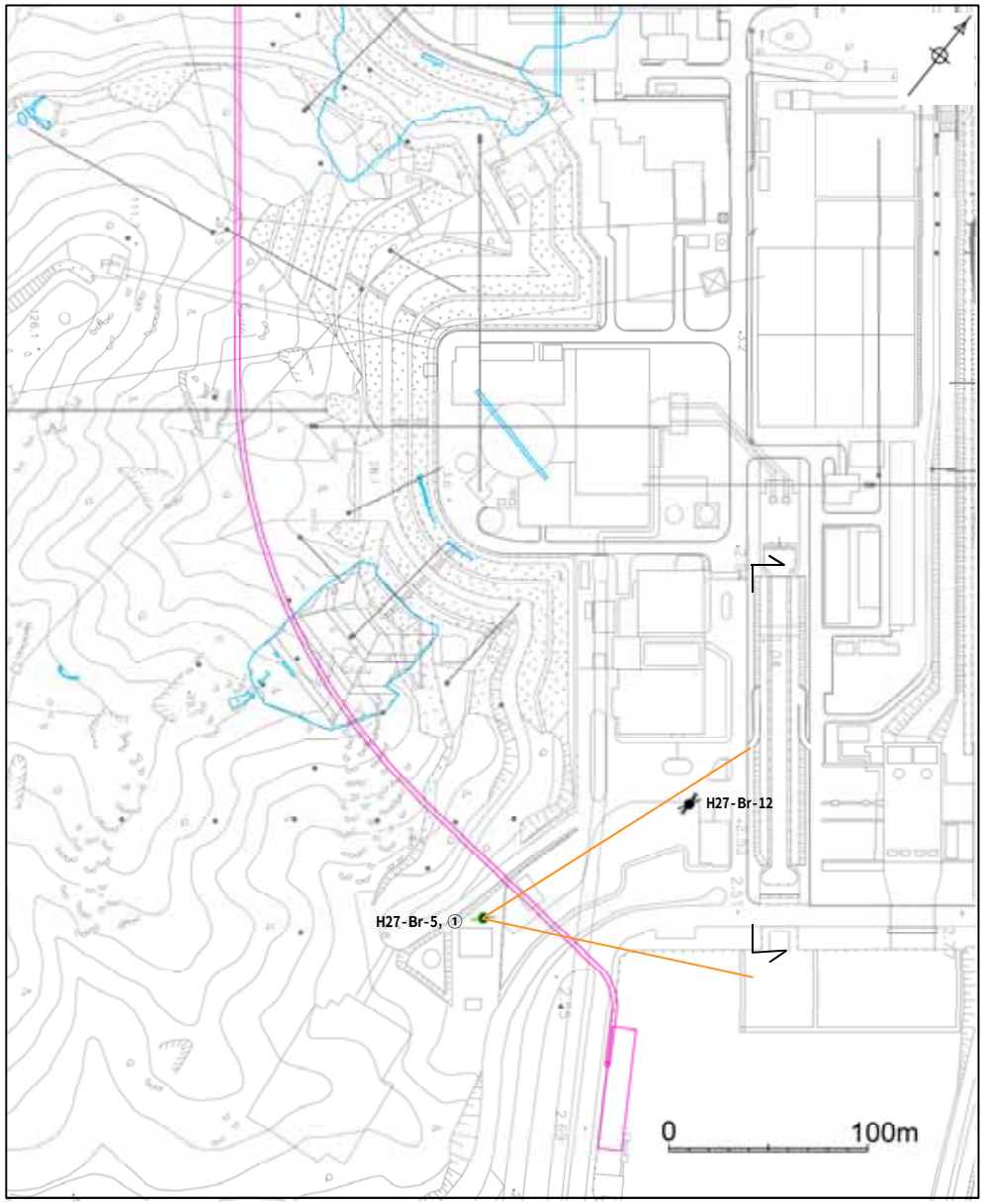
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-5，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

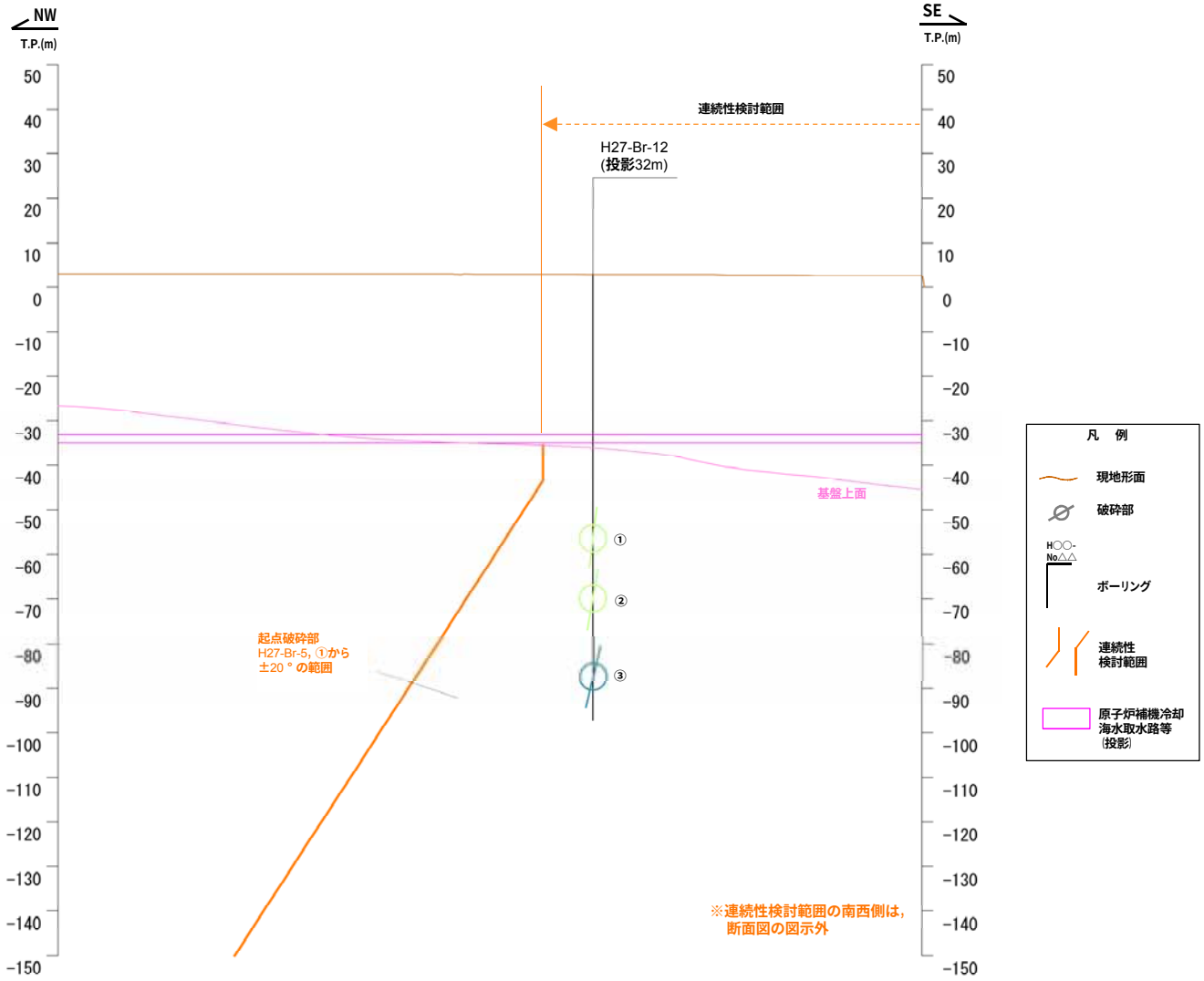
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-5，①)



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-5，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-Br-5	-	-	①	50.48	51.16	N46E		78NW		有	有	80R	N		f-br-5-1	参考2-177	
-	H27-Br-12	範囲内	①	58.40	59 38	N7E	39	85W	7	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72 72	N6W	52	85W	7	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89 68	90 32	N31E	15	78W	0	有	有	90	N	×	f-br-12-3	参考2-177	※1

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

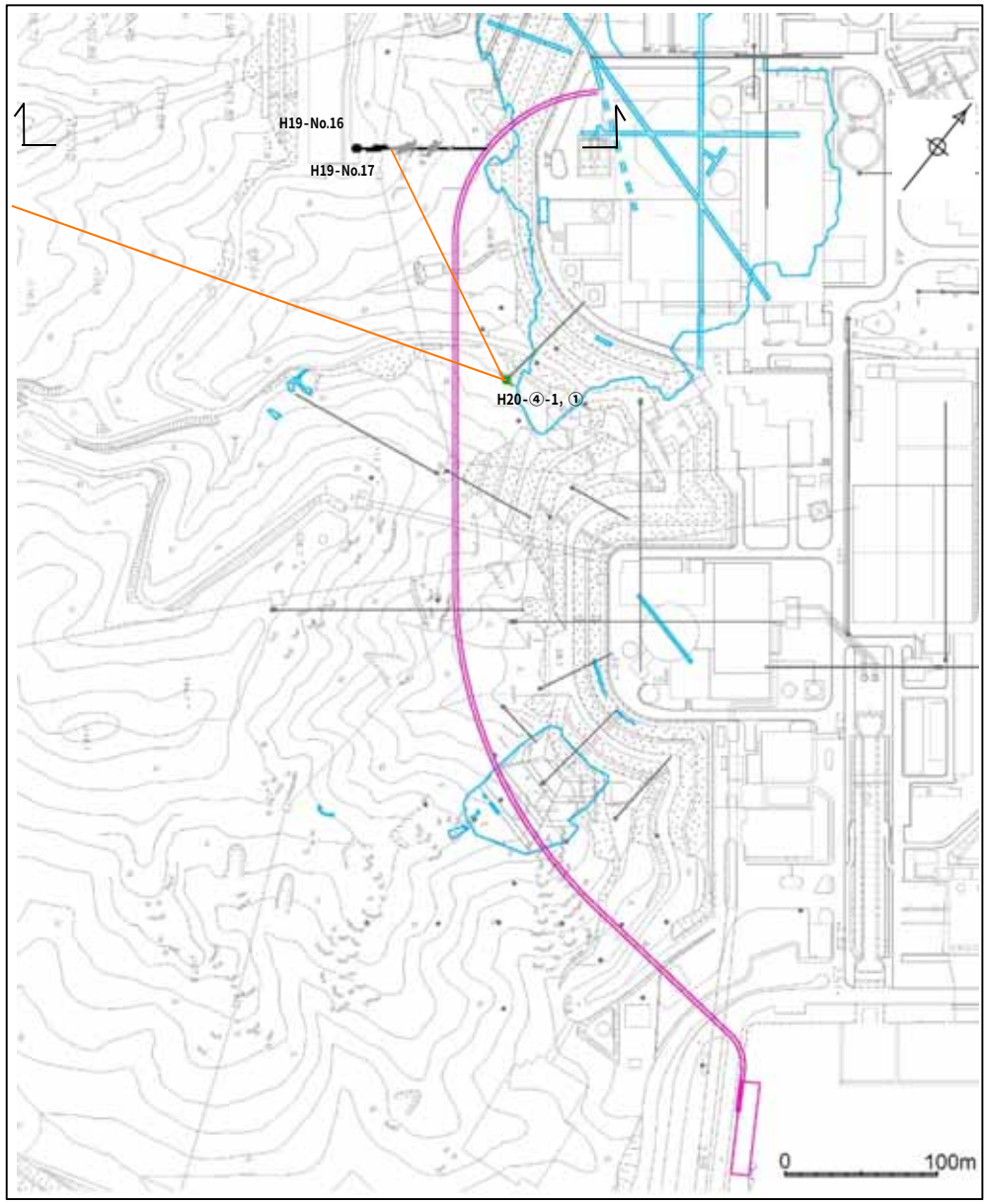
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，①)



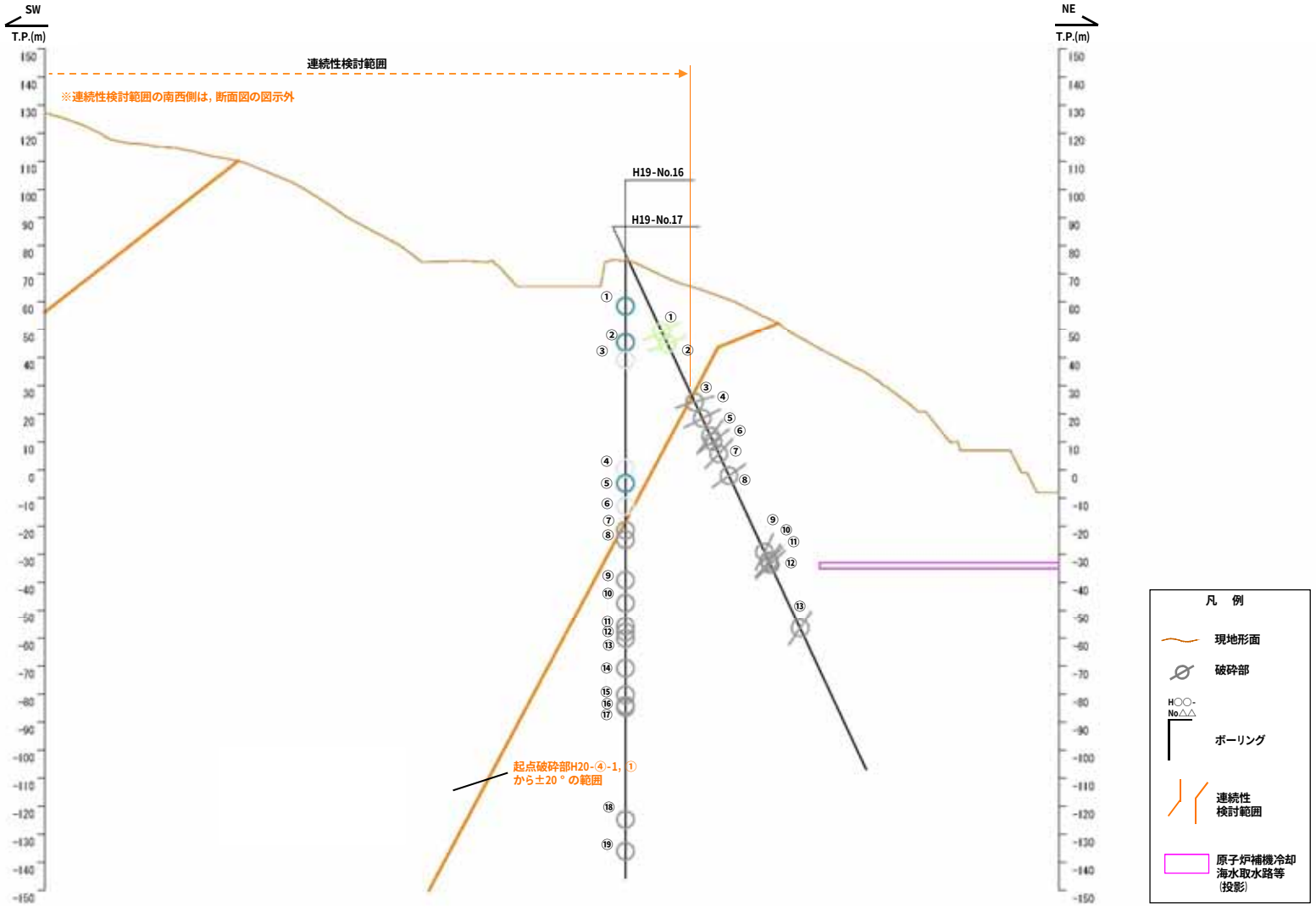
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-1	-	-	①	9.33	9 61	N82W		45S		無	-	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
-	H19-No.16	範囲内	①	16 01	17.82	-	-	(60)	15	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※2
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	18	無	-	-	-	×	f-⑥-3-2	参考2-147	※4
			③	35 33	35.35	-	-	(60)	15	有	有	-	-		f-17-2	参考2-132	
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	4	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79 22	79.25	-	-	(55)	10	有	無	-	-	×	D-12	参考2-91	※3
			⑥	86 04	87.32	-	-	(44)	1	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
		範囲外	⑦	91 50	91.79	-	-	(60)	15	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑧	93 75	96.18	-	-	(70)	25	有	有	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	113.66	113 77	-	-	(74)	29	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑩	121.85	122 21	-	-	(44)	1	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131 28	-	-	(57)	12	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133 07	-	-	(49)	4	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136 00	-	-	(60)	15	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑭	145.25	145 35	-	-	(81)	36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑮	154.74	154 81	-	-	(60)	15	無	-	-	-		D-16	参考2-93	
			⑯	158.45	158 51	-	-	(68)	23	無	-	-	-		D-17	参考2-98	
			⑰	159.23	159 62	-	-	(55)	10	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
			⑱	199.22	200 00	-	-	(86)	41	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑲	210.70	210 71	-	-	(84)	39	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.17	範囲内	①	27 65	27.73	N34E	64	57W	12	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32 54	32.75	N35E	63	51W	6	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
		範囲外	③	55.45	55.46	N39E	59	52W	7	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61 89	62.22	N28E	70	50W	5	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68 84	69.25	N10E	88	62W	17	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	80	53W	8	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75 60	75.90	N14E	84	77W	32	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82 83	85.61	N19W	63	36W	9	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115 63	N8W	74	67W	22	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117 79	N11W	71	57W	12	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118 25	N11E	87	59W	14	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119 29	N14E	84	57W	12	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144 37	N10E	88	65W	20	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

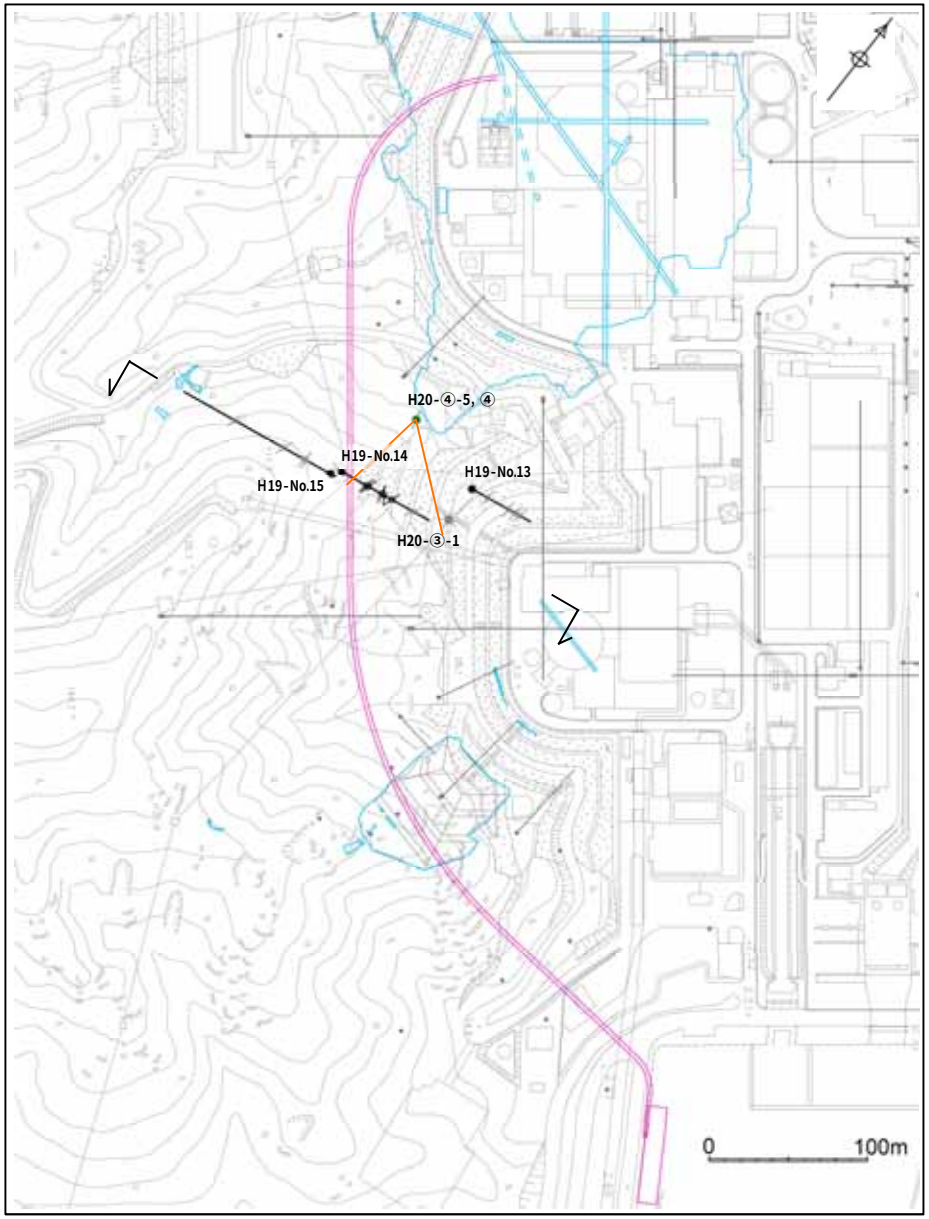
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，④)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

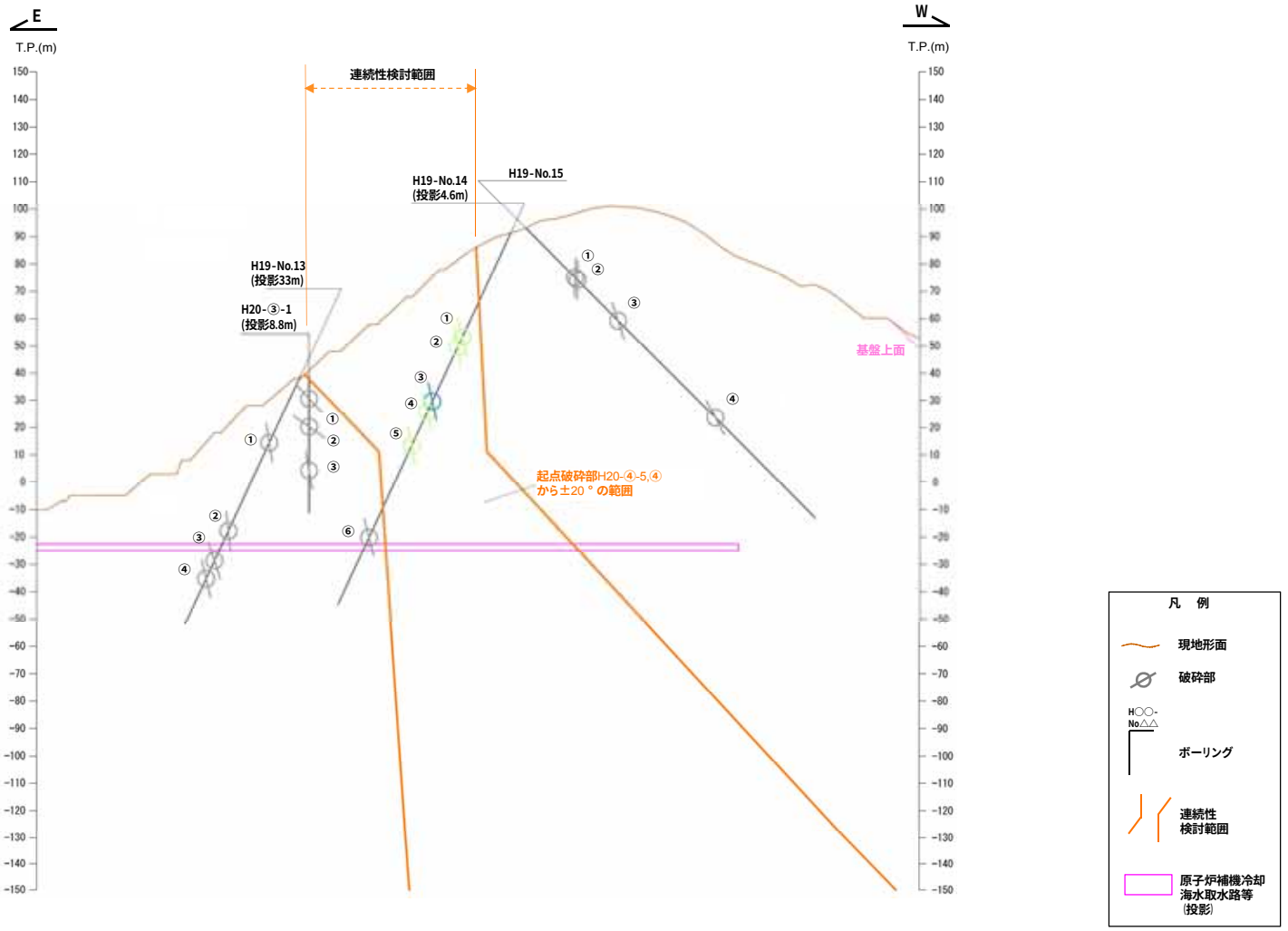
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，④)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H20-④-5	-	-	④	51.86	52.16	N11W		68W		有	有	30L	-		f-④-5-3	参考2-143	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	16	81W	13	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	11	84W	16	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	21	73W	5	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	26	78W	10	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	22	77W	9	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	29	83W	15	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	0	78W	10	有	無	56L	-	×	D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	21	77W	9	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	31	81W	13	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
		範囲外	⑥	123.32	123.34	N32E	43	79W	11	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15		①	24.58	24.67	N7W	4	88E	24	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	17	89E	23	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	31	74W	6	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	28	64W	4	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	68	73S	5	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	70	61N	51	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	12	80W	12	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

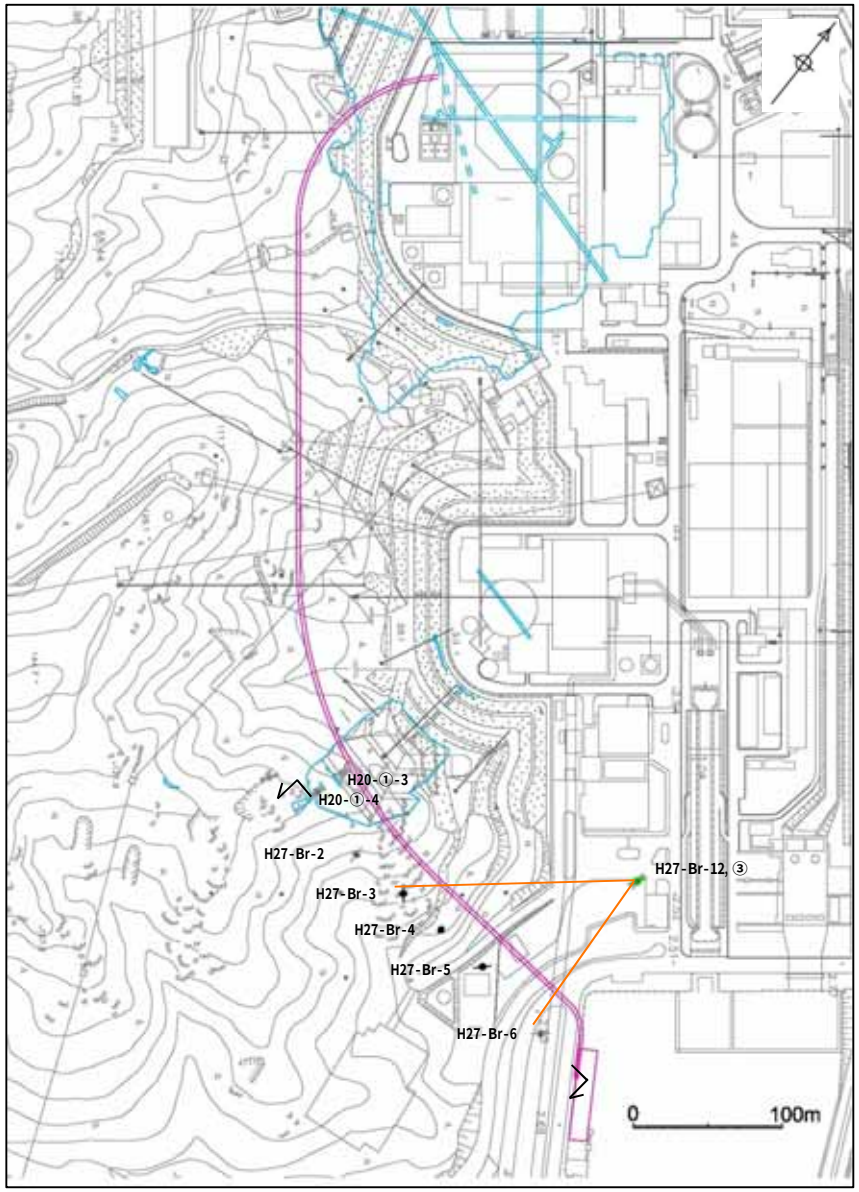
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-12，③)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

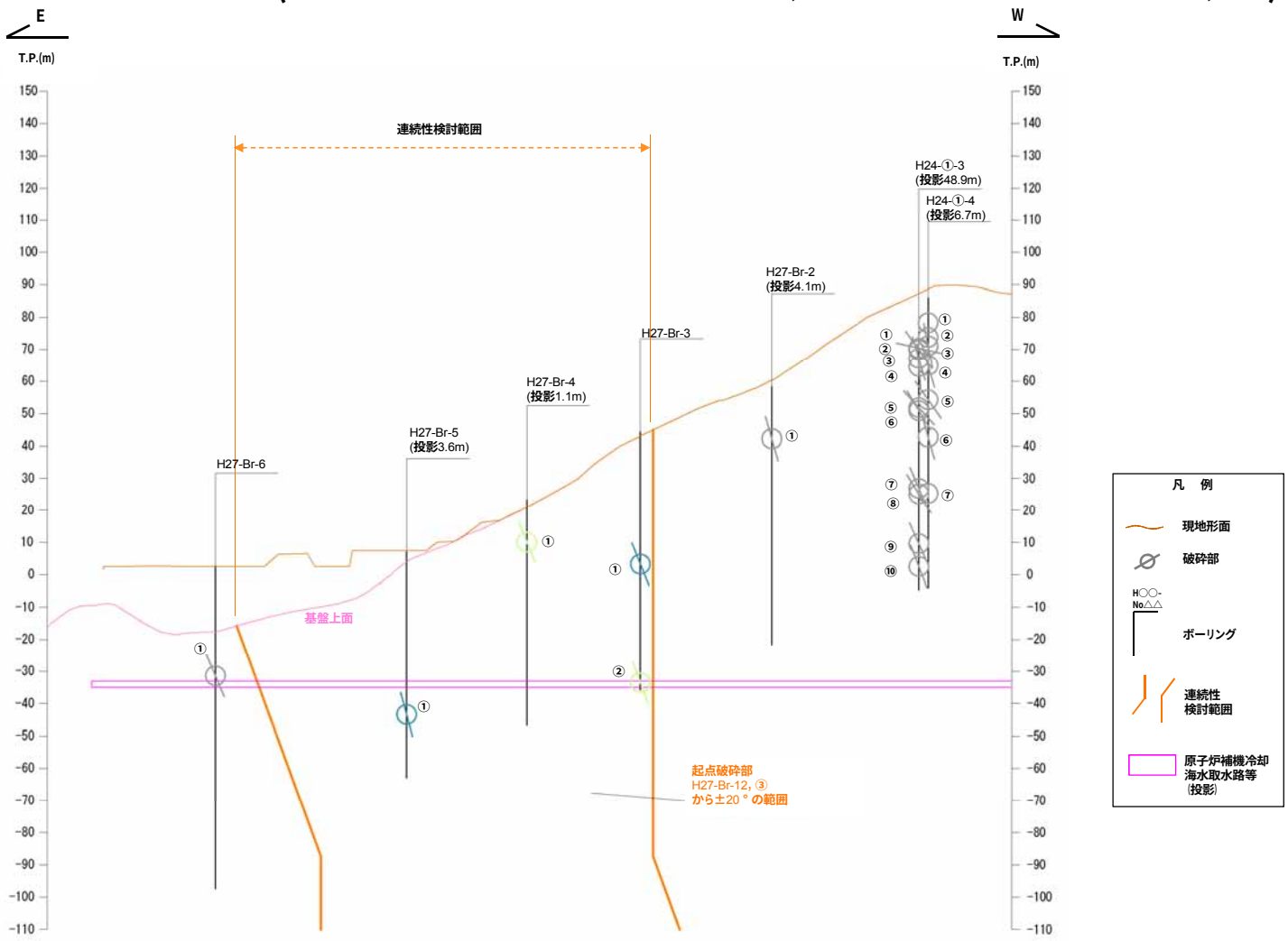
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-12，③)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-12，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-Br-12	-	-	③	89.68	90.32	N31E		78NW		有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	
-	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	31	74W	4	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3	範囲内	①	40.53	41.10	N51E	20	73NW	5	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	69	76SW	2	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	23	68W	10	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-5		①	50.48	51.16	N46E	15	78NW	0	有	有	80R	N	×	f-br-5-1	参考2-177	
	H27-Br-6	範囲外	①	33.02	34.01	N49E	18	72W	6	有	有	85R	N		f-br-6-1	参考2-177	
	H20-①-3		①	4.96	5 00	N83E	52	40N	38	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5 81	N11E	20	55W	23	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8 73	N12E	19	74W	4	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	42	85W	7	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	19	48W	30	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	57	64W	14	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	4	69W	9	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	7	61W	17	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	18	71N	7	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	9	72W	6	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7 70	-	-	(85)	7	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	14	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12.70	15.25	N32E	1	80W	2	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	12	74W	4	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	25	55W	23	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	5	76W	2	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	12	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

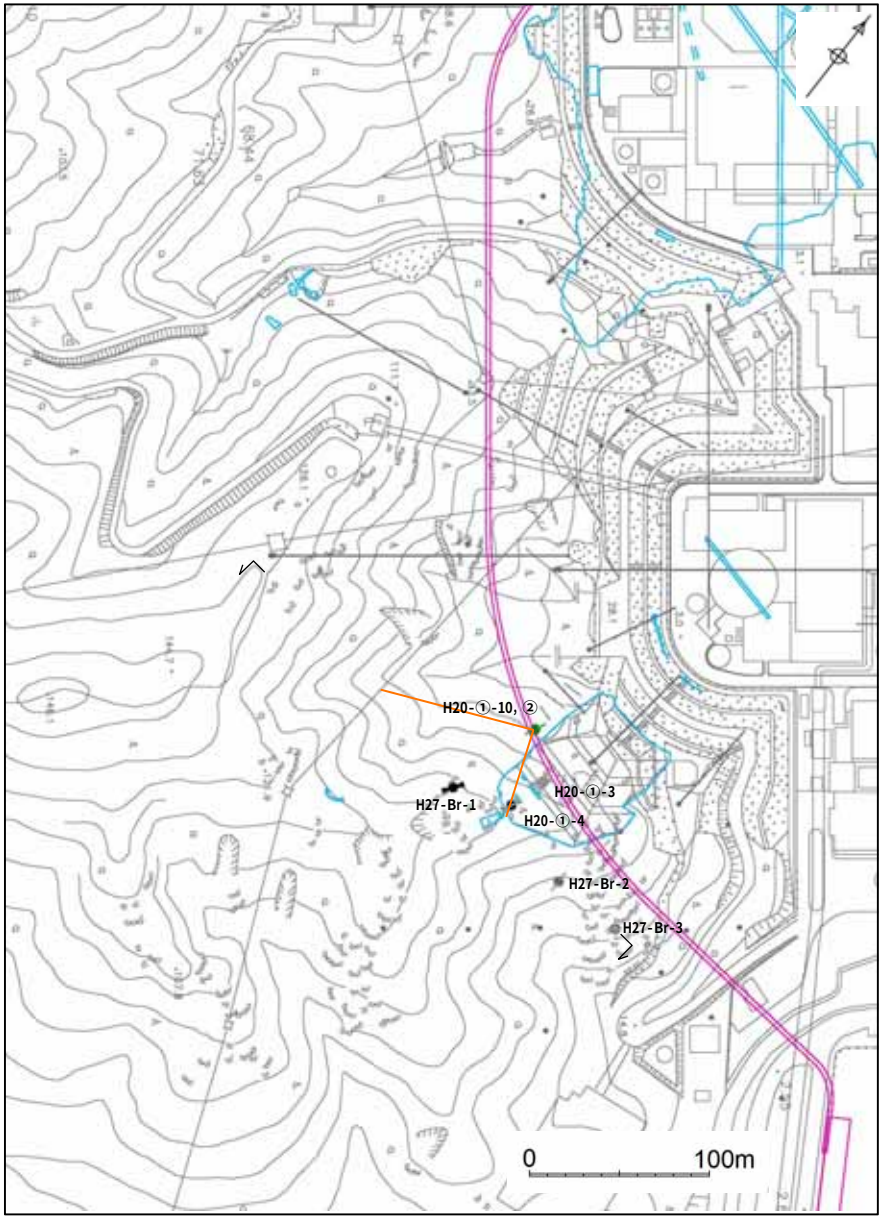
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-10，②)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

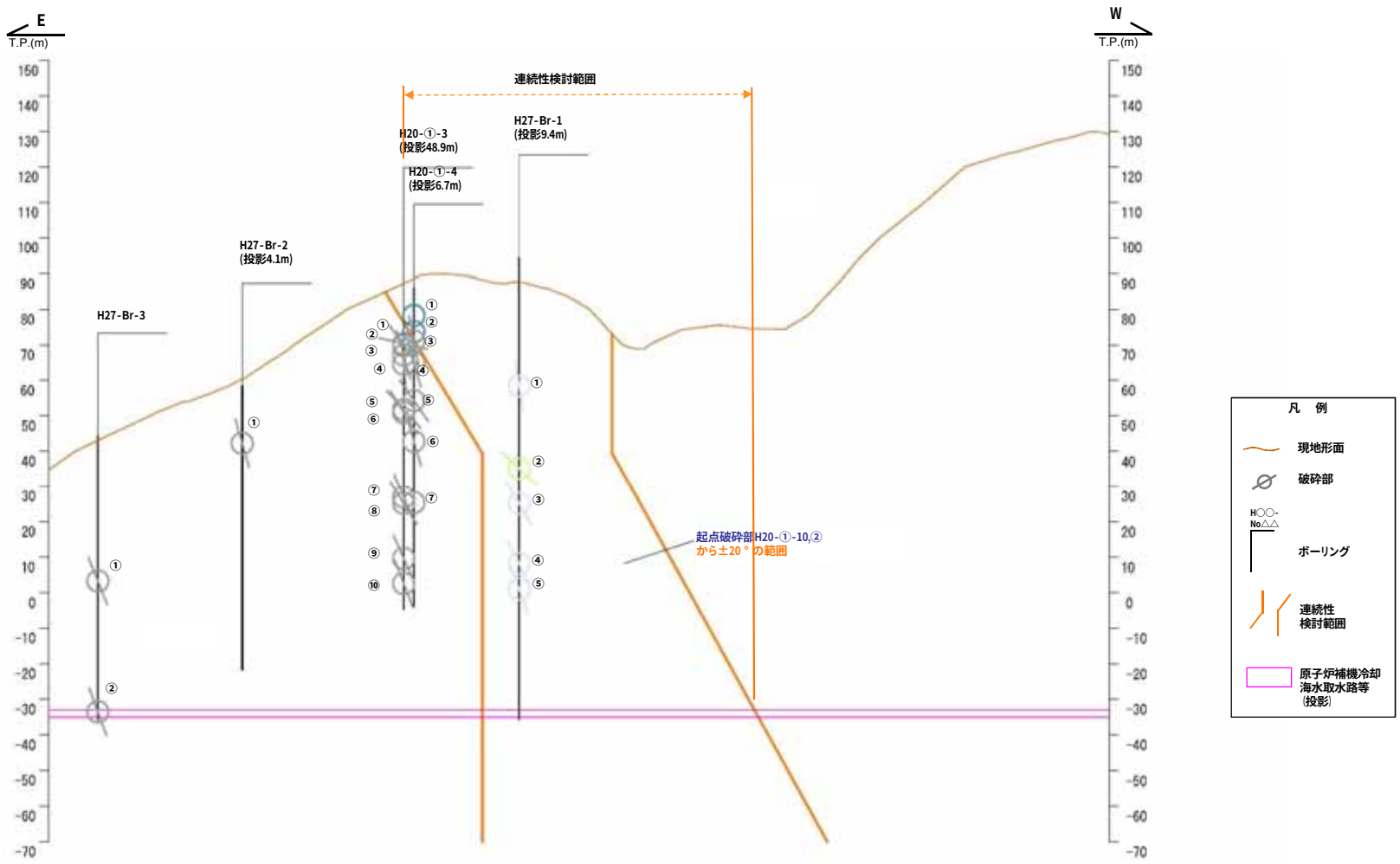
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-10，②)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-10，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-10	-	-	②	18.16	18.84	N26E		81W		無	-	90	-		f-①-10-2	参考2-140	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	10	81W	0	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	5	45W	36	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	16	64NW	17	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	8	65W	16	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	20	73W	8	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	26	74W	7	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	25	73NW	8	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	64	76SW	5	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲外	①	4.96	5.00	N83E	57	40N	41	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5 53	5.81	N11E	15	55W	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	14	74W	7	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	37	85W	4	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	14	48W	33	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	52	64W	17	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	9	69W	12	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	12	61W	20	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	23	71N	10	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	14	72W	9	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	4	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	17	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
		範囲外	③	12.70	15.25	N32E	6	80W	1	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	7	74W	7	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	20	55W	26	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	10	76W	5	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	15	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

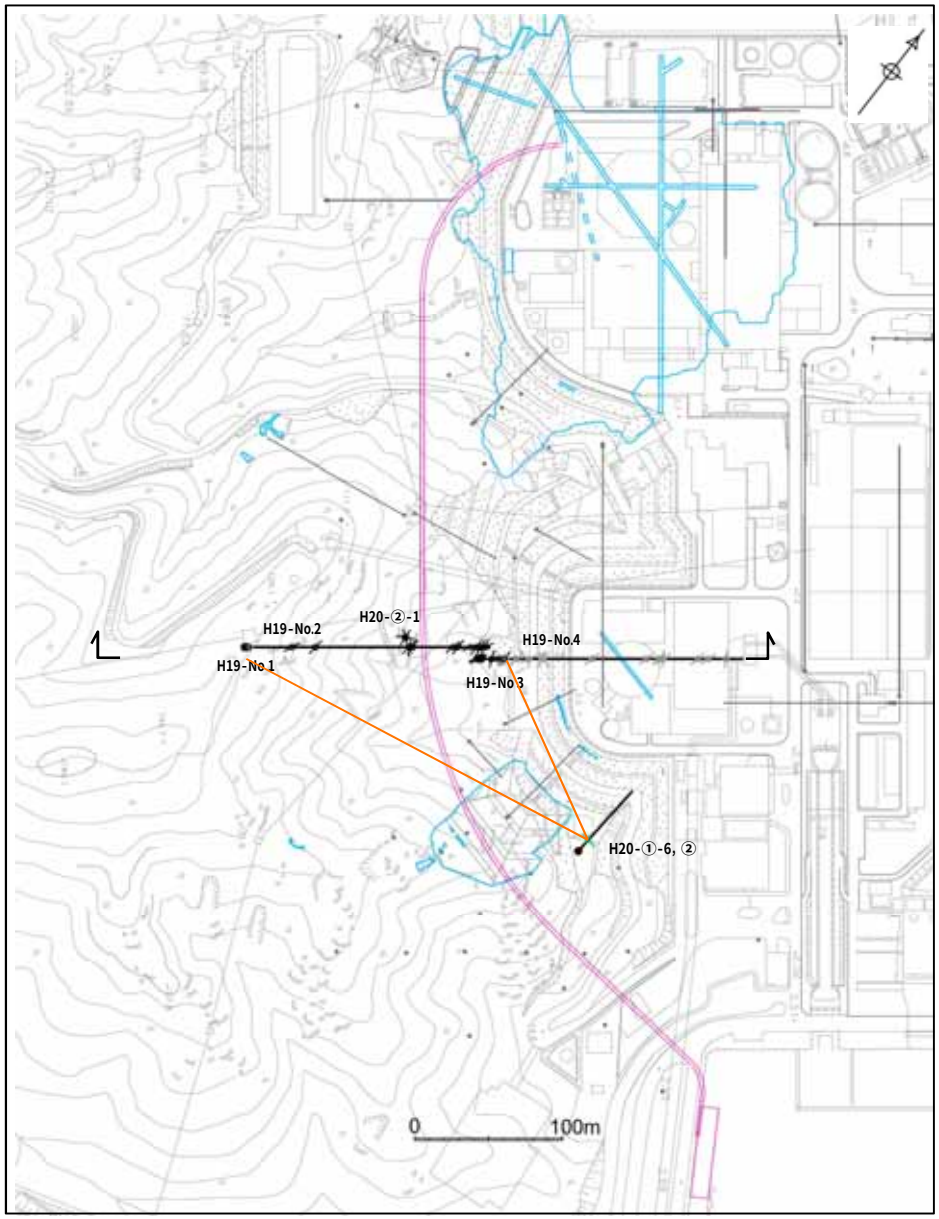
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-6，②)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

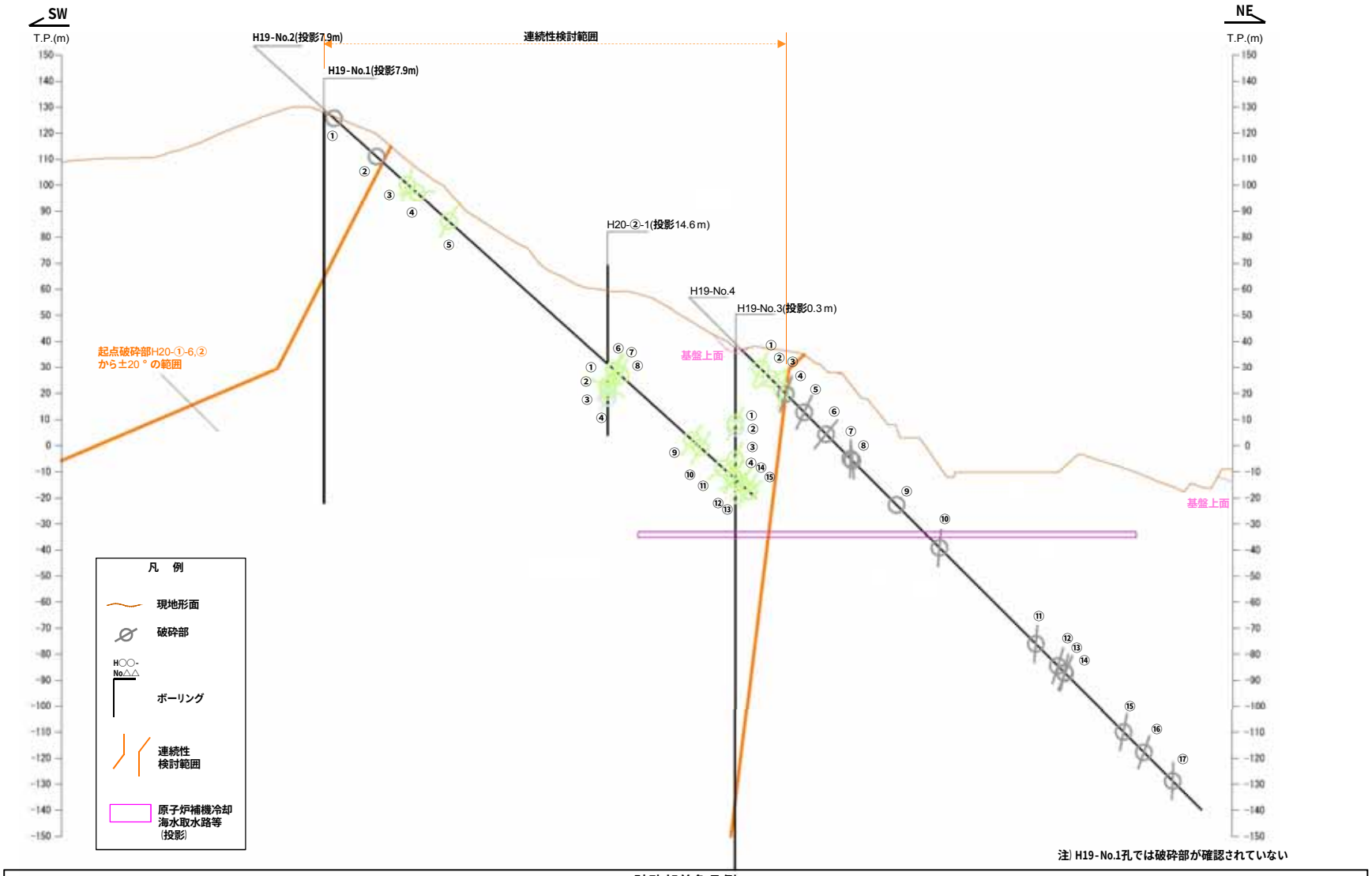
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-6，②)



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-6，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-6	-	-	②	14.78	15.13	N81W		65S		無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
-	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
		範囲内	③	39.83	39.88	N25E	74	82W	17	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	59	26W	39	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	88	68W	3	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	88	64W	1	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	50	70W	5	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	82	72W	7	有	有	70L	-		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	76	70W	5	有	無	36L	-		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	83	66W	1	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	67	64W	1	有	無	23L	-		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	81	66W	1	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	75	63W	2	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	72	64W	1	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	73	61W	4	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	67	80W	15	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	2	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	82	77W	12	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	62	67W	2	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	77	70W	5	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	64	62W	3	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	84	79W	14	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
		範囲外	④	24.12	24.41	N7W	74	73W	8	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	87	73W	8	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	70	72W	7	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	71	89W	24	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	10	86N	29	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	83	87W	22	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	84	87W	22	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	90	78W	13	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	52	78W	13	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	85	76W	11	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	86	83W	18	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	79	74W	9	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	53	88W	23	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	36	60W	5	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	36	71S	6	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	29	71SW	6	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	0	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

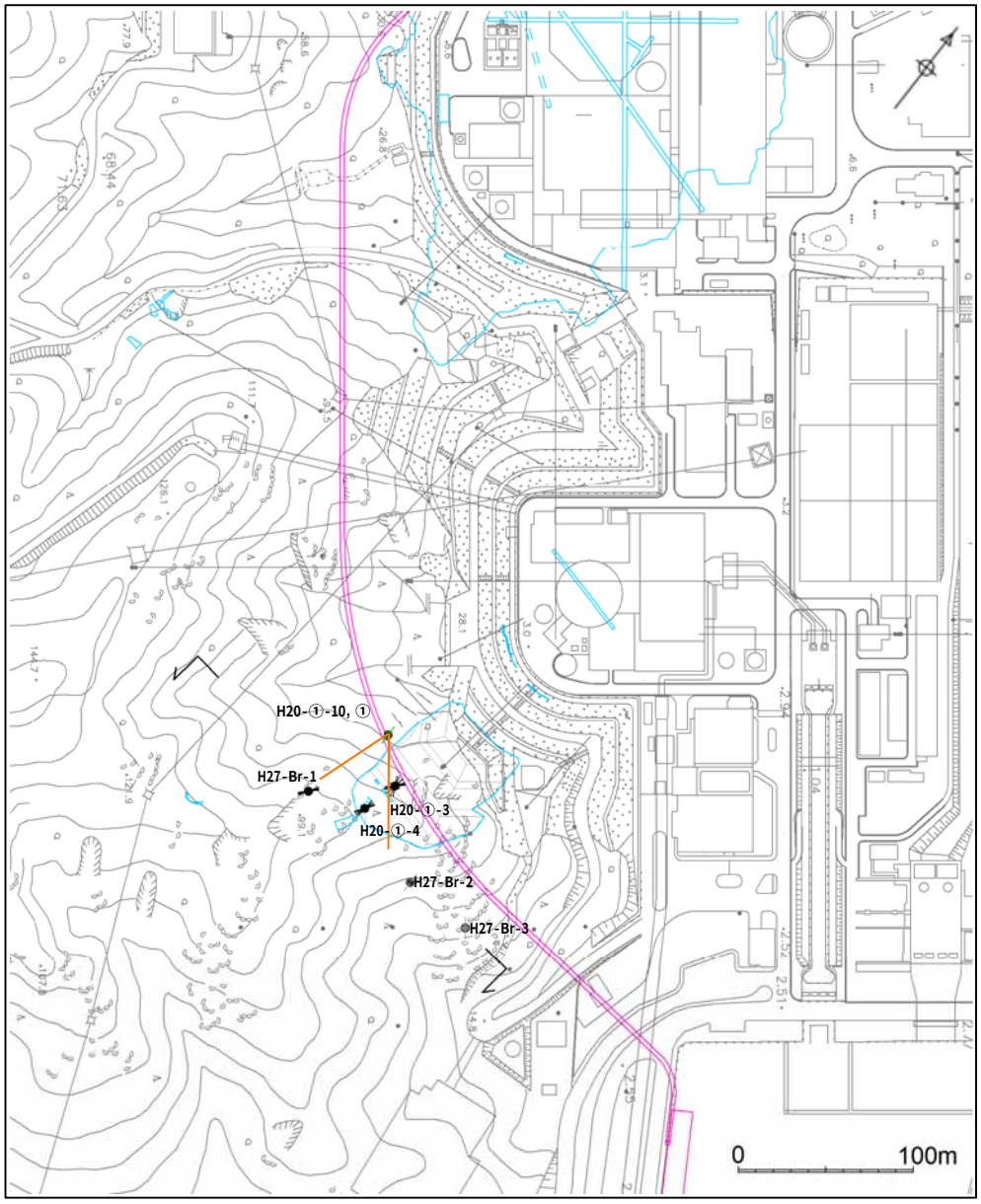
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-10，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

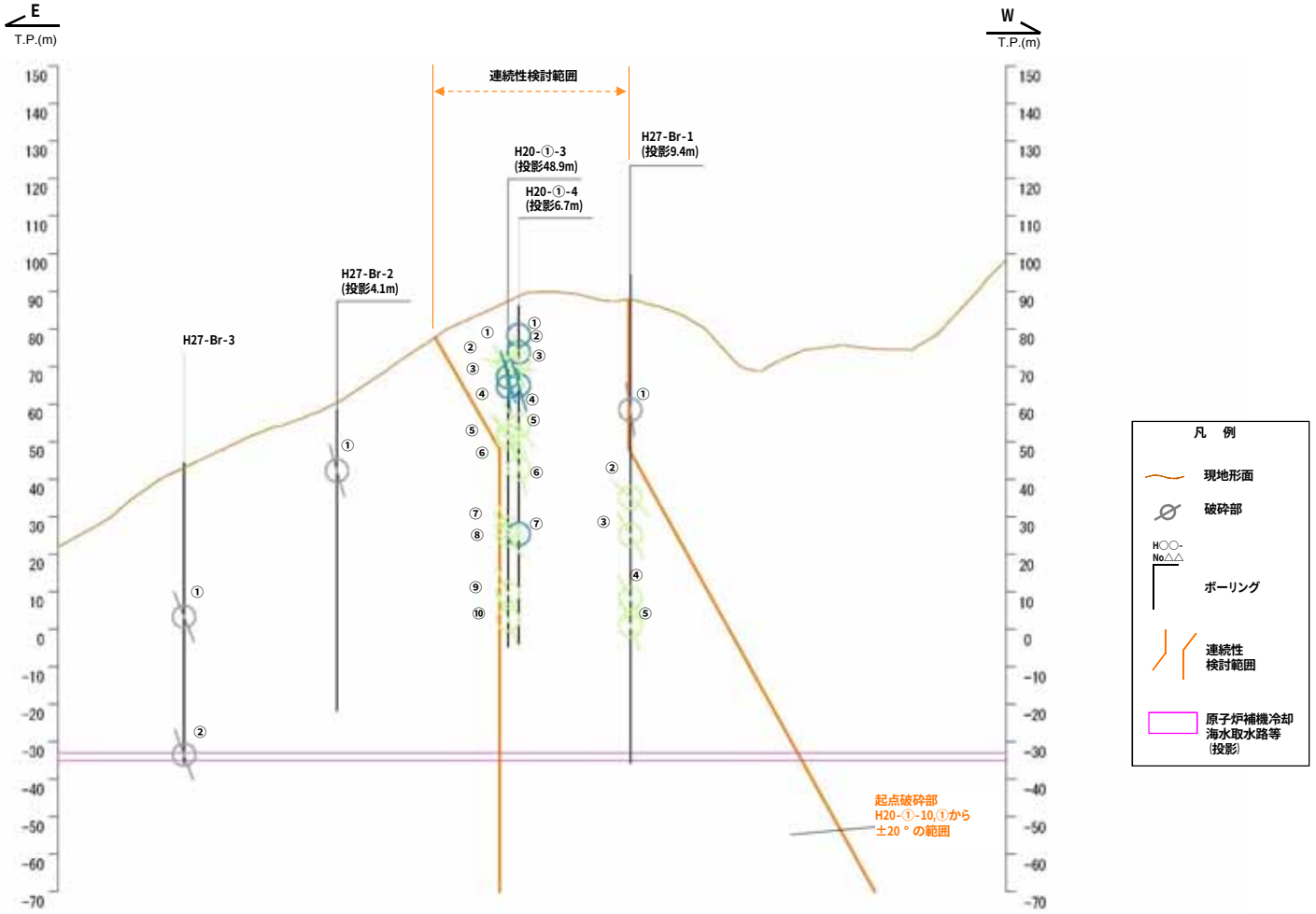
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-10，①)



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-10，①)

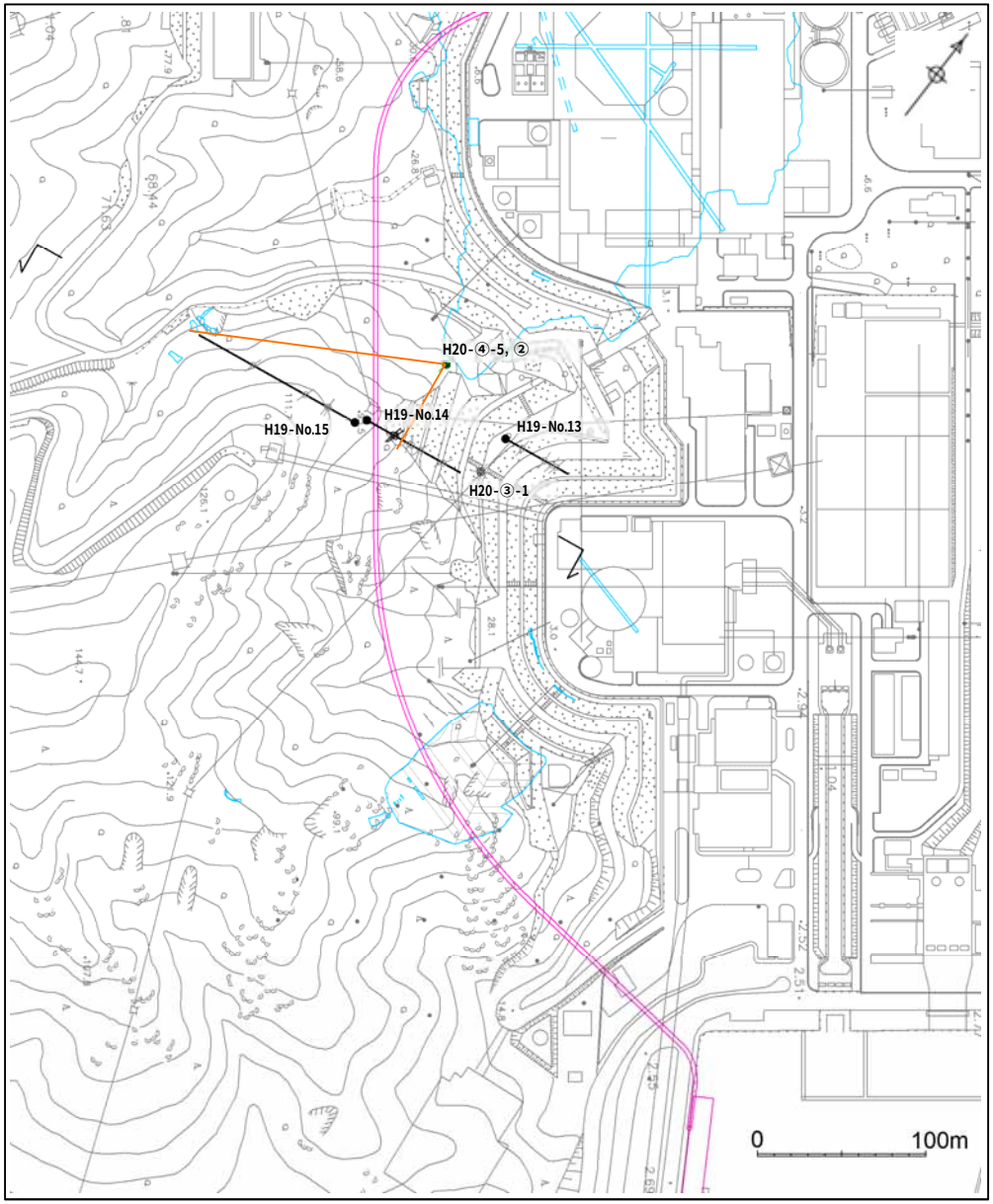
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H20-①-10	-	-	①	9 01	10.28	N1W		81W		有	無	77L	-		D-4	参考2-90	
-	H27-Br-1	範囲外	①	33 27	35.90	N16E	17	81W	0	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
		範囲内	②	59.18	59.27	N31E	32	45W	36	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67 63	70.76	N42E	43	64NW	17	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	35	65W	16	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93 36	93.45	N46E	47	73W	8	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	1	74W	7	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40 53	41.10	N51E	52	73NW	8	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77 72	77.90	N38W	37	76SW	5	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	84	40N	41	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5 53	5.81	N11E	12	55W	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	13	74W	7	有	有	55L	N,RL	×	D-6	参考2-58	
			④	11 06	11.17	N11W	10	85W	4	有	無	50L	-	×	f-①-3-4	参考2-139	※1
			⑤	23 28	23.62	N12E	13	48W	33	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	25	64W	17	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48 20	48.24	N35E	36	69W	12	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50 06	50.15	N38E	39	61W	20	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	50	71N	10	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72 50	72.66	N40E	41	72W	9	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	4	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12 25	12.26	-	-	(64)	17	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12 70	15.25	N32E	33	80W	1	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	20	74W	7	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31 63	31.87	N6E	7	55W	26	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	37	76W	5	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	15	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，②)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

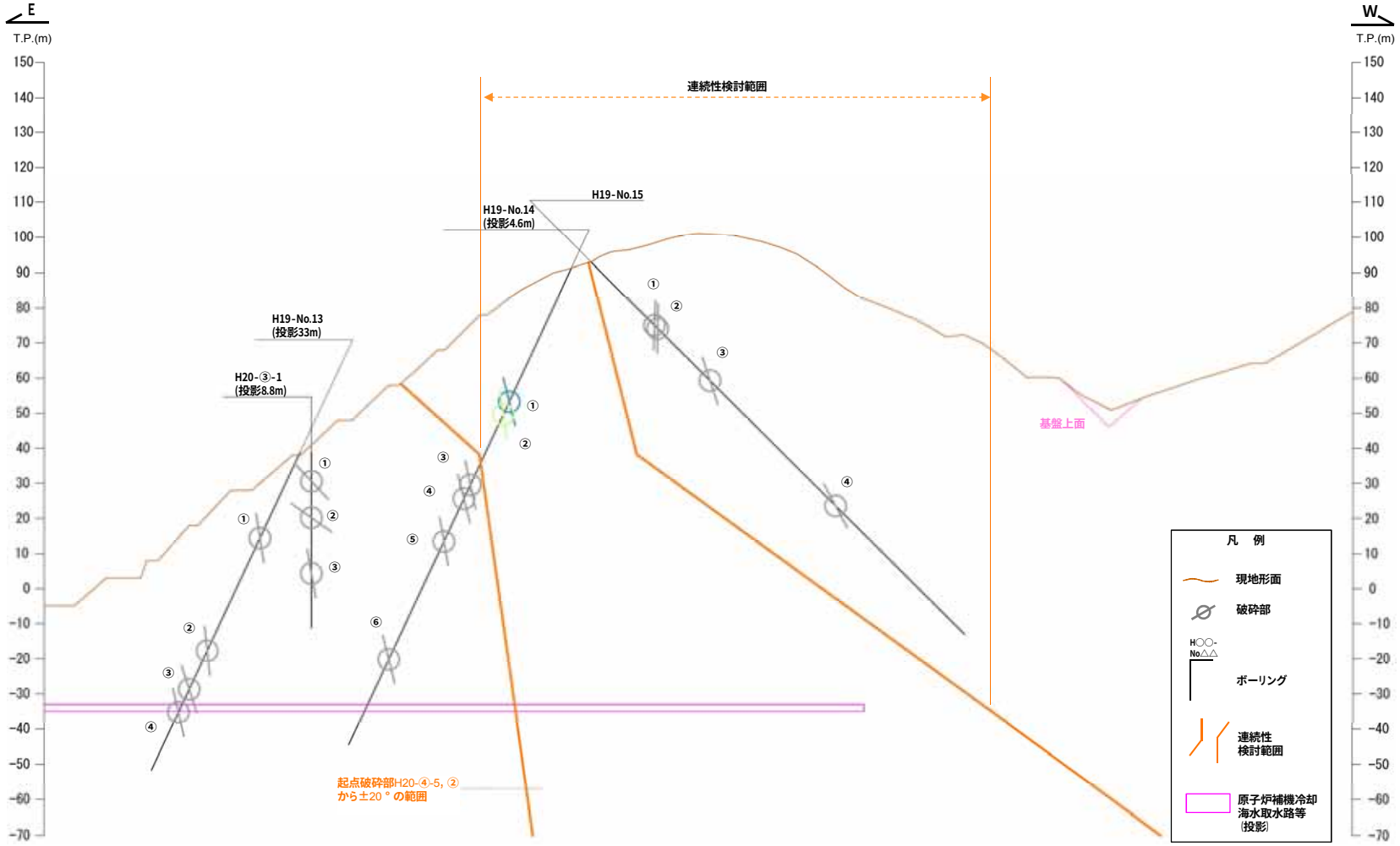
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，②)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H20-④-5	-	-	②	24.96	25.12	N11E		62W		有	無	90	-		D-21	参考2-102	
-	H19-No.13	範囲外	①	26 88	27.00	N5E	6	81W	19	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	11	84W	22	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74 52	74.59	N10E	1	73W	11	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	4	78W	16	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40 56	40.57	N11E	0	77W	15	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45 63	45.70	N18E	7	83W	21	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
		範囲外	③	66.90	68.11	N11W	22	78W	16	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	43	77W	15	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	9	81W	19	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123 34	N32E	21	79W	17	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24 58	24.67	N7W	18	88E	30	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25 83	25.93	N6E	5	89E	29	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	9	74W	12	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97 82	97.85	N17E	6	64W	2	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8 22	N79W	90	73S	11	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	48	61N	57	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	10	80W	18	有	無	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

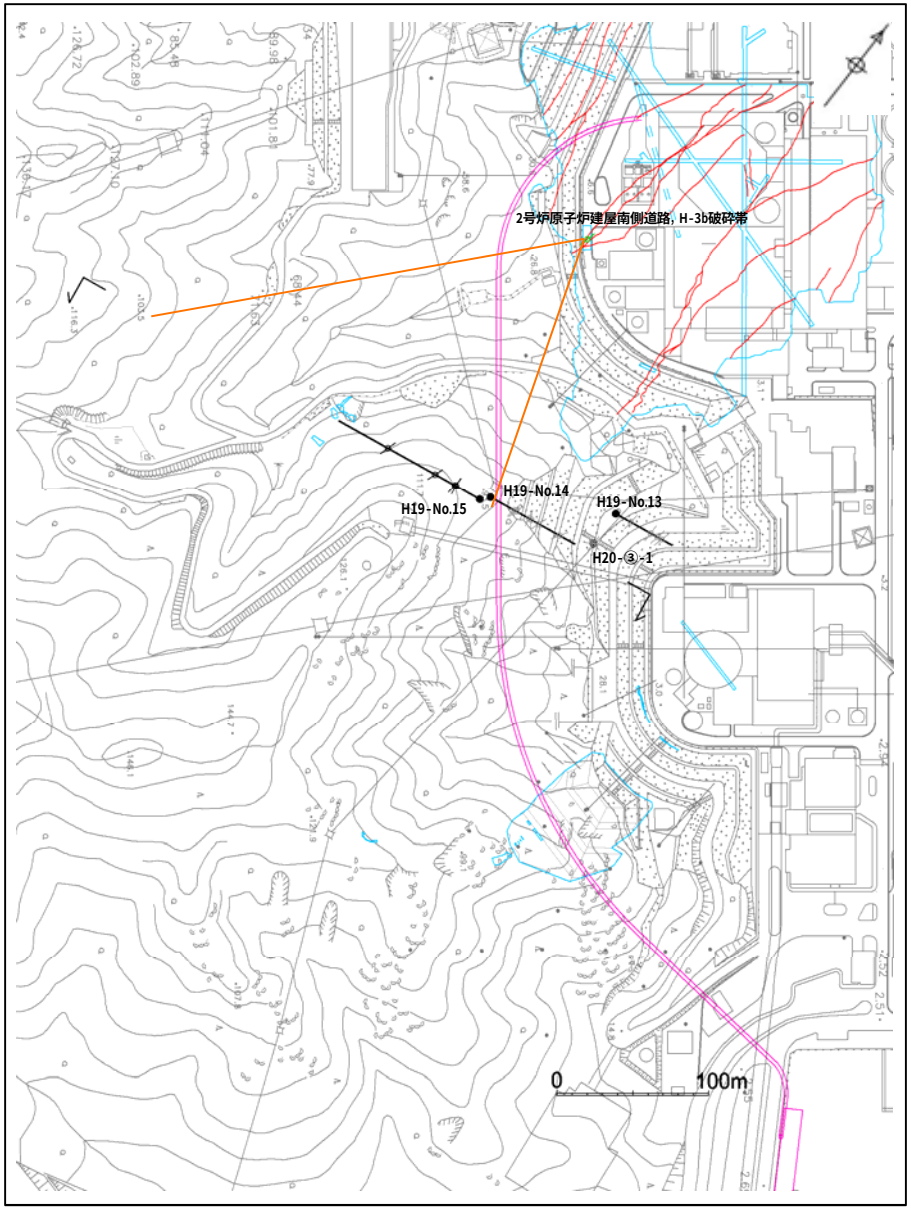
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，H-3b破砕帯)



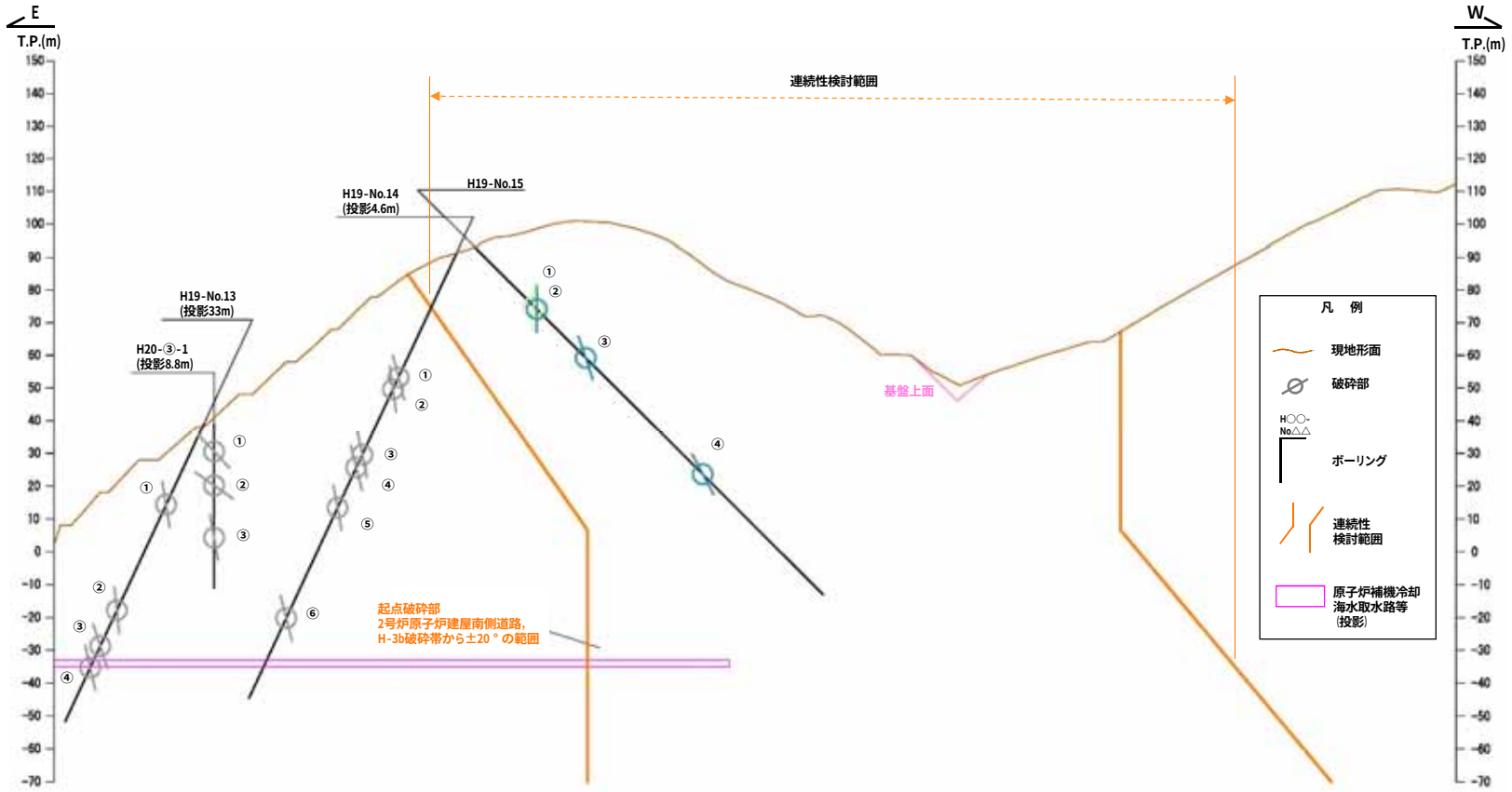
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設
- ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの
- 2号炉底盤破砕帯トレース

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，H-3b破砕帯)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，H-3b破砕帯)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側道路	-	-	-	(T.P.6.6m)		N16E		75W		無	-	10L	LL		H-3b	参考2-167	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27 00	N5E	11	81W	6	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62 37	NS	16	84W	9	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74 59	N10E	6	73W	2	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82 37	N15E	1	78W	3	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40 57	N11E	5	77W	2	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45 70	N18E	2	83W	8	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	27	78W	3	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72 70	N32W	48	77W	2	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87 03	N20E	4	81W	6	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123 34	N32E	16	79W	4	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24 67	N7W	23	88E	17	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	10	89E	16	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	4	74W	1	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97 85	N17E	1	64W	11	有	無	23R	N,LL	×	f-15-3	参考2-132	※3
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	85	73S	2	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18 53	N59E	43	61N	44	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34 50	N1E	15	80W	5	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

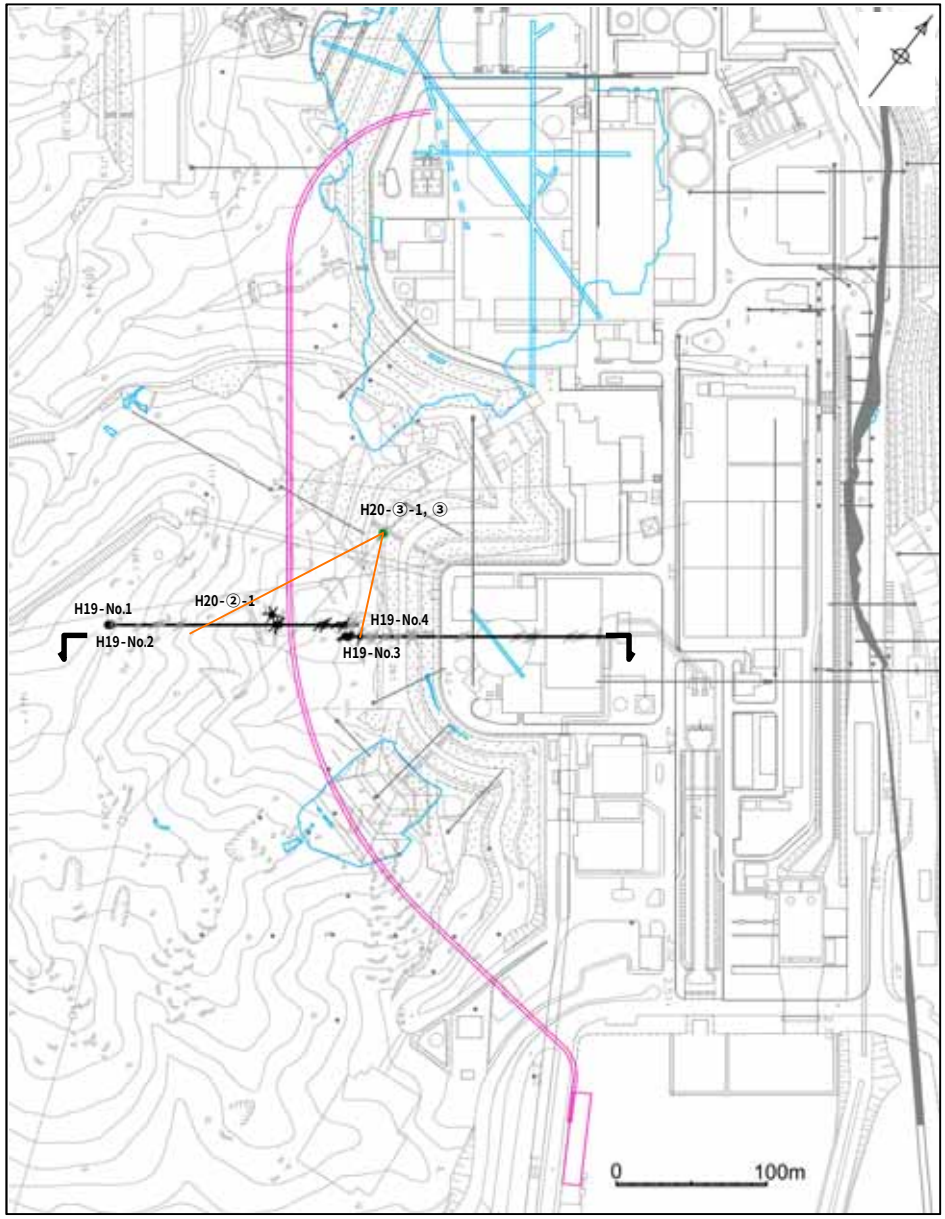
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，③)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

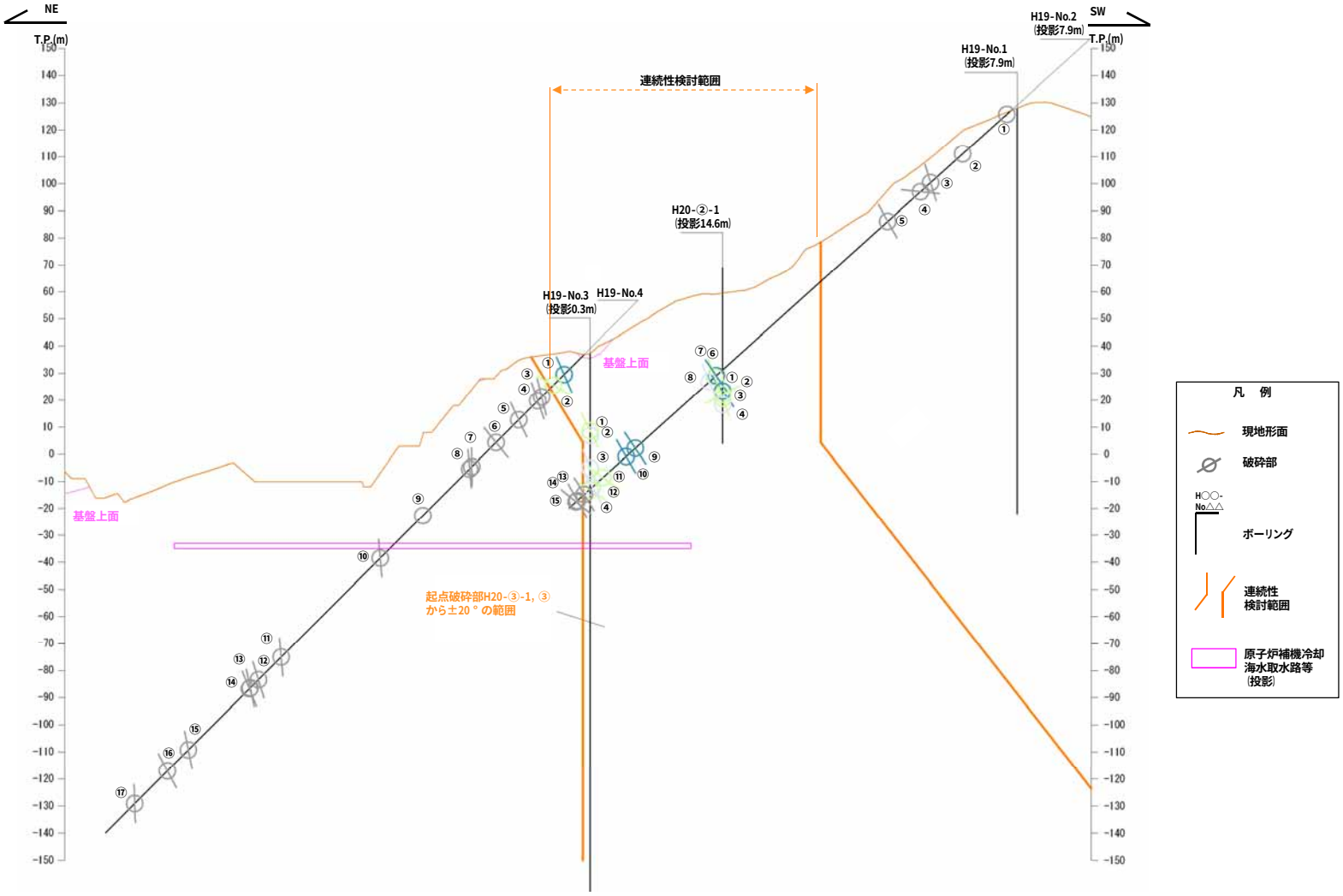
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，③)



注）H19-No.1孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-③-1	-	-	③	33.95	34.50	N1E		80W		無	-	85R	-		D-2	参考2-87	
-	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	24	82W	2	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	39	26W	54	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	6	68W	12	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
		範囲内	⑥	146.29	146.32	N7E	6	64W	16	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	32	70W	10	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	0	72W	8	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	20	70W	10	有	無	36L	N,RL	○	D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	1	66W	14	有	無	73L	-	×	f-2-7	参考2-125	※3
			⑪	202.81	202.85	N32E	31	64W	16	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	1	66W	14	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
		範囲外	⑬	212.00	212.07	N6W	7	63W	17	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	10	64W	16	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	25	61W	19	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	4	60W	20	有	無	80L	-	×	f-②-1-1	参考2-140	※1
			②	46.85	46.97	N63E	62	71S	9	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	53	71SW	9	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	15	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	31	80W	0	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	17	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	16	77W	3	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	36	67W	13	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	5	70W	10	有	無	50L	-	×	D-3	参考2-88	※3
		範囲外	②	16.13	16.31	N35E	34	62W	18	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	2	79W	1	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	8	73W	7	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	11	73W	7	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	28	72W	8	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	11	89W	9	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	72	86N	14	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	15	87W	7	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	14	87W	7	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	8	78W	2	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	30	78W	2	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	13	76W	4	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	12	83W	3	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	19	74W	6	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	29	88W	8	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

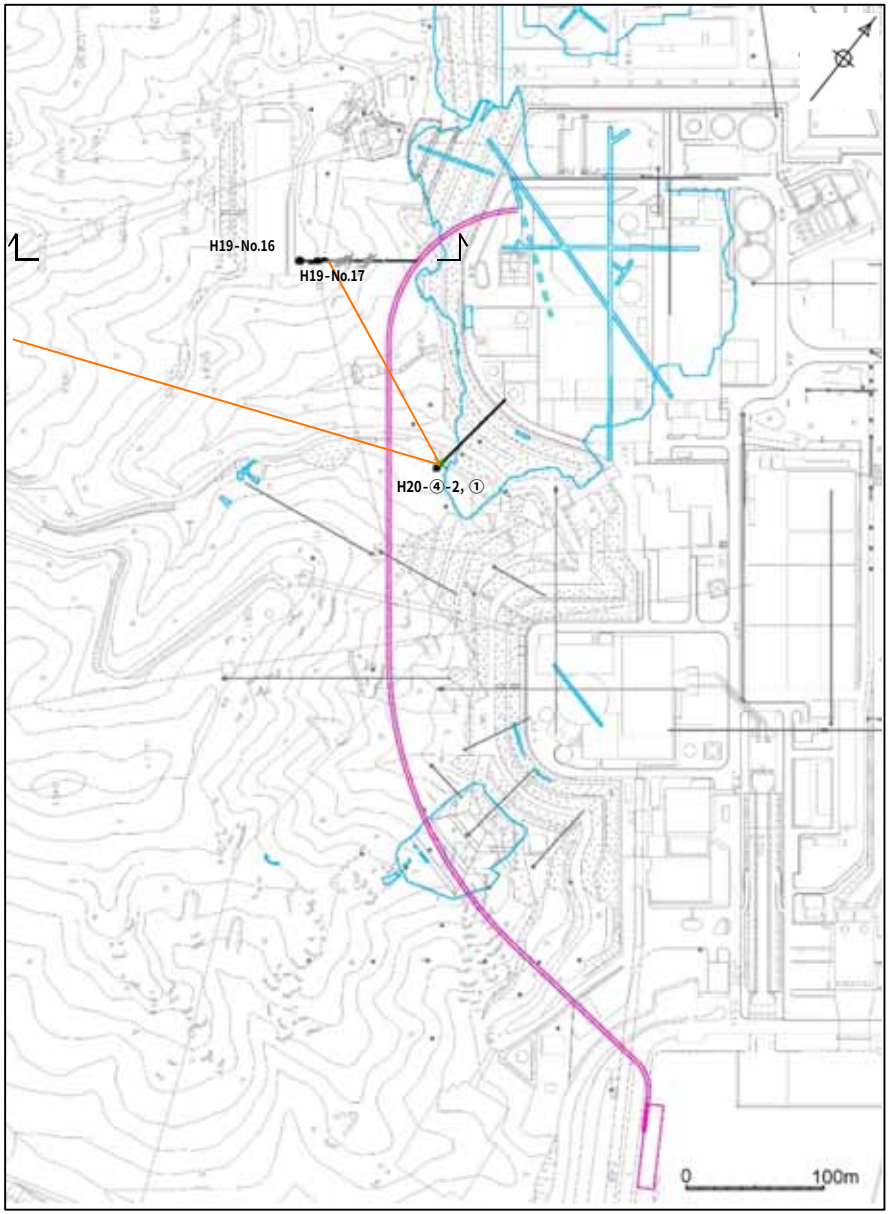
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-2，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

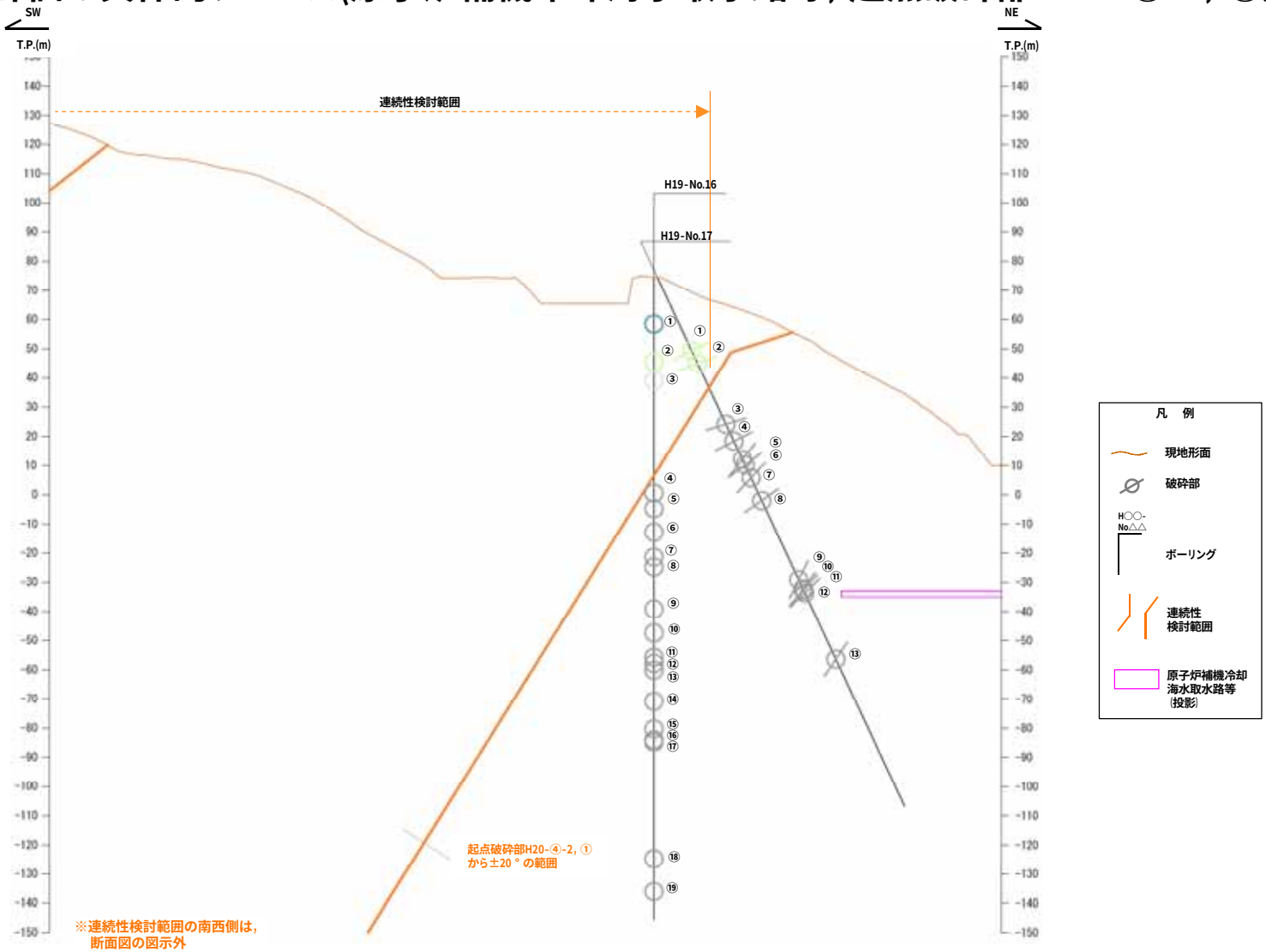
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-2，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-2，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H20-④-2	-	-	①	6.00	6.12	N86W		42S		無	-	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
-	H19-No.16	範囲内	①	16 01	17.82	-	-	(60)	18	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※2
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	21	無	-	-	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			③	35 33	35.35	-	-	(60)	18	有	有	-	-		f-17-2	参考2-132	
		範囲外	④	73.91	73.93	-	-	(41)	1	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79 22	79.25	-	-	(55)	13	有	無	-	-		D-12	参考2-91	
			⑥	86 04	87.32	-	-	(44)	2	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91 50	91.79	-	-	(60)	18	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑧	93 75	96.18	-	-	(70)	28	有	有	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	113.66	113 77	-	-	(74)	32	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑩	121.85	122 21	-	-	(44)	2	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131 28	-	-	(57)	15	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133 07	-	-	(49)	7	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136 00	-	-	(60)	18	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑭	145.25	145 35	-	-	(81)	39	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑮	154.74	154 81	-	-	(60)	18	無	-	-	-		D-16	参考2-93	
			⑯	158.45	158 51	-	-	(68)	26	無	-	-	-		D-17	参考2-98	
			⑰	159.23	159 62	-	-	(55)	13	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
			⑱	199.22	200 00	-	-	(86)	44	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑲	210.70	210 71	-	-	(84)	42	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.17	範囲内	①	27 65	27.73	N34E	60	57W	15	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32 54	32.75	N35E	59	51W	9	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
		範囲外	③	55.45	55.46	N39E	55	52W	10	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61 89	62.22	N28E	66	50W	8	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68 84	69.25	N10E	84	62W	20	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	76	53W	11	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75 60	75.90	N14E	80	77W	35	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82 83	85.61	N19W	67	36W	6	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115 63	N8W	78	67W	25	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117 79	N11W	75	57W	15	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118 25	N11E	83	59W	17	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119 29	N14E	80	57W	15	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144 37	N10E	84	65W	23	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

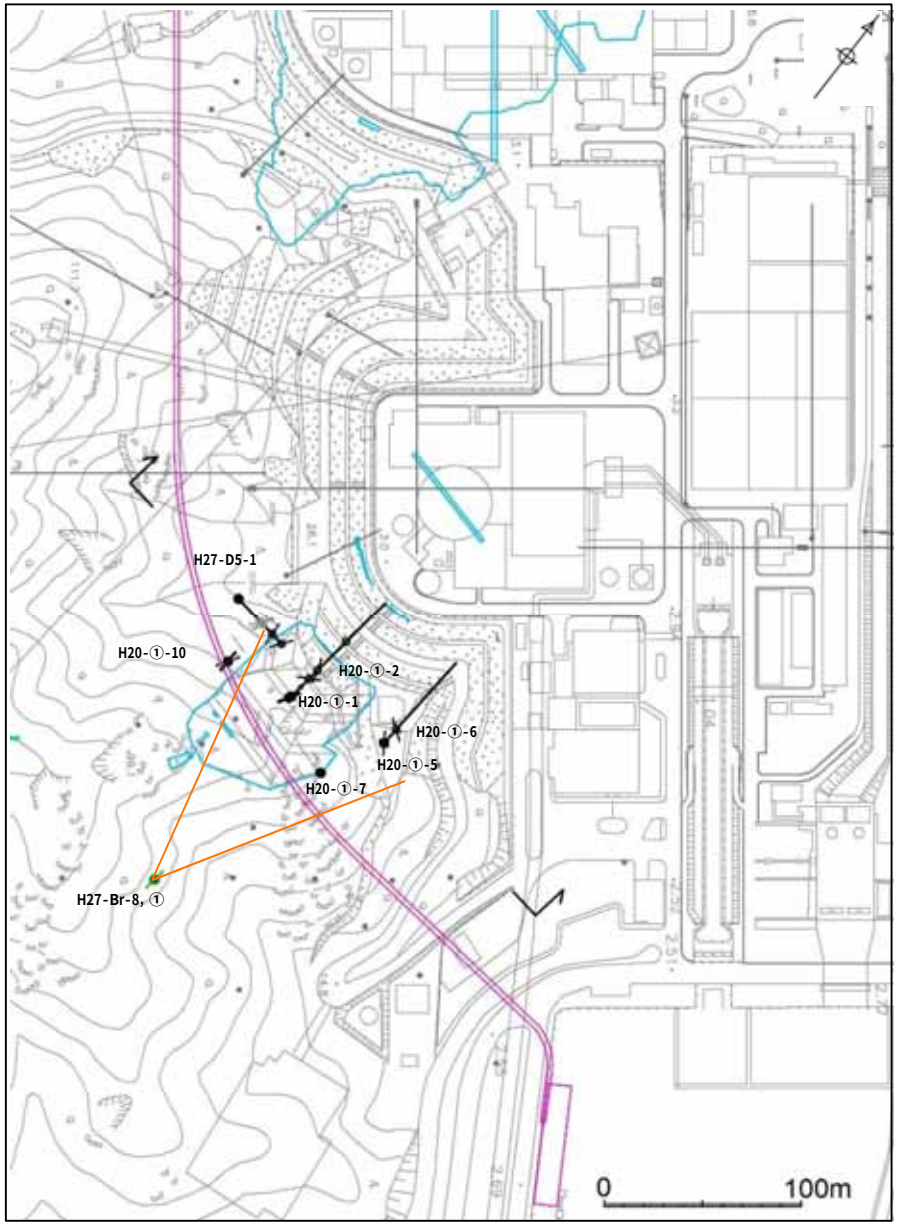
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-8，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

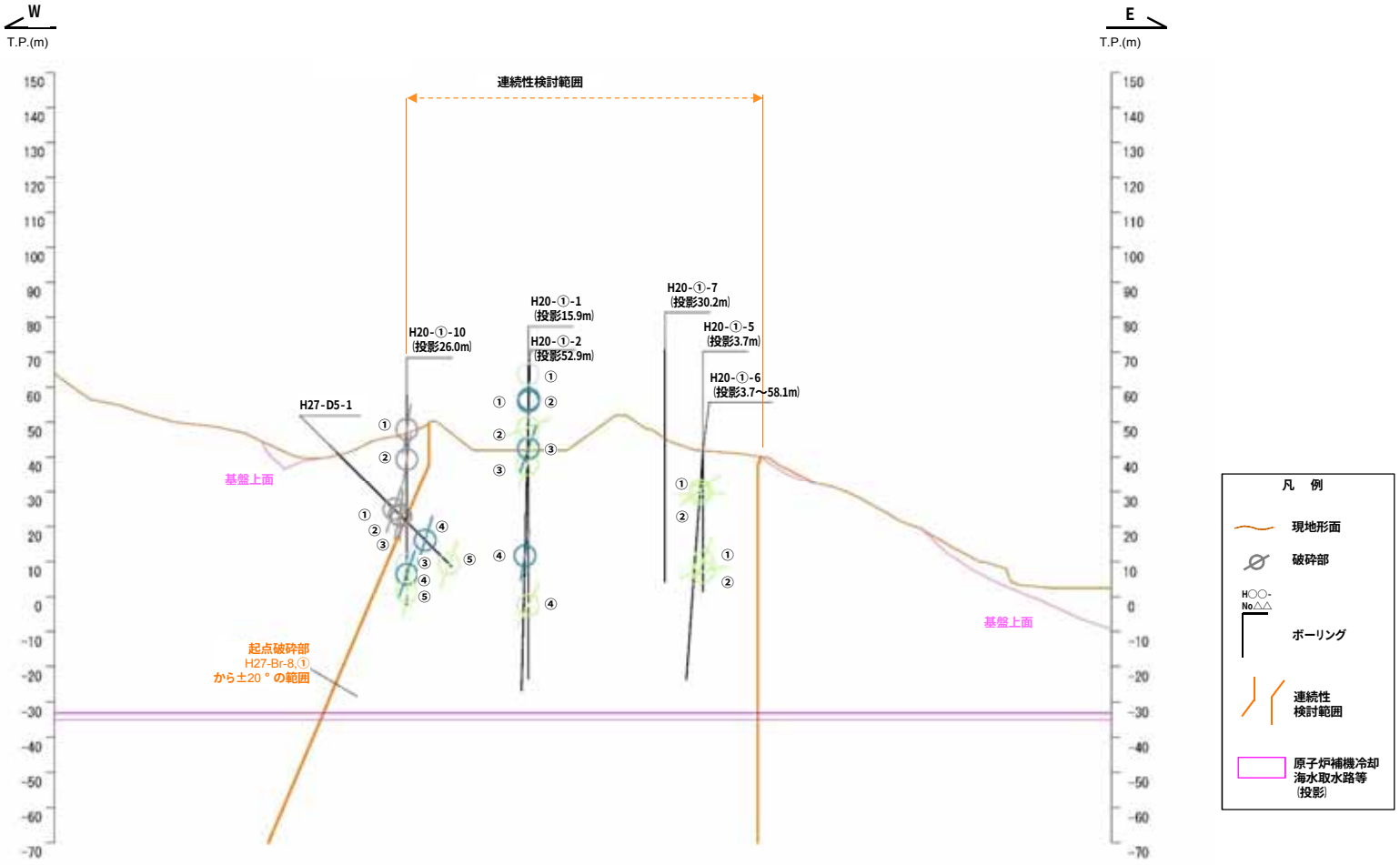
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-8，①)



注）H20-①-7孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-8，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-8	-	-	①	32.97	34 58	N9E		87W		有	有	70L	N		D-7	参考2-91	
-	H27-D5-1	範囲外	①	22.91	23 23	N35E	26	74W	13	有	無	90	N		D-4	参考2-89	
			②	25.17	25.44	N31E	22	81W	6	有	無	80L	N		D-45	参考2-119	
			③	25.65	25 77	N21E	12	87W	0	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-71	
		範囲内	④	35.41	35 55	N2W	11	73W	14	有	無	80L	N	×	f-d5-1-4	参考2-178	※1
			⑤	45.12	45 37	N38E	29	72W	15	有	有	85R	N		D-46	参考2-119	
	H20-①-1		①	2 66	2.95	-	-	(70)	17	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	8 64	10 63	-	-	(74)	13	有	有	-	-	×	D-6	参考2-58	
			③	23.62	24 62	N25E	16	72W	15	有	無	60L	-	×	D-19	参考2-99	※4
			④	68.72	69 02	N36E	27	66W	21	有	無	30L	N,RL		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-2		①	11.73	11.91	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			②	22.63	22 66	N62E	53	33N	54	有	有	55L	N,RL		f-①-2-2	参考2-138	
			③	32.90	34.91	N18W	27	73W	14	有	有	-	-		D-6	参考2-58	
			④	66.08	67 28	N4E	5	80W	7	有	無	88L	-	×	f-①-2-4	参考2-138	※4
	H20-①-5		①	31.28	31.44	N33W	42	75W	12	無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
			②	34.37	34 70	N89W	82	58S	29	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	62	60S	27	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	90	65S	22	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-10	範囲外	①	9 01	10 28	N1W	10	81W	6	有	無	77L	-		D-4	参考2-90	
			②	18.16	18 84	N26E	17	81W	6	無	-	90	-		f-①-10-2	参考2-140	
		範囲内	③	48.10	48 24	N6E	3	77W	10	無	-	80R	-		D-45	参考2-119	
			④	50.90	52.95	NS	9	71W	16	有	有	80R	N	×	D-5	参考2-71	
			⑤	55.99	56 05	N34E	25	83W	4	有	無	5L	LL		D-46	参考2-119	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，①)

拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

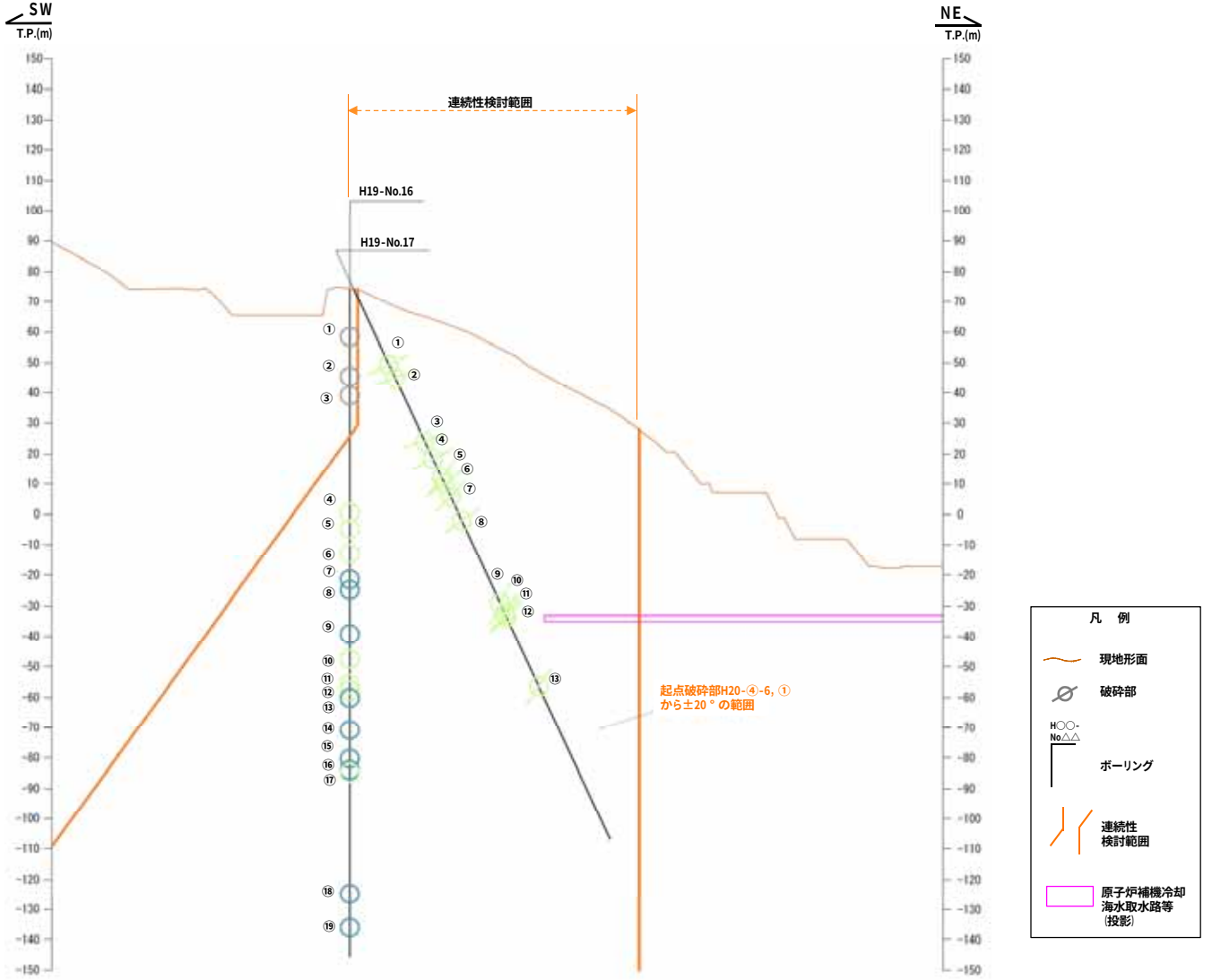
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，①)



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-6	-	-	①	3.76	4 09	N60W		78S		有	無	20R	-		f-④-6-1	参考2-143	
-	H19-No.16	範囲外	①	16.01	17.82	-	-	(60)	18	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	15	無	-	-	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	18	有	有	-	-		f-17-2	参考2-132	
		範囲内	④	73.91	73.93	-	-	(41)	37	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	23	有	無	-	-		D-12	参考2-91	
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	34	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	18	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	8	有	有	-	-	×	D-47	参考2-120	※1
			⑨	113 66	113 77	-	-	(74)	4	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑩	121 85	122 21	-	-	(44)	34	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130 20	131 28	-	-	(57)	21	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133 07	-	-	(49)	29	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133 70	136 00	-	-	(60)	18	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑭	145 25	145 35	-	-	(81)	3	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑮	154 74	154 81	-	-	(60)	18	無	-	-	-	×	D-16	参考2-93	※1
			⑯	158.45	158 51	-	-	(68)	10	無	-	-	-	×	D-17	参考2-98	※1
			⑰	159 23	159 62	-	-	(55)	23	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
			⑱	199 22	200 00	-	-	(86)	8	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑲	210 70	210 71	-	-	(84)	6	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
	H19-No.17		①	27.65	27.73	N34E	86	57W	21	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	85	51W	27	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
			③	55.45	55.46	N39E	81	52W	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	88	50W	28	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	70	62W	16	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	78	53W	25	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	74	77W	1	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	41	36W	42	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114 31	115 63	N8W	52	67W	11	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117 77	117 79	N11W	49	57W	21	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118 22	118 25	N11E	71	59W	19	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118 66	119 29	N14E	74	57W	21	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144 35	144 37	N10E	70	65W	13	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

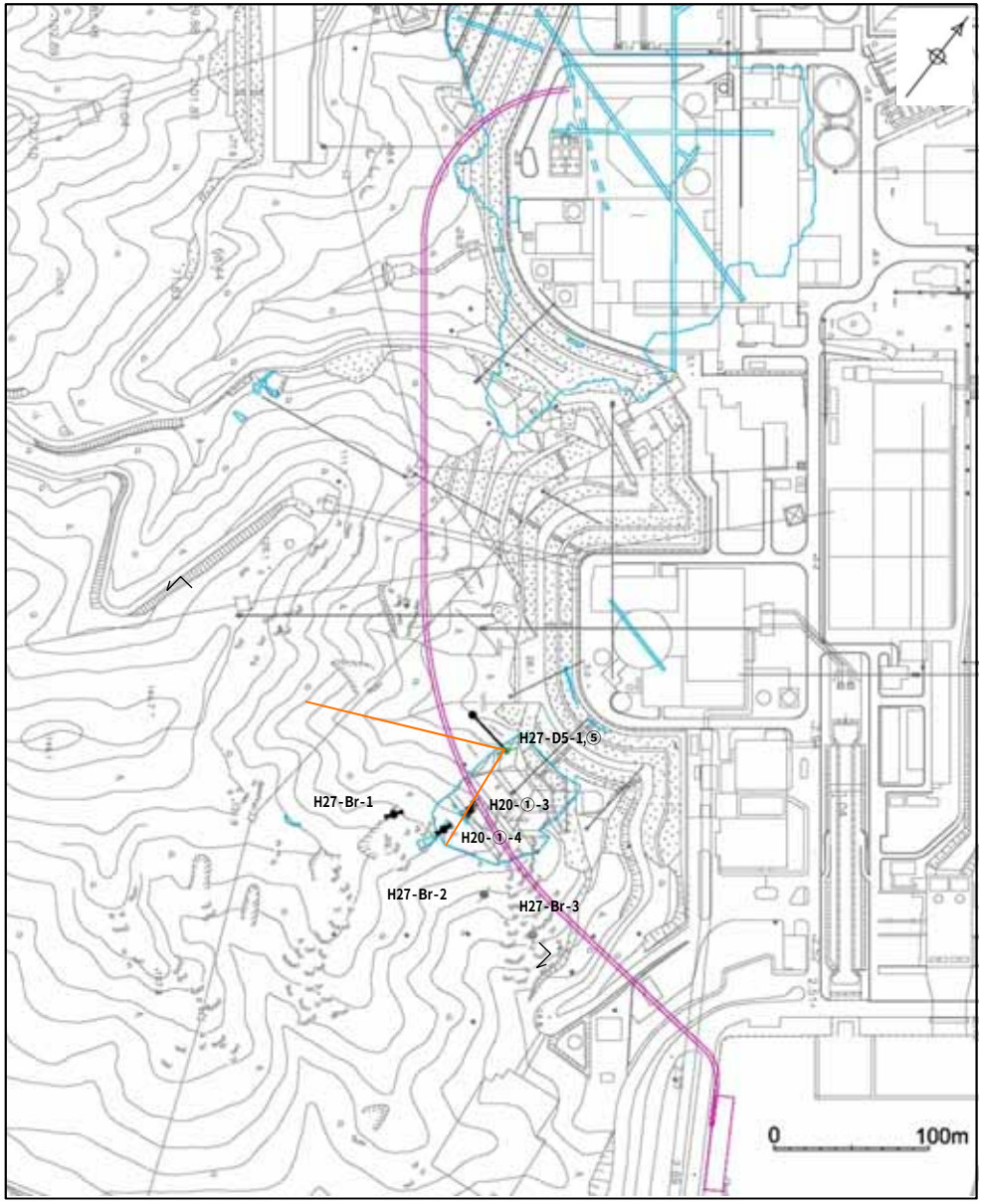
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-D5-1，⑤)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

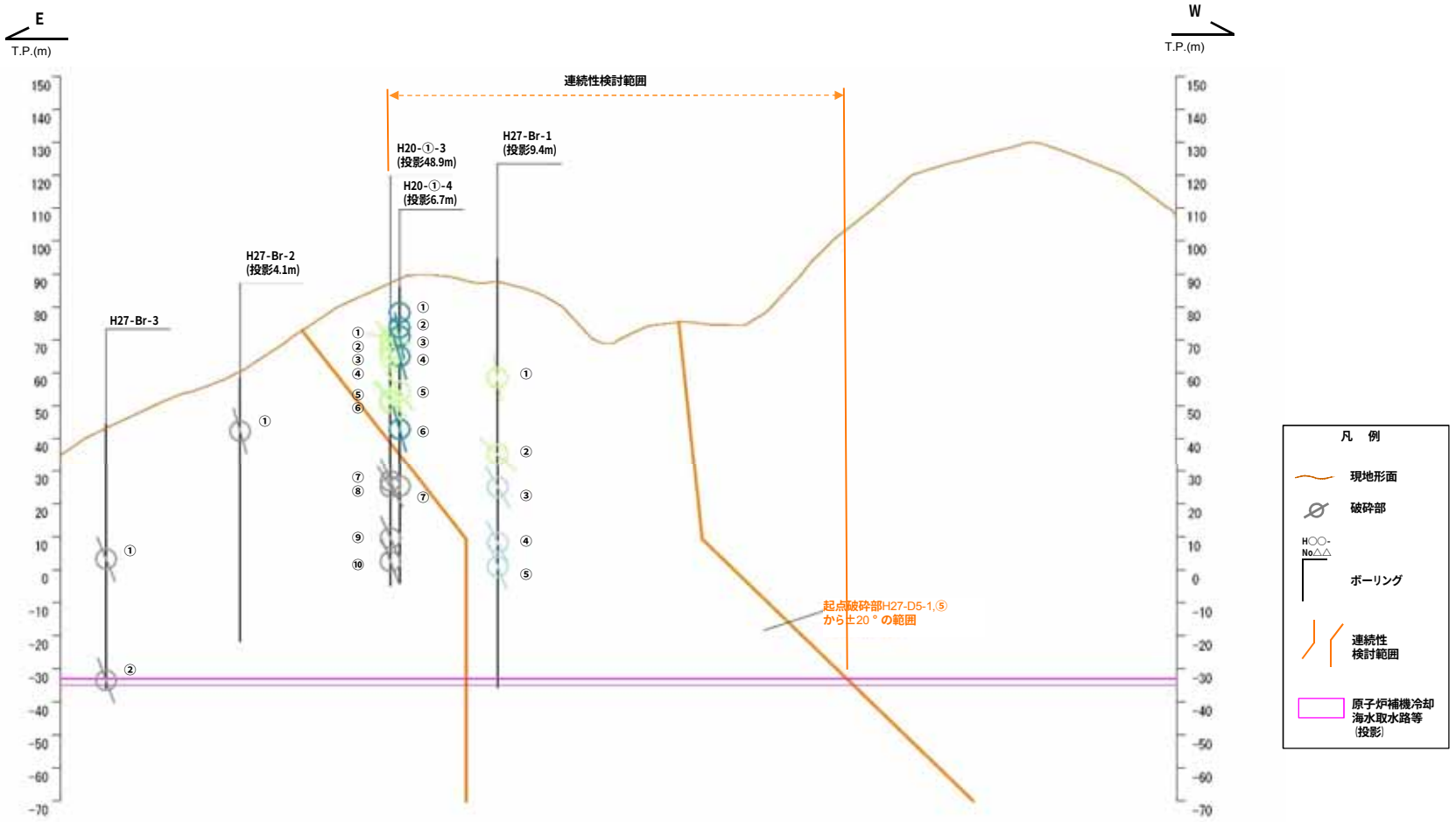
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-D5-1，⑤)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-D5-1，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-D5-1	-	-	⑤	45.12	45.37	N38E		72W		有	有	85R	N		D-46	参考2-119	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	22	81W	9	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	7	45W	27	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	4	64NW	8	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	4	65W	7	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	8	73W	1	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	38	74W	2	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	13	73NW	1	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	76	76SW	4	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5 00	N83E	45	40N	32	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5 53	5 81	N11E	27	55W	17	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	26	74W	2	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	49	85W	13	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	26	48W	24	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	64	64W	8	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	3	69W	3	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	0	61W	11	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	11	71N	1	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	2	72W	0	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	13	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	8	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※4
			③	12.70	15.25	N32E	6	80W	8	有	有	70L	N	×	D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	19	74W	2	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31.63	31.87	N6E	32	55W	17	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	2	76W	4	有	無	70R	-	×	D-19	参考2-99	※1
		範囲外	⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	6	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

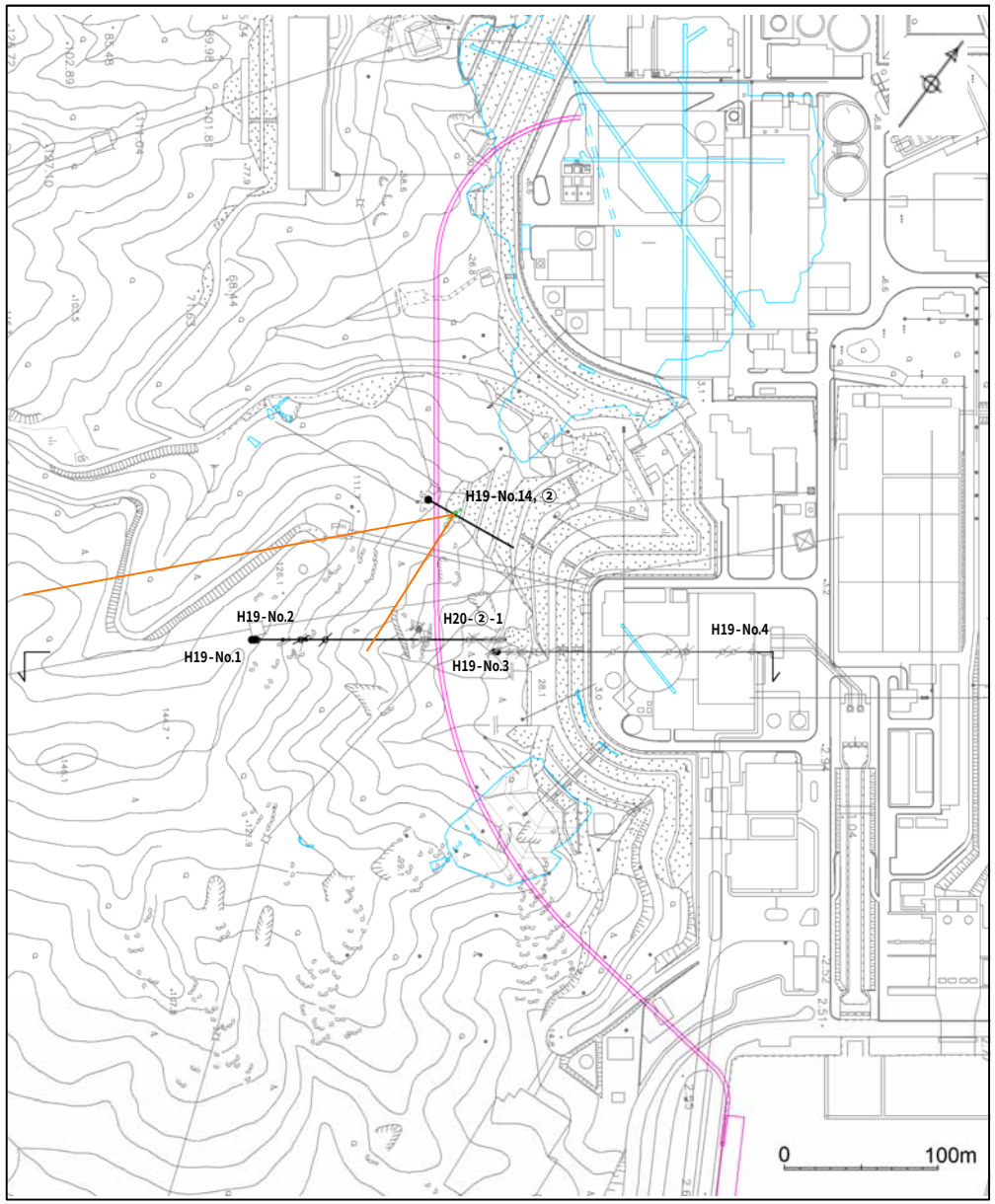
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，②)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

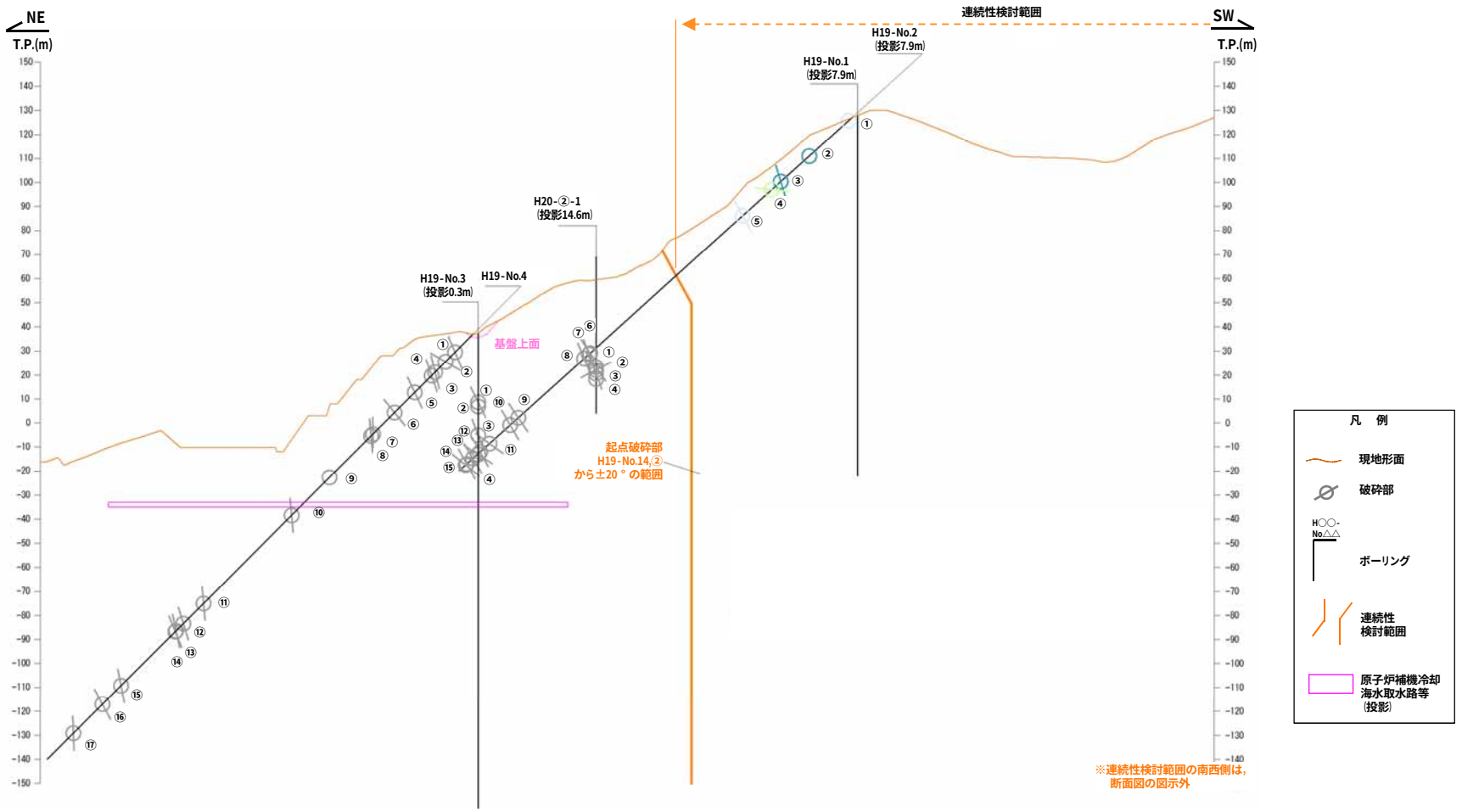
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，②)



注) H19-No.1孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.14	-	-	②	45.63	45.70	N18E		83W		有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※3
			③	39.83	39.88	N25E	7	82W	1	有	無	59R	-	×	f-15-1	参考2-131	※3
			④	44.90	45.75	N40E	22	26W	57	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	11	68W	15	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
		範囲外	⑥	146.29	146.32	N7E	11	64W	19	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	49	70W	13	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	17	72W	11	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	3	70W	13	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	16	66W	17	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	14	64W	19	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	18	66W	17	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	24	63W	20	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	27	64W	19	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	8	61W	22	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	21	60W	23	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	45	71S	12	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	70	71SW	12	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	18	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	14	80W	3	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	20	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	1	77W	6	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	19	67W	16	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	22	70W	13	有	無	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	17	62W	21	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	15	79W	4	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	25	73W	10	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	6	73W	10	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	11	72W	11	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	28	89W	6	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	89	86N	11	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	2	87W	4	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	3	87W	4	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	9	78W	5	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	47	78W	5	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	4	76W	7	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	5	83W	0	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	2	74W	9	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	46	88W	5	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

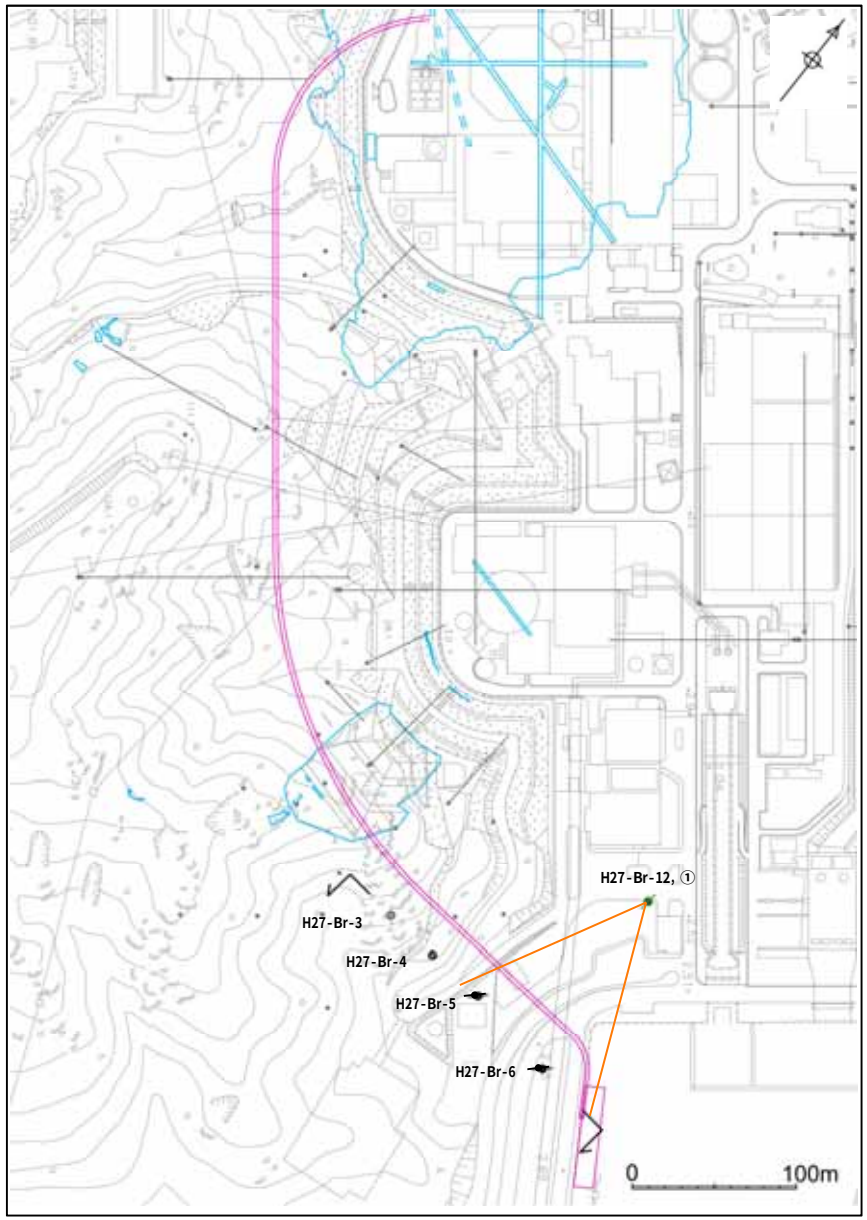
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-12，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

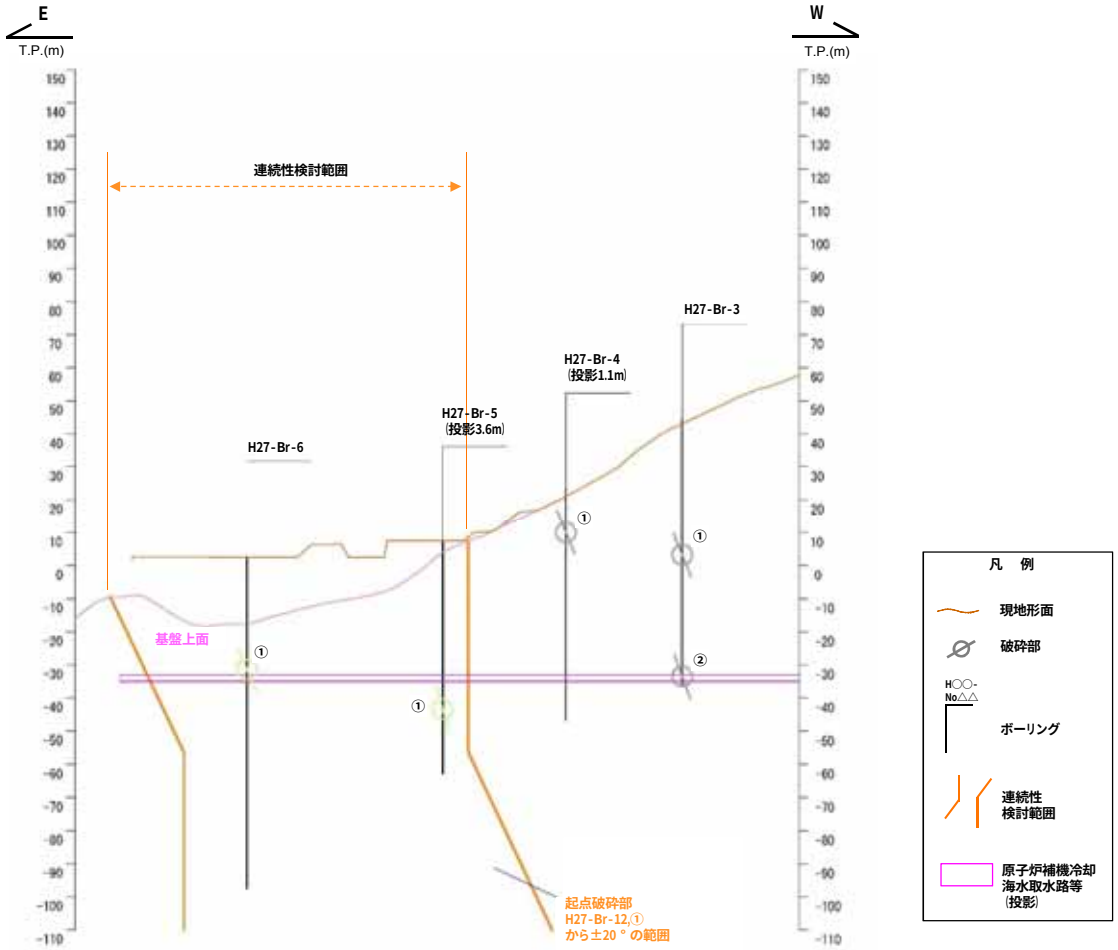
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-12，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-12，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度(m)	下端深度(m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-Br-12	-	-	①	58.40	59.38	N7E	-	85W	-	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
-	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	44	73NW	12	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	45	76SW	9	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	1	68W	17	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-5	範囲内	①	50.48	51.16	N46E	39	78NW	7	有	有	80R	N		f-br-5-1	参考2-177	
	H27-Br-6		①	33 02	34.01	N49E	42	72W	13	有	有	85R	N		f-br-6-1	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

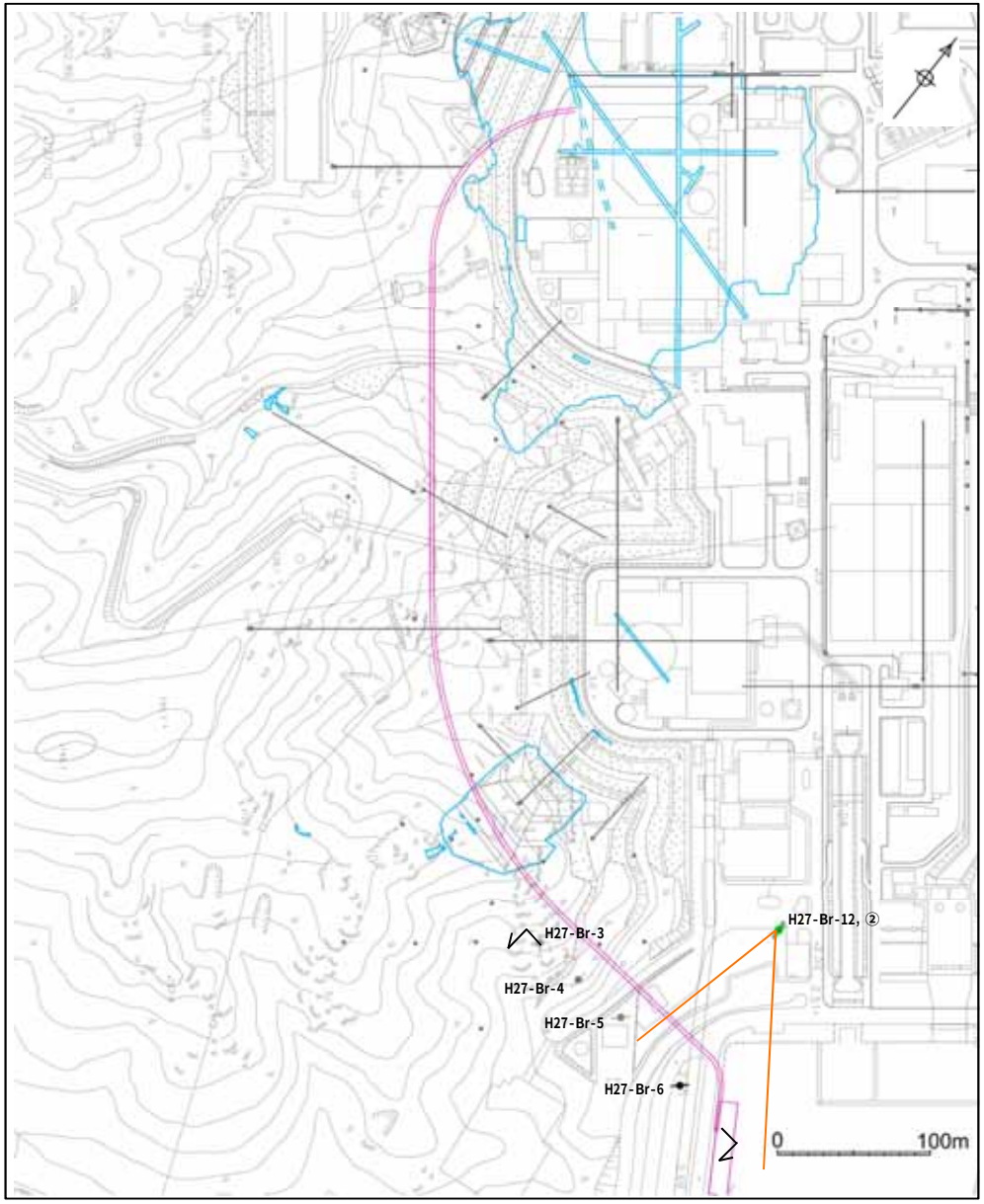
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-12，②)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

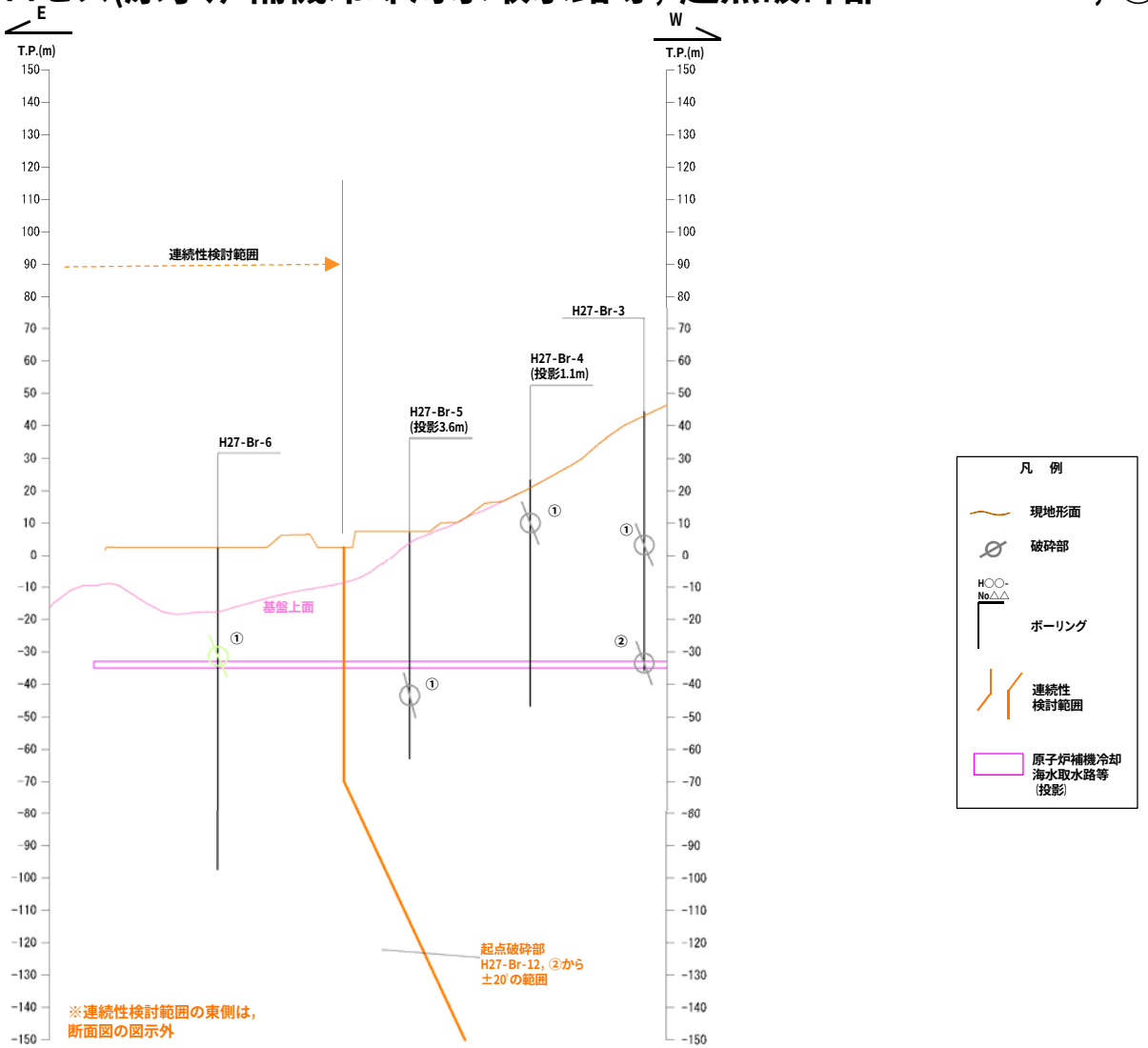
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-12，②)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

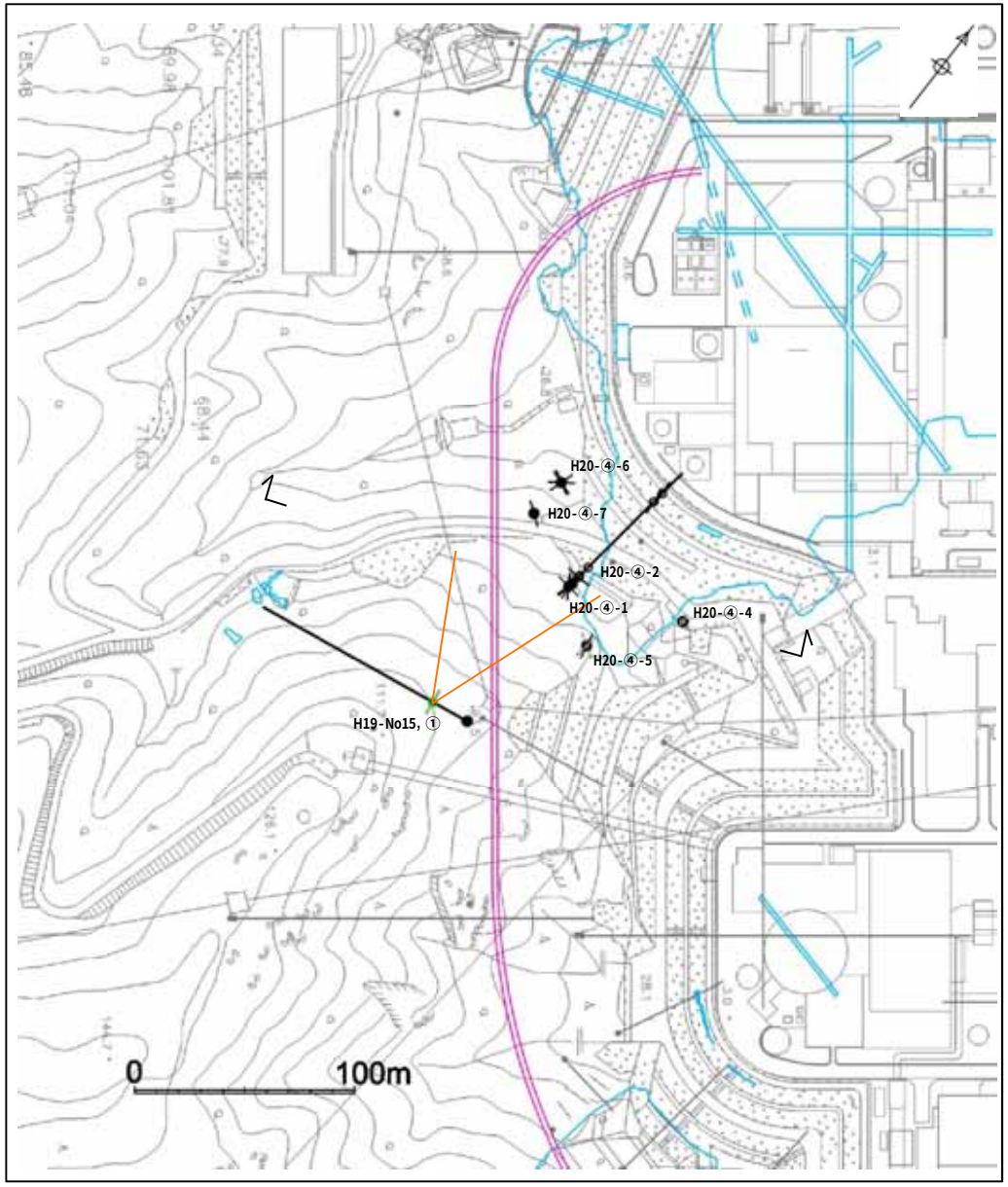
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-12，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-Br-12	-	-	②	71.95	72.72	N6W		85W		有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
-	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	57	73NW	12	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	32	76SW	9	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	14	68W	17	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-5		①	50.48	51.16	N46E	52	78NW	7	有	有	80R	N		f-br-5-1	参考2-177	
	H27-Br-6	範囲内	①	33.02	34.01	N49E	55	72W	13	有	有	85R	N		f-br-6-1	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

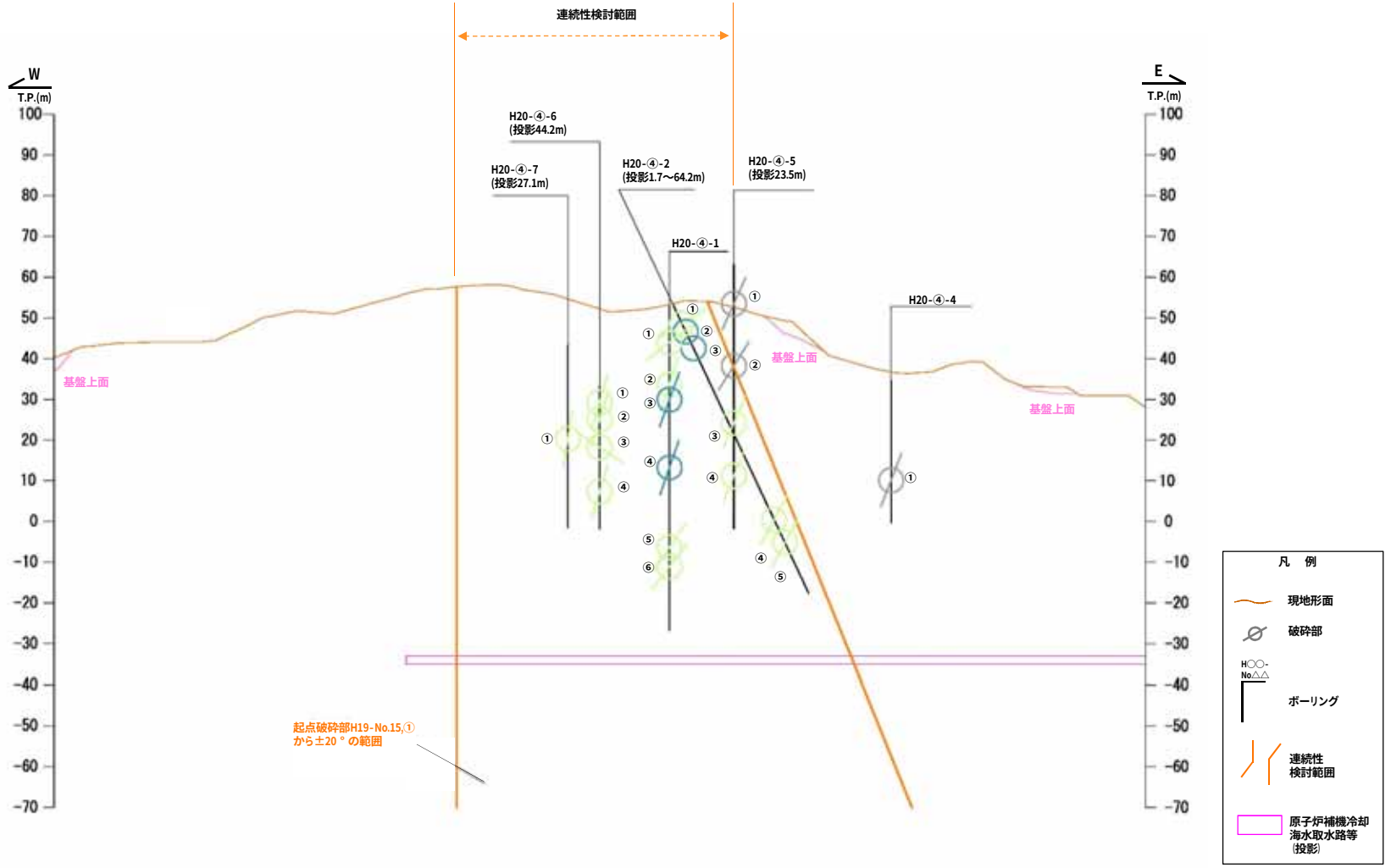
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.15	-	-	①	24.58	24 67	N7W		88E		有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
-	H20-④-1	範囲内	①	9.33	9 61	N82W	75	45S	47	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-143	
			②	18.03	21 78	N31W	24	73W	19	有	無	65L	N,RL		D-20	参考2-100	
			③	23.27	23 31	N8W	1	73W	19	有	有	47L	N,RL	×	f-④-1-2	参考2-141	※3
			④	39.78	39.98	N11E	18	78W	14	無	-	75L	-	×	f-④-1-3	参考2-141	※3
			⑤	58.87	59 39	N17E	24	70W	22	有	無	45R	-		f-④-1-4	参考2-142	
			⑥	63.91	64.44	N19E	26	68W	24	有	無	80L	-		D-21	参考2-102	
	H20-④-2		①	6.00	6.12	N86W	79	42S	50	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
			②	6.90	8.90	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-20	参考2-100	
			③	14.63	14 66	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-④-1-2	参考2-141	※1
			④	74.45	74 50	N4W	3	67W	25	無	-	-	-		f-④-1-3	参考2-141	
			⑤	82.34	82.41	N4W	3	67W	25	無	-	5L	-		f-④-2-3	参考2-142	
	H20-④-4	範囲外	①	24.56	24 59	N4E	11	71W	21	有	無	-	-		f-④-4-1		
	H20-④-5		①	7.85	9 71	N56W	49	70S	22	有	有	40L (不明瞭)	-		D-20	参考2-100	
			②	24.96	25.12	N11E	18	62W	30	有	無	90	-		D-21	参考2-102	
		範囲内	③	38.73	38 74	N9E	16	70W	22	有	無	10L	-		f-④-9-1	参考2-143	
			④	51.86	52.16	N11W	4	68W	24	有	有	30L	-		f-④-5-3	参考2-143	
	H20-④-6		①	3.76	4 09	N60W	53	78S	14	有	無	20R	-		f-④-6-1	参考2-143	
			②	7.94	9 00	N71W	64	79S	13	有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-144	
			③	14.94	14.98	N55E	62	69S	23	有	有	36R	N,LL		f-④-6-3	参考2-144	
			④	25.70	25 80	N18E	25	77W	15	有	無	90	-		f-④-6-4	参考2-144	
	H20-④-7		①	22.75	23 53	N53W	46	80S	12	有	有	80L	-		f-④-7-1	参考2-144	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

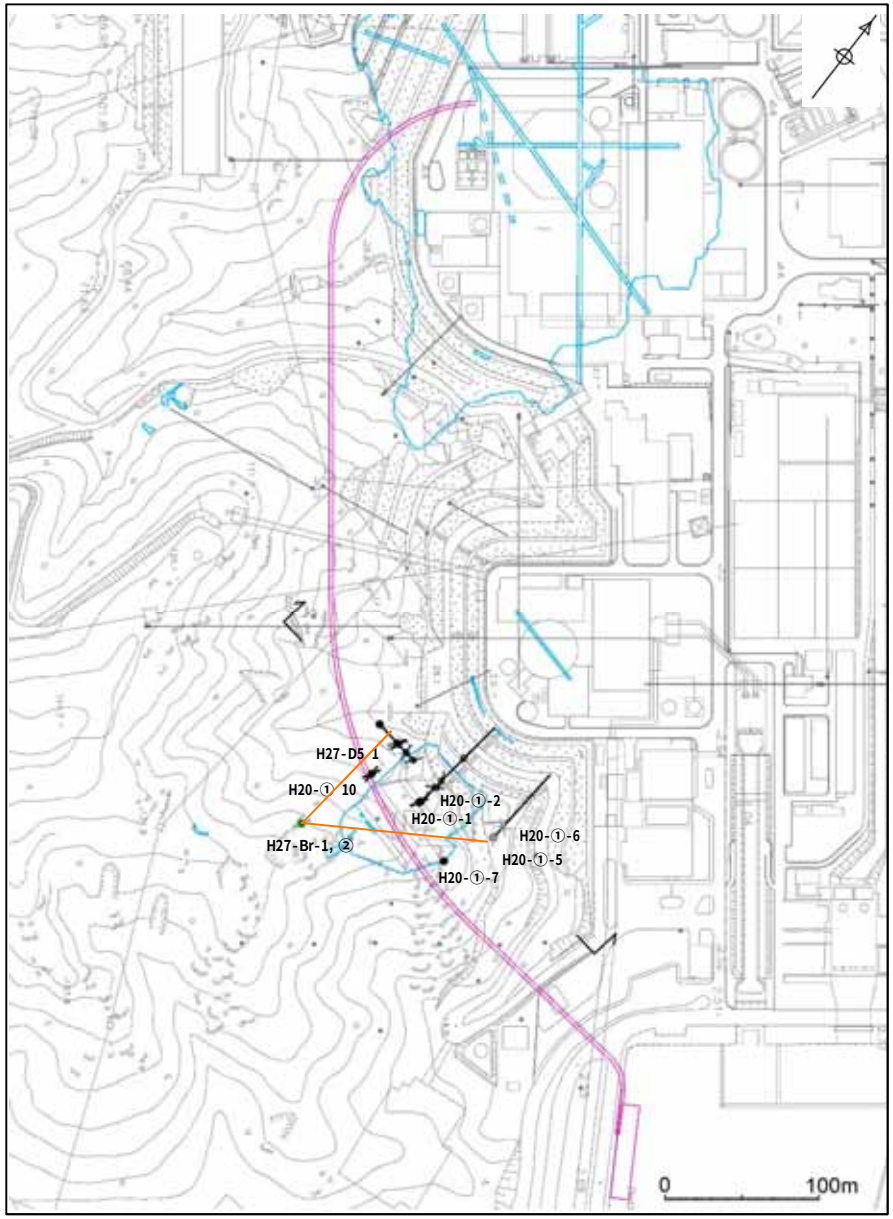
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，②)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

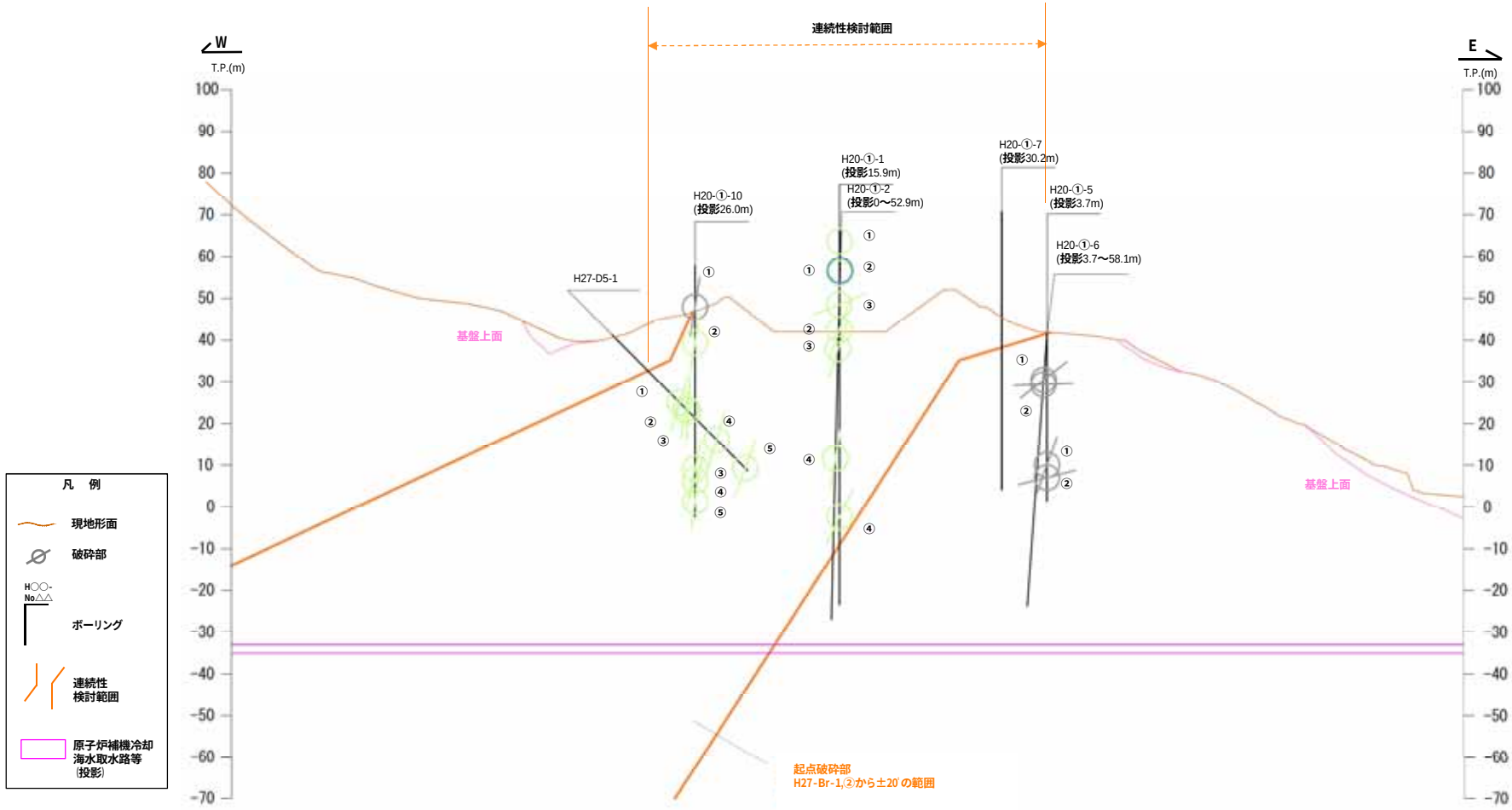
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，②)



注) H20-①-7孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度(m)	下端深度(m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-Br-1	-	-	②	59.18	59 27	N31E		45W		有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
-	H27-D5-1	範囲内	①	22.91	23 23	N35E	4	74W	29	有	無	90	N		D-4	参考2-89	
			②	25.17	25.44	N31E	0	81W	36	有	無	80L	N		D-45	参考2-119	
			③	25.65	25 77	N21E	10	87W	42	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-71	
			④	35.41	35 55	N2W	33	73W	28	有	無	80L	N		f-d5-1-4	参考2-178	
			⑤	45.12	45 37	N38E	7	72W	27	有	有	85R	N		D-46	参考2-119	
	H20-①-1		①	2.66	2.95	-	-	(70)	25	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	8.64	10 63	-	-	(74)	29	有	有	-	-		D-6	参考2-58	
			③	23.62	24 62	N25E	6	72W	27	有	無	60L	-		D-19	参考2-99	
			④	68.72	69 02	N36E	5	66W	21	有	無	30L	N,RL		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-2		①	11.73	11.91	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			②	22.63	22 66	N62E	31	33N	12	有	有	55L	N,RL		f-①-2-2	参考2-138	
			③	32.90	34.91	N18W	49	73W	28	有	有	-	-		D-6	参考2-58	
			④	66.08	67 28	N4E	27	80W	35	有	無	88L	-		f-①-2-4	参考2-138	
	H20-①-5	範囲外	①	31.28	31.44	N33W	64	75W	30	無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
			②	34.37	34 70	N89W	120	58S	13	無	-	-	-		f-①-5-2	参考2-150	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	84	60S	15	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	112	65S	20	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-10		①	9.01	10 28	N1W	32	81W	36	有	無	77L	-		D-4	参考2-90	
		範囲内	②	18.16	18 84	N26E	5	81W	36	無	-	90	-		f-①-10-2	参考2-140	
			③	48.10	48 24	N6E	25	77W	32	無	-	80R	-		D-45	参考2-119	
			④	50.90	52.95	NS	31	71W	26	有	有	80R	N		D-5	参考2-71	
			⑤	55.99	56 05	N34E	3	83W	38	有	無	5L	LL		D-46	参考2-119	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

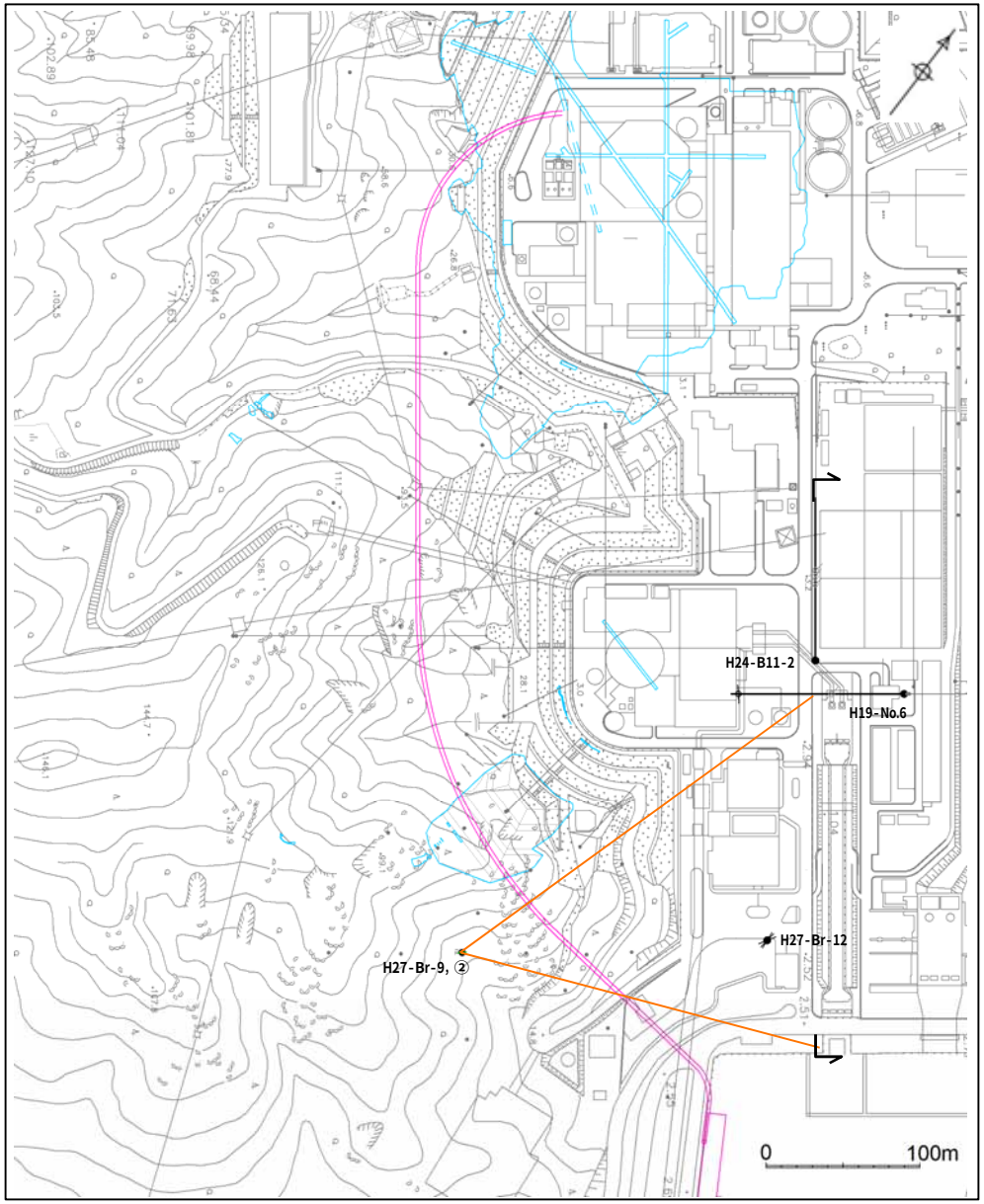
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-9，②)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

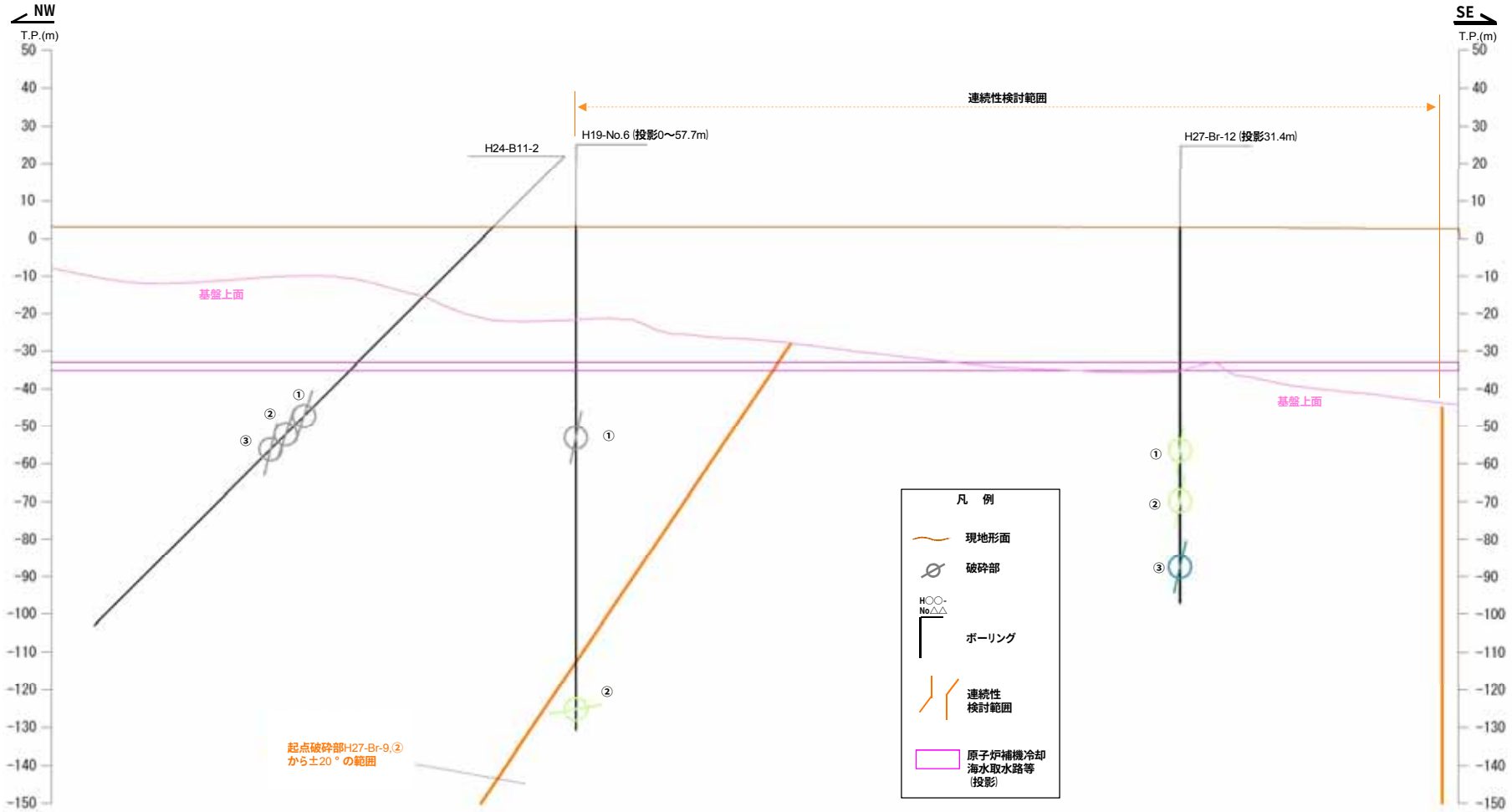
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-9，②)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-9，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度(m)	下端深度(m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-Br-9	-	-	②	66 50	66.77	N48E		77NW		有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H24-B11-2	範囲外	①	71 21	71.24	N12E	36	76W	1	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	48	79W	2	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80 50	83.93	N9E	39	80W	3	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	42	82W	5	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
		範囲内	②	167.53	168.54	N41W	89	69W	8	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H27-Br-12		①	58.40	59.38	N7E	41	85W	8	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	54	85W	8	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89 68	90.32	N31E	17	78W	1	有	有	90	N	×	f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

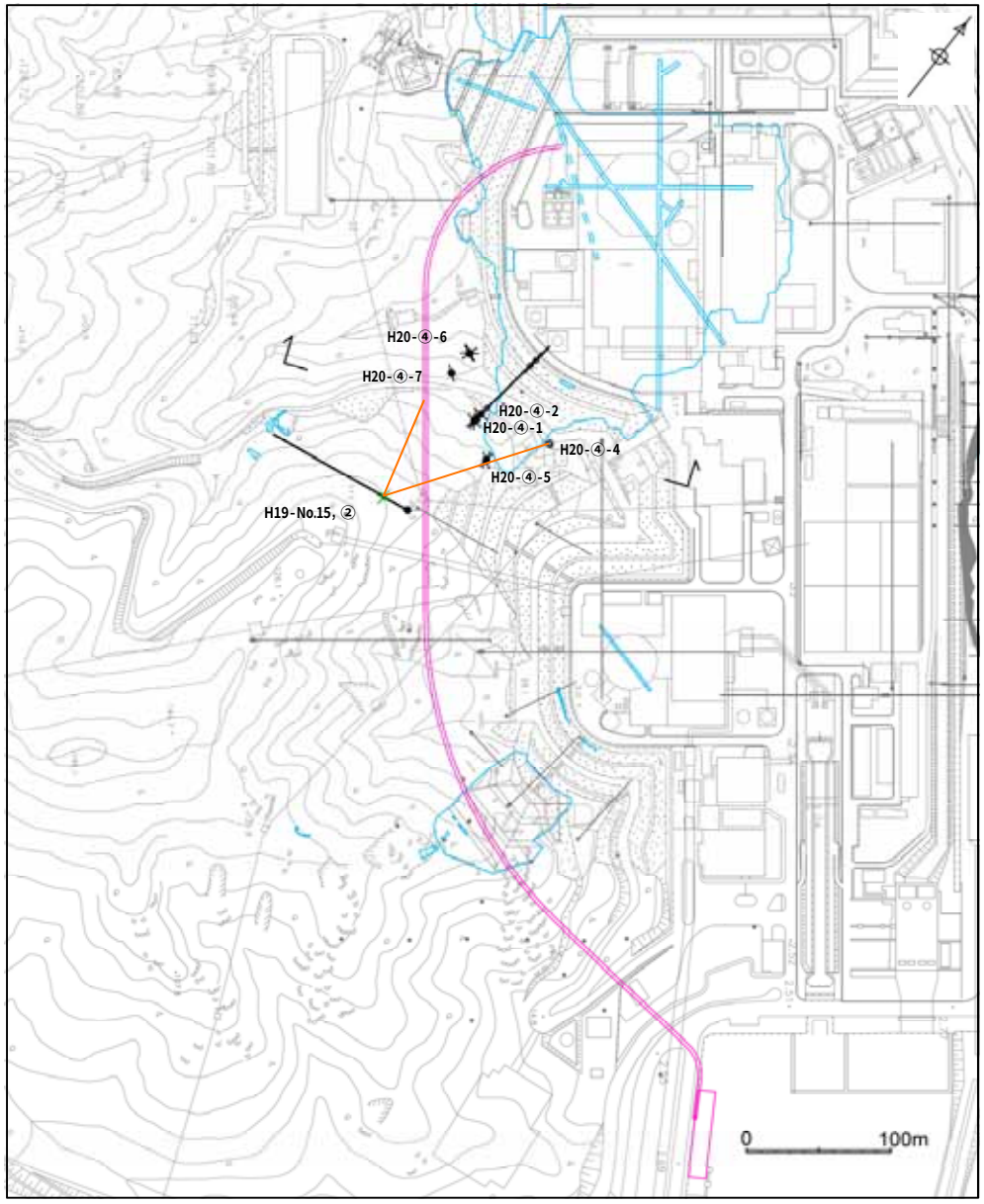
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，②)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

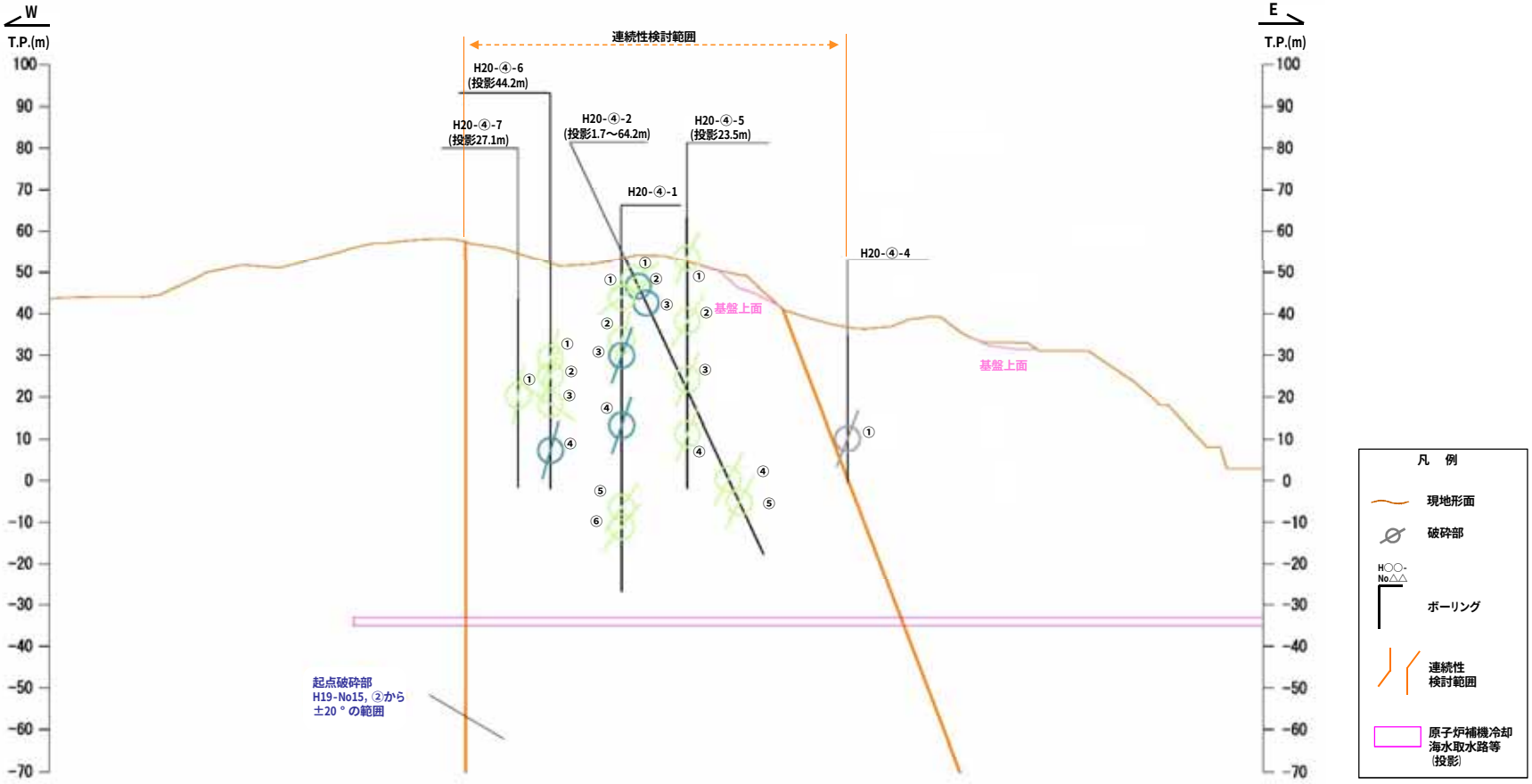
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，②)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.15	-	-	②	25.83	25.93	N6E		89E		有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
-	H20-④-1	範囲内	①	9.33	9.61	N82W	88	45S	46	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-143	
			②	18.03	21 78	N31W	37	73W	18	有	無	65L	N,RL		D-20	参考2-100	
			③	23.27	23 31	N8W	14	73W	18	有	有	47L	N.RL	×	f-④-1-2	参考2-141	※1
			④	39.78	39.98	N11E	5	78W	13	無	-	75L	-	×	f-④-1-3	参考2-141	※1
			⑤	58.87	59 39	N17E	11	70W	21	有	無	45R	-		f-④-1-4	参考2-142	
			⑥	63.91	64.44	N19E	13	68W	23	有	無	80L	-		D-21	参考2-102	
	H20-④-2		①	6.00	6.12	N86W	88	42S	49	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
			②	6.90	8.90	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-20	参考2-100	
			③	14.63	14 66	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-④-1-2	参考2-141	※1
			④	74.45	74 50	N4W	10	67W	24	無	-	-	-		f-④-1-3	参考2-141	
			⑤	82.34	82.41	N4W	10	67W	24	無	-	5L	-		f-④-2-3	参考2-142	
	H20-④-4	範囲外	①	24.56	24 59	N4E	2	71W	20	有	無	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-④-5	範囲内	①	7.85	9.71	N56W	62	70S	21	有	有	40L (不明瞭)	-		D-20	参考2-100	
			②	24.96	25.12	N11E	5	62W	29	有	無	90	-		D-21	参考2-102	
			③	38.73	38 74	N9E	3	70W	21	有	無	10L	-		f-④-9-1	参考2-143	
			④	51.86	52.16	N11W	17	68W	23	有	有	30L	-		f-④-5-3	参考2-143	
	H20-④-6		①	3.76	4.09	N60W	66	78S	13	有	無	20R	-		f-④-6-1	参考2-143	
			②	7.94	9.00	N71W	77	79S	12	有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-144	
			③	14.94	14.98	N55E	49	69S	20	有	有	36R	N,LL		f-④-6-3	参考2-144	
			④	25.70	25 80	N18E	12	77W	14	有	無	90	-	×	f-④-6-4	参考2-144	※3
	H20-④-7		①	22.75	23 53	N53W	59	80S	11	有	有	80L	-		f-④-7-1	参考2-144	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

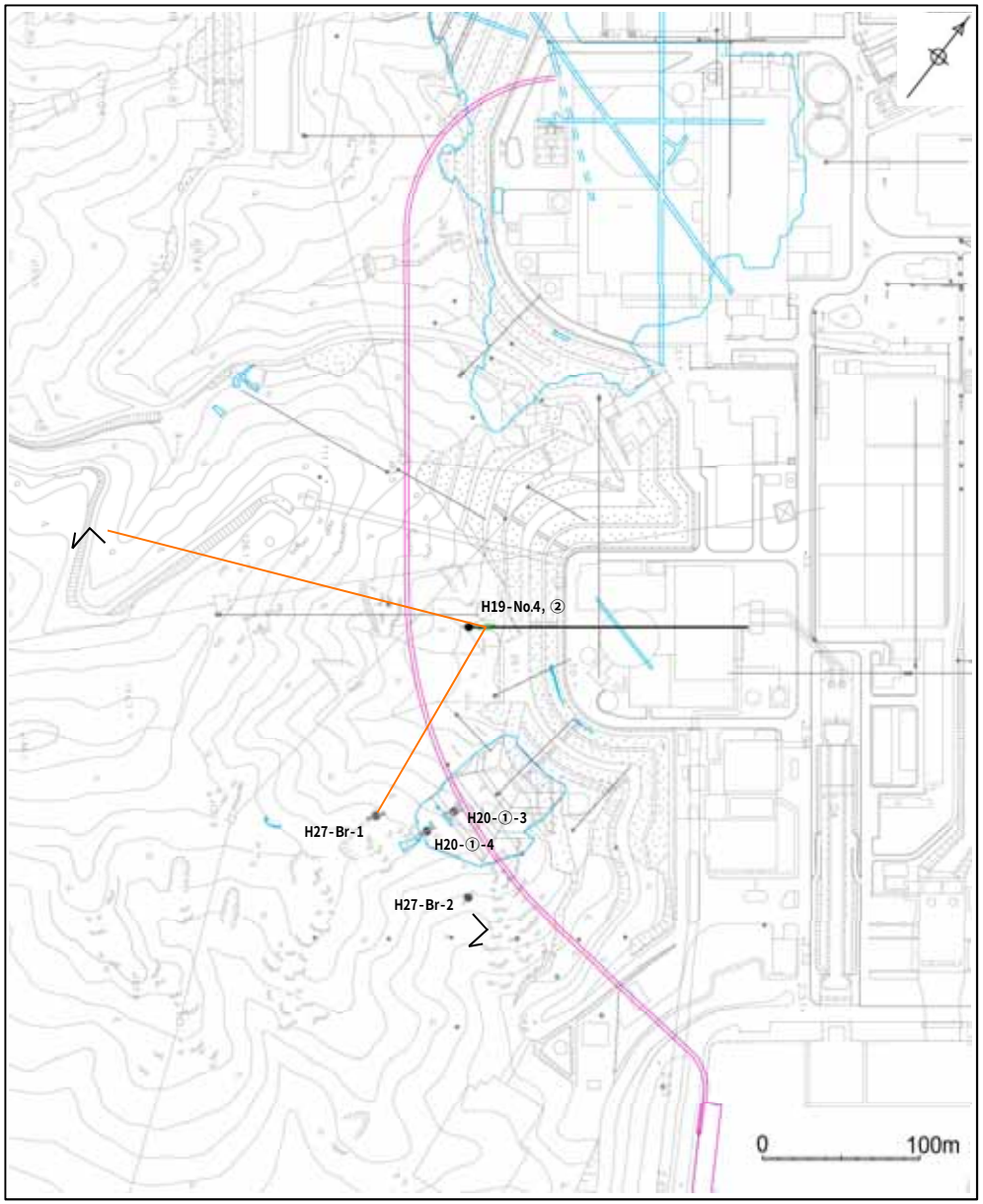
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，②)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

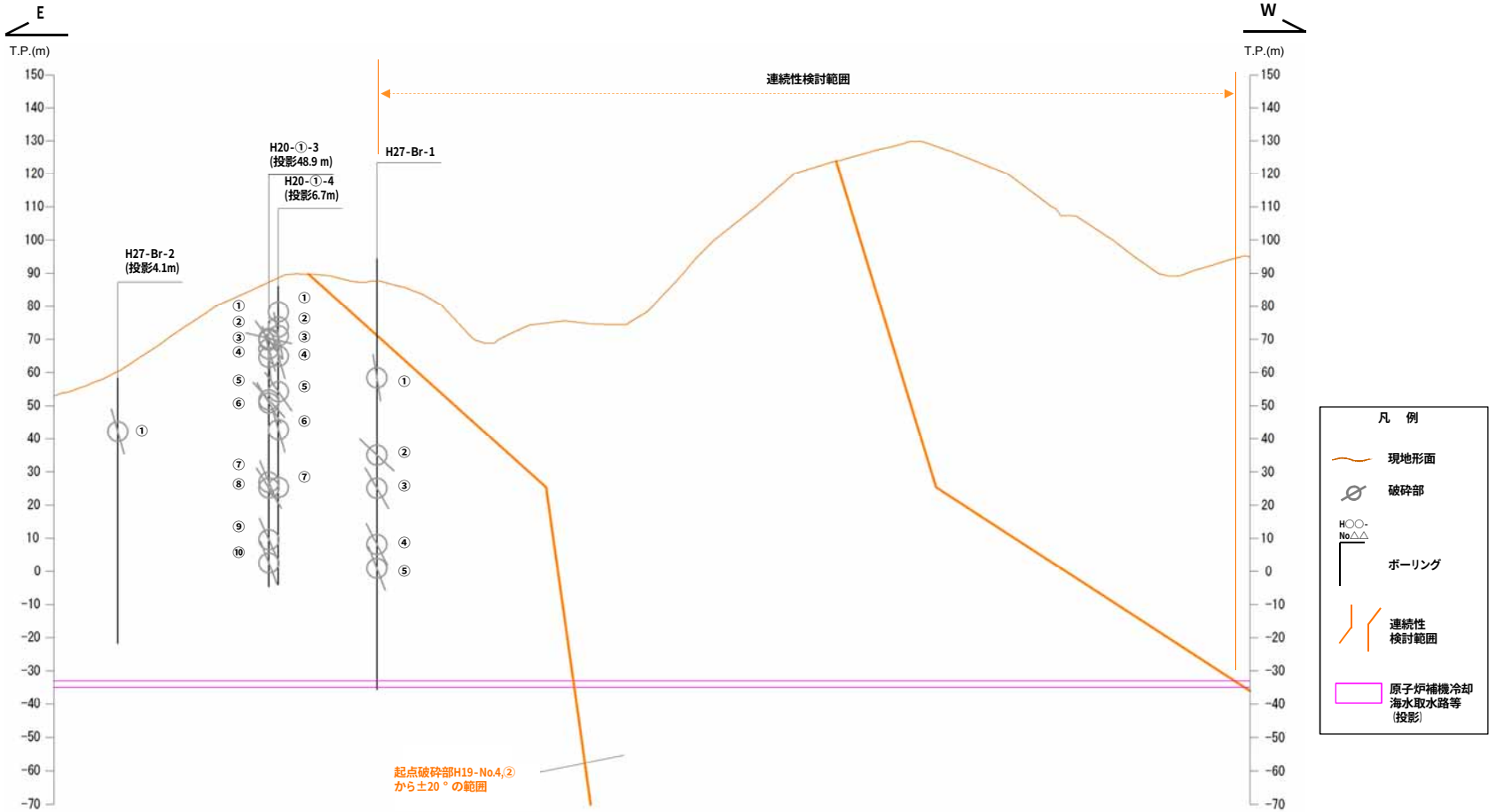
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4, ②)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.4	-	-	②	16.13	16.31	N35E		62W		有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
-	H27-Br-1	範囲外	①	33.27	35.90	N16E	19	81W	19	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	4	45W	17	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	7	64NW	2	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	1	65W	3	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	11	73W	11	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	35	74W	12	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	48	40N	22	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	24	55W	7	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	23	74W	12	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	24	85W	23	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	23	48W	14	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	61	64W	2	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	0	69W	7	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	3	61W	1	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	14	71N	9	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	5	72W	10	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	23	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	2	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12.70	15.25	N32E	3	80W	18	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	16	74W	12	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	29	55W	7	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	1	76W	14	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	4	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

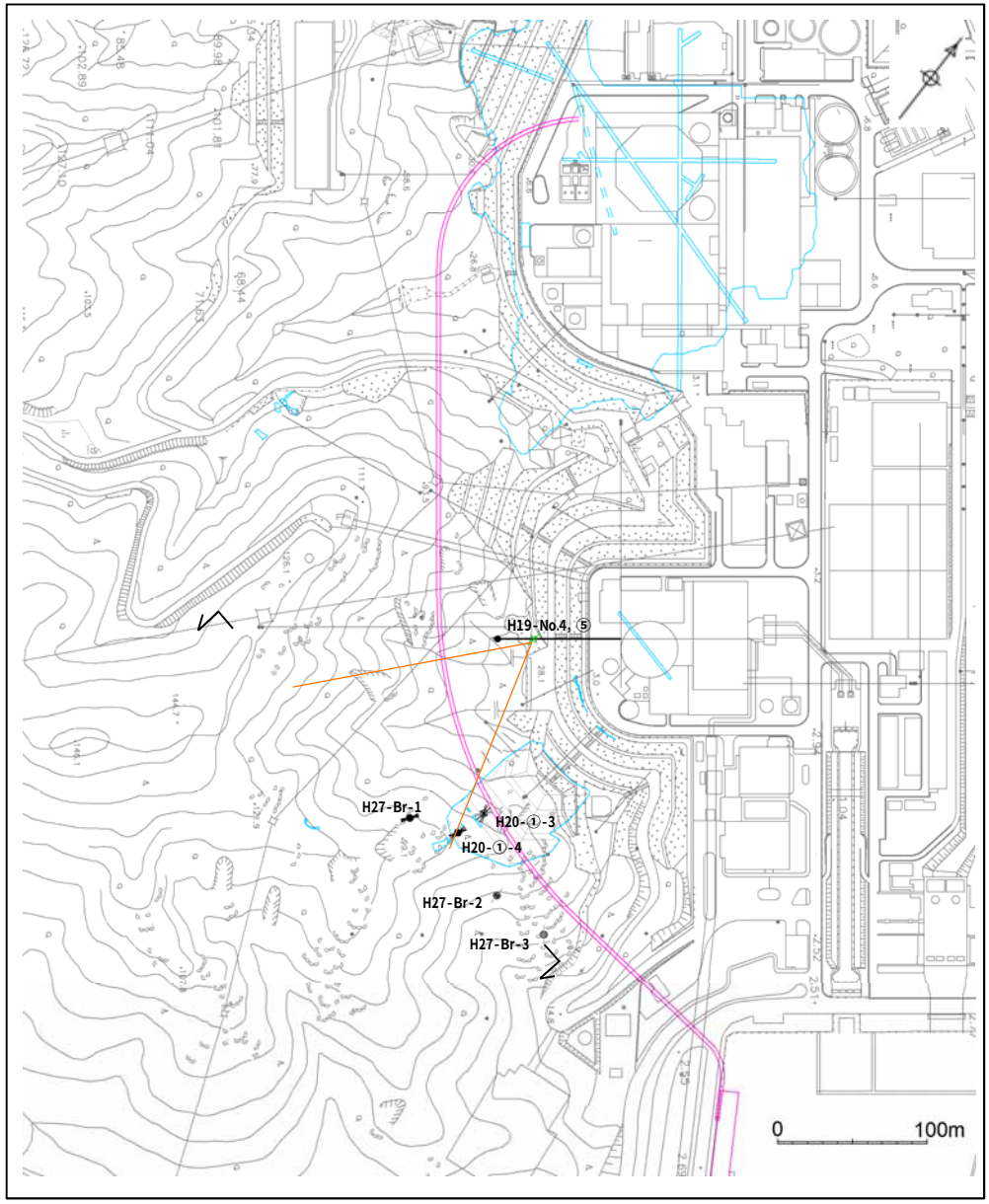
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑤)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

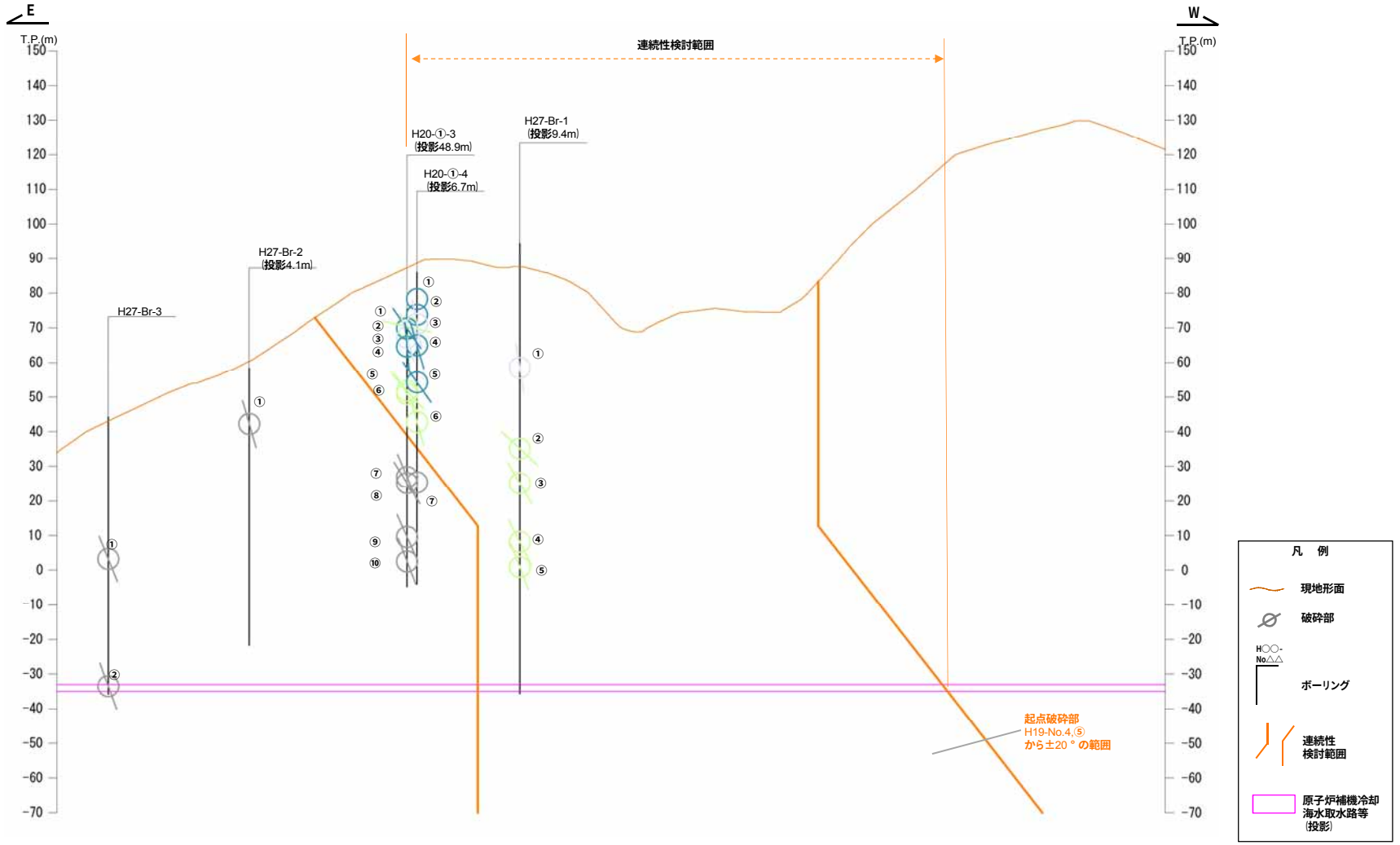
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑤)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.4	-	-	⑤	34.24	34 38	N12E		73W		無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	4	81W	8	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59 27	N31E	19	45W	28	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70 76	N42E	30	64NW	9	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87 85	N34E	22	65W	8	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	34	73W	0	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	12	74W	1	無	-	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	39	73NW	0	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	50	76SW	3	無	-	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	71	40N	33	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	1	55W	18	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	0	74W	1	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	1	85W	12	有	無	50L	-	×	f-①-3-4	参考2-139	※1
			⑤	23.28	23 62	N12E	0	48W	25	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25 00	N26W	38	64W	9	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48.20	48 24	N35E	23	69W	4	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	26	61W	12	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65 89	N49E	37	71N	2	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72 66	N40E	28	72W	1	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	12	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12 26	-	-	(64)	9	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15 25	N32E	20	80W	7	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	7	74W	1	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31.63	31 87	N6E	6	55W	18	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1
			⑥	41.41	43 24	N36E	24	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
		範囲外	⑦	60.47	60 67	-	-	(66)	7	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

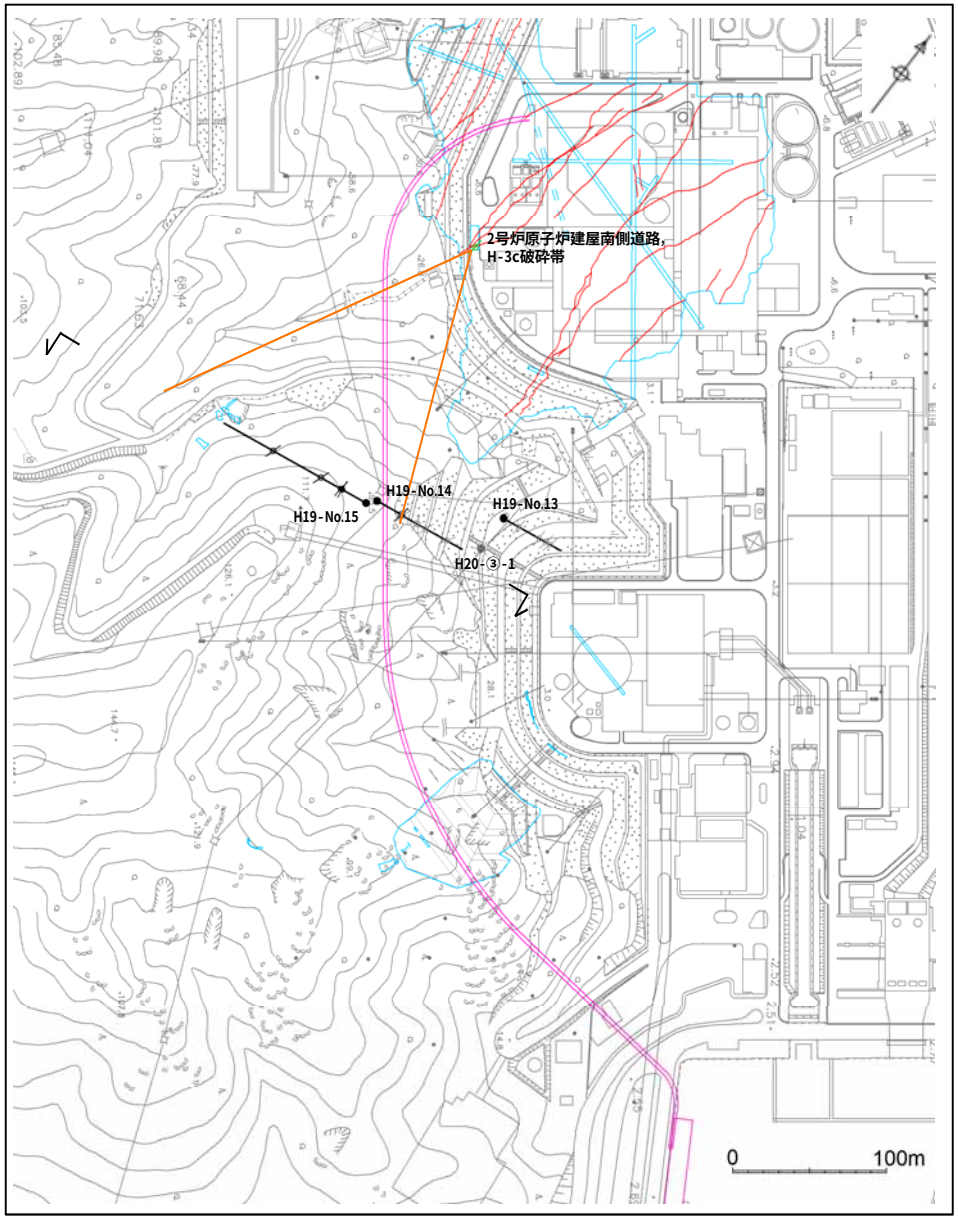
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，H-3c破砕帯)



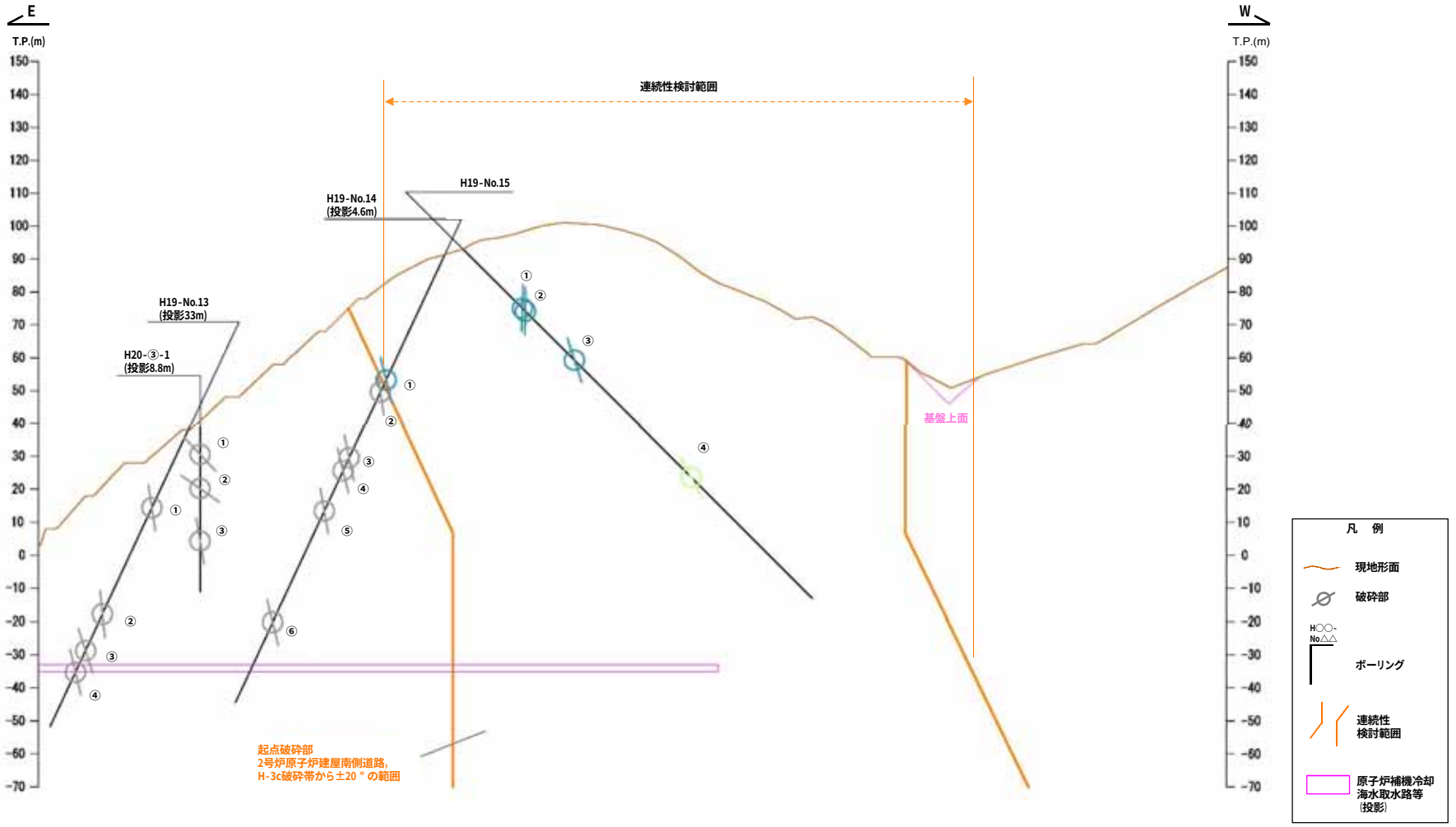
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設
- ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの
- 2号炉底盤破砕帯トレース

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，H-3c破砕帯)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，H-3c破砕帯)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側道路	-	-	-	(T P.6 6m)		N5E		85W		無	-	28L	N,RL		H-3c	参考2-167	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	0	81W	4	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	5	84W	1	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	5	73W	12	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	10	78W	7	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	6	77W	8	有	無	5L	-	×	f-14-1	参考2-131	※3
		範囲外	②	45.63	45.70	N18E	13	83W	2	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	16	78W	7	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	37	77W	8	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	15	81W	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	27	79W	6	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	12	88E	7	有	無	70L	-	×	f-15-1	参考2-131	※3
			②	25.83	25.93	N6E	1	89E	6	有	無	71L	-	×	f-15-2	参考2-131	※3
			③	46.92	46.93	N20E	15	74W	11	有	無	73L	-	×	f-④-3-1	参考2-143	※3
			④	97.82	97.85	N17E	12	64W	21	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	84	73S	12	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	54	61N	34	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	4	80W	5	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

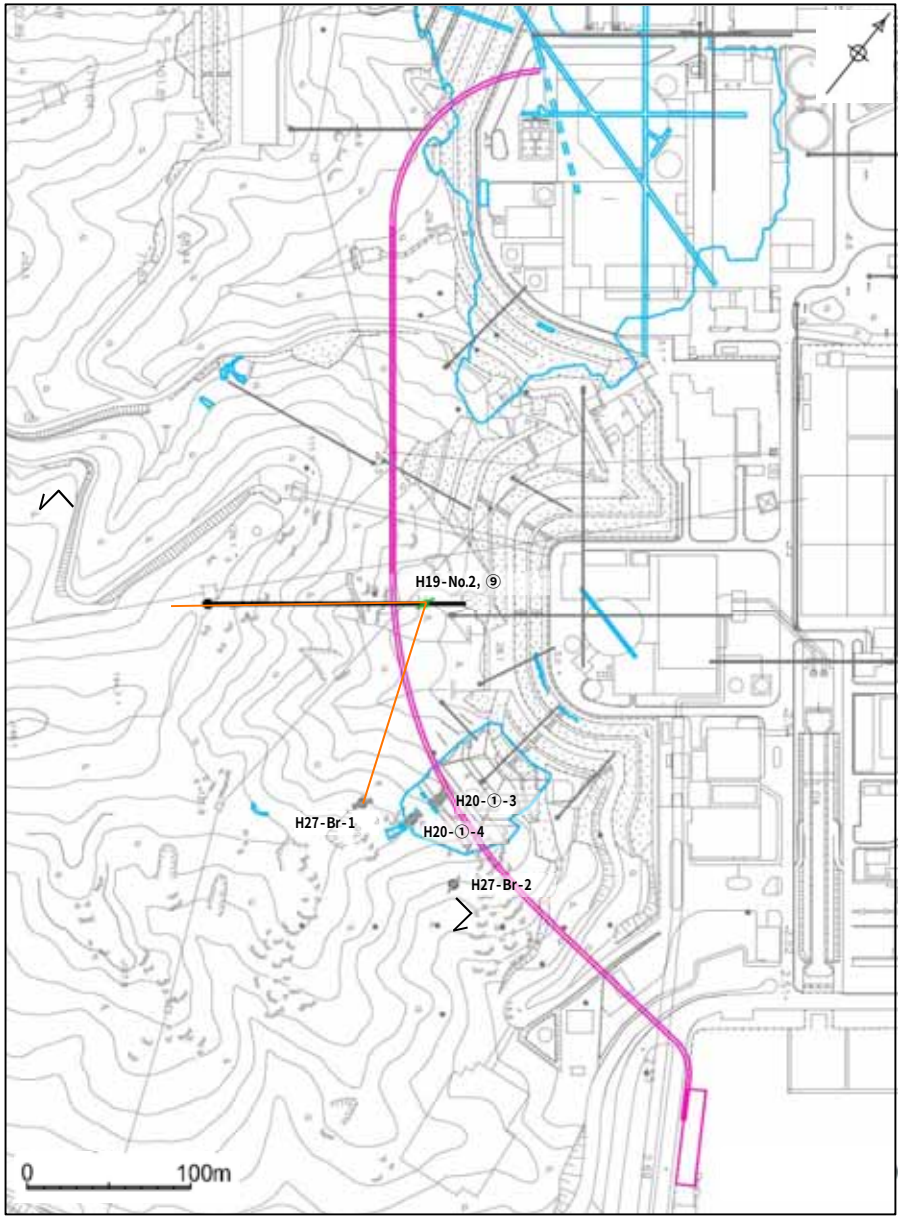
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑨)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

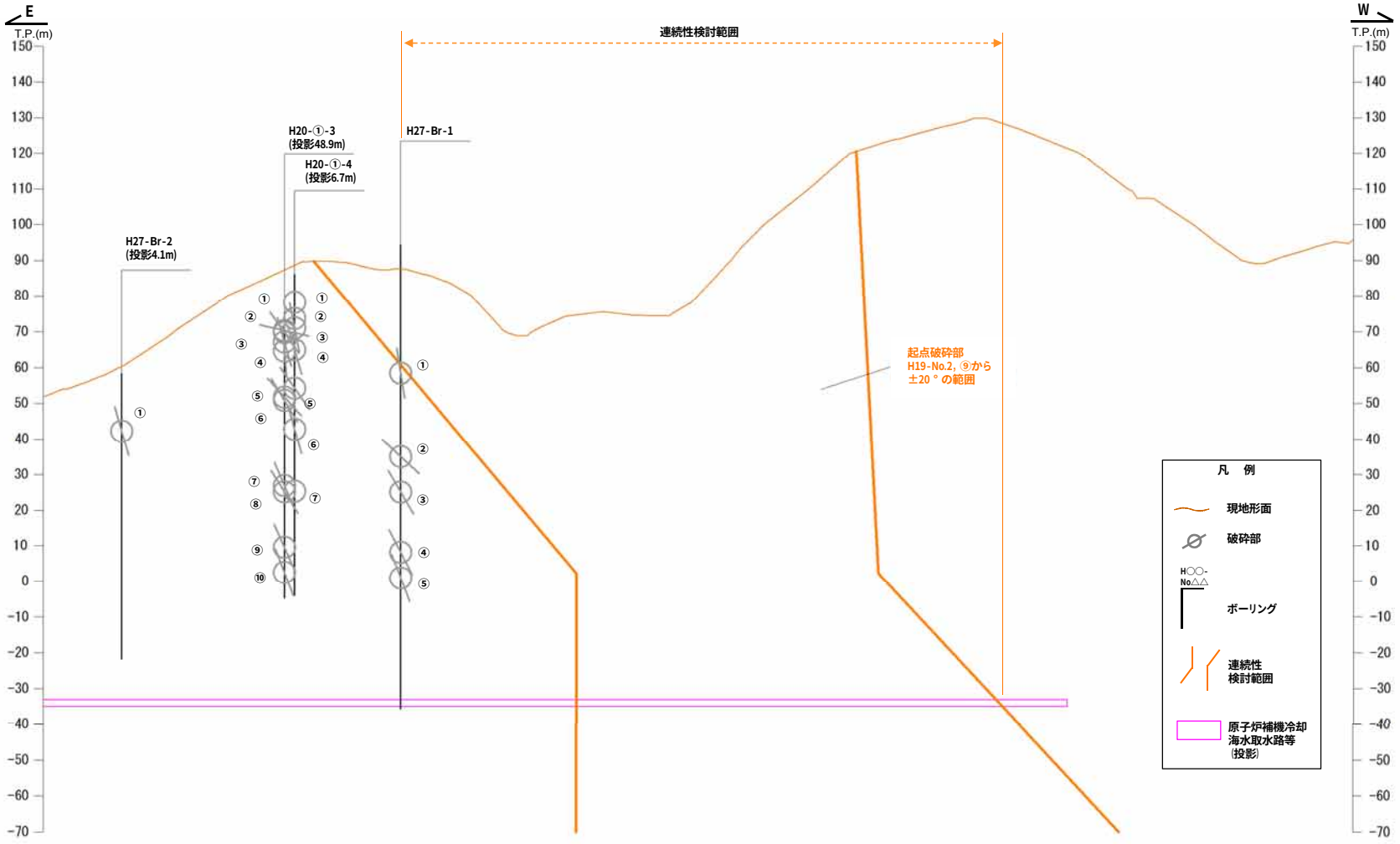
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑨)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑨)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	⑨	186.53	186.58	N21E		70W		有	無	36L	-		D-2	参考2-87	
-	H27-Br-1	範囲外	①	33.27	35.90	N16E	5	81W	11	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59 27	N31E	10	45W	25	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70 76	N42E	21	64NW	6	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87 85	N34E	13	65W	5	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	25	73W	3	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	21	74W	4	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	62	40N	30	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	10	55W	15	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	9	74W	4	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	32	85W	15	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23 62	N12E	9	48W	22	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25 00	N26W	47	64W	6	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48 24	N35E	14	69W	1	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	17	61W	9	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65 89	N49E	28	71N	1	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72 66	N40E	19	72W	2	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	15	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12 26	-	-	(64)	6	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12.70	15 25	N32E	11	80W	10	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	2	74W	4	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31 87	N6E	15	55W	15	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43 24	N36E	15	76W	6	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60 67	-	-	(66)	4	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

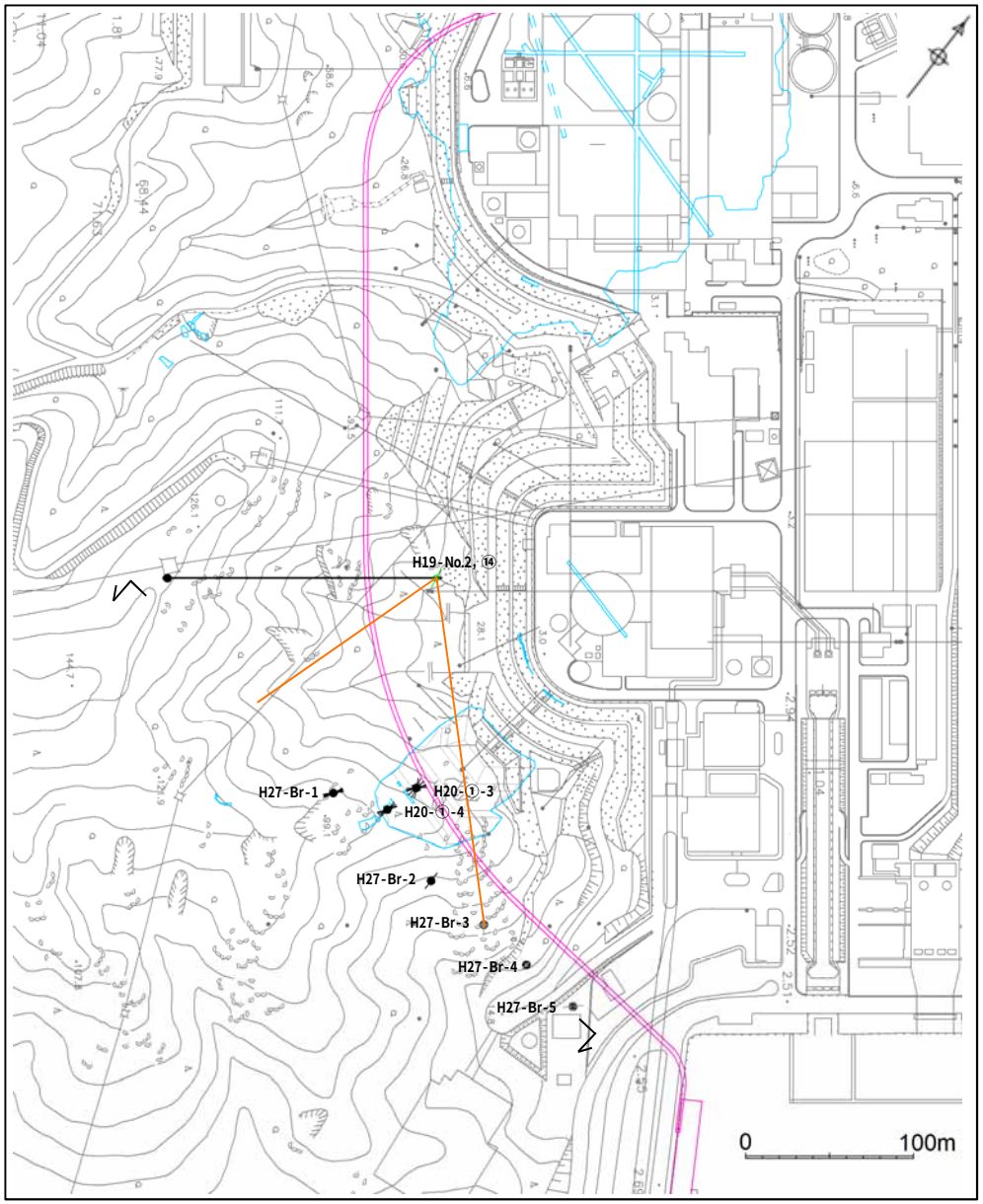
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑭)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

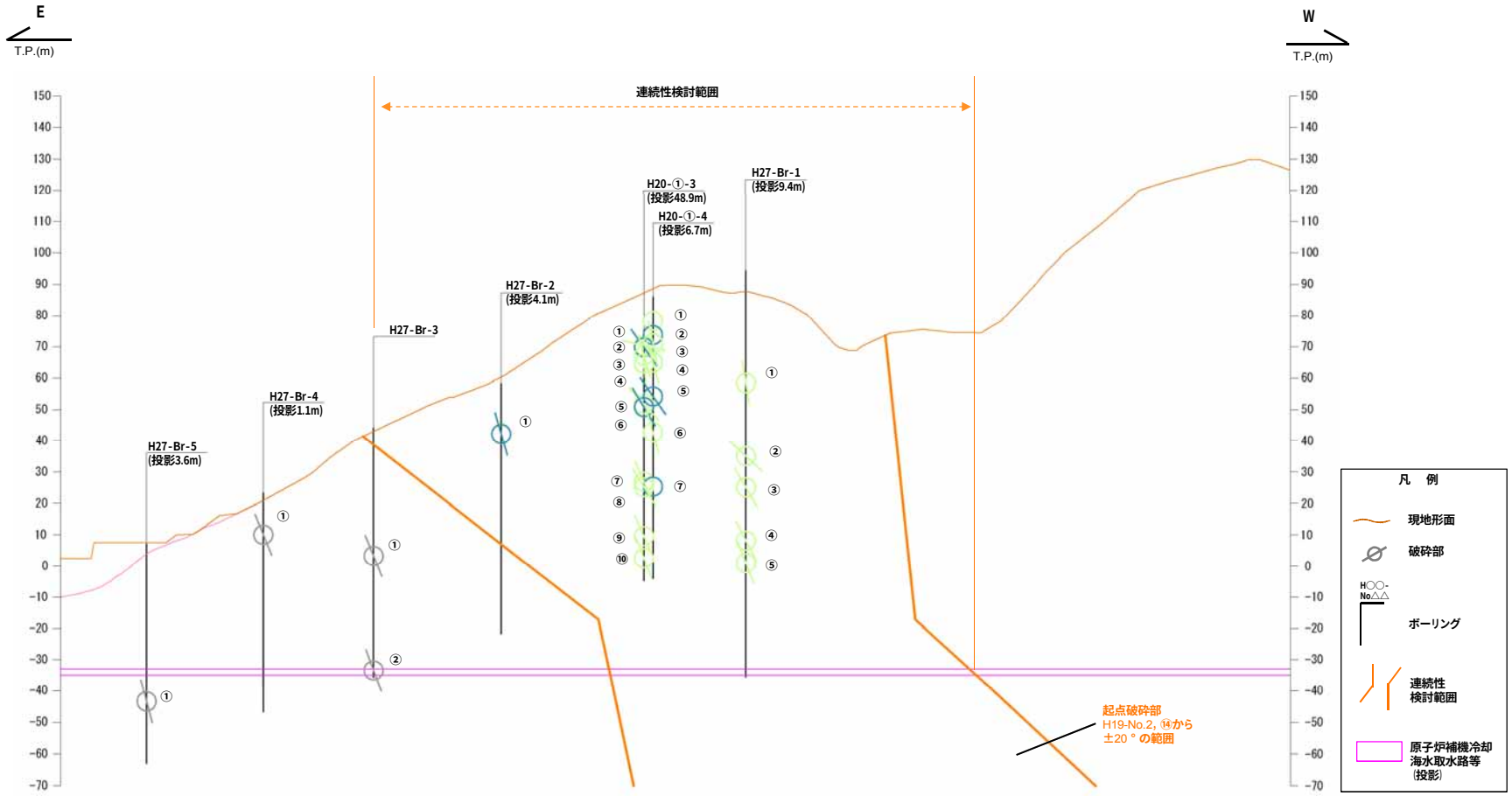
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑭)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑭)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No 2	-	-	⑭	215.42	215.46	N9W		64W		有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	25	81W	17	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	40	45W	19	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	51	64NW	0	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	43	65W	1	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	55	73W	9	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	9	74W	10	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	60	73NW	9	有	有	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	29	76SW	12	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	17	68W	4	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-5		①	50.48	51.16	N46E	55	78NW	14	有	有	80R	N		f-br-5-1	参考2-177	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	88	40N	24	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	20	55W	9	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	21	74W	10	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	20	85W	21	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	21	48W	16	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	17	64W	0	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	44	69W	5	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	47	61W	3	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	58	71N	7	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	49	72W	8	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	21	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	0	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	41	80W	16	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	28	74W	10	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	15	55W	9	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1
			⑥	41.41	43.24	N36E	45	76W	12	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	2	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

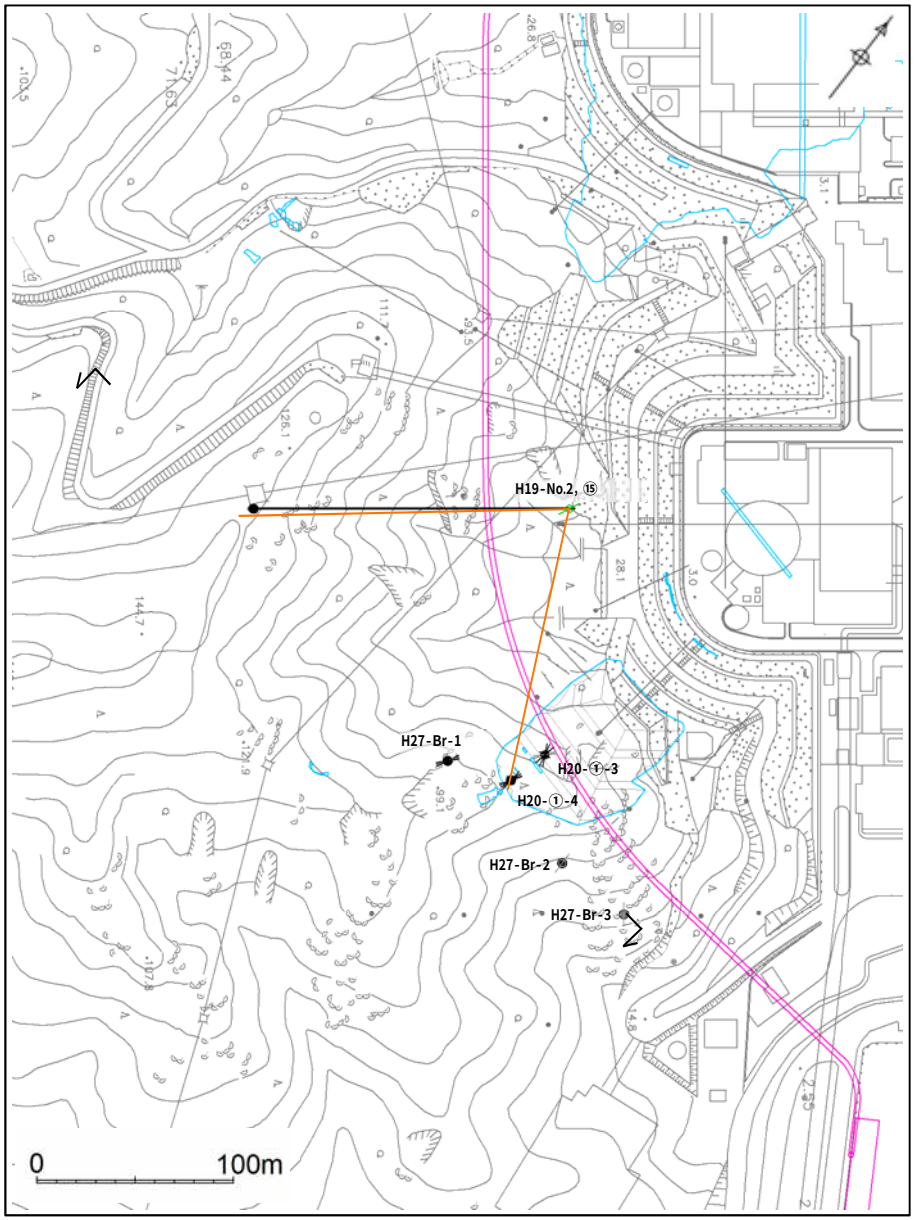
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑮)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

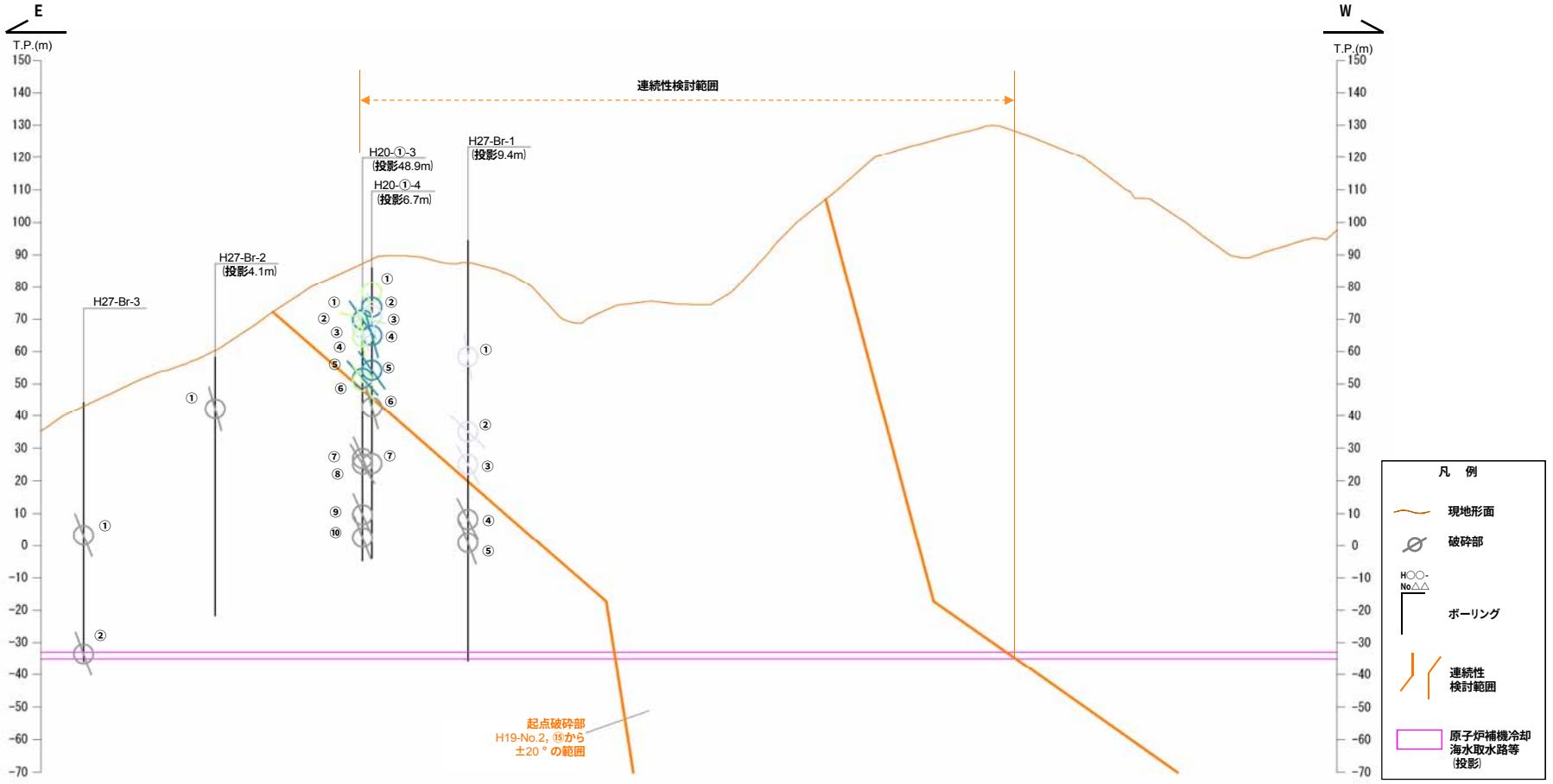
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑮)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑮)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No 2	-	-	⑮	216.15	216 24	N26E		61W		無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	10	81W	20	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	5	45W	16	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	16	64NW	3	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
		範囲外	④	85.90	87.85	N34E	8	65W	4	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	20	73W	12	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	26	74W	13	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	25	73NW	12	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	64	76SW	15	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	57	40N	21	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	15	55W	6	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	14	74W	13	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	15	85W	24	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	14	48W	13	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	52	64W	3	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	9	69W	8	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	12	61W	0	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	23	71N	10	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	14	72W	11	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	24	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	3	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	6	80W	19	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	7	74W	13	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31.63	31.87	N6E	20	55W	6	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
		範囲外	⑥	41.41	43.24	N36E	10	76W	15	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	5	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

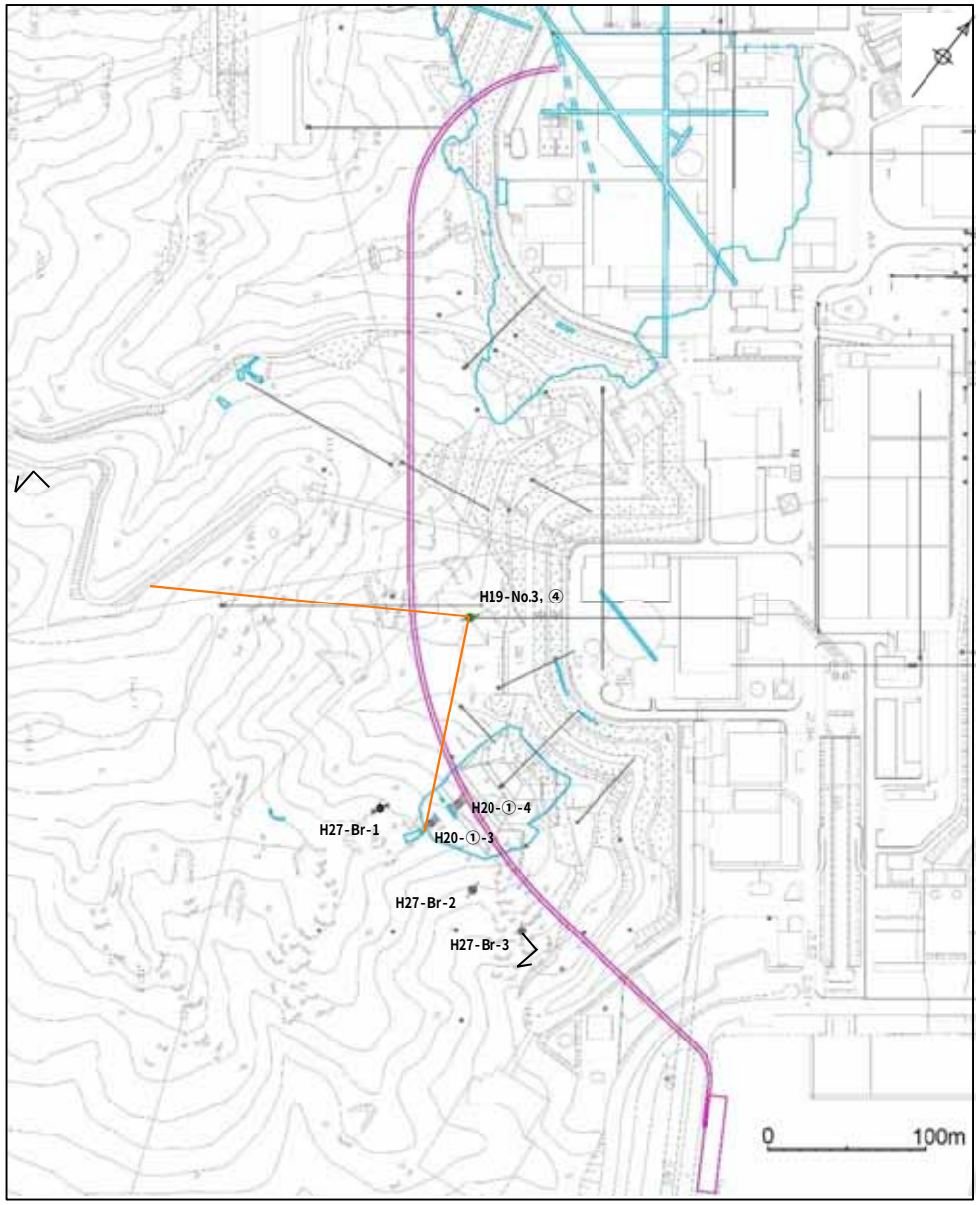
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.3，④)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

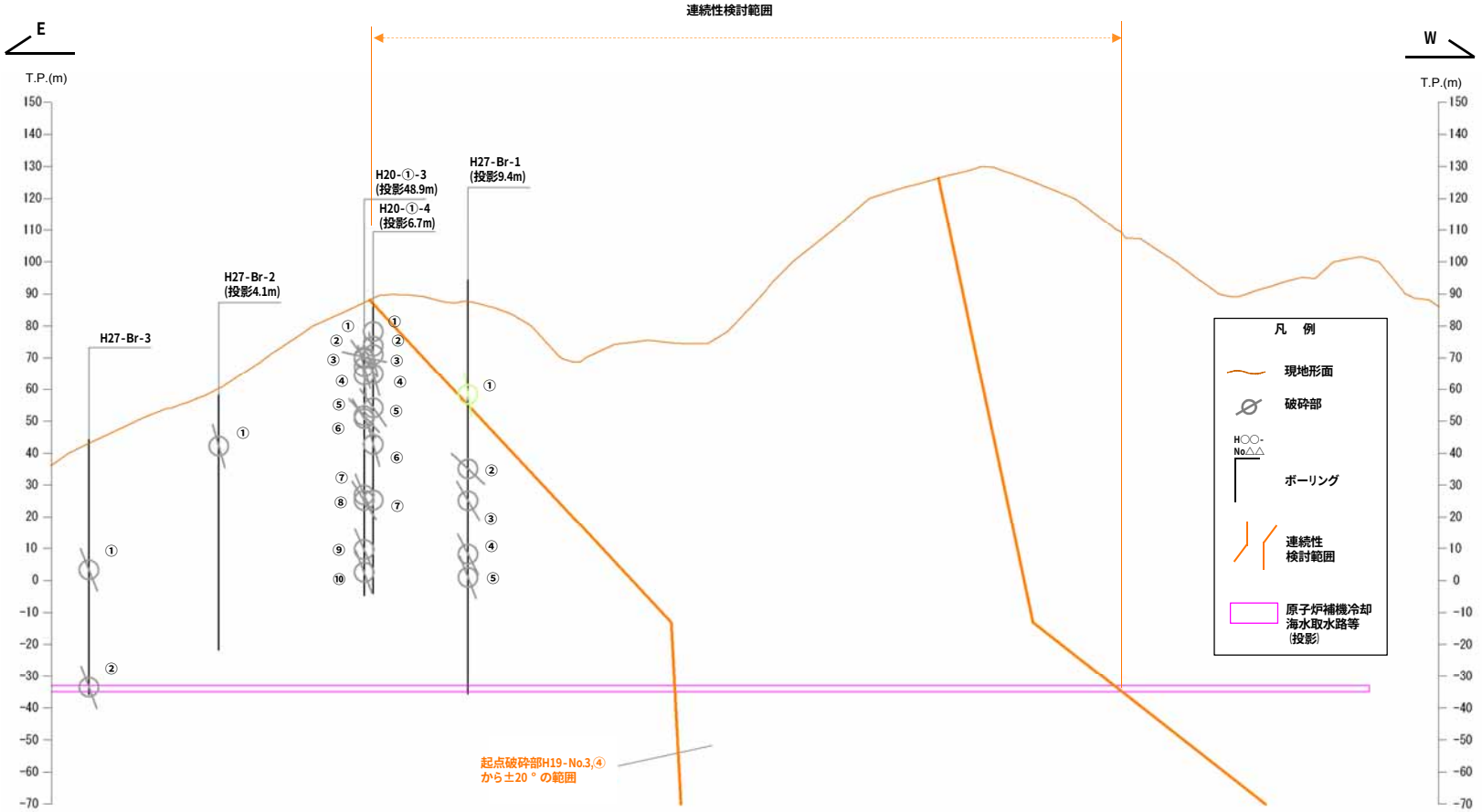
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.3，④)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.3，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No 3	-	-	④	50.35	50.48	N37E		67W		無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	21	81W	14	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
		範囲外	②	59.18	59.27	N31E	6	45W	22	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	5	64NW	3	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	3	65W	2	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	9	73W	6	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	37	74W	7	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	14	73NW	6	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	75	76SW	9	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3		①	4.96	5 00	N83E	46	40N	27	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5 53	5 81	N11E	26	55W	12	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8 73	N12E	25	74W	7	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	26	85W	18	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	25	48W	19	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	63	64W	3	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	2	69W	2	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	1	61W	6	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	12	71N	4	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	3	72W	5	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7 70	-	-	(85)	18	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	3	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12.70	15.25	N32E	5	80W	13	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	18	74W	7	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	31	55W	12	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	1	76W	9	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	1	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

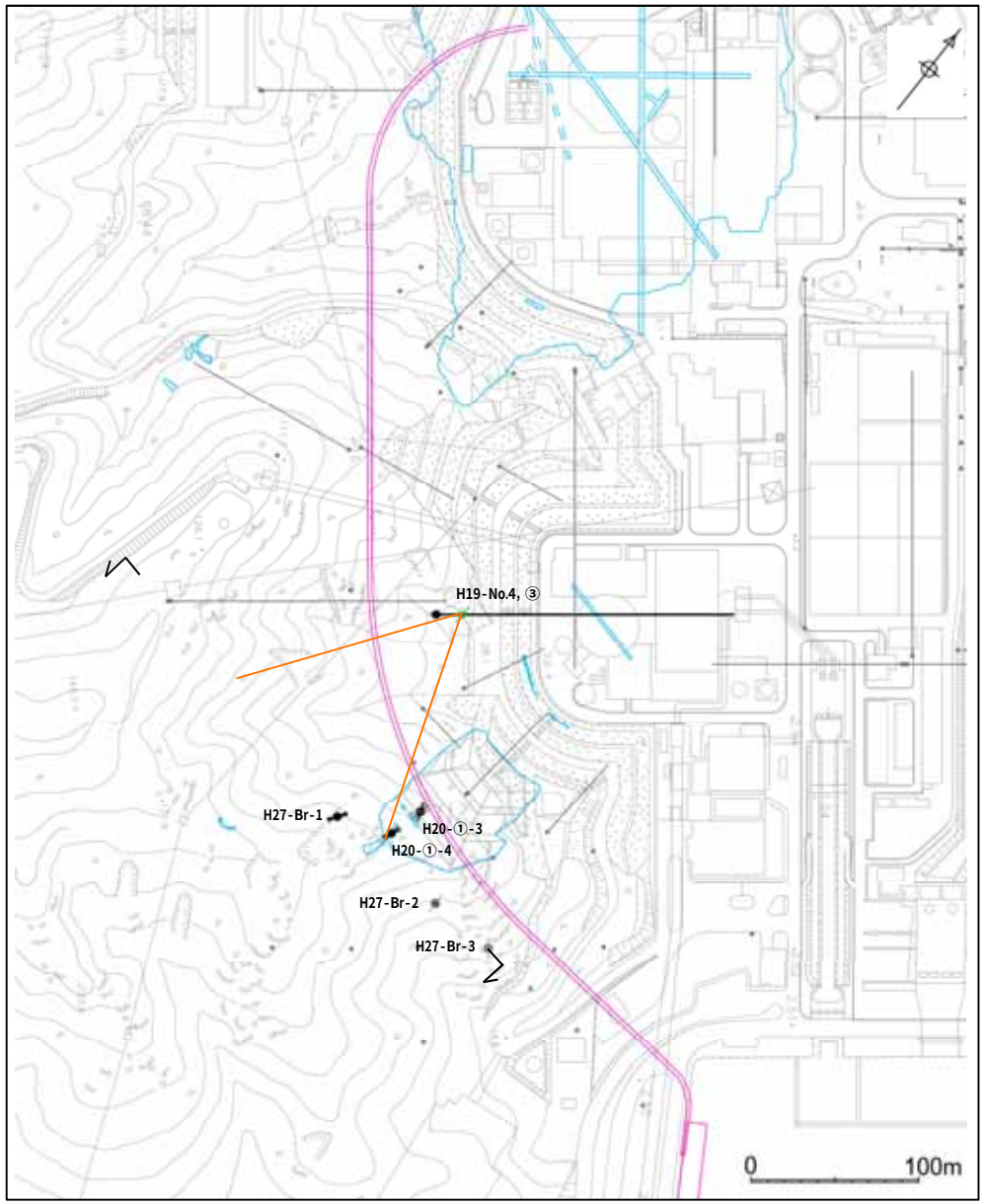
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No4，③)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

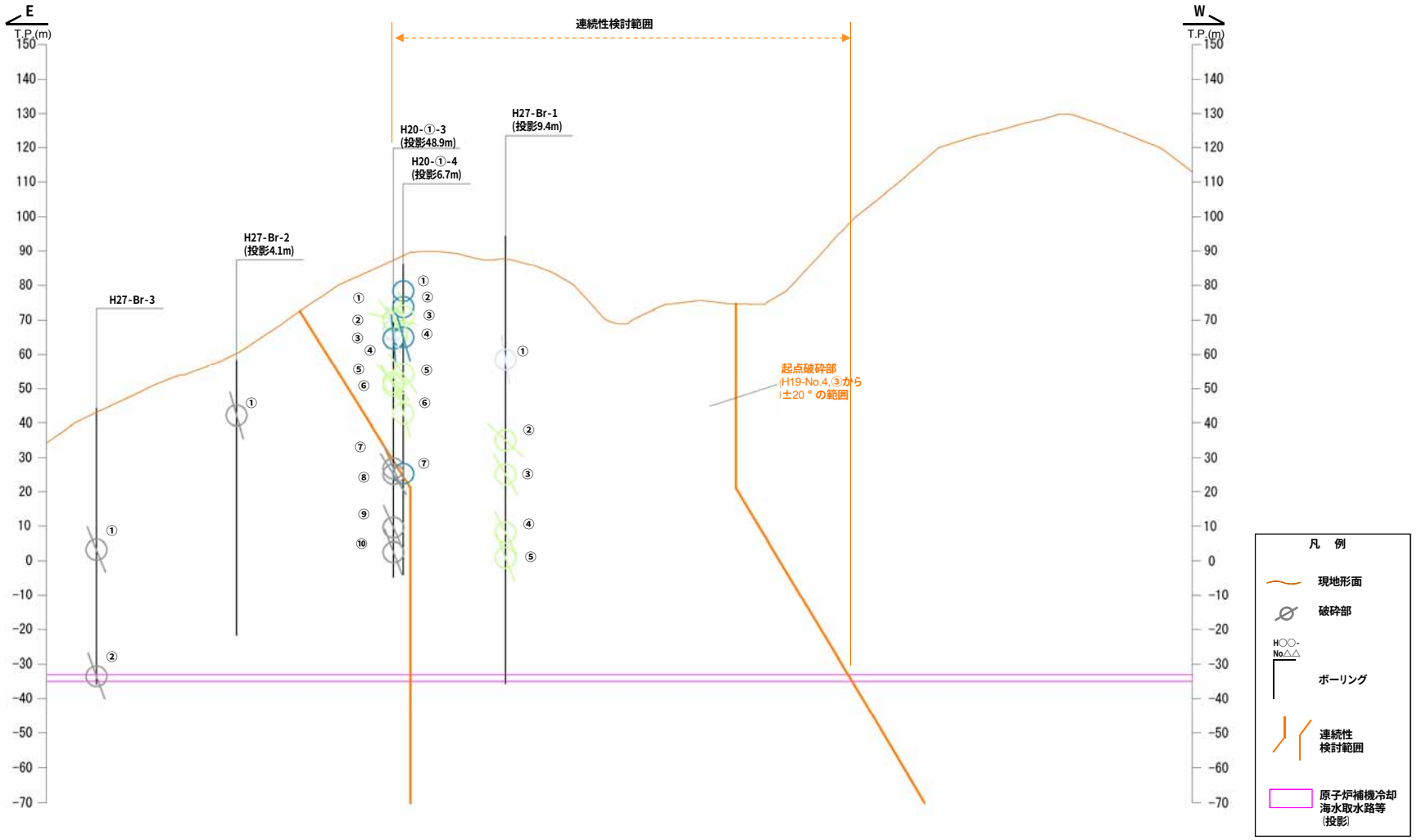
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No4，③)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No4，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	③	22.20	22.26	N3E		79W		無	-	2L	-		f-2-11	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	13	81W	2	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	28	45W	34	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	39	64NW	15	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	31	65W	14	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	43	73W	6	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	3	74W	5	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	48	73NW	6	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	41	76SW	3	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5 00	N83E	80	40N	39	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5 53	5 81	N11E	8	55W	24	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8 73	N12E	9	74W	5	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	8	85W	6	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	9	48W	31	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	29	64W	15	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	32	69W	10	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	35	61W	18	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	46	71N	8	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	37	72W	7	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7 70	-	-	(85)	6	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	15	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	29	80W	1	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	16	74W	5	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	3	55W	24	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	33	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	13	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

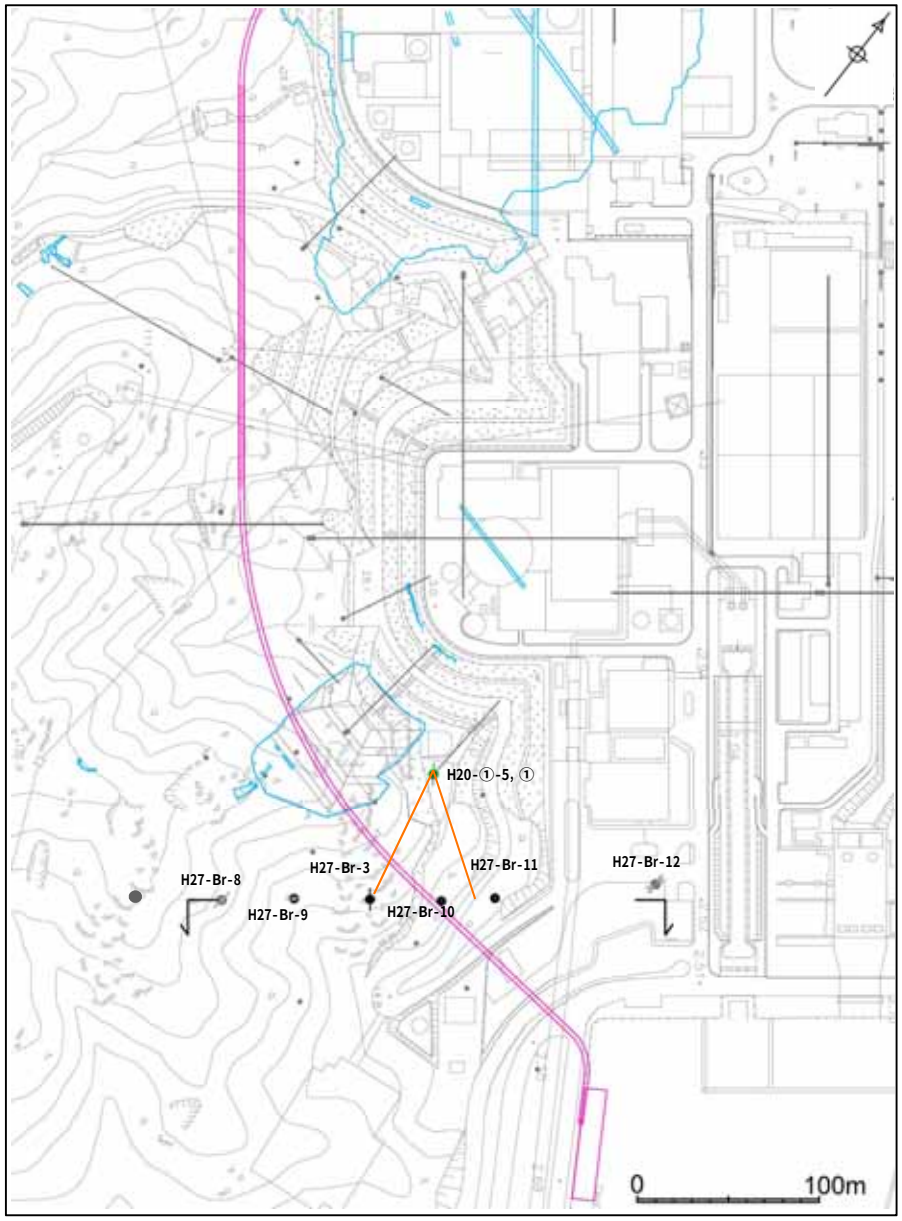
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-5，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

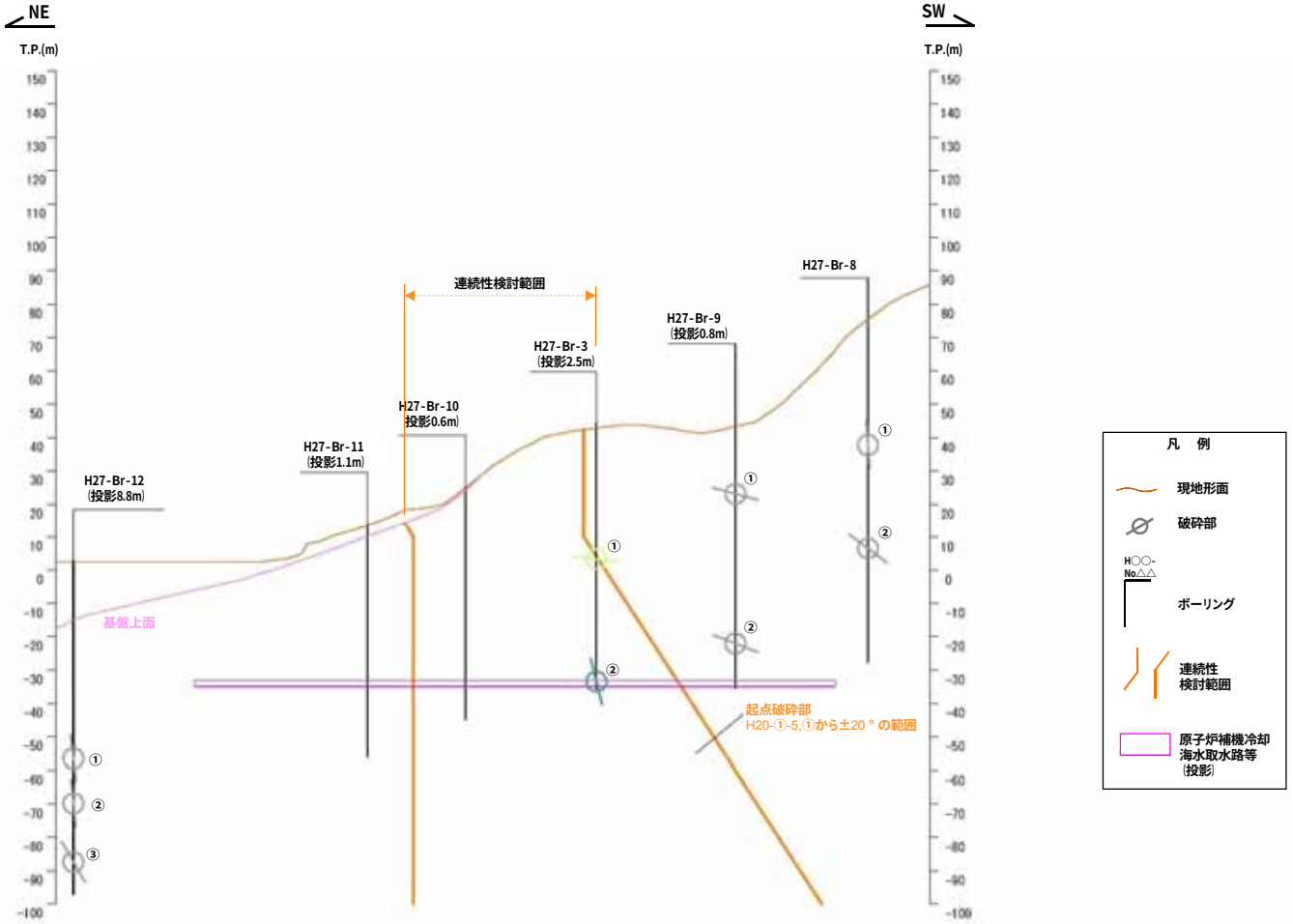
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路，起点破砕部：H20-①-5，①)



注) H27-Br-10孔及びH27-Br-11孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路，起点破砕部：H20-①-5，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H20-①-5	-	-	①	31.28	31.44	N33W		75W		無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
-	H27-Br-3	範囲内	①	40.53	41.10	N51E	84	73NW	2	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	5	76SW	1	有	無	90	-	○	D-43	参考2-118	
	H27-Br-8	範囲外	①	32.97	34 58	N9E	42	77SW	2	有	有	70L	N		D-7	参考2-91	
			②	65.81	67 33	N23E	56	78SW	3	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-9		①	21.26	21 33	N45E	78	79SW	4	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	66.50	66 77	N48E	81	80SW	5	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-12		①	58.40	59 38	N7E	40	81SW	6	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72 72	N6W	27	82SW	7	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90 32	N31E	64	83SW	8	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

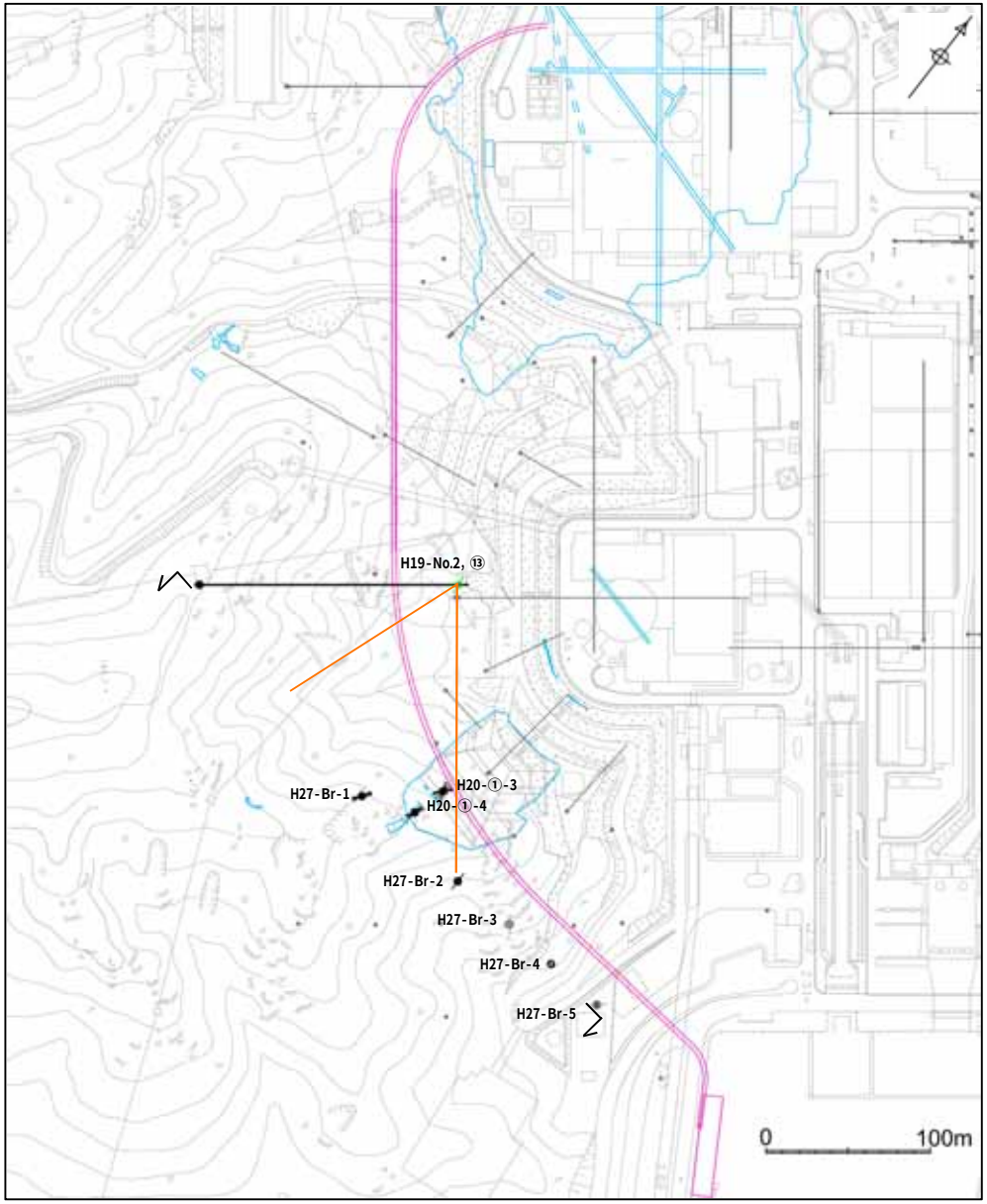
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑬)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

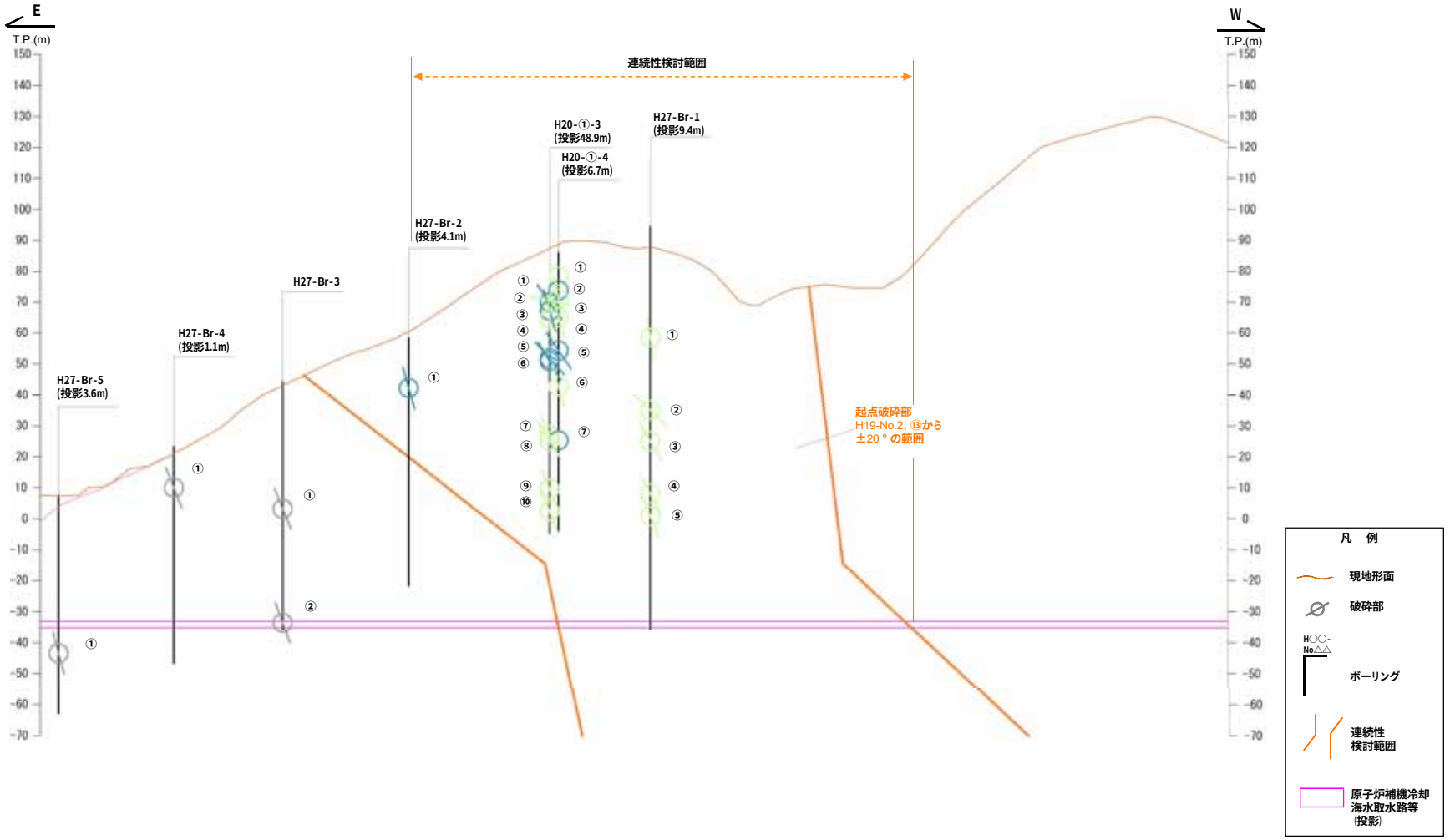
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑬)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑬)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No 2	-	-	⑬	212 00	212 07	N6W		63W		有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	22	81W	18	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	37	45W	18	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	48	64NW	1	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	40	65W	2	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	52	73W	10	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	6	74W	11	有	有	80L	N	×	D-7	参考2-90	
	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	57	73NW	10	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	32	76SW	13	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	14	68W	5	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-5		①	50.48	51.16	N46E	52	78NW	15	有	有	80R	N		f-br-5-1	参考2-177	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	89	40N	23	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	17	55W	8	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	18	74W	11	有	有	55L	N,RL	×	D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	17	85W	22	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	18	48W	15	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	20	64W	1	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	41	69W	6	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	44	61W	2	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	55	71N	8	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	46	72W	9	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	22	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	1	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	38	80W	17	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	25	74W	11	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	12	55W	8	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	42	76W	13	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	3	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

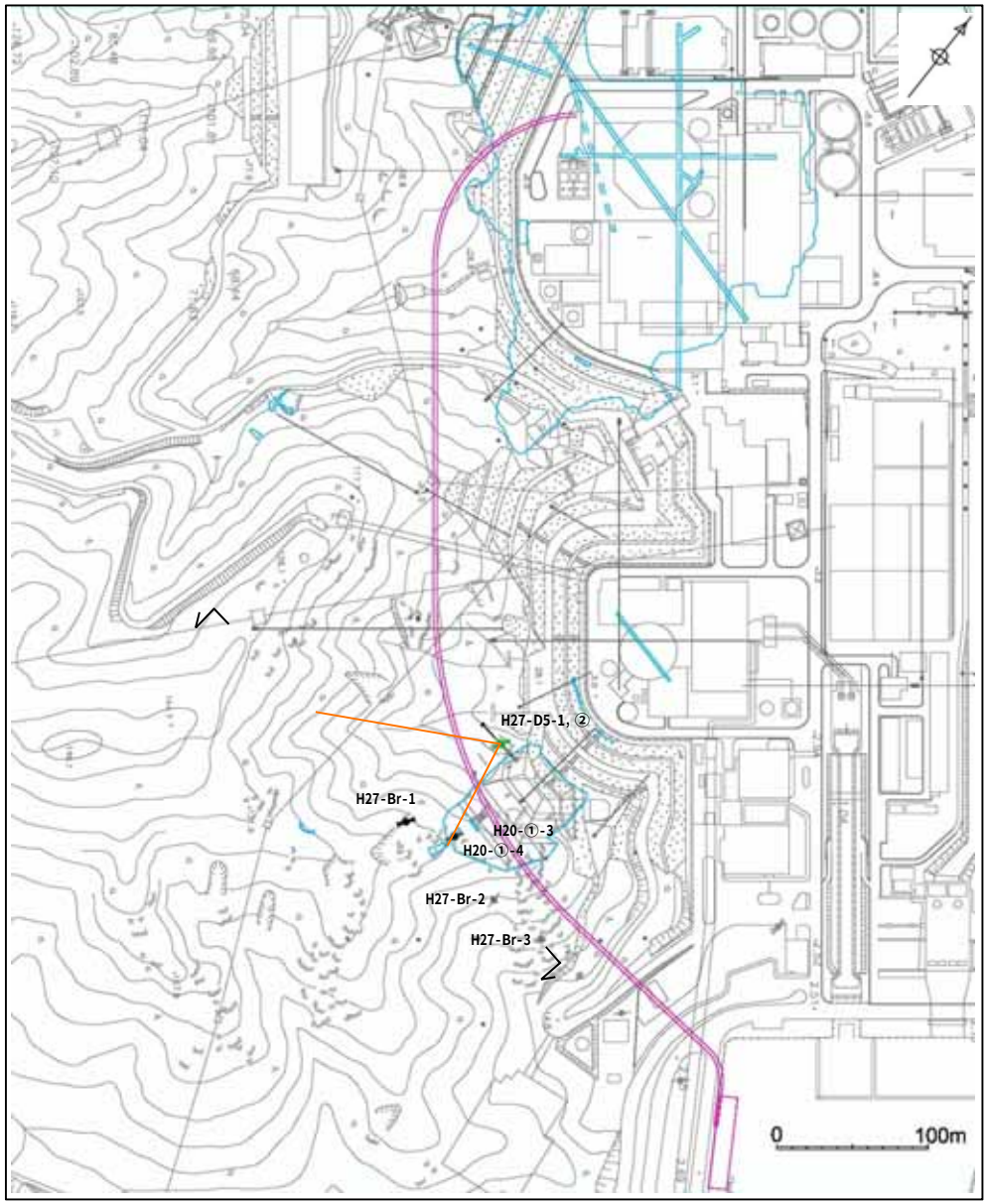
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-D5-1，②)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

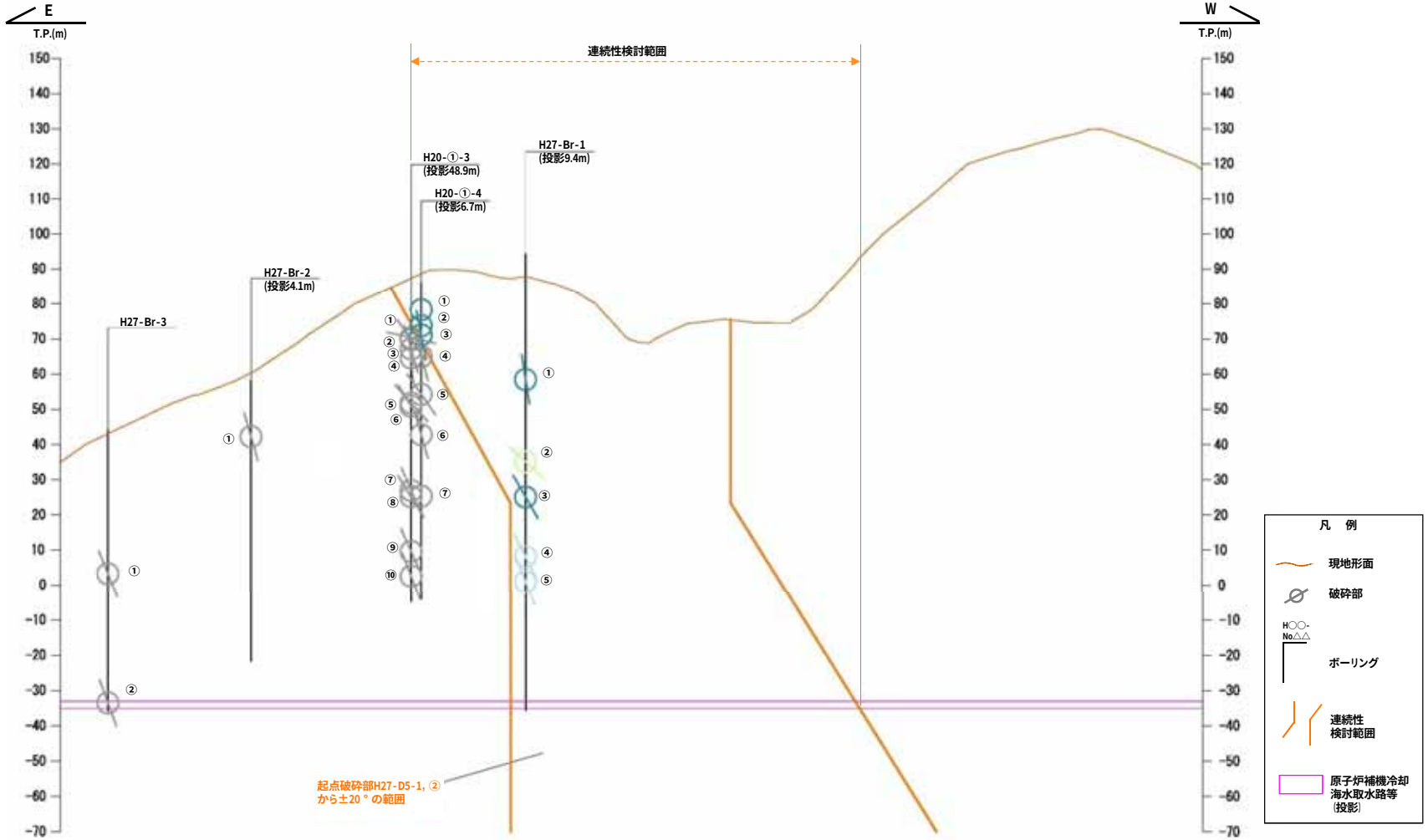
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-D5-1，②)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-D5-1，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-D5-1	-	-	②	25.17	25.44	N31E		81W		有	無	80L	N		D-45	参考2-119	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	5	81W	0	有	有	76R	N	×	D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	0	45W	36	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	11	64NW	17	有	有	45L	N,RL	×	f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	3	65W	16	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	15	73W	8	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	31	74W	7	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	20	73NW	8	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	69	76SW	5	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3		①	4.96	5 00	N83E	52	40N	41	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5 81	N11E	20	55W	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8 73	N12E	19	74W	7	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	42	85W	4	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	19	48W	33	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	57	64W	17	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	4	69W	12	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	7	61W	20	有	無	2	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	18	71N	10	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	9	72W	9	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7 70	-	-	(85)	4	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	17	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※3
			③	12.70	15.25	N32E	1	80W	1	有	有	70L	N	×	D-6	参考2-59	
		範囲外	④	21.10	21.15	N19E	12	74W	7	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	25	55W	26	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	5	76W	5	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	15	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

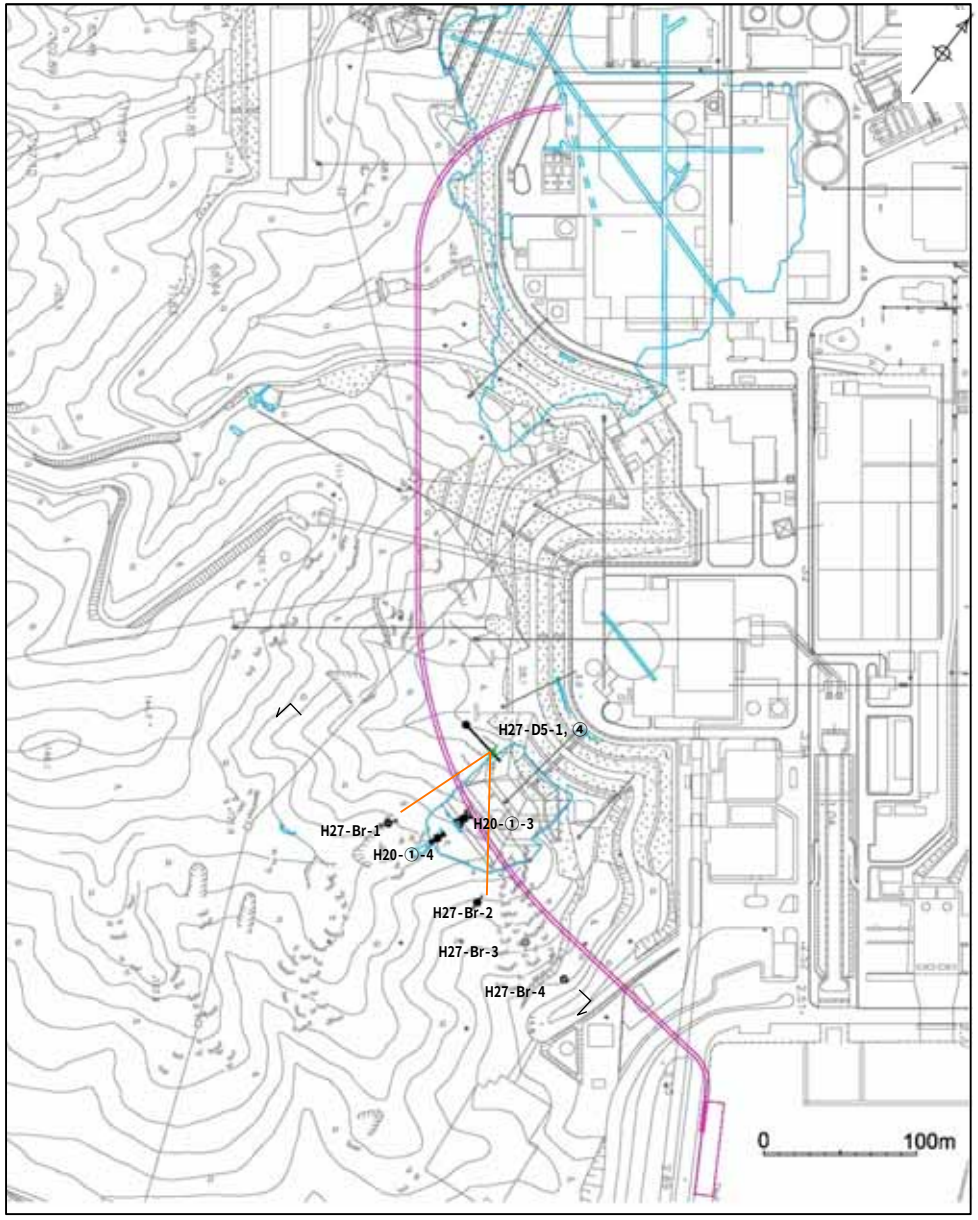
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-D5-1，④)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

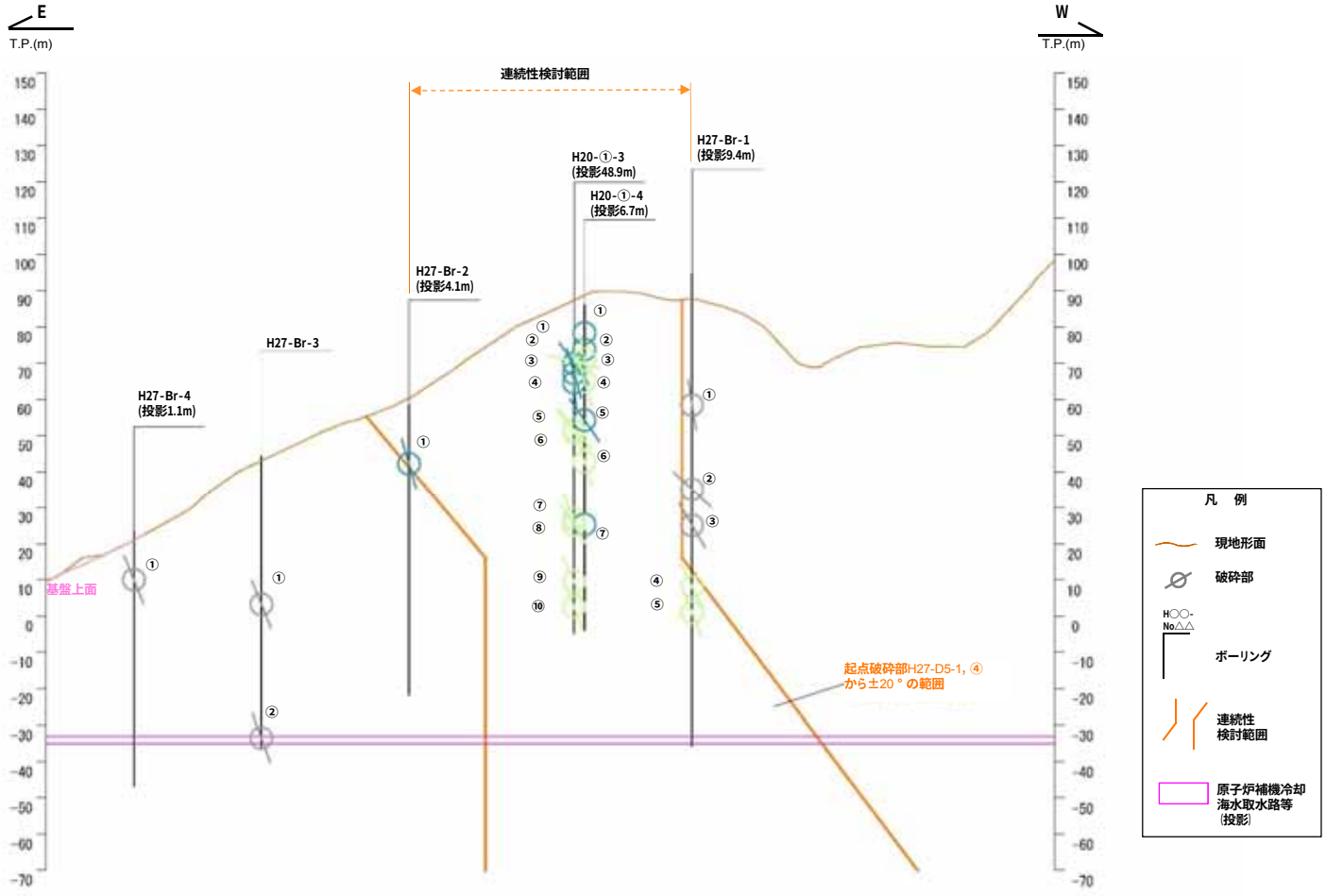
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-D5-1，④)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-D5-1，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-D5-1	-	-	④	35.41	35.55	N2W		73W		有	無	80L	N		f-d5-1-4	参考2-178	
-	H27-Br-1	範囲外	①	33 27	35.90	N16E	18	81W	8	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	33	45W	28	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67 63	70.76	N42E	44	64NW	9	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
		範囲内	④	85.90	87.85	N34E	36	65W	8	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93 36	93.45	N46E	48	73W	0	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	2	74W	1	有	有	80L	N	×	D-7	参考2-90	
	H27-Br-3	範囲外	①	40 53	41.10	N51E	53	73NW	0	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77 72	77.90	N38W	36	76SW	3	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	10	68W	5	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	85	40N	33	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5 53	5.81	N11E	13	55W	18	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※4
			③	6.42	8.73	N12E	14	74W	1	有	有	55L	N,RL	×	D-6	参考2-58	
			④	11 06	11.17	N11W	9	85W	12	有	無	50L	-	×	f-①-3-4	参考2-139	※1
			⑤	23 28	23.62	N12E	14	48W	25	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	24	64W	9	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48 20	48.24	N35E	37	69W	4	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50 06	50.15	N38E	40	61W	12	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	51	71N	2	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72 50	72.66	N40E	42	72W	1	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	12	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12 25	12.26	-	-	(64)	9	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※4
			③	12 70	15.25	N32E	34	80W	7	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	21	74W	1	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31 63	31.87	N6E	8	55W	18	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1
			⑥	41.41	43.24	N36E	38	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	7	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

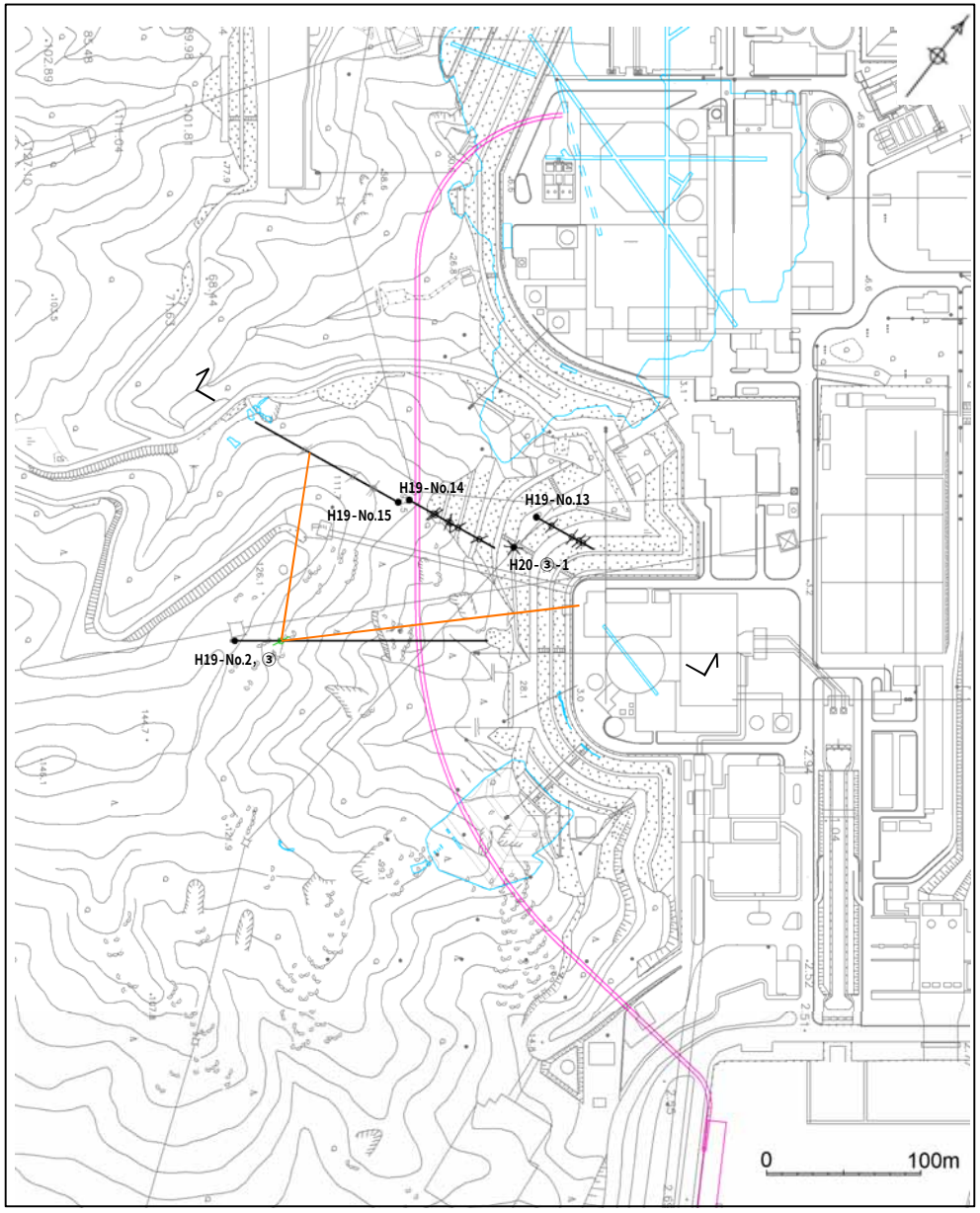
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，③)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

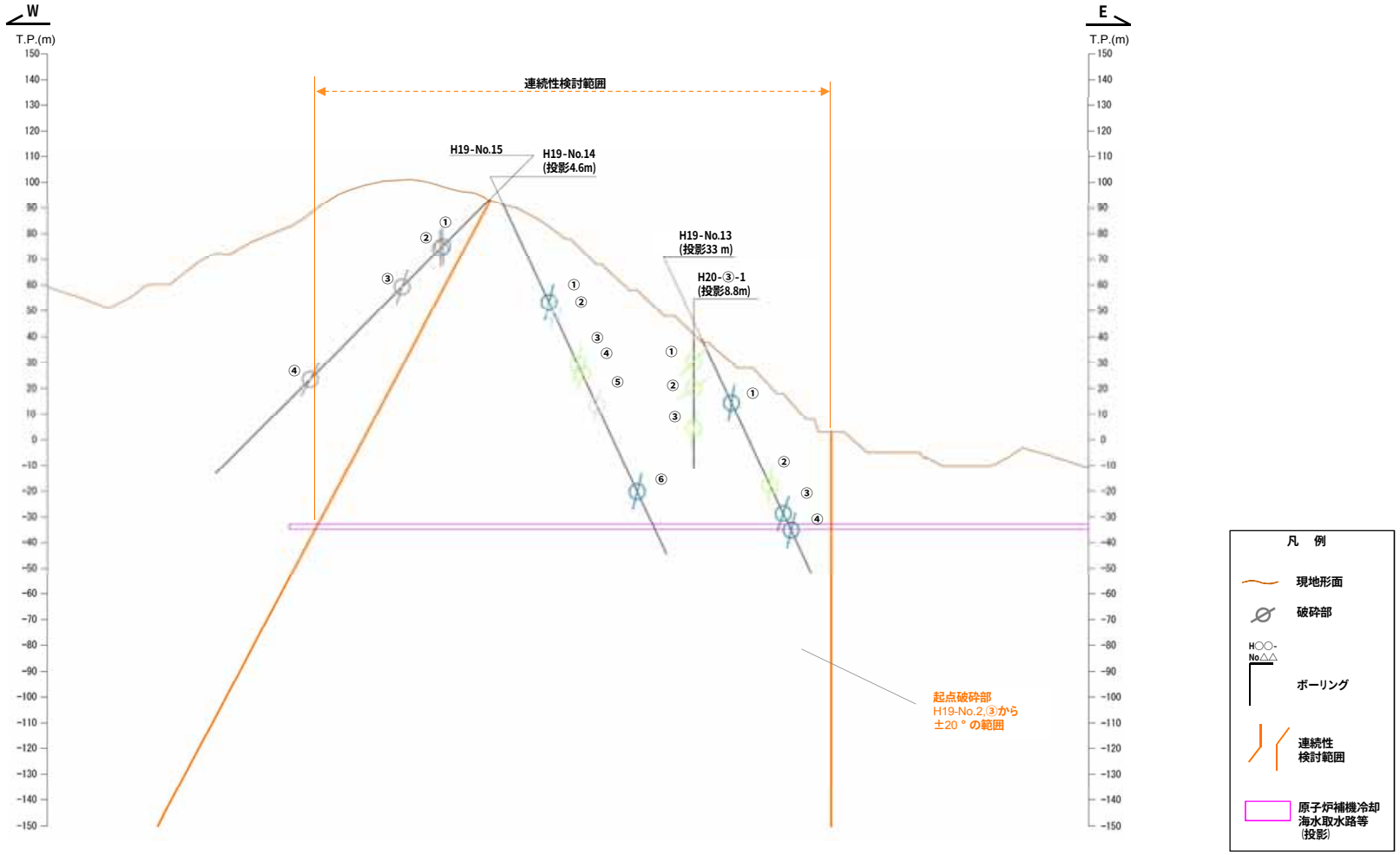
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，③)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.2	-	-	③	39 83	39 88	N25E		82W		無	-	59R	-		f-15-1	参考2-131	
-	H19-No.13	範囲内	①	26 88	27 00	N5E	20	81W	1	有	無	72R	-	×	D-2	参考2-86	
			②	62.10	62 37	NS	25	84W	2	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74 52	74 59	N10E	15	73W	9	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82 37	N15E	10	78W	4	有	無	17R	-	×	f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40 56	40 57	N11E	14	77W	5	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45 63	45 70	N18E	7	83W	1	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	36	78W	4	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72 70	N32W	57	77W	5	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87 03	N20E	5	81W	1	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123 34	N32E	7	79W	3	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24 58	24 67	N7W	32	88E	10	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25 83	25.93	N6E	19	89E	9	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	5	74W	8	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97 82	97 85	N17E	8	64W	18	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	76	73S	9	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18 53	N59E	34	61N	37	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34 50	N1E	24	80W	2	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

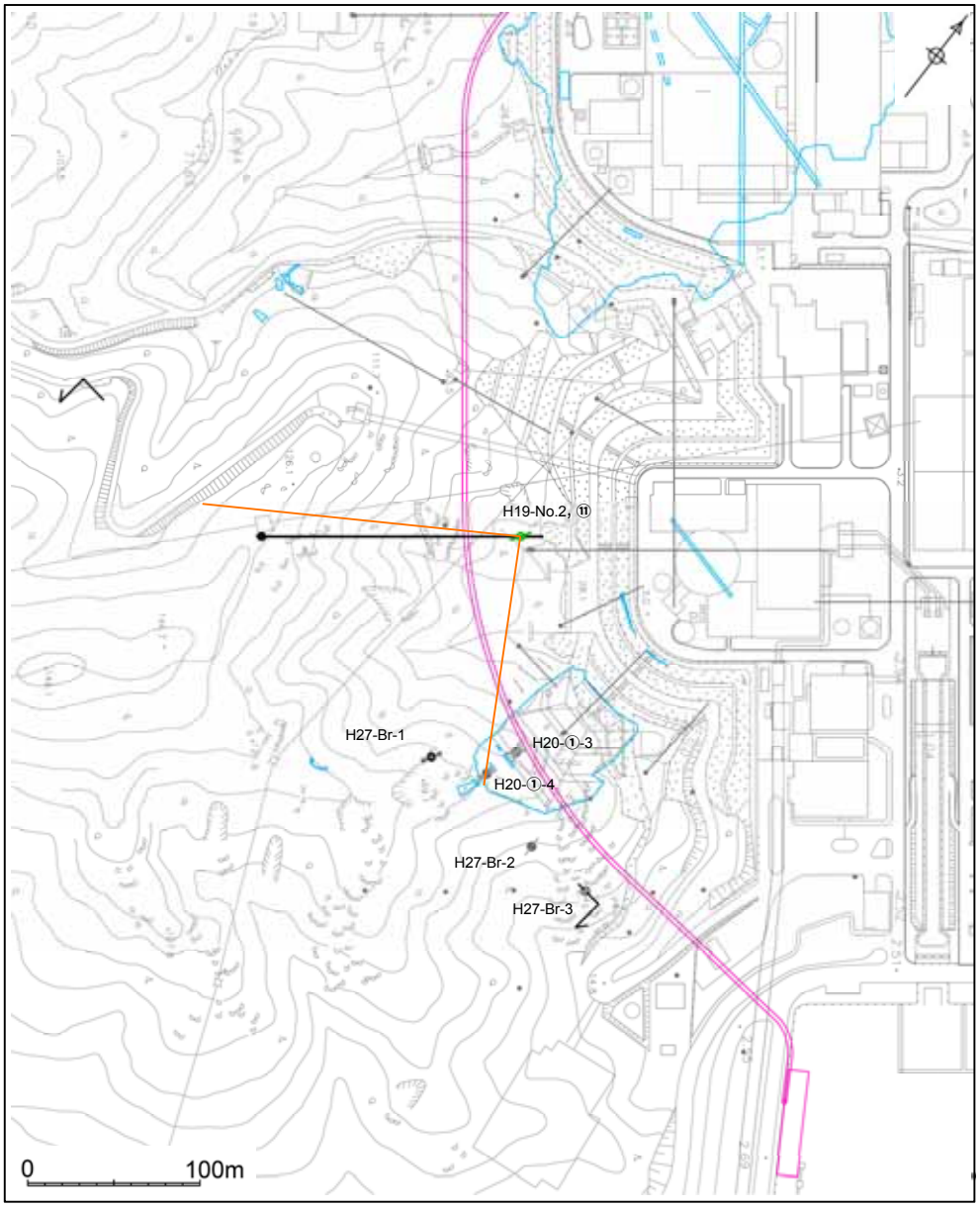
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑪)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

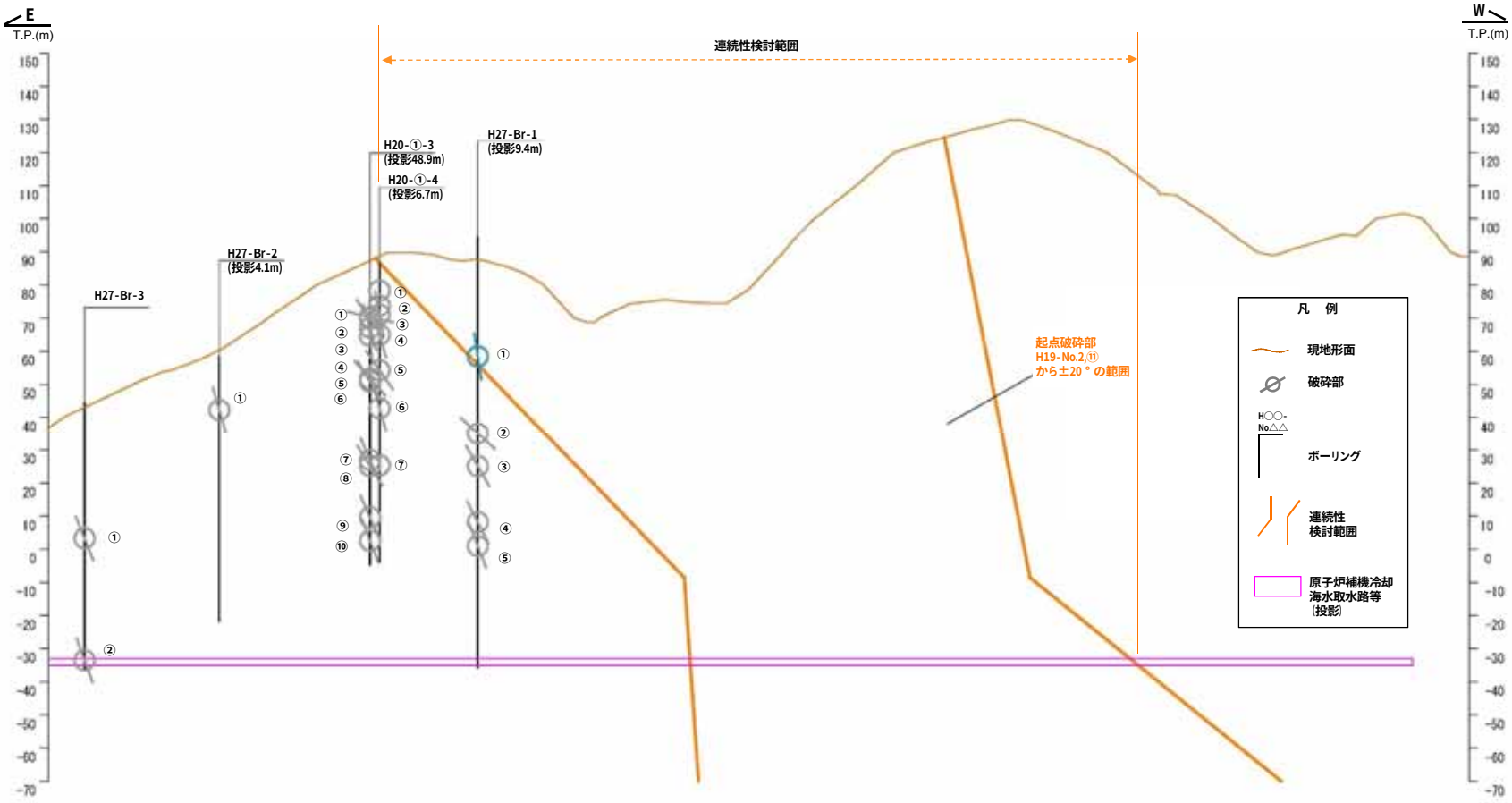
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑪)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑪)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	⑪	202.81	202 85	N32E		64W		有	無	23L	-		f-2-8	参考2-125	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33 27	35.90	N16E	16	81W	17	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
		範囲外	②	59.18	59.27	N31E	1	45W	19	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67 63	70.76	N42E	10	64NW	0	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	2	65W	1	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93 36	93.45	N46E	14	73W	9	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	32	74W	10	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40 53	41.10	N51E	19	73NW	9	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77 72	77.90	N38W	70	76SW	12	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲外	①	4.96	5 00	N83E	51	40N	24	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5 81	N11E	21	55W	9	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8 73	N12E	20	74W	10	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11 06	11.17	N11W	43	85W	21	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23 28	23.62	N12E	20	48W	16	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	58	64W	0	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48 20	48.24	N35E	3	69W	5	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50 06	50.15	N38E	6	61W	3	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	17	71N	7	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72 50	72.66	N40E	8	72W	8	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7 70	-	-	(85)	21	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12 25	12.26	-	-	(64)	0	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12 70	15.25	N32E	0	80W	16	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	13	74W	10	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31 63	31.87	N6E	26	55W	9	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	4	76W	12	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	2	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

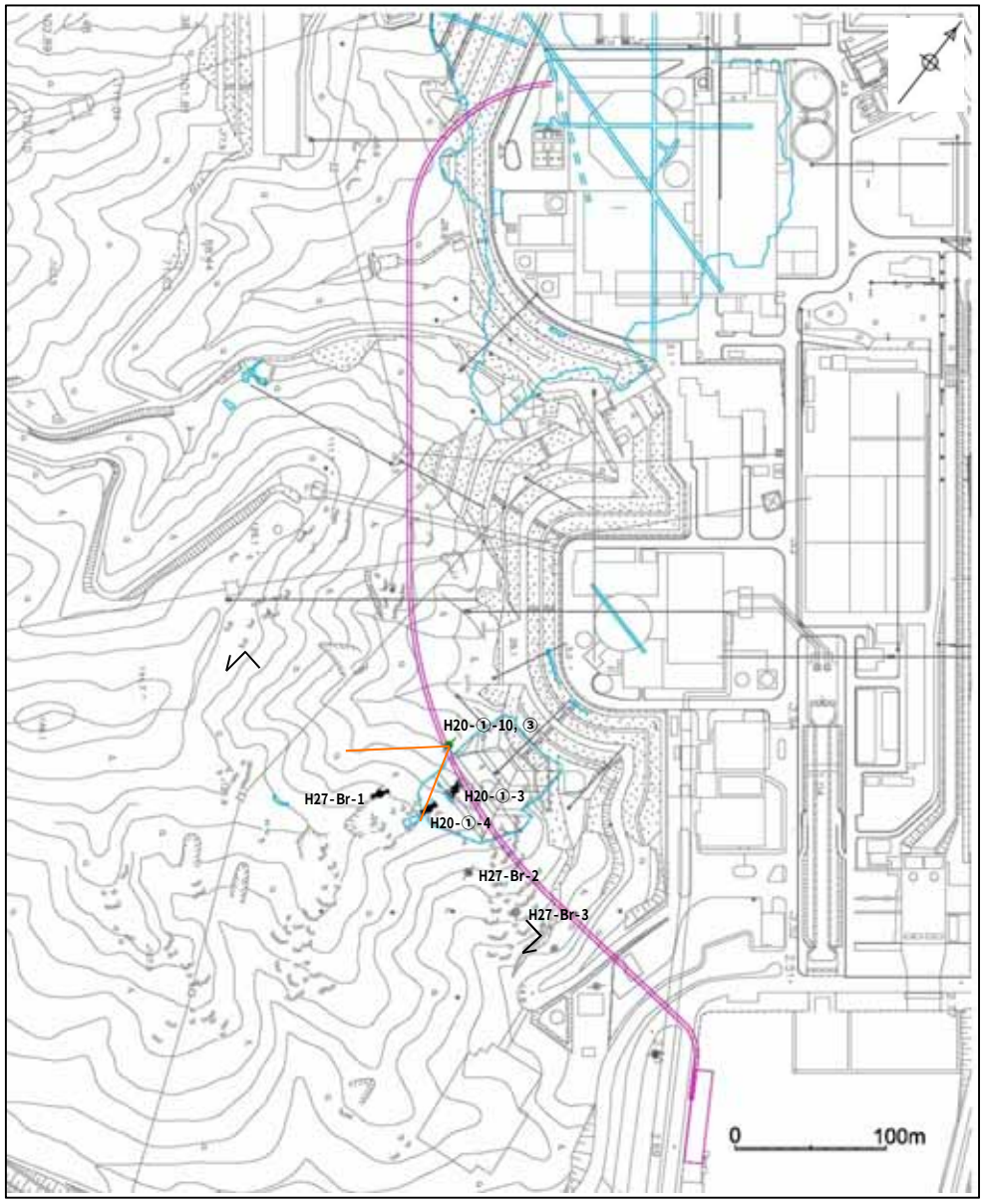
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-10，③)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

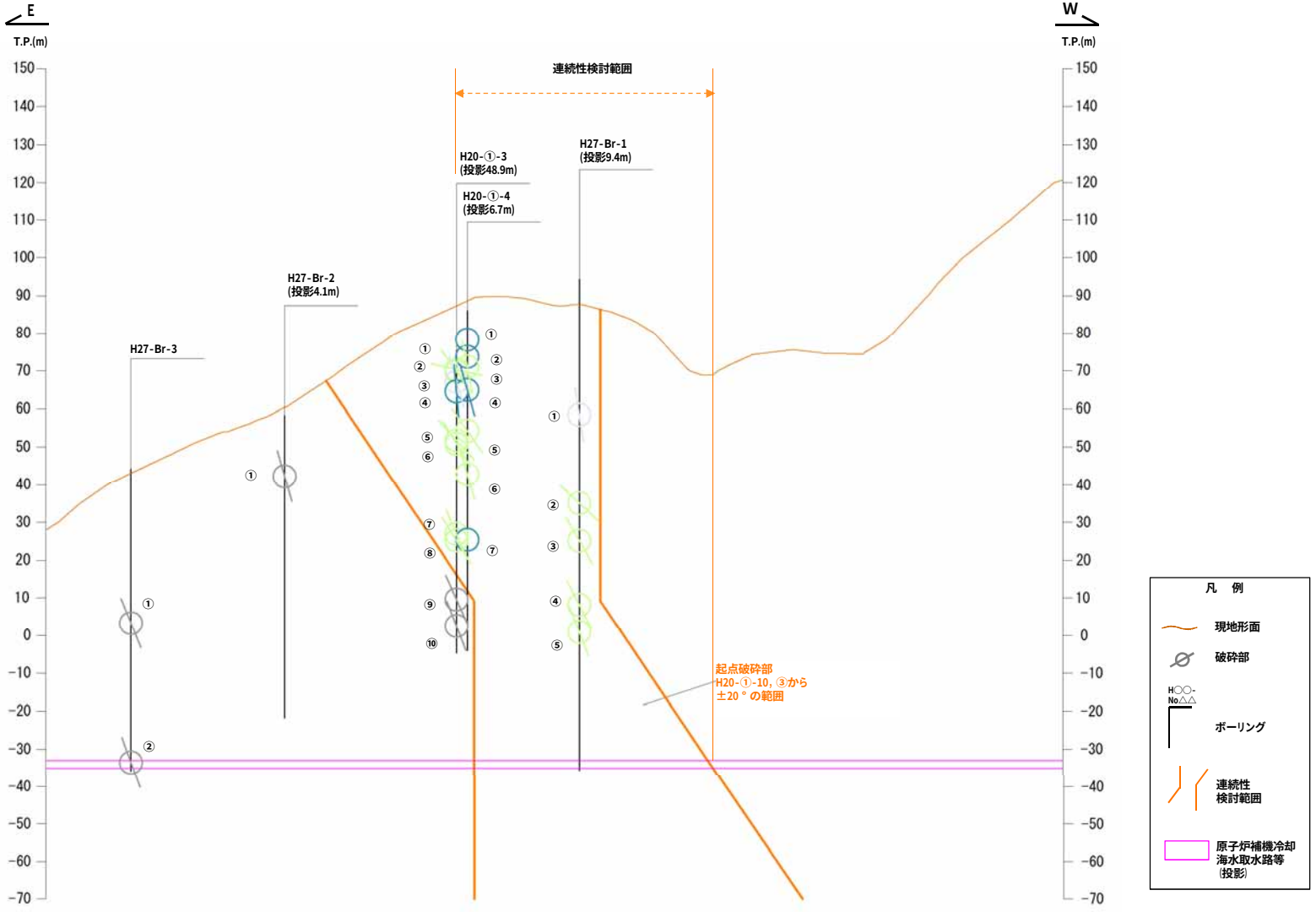
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-10，③)



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-10，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-10	-	-	③	48.10	48.24	N6E		77W		無	-	80R	-		D-45	参考2-119	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33 27	35.90	N16E	10	81W	4	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	25	45W	32	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67 63	70.76	N42E	36	64NW	13	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	28	65W	12	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93 36	93.45	N46E	40	73W	4	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	6	74W	3	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40 53	41.10	N51E	45	73NW	4	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77 72	77.90	N38W	44	76SW	1	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	77	40N	37	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	5	55W	22	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	6	74W	3	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11 06	11.17	N11W	5	85W	8	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23 28	23.62	N12E	6	48W	29	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	32	64W	13	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48 20	48.24	N35E	29	69W	8	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50 06	50.15	N38E	32	61W	16	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
		範囲外	⑨	65.14	65.89	N49E	43	71N	6	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72 50	72.66	N40E	34	72W	5	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	8	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12 25	12.26	-	-	(64)	13	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※3
			③	12 70	15.25	N32E	26	80W	3	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	13	74W	3	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31 63	31.87	N6E	0	55W	22	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	30	76W	1	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	11	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

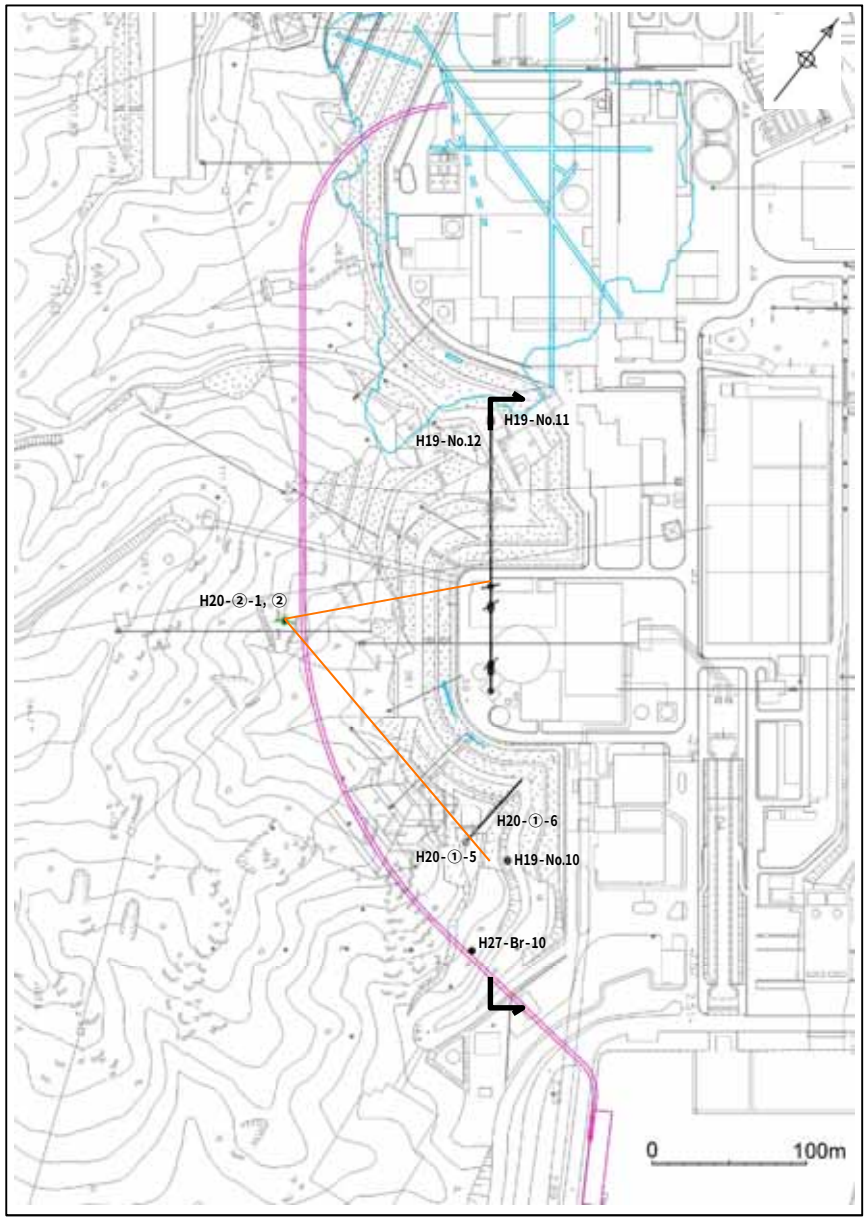
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-②-1，②)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

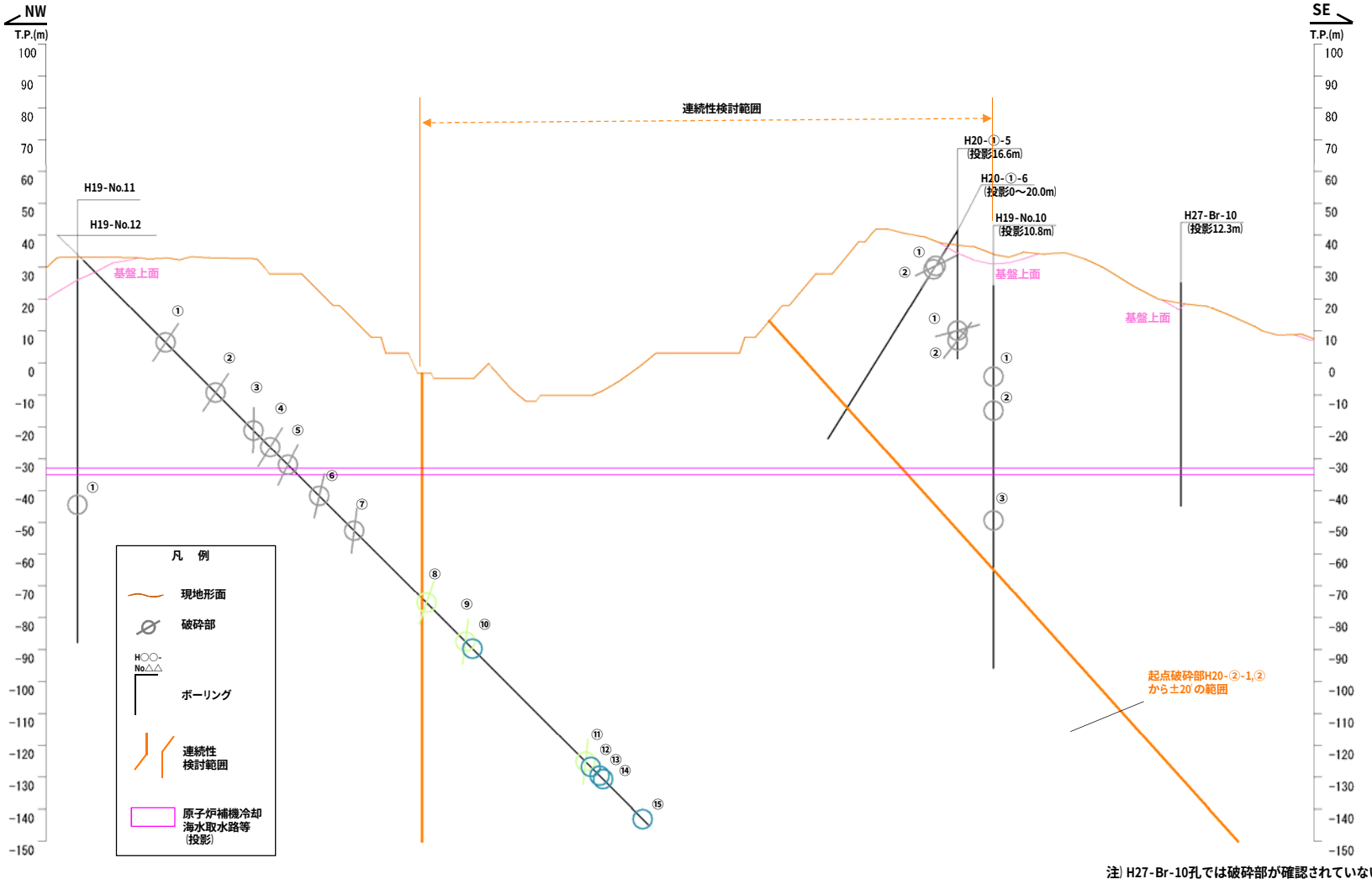
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-②-1，②)



注) H27-Br-10孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-②-1，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度(m)	下端深度(m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H20-②-1	-	-	②	46 85	46.97	N63E		71S		有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
-	H19-No.11	範囲外	①	76 60	77 00	-	-	(74)	3	有	無	-	-		D-2	参考2-86	
	H19-No.12		①	36 35	36 58	-	-	-	-	有	無	57L	-		D-2	参考2-86	
			②	58.41	58.43	N4W	67	70W	39	有	有	75L	-		D-3	参考2-87	
			③	75 04	75 08	N12E	51	89W	20	無	-	25L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	82.48	82 50	N25E	38	61W	48	無	-	56L	-		f-12-3	参考2-129	
			⑤	90.45	90 66	N8E	55	71W	38	無	-	30R	-		f-12-4	参考2-129	
			⑥	104.12	104.22	N4W	67	83W	26	有	無	50L	N,RL		D-4	参考2-89	
			⑦	119.64	119.72	N37E	26	83W	26	有	無	42L	-		f-12-6	参考2-129	
		範囲内	⑧	152.06	152.09	N40E	23	71W	38	有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129	
			⑨	169.38	169.46	N21E	42	84W	25	有	無	85R	-		f-12-8	参考2-130	
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-5	参考2-70	
			⑪	222.85	222.88	N14E	49	85W	24	有	無	24L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-6	参考2-57	
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-19	参考2-99	※1
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1
			⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-7	参考2-90	
	H20-①-5	範囲外	①	31 28	31.44	N33W	84	75W	34	無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
			②	34 37	34 70	N89W	28	58S	51	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	64	60S	49	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14 78	15.13	N81W	36	65S	43	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H19-No.10		①	28.46	28 53	-	-	(63)	8	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	39 09	39.14	-	-	(73)	2	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	73 62	73 63	-	-	(68)	3	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

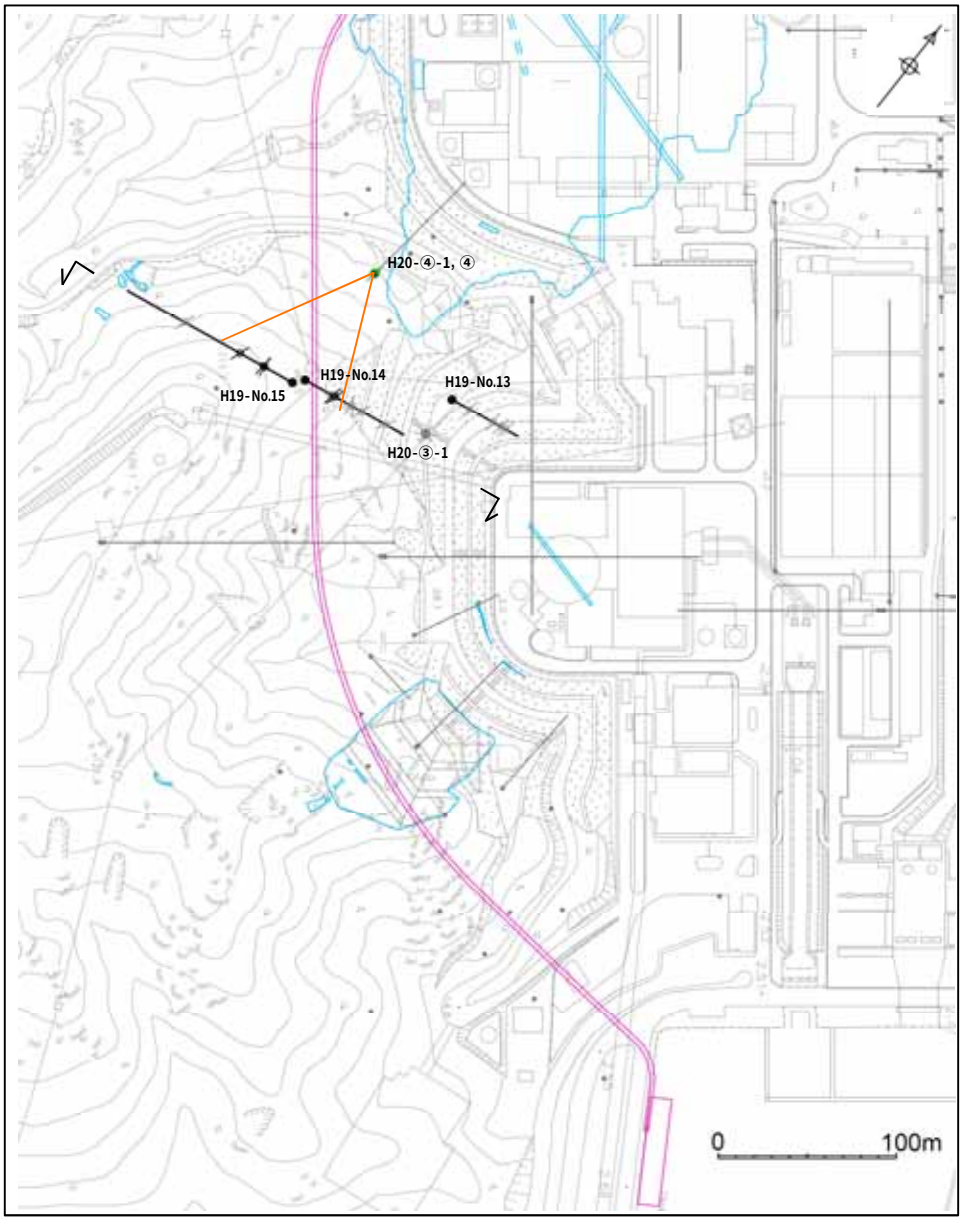
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，④)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

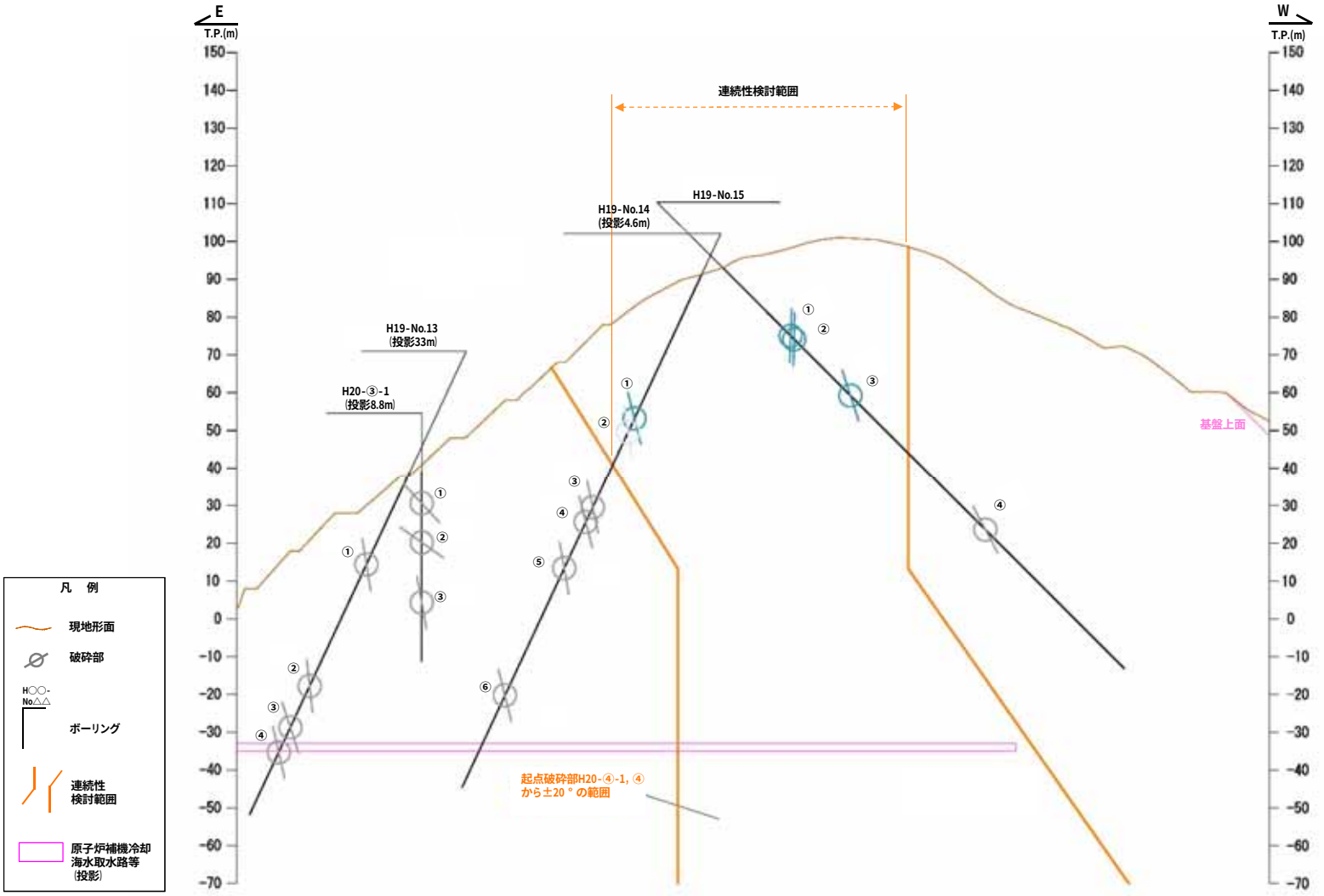
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，④)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
				(m)	(m)												
H20-④-1	-	-	④	39.78	39.98	N11E		78W		無	-	75L	-		f-④-1-3	参考2-141	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	6	81W	3	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	11	84W	6	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	1	73W	5	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	4	78W	0	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	0	77W	1	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	7	83W	5	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
		範囲外	③	66.90	68.11	N11W	22	78W	0	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	43	77W	1	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	9	81W	3	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123 32	123.34	N32E	21	79W	1	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	18	88E	14	有	無	70L	-	×	f-15-1	参考2-131	※1
			②	25.83	25.93	N6E	5	89E	13	有	無	71L	-	×	f-15-2	参考2-131	※1
			③	46.92	46.93	N20E	9	74W	4	有	無	73L	-	×	f-④-3-1	参考2-143	※1
		範囲外	④	97.82	97.85	N17E	6	64W	14	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8 22	N79W	90	73S	5	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	48	61N	41	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	10	80W	2	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

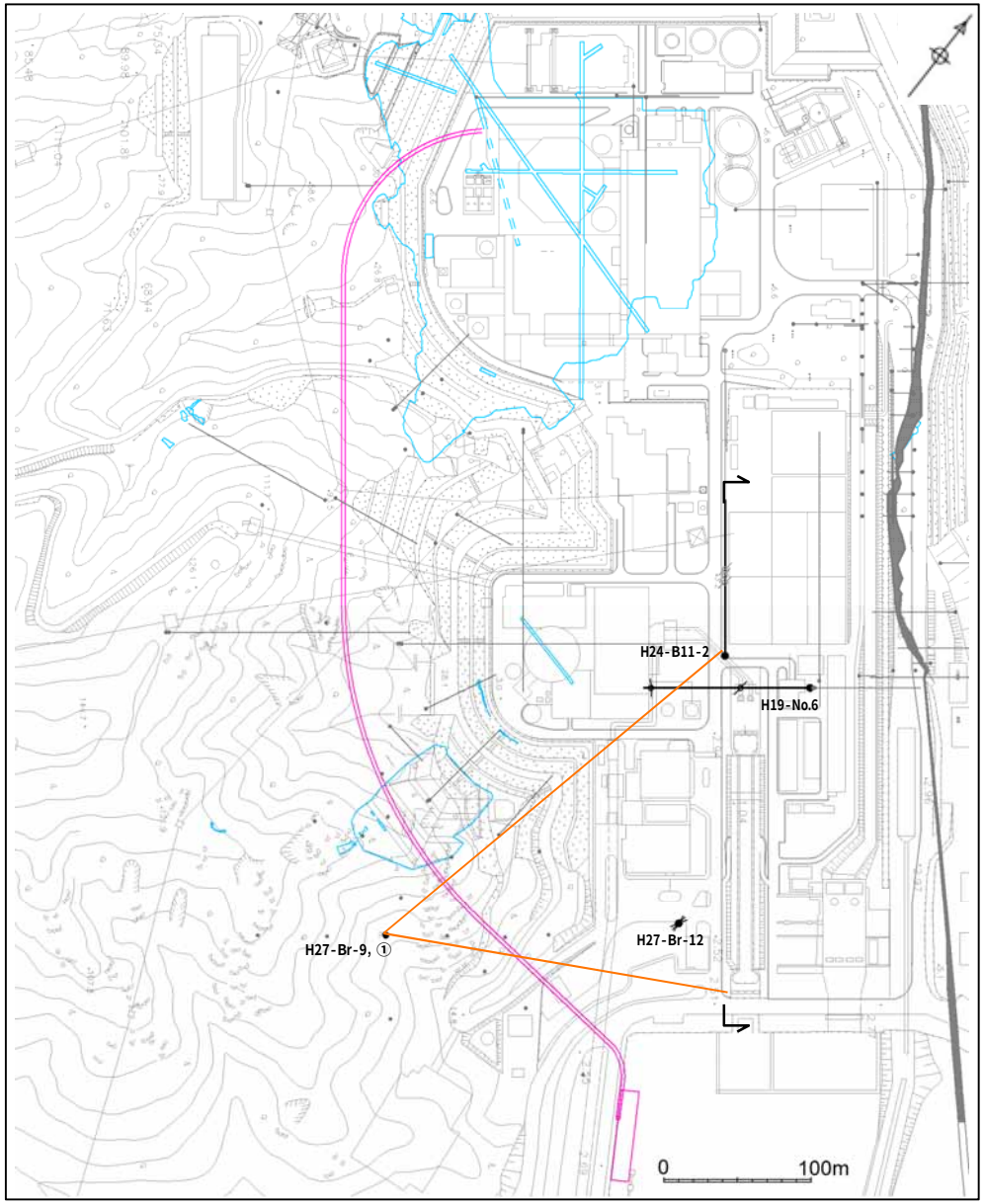
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-9，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

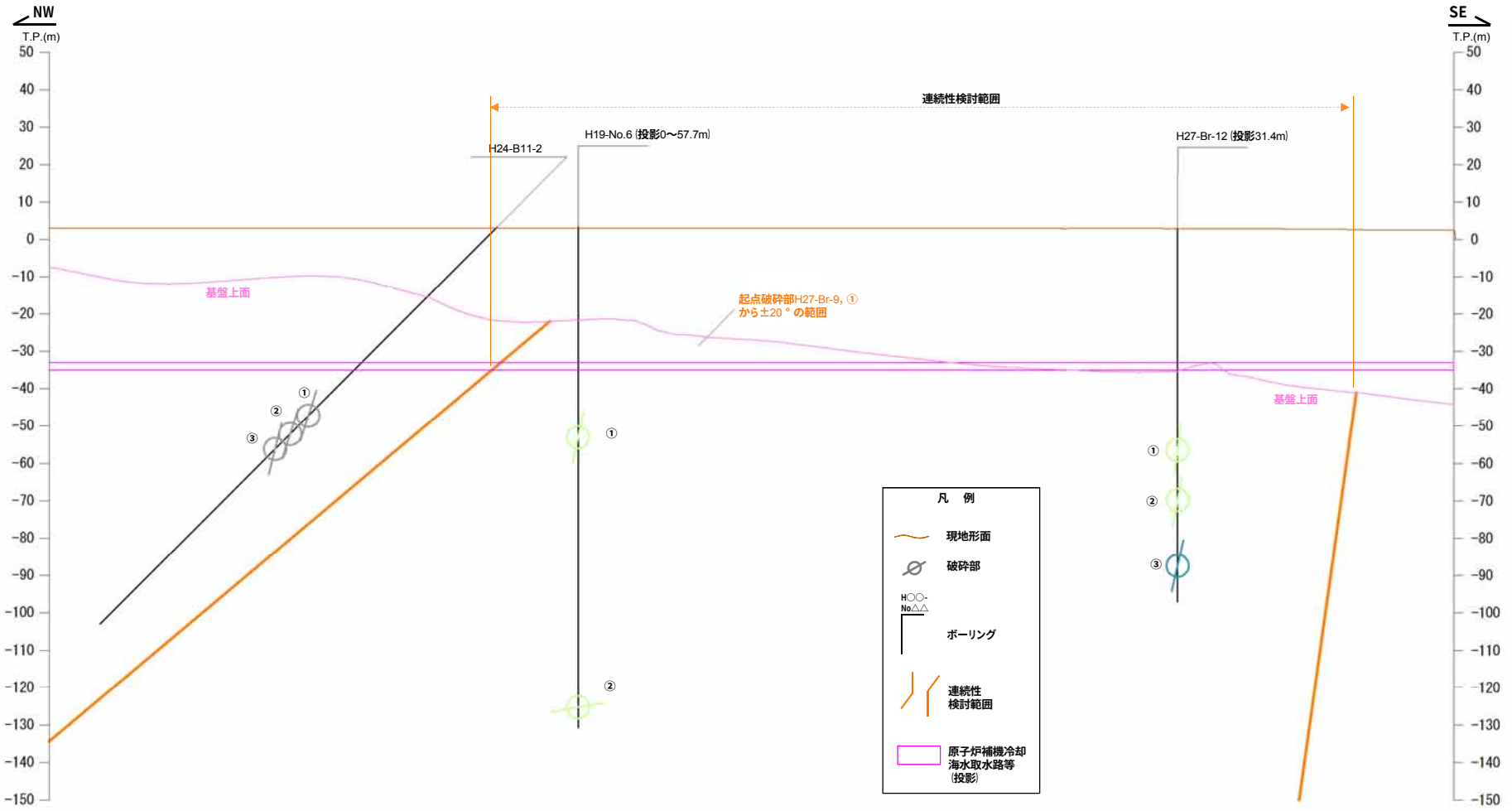
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-9，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-9，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-Br-9	-	-	①	21 26	21 33	N45E		63NW		有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H24-B11-2	範囲外	①	71 21	71 24	N12E	33	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	45	79W	16	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80 50	83.93	N9E	36	80W	17	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	39	82W	19	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167 53	168.54	N41W	86	69W	6	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H27-Br-12		①	58.40	59 38	N7E	38	85W	22	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72 72	N6W	51	85W	22	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89 68	90 32	N31E	14	78NW	15	有	有	90	N	×	f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

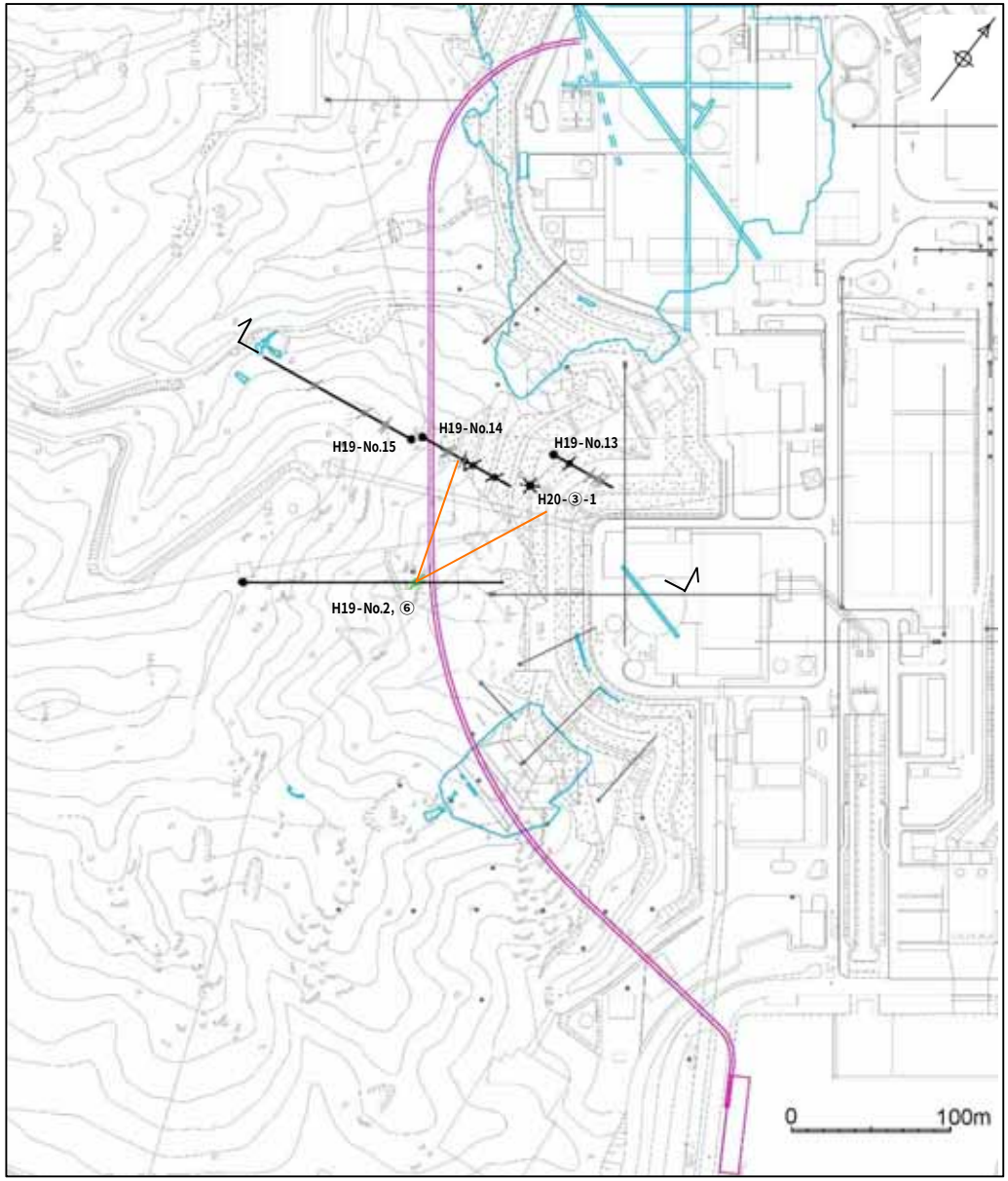
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑥)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

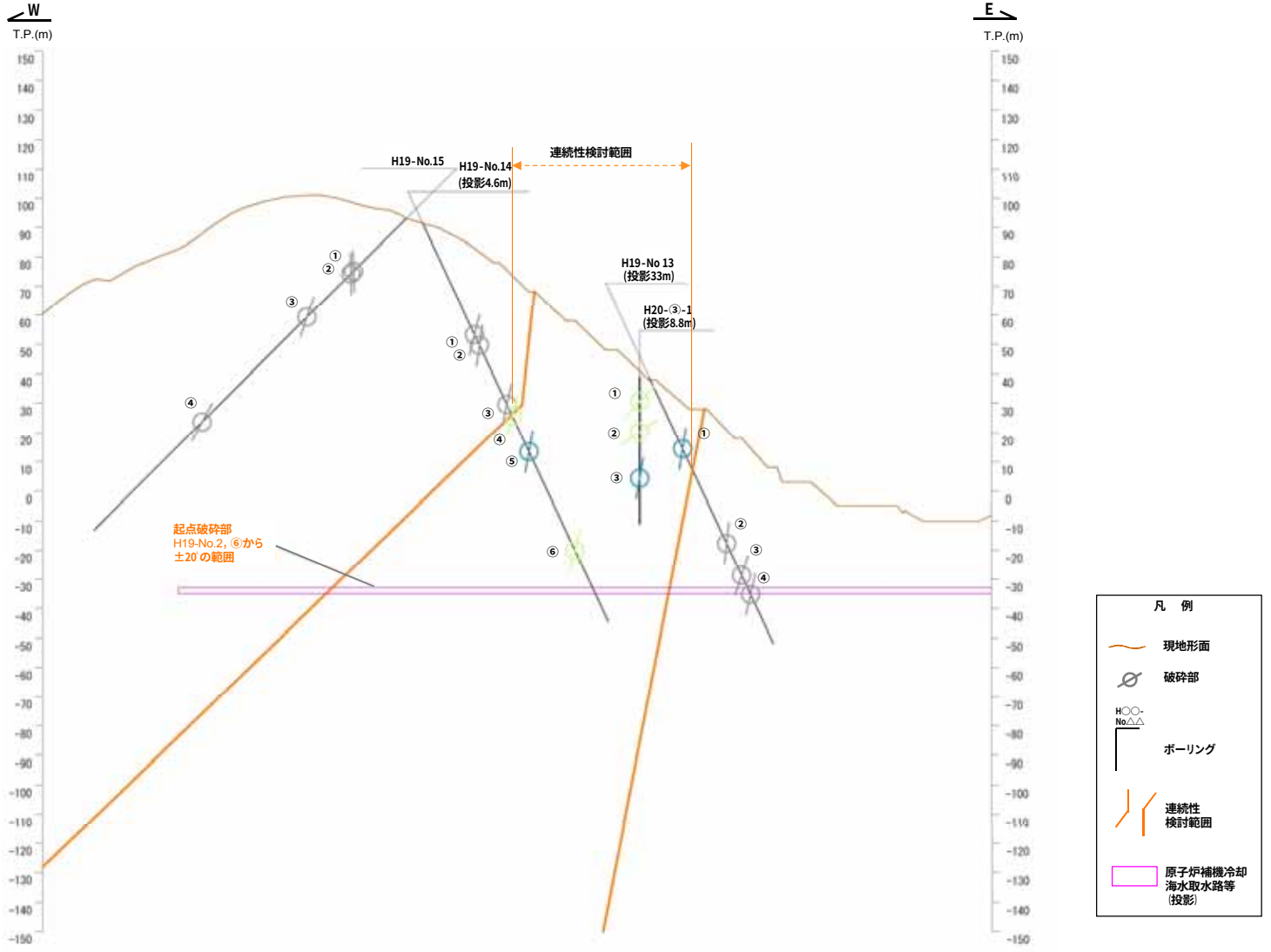
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑥)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑥)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度(m)	下端深度(m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.2	-	-	⑥	146.29	146.32	N7E		64W		有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
-	H19-No.13	範囲内	①	26 88	27.00	N5E	2	81W	17	有	無	72R	-	×	D-2	参考2-86	
		範囲外	②	62.10	62.37	NS	7	84W	20	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74 52	74.59	N10E	3	73W	9	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	8	78W	14	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40 56	40.57	N11E	4	77W	13	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45 63	45.70	N18E	11	83W	19	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	18	78W	14	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
		範囲内	④	72.43	72.70	N32W	39	77W	13	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	13	81W	17	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123 34	N32E	25	79W	15	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24 58	24.67	N7W	14	88E	28	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25 83	25.93	N6E	1	89E	27	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	13	74W	10	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97 82	97.85	N17E	10	64W	0	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8 22	N79W	86	73S	9	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	52	61N	55	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	6	80W	16	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

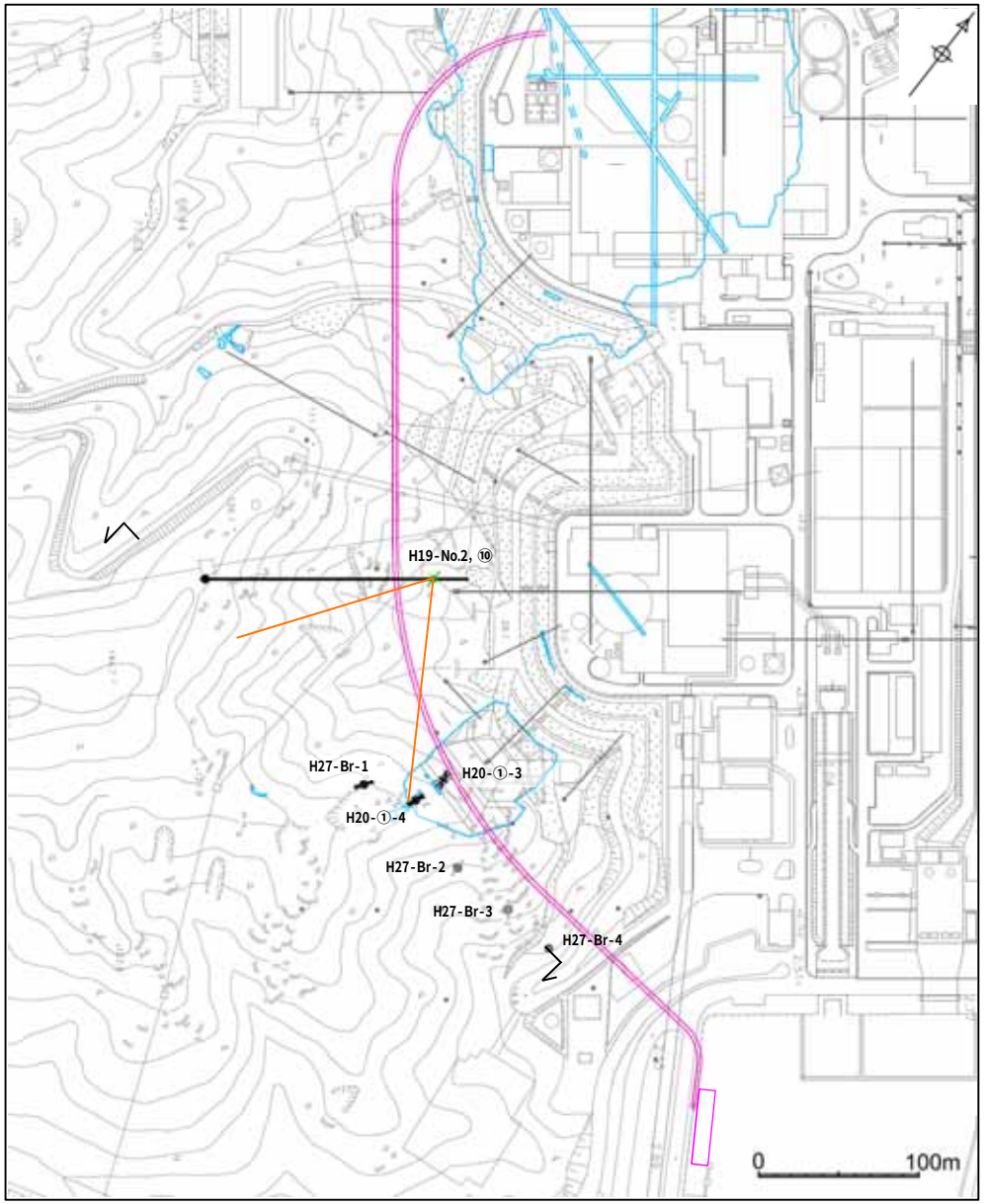
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑩)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

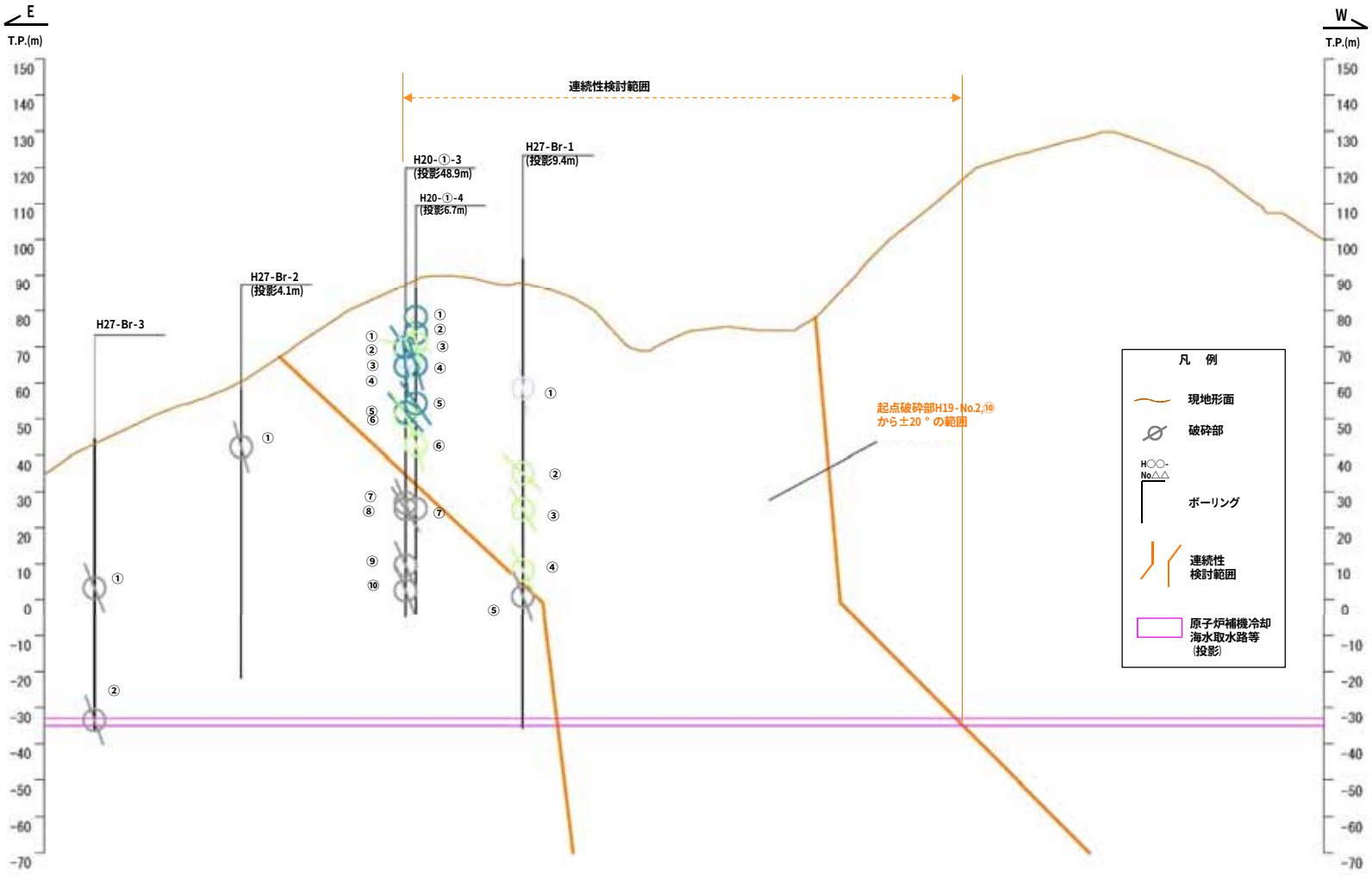
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑩)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑩)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.2	-	-	⑩	191.10	191.14	N2E		66W		無	-	73L	-		f-2-7	参考2-125	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33 27	35.90	N16E	14	81W	15	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	29	45W	21	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67 63	70.76	N42E	40	64NW	2	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	32	65W	1	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
		範囲外	⑤	93 36	93.45	N46E	44	73W	7	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	2	74W	8	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40 53	41.10	N51E	49	73NW	7	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77 72	77.90	N38W	40	76SW	10	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5 00	N83E	81	40N	26	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5 81	N11E	9	55W	11	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8 73	N12E	10	74W	8	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11 06	11.17	N11W	13	85W	19	有	無	50L	-	×	f-①-3-4	参考2-139	※1
			⑤	23 28	23.62	N12E	10	48W	18	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	28	64W	2	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48 20	48.24	N35E	33	69W	3	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50 06	50.15	N38E	36	61W	5	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	47	71N	5	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72 50	72.66	N40E	38	72W	6	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7 70	-	-	(85)	19	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12 25	12.26	-	-	(64)	2	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12 70	15.25	N32E	30	80W	14	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	17	74W	8	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31 63	31.87	N6E	4	55W	11	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1
			⑥	41.41	43.24	N36E	34	76W	10	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
		範囲外	⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	0	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

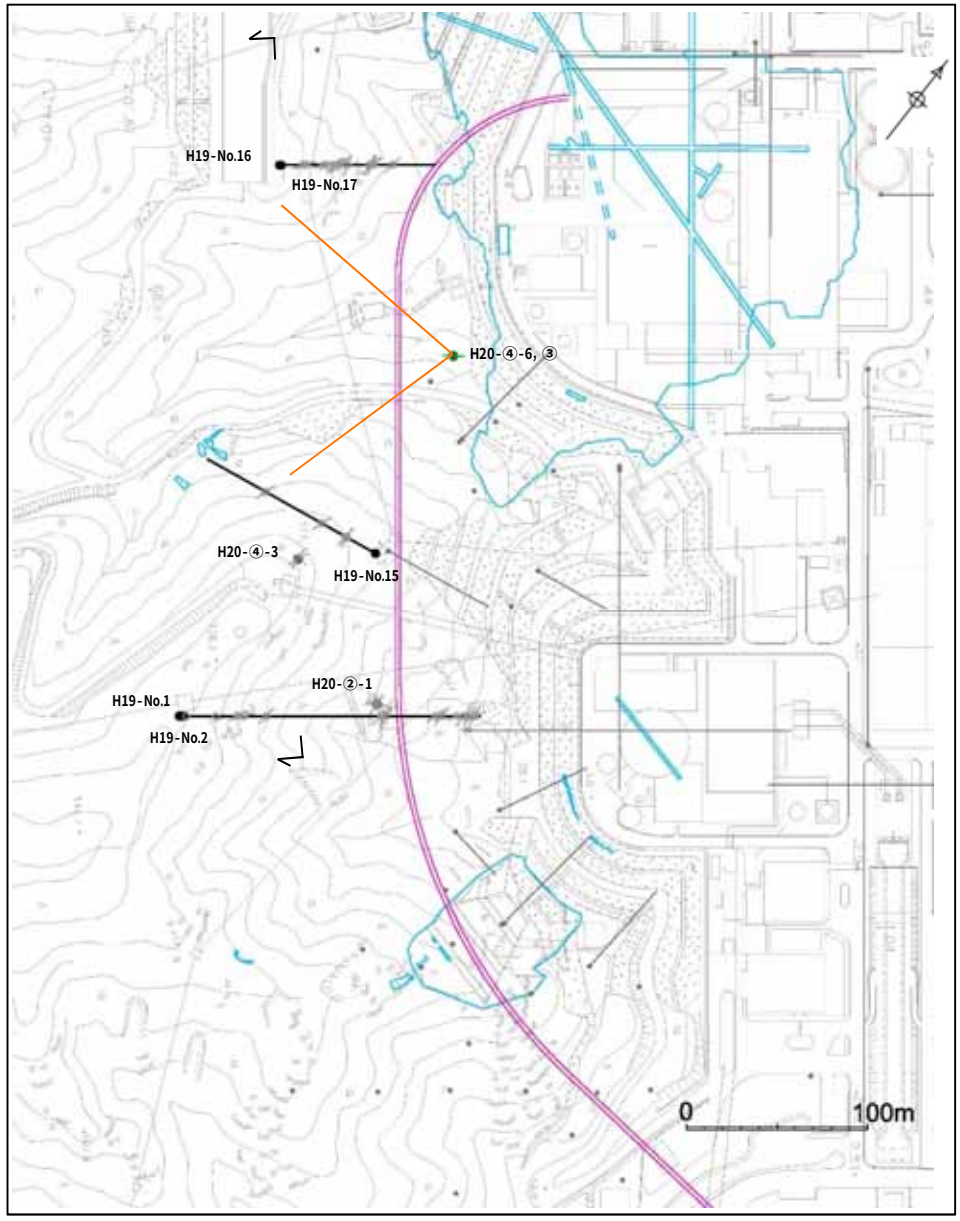
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，③)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

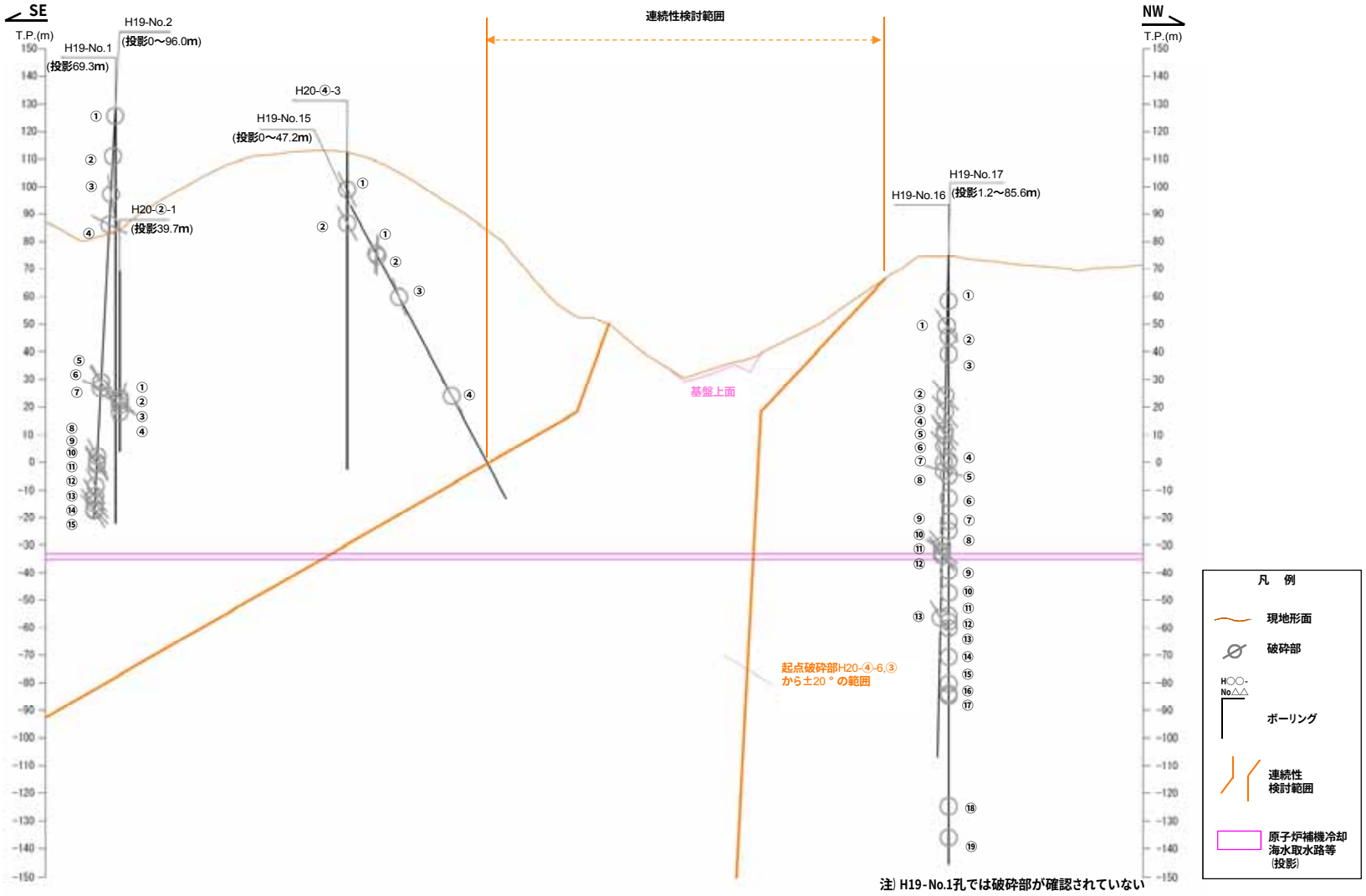
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，③)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H20-④-6	-	-	③	14.94	14.98	N55E		69S		有	有	36R	-		f-④-6-3	参考2-144	
-	H19-No.16	範囲外	①	16.01	17.82	-	-	(60)	9	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	6	無	-	-	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	9	無	-	-	-		f-17-2	参考2-132	
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	28	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	14	有	無	-	-		D-12	参考2-91	
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	25	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	9	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	1	無	-	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	5	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	25	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	12	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	20	有	有	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	9	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	12	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	9	無	-	-	-		D-16	参考2-93	
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	1	無	-	-	-		D-17	参考2-98	
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	14	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	17	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	15	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.17		①	27.65	27.73	N34E	21	57W	54	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	20	51W	60	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
			③	55.45	55.46	N39E	16	52W	59	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	27	50W	61	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	45	62W	49	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	37	53W	58	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	41	77W	34	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	74	36W	75	無	-	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	63	67W	44	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	66	57W	54	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118.25	N11E	44	59W	52	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119.29	N14E	41	57W	54	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	45	65W	46	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.15		①	24.58	24.67	N7W	62	88E	19	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	49	89E	20	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	35	74W	37	無	-	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	38	64W	47	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H19-No.2		①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	30	82W	29	無	-	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	15	26W	85	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	48	68W	43	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	48	64W	47	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	86	70W	41	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N2W	57	72W	39	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N15E	40	61W	50	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	53	66W	45	無	-	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	23	64W	47	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	55	66W	45	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	61	63W	48	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	64	64W	47	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	29	61W	50	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	58	60W	51	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	8	71S	40	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	73	71SW	40	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	-	-	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H20-④-3		①	13.41	13.45	N5W	5	76W	60	無	-	70R	-		f-15-3	参考2-132	
			②	25.81	25.85	N23E	78	64W	72	有	無	50L	N,RL		f-④-3-1	参考2-143	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

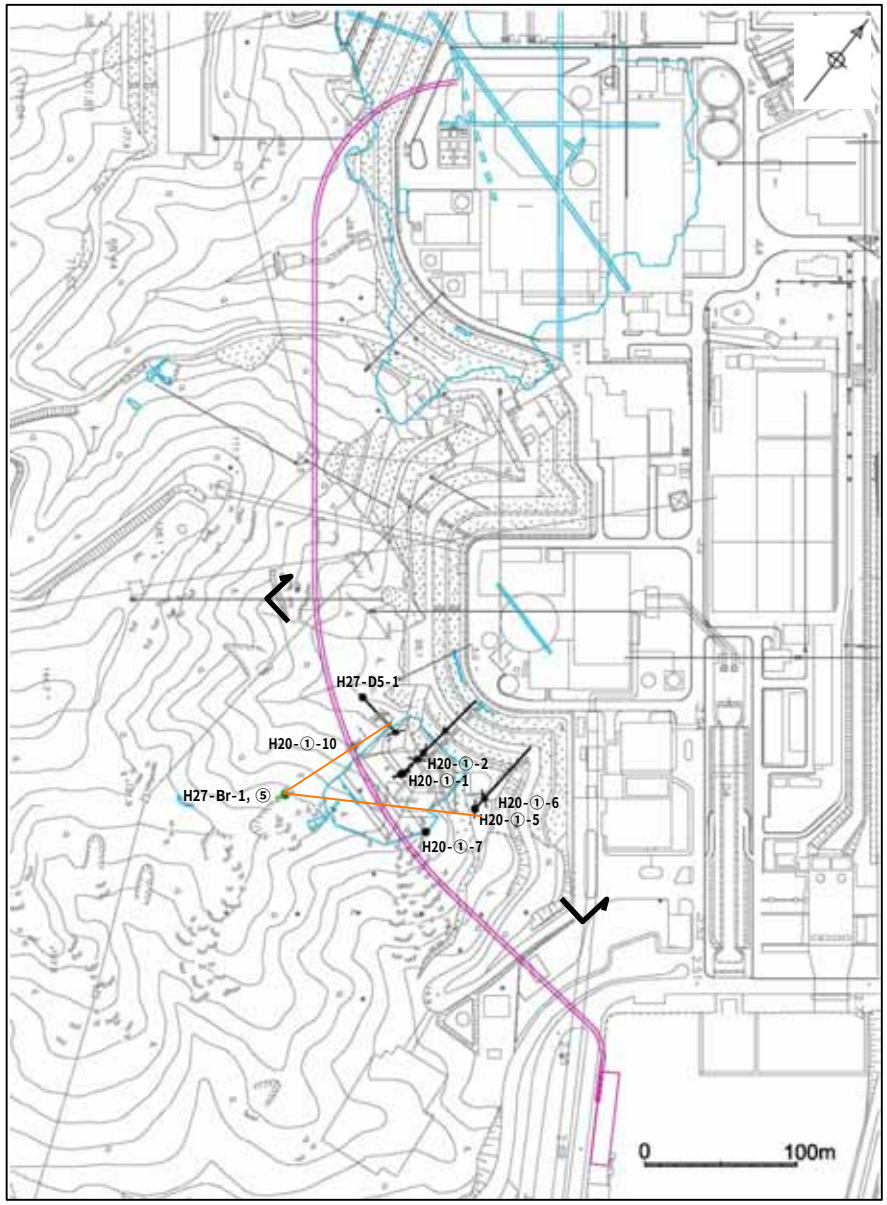
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，⑤)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

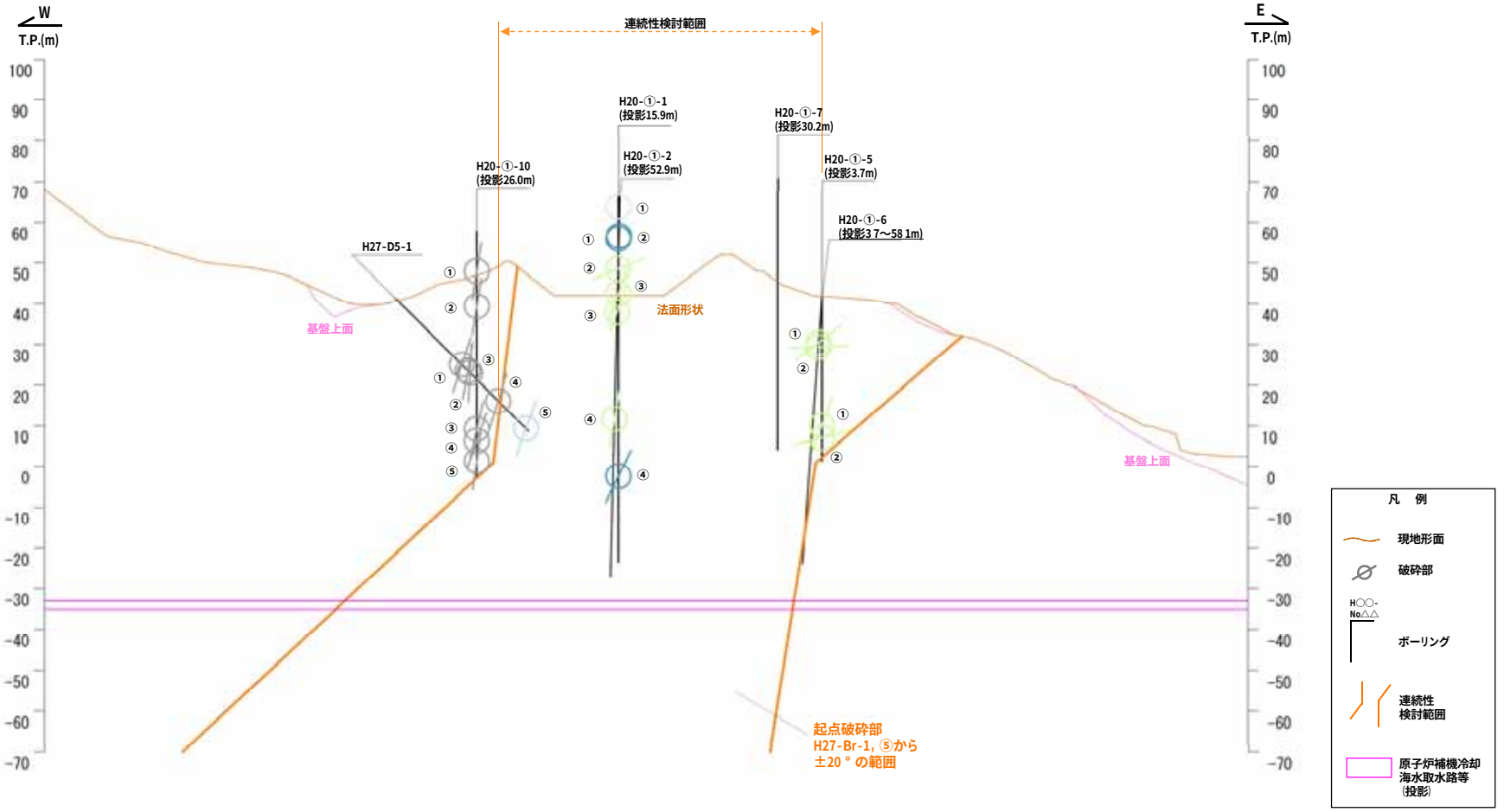
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，⑤)



注) H20-①-7孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-Br-1	-	-	⑤	93.36	93.45	N46E		73W		有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
-	H27-D5-1	範囲外	①	22.91	23.23	N35E	11	74W	1	有	無	90	N		D-4	参考2-89	
			②	25.17	25.44	N31E	15	81W	8	有	無	80L	N		D-45	参考2-119	
			③	25.65	25.77	N21E	25	87W	14	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-71	
			④	35.41	35.55	N2W	48	73W	0	有	無	80L	N		f-d5-1-4	参考2-178	
		範囲内	⑤	45.12	45.37	N38E	8	72W	1	有	有	85R	N		D-46	参考2-119	
	H20-①-1		①	2.66	2.95	-	-	(70)	3	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	8.64	10.63	-	-	(74)	1	有	有	-	-	×	D-6	参考2-58	
			③	23.62	24.62	N25E	21	72W	1	有	無	60L	-		D-19	参考2-99	
			④	68.72	69.02	N36E	10	66W	7	有	無	30L	N, RL		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-2		①	11.73	11.91	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			②	22.63	22.66	N62E	16	33N	40	有	有	55L	N, RL		f-①-2-2	参考2-138	
			③	32.90	34.91	N18W	64	73W	0	有	有	-	-		D-6	参考2-58	
			④	66.08	67.28	N4E	42	80W	7	有	無	88L	-		f-①-2-4	参考2-138	
	H20-①-5		①	31.28	31.44	N33W	79	75W	2	無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
			②	34.37	34.70	N89W	45	58S	15	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	81	60S	13	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	53	65S	7	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-10	範囲外	①	9.01	10.28	N1W	47	81W	8	有	無	77L	-		D-4	参考2-90	
			②	18.16	18.84	N26E	20	81W	8	無	-	90	-		f-①-10-2	参考2-140	
			③	48.10	48.24	N6E	40	77W	4	無	-	80R	-		D-45	参考2-119	
			④	50.90	52.95	NS	46	71W	2	有	有	80R	N		D-5	参考2-71	
			⑤	55.99	56.05	N34E	12	83W	10	有	無	5L	LL		D-46	参考2-119	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

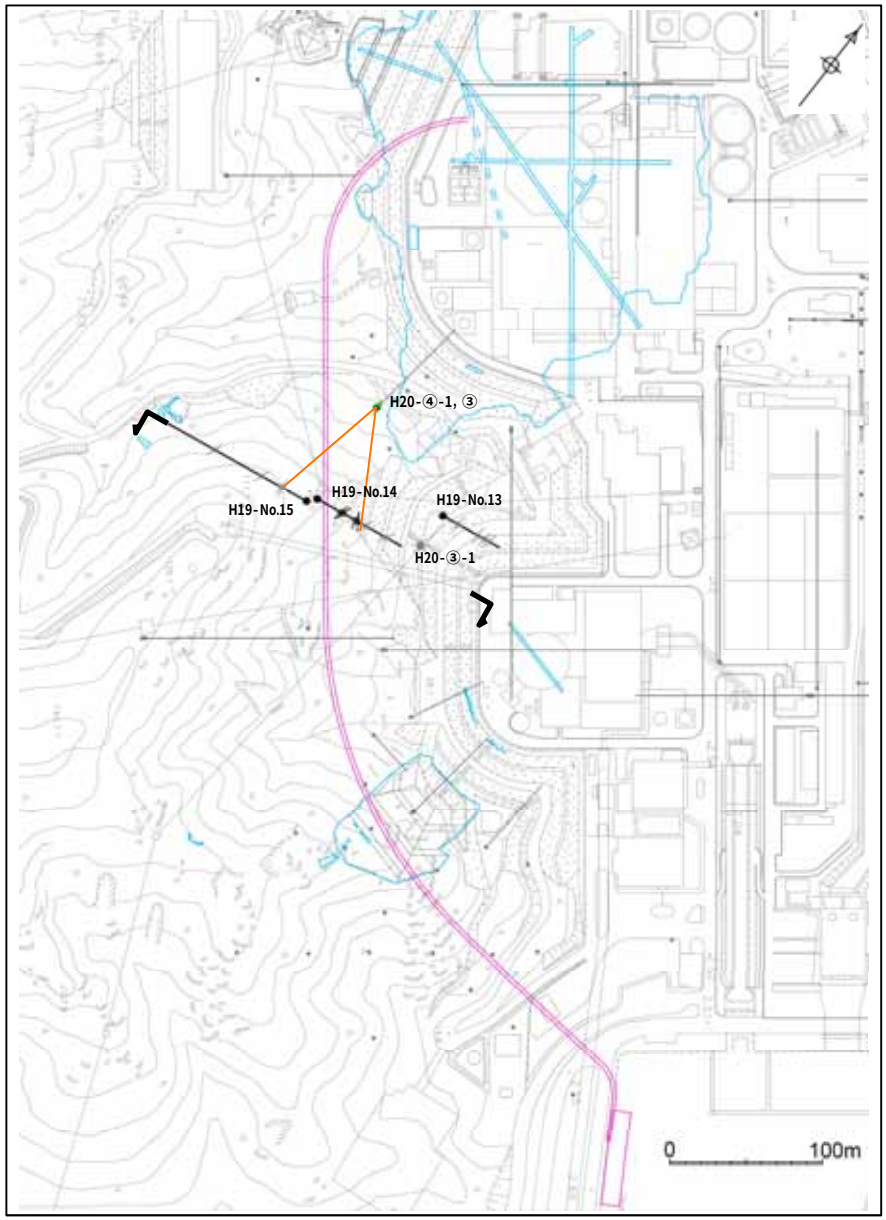
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，③)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

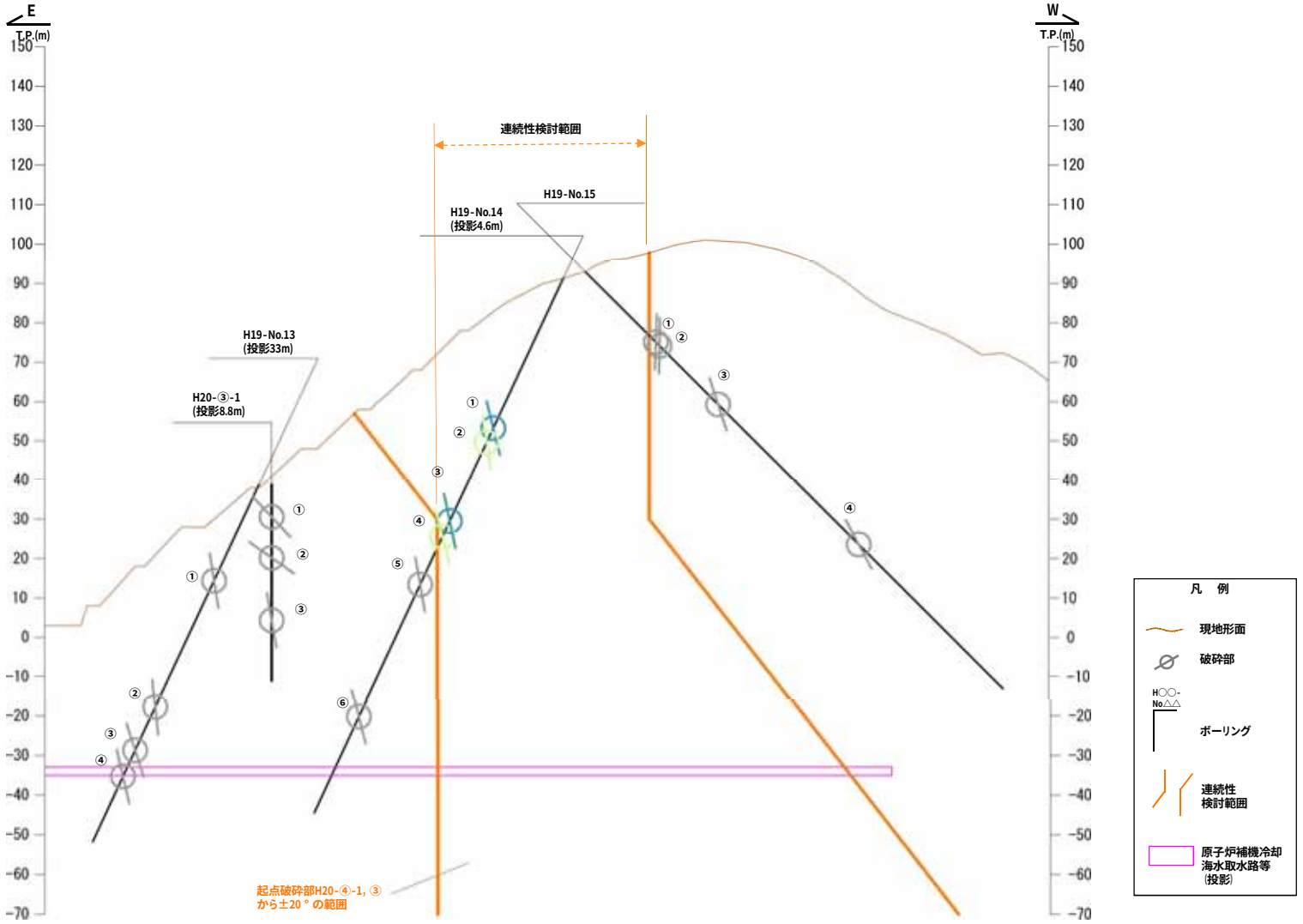
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，③)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-1	-	-	③	23.27	23.31	N8W		73W		有	有	47L	-		f-④-1-2	参考2-141	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	13	81W	8	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	8	84W	11	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	18	73W	0	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	23	78W	5	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	19	77W	4	有	無	5L	-	×	f-14-1	参考2-131	※1
			②	45.63	45.70	N18E	26	83W	10	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	3	78W	5	有	無	56L	-	×	D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	24	77W	4	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
		範囲外	⑤	86.12	87.03	N20E	28	81W	8	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123 32	123 34	N32E	40	79W	6	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	1	88E	19	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	14	89E	18	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	28	74W	1	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	25	64W	9	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8 22	N79W	71	73S	0	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	67	61N	46	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	9	80W	7	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

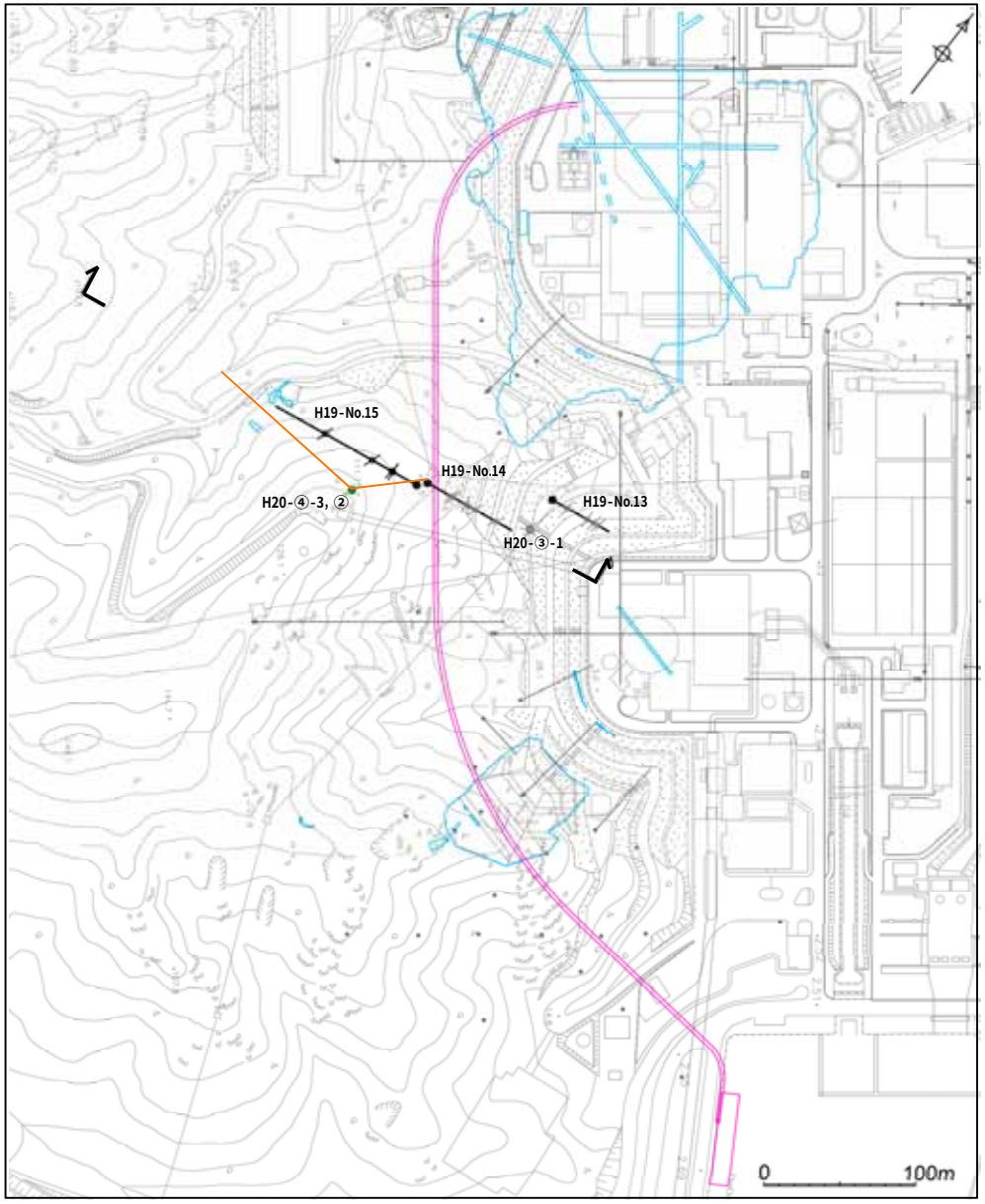
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-3，②)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

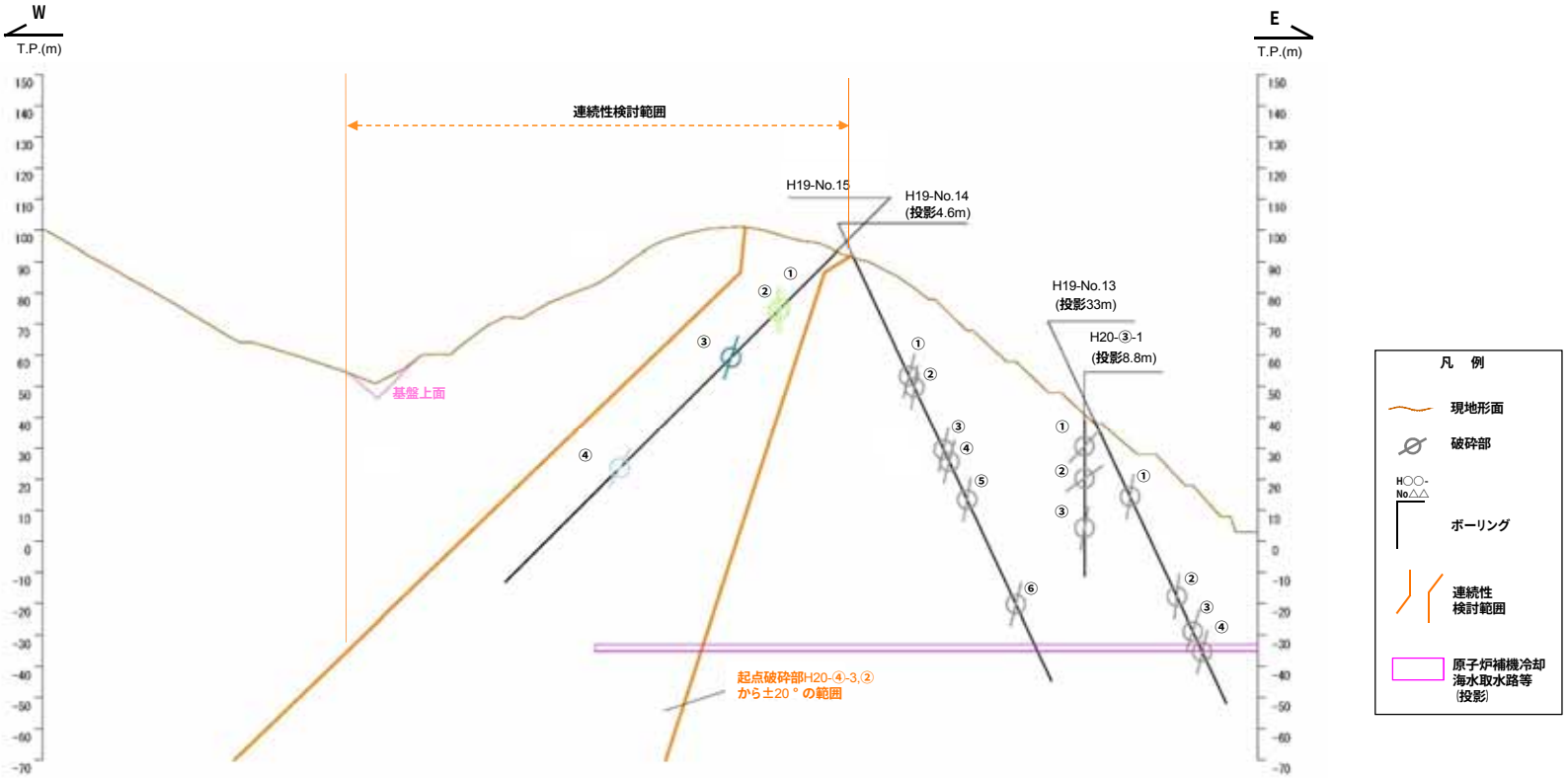
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-3，②)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-3，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H20-④-3	-	-	②	25 81	25.85	N23E		64W		有	無	50L	-		f-④-3-1	参考2-143	
-	H19-No.13	範囲外	①	26 88	27.00	N5E	18	81W	17	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	23	84W	20	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74 52	74.59	N10E	13	73W	9	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	8	78W	14	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40 56	40.57	N11E	12	77W	13	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45 63	45.70	N18E	5	83W	19	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	34	78W	14	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	55	77W	13	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	3	81W	17	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123 32	123.34	N32E	9	79W	15	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24 58	24.67	N7W	30	88E	28	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25 83	25.93	N6E	17	89E	27	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	3	74W	10	有	無	73L	-	○	f-④-3-1	参考2-143	
			④	97 82	97.85	N17E	6	64W	0	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	78	73S	9	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	36	61N	55	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	22	80W	16	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

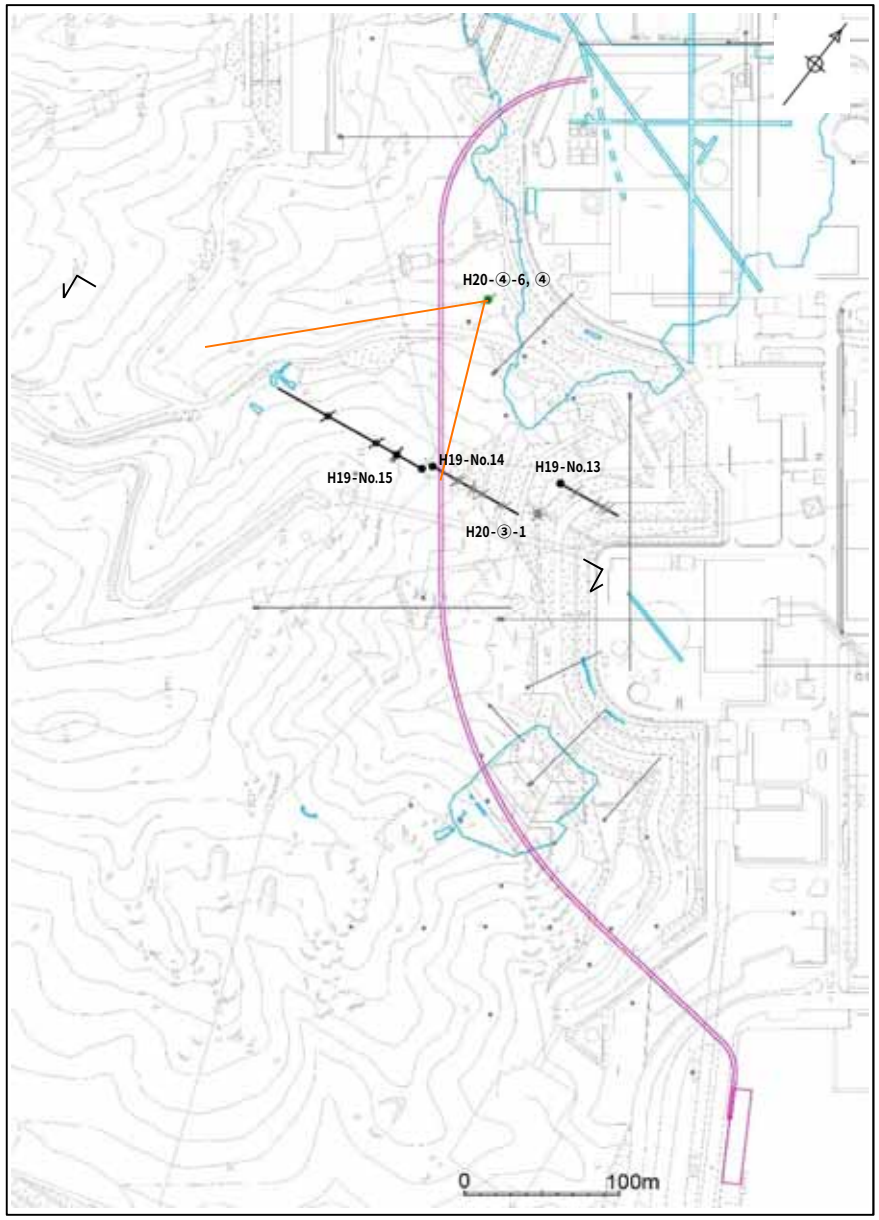
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，④)



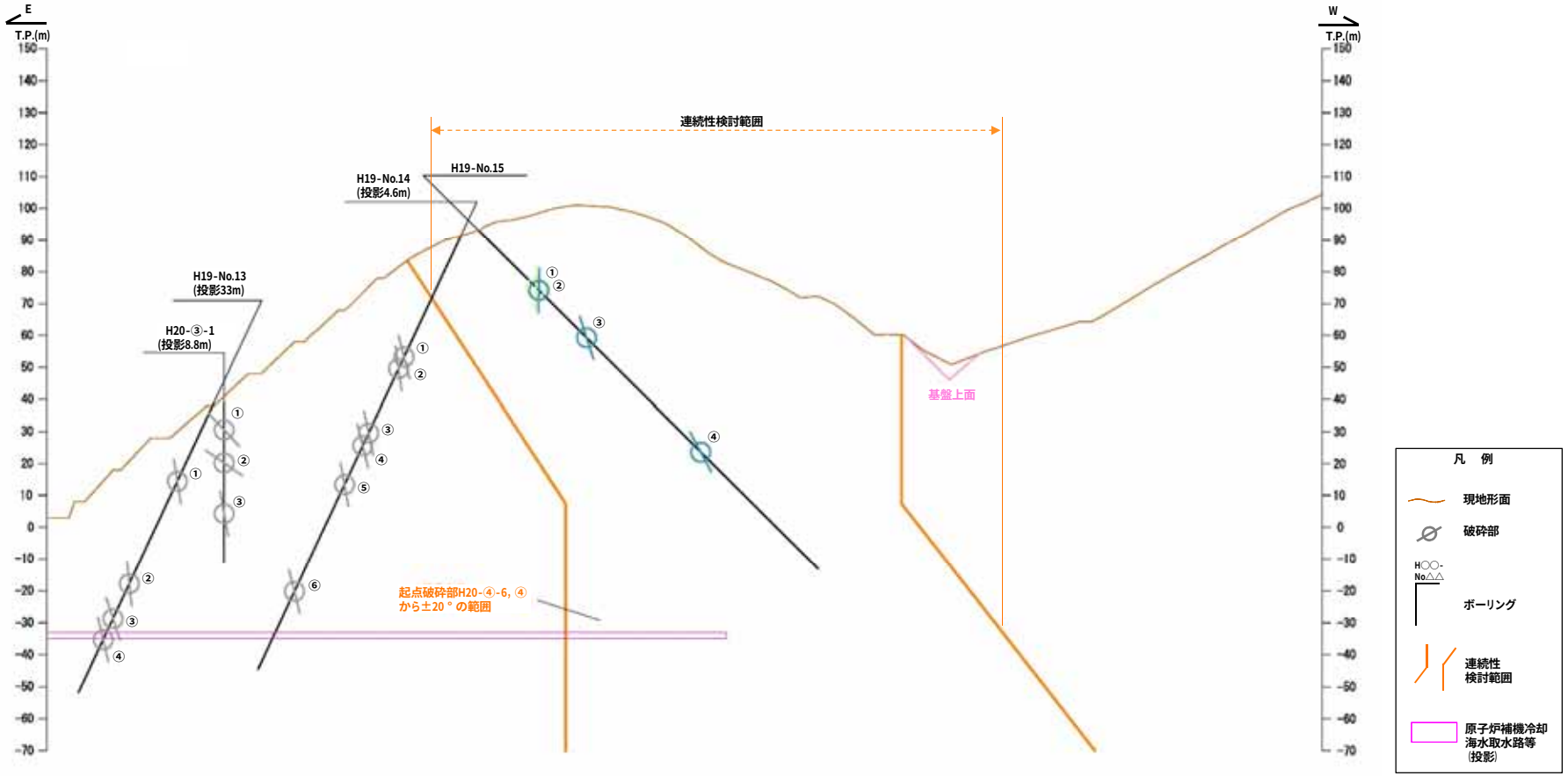
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，④)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-6	-	-	④	25.70	25 80	N18E		77W		有	無	90	-		f-④-6-4	参考2-144	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27 00	N5E	13	81W	4	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62 37	NS	18	84W	7	無	-	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74 59	N10E	8	73W	4	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82 37	N15E	3	78W	1	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40 57	N11E	7	77W	0	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45 70	N18E	0	83W	6	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	29	78W	1	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72 70	N32W	50	77W	0	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87 03	N20E	2	81W	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123 32	123.34	N32E	14	79W	2	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24 67	N7W	25	88E	15	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	12	89E	14	有	無	71L	-	×	f-15-2	参考2-131	※4
			③	46.92	46.93	N20E	2	74W	3	有	無	73L	-	×	f-④-3-1	参考2-143	※4
			④	97.82	97 85	N17E	1	64W	13	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	97	73S	4	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18 53	N59E	41	61N	42	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34 50	N2E	16	80W	3	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

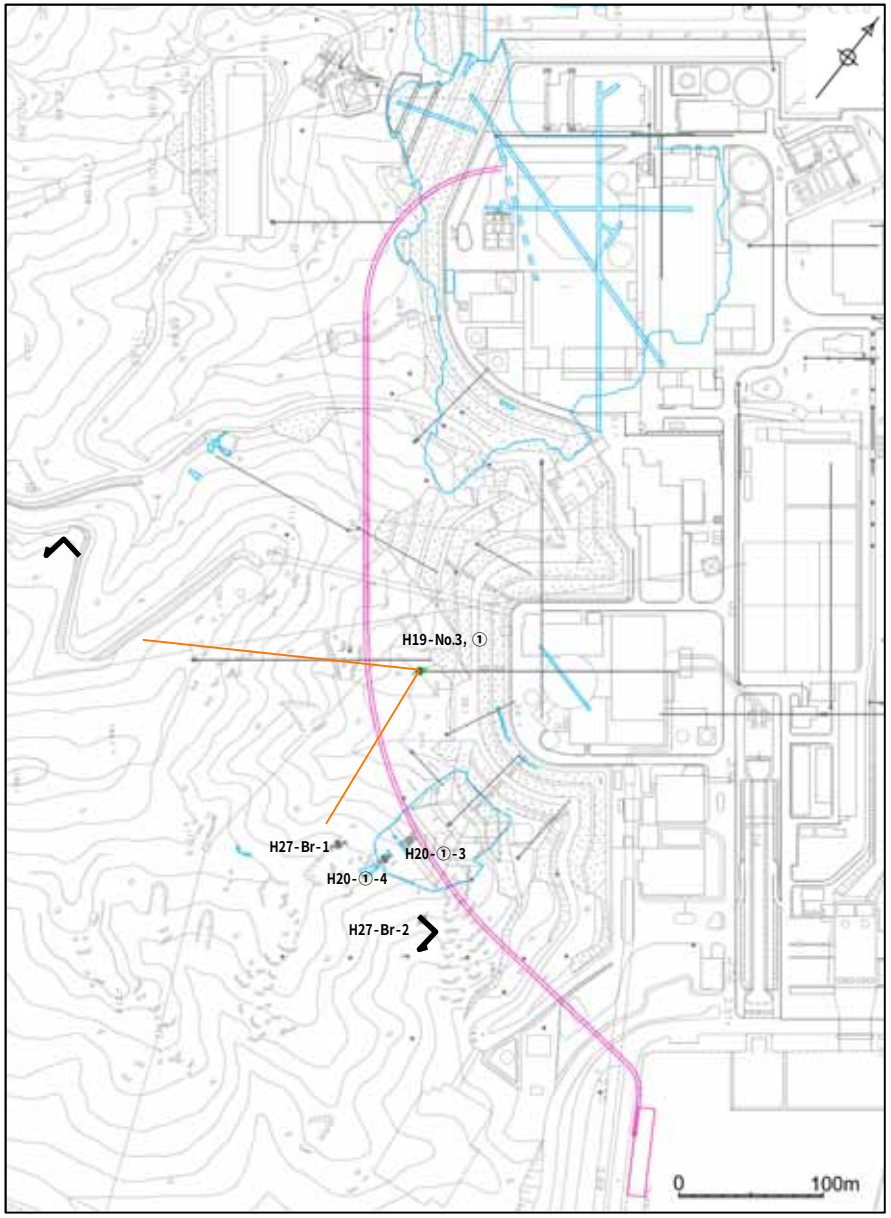
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.3，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

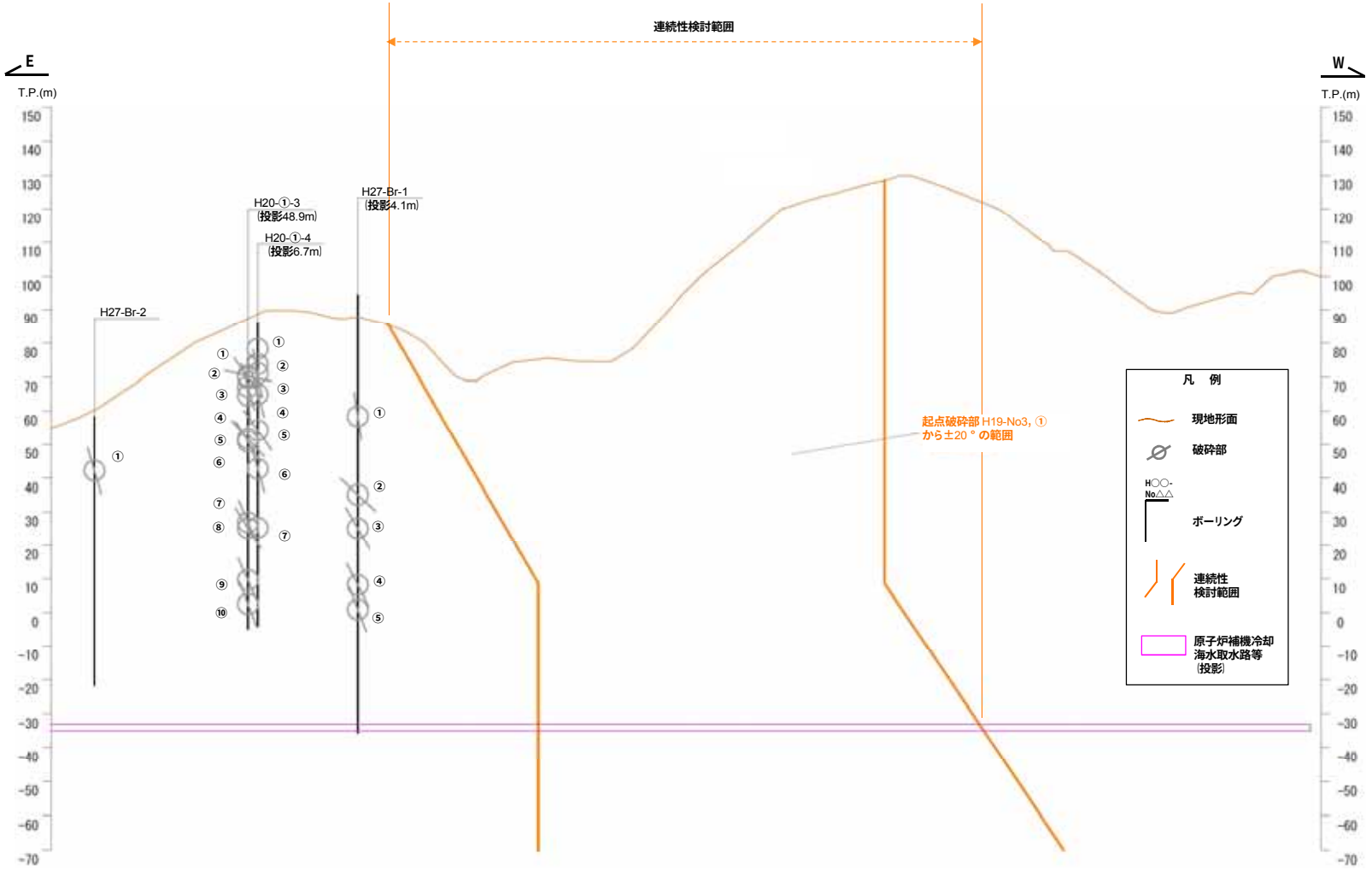
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.3，①)



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.3，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.3	-	-	①	28.77	28.82	N32E		80W		有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
-	H27-Br-1	範囲外	①	33 27	35.90	N16E	16	81W	1	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	1	45W	35	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67 63	70.76	N42E	10	64NW	16	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	2	65W	15	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93 36	93.45	N46E	14	73W	7	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	32	74W	6	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	51	40N	40	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5 53	5.81	N11E	43	55W	25	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	20	74W	6	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11 06	11.17	N11W	21	85W	5	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23 28	23.62	N12E	20	48W	32	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	58	64W	16	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48 20	48.24	N35E	3	69W	11	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50 06	50.15	N38E	6	61W	19	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	17	71N	9	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72 50	72.66	N40E	8	72W	8	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	5	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12 25	12.26	-	-	(64)	16	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12 70	15.25	N32E	0	80W	0	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	13	74W	6	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31 63	31.87	N6E	26	55W	25	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	4	76W	4	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	14	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

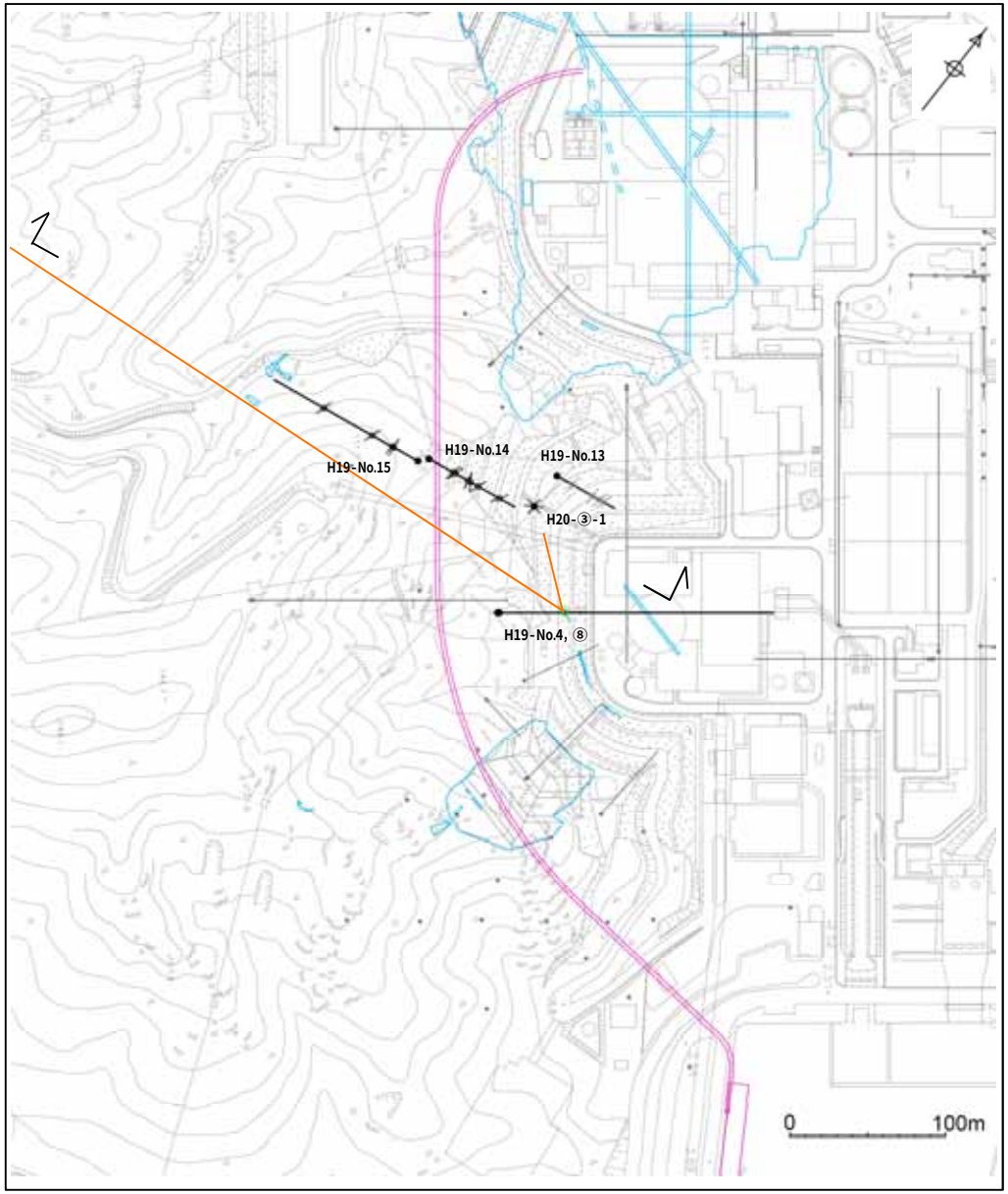
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑧)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

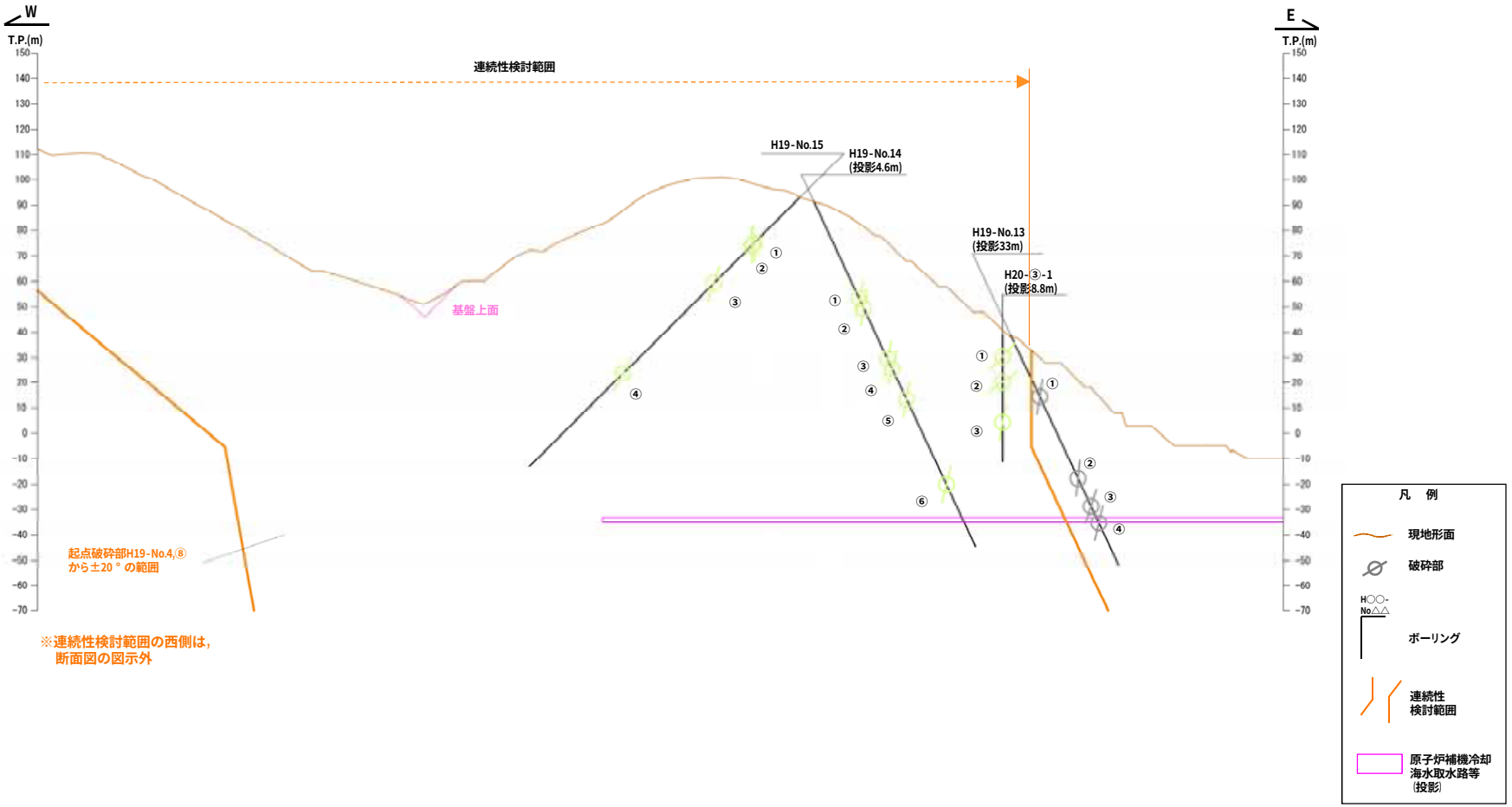
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑧)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑧)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.4	-	-	⑧	60 32	60.36	N71W		86N		無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
-	H19-No.13	範囲外	①	26 88	27.00	N5E	76	81W	13	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	71	84W	10	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74 52	74.59	N10E	81	73W	21	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	86	78W	16	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40 56	40.57	N11E	82	77W	17	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45 63	45.70	N18E	89	83W	11	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	60	78W	16	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	39	77W	17	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	89	81W	13	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123 34	N32E	77	79W	15	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15		①	24 58	24.67	N7W	64	88E	2	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25 83	25.93	N6E	77	89E	3	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	89	74W	20	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97 82	97.85	N17E	88	64W	30	有	無	23R	N,LL or R,RL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8 22	N79W	8	73S	21	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	50	61N	25	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	72	80W	14	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

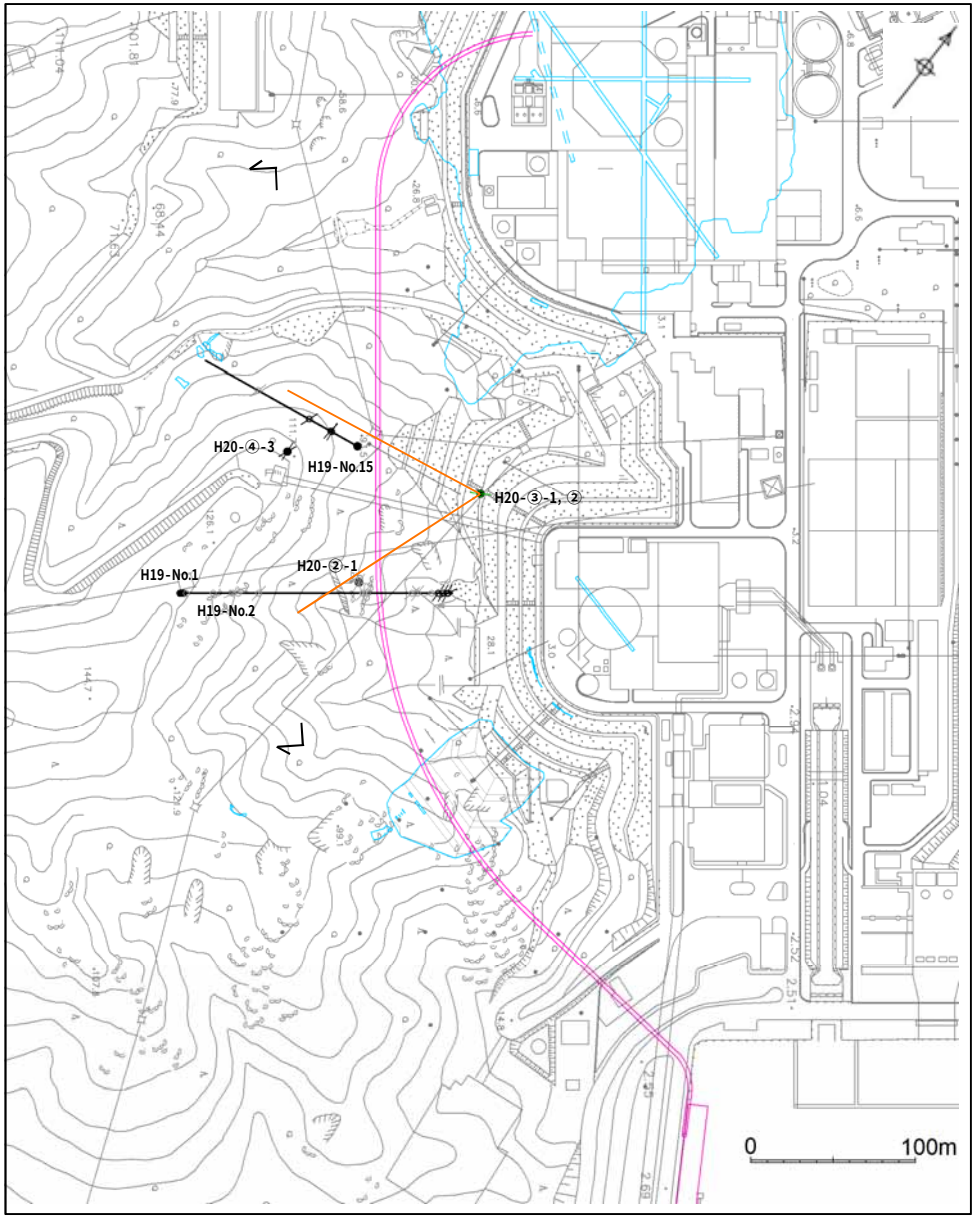
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，②)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

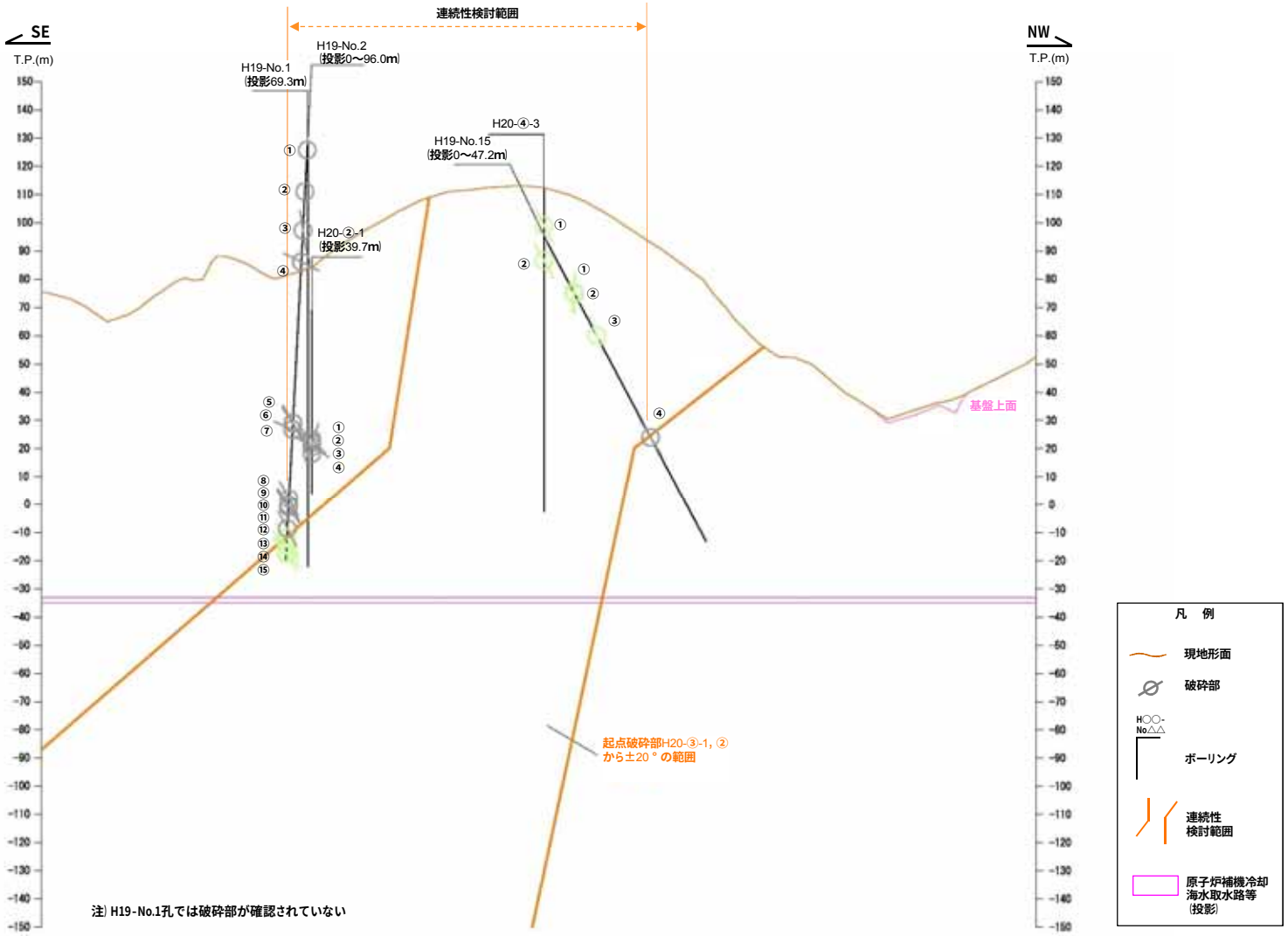
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，②)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	備考
H20-③-1	-	-	②	18.46	18.53	N59E		61N		有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
-	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	66	88E	31	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	53	89E	30	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	39	74W	13	無	-	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
		範囲外	④	97.82	97.85	N17E	42	64W	3	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H19-No.2		①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	34	82W	21	無	-	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	19	26W	35	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	52	68W	7	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	52	64W	3	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	90	70W	9	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N2W	61	72W	11	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N15E	44	61W	0	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	57	66W	5	無	-	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	27	64W	3	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
		範囲内	⑫	207.94	208 69	NS	59	66W	5	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212 07	N6W	65	63W	2	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	68	64W	3	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216 24	N26E	33	61W	0	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1	範囲外	①	45.13	46.34	N3W	62	60W	1	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	4	71S	10	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	69	71SW	10	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H20-④-3	範囲内	①	13.41	13.45	N5W	64	76W	15	無	-	70R	-		f-15-3	参考2-132	
			②	25.81	25.85	N23E	36	64W	3	有	無	50L	N,RL		f-④-3-1	参考2-143	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

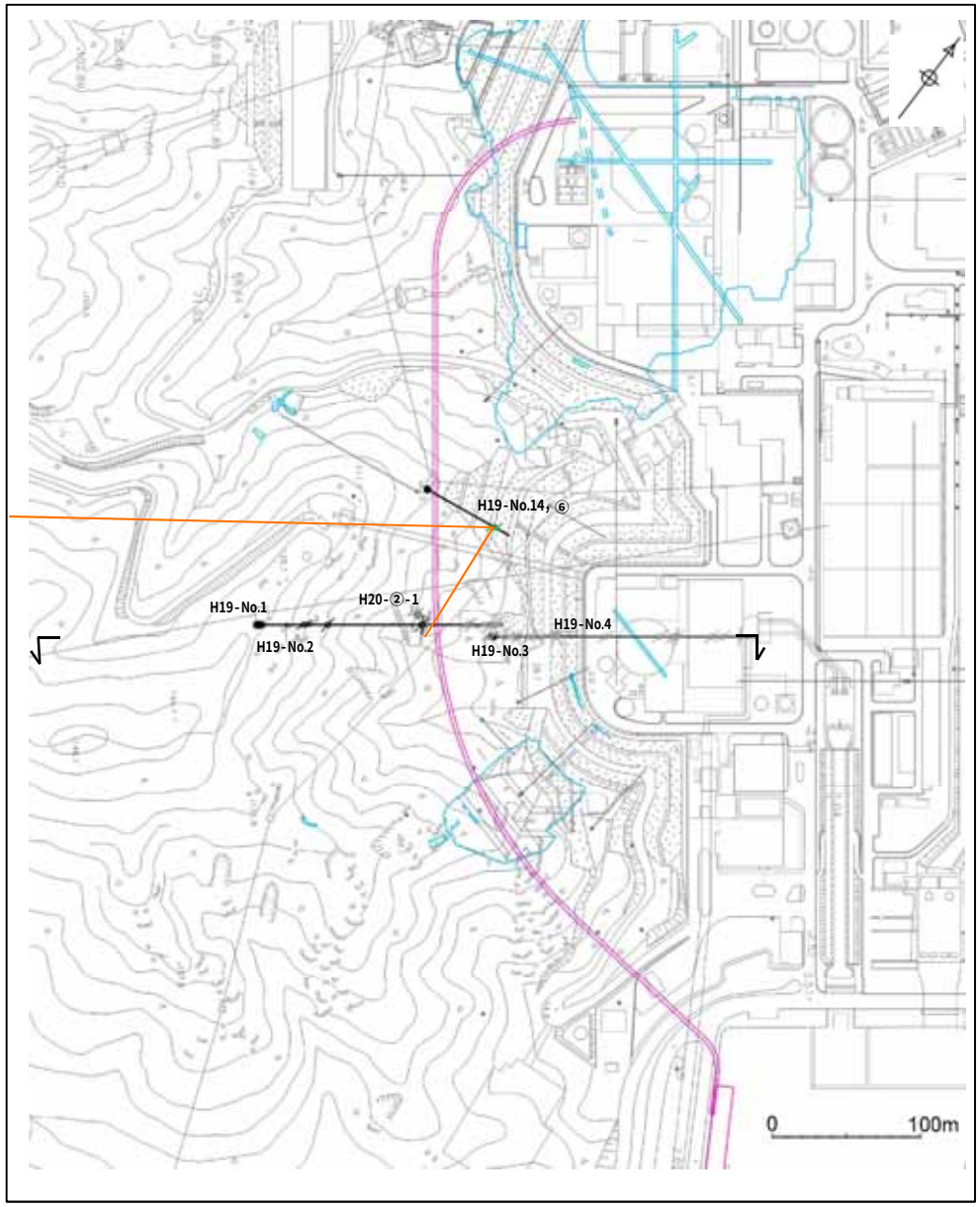
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，⑥)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

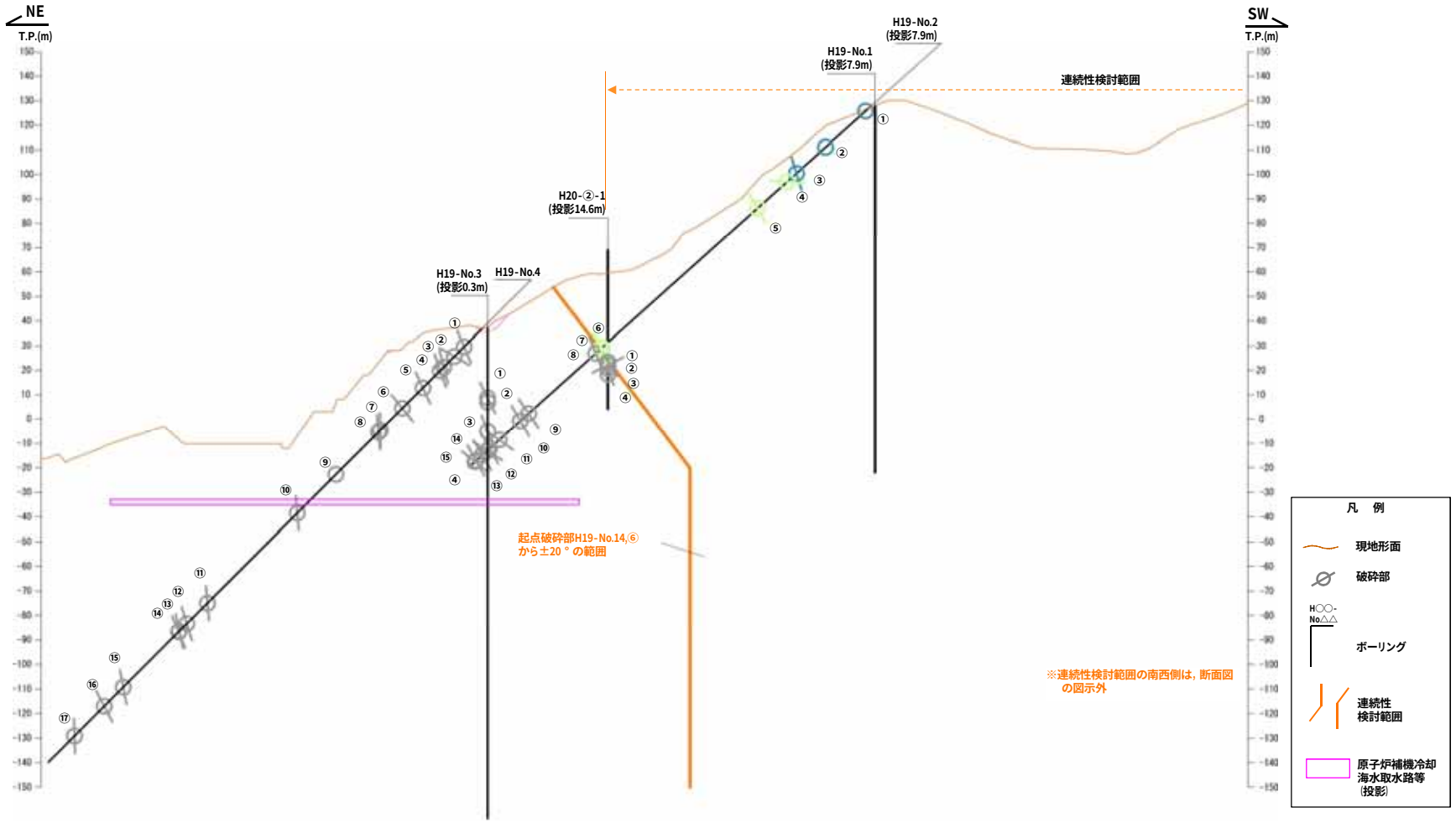
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，⑥)



注）H19-No.1孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，⑥)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	⑥	123.32	123.34	N32E		79W		有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
-	H19-No 2	範囲内	①	2 35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	×	f-15-2	参考2-131	※1
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※1
			③	39.83	39 88	N25E	7	82W	3	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45 75	N40E	8	26W	53	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61 30	N7E	25	68W	11	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146 29	146.32	N7E	25	64W	15	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147 04	147.48	N31W	63	70W	9	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
		範囲外	⑧	149 71	149.84	N1E	31	72W	7	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186 53	186.58	N21E	11	70W	9	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	30	66W	13	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202 81	202.85	N32E	0	64W	15	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	32	66W	13	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212 00	212.07	N6W	38	63W	16	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	41	64W	15	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	6	61W	18	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No 3		①	28.77	28 82	N32E	0	80W	1	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	16	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42 81	N17E	15	77W	2	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	5	67W	12	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11 53	N4W	36	70W	9	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16 31	N35E	3	62W	17	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22 26	N3E	29	79W	0	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	39	73W	6	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34 38	N12E	20	73W	6	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46 38	N29E	3	72W	7	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59 59	N10W	42	89W	10	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60 36	N71W	86	86N	15	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84 33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107 54	109.94	N16E	16	87W	8	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159 77	159.88	N15E	17	87W	8	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171 69	174.88	N9E	23	78W	1	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175 27	175.28	N29W	61	78W	1	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175 64	175.65	N14E	18	76W	3	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207 69	207.72	N13E	19	83W	4	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218 73	218.74	N20E	12	74W	5	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234 32	236.15	N28W	60	88W	9	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H20-②-1		①	45.13	46 34	N3W	35	60W	19	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	31	71S	8	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	84	71SW	8	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	14	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

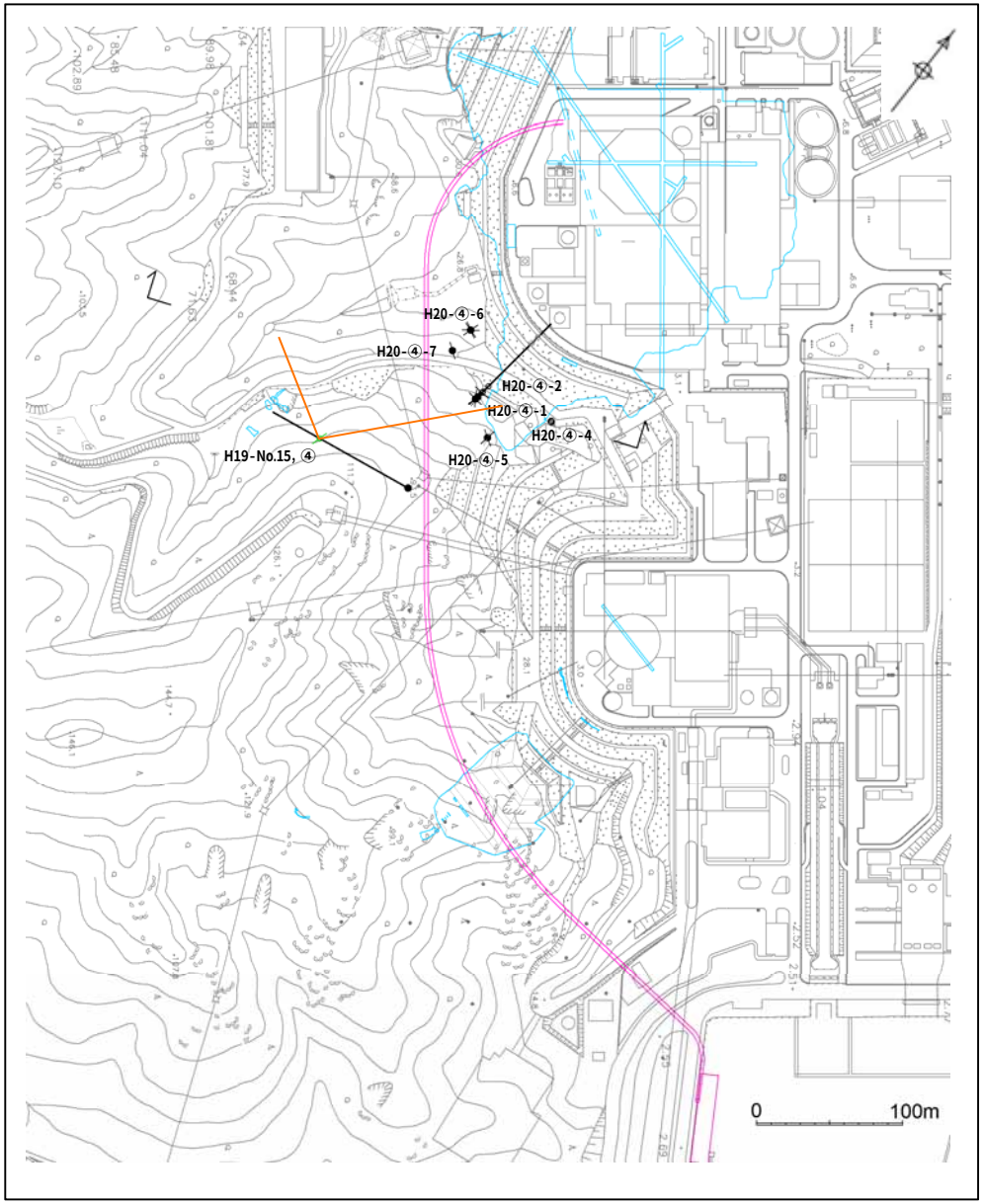
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，④)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

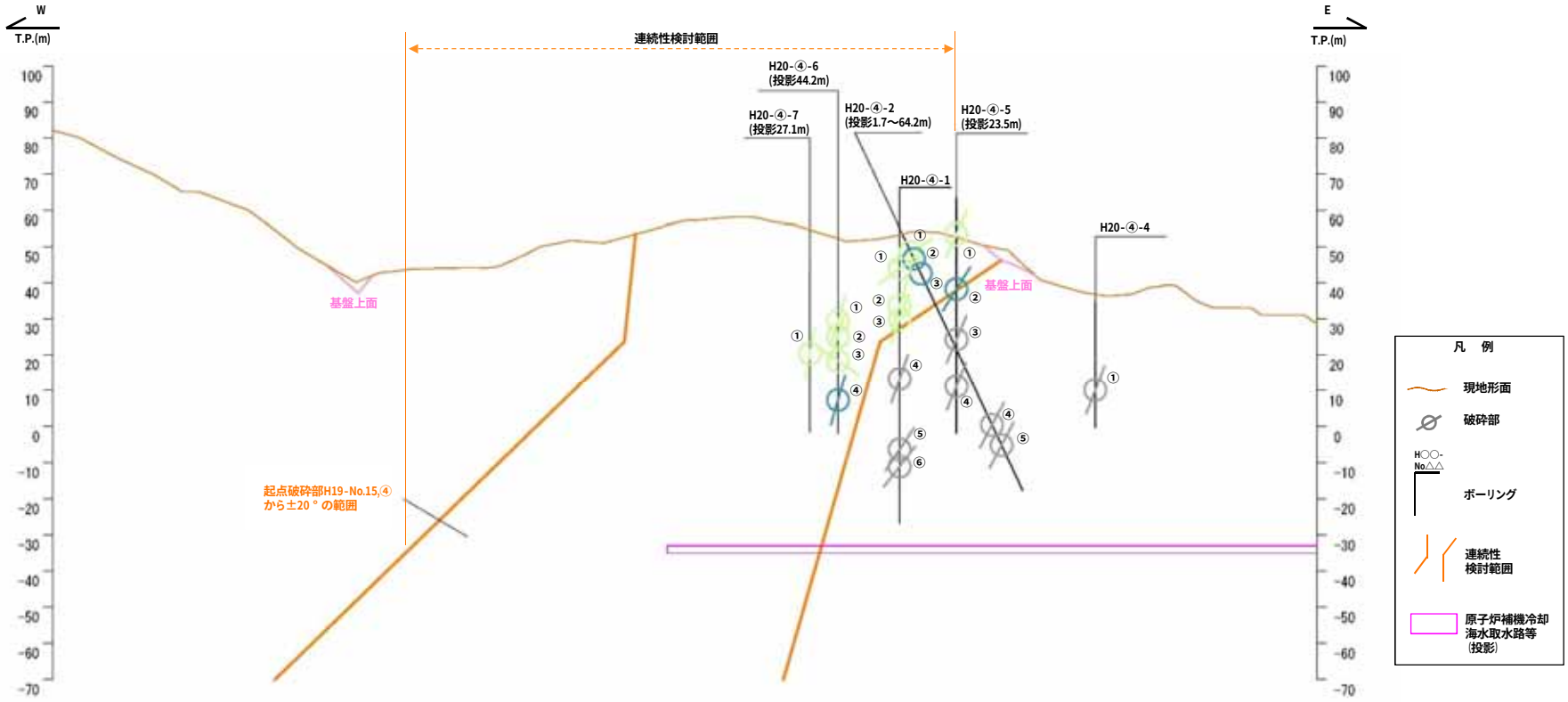
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，④)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.15	-	-	④	97.82	97 85	N17E		64W		有	無	23R	-		f-15-3	参考2-132	
-	H20-④-1	範囲内	①	9.33	9 61	N82W	81	45S	19	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-143	
			②	18.03	21 78	N31W	48	73W	9	有	無	65L	-		D-20	参考2-100	
			③	23.27	23 31	N8W	25	73W	9	有	有	47L	-		f-④-1-2	参考2-141	
		範囲外	④	39.78	39.98	N11E	6	78W	14	無	-	75L	-		f-④-1-3	参考2-141	
			⑤	58.87	59 39	N17E	0	70W	6	有	無	45R	-		f-④-1-4	参考2-142	
			⑥	63.91	64.44	N19E	2	68W	4	有	無	80L	-		D-21	参考2-102	
	H20-④-2	範囲内	①	6.00	6.12	N86W	77	42S	22	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
			②	6.90	8.90	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-20	参考2-100	
			③	14.63	14 66	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-④-1-2	参考2-141	※1
		範囲外	④	74.45	74 50	N4W	21	67W	3	無	-	-	-		f-④-1-3	参考2-141	
			⑤	82.34	82.41	N4W	21	67W	3	無	-	5L	-		f-④-2-3	参考2-142	
	H20-④-4		①	24.56	24 59	N4E	13	71W	7	有	無	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-④-5	範囲内	①	7.85	9 71	N56W	73	70S	6	有	有	40L (不明瞭)	-		D-20	参考2-100	
			②	24.96	25.12	N11E	6	62W	2	有	無	90	-		D-21	参考2-102	
		範囲外	③	38.73	38 74	N9E	8	70W	6	有	無	10L	-		f-④-9-1	参考2-143	
			④	51.86	52.16	N11W	28	68W	4	有	有	30L	-		f-④-5-3	参考2-143	
	H20-④-6	範囲内	①	3.76	4 09	N60W	77	78S	14	有	無	20R	-		f-④-6-1	参考2-143	
			②	7.94	9 00	N71W	88	79S	15	有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-144	
			③	14.94	14.98	N55E	38	69S	47	有	有	36R	N,LL		f-④-6-3	参考2-144	
			④	25.70	25 80	N18E	1	77W	13	有	無	90	-		f-④-6-4	参考2-144	
	H20-④-7		①	22.75	23 53	N53W	70	80S	16	有	有	80L	-		f-④-7-1	参考2-144	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

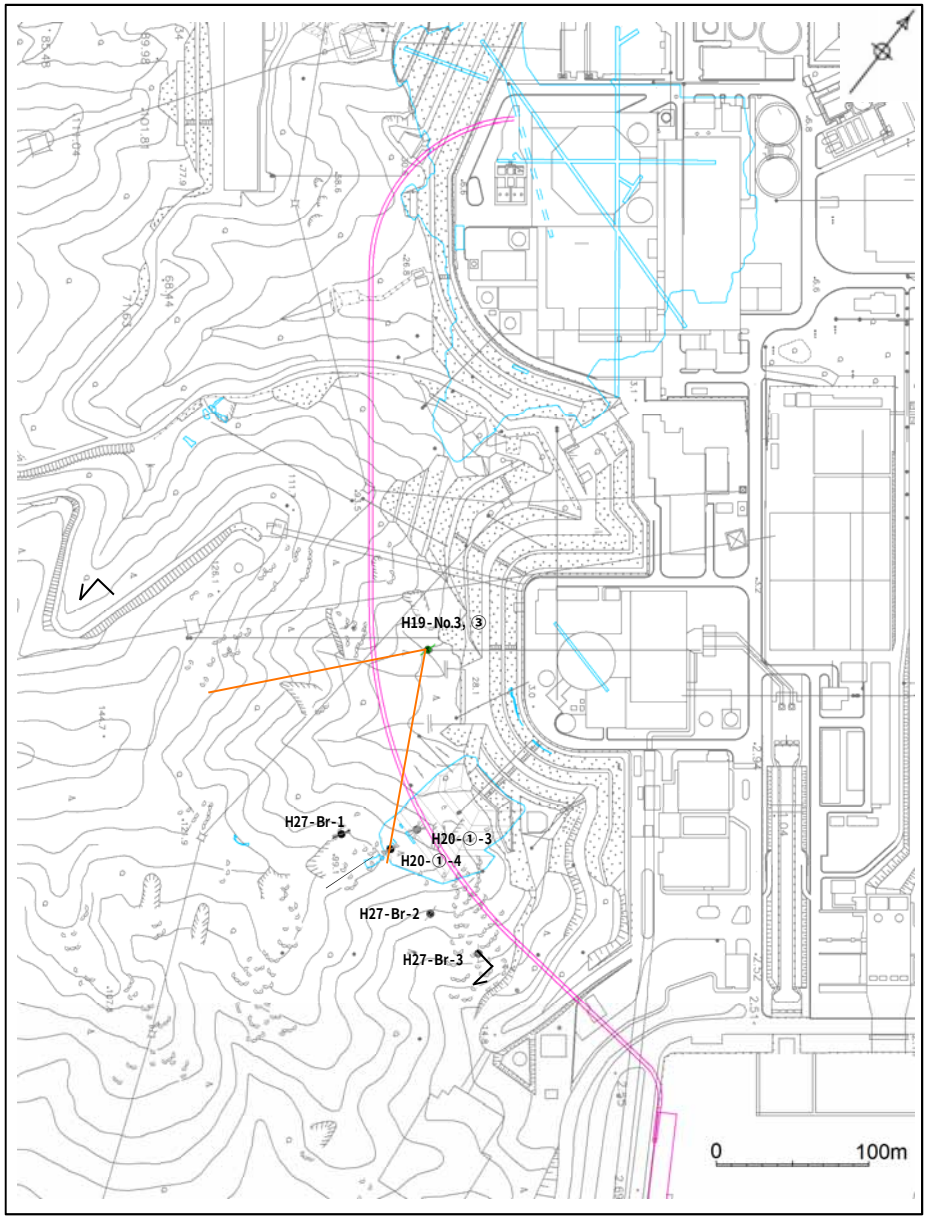
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.3，③)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

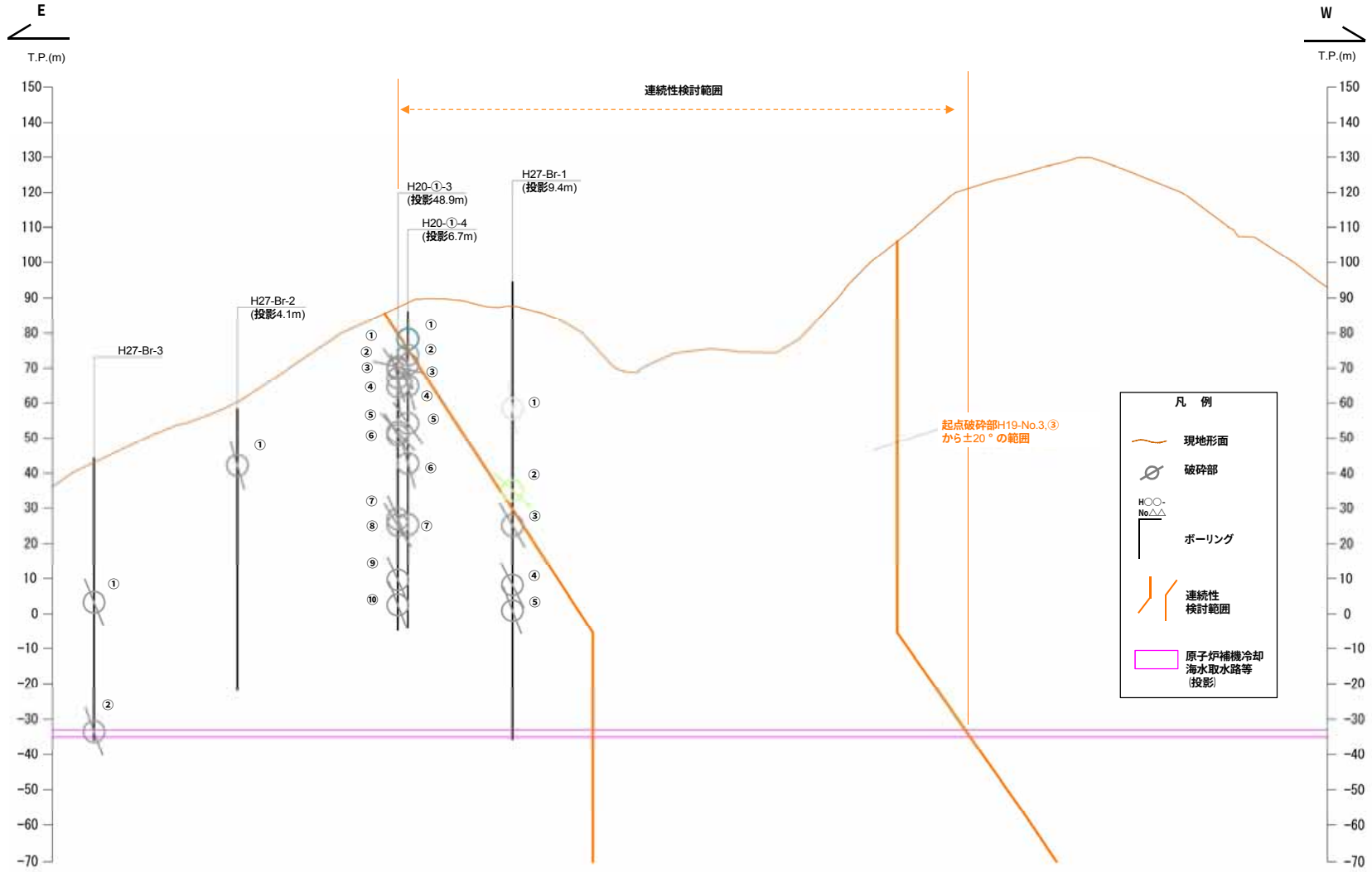
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.3，③)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.3，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No 3	-	-	③	42.75	42.81	N17E		77W		無	-	75L	-		f-2-10	参考2-125	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	1	81W	4	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	14	45W	32	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
		範囲外	③	67.63	70.76	N42E	25	64NW	13	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	17	65W	12	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	29	73W	4	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	17	74W	3	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	34	73NW	4	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	55	76SW	1	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	66	40N	37	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	6	55W	22	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	5	74W	3	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	6	85W	8	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	5	48W	29	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	43	64W	13	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	18	69W	8	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	21	61W	16	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	32	71N	6	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	23	72W	5	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	8	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
		範囲外	②	12.25	12.26	-	-	(64)	13	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12.70	15.25	N32E	15	80W	3	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	2	74W	3	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	11	55W	22	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	19	76W	1	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	11	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

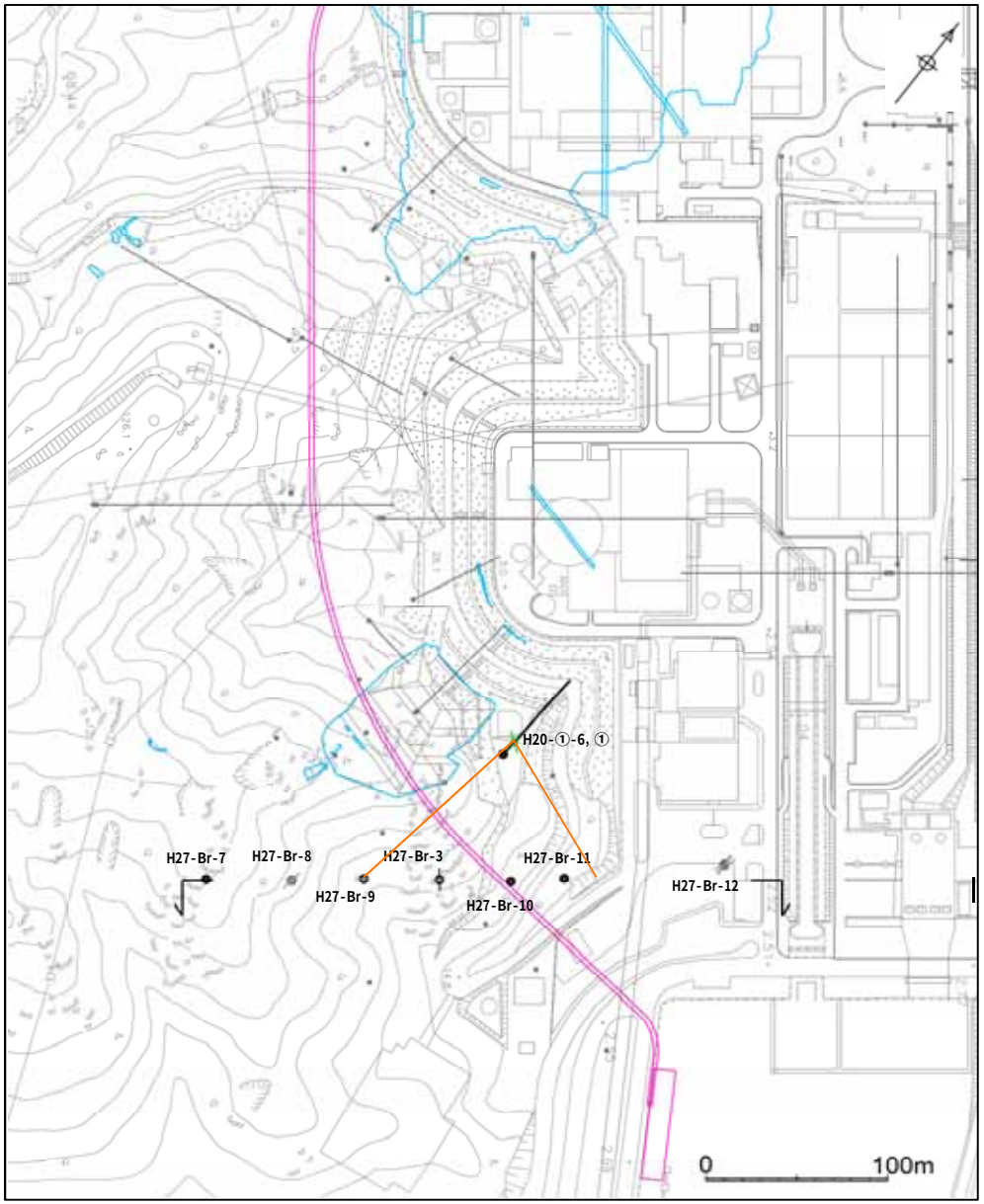
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-6，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

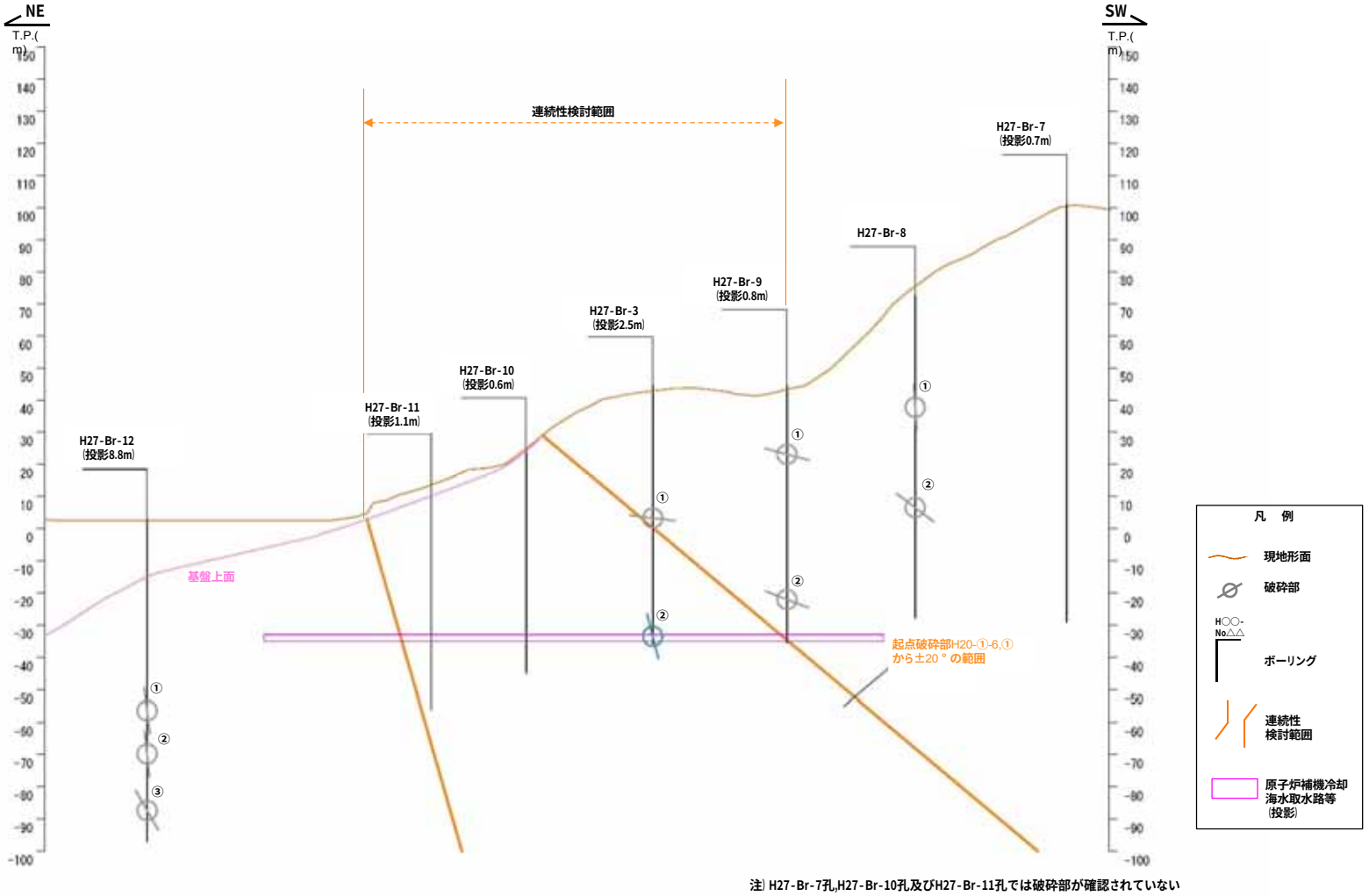
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-6，①)



注) H27-Br-7孔,H27-Br-10孔及びH27-Br-11孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-6，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス (N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ)	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-6	-	-	①	14.41	14.42	N53W		60S		無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
-	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	76	73NW	13	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
		範囲内	②	77.72	77.90	N38W	15	76SW	16	有	無	90	-	○	D-43	参考2-118	
	H27-Br-8	範囲外	①	32.97	34 58	N9E	62	77SW	17	有	有	70L	N		D-7	参考2-91	
			②	65.81	67 33	N23E	76	78SW	18	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-9		①	21.26	21 33	N45E	82	79SW	19	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	66.50	66 77	N48E	79	80SW	20	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-12		①	58.40	59 38	N7E	60	81SW	21	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72 72	N6W	47	82SW	22	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90 32	N31E	84	83SW	23	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

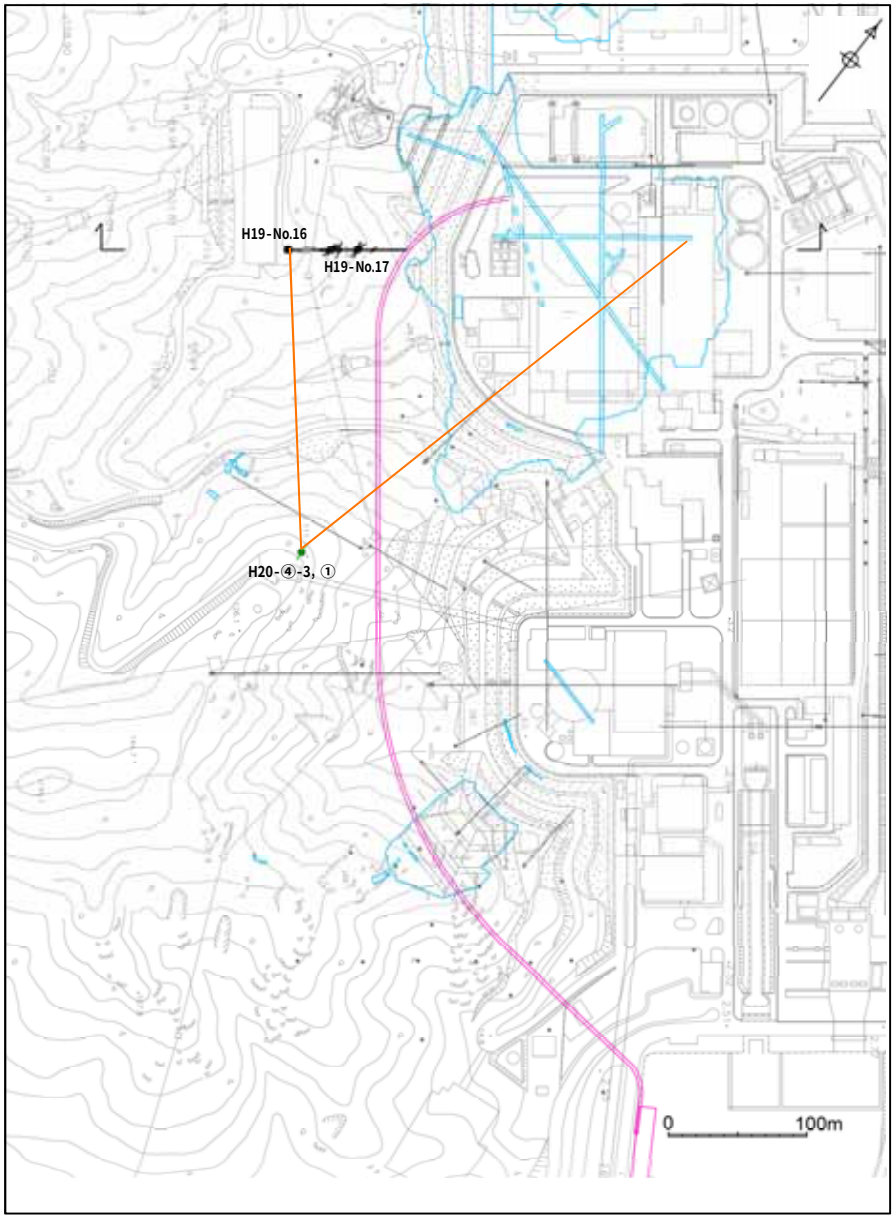
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-3，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

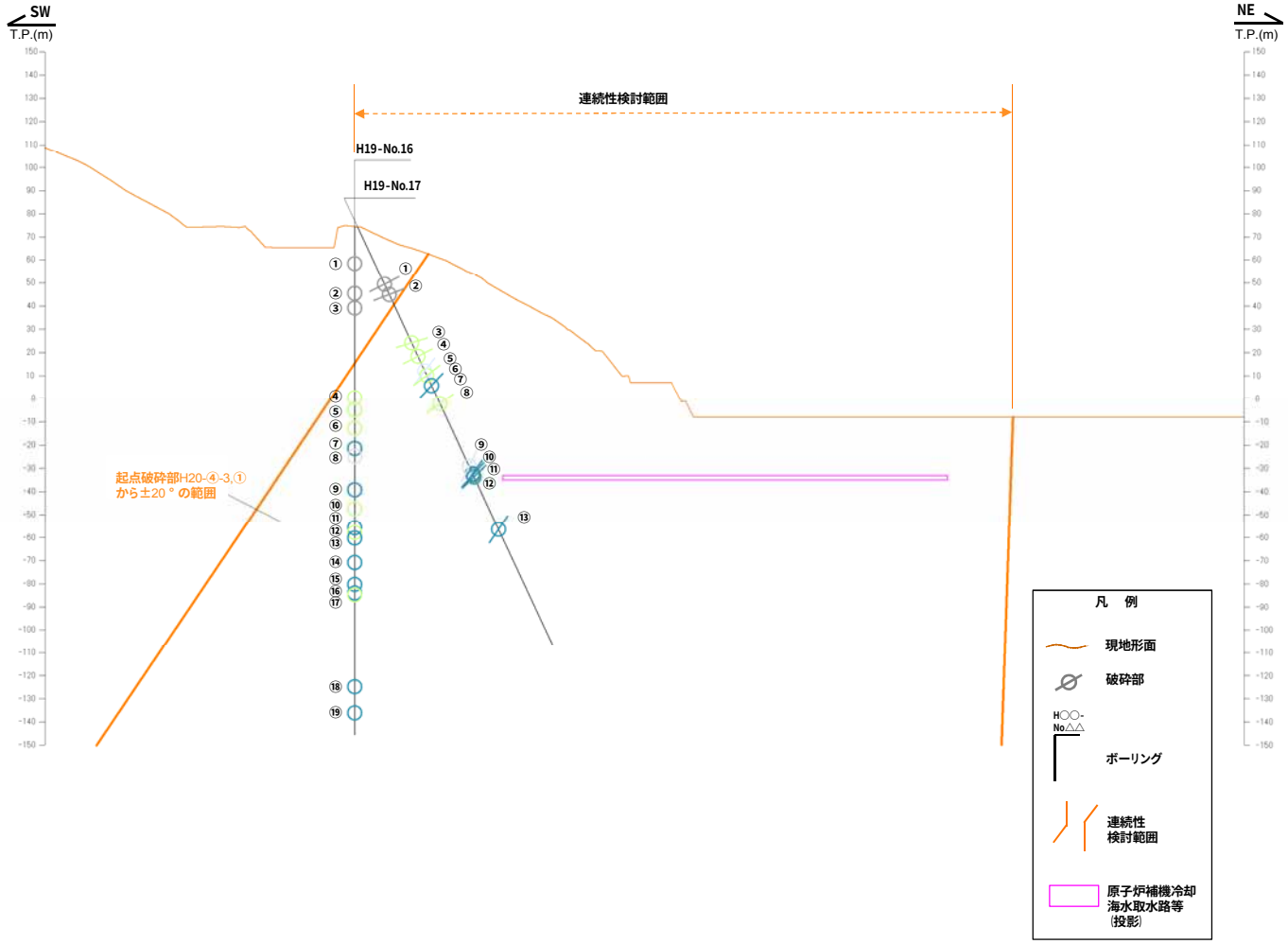
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-3，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-3，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	備考
H20-④-3	-	-	①	13.41	13.45	N5W		76W		無	-	70R	-		f-15-3	参考2-132	
-	H19-No.16	範囲外	①	16.01	17.82	-	-	(60)	16	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	13	無	-	-	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	16	有	有	-	-		f-17-2	参考2-132	
		範囲内	④	73.91	73.93	-	-	(41)	35	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	21	有	無	-	-		D-12	参考2-91	
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	32	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	16	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	6	有	有	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	113 66	113.77	-	-	(74)	2	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑩	121 85	122.21	-	-	(44)	32	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130 20	131.28	-	-	(57)	19	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	27	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133 70	136.00	-	-	(60)	16	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑭	145 25	145.35	-	-	(81)	5	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑮	154 74	154.81	-	-	(60)	16	無	-	-	-	×	D-16	参考2-93	※1
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	8	無	-	-	-	×	D-17	参考2-98	※1
			⑰	159 23	159.62	-	-	(55)	21	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
			⑱	199 22	200.00	-	-	(86)	10	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑲	210 70	210.71	-	-	(84)	8	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
	H19-No.17	範囲外	①	27.65	27.73	N34E	39	57W	19	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	40	51W	25	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
		範囲内	③	55.45	55.46	N39E	44	52W	24	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	33	50W	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	15	62W	14	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	23	53W	23	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	19	77W	1	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	14	36W	40	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114 31	115.63	N8W	3	67W	9	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117 77	117.79	N11W	6	57W	19	有	無	81R	-	×	D-16	参考2-93	※1
			⑪	118 22	118.25	N11E	16	59W	17	有	無	87R	-	×	D-17	参考2-98	※1
			⑫	118 66	119.29	N14E	19	57W	19	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144 35	144.37	N10E	15	65W	11	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

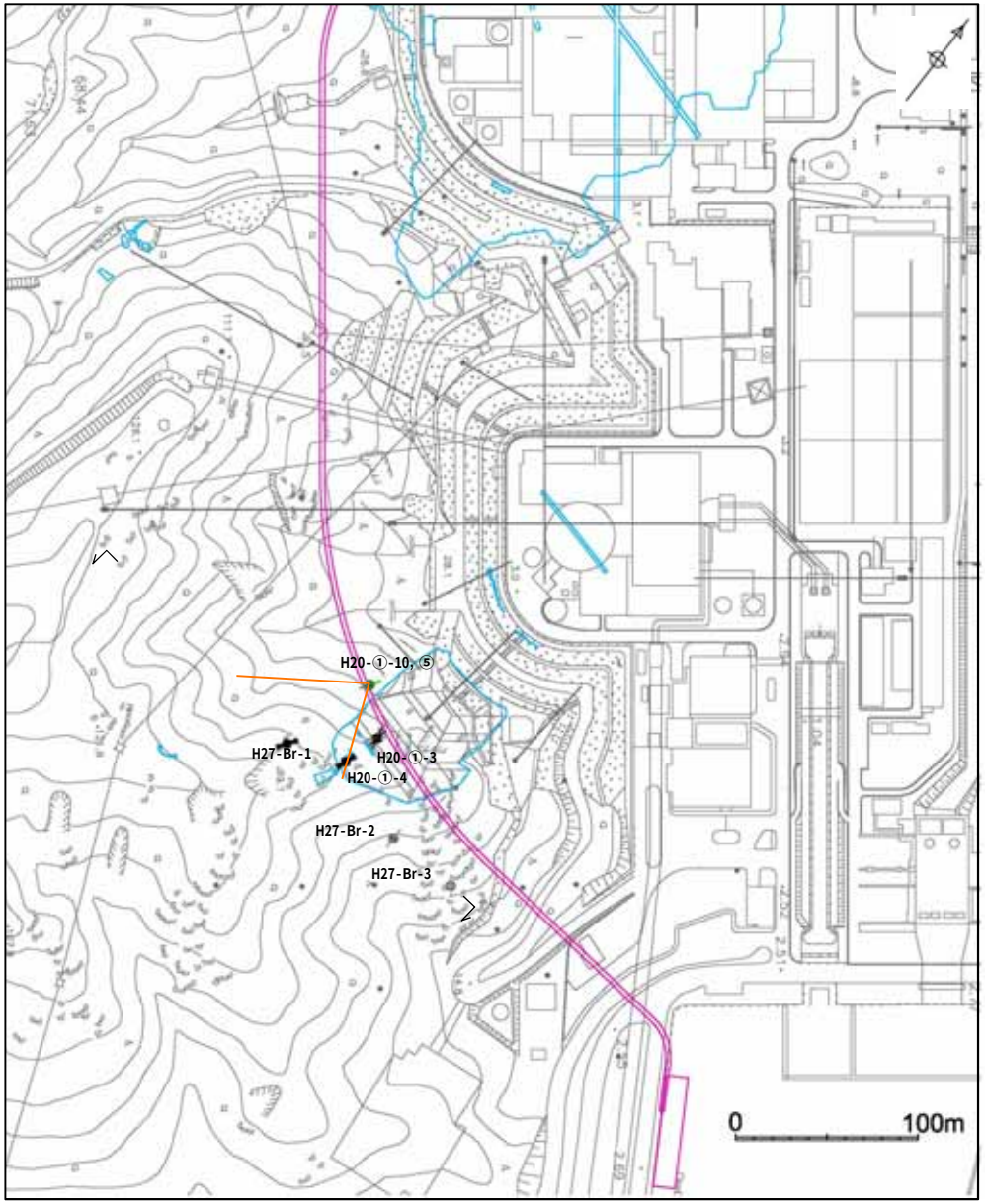
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-10，⑤)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

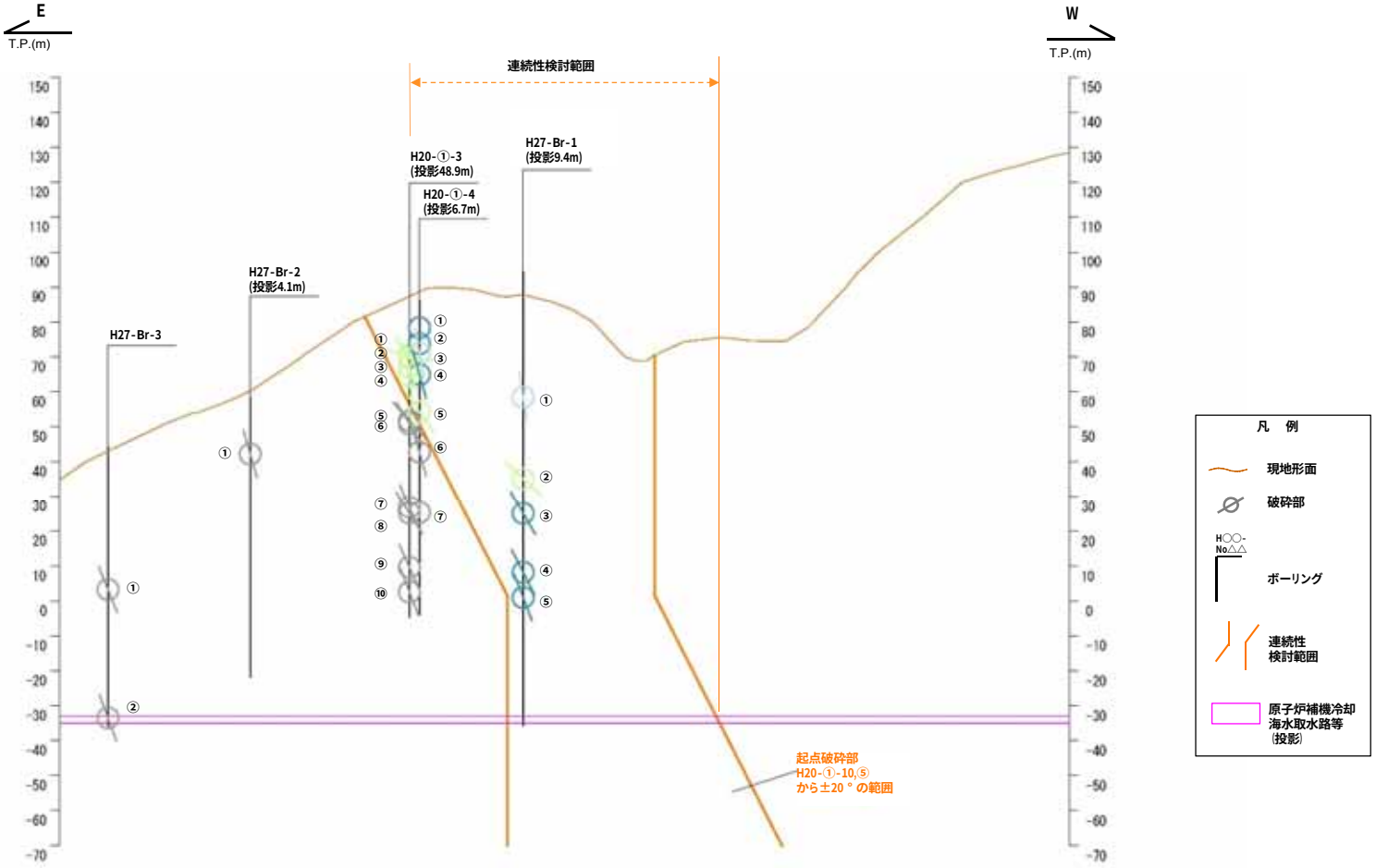
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-10，⑤)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-10，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-10	-	-	⑤	55.99	56 05	N34E		83W		有	無	5L	-		D-46	参考2-119	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	18	81W	2	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59 27	N31E	3	45W	38	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70 76	N42E	8	64NW	19	有	有	45L	N,RL	×	f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87 85	N34E	0	65W	18	有	有	20L	RL	×	f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	12	73W	10	有	有	20R	RL	×	f-br-1-5	参考2-176	※4
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	34	74W	9	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	17	73NW	10	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	72	76SW	7	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	49	40N	43	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	23	55W	28	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	22	74W	9	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	45	85W	2	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
		範囲外	⑤	23.28	23 62	N12E	22	48W	35	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25 00	N26W	60	64W	19	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48 24	N35E	1	69W	14	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	4	61W	22	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65 89	N49E	15	71N	12	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72 66	N40E	6	72W	11	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	2	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12 26	-	-	(64)	19	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※4
			③	12.70	15 25	N32E	2	80W	3	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	15	74W	9	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31 87	N6E	28	55W	28	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
		範囲外	⑥	41.41	43 24	N36E	2	76W	7	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60 67	-	-	(66)	17	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

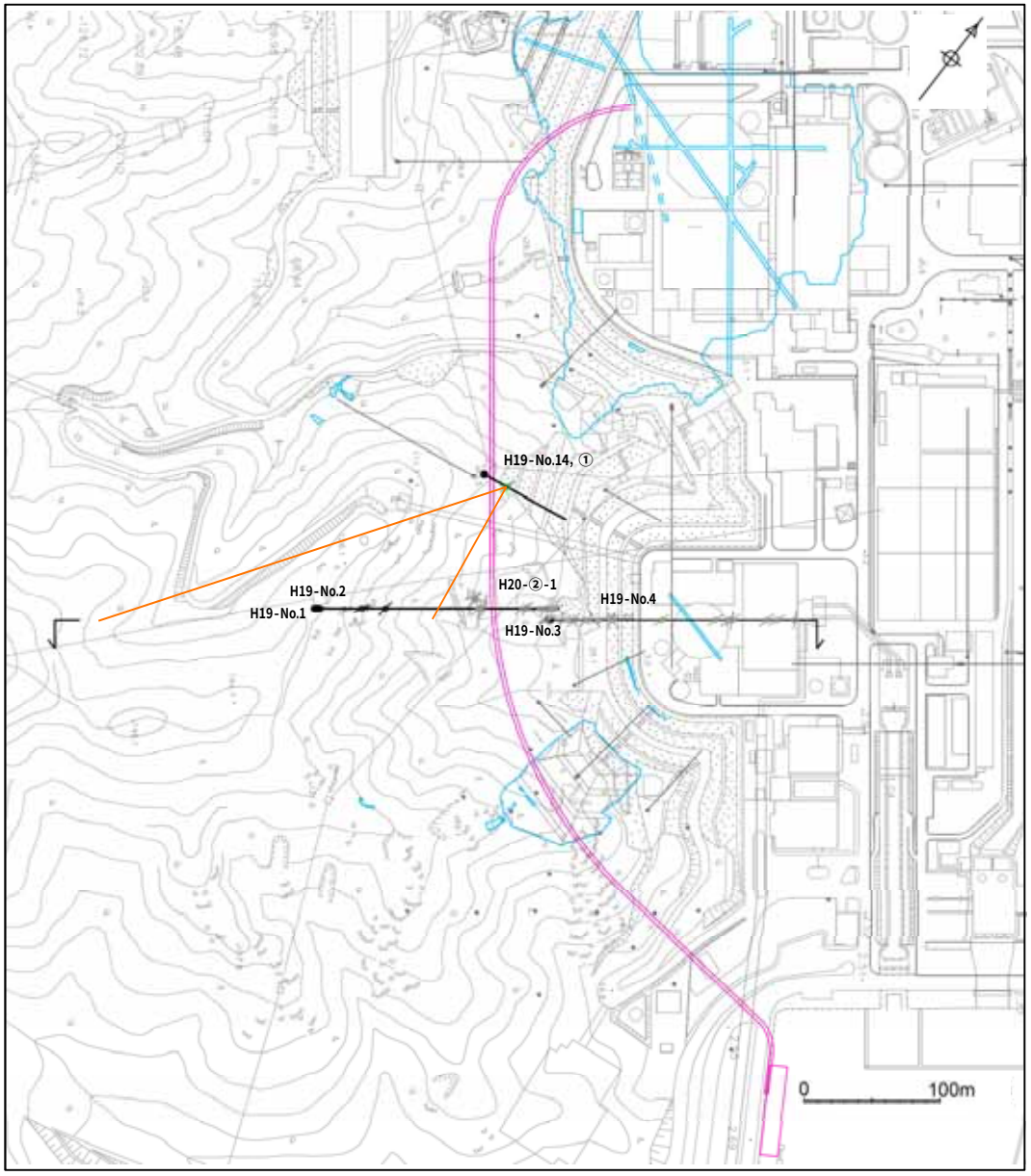
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

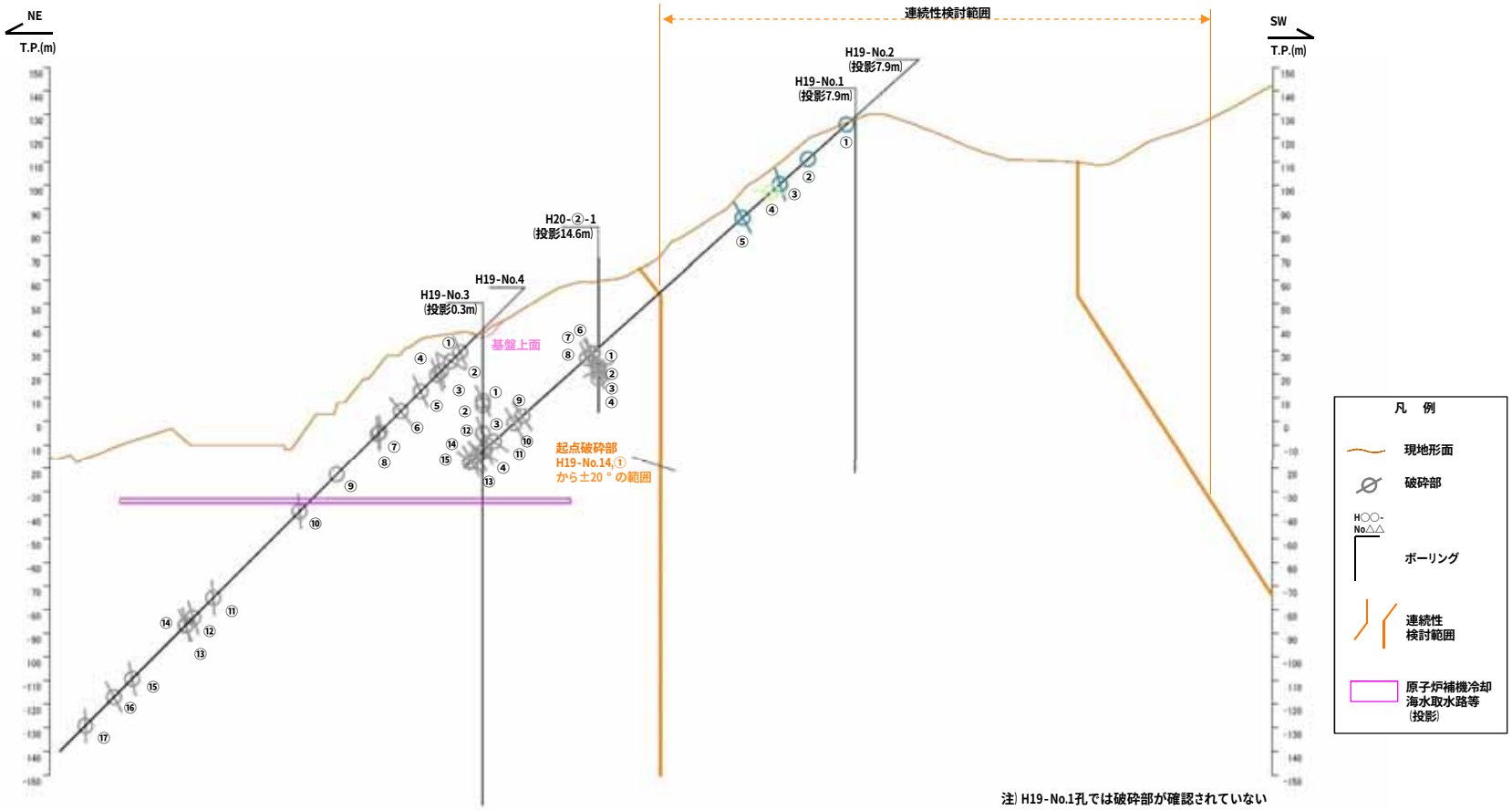
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，①)



注）H19-No.1孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.14	-	-	①	40.56	40.57	N11E		77W		無	-	5L	-		f-14-1	参考2-131	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	×	f-15-2	参考2-131	※4
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※4
			③	39.83	39.88	N25E	14	82W	5	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	29	26W	51	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	4	68W	9	無	-	43L	-	○	f-14-1	参考2-131	
		範囲外	⑥	146.29	146.32	N7E	4	64W	13	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	42	70W	7	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	10	72W	5	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	10	70W	7	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	9	66W	11	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	21	64W	13	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	11	66W	11	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	17	63W	14	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	20	64W	13	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	15	61W	16	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	14	60W	17	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	52	71S	6	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	63	71SW	6	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	12	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	21	80W	3	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	14	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	6	77W	0	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	26	67W	10	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	15	70W	7	有	無	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	24	62W	15	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	8	79W	2	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	18	73W	4	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	1	73W	4	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	18	72W	5	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	21	89W	12	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	82	86N	17	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	5	87W	10	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	4	87W	10	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	2	78W	1	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	40	78W	1	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	3	76W	1	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	2	83W	6	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	9	74W	3	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	39	88W	11	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

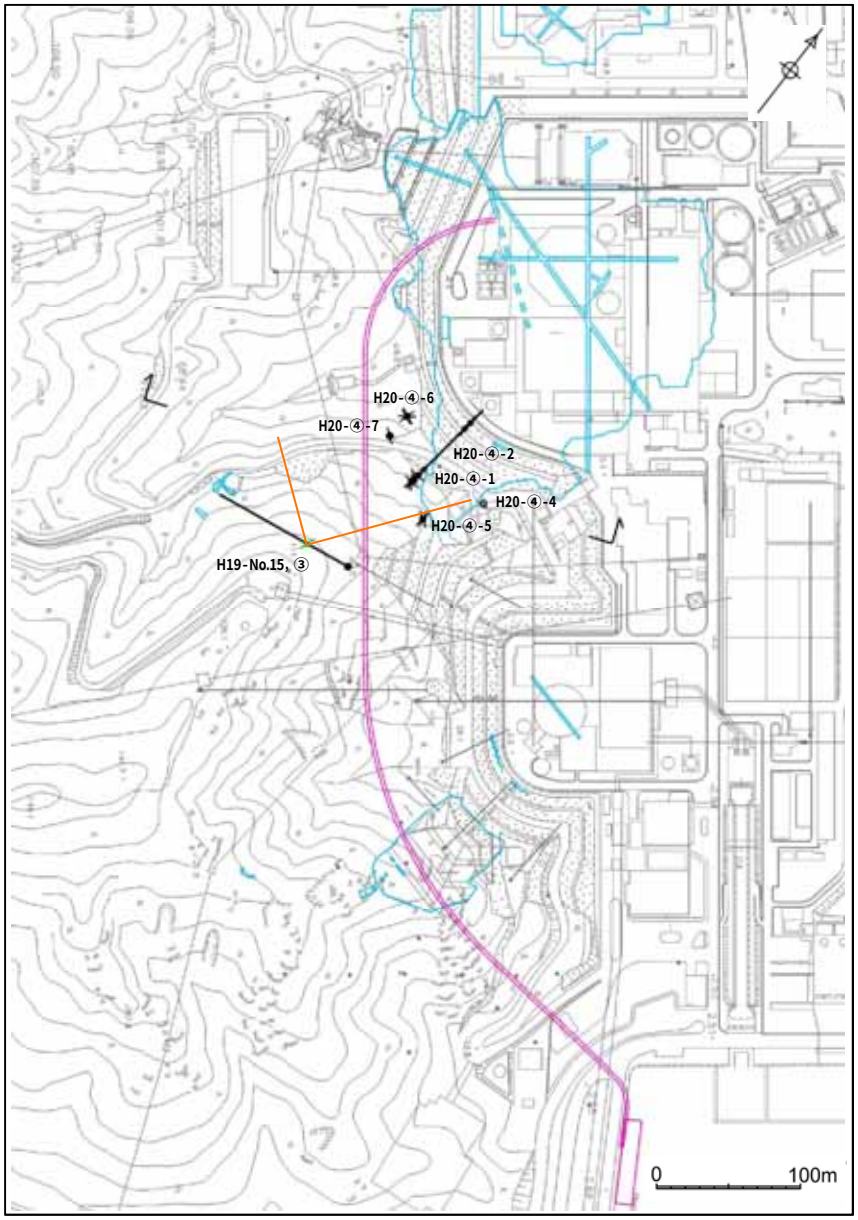
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，③)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

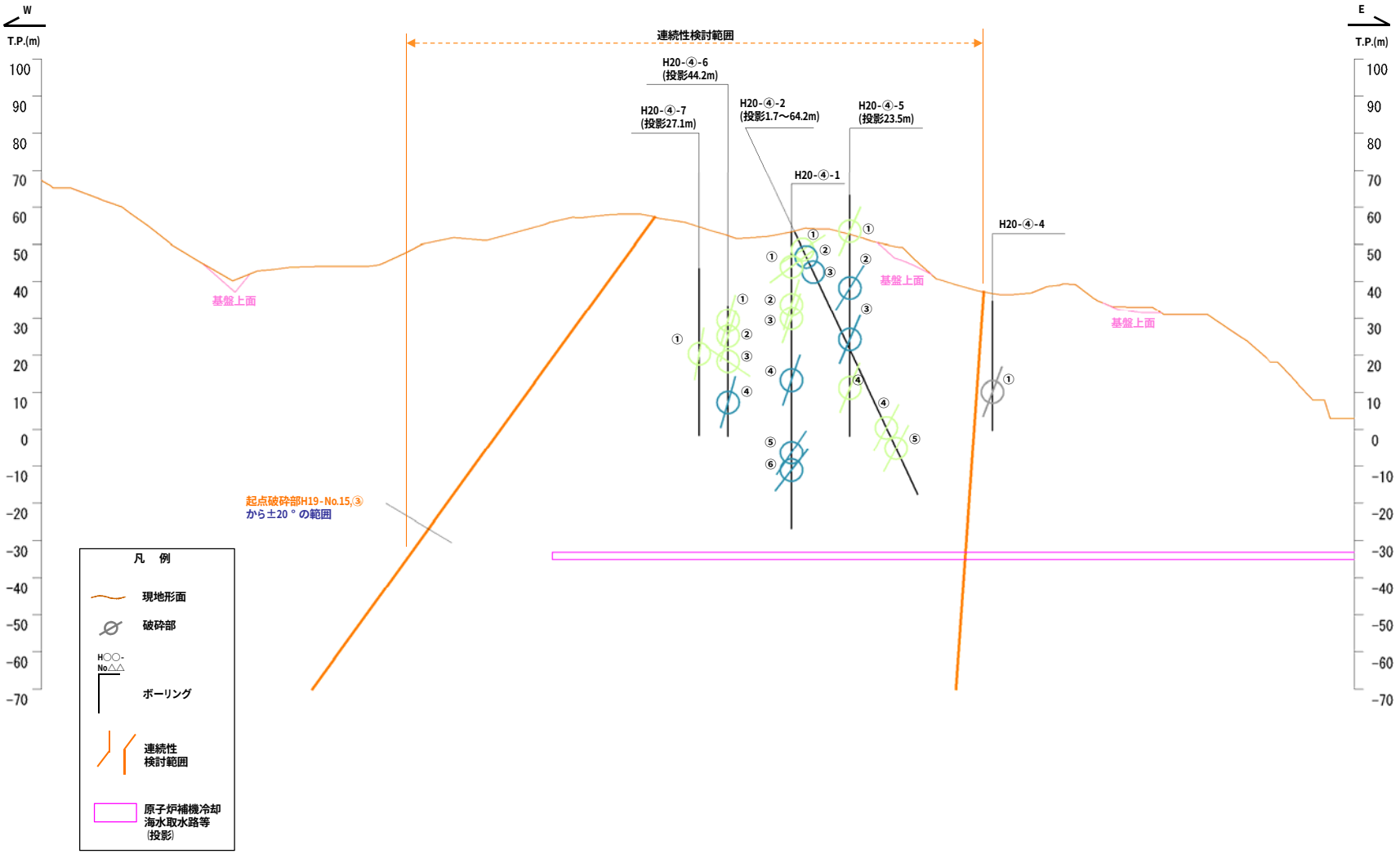
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，③)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.15	-	-	③	46.92	46.93	N20E		74W		無	-	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
-	H20-④-1	範囲内	①	9.33	9.61	N82W	78	45S	29	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-143	
			②	18.03	21 78	N31W	51	73W	1	有	無	65L	N,RL		D-20	参考2-100	
			③	23.27	23 31	N8W	28	73W	1	有	有	47L	N,RL		f-④-1-2	参考2-141	
			④	39.78	39.98	N11E	9	78W	4	無	-	75L	-	×	f-④-1-3	参考2-141	※1
			⑤	58.87	59 39	N17E	3	70W	4	有	無	45R	-		f-④-1-4	参考2-142	
			⑥	63.91	64.44	N19E	1	68W	6	有	無	80L	-	×	D-21	参考2-102	
	H20-④-2		①	6.00	6.12	N86W	74	42S	32	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
			②	6.90	8.90	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-20	参考2-100	
			③	14.63	14 66	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-④-1-2	参考2-141	※1
			④	74.45	74 50	N4W	24	67W	7	無	-	-	-		f-④-1-3	参考2-141	
			⑤	82.34	82.41	N4W	24	67W	7	無	-	5L	-		f-④-2-3	参考2-142	
	H20-④-4	範囲外	①	24.56	24 59	N4E	16	71W	3	有	無	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-④-5	範囲内	①	7.85	9.71	N56W	76	70S	4	有	有	40L	-		D-20	参考2-100	
			②	24.96	25.12	N11E	9	62W	12	有	無	90	-	×	D-21	参考2-102	
			③	38.73	38 74	N9E	11	70W	4	有	無	10L	-		f-④-9-1	参考2-143	
			④	51.86	52.16	N11W	31	68W	6	有	有	30L	-		f-④-5-3	参考2-143	
	H20-④-6		①	3.76	4.09	N60W	80	78S	4	有	無	20R	-		f-④-6-1	参考2-143	
			②	7.94	9.00	N71W	89	79S	5	有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-144	
			③	14.94	14.98	N55E	35	69S	37	有	有	36R	N,LL		f-④-6-3	参考2-144	
			④	25.70	25 80	N18E	2	77W	3	有	無	90	-	×	f-④-6-4	参考2-144	※4
	H20-④-7		①	22.75	23 53	N53W	73	80S	6	有	有	80L	-		f-④-7-1	参考2-144	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

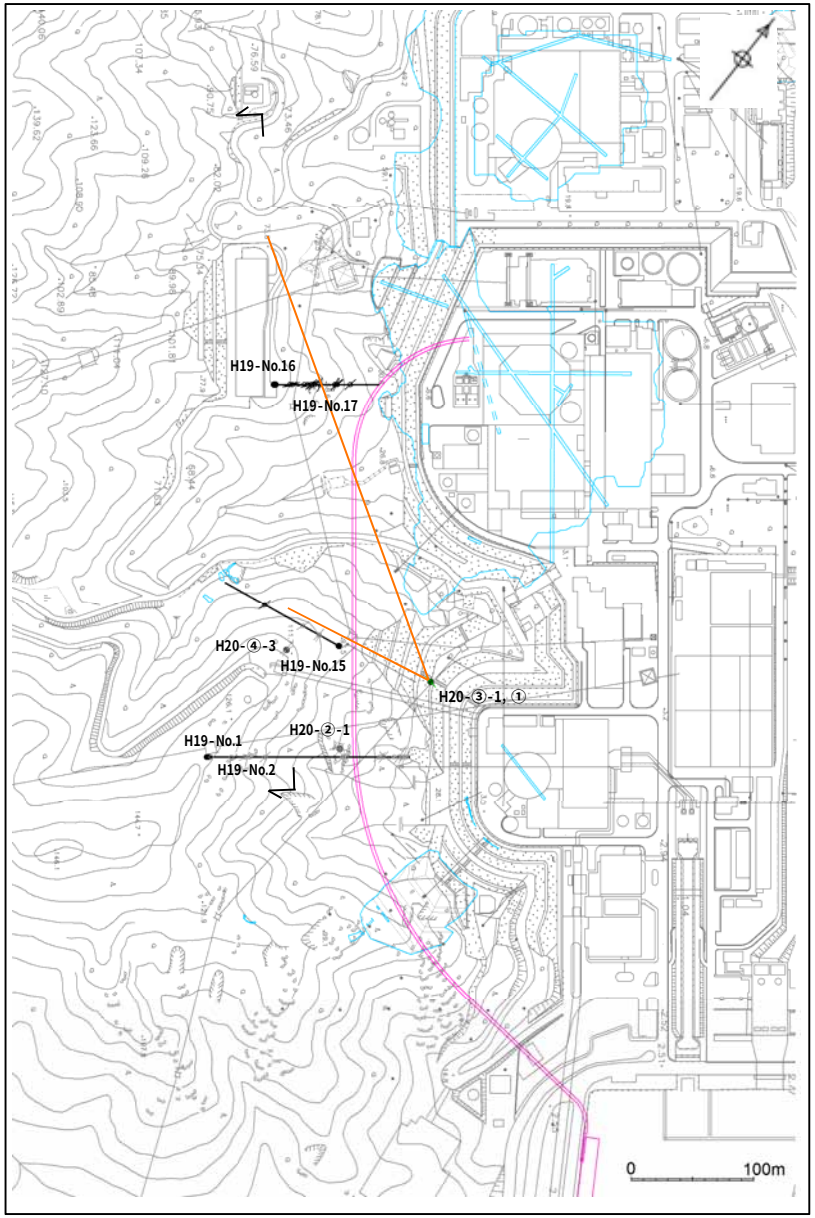
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

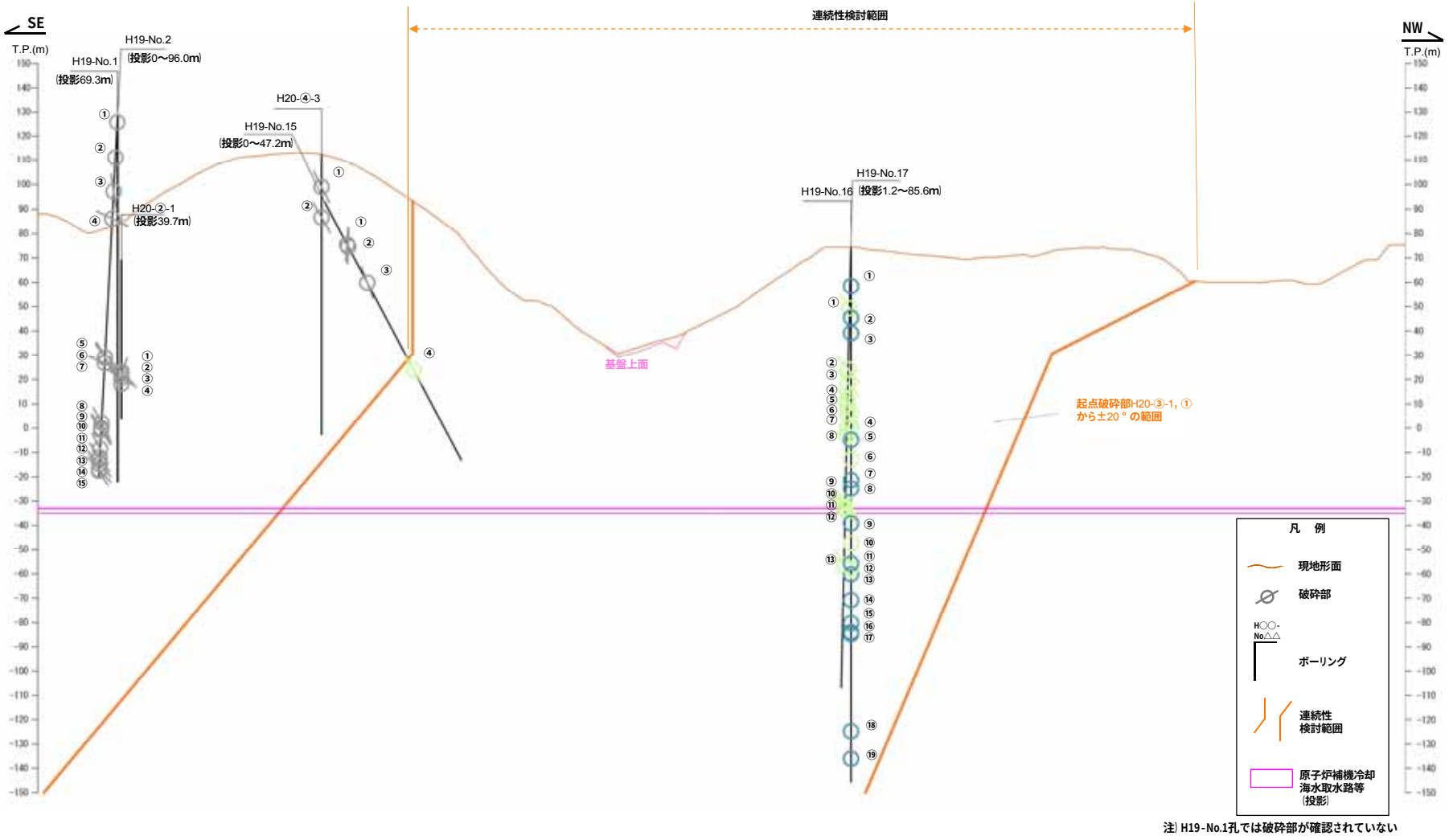
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，①)



注）H19-No.1孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-③-1	-	-	①	8.18	8.22	N79W		73S		無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
-	H19-No.16	範囲内	①	16.01	17.82	-	-	(60)	13	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	10	無	-	-	-	×	f-⑥-3-2	参考2-147	※1
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	13	無	-	-	-	×	f-17-2	参考2-132	※1
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	32	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	18	有	無	-	-	×	D-12	参考2-91	※1
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	29	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	13	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	3	無	-	-	-	×	D-47	参考2-120	※1
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	1	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	29	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	16	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	24	有	有	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	13	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	8	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	13	無	-	-	-	×	D-16	参考2-93	※1
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	5	無	-	-	-	×	D-17	参考2-98	※1
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	18	無	-	-	-	×	D-18	参考2-98	※1
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	13	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	11	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
	H19-No.17		①	27.65	27.73	N34E	67	57W	16	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	66	51W	22	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
			③	55.45	55.46	N39E	62	52W	21	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	73	50W	23	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	89	62W	11	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	83	53W	20	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	87	77W	4	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	60	36W	37	無	-	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	71	67W	6	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	68	57W	16	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118.25	N11E	90	59W	14	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119.29	N14E	87	57W	16	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	89	65W	8	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	72	88E	19	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	85	89E	18	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	81	74W	1	無	-	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
		範囲内	④	97.82	97.85	N17E	84	64W	9	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	76	82W	9	無	-	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	61	26W	47	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	86	68W	5	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	86	64W	9	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	48	70W	3	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N2W	77	72W	1	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N15E	86	61W	12	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	81	66W	7	無	-	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	69	64W	9	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	79	66W	7	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	73	63W	10	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	70	64W	9	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	75	61W	12	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	76	60W	13	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	38	71S	2	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	27	71SW	2	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	8	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H20-④-3		①	13.41	13.45	N5W	74	76W	32	無	-	70R	-		f-15-3	参考2-132	
			②	25.81	25.85	N23E	78	64W	20	有	無	50L	N,RL		f-④-3-1	参考2-143	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

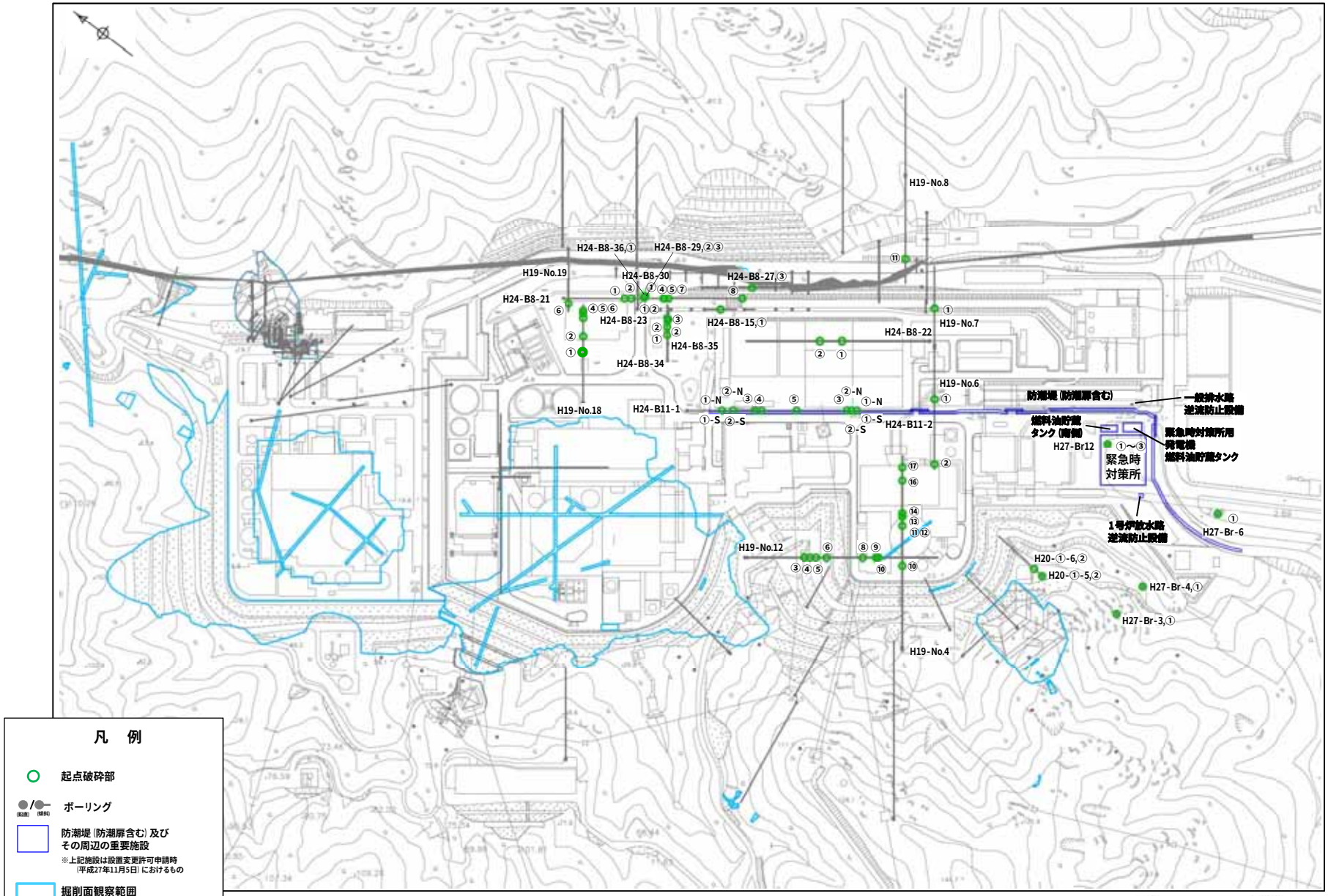
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

余白

5　防潮堤（防潮扉含む）及びその周辺の重要施設

連続性評価の具体的プロセス（防潮堤（防潮扉含む）及びその周辺の重要施設）

・重要施設のうち，防潮堤（防潮扉含む）及びその周辺の重要施設の近傍に分布する下記の破砕部の連続性評価のプロセスを示す。



防潮堤（防潮扉含む）及びその周辺の重要施設の近傍に分布する破砕部

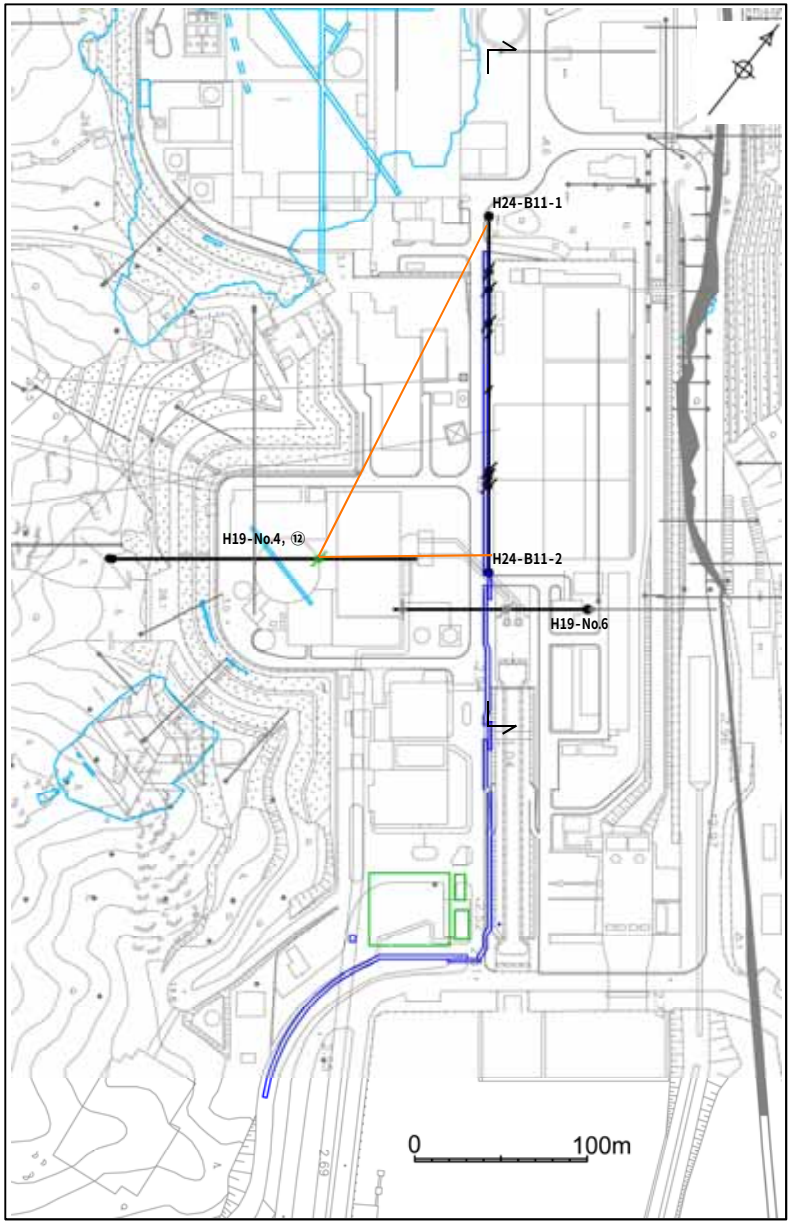
連続性評価の具体的プロセス（防潮堤（防潮扉含む）及びその周辺の重要施設：起点破砕部リスト）

No.	起点		破砕帯名	ページ
	名称	番号		
1	H19-No.4	⑫	D-6	参考1-443
2	H19-No.4	⑩	D-5	参考1-447
3	H24-B11-2	③	D-6	参考1-451
4	H19-No.4	⑰	f-6-2	参考1-455
5	H19-No.6	②	f-6-2	参考1-463
6	H24-B8-15	①	非モデル化	参考1-467
7	H24-B11-1	④	非モデル化	参考1-471
8	H19-No.7	①	D-24	参考1-475
9	H24-B8-34	①	非モデル化	参考1-483
10	H24-B8-36	①	非モデル化	参考1-491
11	H24-B8-21	⑤	非モデル化	参考1-495
12	H24-B11-2	②-S	f-B11-2-2	参考1-499
13	H24-B11-2	②-N	f-B11-2-2	参考1-503
14	H24-B8-21	⑦	非モデル化	参考1-507
15	H24-B8-29	②	非モデル化	参考1-511
16	H27-Br-4	①	非モデル化	参考1-515
17	H27-Br-6	①	f-br-6-1	参考1-519
18	H24-B8-23	②	非モデル化	参考1-523
19	H24-B8-30	①	非モデル化	参考1-527
20	H24-B11-1	②-S	D-39	参考1-531
21	H24-B11-1	②-N	D-39	参考1-535
22	H19-No.12	⑩	D-5	参考1-539
23	H24-B8-27	③	非モデル化	参考1-543
24	H24-B8-22	①	D-38	参考1-551
25	H19-No.12	⑤	f-12-4	参考1-555
26	H19-No.19	⑥	f-19-6	参考1-563
27	H24-B8-21	①	f-B8-21-1	参考1-567
28	H24-B8-35	③	非モデル化	参考1-571
29	H27-Br-3	①	非モデル化	参考1-579
30	H20-①-5	②	非モデル化	参考1-583
31	H24-B8-22	②	D-7	参考1-591
32	H27-Br-12	③	f-br-12-3	参考1-595
33	H20-①-6	②	非モデル化	参考1-599
34	H24-B8-23	①	D-36	参考1-607
35	H19-No.18	②	f-18-2	参考1-611

No.	起点		破砕帯名	ページ
	名称	番号		
36	H24-B8-21	④	非モデル化	参考1-615
37	H19-No.12	⑥	D-4	参考1-619
38	H27-Br-12	①	f-br-12-1	参考1-627
39	H19-No.18	⑤	非モデル化	参考1-631
40	H27-Br-12	②	f-br-12-2	参考1-635
41	H19-No.12	⑨	f-12-8	参考1-639
42	H19-No.4	⑪	f-12-10	参考1-643
43	H24-B11-1	⑤	非モデル化	参考1-647
44	H24-B8-34	②	f-B8-34-2	参考1-651
45	H19-No.8	⑪	f-8-11	参考1-655
46	H24-B11-1	③	D-5	参考1-663
47	H24-B8-21	⑧	D-37	参考1-667
48	H24-B8-21	②	f-B8-21-2	参考1-671
49	H19-No.12	⑧	f-12-7	参考1-675
50	H19-No.12	③	f-13-3	参考1-679
51	H24-B11-1	①-S	f-B11-1-1	参考1-687
52	H24-B11-1	①-N	f-B11-1-1	参考1-691
53	H19-No.12	④	f-12-3	参考1-699
54	H24-B8-29	③	非モデル化	参考1-703
55	H24-B8-35	②	非モデル化	参考1-707
56	H19-No.18	④	非モデル化	参考1-715
57	H19-No.18	⑥	非モデル化	参考1-719
58	H19-No.6	①	D-38	参考1-723
59	H19-No.4	⑬	f-4-9	参考1-731
60	H19-No.4	⑭	f-4-10	参考1-739
61	H19-No.4	⑯	f-4-12	参考1-743
62	H24-B11-2	①-S	D-7	参考1-747
63	H24-B11-2	①-N	D-7	参考1-751

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑫)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

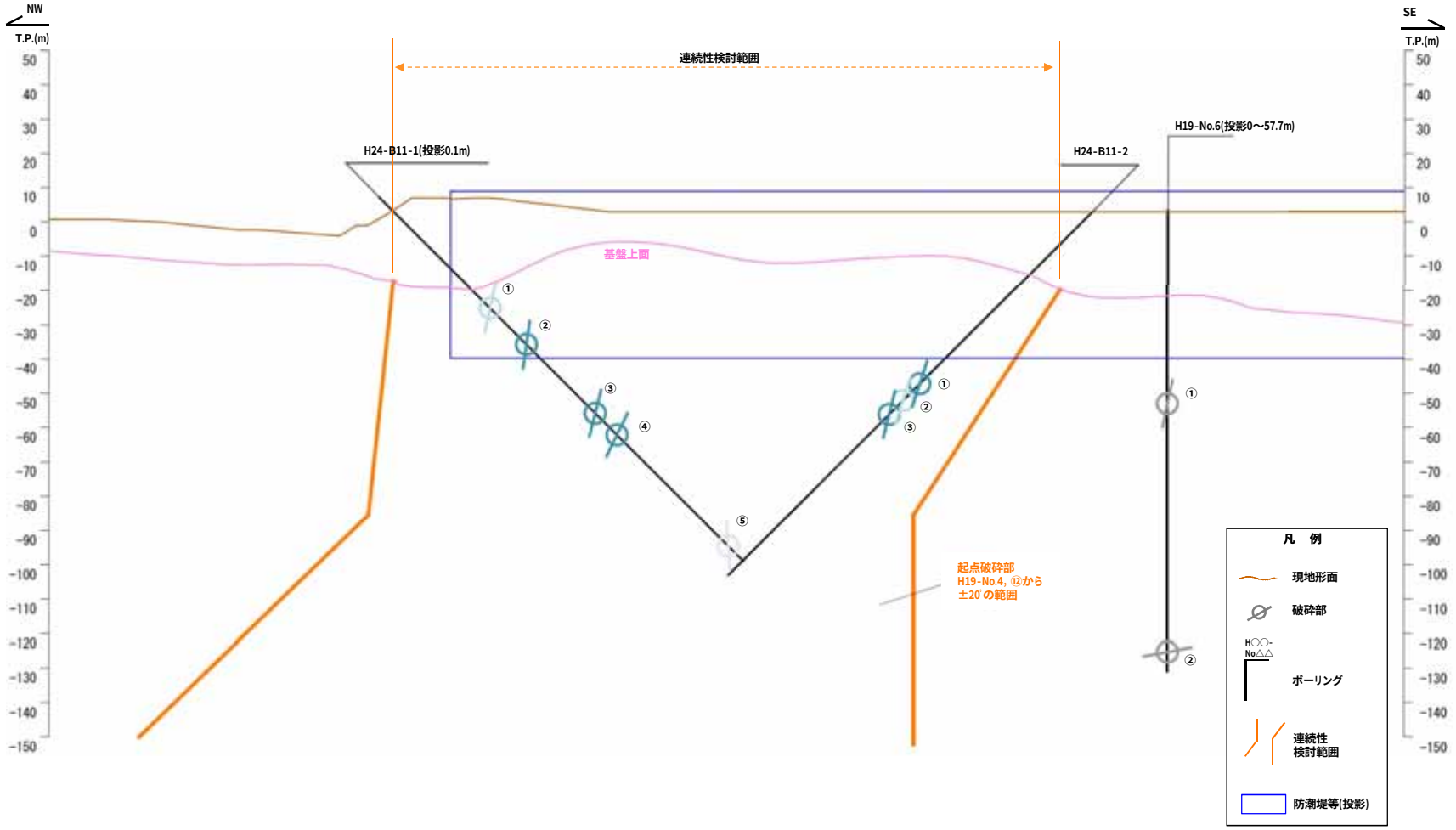
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑫)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°程度の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°程度の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°程度以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°程度の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°程度以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°程度の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°程度以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°程度の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°程度以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°程度の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°程度以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°程度の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°程度以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑫)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑫	171 69	174.88	N9E		78W		有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45 58	45 63	N8W	17	84W	6	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60 36	60 60	N8E	1	84W	6	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※2
			③	88.93	88.97	N4E	5	81W	3	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	※2
			④	97 87	99 00	N4E	5	72W	6	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	※3
			⑤	143 67	143.77	N8E	1	87E	15	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71 21	71 24	N12E	3	76W	2	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	9	79W	1	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80 50	83.93	N9E	0	80W	2	有	有	-	N,RL	○	D-6	参考2-56	
	H19-No 6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	3	82W	4	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167 53	168.54	N41W	50	69W	9	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

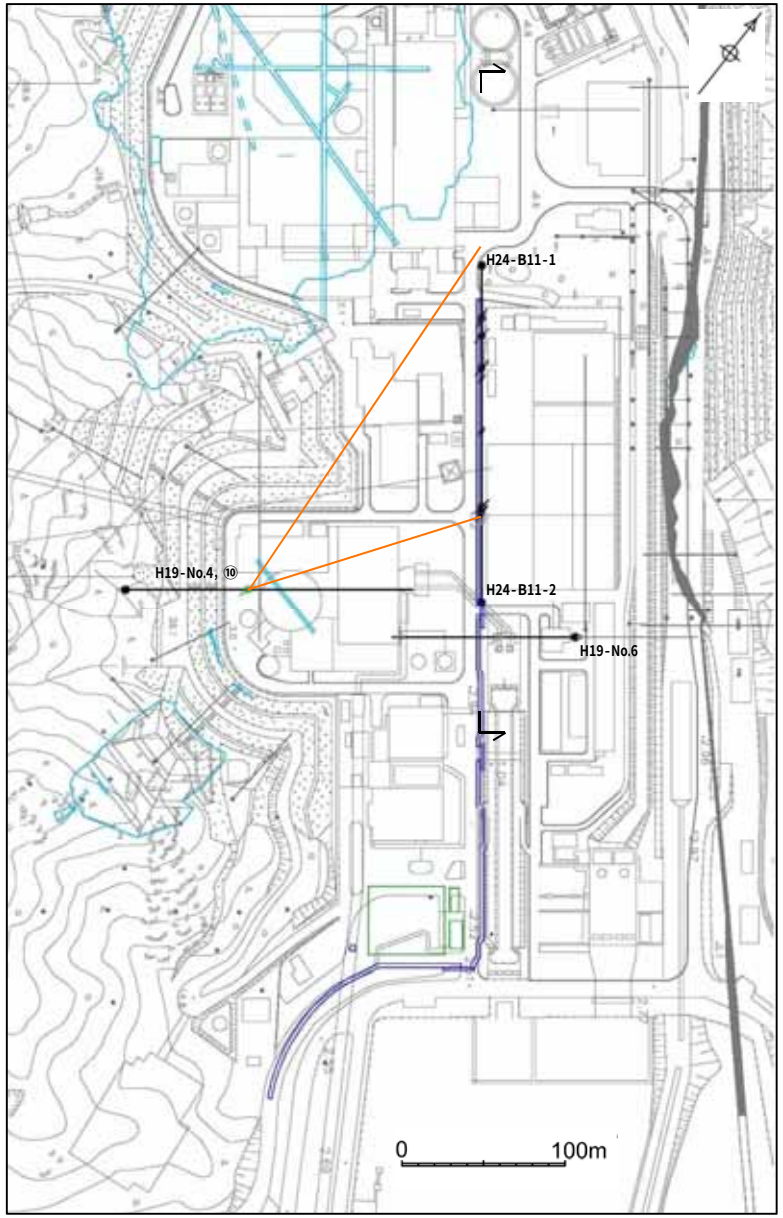
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑩)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

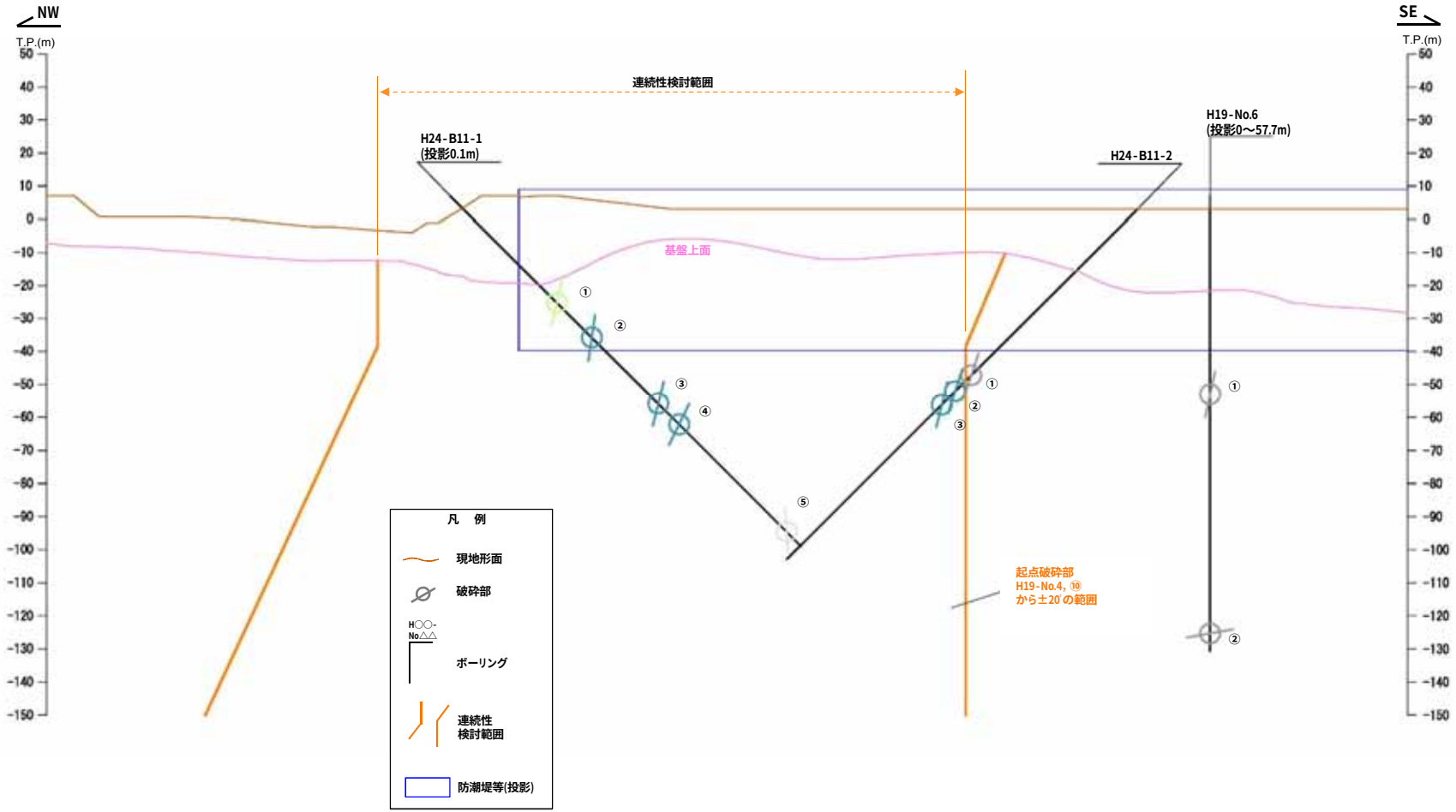
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑩)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑩)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑩	107.54	109.94	N16E		87W		有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	24	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	8	84W	3	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	12	81W	6	有	有	60L	N,RL	○	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	12	72W	15	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	8	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	4	76W	11	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
		範囲内	②	77.48	78.10	NS	16	79W	8	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	※1
			③	80.50	83.93	N9E	7	80W	7	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	10	82W	5	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	57	69W	18	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

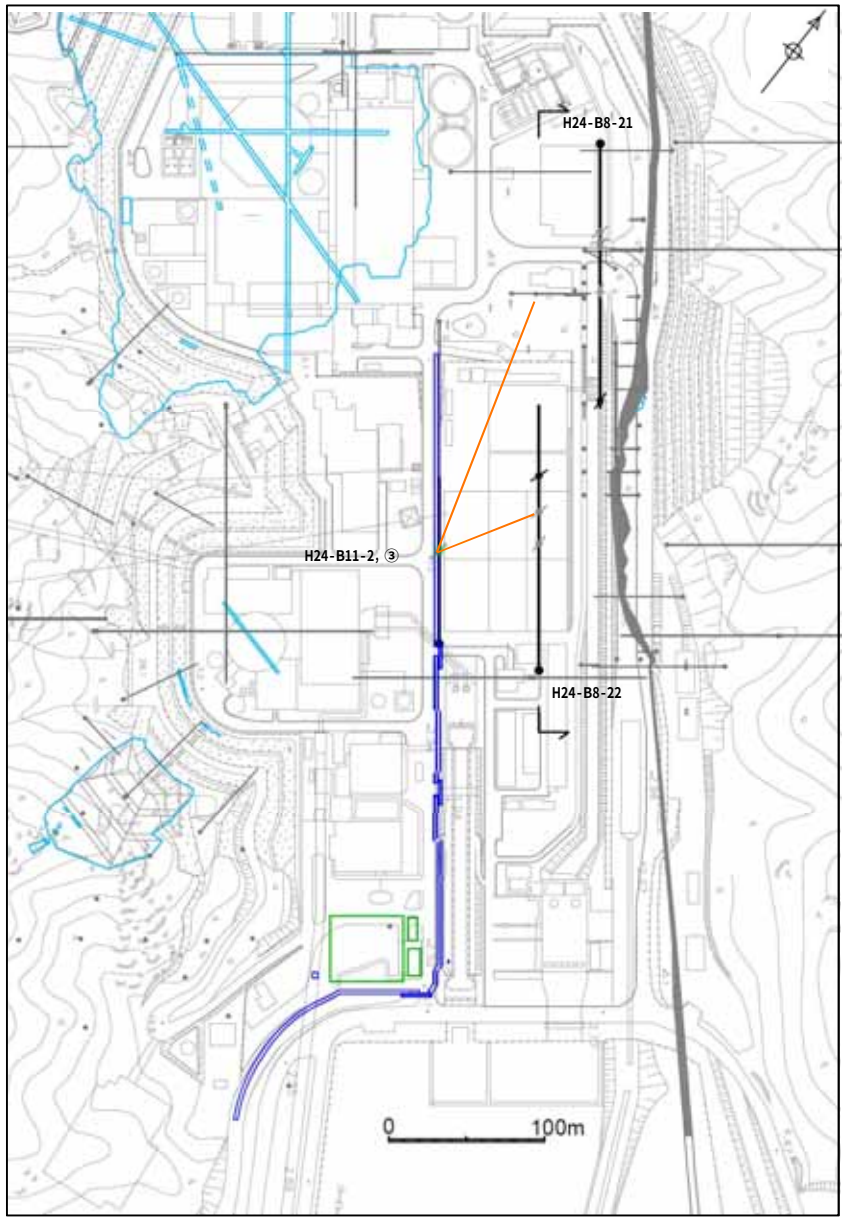
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-2，③)



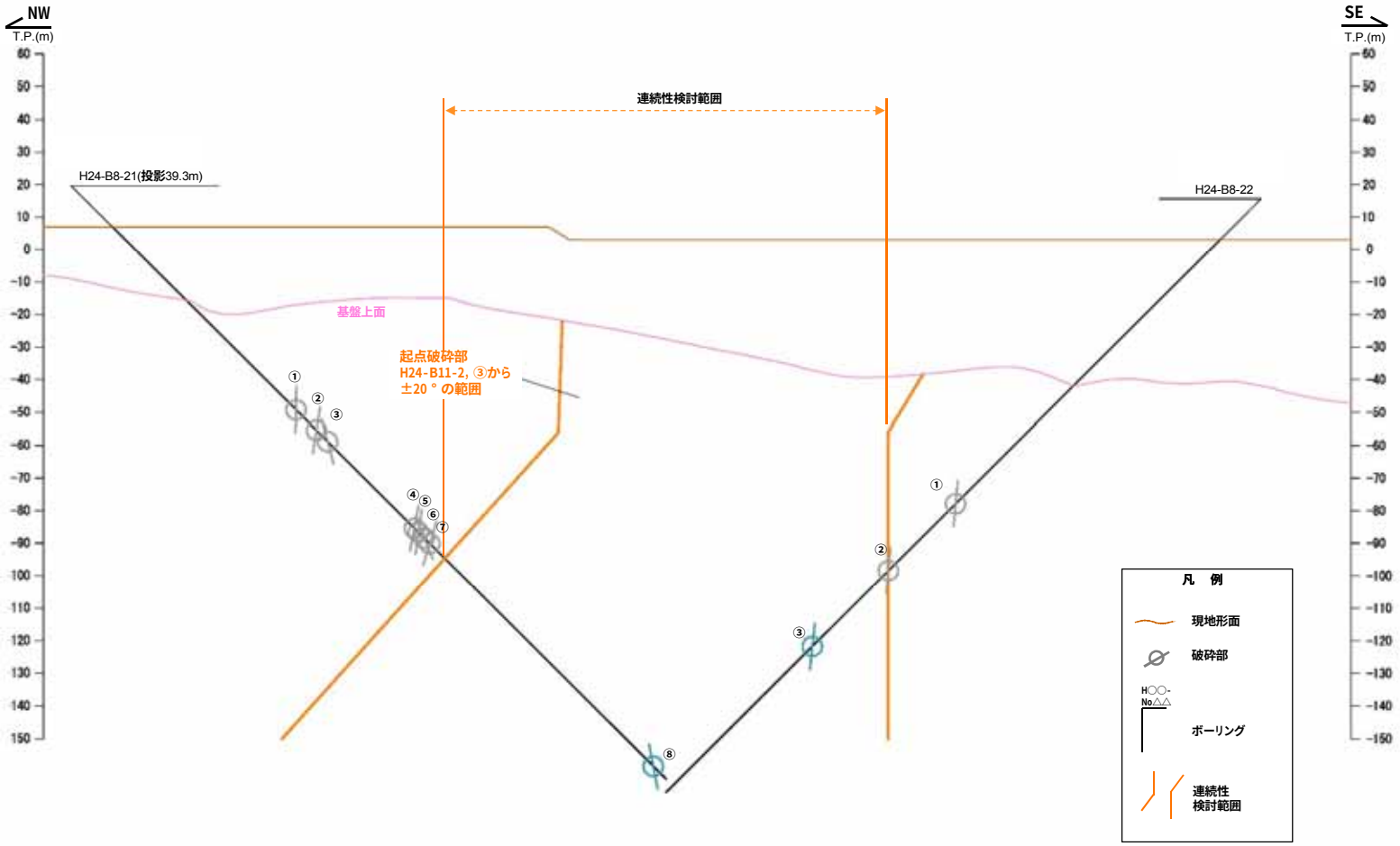
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-2，③)



破砕部着色凡例

- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-2，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H24-B11-2	-	-	③	80.50	83.93	N9E		80W		有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
-	H24-B8-21	範囲外	①	79.86	80.17	N18E	9	89W	9	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
			②	88.67	88.71	N41E	32	81NW	1	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
			③	92.86	93.53	N5W	14	82E	18	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	131.03	131.14	N3W	12	84W	4	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
			⑤	131.88	132.82	N1E	8	85W	5	有	無	65R	N,LL		非モデル化	参考2-189	
			⑥	135.30	135.52	N58E	49	68S	32	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑦	137.72	138.18	N4E	5	79W	1	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
		範囲内	⑧	234.23	234.38	N3W	12	84E	16	有	無	20L	RL	×	D-37	参考2-116	※2
	H24-B8-22	範囲外	①	114.71	115.13	N3E	6	87W	7	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
			②	143.52	143.76	N17E	8	86W	6	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
		範囲内	③	176.68	177.31	N19E	10	85W	5	有	有	40L	N,RL	○	D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

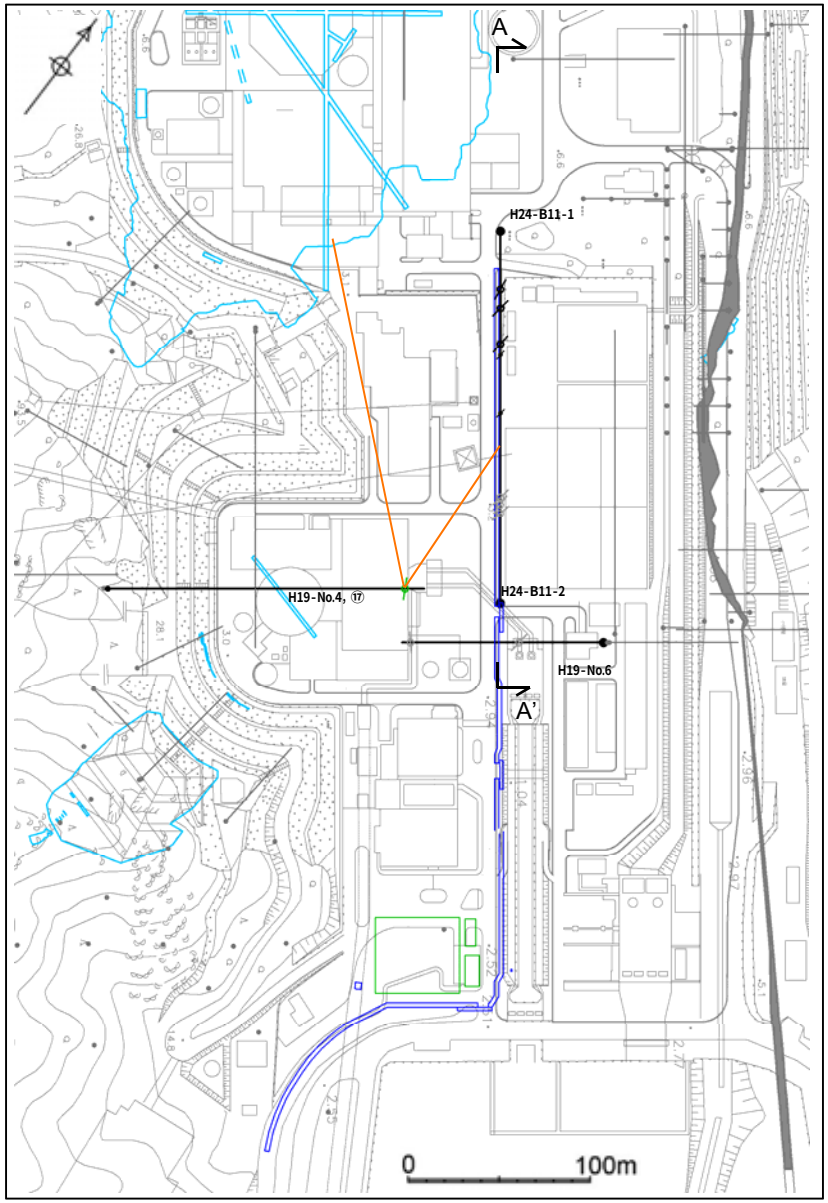
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑰)〔A-A’断面〕



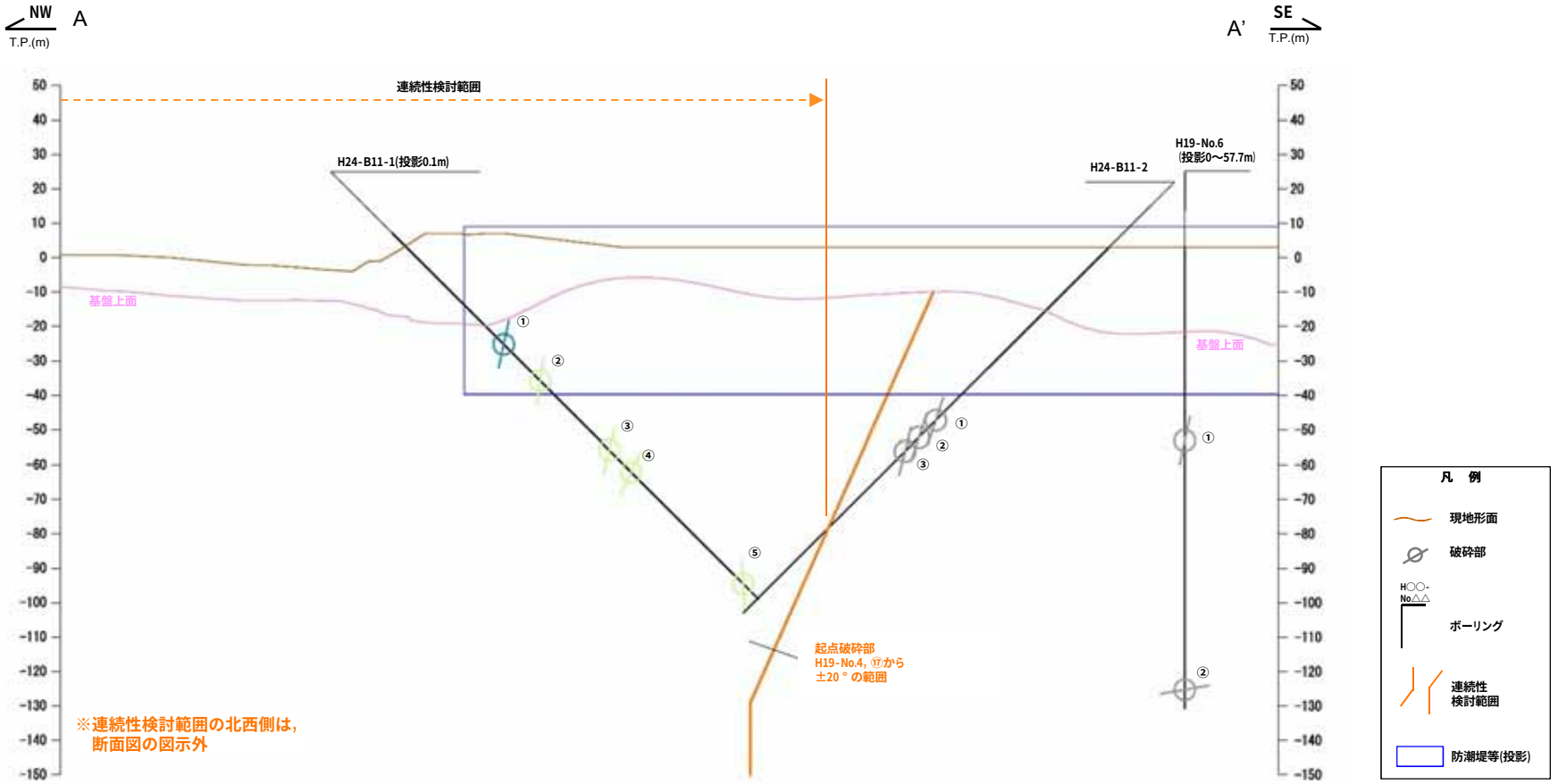
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑰)〔A-A’断面〕



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑰)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑰	234.32	236.15	N28W		88W		無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45 58	45 63	N8W	20	84W	4	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	※1
			②	60 36	60 60	N8E	36	84W	4	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	32	81W	7	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97 87	99 00	N4E	32	72W	16	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	36	87E	5	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71 21	71 24	N12E	40	76W	12	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	28	79W	9	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80 50	83.93	N9E	37	80W	8	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No 6		①	73.43	73.45	N6E	34	82W	6	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	13	69W	19	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

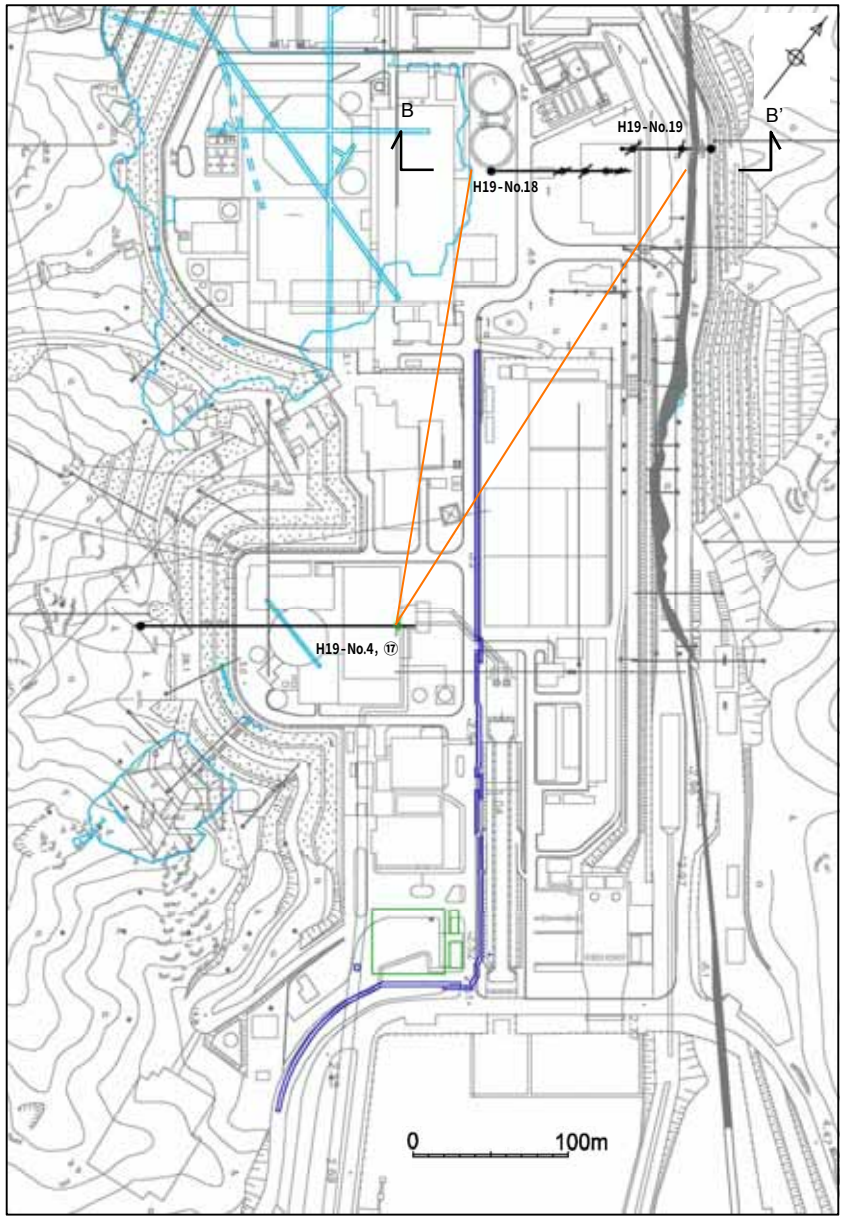
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑰)〔B-B’断面〕



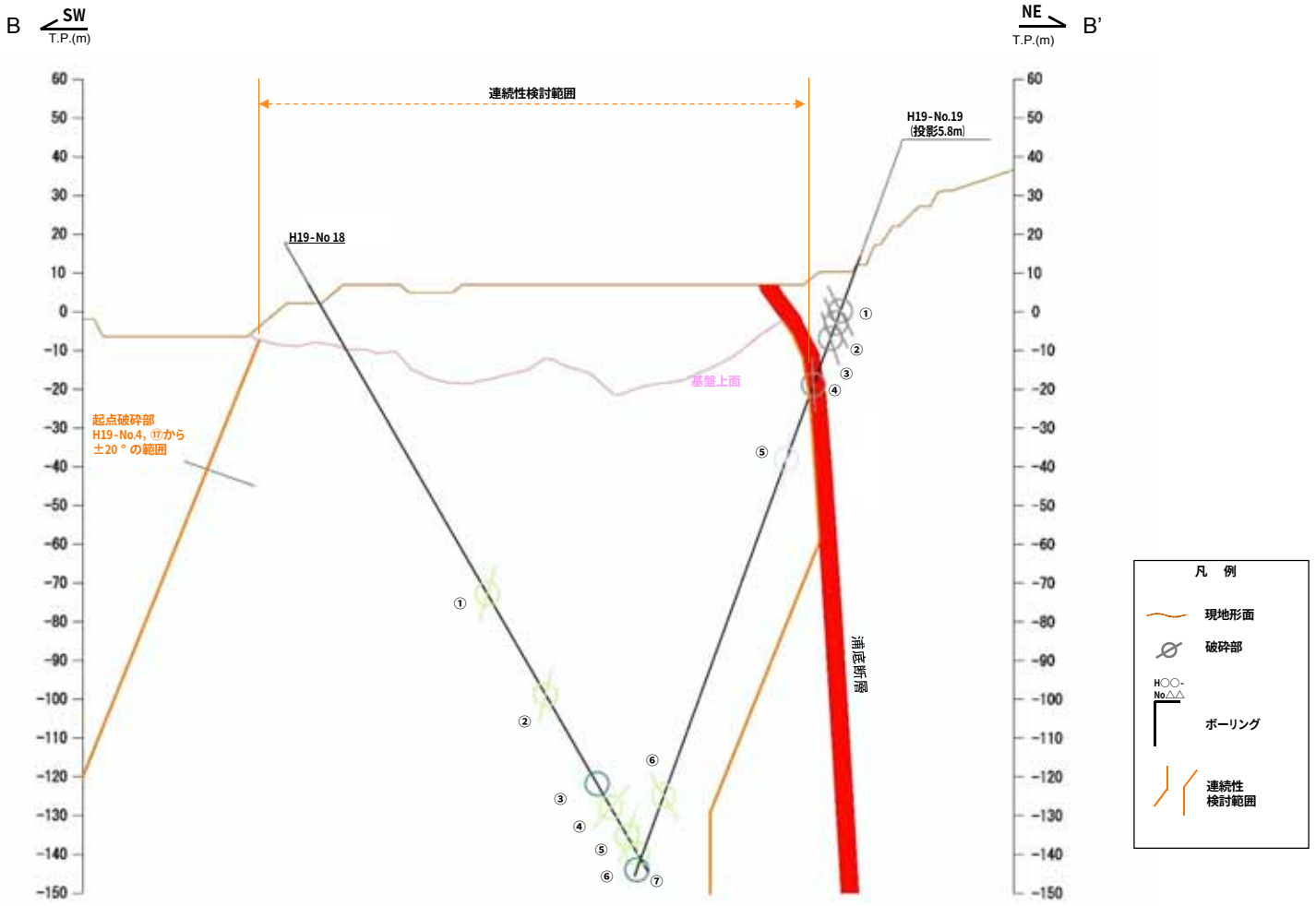
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑰)〔B-B’断面〕



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑰)〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑰	234.32	236.15	N28W		88W		無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
-	H19-No.18	範囲内	①	92.14	92.18	N31E	59	84W	4	有	無	10L	-		f-18-1	参考2-132	
			②	122.16	122.35	N6E	34	87W	1	有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-39	参考2-117	※1
			④	155.72	155.75	N36E	64	76W	12	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	164.25	N9E	37	78W	10	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑥	169.62	169.63	N20E	48	89W	1	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	14	63E	29	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	8	65E	27	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	6	72E	20	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	13	87NE	5	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
		範囲内	⑤	55.49	55.56	N20W	8	82W	6	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
			⑥	147.93	148.12	N13E	41	68E	24	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

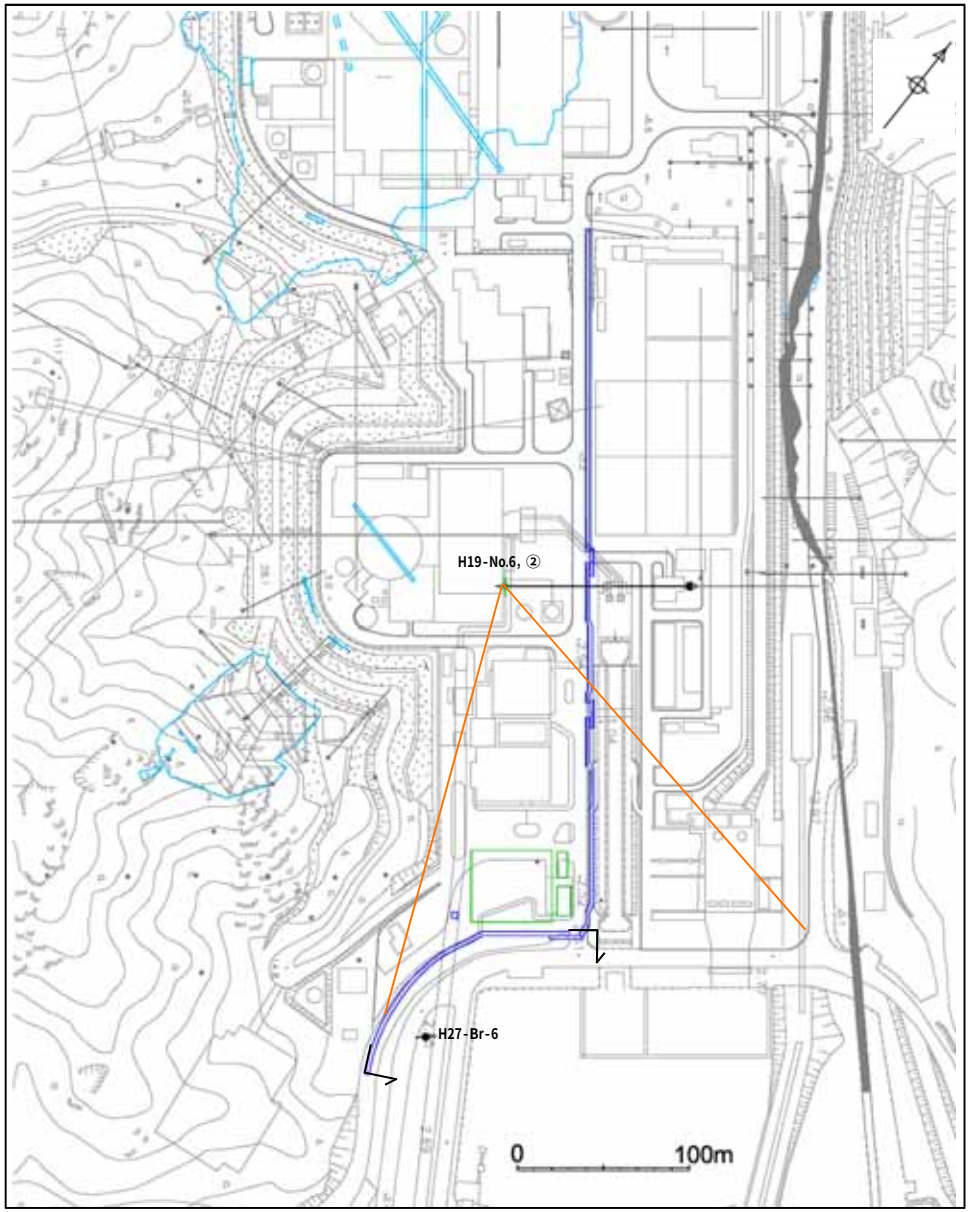
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.6，②)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

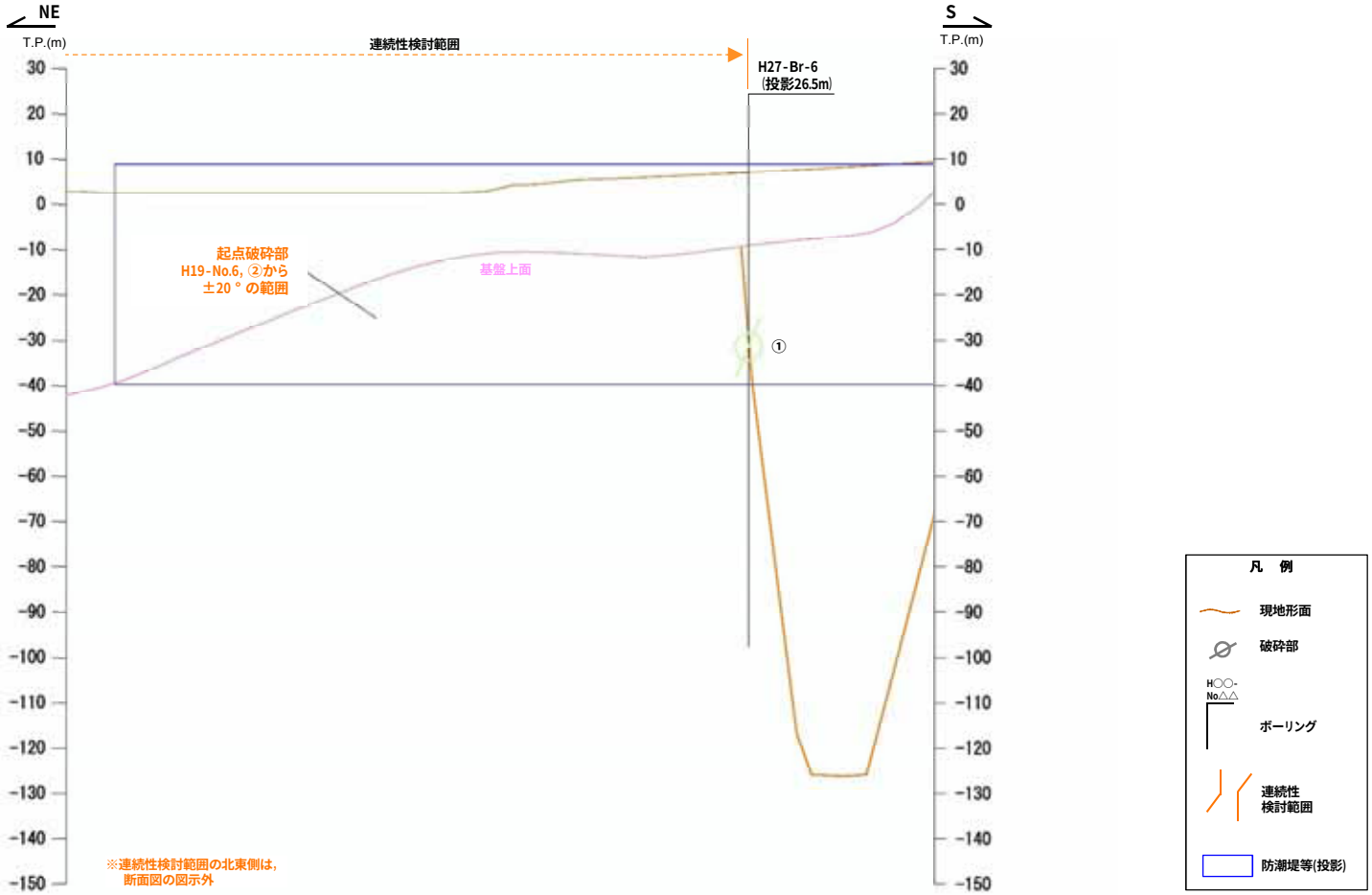
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.6，②)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破砕部：H19-No.6, ②)

起点	対比する ボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.6	-	-	②	167.53	168.54	N41W		69W		有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
-	H27-Br-6	範囲内	①	33.02	34.01	N49E	90	72W	3	有	有	85R	N		f-br-6-1	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

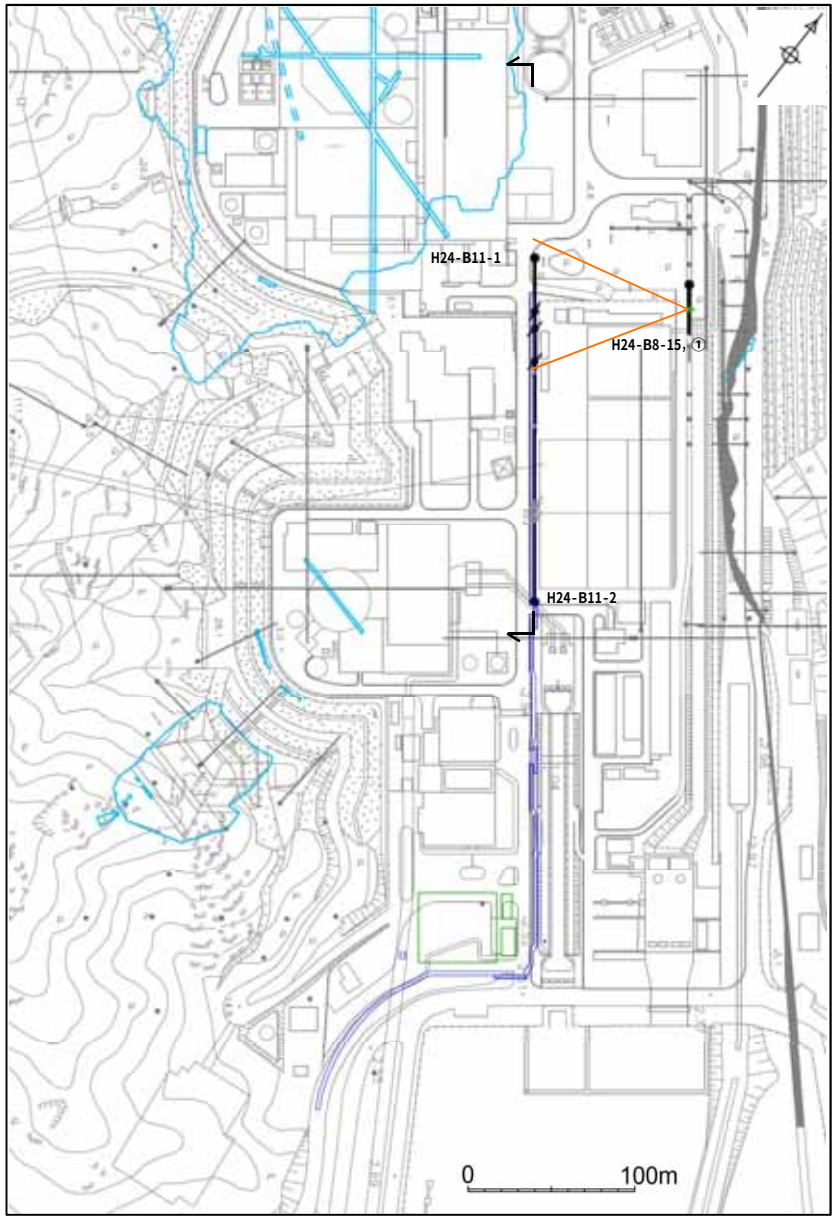
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-15，①)



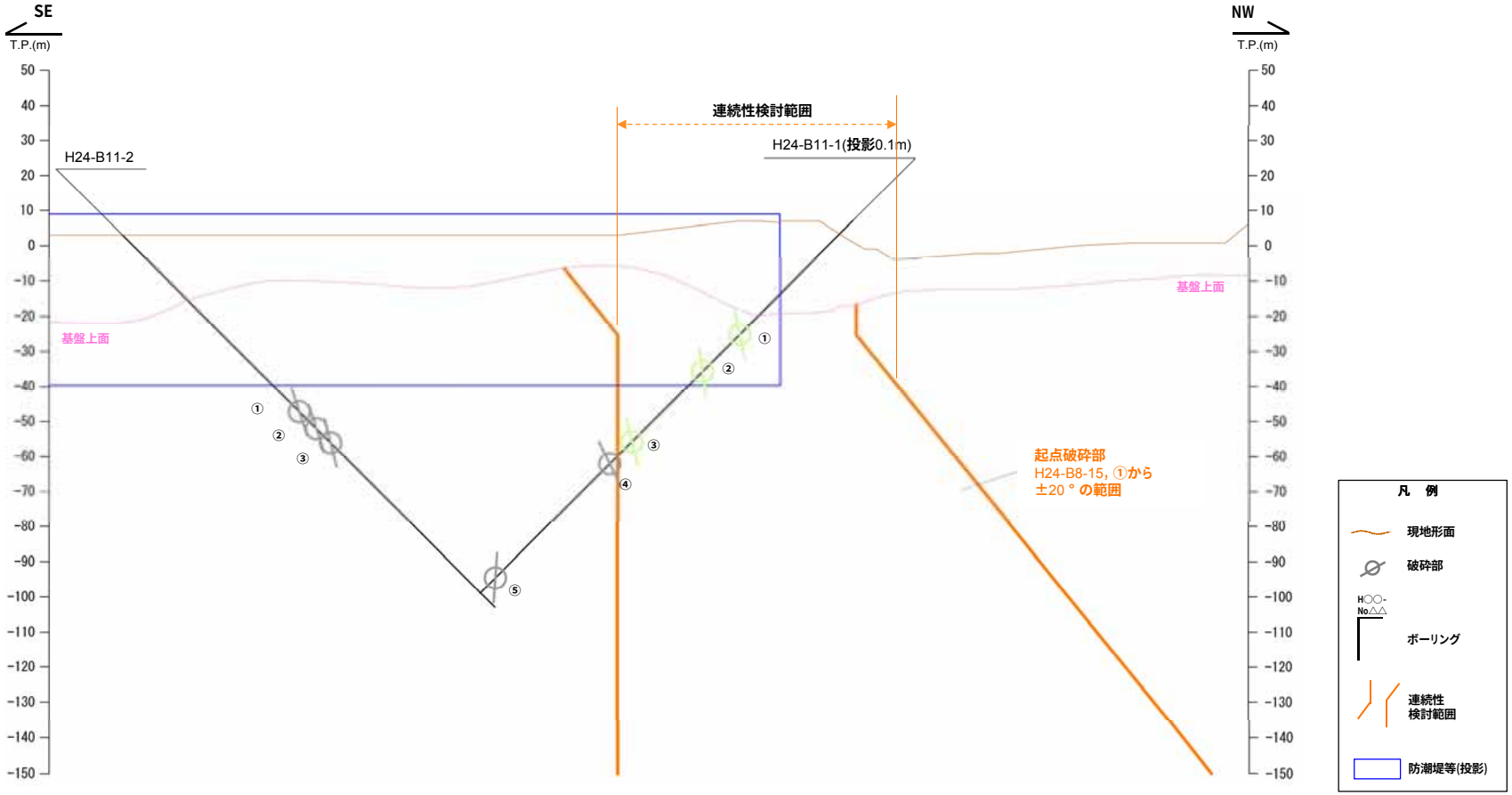
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-15，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-15，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H24-B8-15	-	-	①	34 65	35.72	N52E		72NW		無	-	-	-		非モデル化	参考2-189	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45 58	45.63	N8W	60	84W	12	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60 36	60.60	N8E	44	84W	12	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	48	81W	9	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
		範囲外	④	97 87	99.00	N4E	48	72W	0	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	44	87E	21	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71 21	71.24	N12E	40	76W	4	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	52	79W	7	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80 50	83.93	N9E	43	80W	8	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

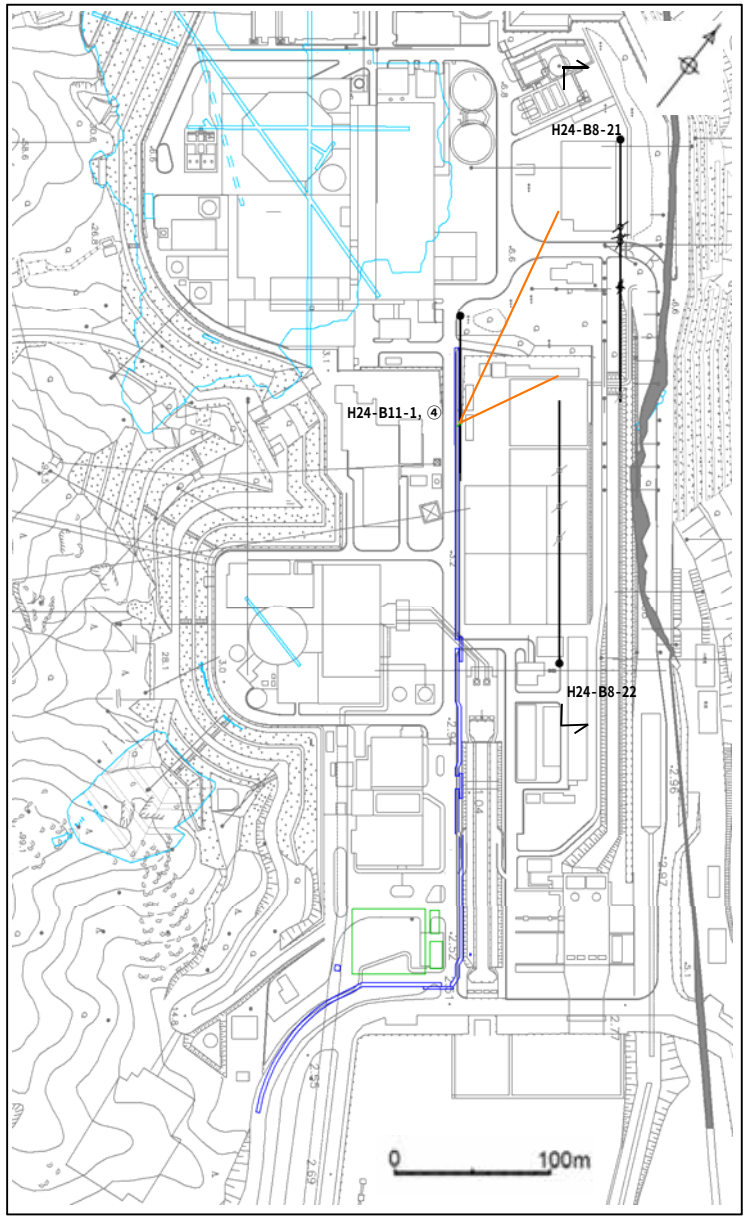
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，④)



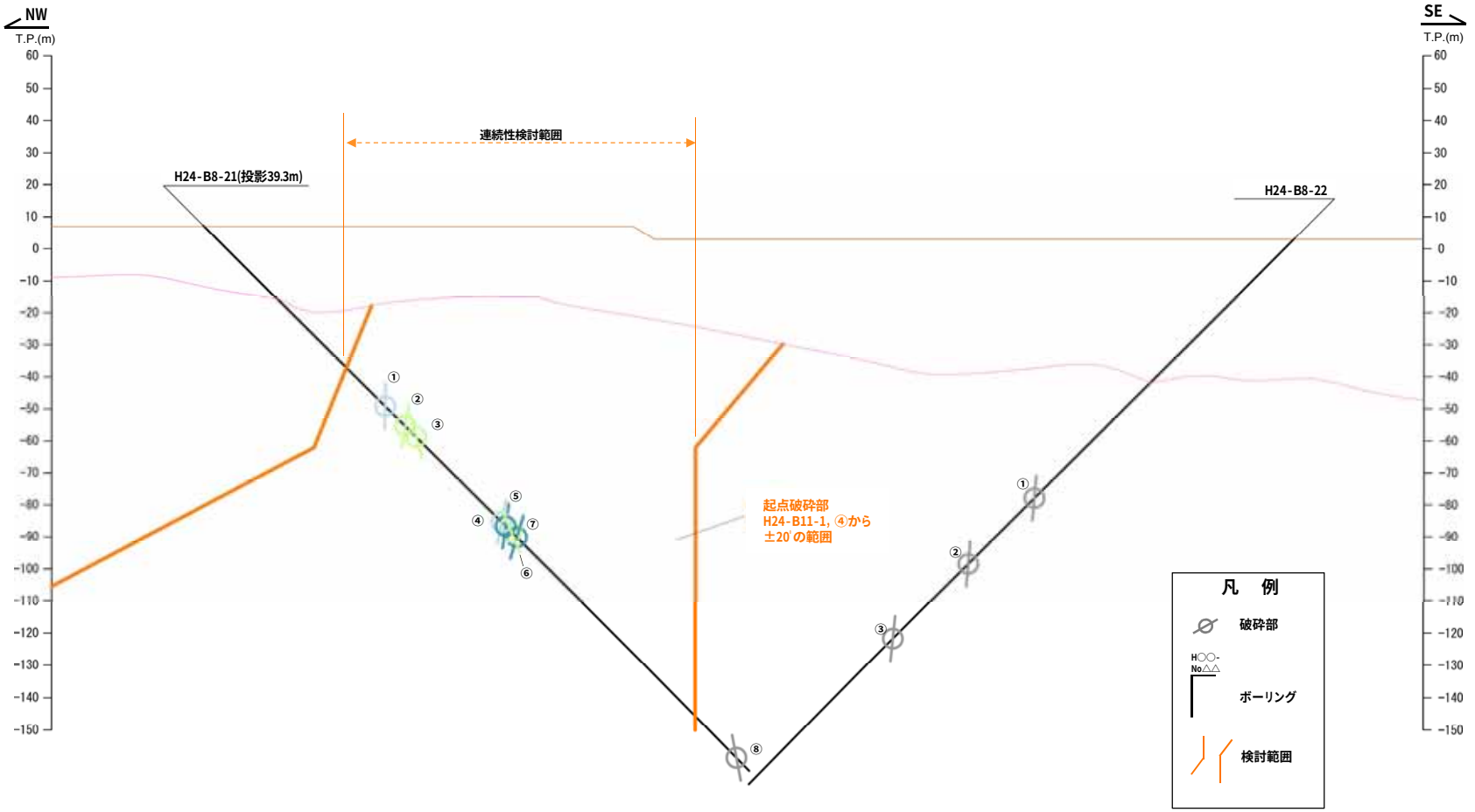
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，④)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B11-1	-	-	④	97.87	99.00	N4E		72W		有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
-	H24-B8-21	範囲内	①	79.86	80.17	N18E	14	89W	17	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
			②	88.67	88.71	N41E	37	81NW	9	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
			③	92.86	93.53	N5W	9	82E	26	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	131.03	131.14	N3W	7	84W	12	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
			⑤	131.88	132.82	N1E	3	85W	13	有	無	65R	N,LL	×	非モデル化	参考2-189	※3
			⑥	135.30	135.52	N58E	54	68S	40	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑦	137.72	138.18	N4E	0	79W	7	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
		範囲外	⑧	234.23	234.38	N3W	7	84E	24	有	無	20L	RL		D-37	参考2-116	
	H24-B8-22		①	114.71	115.13	N3E	1	87W	15	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
			②	143.52	143.76	N17E	13	86W	14	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
			③	176.68	177.31	N19E	15	85W	13	有	有	40L	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

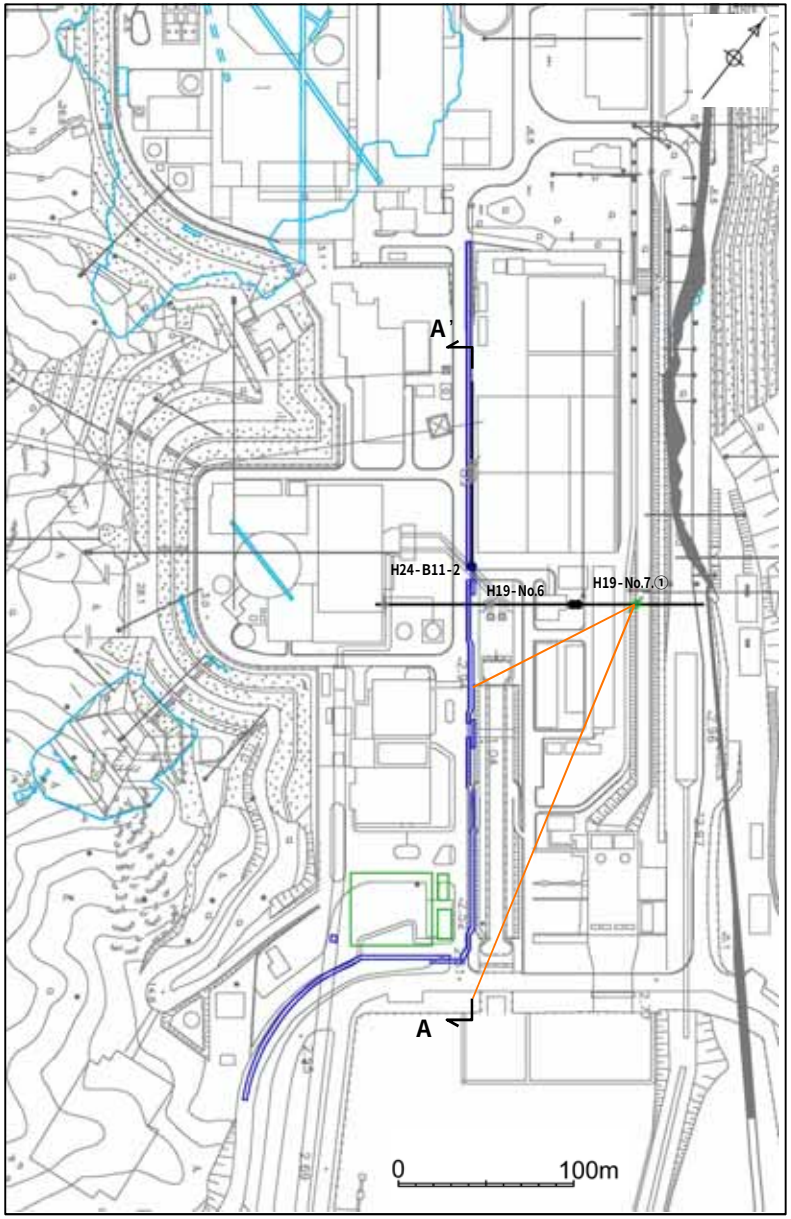
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.7，①)〔A-A’断面〕



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

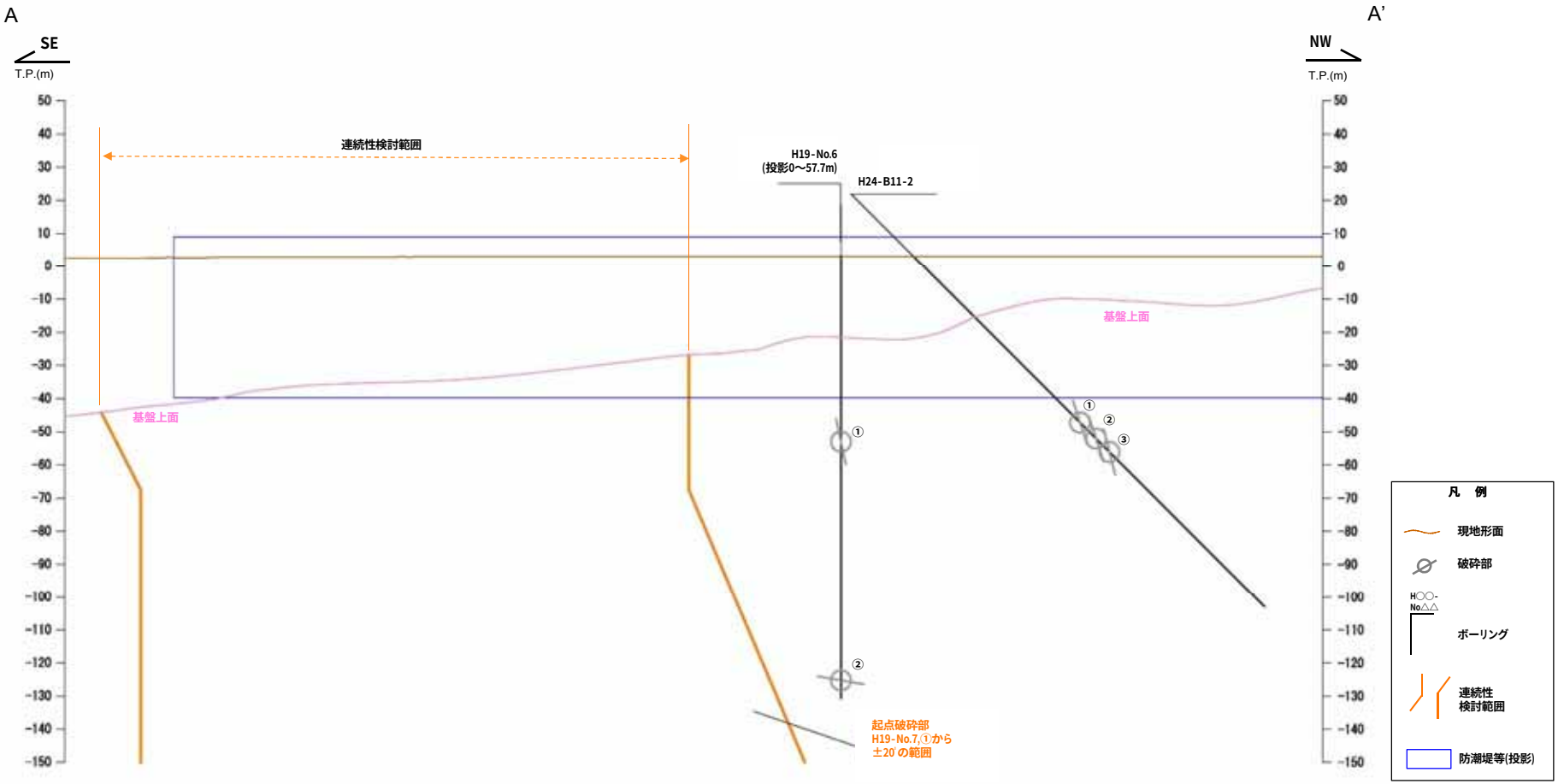
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.7，①)〔A-A’断面〕



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.7，①)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.7	-	-	①	78.22	79.56	N7E		87W		有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
-	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	5	76W	11	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	7	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	2	80W	7	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	1	82W	5	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	48	69W	18	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

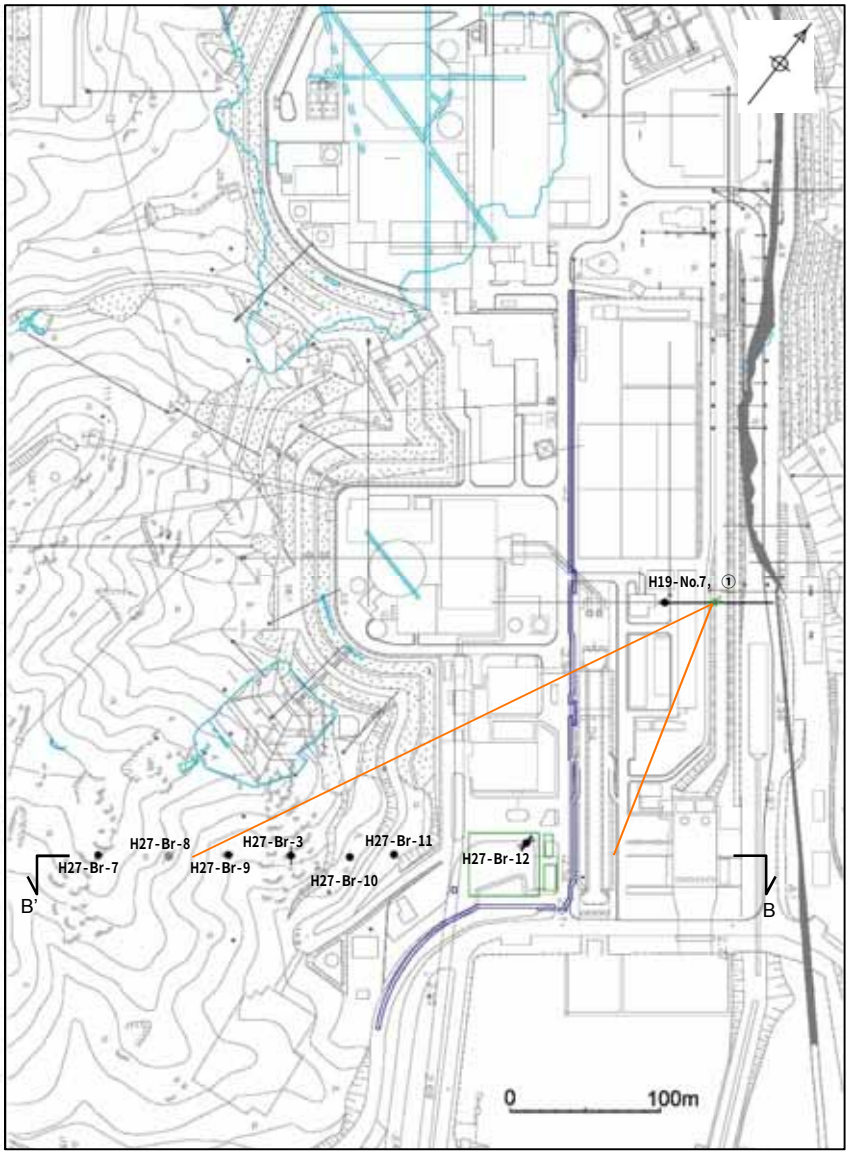
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.7，①)〔B-B’断面〕



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

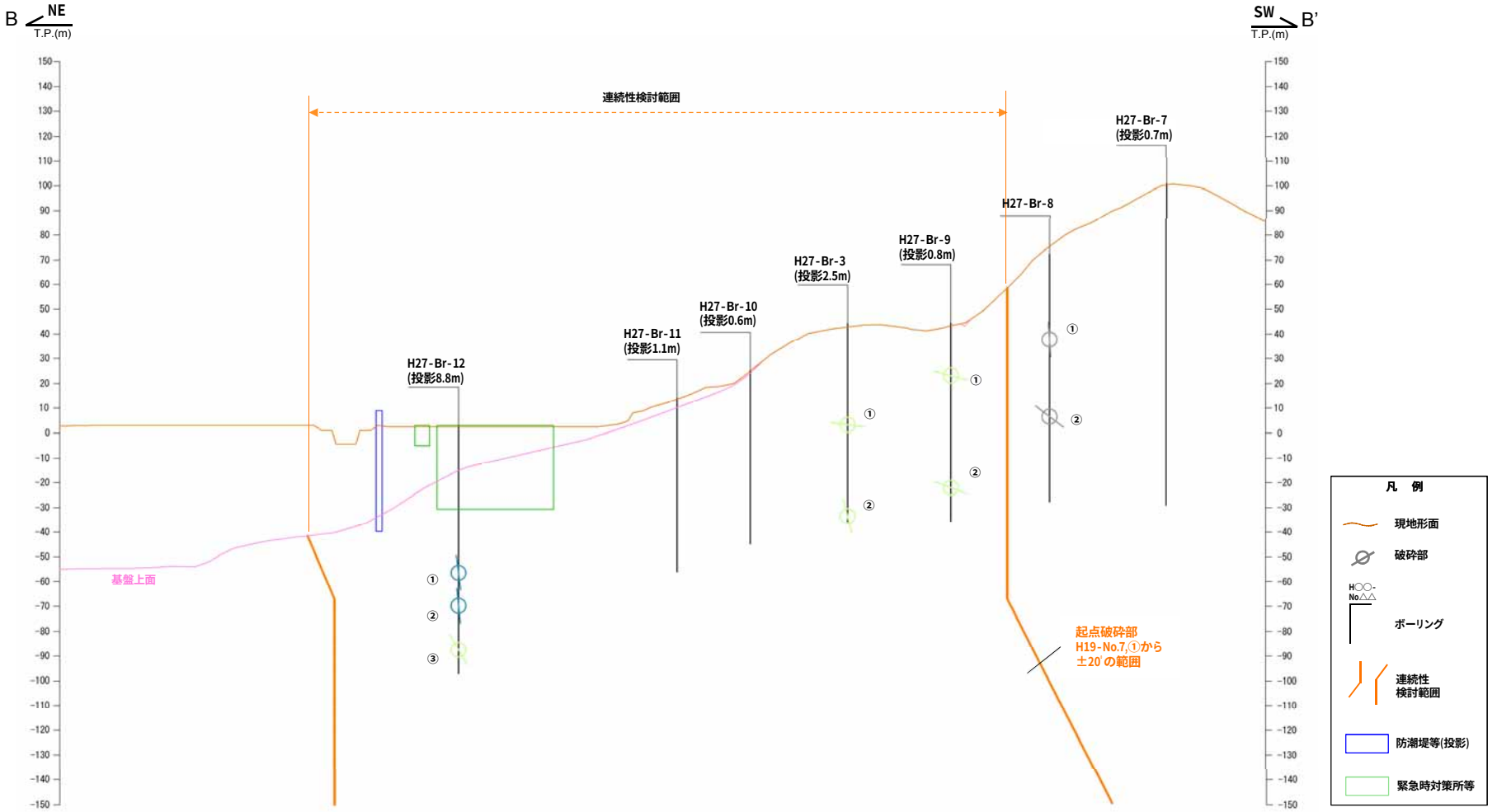
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.7，①)〔B-B’断面〕



注）H27-Br-7孔，H27-Br-10孔，及びH27-Br-11孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.7，①)〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.7	-	-	①	78.22	79.56	N7E		87W		有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
-	H27-Br-3	範囲内	①	40.53	41.10	N51E	44	73NW	14	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	45	76SW	11	無	-	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-8	範囲外	①	32.97	34.58	N9E	2	87W	0	無	-	70L	N		D-7	参考2-91	
			②	65.81	67.33	N23E	16	56W	31	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-9	範囲内	①	21.26	21.33	N45E	38	63NW	24	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	66.50	66.77	N48E	41	77NW	10	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-12		①	58.40	59 38	N7E	0	85W	2	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	13	85W	2	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90 32	N31E	24	78NW	9	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

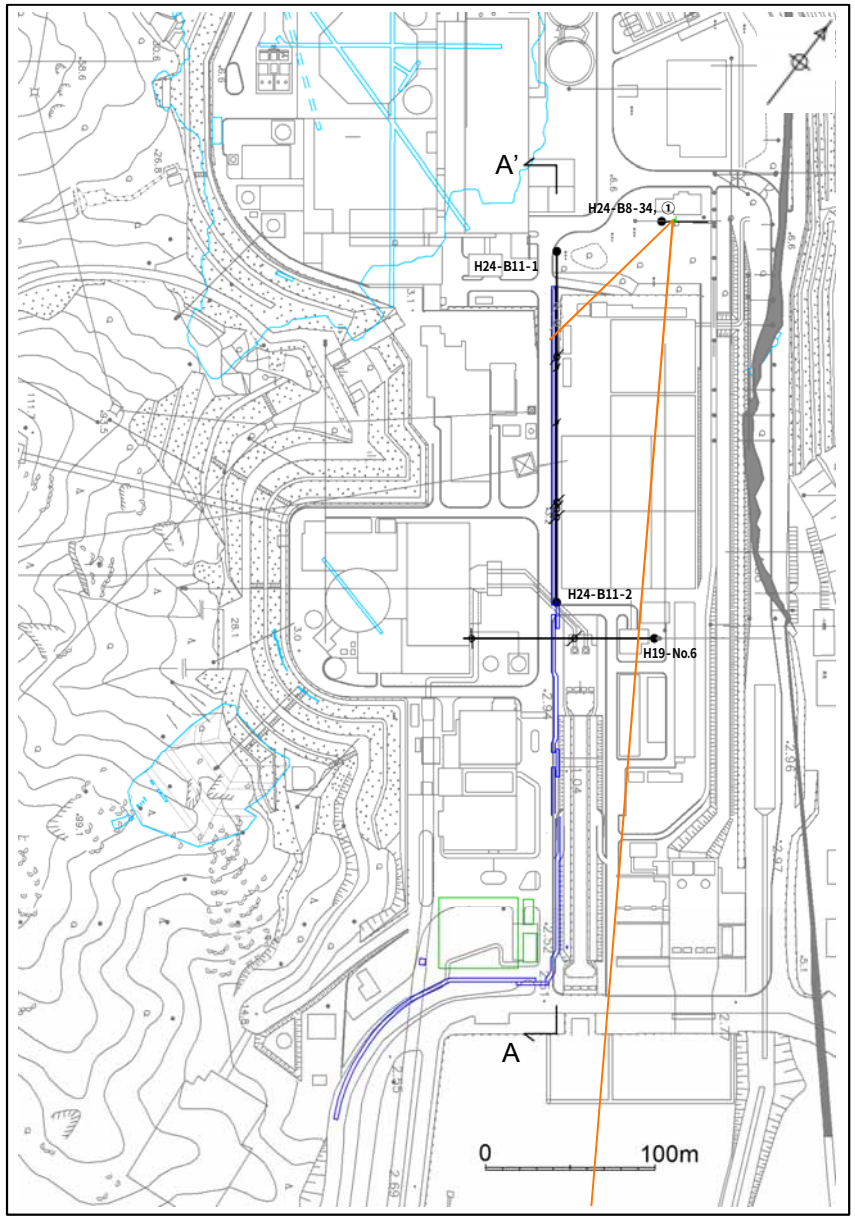
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-34，①)〔A-A’断面〕



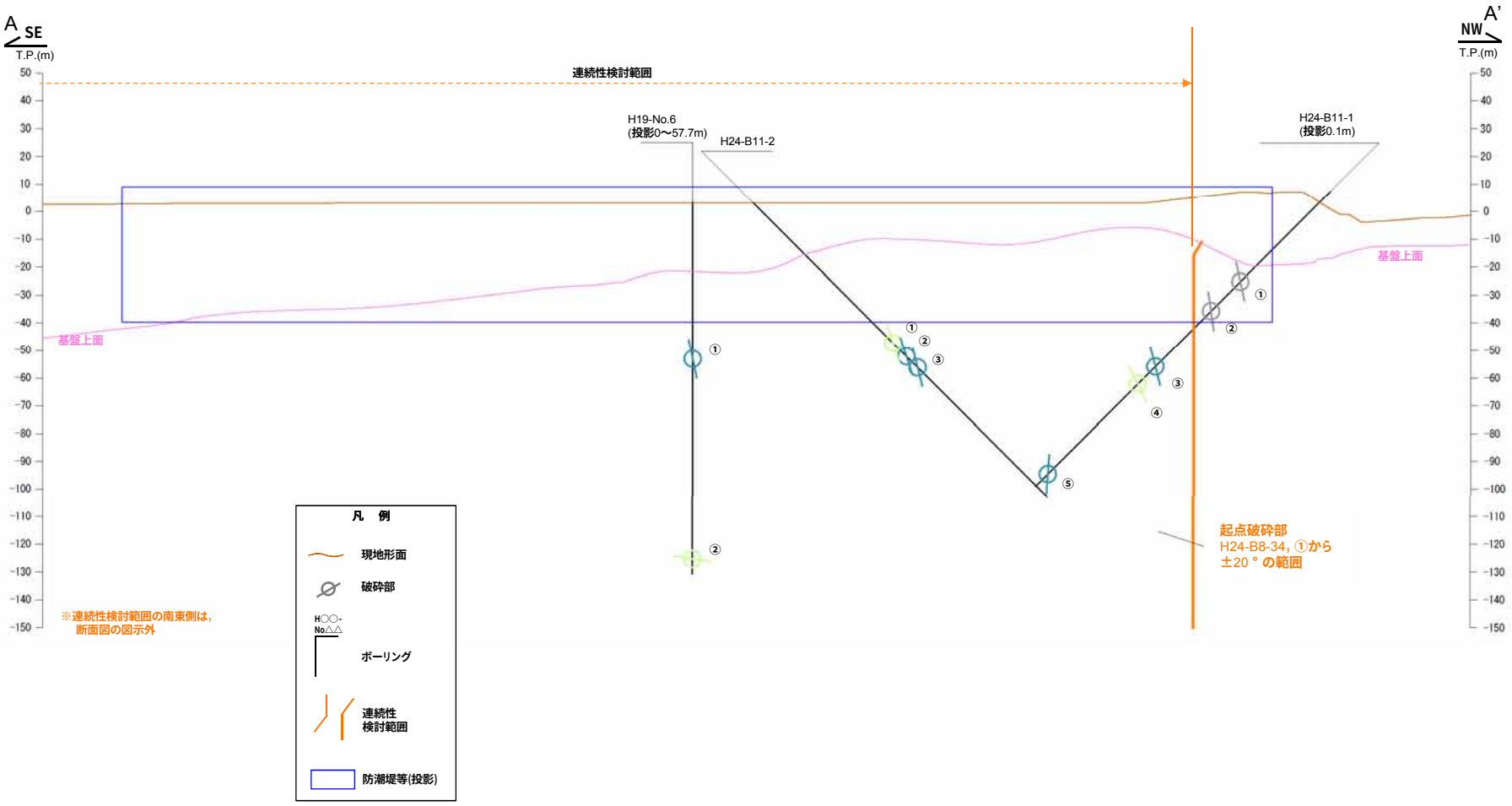
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-34，①)〔A-A’断面〕



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-34，①)〔A-A'断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-34	-	-	①	31 76	33.24	N11W		82E		有	無	-	-		非モデル化	参考2-190	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45 58	45.63	N8W	3	84W	14	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60 36	60.60	N8E	19	84W	14	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
		範囲内	③	88.93	88.97	N4E	15	81W	17	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	97 87	99.00	N4E	15	72W	26	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	19	87E	5	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※2
	H24-B11-2		①	71 21	71.24	N12E	23	76W	22	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	11	79W	19	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	※3
			③	80 50	83.93	N9E	20	80W	18	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	17	82W	16	有	無	75R	-	×	D-38	参考2-116	※2
			②	167.53	168.54	N41W	30	69W	29	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

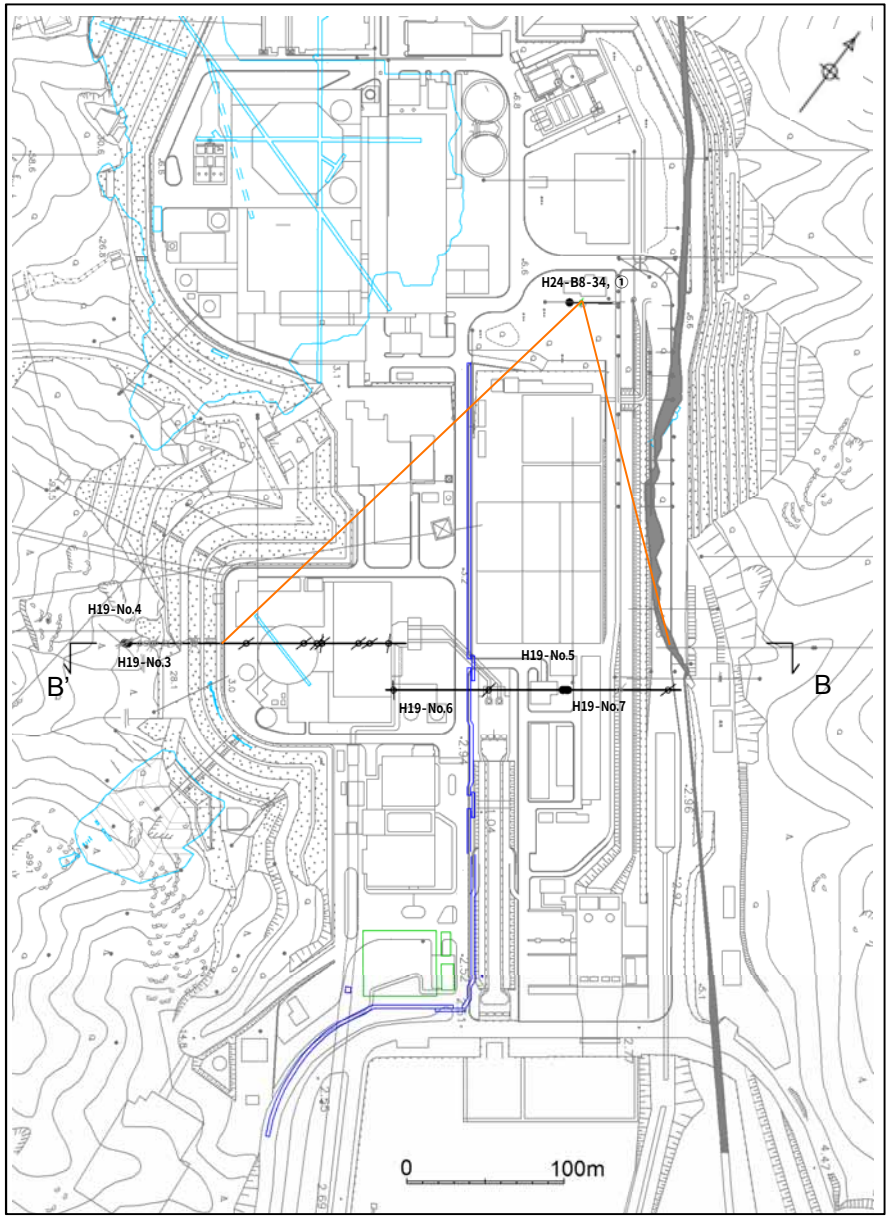
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-34，①)〔B-B’断面〕



拡大範囲図〔破砕帯及び破砕部分布〕

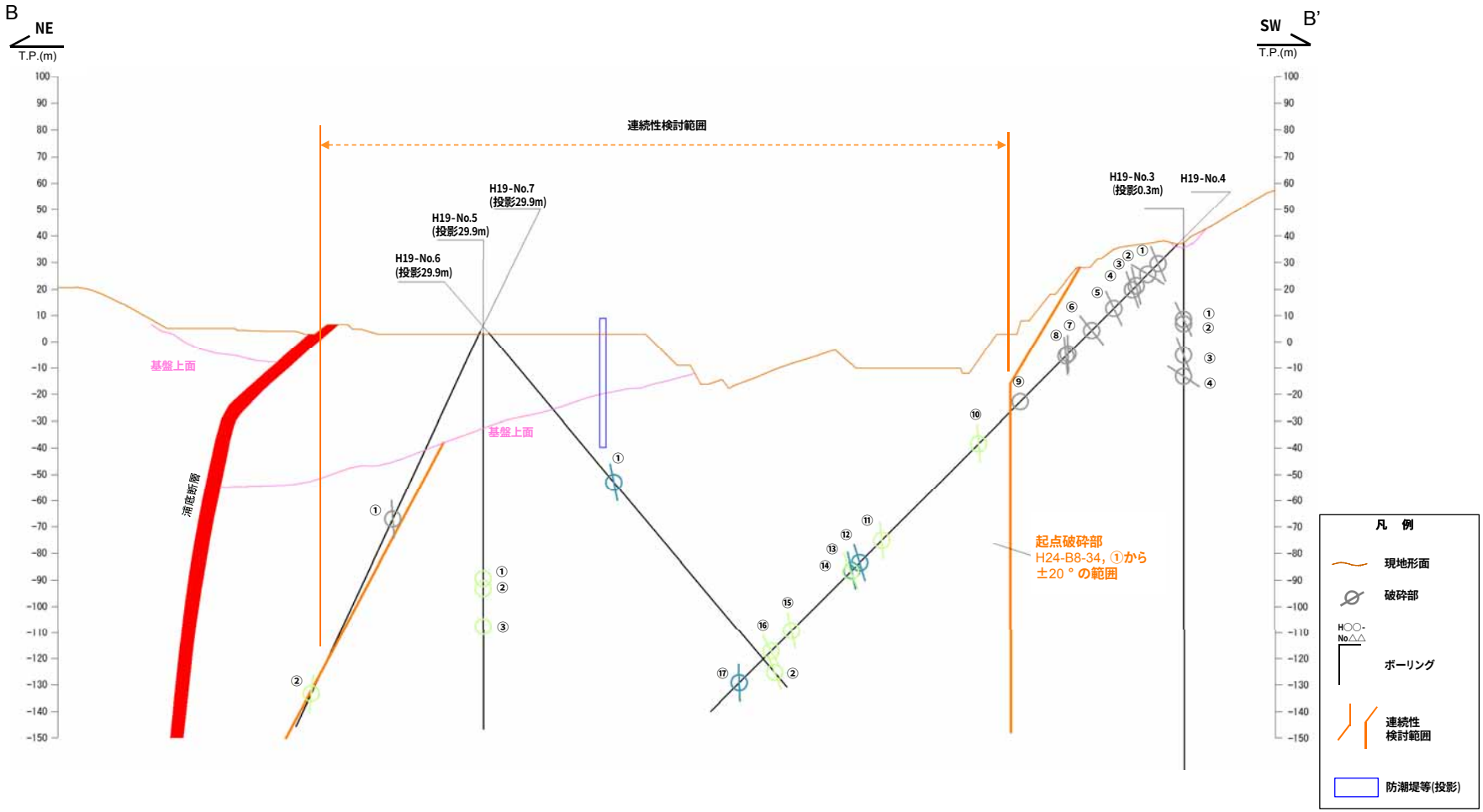
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-34，①)〔B-B’断面〕



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-34，①)〔B-B'断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-34	-	-	①	31.76	33 24	N11W		82E		有	無	-	-		非モデル化	参考2-190	
-	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28 82	N32E	43	80W	18	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	19	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42 81	N17E	28	77W	21	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	48	67W	31	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11 53	N4W	7	70W	28	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16 31	N35E	46	62W	36	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22 26	N3E	14	79W	19	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	4	73W	25	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34 38	N12E	23	73W	25	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46 38	N29E	40	72W	26	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59 59	N10W	1	89W	9	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60 36	N71W	60	86N	4	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84 33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
		範囲内	⑩	107.54	109.94	N16E	27	87W	11	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159 88	N15E	26	87W	11	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174 88	N9E	20	78W	20	有	有	79L	N	×	D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175 28	N29W	18	78W	20	有	無	22R	-	×	f-4-9	参考2-127	※2
			⑭	175.64	175 65	N14E	25	76W	22	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207 72	N13E	24	83W	15	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218 74	N20E	31	74W	24	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	17	88W	10	無	-	20R	-	×	f-6-2	参考2-127	
	H19-No 5		①	92.63	92 65	-	-	(12)	70	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	96.46	96.49	-	-	(52)	30	有	有	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	110.93	110.95	-	-	(35)	47	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	17	82W	16	有	無	75R	-	×	D-38	参考2-116	※2
			②	167.53	168 54	N41W	30	69W	29	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No 7	範囲外	①	78.22	79 56	N7E	18	87W	11	有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
		範囲内	②	151.35	151 38	N15E	26	86E	4	有	有	20L	-		f-8-11	参考2-128	

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

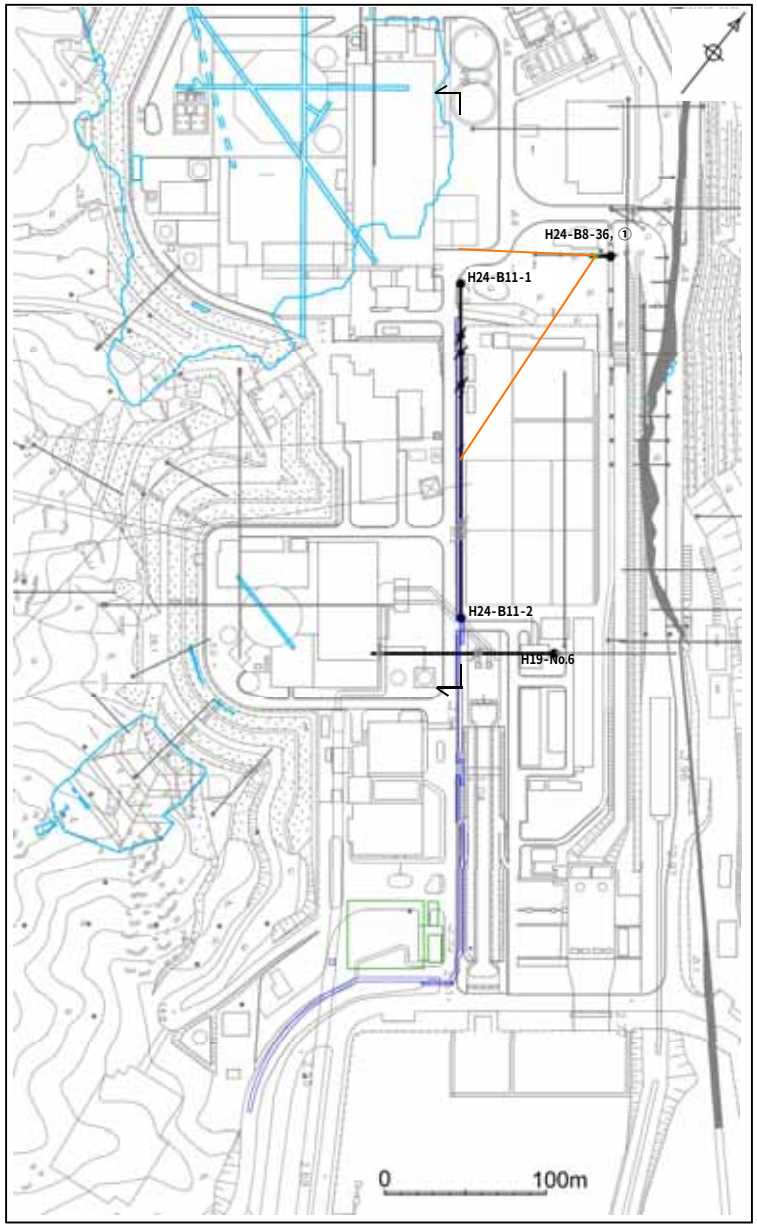
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-36，①)



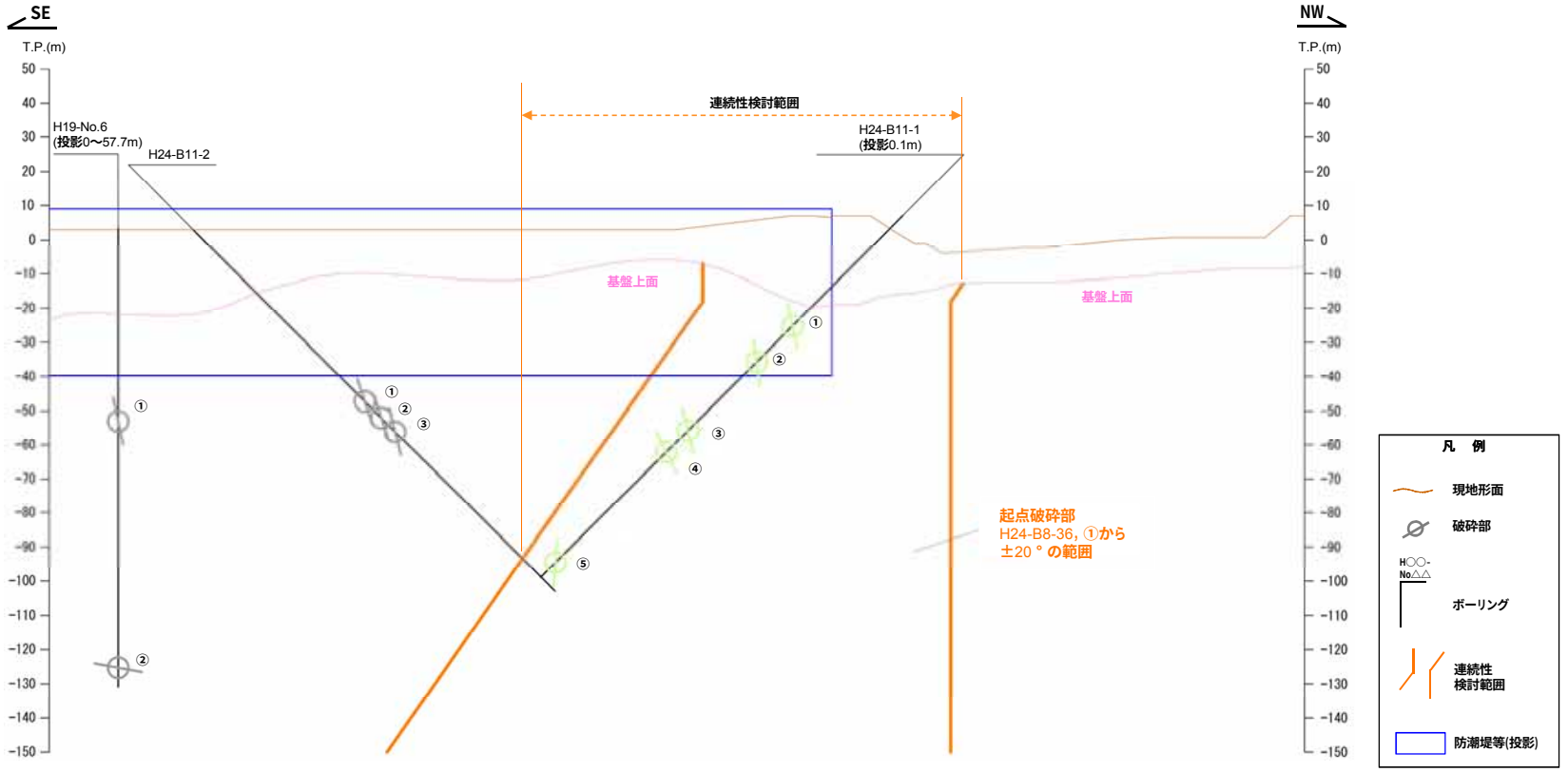
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-36，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

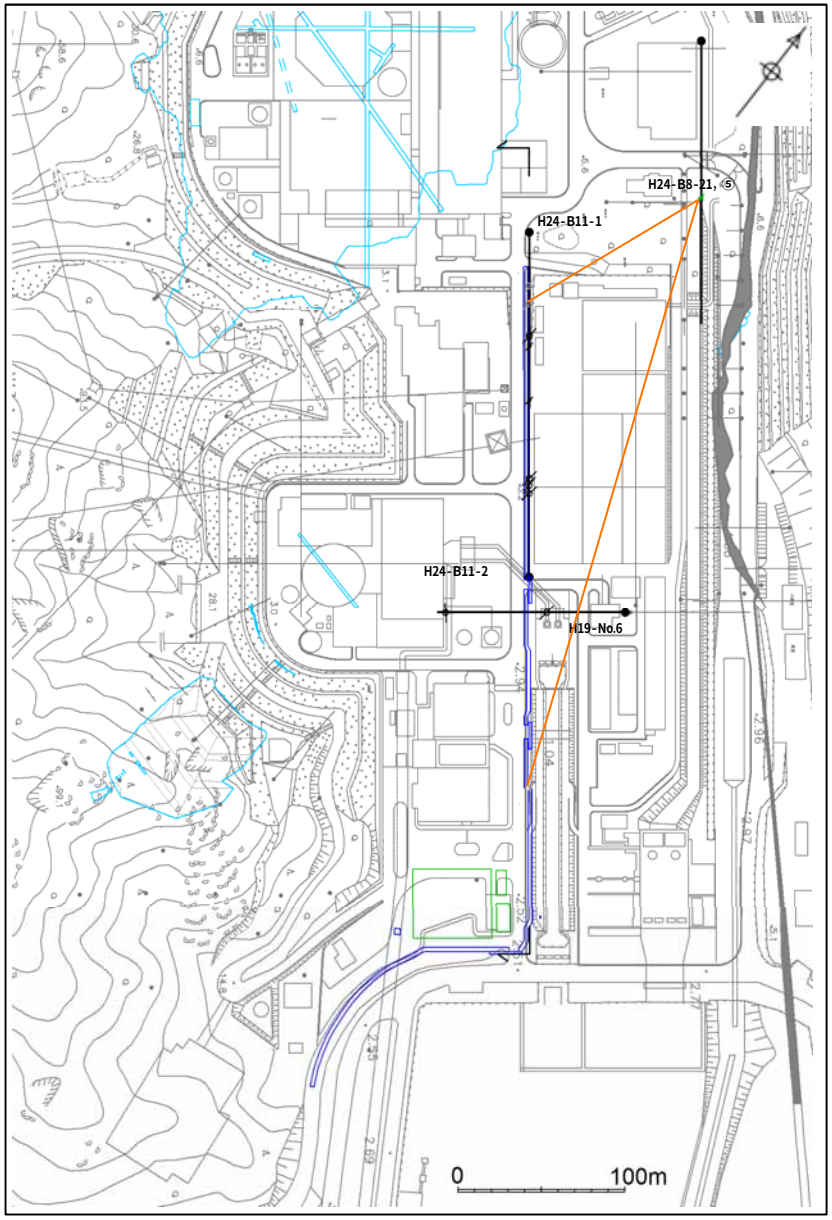
連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-36，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H24-B8-36	-	-	①	24.19	27 68	N31E		88SE		有	無	-	-		非モデル化	参考2-191	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45 63	N8W	39	84W	8	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60 60	N8E	23	84W	8	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	27	81W	11	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99 00	N4E	27	72W	20	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	23	87E	1	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71 24	N12E	19	76W	16	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	31	79W	13	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	22	80W	12	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	25	82W	10	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	72	69W	23	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，⑤)



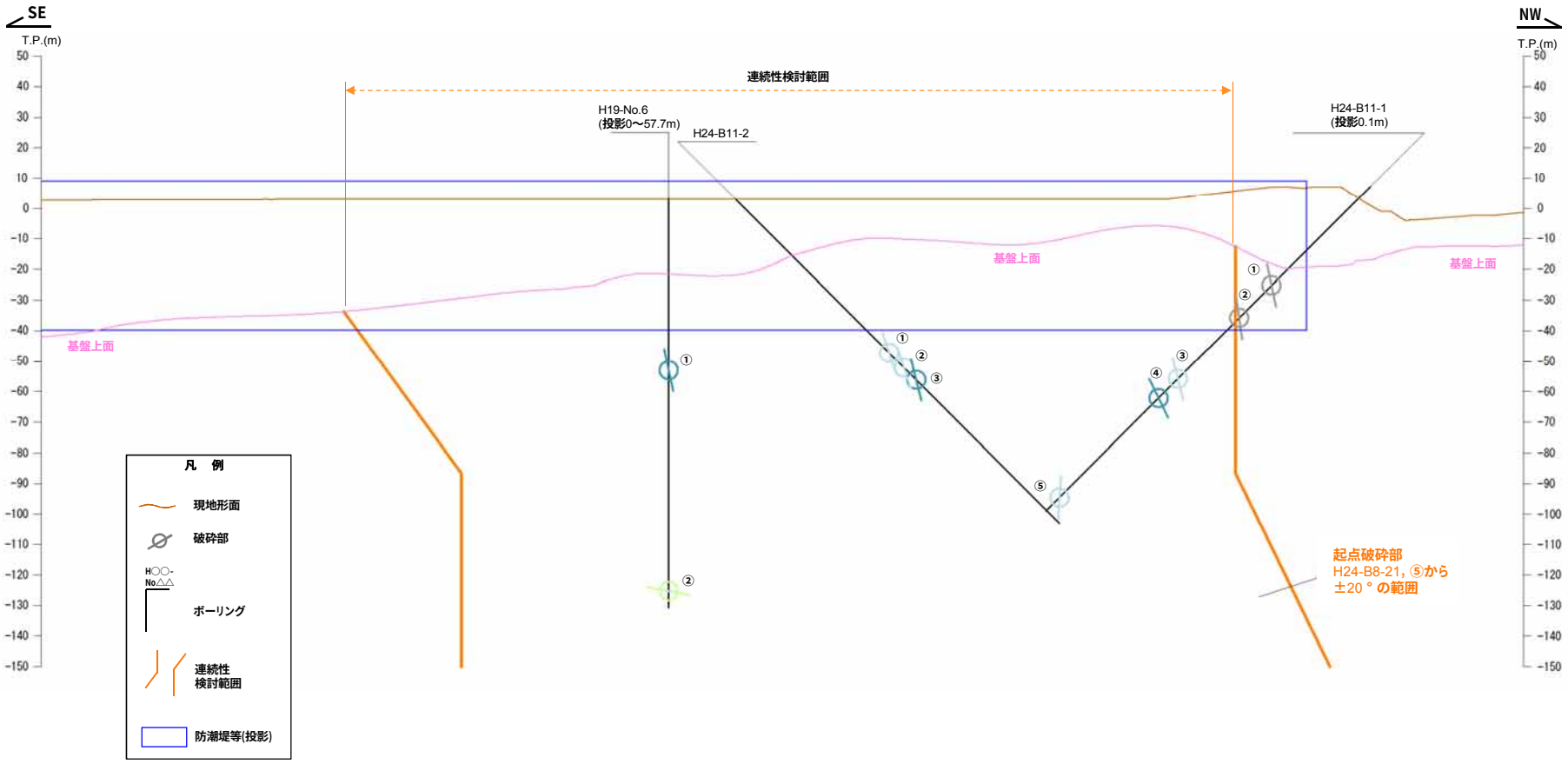
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，⑤)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H24-B8-21	-	-	⑤	131.88	132.82	N1E		85W		有	無	65R	N,LL		非モデル化	参考2-189	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45 58	45.63	N8W	9	84W	1	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60 36	60.60	N8E	7	84W	1	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
		範囲内	③	88.93	88.97	N4E	3	81W	4	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97 87	99.00	N4E	3	72W	13	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	7	87E	8	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71 21	71.24	N12E	11	76W	9	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	1	79W	6	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80 50	83.93	N9E	8	80W	5	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	5	82W	3	有	無	75R	-	×	D-38	参考2-116	※1
			②	167.53	168.54	N41W	42	69W	16	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

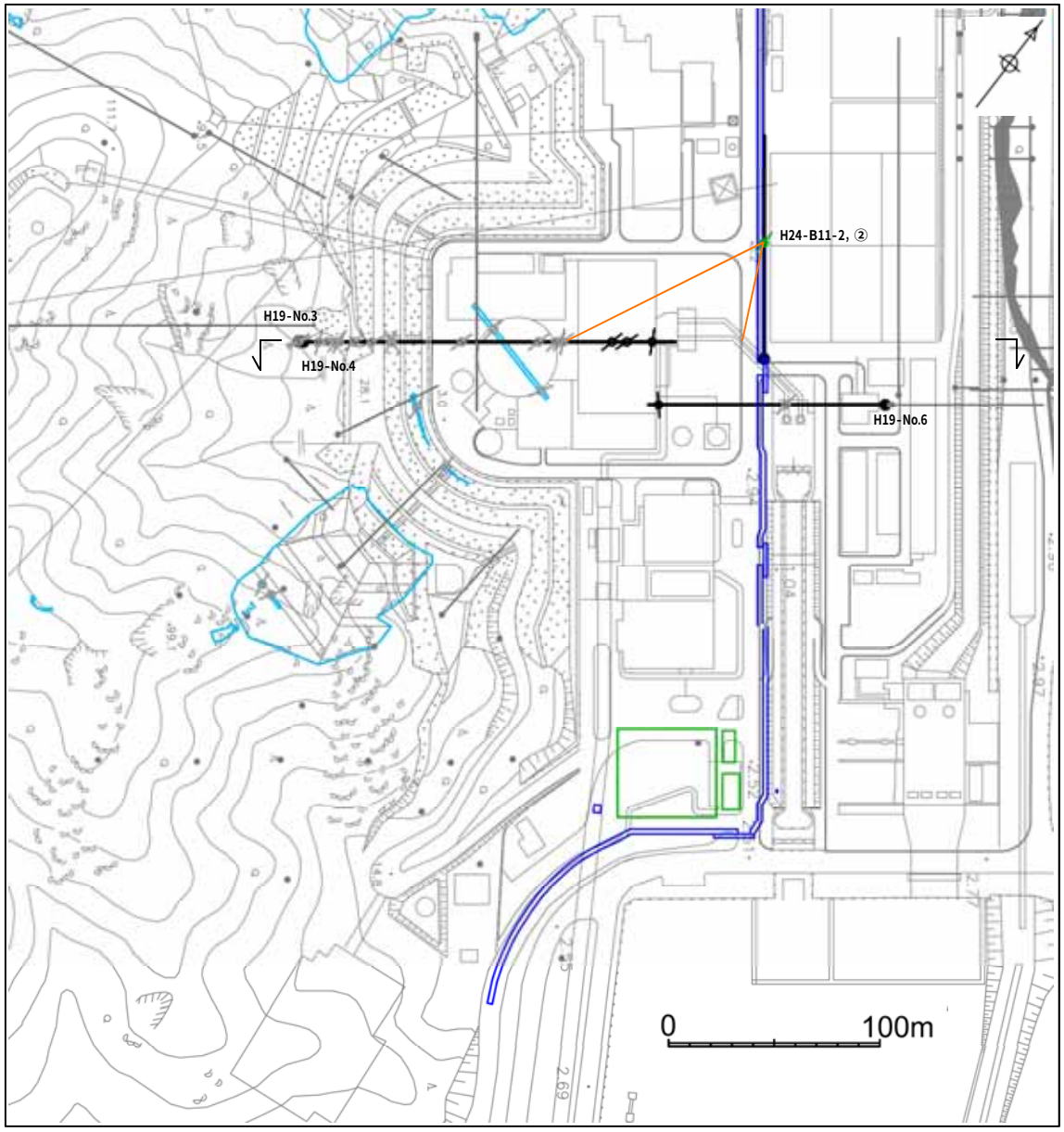
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-2，② -S)



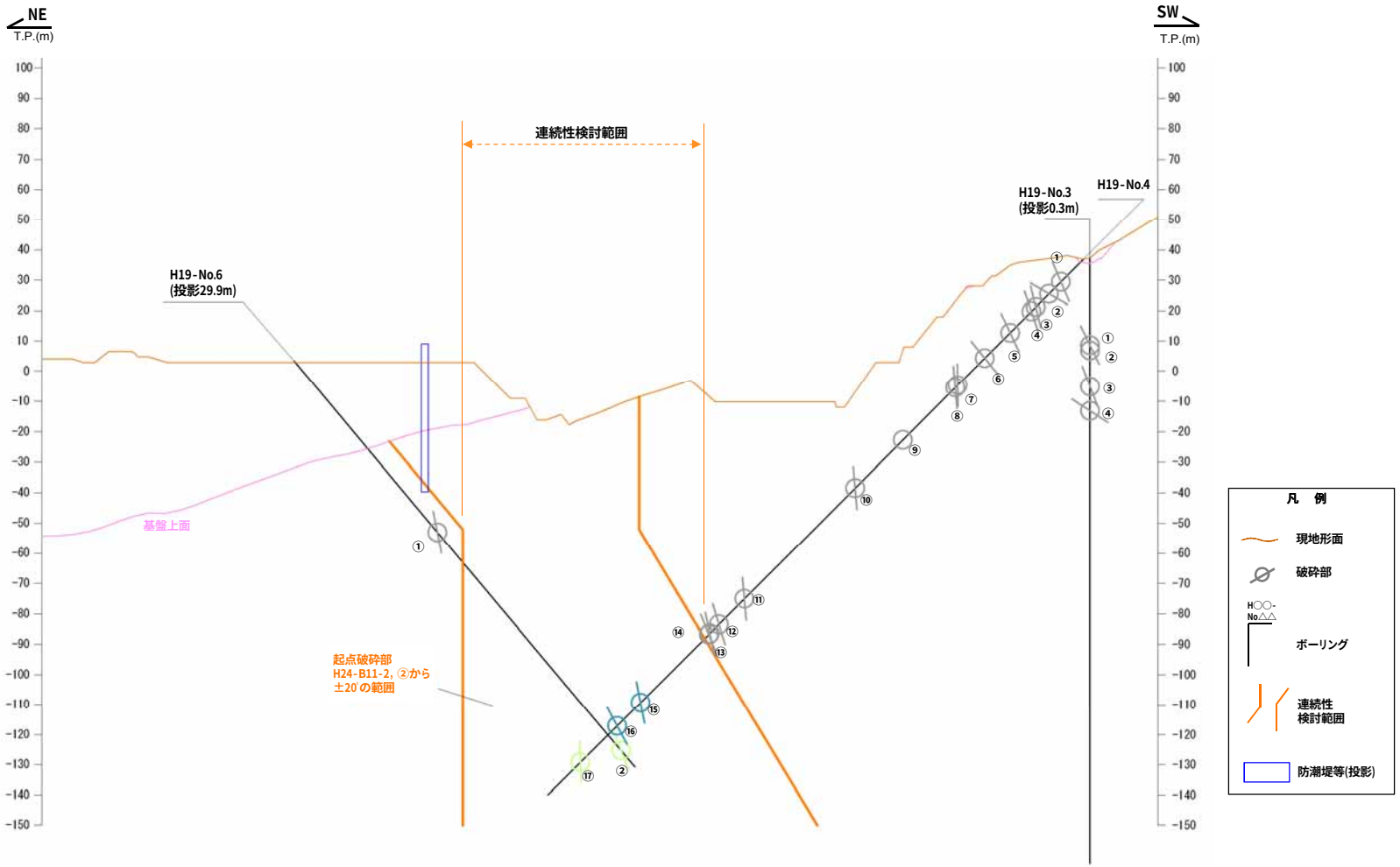
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-2，② -S)



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-2，② -S)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B11-2	-	-	②	77.48	78.1	NS		79W		有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
-	H19-No 3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	32	80W	1	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	16	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	17	77W	2	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	37	67W	12	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	4	70W	9	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	35	62W	17	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	3	79W	0	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	7	73W	6	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	12	73W	6	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	29	72W	7	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	10	89W	10	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	71	86N	15	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107 54	109.94	N16E	16	87W	8	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159 88	N15E	15	87W	8	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171 69	174 88	N9E	9	78W	1	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175 27	175 28	N29W	29	78W	1	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175 64	175 65	N14E	14	76W	3	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
		範囲内	⑮	207 69	207.72	N13E	13	83W	4	有	無	-	-	×	D-7	参考2-90	※2
			⑯	218.73	218.74	N20E	20	74W	5	有	無	64L	-	×	f-4-12	参考2-127	※1
			⑰	234 32	236.15	N28W	28	88W	9	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No 6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	6	82W	3	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
		範囲内	②	167 53	168 54	N41W	41	69W	10	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

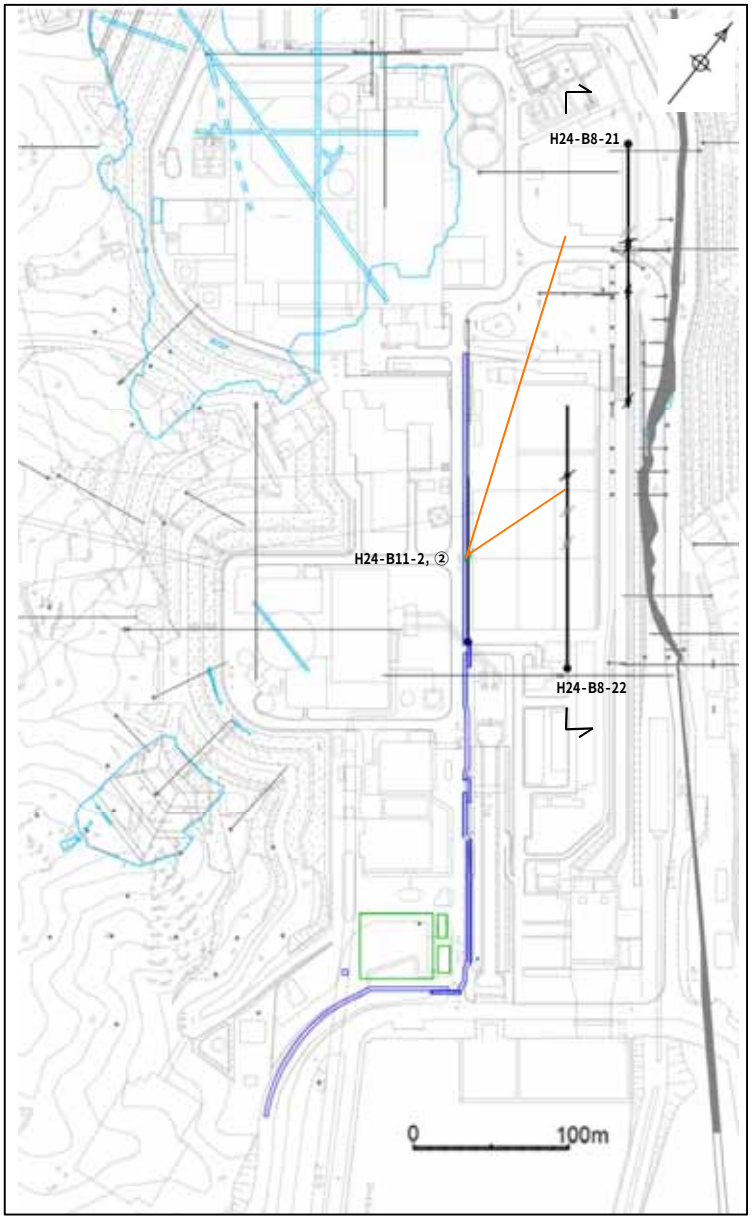
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-2，② -N)



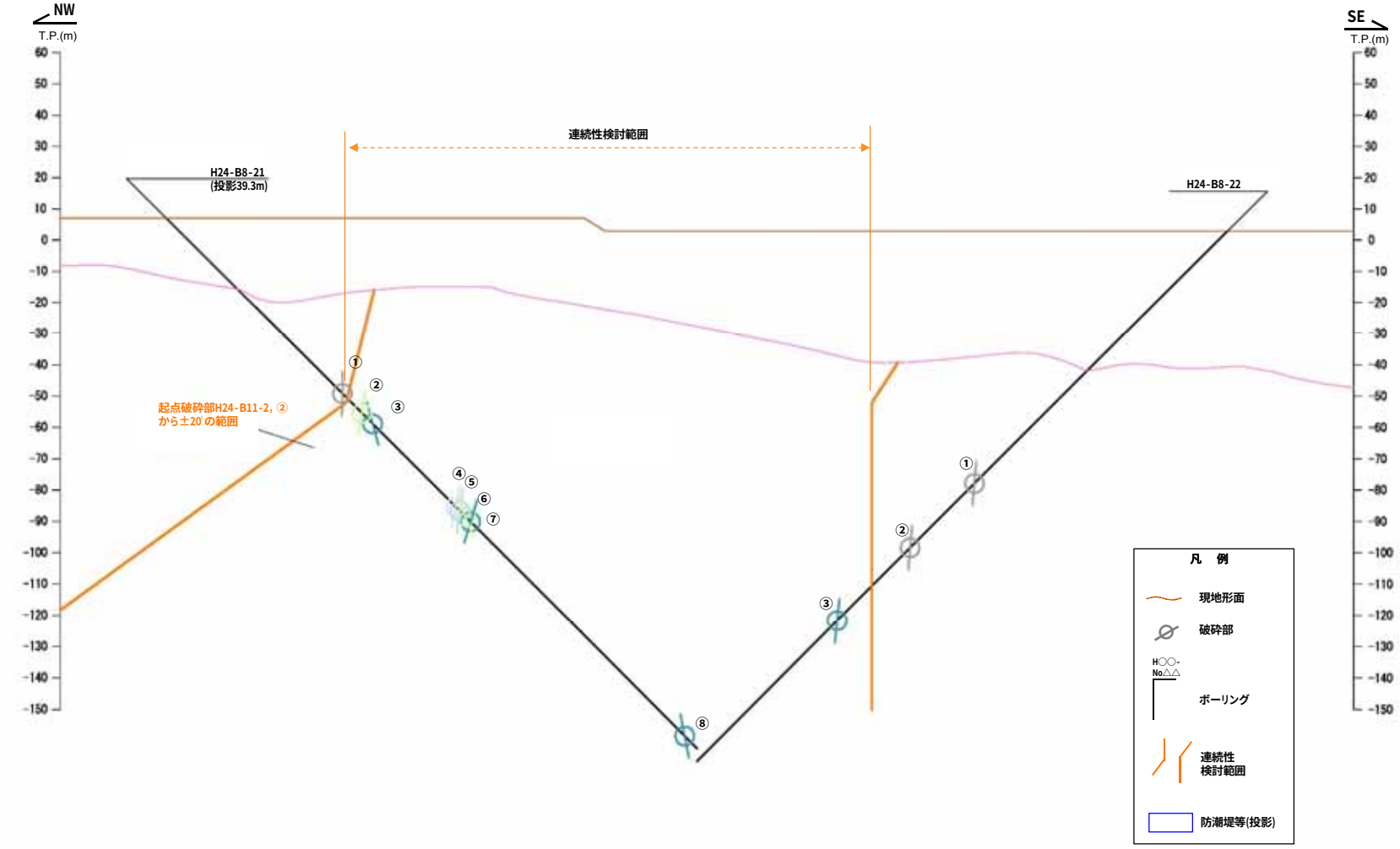
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-2，② -N)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-2，② -N)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H24-B11-2	-	-	②	77.48	78.10	NS		79W		有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
-	H24-B8-21	範囲外	①	79.86	80.17	N18E	18	89W	10	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
		範囲内	②	88.67	88.71	N41E	41	81W	2	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
			③	92.86	93.53	N5W	5	82E	19	有	有	-	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	131.03	131.14	N3W	3	84W	5	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
			⑤	131.88	132.82	N1E	1	85W	6	有	無	65R	N,LL		非モデル化	参考2-189	
			⑥	135.30	135.52	N58E	58	68S	33	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑦	137.72	138.18	N4E	4	79W	0	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑧	234.23	234.38	N3W	3	84E	17	有	無	20L	RL	×	D-37	参考2-116	※3
	H24-B8-22	範囲外	①	114.71	115.13	N3E	3	87W	8	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
			②	143.52	143.76	N17E	17	86W	7	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
		範囲内	③	176.68	177.31	N19E	19	85W	6	有	有	40L	N,RL	×	D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

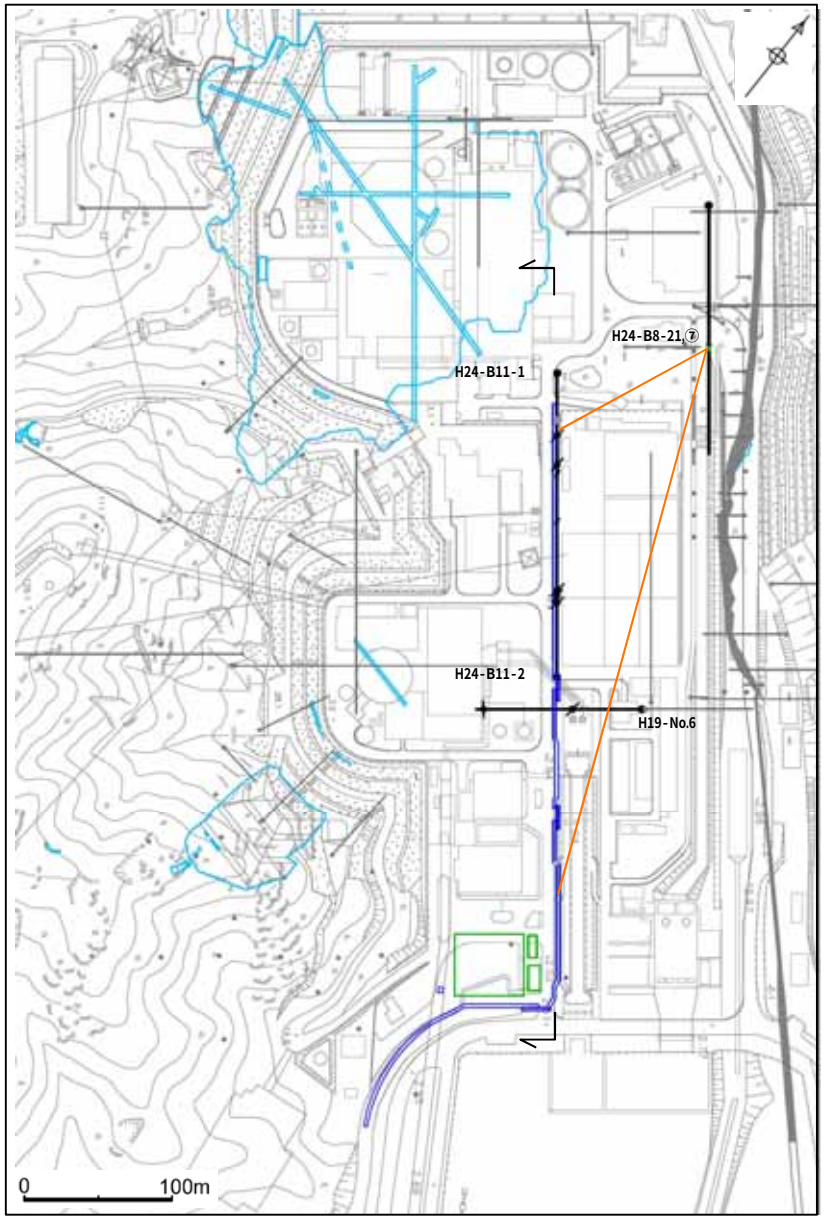
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，⑦)



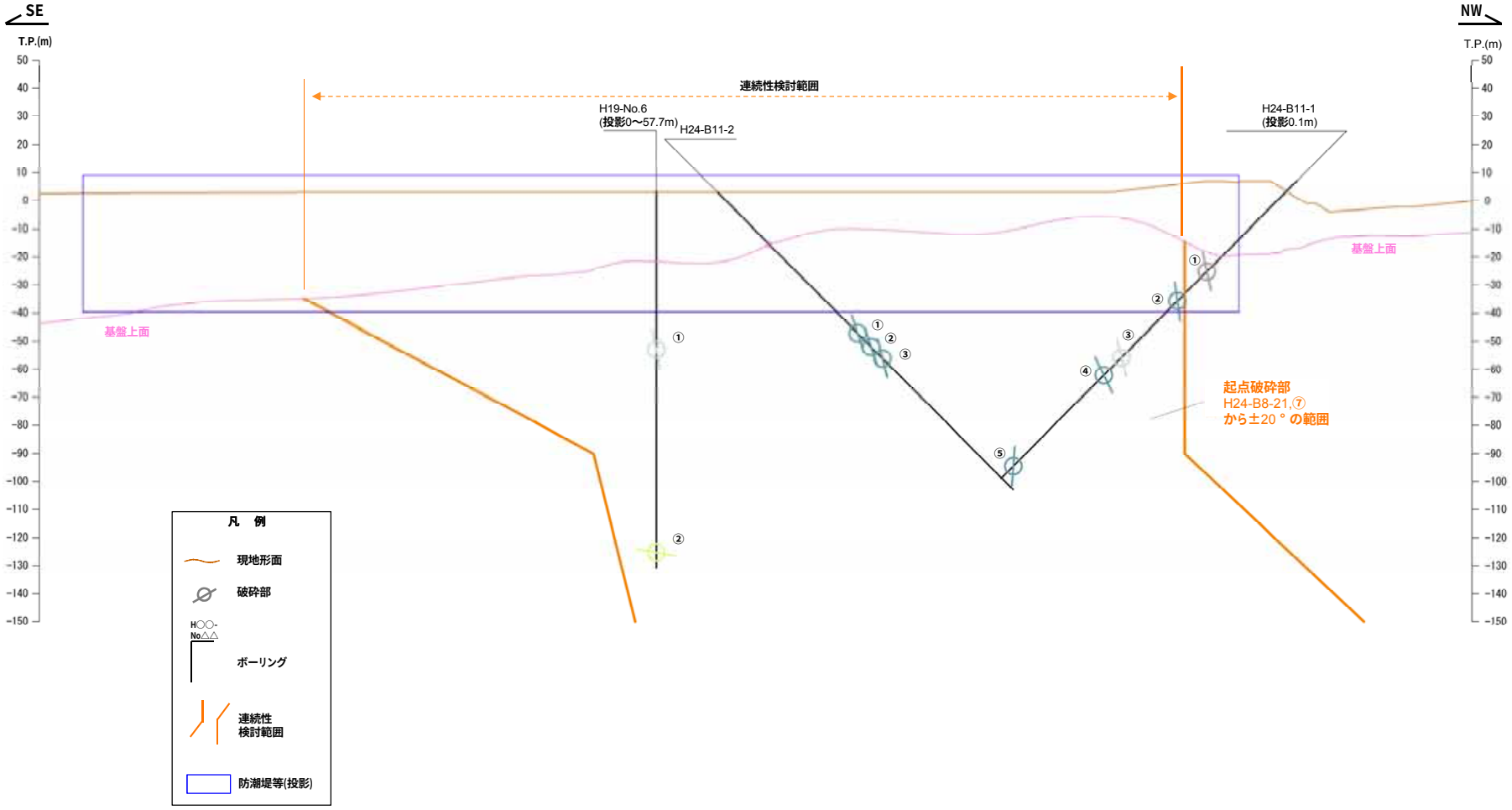
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，⑦)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，⑦)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H24-B8-21	-	-	⑦	137 72	138.18	N4E		79W		有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45 63	N8W	12	84W	5	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
		範囲内	②	60.36	60 60	N8E	4	84W	5	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	0	81W	2	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99 00	N4E	0	72W	7	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143 67	143.77	N8E	4	87E	14	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71 24	N12E	8	76W	3	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	0	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	5	80W	1	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	2	82W	3	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167 53	168.54	N41W	45	69W	10	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

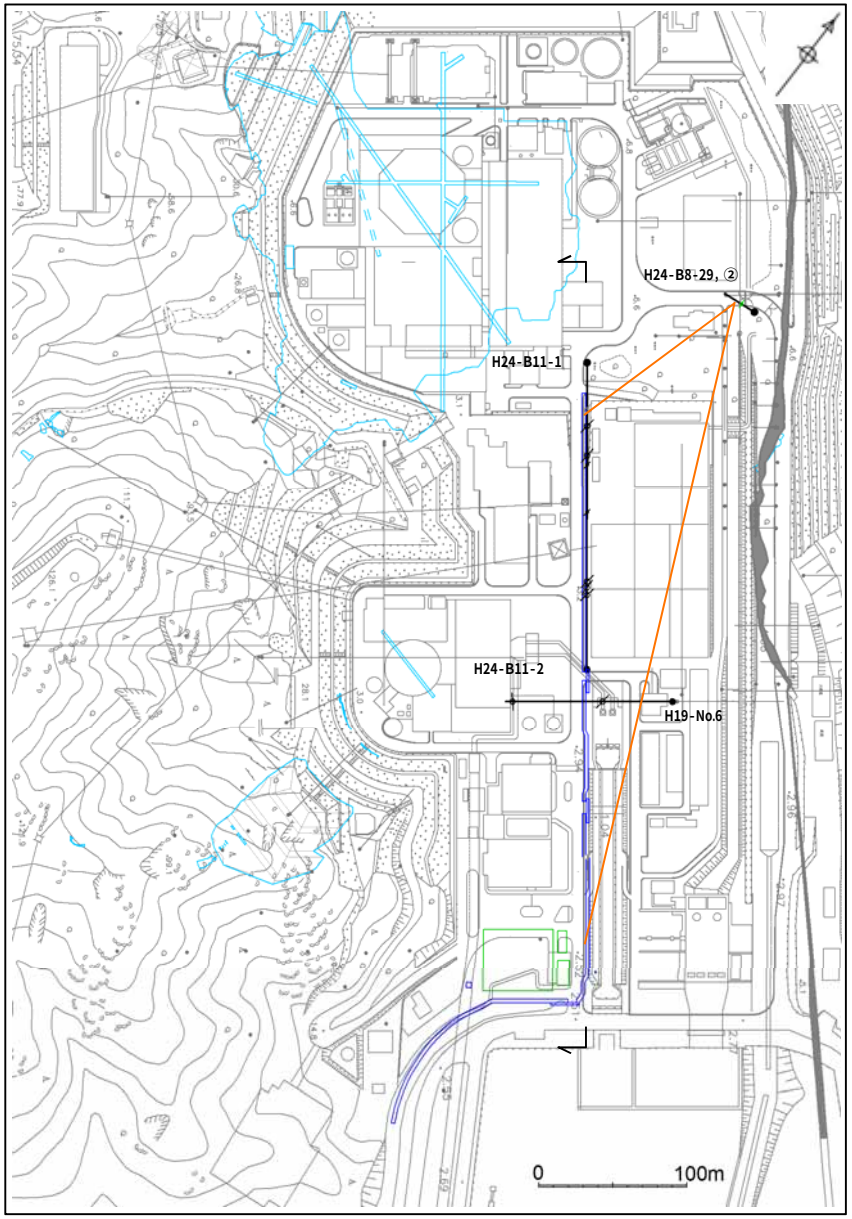
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-29，②)



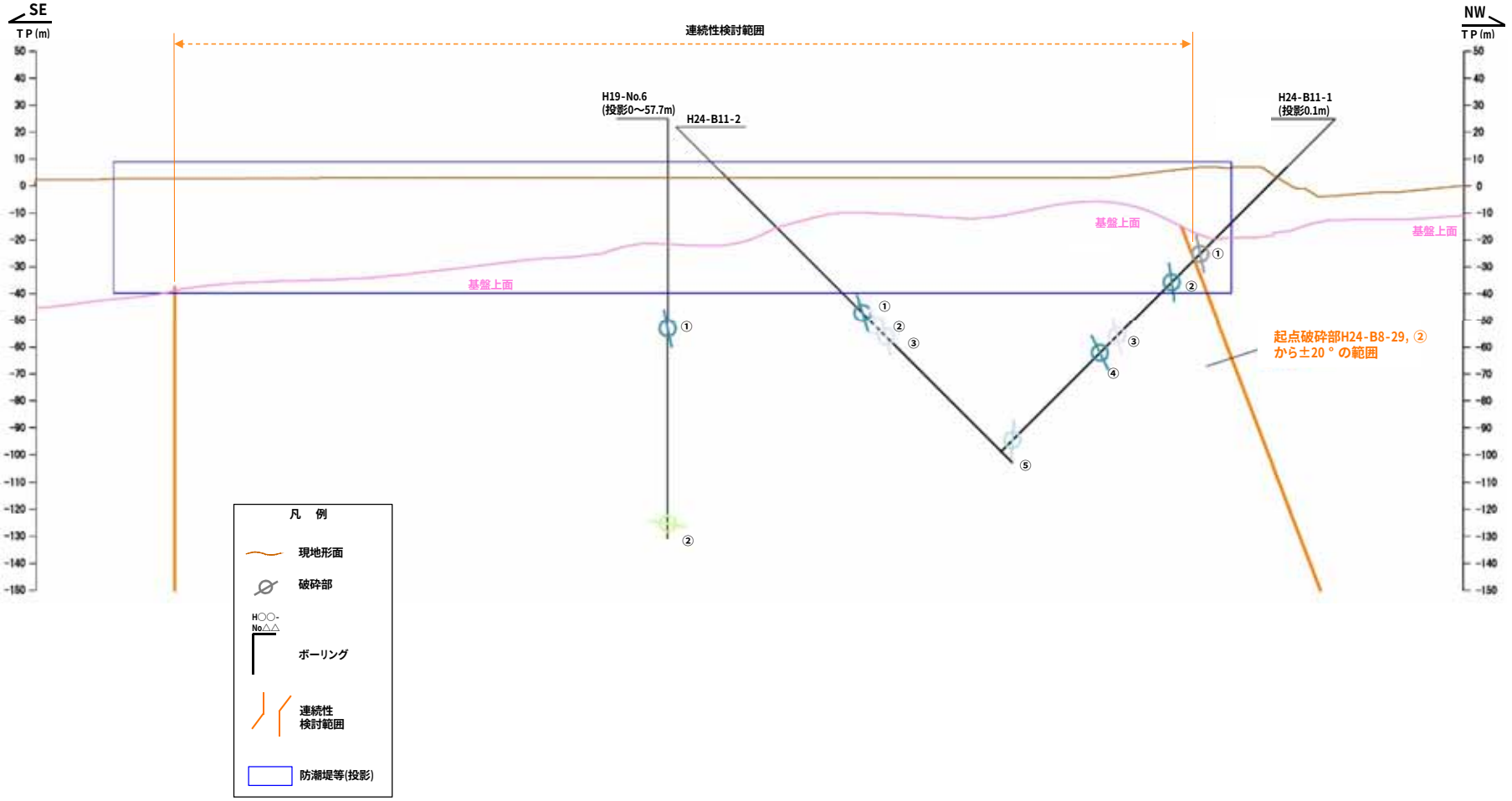
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-29，②)



破砕部着色凡例

- c：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- b：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- b：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- c：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- c：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- a：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- a：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-29，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-29	-	-	②	25.44	26.11	N4W		89W		無	-	90	N		非モデル化	参考2-190	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45 63	N8W	4	84W	5	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
		範囲内	②	60.36	60 60	N8E	12	84W	5	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※3
			③	88.93	88.97	N4E	8	81W	8	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99 00	N4E	8	72W	17	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143 67	143.77	N8E	12	87E	4	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71 24	N12E	16	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	10	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	13	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	10	82W	7	有	無	75R	-	×	D-38	参考2-116	※1
			②	167 53	168.54	N41W	37	69W	20	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

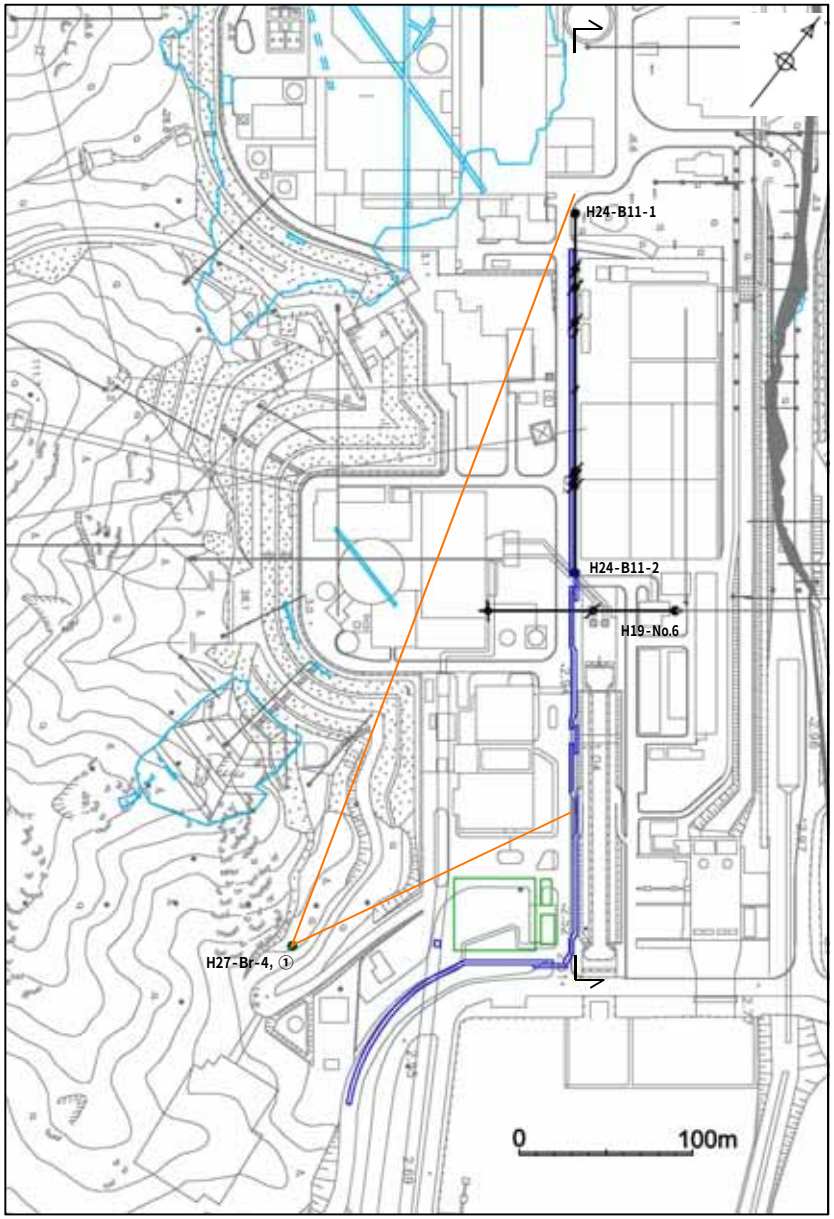
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-4，①)



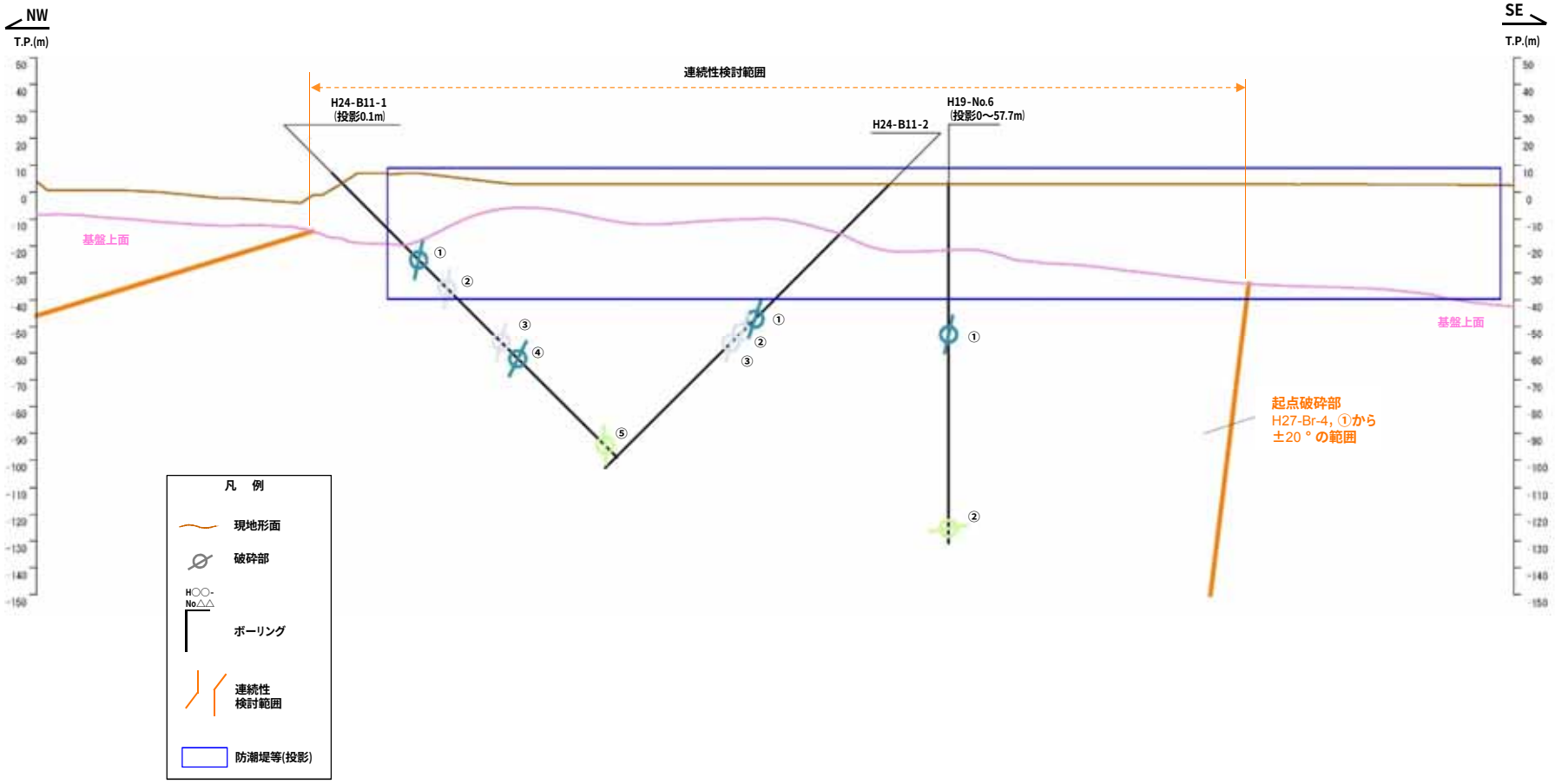
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-4，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-4，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-Br-4	-	-	①	12.91	13 24	N8E		68W		無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45 63	N8W	16	84W	16	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	※1
			②	60.36	60 60	N8E	0	84W	16	有	有	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	4	81W	13	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99 00	N4E	4	72W	4	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	0	87E	25	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71 24	N12E	4	76W	8	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	※2
			②	77.48	78.10	NS	8	79W	11	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	1	80W	12	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	2	82W	14	有	無	75R	-	×	D-38	参考2-116	※2
			②	167.53	168.54	N41W	49	69W	1	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

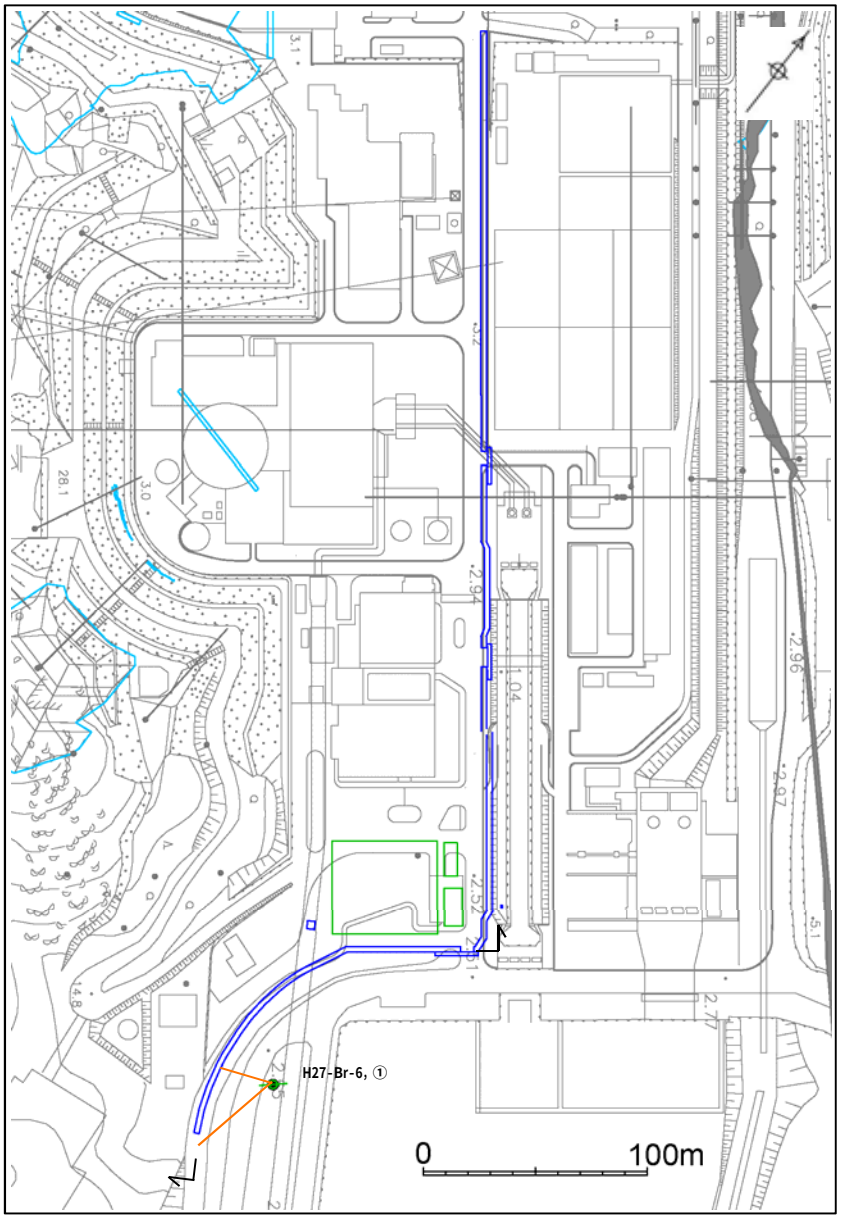
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-6，①)



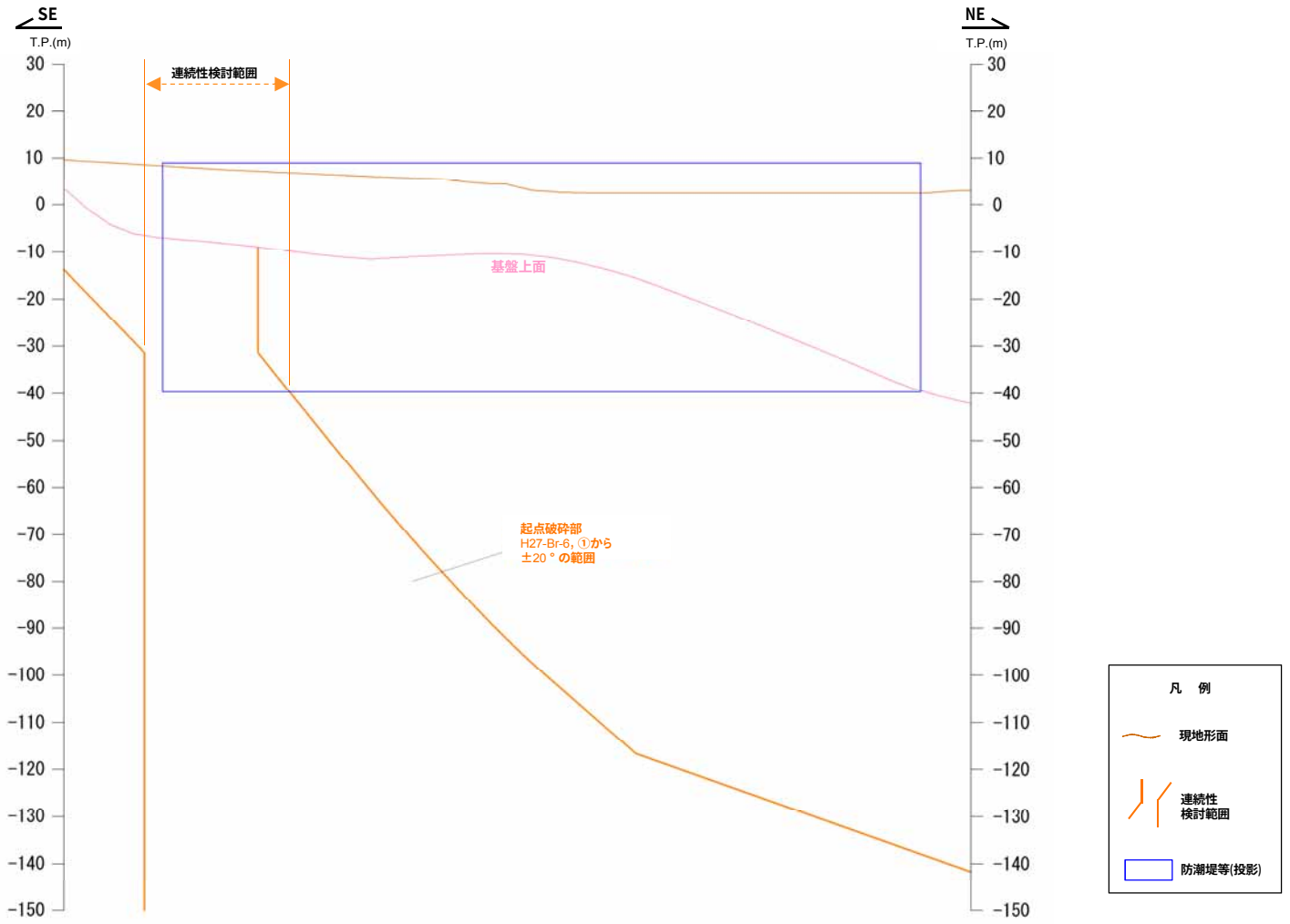
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 起点破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-6，①)

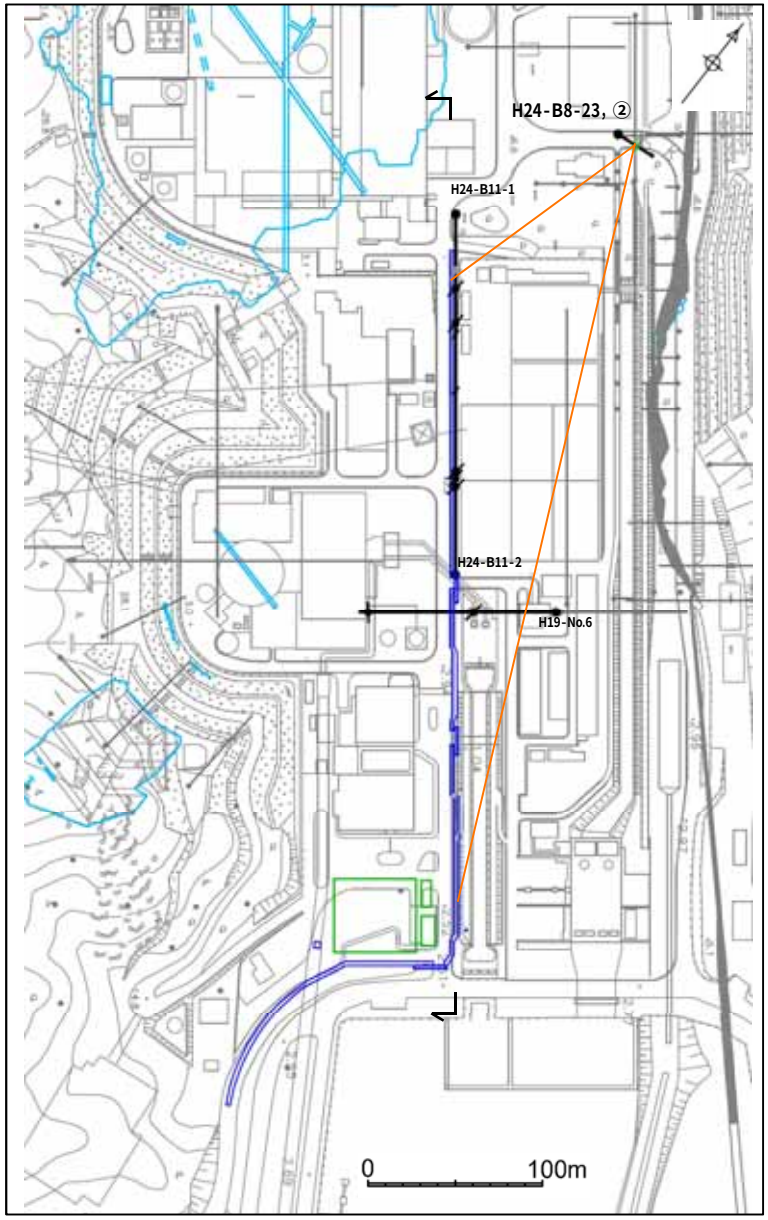


連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破砕部：H27-Br-6, ①)

起点	対比する ボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-Br-6	-	-	①	33.02	34.01	N49E		72W		有	有	85R	N		f-br-6-1	参考2-177	
検討対象範囲に調査無し																	

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-23，②)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

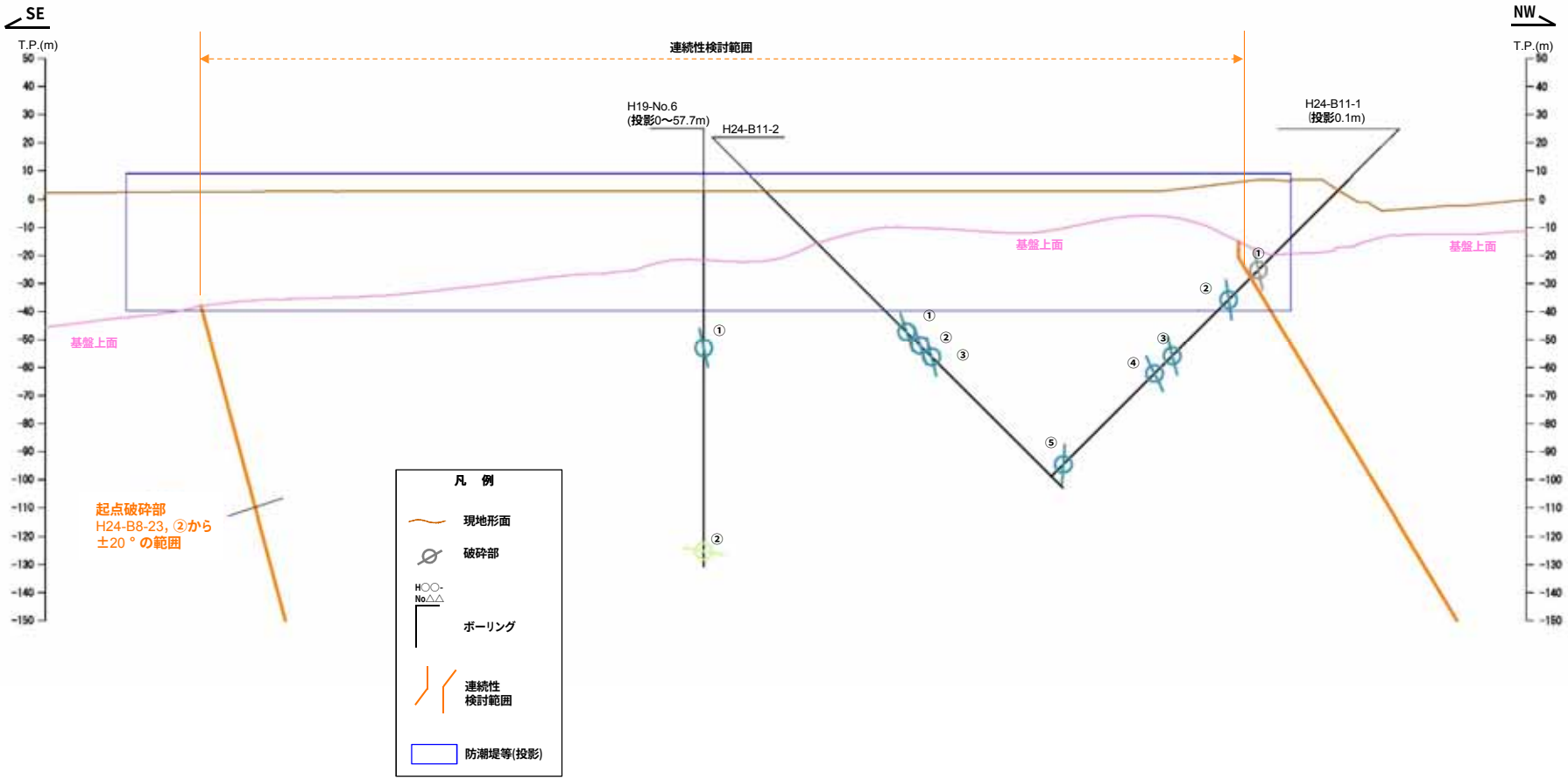
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-23，②)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-23，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H24-B8-23	-	-	②	30 87	31.32	N4W		81W		有	無	-	-		非モデル化	参考2-189	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45 58	45.63	N8W	4	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
		範囲内	②	60 36	60.60	N8E	12	84W	3	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※3
			③	88.93	88.97	N4E	8	81W	0	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	97 87	99.00	N4E	8	72W	9	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143 77	N8E	12	87E	12	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※3
	H24-B11-2		①	71 21	71.24	N12E	16	76W	5	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	2	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80 50	83.93	N9E	13	80W	1	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	10	82W	1	有	無	75R	-	×	D-38	参考2-116	※1
			②	167.53	168 54	N41W	37	69W	12	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

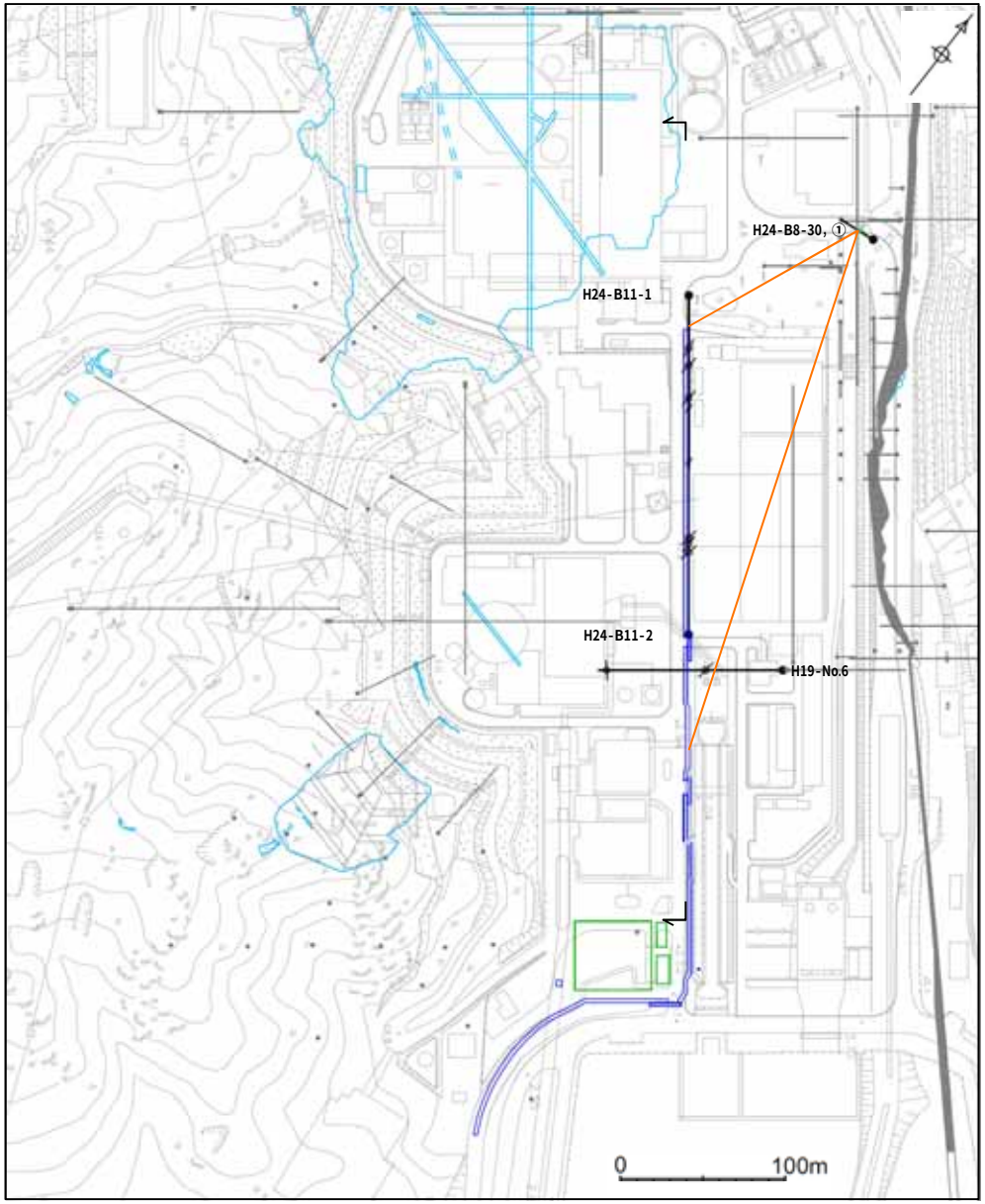
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-30，①)



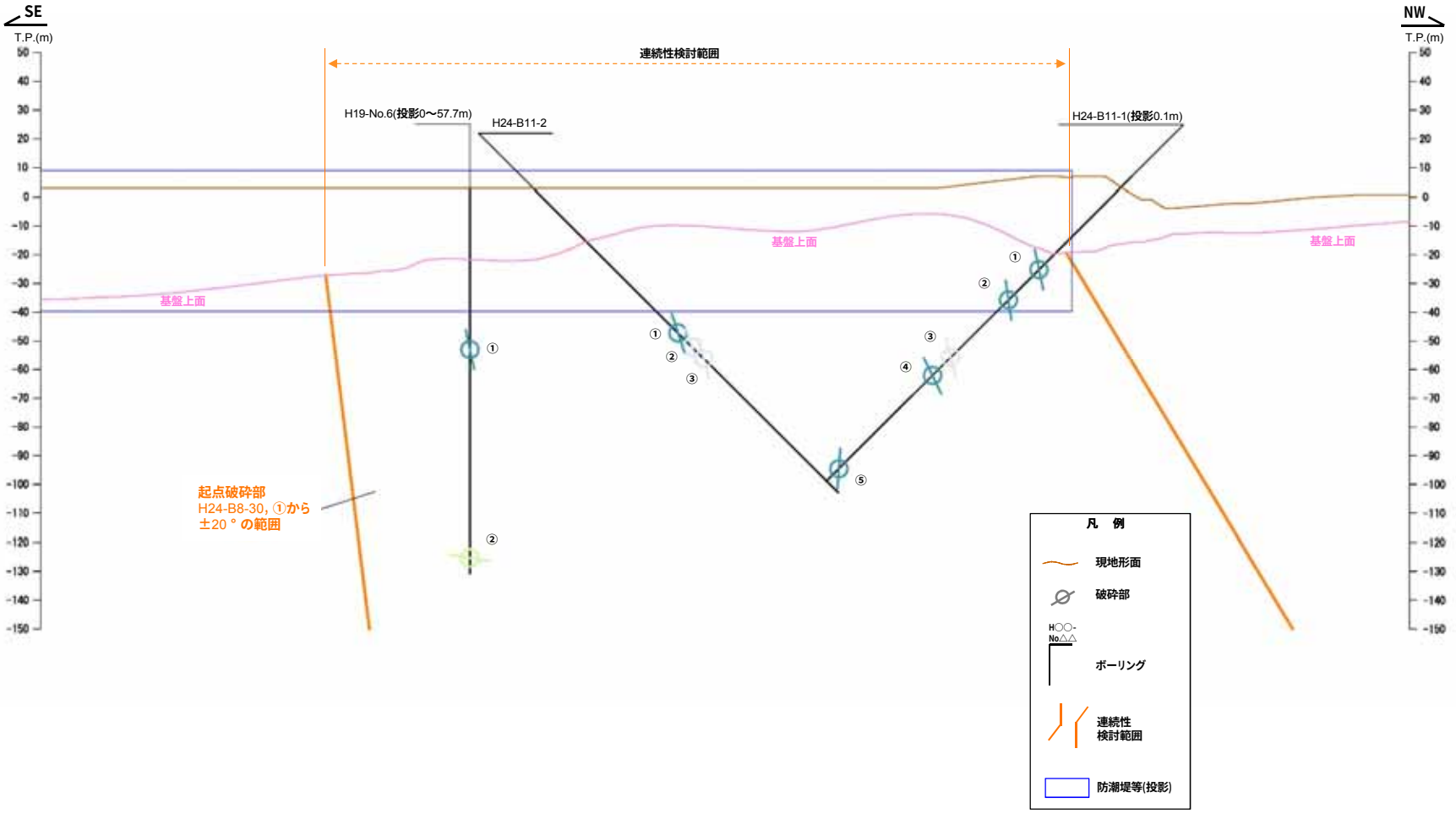
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-30，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-30，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H24-B8-30	-	-	①	24.60	25 04	N1E		81W		無	-	-	-		非モデル化	参考2-190	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45 63	N8W	9	84W	3	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	※2
			②	60.36	60 60	N8E	7	84W	3	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※3
			③	88.93	88.97	N4E	3	81W	0	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99 00	N4E	3	72W	9	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143 67	143.77	N8E	7	87E	12	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※3
	H24-B11-2		①	71.21	71 24	N12E	11	76W	5	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	1	79W	2	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	8	80W	1	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	5	82W	1	有	無	75R	-	×	D-38	参考2-116	※1
			②	167 53	168.54	N41W	42	69W	12	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

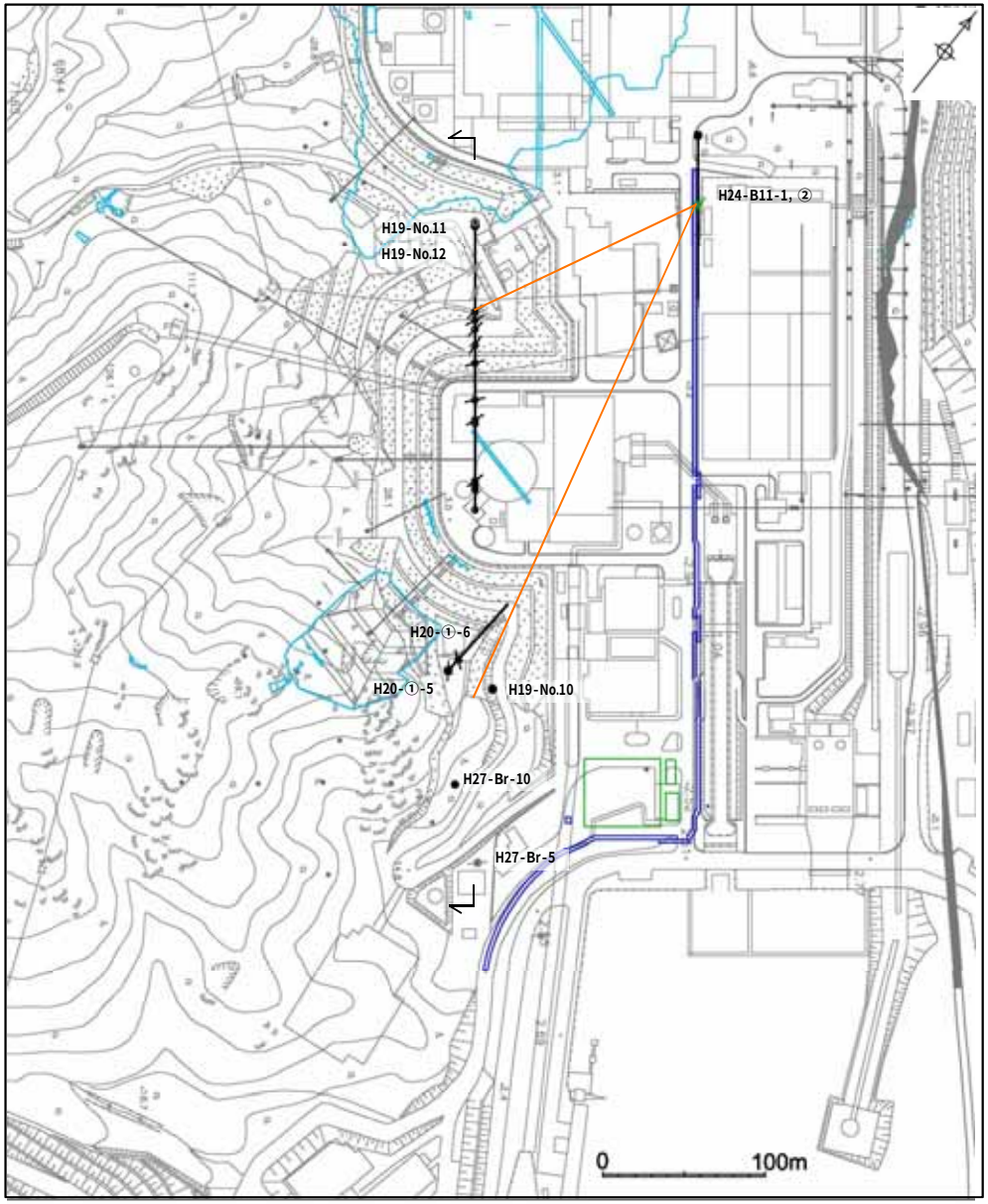
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，② -S)



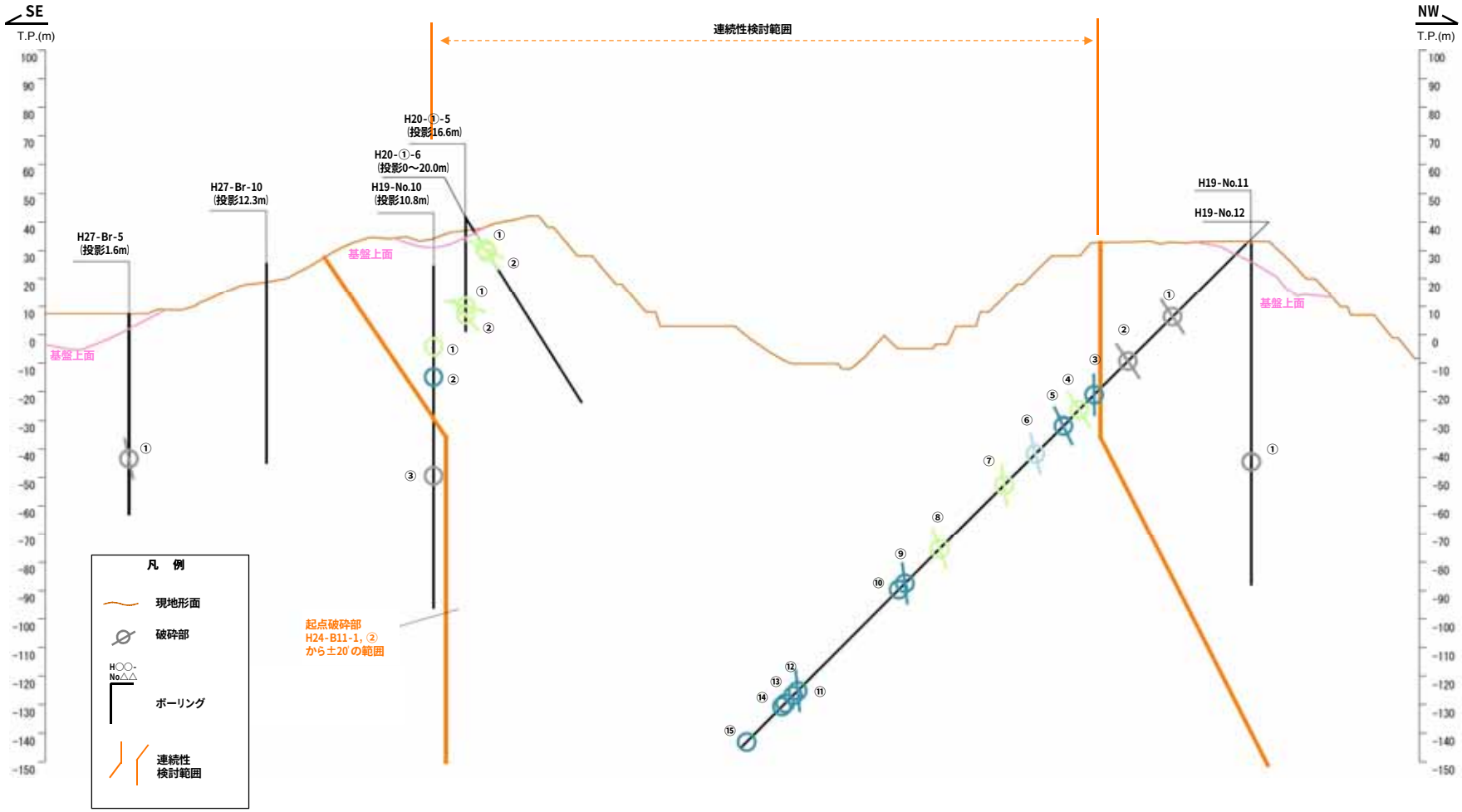
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，② -S)



注）H27-Br-10孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，② -S)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H24-B11-1	-	-	②	60.36	60.60	N8E		84W		有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
-	H19-No.11	範囲外	①	76.60	77.00	-	-	(74)	10	有	無	-	-		D-2	参考2-86	
	H19-No.12	範囲外	①	36.35	36.58	N3E	5	53W	31	有	無	57L	-		D-2	参考2-86	
			②	58.41	58.43	N4W	12	70W	14	有	有	75L	-		D-3	参考2-87	
		範囲内	③	75.04	75.08	-	-	-	-	無	-	25L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	82.48	82.50	N25E	17	61W	23	無	-	56L	-		f-12-3	参考2-129	
			⑤	90.45	90.66	N8E	0	71W	13	無	-	30R	-	×	f-12-4	参考2-129	
			⑥	104.12	104 22	N4W	12	83W	1	有	無	50L	N,RL		D-4	参考2-89	
			⑦	119 64	119.72	N37E	29	83W	1	有	無	42L	-		f-12-6	参考2-129	
			⑧	152 06	152 09	N40E	32	71W	13	有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129	
			⑨	169 38	169.46	N21E	13	84W	0	有	無	85R	-	×	f-12-8	参考2-130	※1
			⑩	172 20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-5	参考2-70	
			⑪	222 85	222 88	N14E	6	85W	1	有	無	24L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	224 67	225 08	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-6	参考2-57	
			⑬	228 53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-19	参考2-99	※1
			⑭	230 00	230 07	-	-	-	-	無	-	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1
			⑮	247 57	247 64	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-7	参考2-90	
	H20-①-5		①	31.28	31.44	N33W	41	75W	9	無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
			②	34.37	34.70	N89W	97	58S	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	61	60S	24	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	89	65S	19	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H19-No.10		①	28.46	28.53	-	-	(63)	21	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	39.09	39.14	-	-	(73)	11	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※1
		範囲外	③	73.62	73.63	-	-	(68)	18	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
	H27-Br-5		①	50.48	51.16	N46E	38	78NW	6	有	有	80R	N		f-br-5-1	参考2-177	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

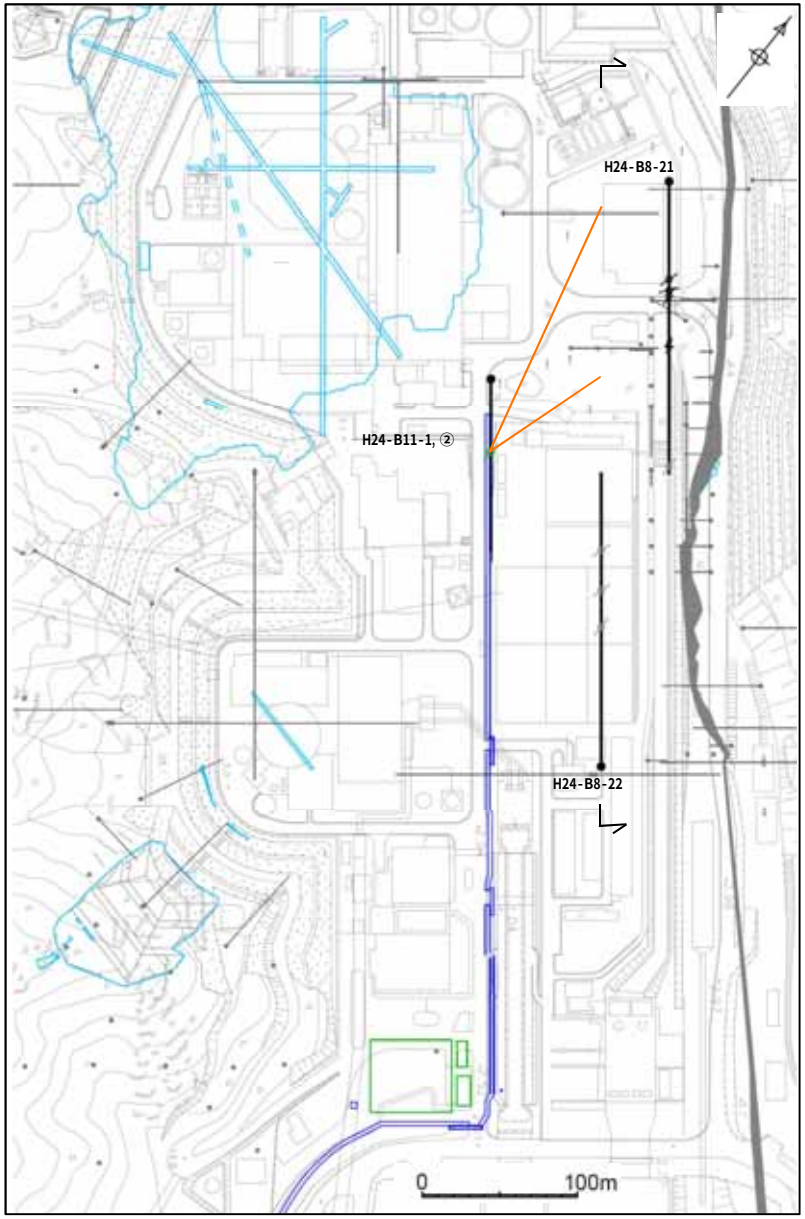
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，② -N)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

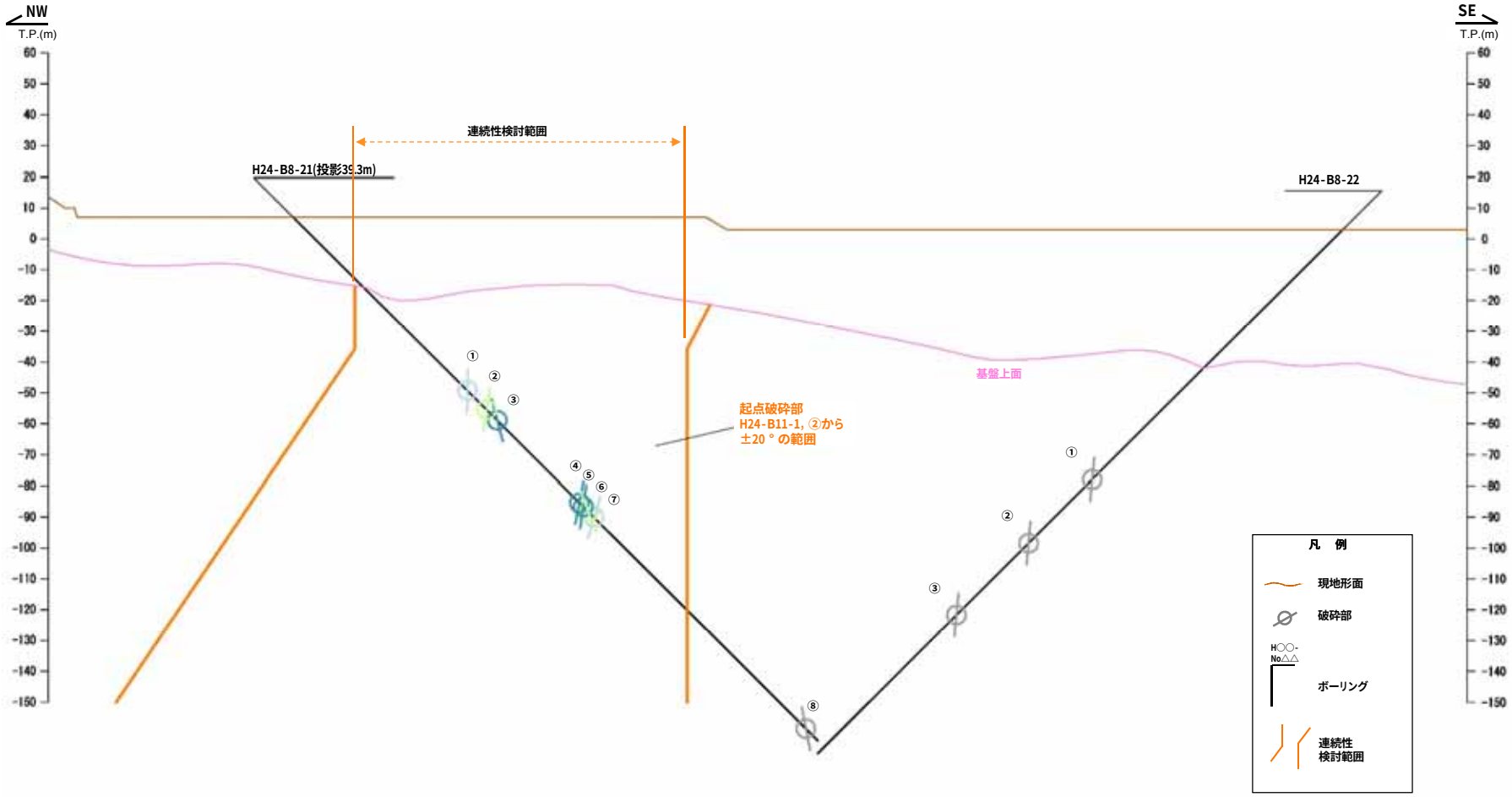
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，② -N)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，② -N)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H24-B11-1	-	-	②	60.36	60.60	N8E		84W		有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
-	H24-B8-21	範囲内	①	79.86	80.17	N18E	10	89W	5	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
			②	88.67	88.71	N41E	33	81NW	3	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
			③	92.86	93.53	N5W	13	82E	14	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	131 03	131.14	N3W	11	84W	0	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
			⑤	131 88	132 82	N1E	7	85W	1	有	無	65R	N,LL	×	非モデル化	参考2-189	
			⑥	135 30	135 52	N58E	50	68S	28	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑦	137.72	138.18	N4E	4	79W	5	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
		範囲外	⑧	234 23	234 38	N3W	11	84E	12	有	無	20L	RL		D-37	参考2-116	
	H24-B8-22		①	114.71	115.13	N3E	5	87W	3	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
			②	143 52	143.76	N17E	9	86W	2	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
			③	176 68	177 31	N19E	11	85W	1	有	有	40L	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

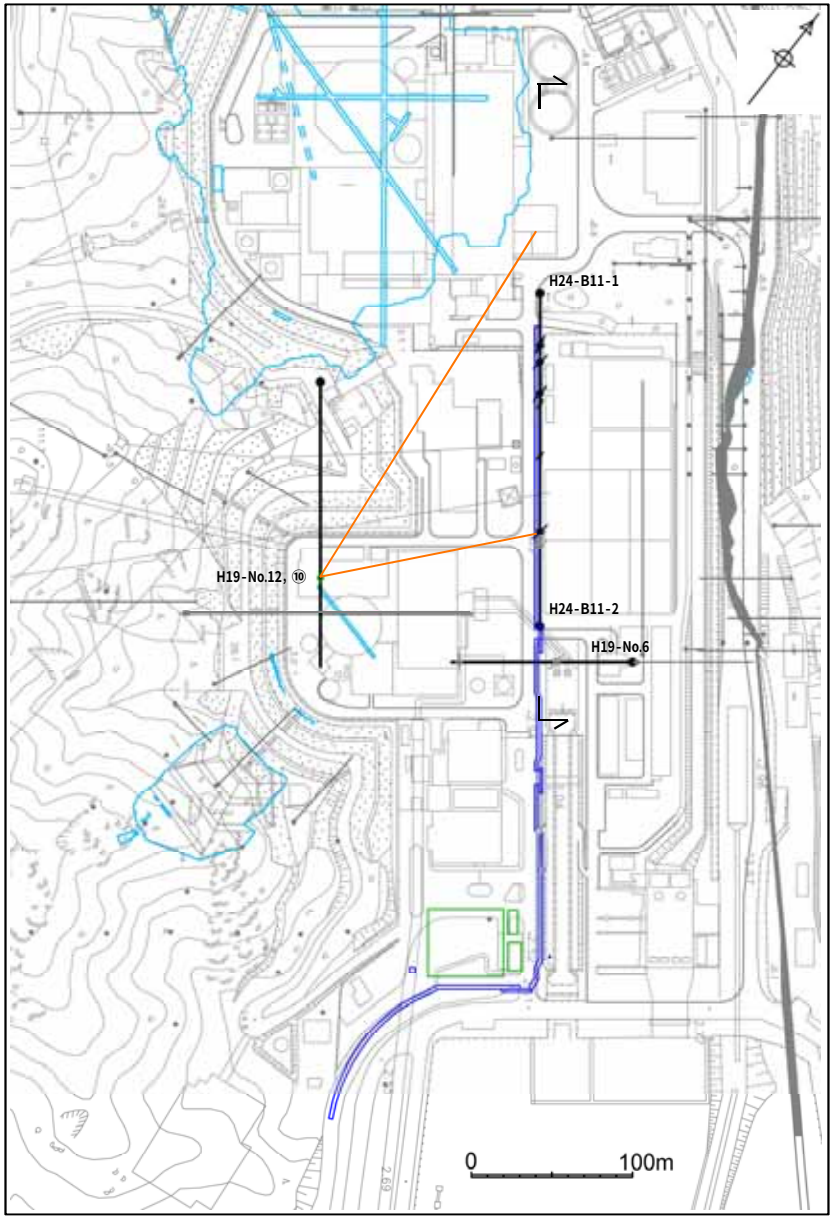
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑩)



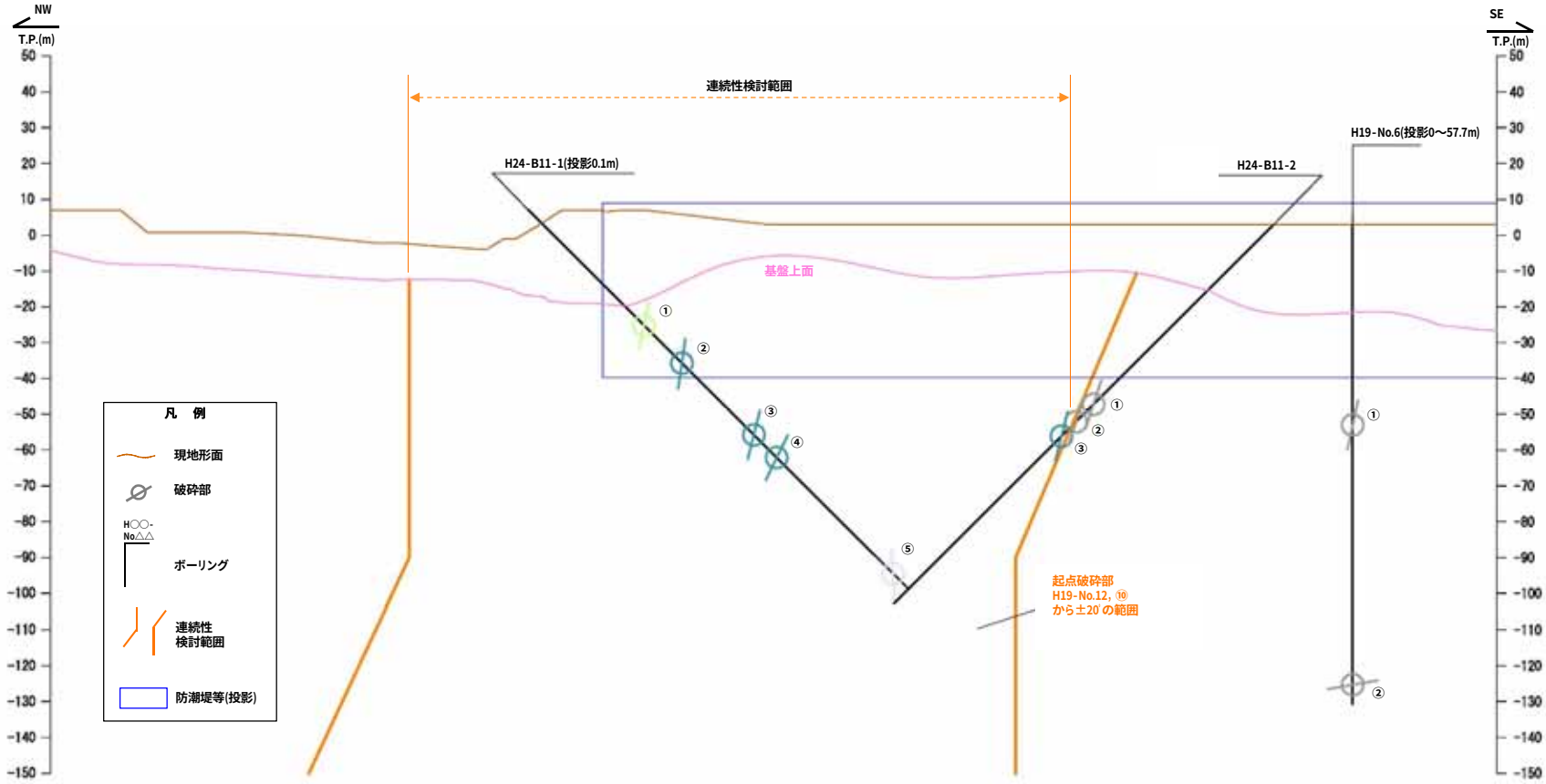
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑩)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑩)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	⑩	172.20	172.45	(N16E)		(87W)		有	有	-	-		D-5	参考2-70	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	24	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	8	84W	3	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※4
			③	88.93	88.97	N4E	12	81W	6	有	有	60L	N,RL	○	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	12	72W	15	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	※4
			⑤	143.67	143.77	N8E	8	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	4	76W	11	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	16	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
		範囲内	③	80.50	83.93	N9E	7	80W	7	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	10	82W	5	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	57	69W	18	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

():走向傾斜はH19-No.4における参考値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

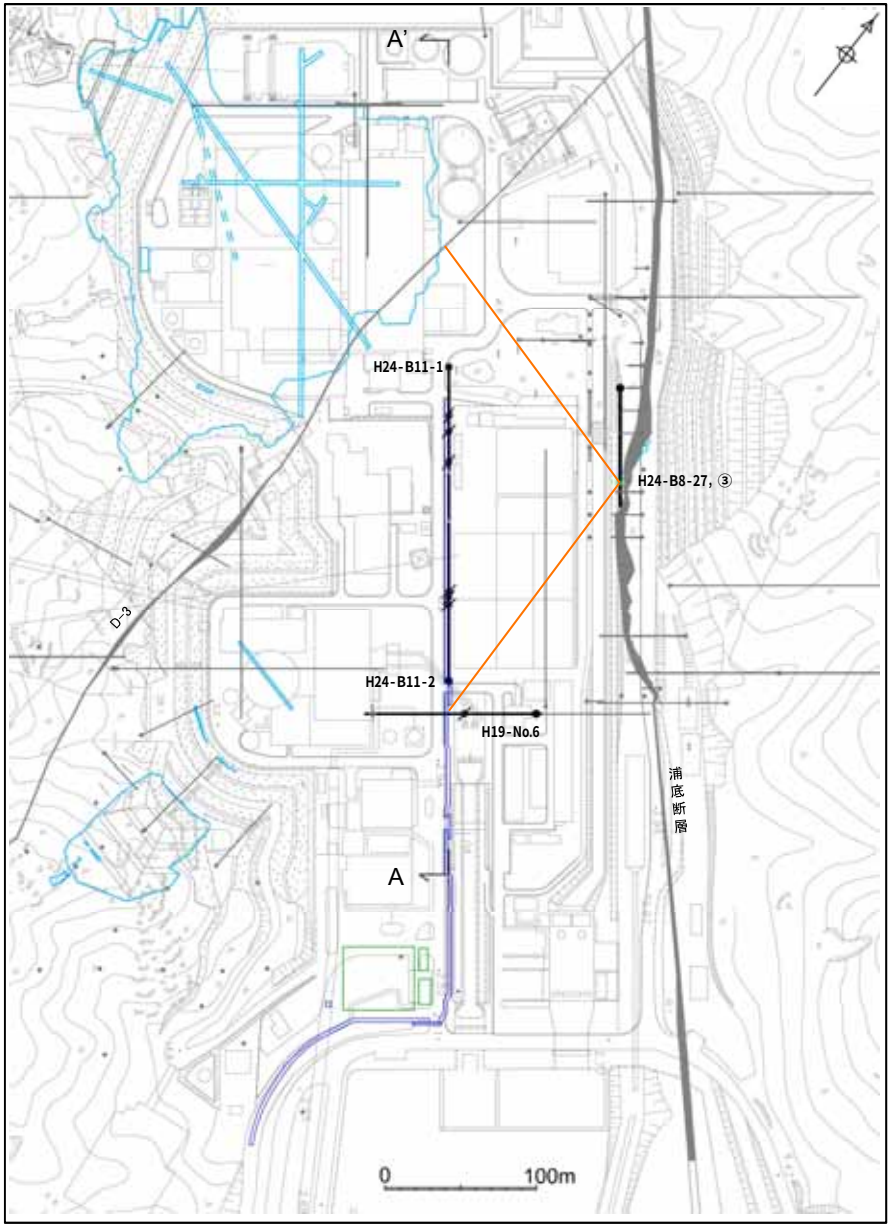
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-27，③)〔A-A’断面〕



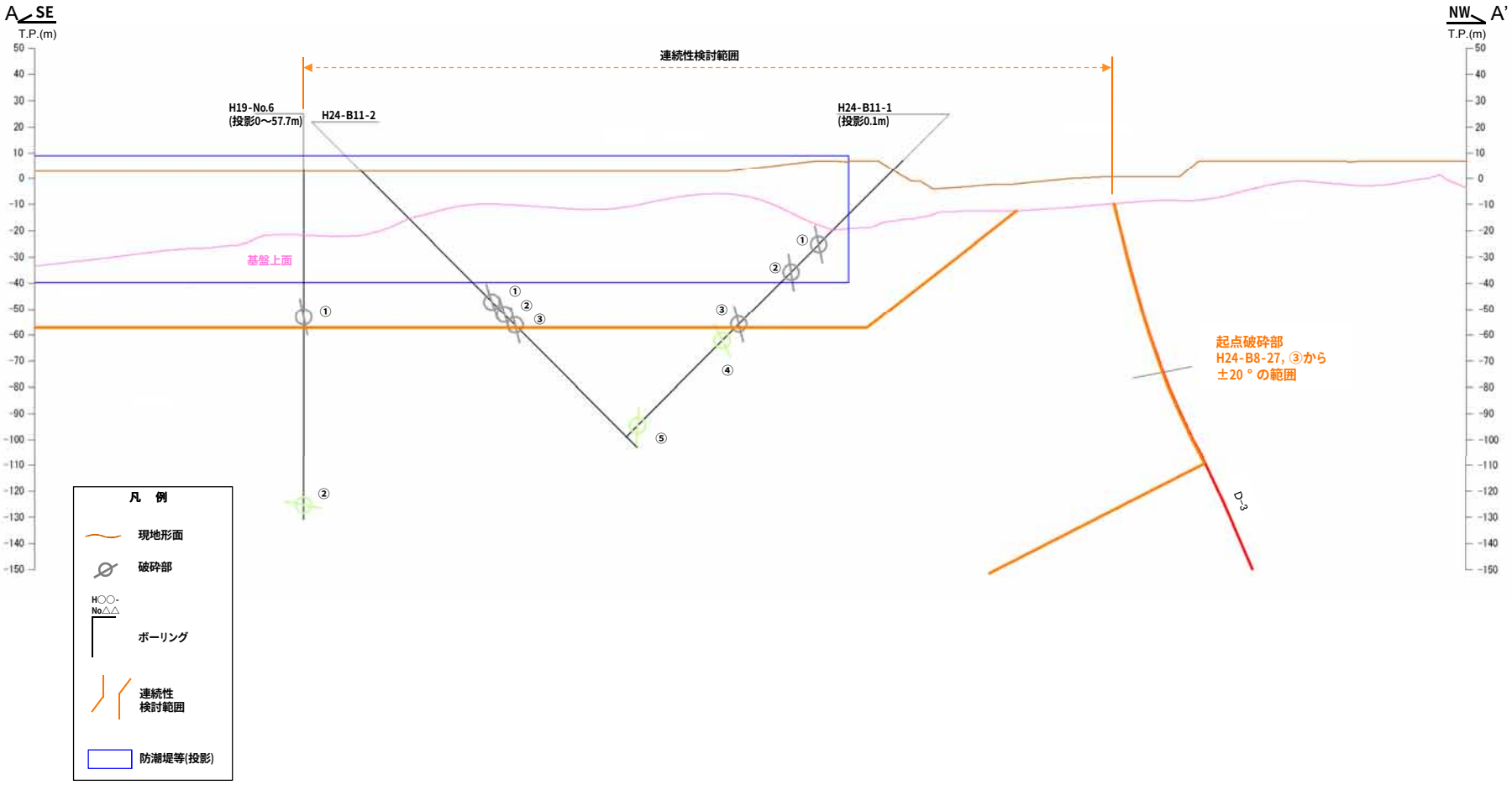
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-27，③)〔A-A’断面〕



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-27，③)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-27	-	-	③	88 55	89.17	N78W		20S		有	無	15L	RL		非モデル化	参考2-190	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45 58	45.63	N8W	70	84W	64	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60 36	60.60	N8E	86	84W	64	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	82	81W	61	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
		範囲内	④	97 87	99.00	N4E	82	72W	52	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	86	87E	73	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71 21	71.24	N12E	90	76W	56	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	78	79W	59	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80 50	83.93	N9E	87	80W	60	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No 6		①	73.43	73.45	N6E	84	82W	62	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
		範囲内	②	167.53	168.54	N41W	37	69W	49	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

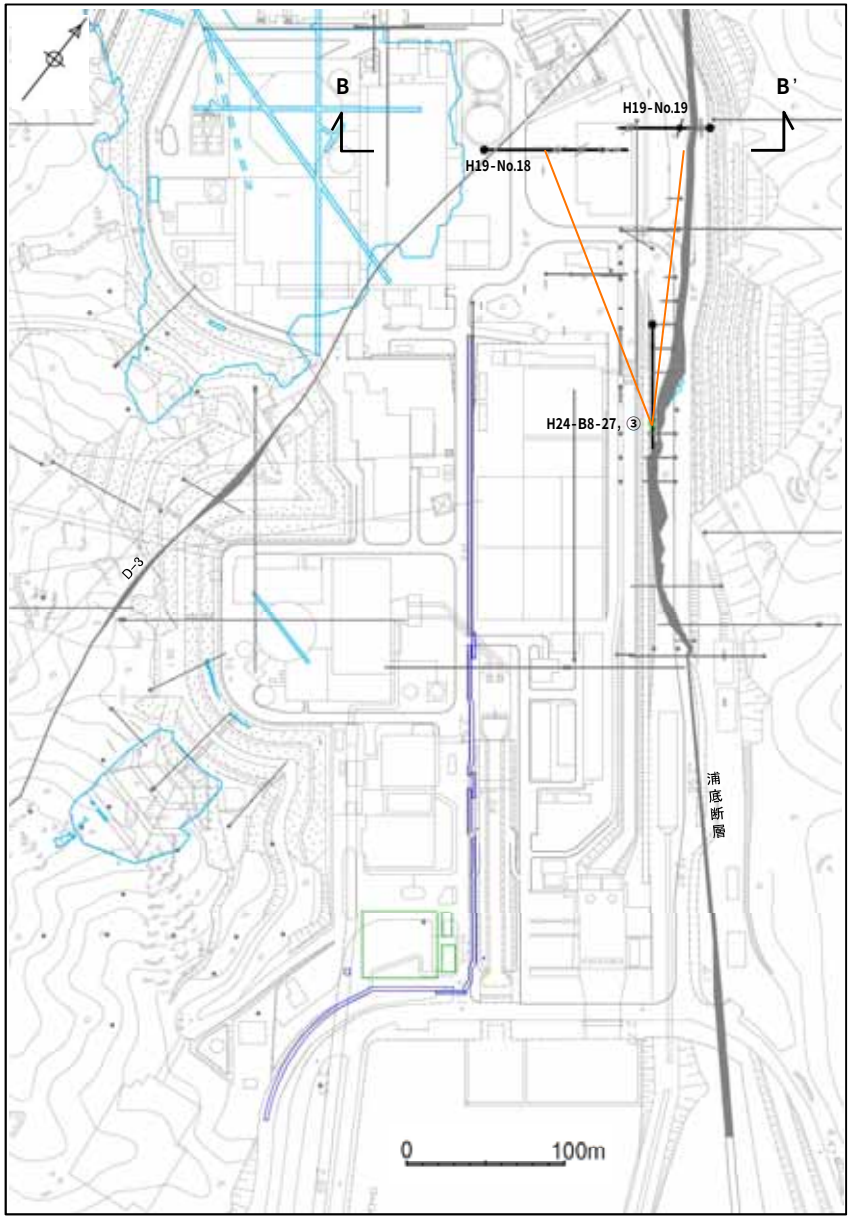
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-27，③)〔B-B’断面〕



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

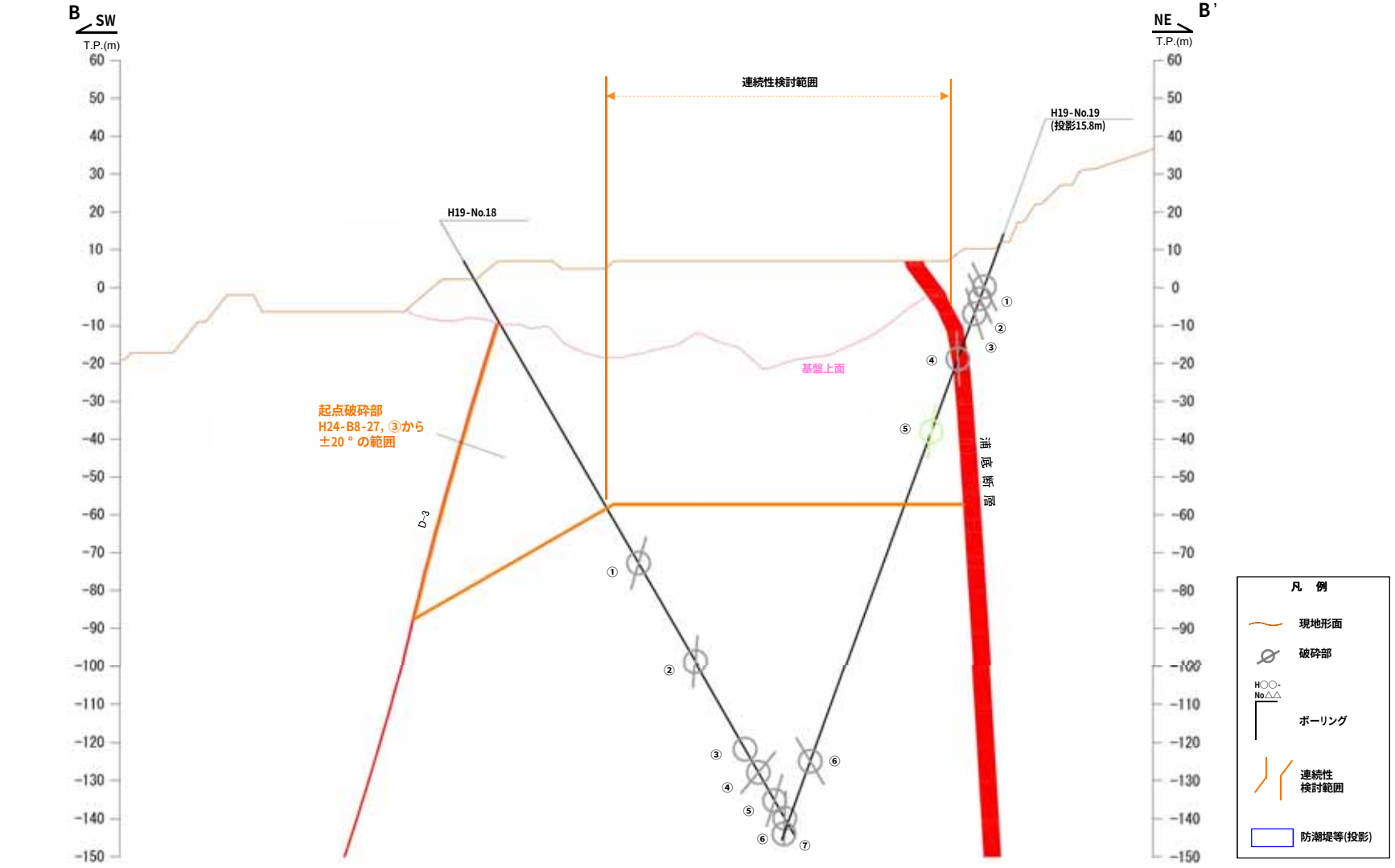
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-27，③)〔B-B'断面〕



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-27，③)〔B-B'断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H24-B8-27	-	-	③	88 55	89.17	N78W		20S		有	無	15L	RL		非モデル化	参考2-190	
-	H19-No.18	範囲外	①	92.14	92.18	N31E	71	84W	64	有	無	10L	-		f-18-1	参考2-132	
			②	122.16	122.35	N6E	84	87W	67	有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-		D-39	参考2-117	
			④	155.72	155.75	N36E	66	76W	56	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	164.25	N9E	87	78W	58	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑥	169.62	169.63	N20E	82	89W	69	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
	H19-No.19		①	14.73	14.86	N42W	36	63E	97	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	42	65E	95	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	44	72E	88	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	37	87NE	73	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
		範囲内	⑤	55.49	55.56	N20W	58	82W	62	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
		範囲外	⑥	147.93	148.12	N13E	89	68E	92	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

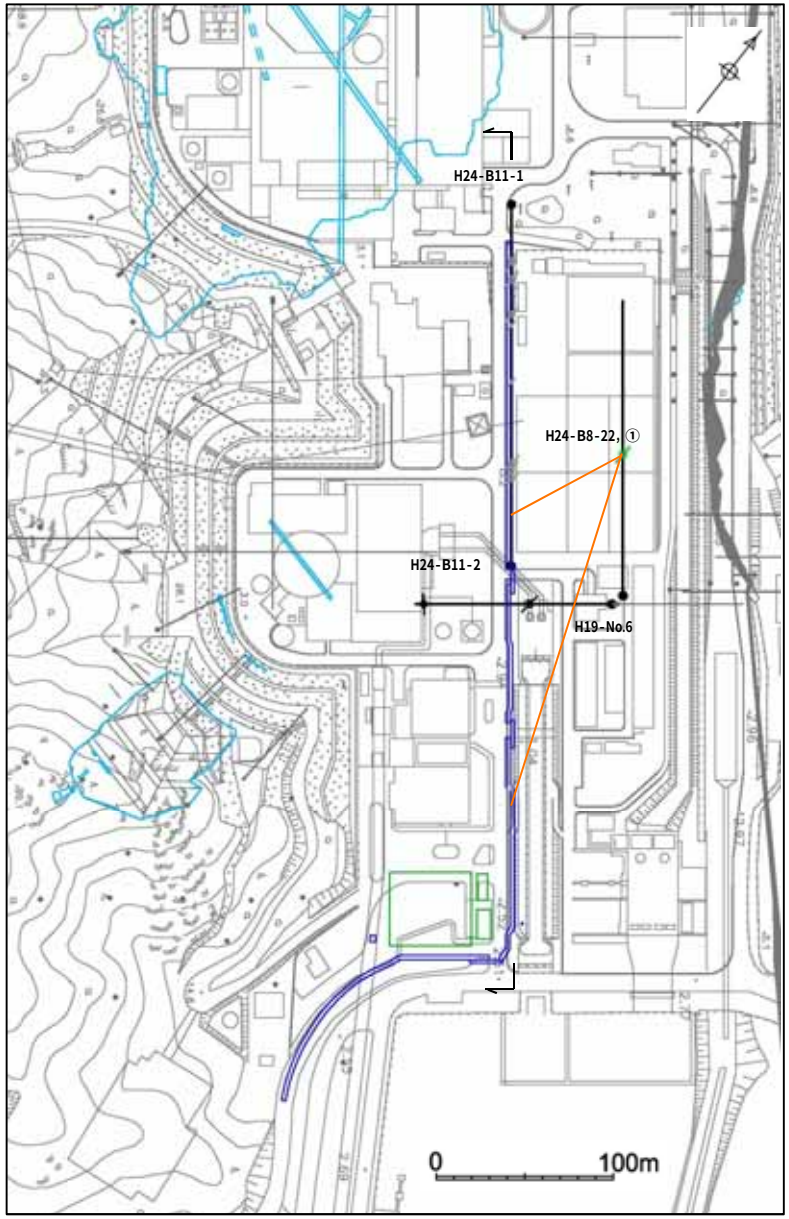
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-22，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

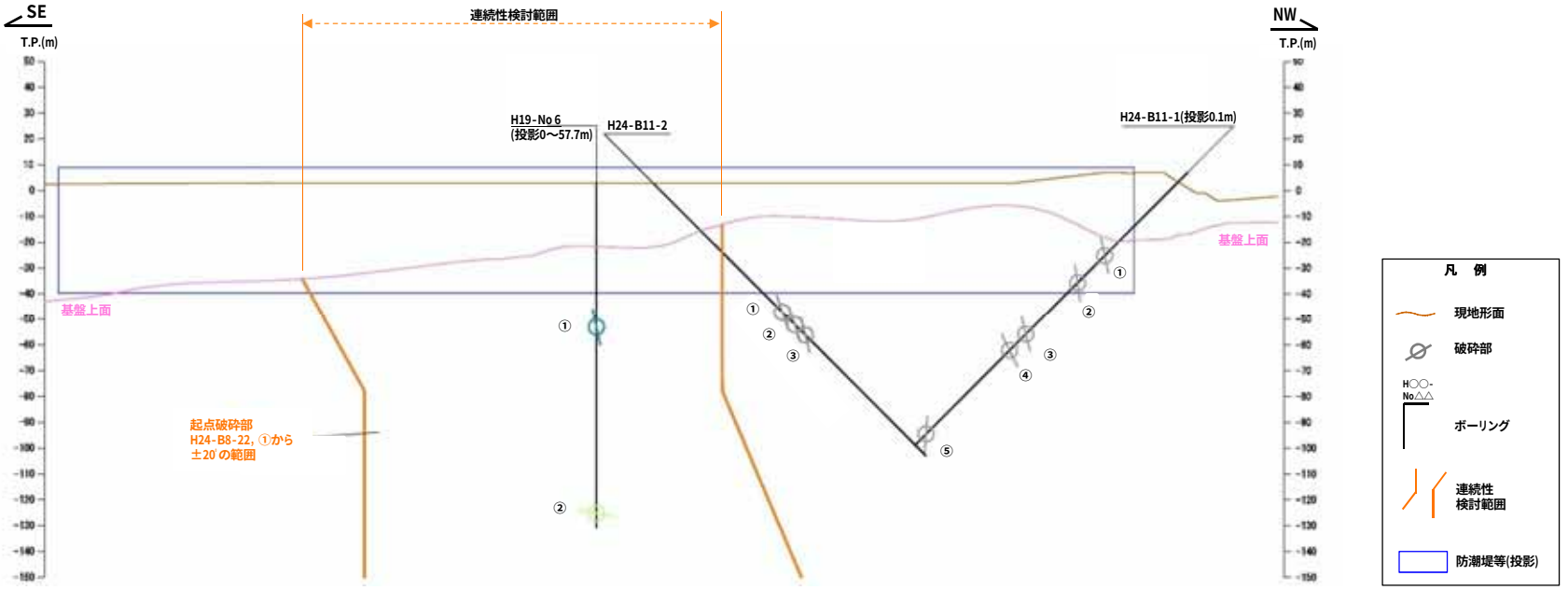
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-22，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-22，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度(m)	下端深度(m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H24-B8-22	-	-	①	114.71	115.13	N3E		87W		無	-	90	N		D-38	参考2-116	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	11	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	5	84W	3	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	1	81W	6	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	1	72W	15	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	5	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	9	76W	11	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	3	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	6	80W	7	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	3	82W	5	有	無	75R	N	○	D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	44	69W	18	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

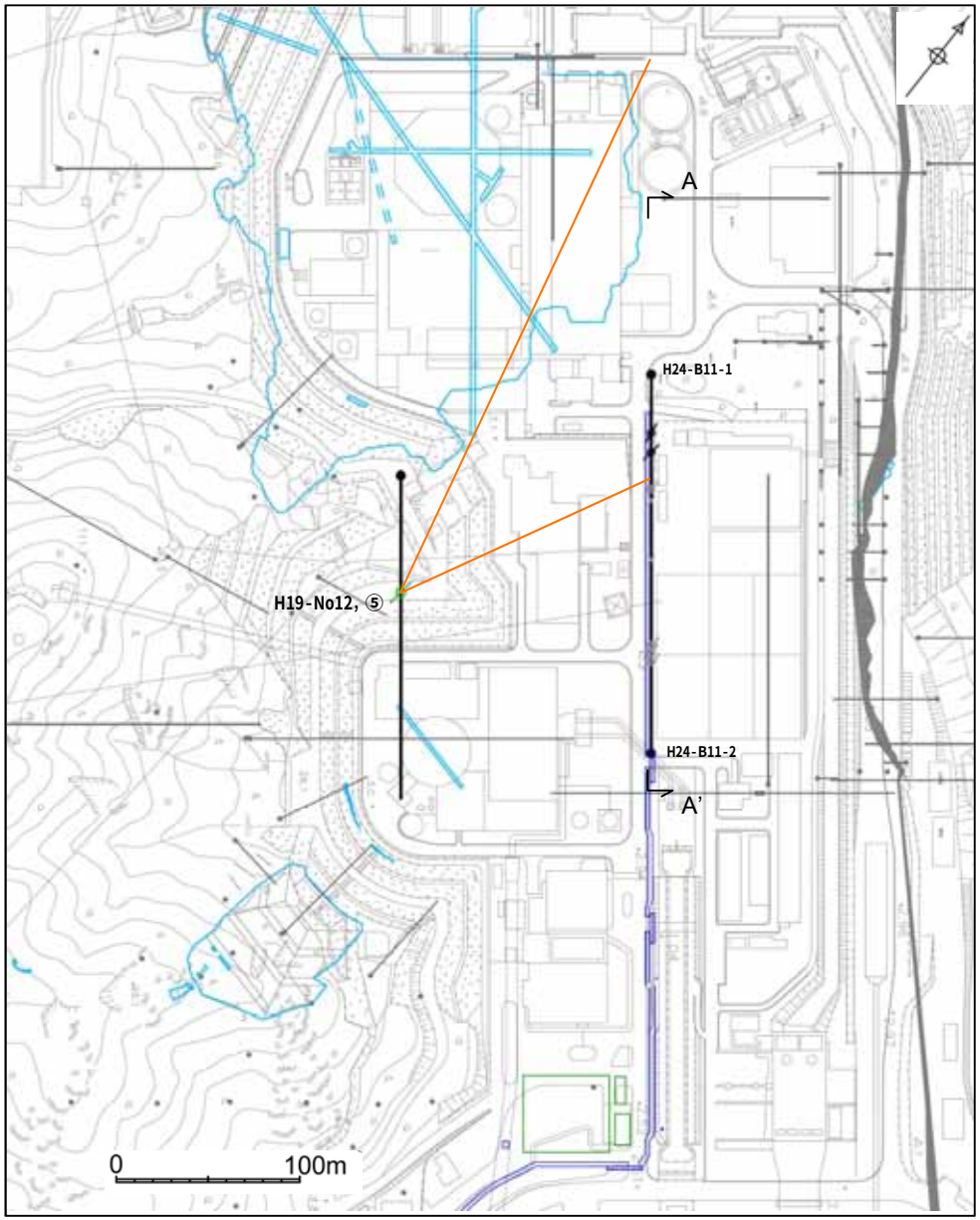
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑤)（A-A’断面）



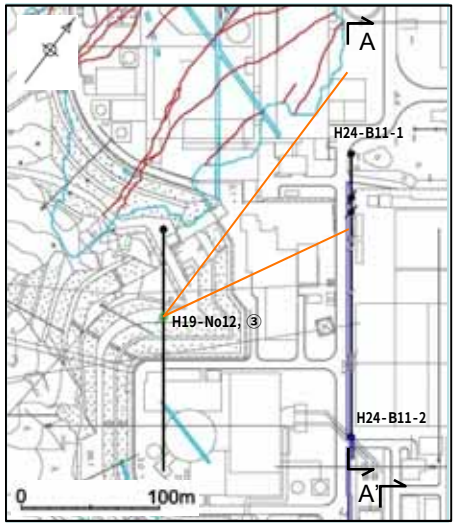
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

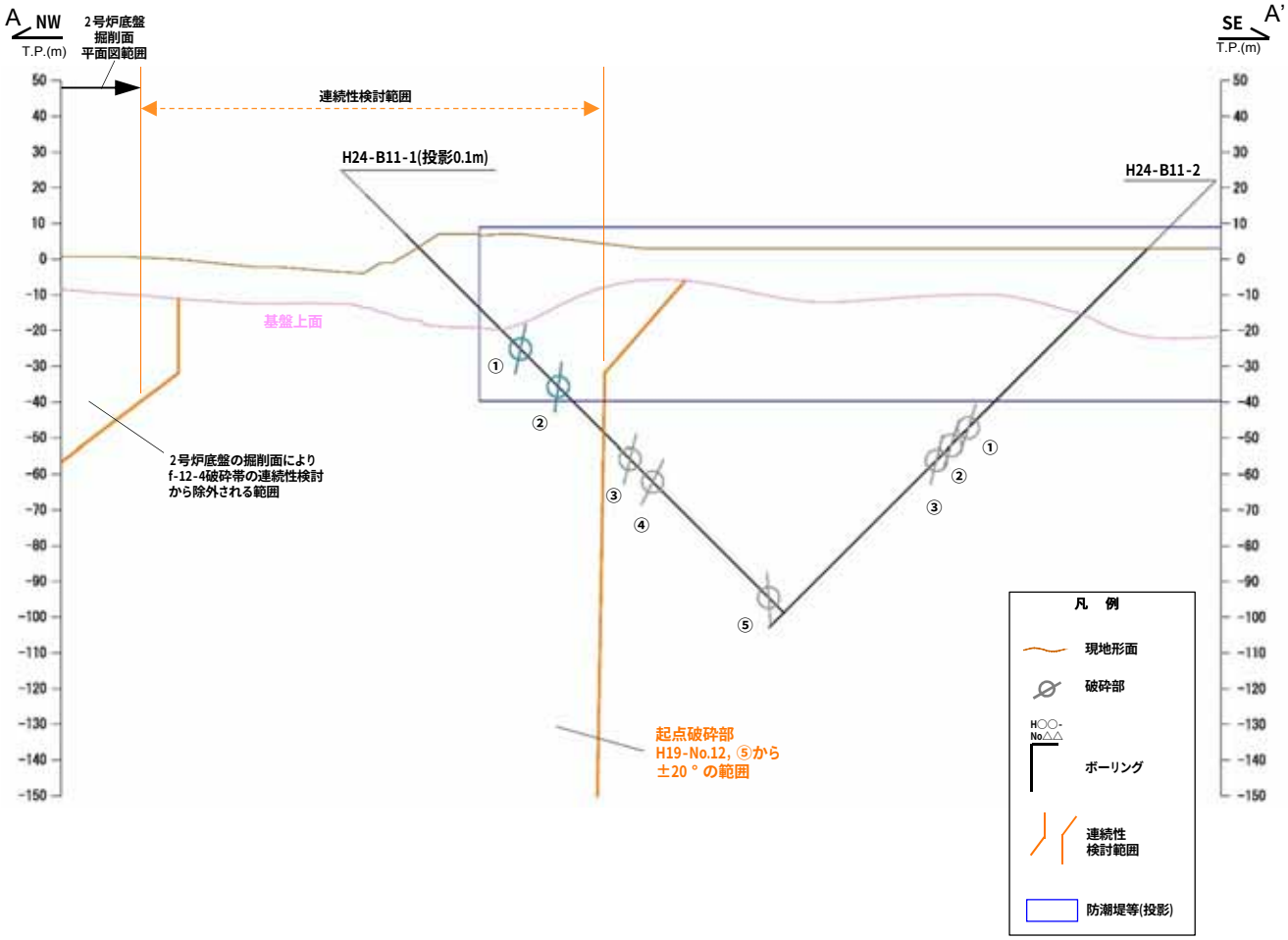
- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑤)〔A-A’断面〕



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）



拡大範囲図凡例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 2号炉底盤掘削面の破砕帯トレース
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑤)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	⑤	90.45	90.66	N8E		71W		無	-	30R	-		f-12-4	参考2-129	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	16	84W	13	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	※3
			②	60.36	60.60	N8E	0	84W	13	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※4
		範囲外	③	88.93	88.97	N4E	4	81W	10	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	4	72W	1	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	0	87E	22	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	4	76W	5	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	8	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	1	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

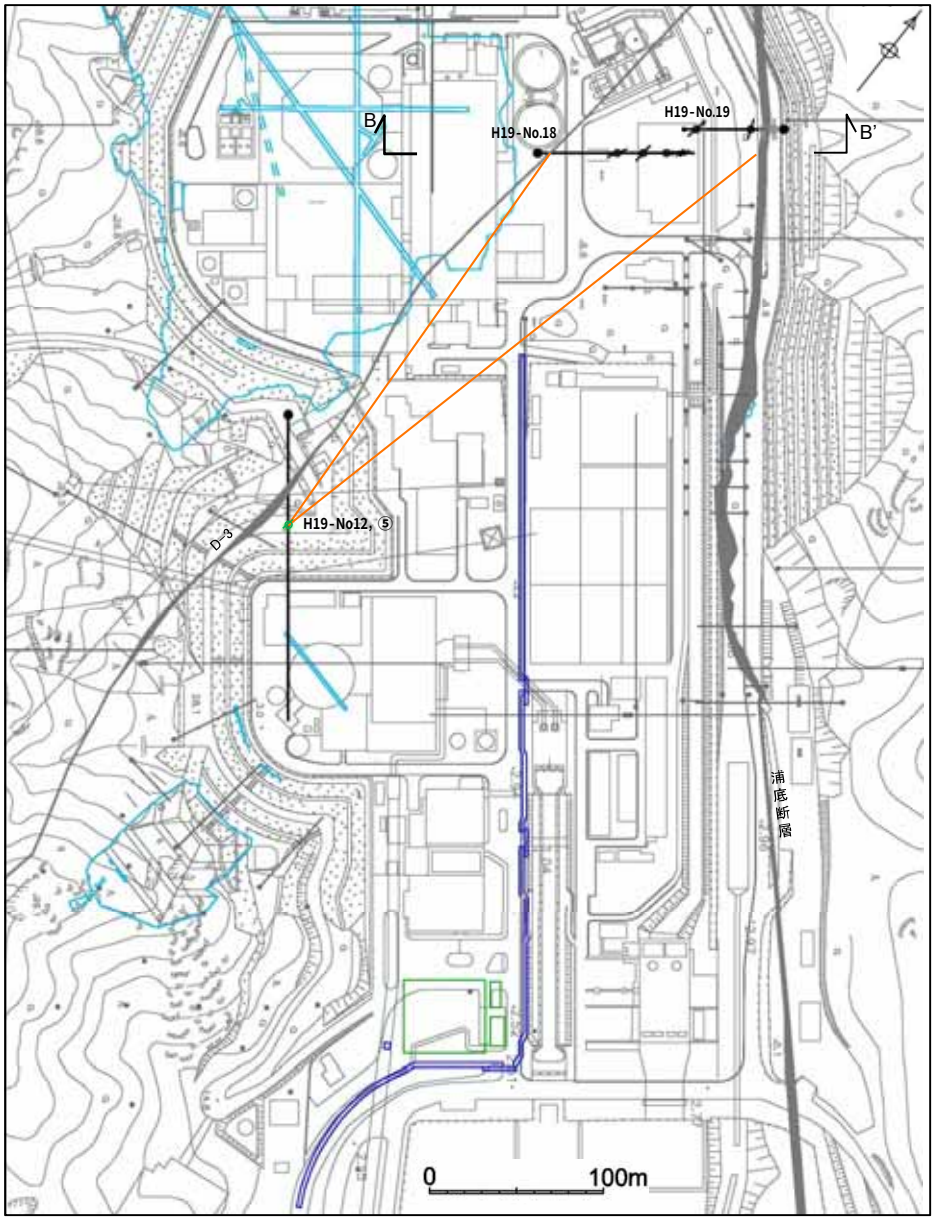
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑤)（B-B’断面）



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

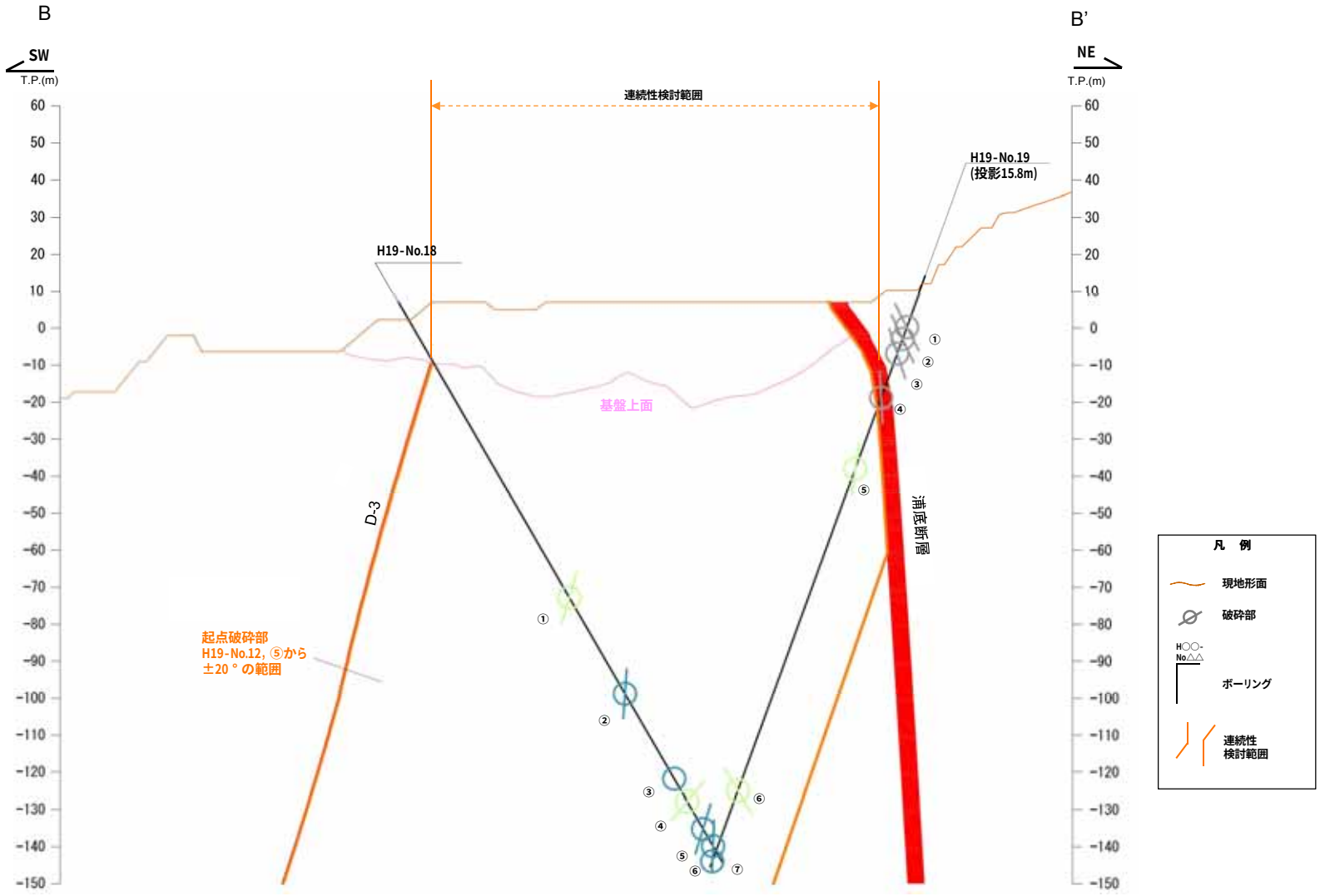
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑤)（B-B’断面）



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑤)（B-B’断面）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	⑤	90.45	90.66	N8E		71W		無	-	30R	-		f-12-4	参考2-129	
-	H19-No.18	範囲内	①	92.14	92.18	N31E	23	84W	13	有	無	10L	-		f-18-1	参考2-132	
			②	122.16	122.35	N6E	2	87W	16	有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-39	参考2-117	※4
			④	155.72	155.75	N36E	28	76W	5	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	164.25	N9E	1	78W	7	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※4
			⑥	169.62	169.63	N20E	12	89W	18	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	50	63E	46	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	44	65E	44	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	42	72E	37	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	49	87NE	22	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
		範囲内	⑤	55.49	55.56	N20W	28	82W	11	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
			⑥	147.93	148.12	N13E	5	68E	41	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

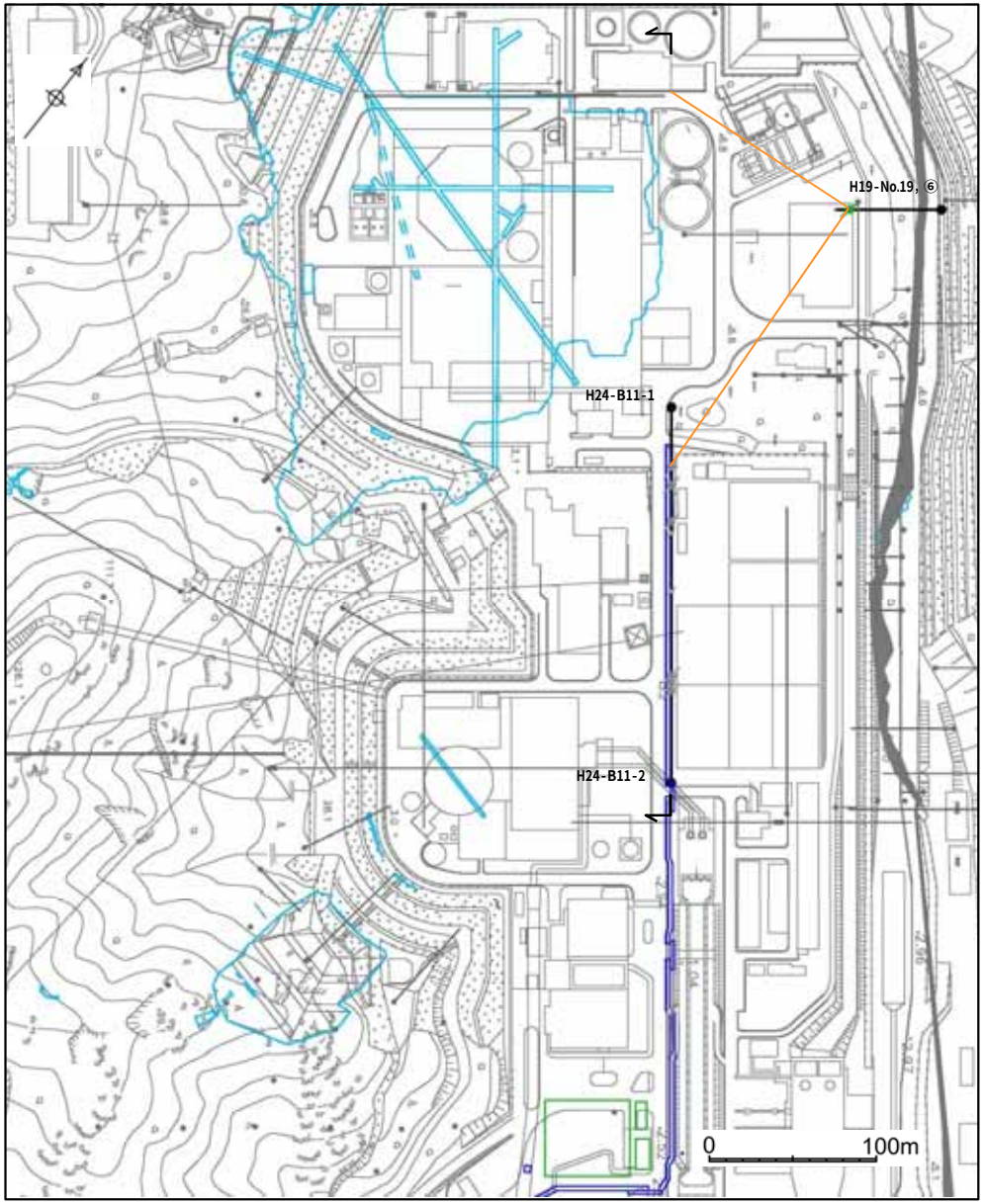
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.19，⑥)



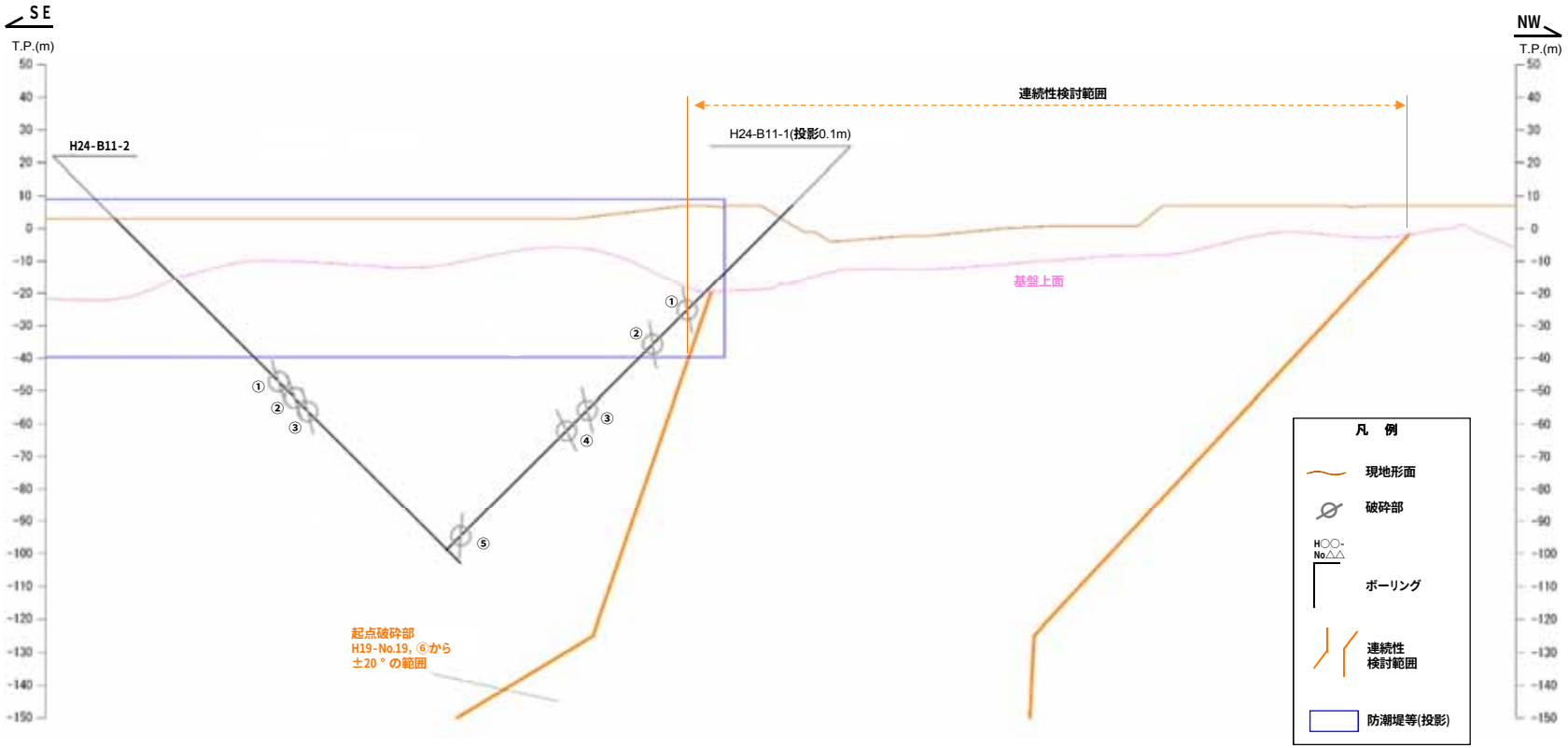
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.19，⑥)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.19，⑥)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度(m)	下端深度(m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.19	-	-	⑥	147.93	148.12	N13E		68E		有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	21	84W	28	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	5	84W	28	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	9	81W	31	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	9	72W	40	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	5	87E	19	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	1	76W	36	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	13	79W	33	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	4	80W	32	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

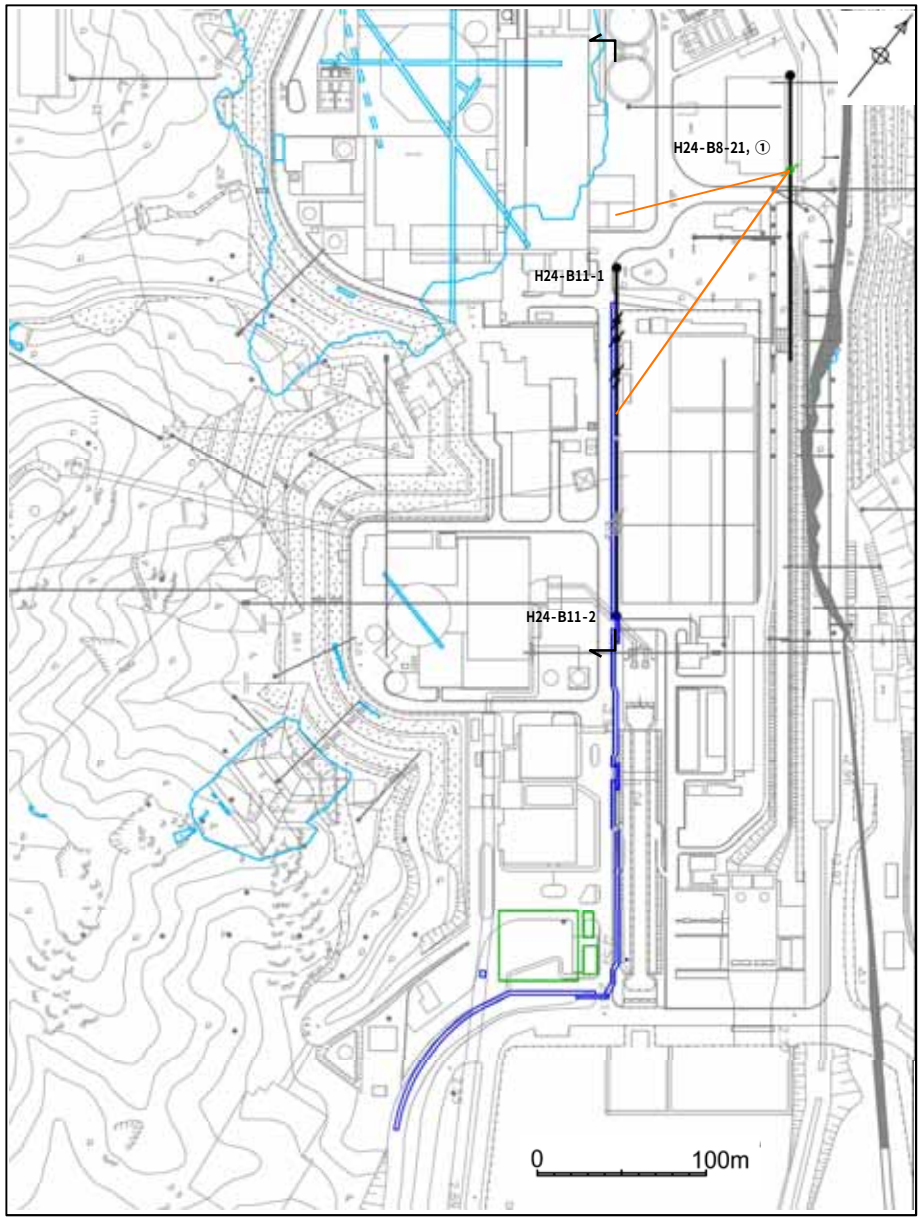
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

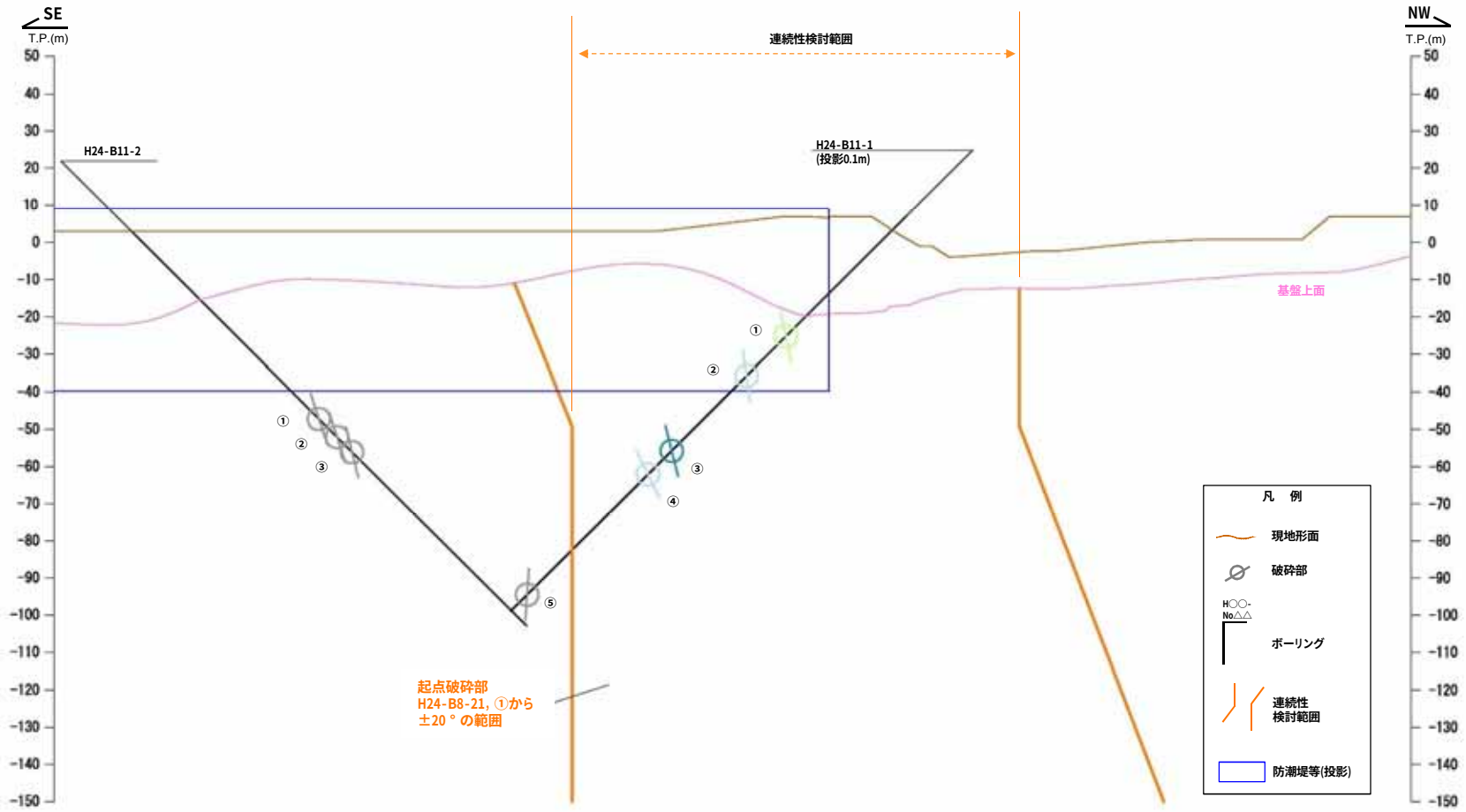
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，①)



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-21	-	-	①	79.86	80.17	N18E		89W		有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	26	84W	5	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	10	84W	5	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	14	81W	8	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	14	72W	17	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
		範囲外	⑤	143.67	143.77	N8E	10	87E	4	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	6	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	18	79W	10	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	9	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

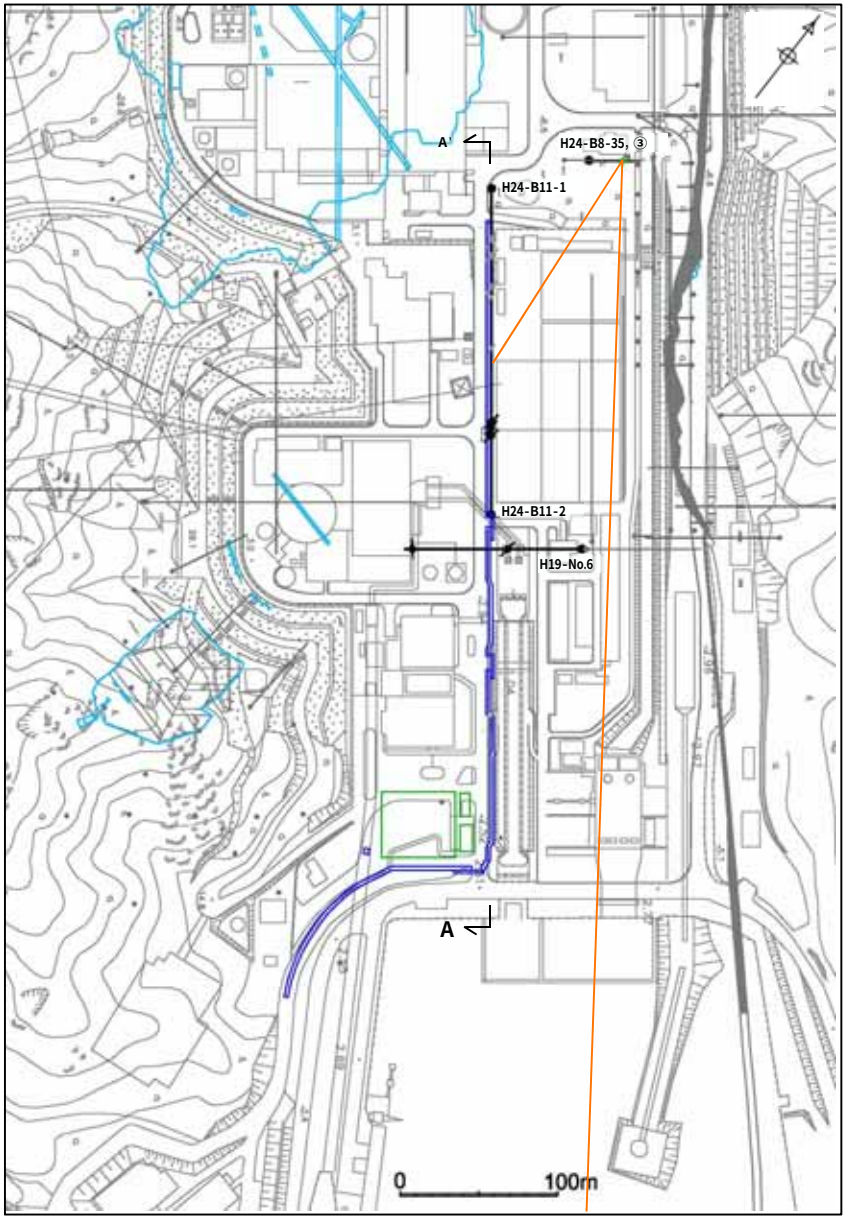
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-35，③)〔A-A’断面〕



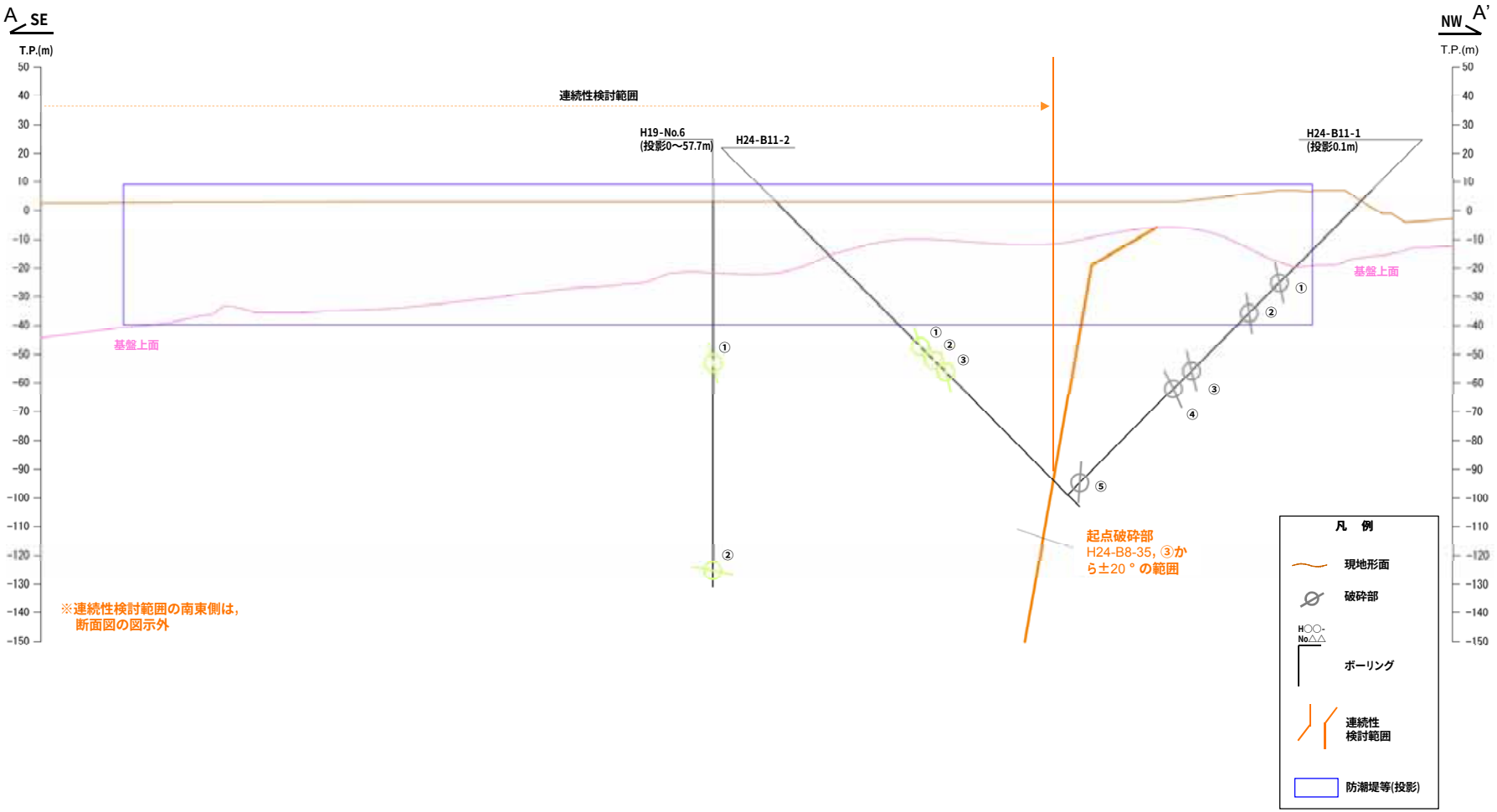
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-35，③)〔A-A’断面〕



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-35，③)〔A-A'断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H24-B8-35	-	-	③	33.62	33.98	N21W		74E		有	無	-	-		非モデル化	参考2-191	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	13	84W	22	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	29	84W	22	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	25	81W	25	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	25	72W	34	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143 77	N8E	29	87E	13	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	33	76W	30	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	21	79W	27	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	30	80W	26	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	27	82W	24	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168 54	N41W	20	69W	37	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

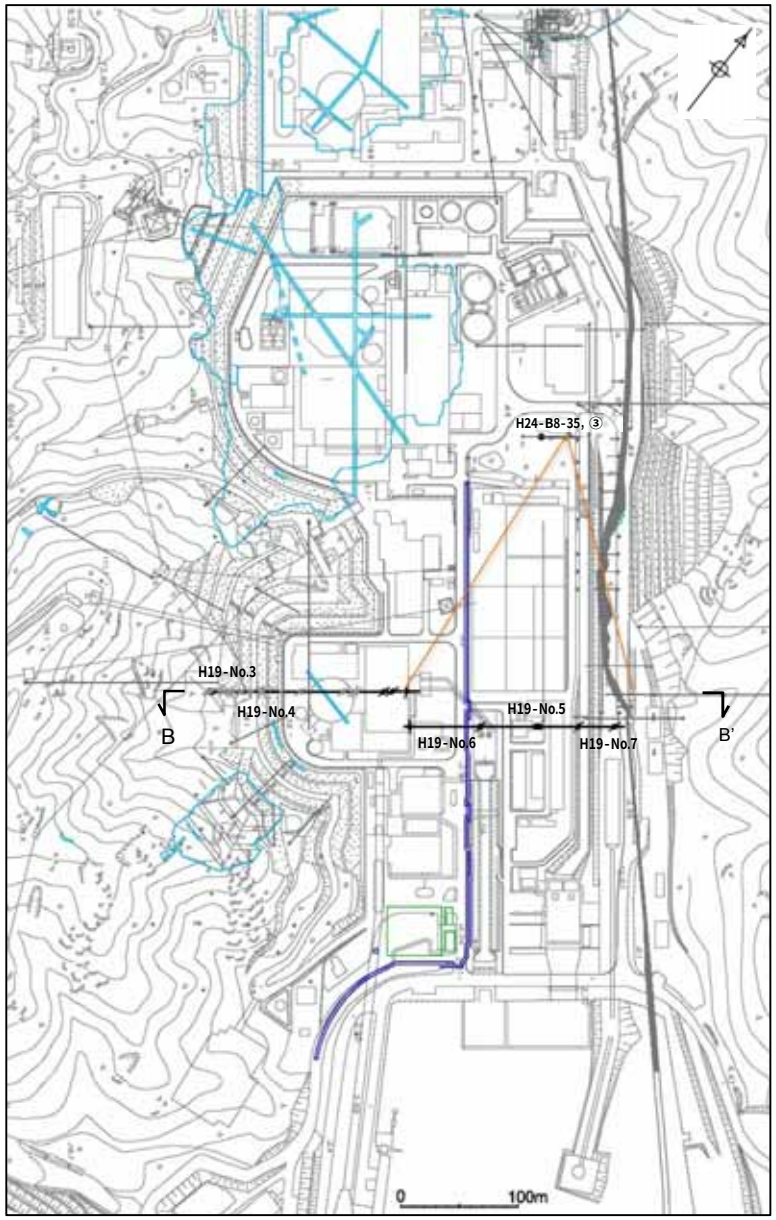
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-35，③)〔B-B'断面〕



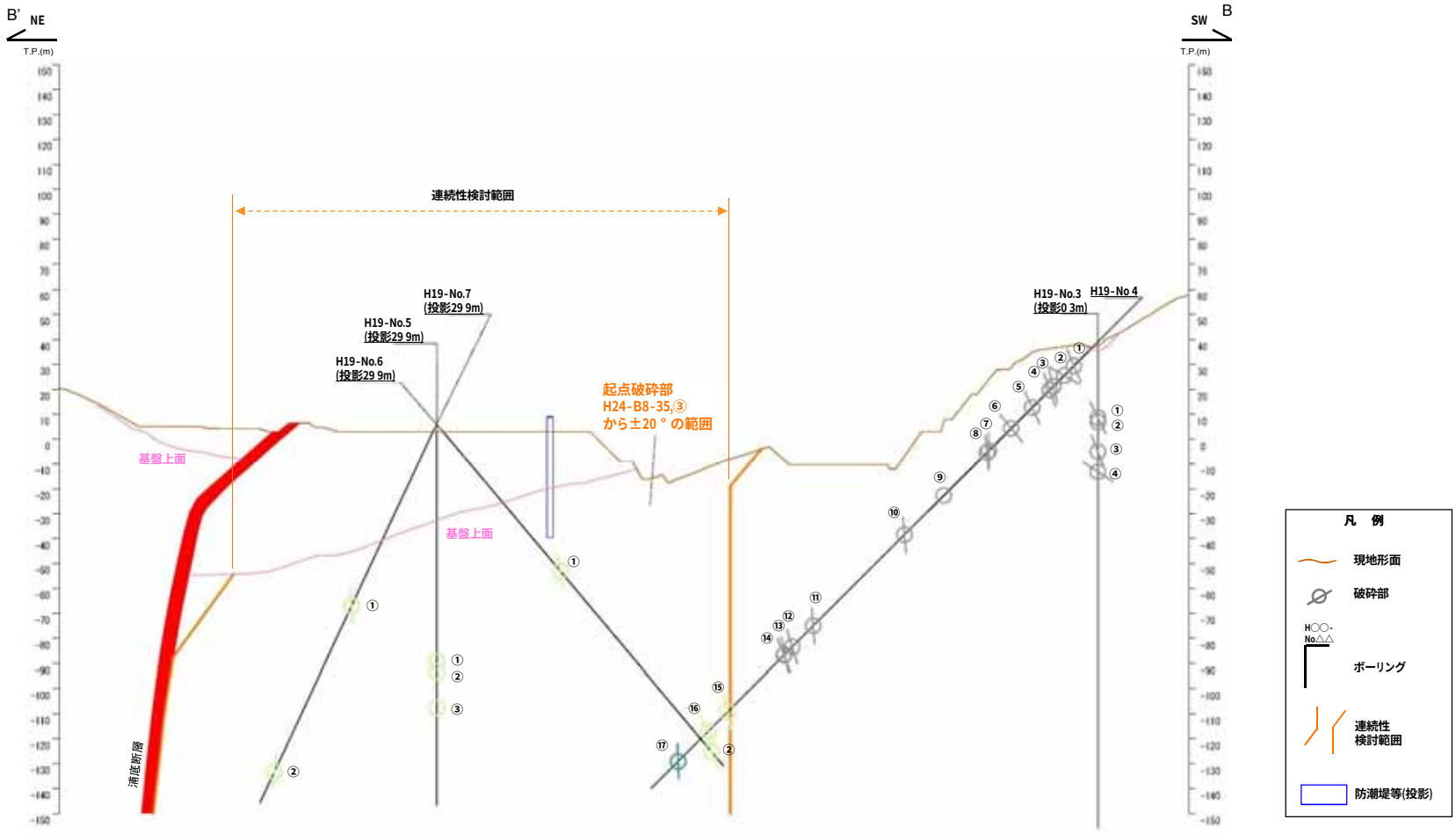
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-35，③)〔B-B'断面〕



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-35，③)〔B-B'断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-35	-	-	③	33.62	33.98	N21W		74E		有	無	-	-		非モデル化	参考2-191	
-	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28 82	N32E	53	80W	26	湯	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	-	-	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42 81	N17E	38	77W	29	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	58	67W	39	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11 53	N4W	17	70W	36	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16 31	N35E	56	62W	44	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22 26	N3E	24	79W	27	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	14	73W	33	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34 38	N12E	33	73W	33	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46 38	N29E	50	72W	34	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59 59	N10W	11	89W	17	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60 36	N71W	50	86N	12	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84 33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	37	87W	19	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	36	87W	19	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	30	78W	28	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	8	78W	28	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	35	76W	30	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
		範囲内	⑮	207.69	207.72	N13E	34	83W	23	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	41	74W	32	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	7	88W	18	無	-	20R	-	×	f-6-2	参考2-127	
	H19-No.5	範囲内	①	92.63	92 65	-	-	(12)	62	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	96.46	96.49	-	-	(52)	22	有	有	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	110.93	110.95	-	-	(35)	39	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	27	82W	24	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	20	69W	37	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.7		①	78.22	79 56	N7E	28	87W	19	有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
			②	151.35	151.38	N15E	36	86E	12	有	有	20L	-		f-8-11	参考2-128	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

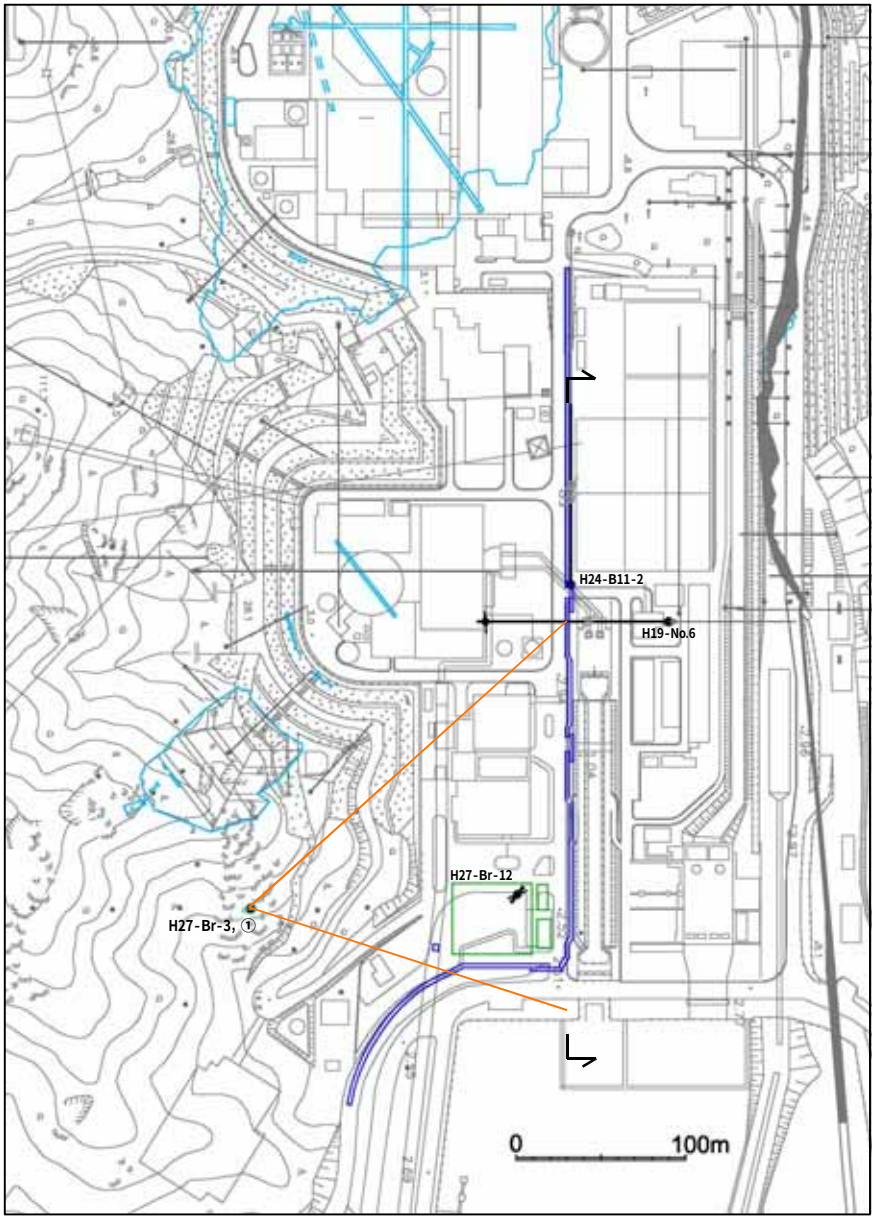
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-3，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

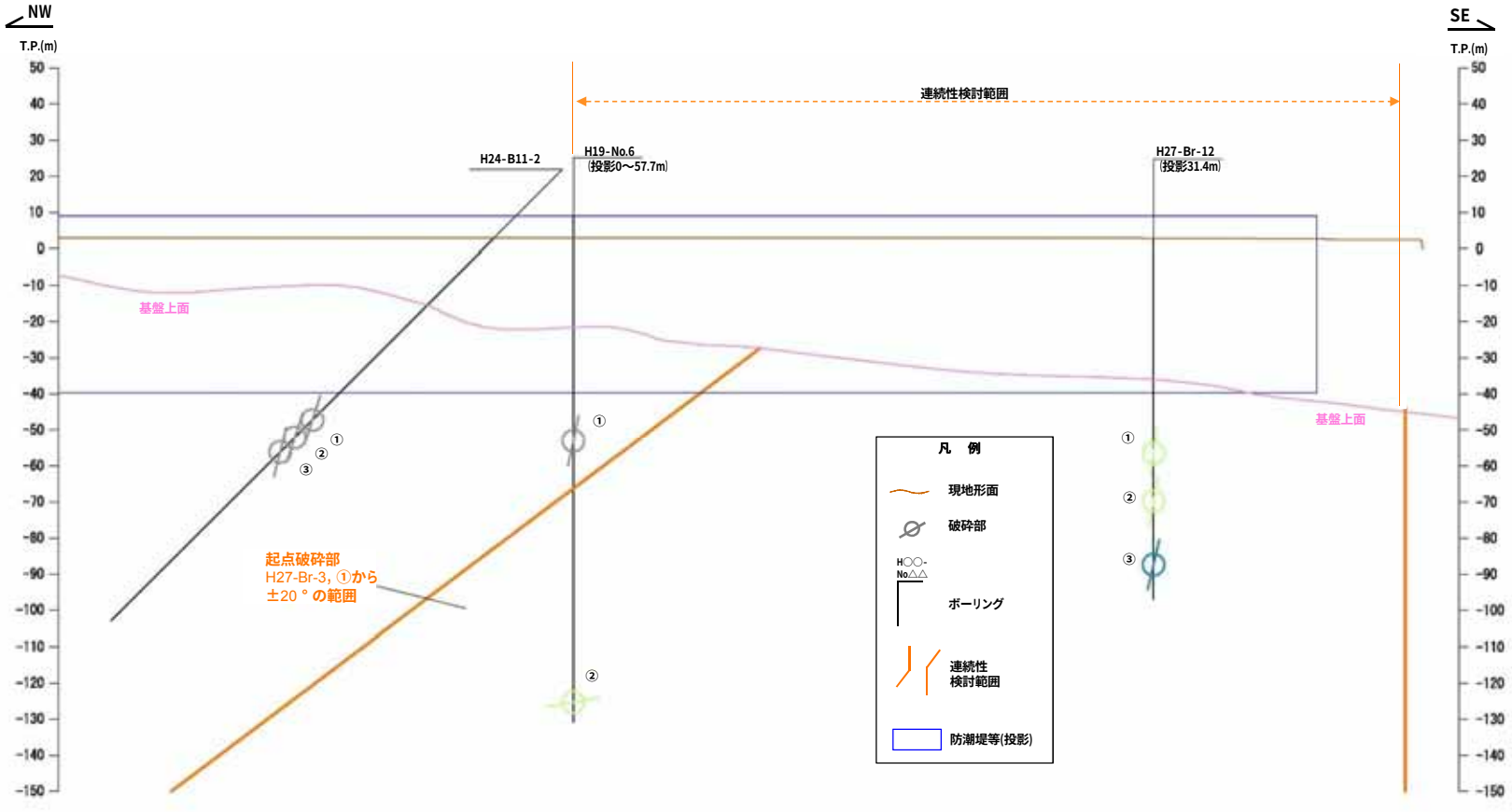
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-3，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-3，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-Br-3	-	-	①	40 53	41.10	N51E		73NW		有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H24-B11-2	範囲外	①	71 21	71.24	N12E	39	76W	3	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	51	79W	6	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80 50	83.93	N9E	42	80W	7	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No 6		①	73.43	73.45	N6E	45	82W	9	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
		範囲内	②	167.53	168 54	N41W	92	69W	4	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H27-Br-12		①	58.40	59.38	N7E	44	85W	12	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	57	85W	12	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89 68	90.32	N31E	20	78NW	5	有	有	90	N	×	f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

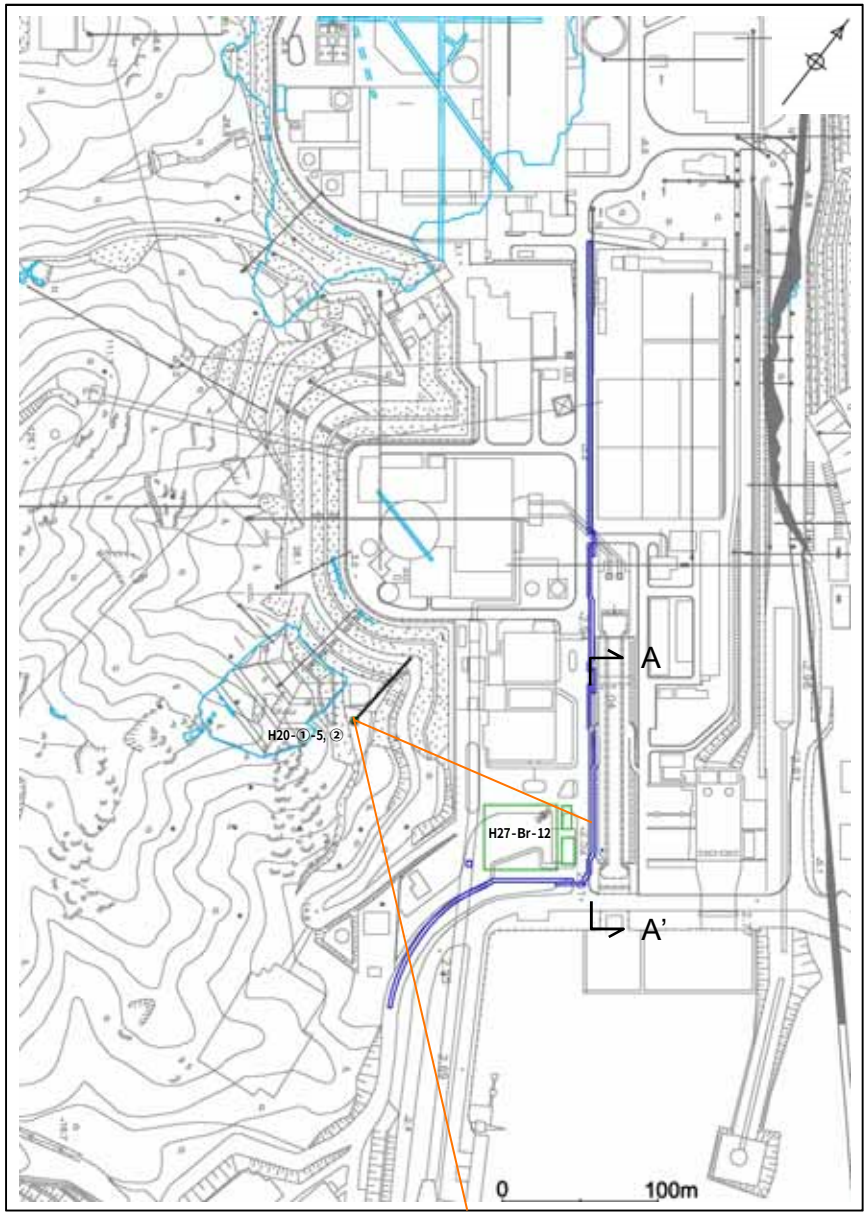
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H20-①-5，②)〔A-A’断面〕



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

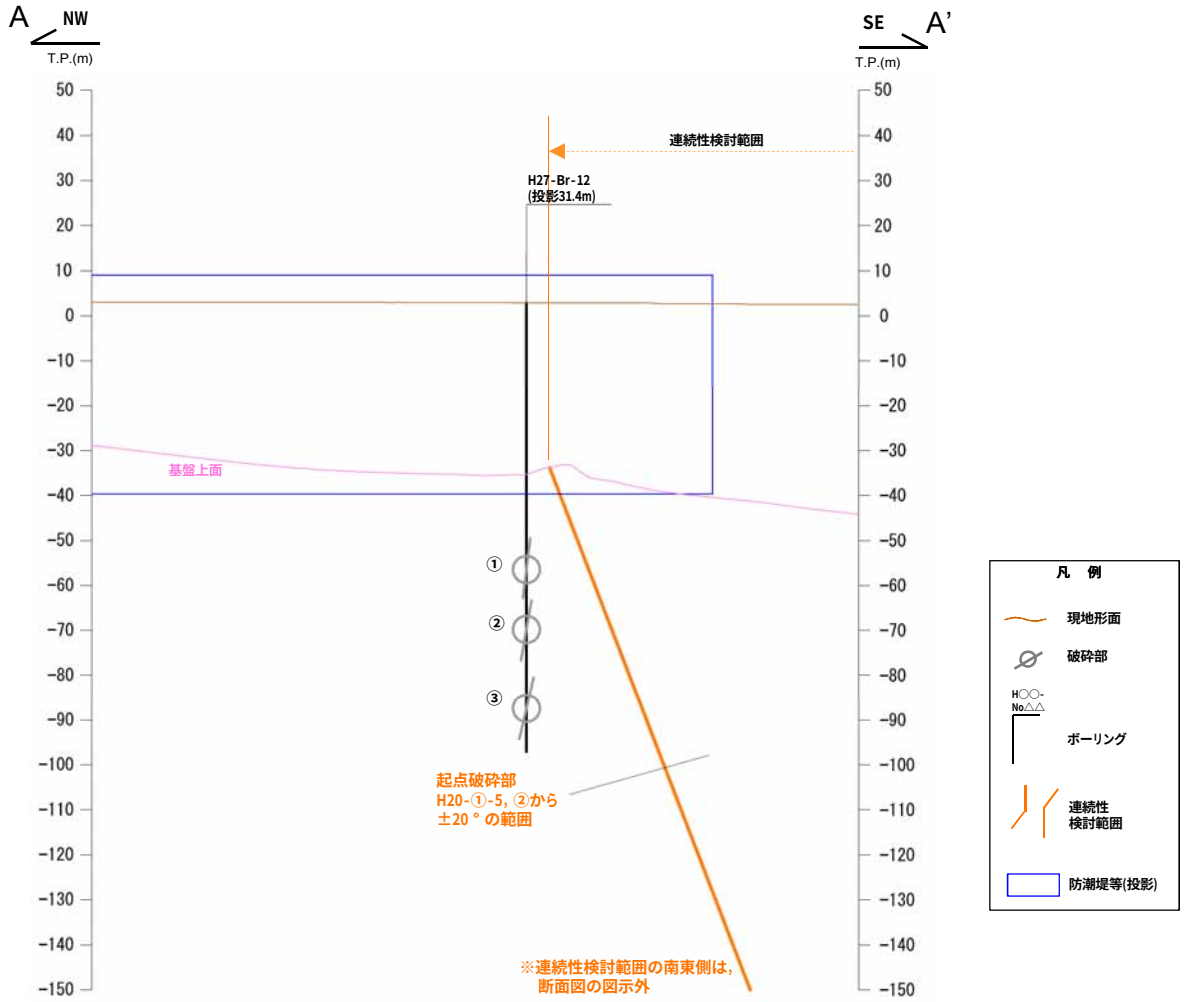
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H20-①-5，②)〔A-A’断面〕



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H20-①-5，②)〔A-A'断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H20-①-5	-	-	②	34.37	34.70	N89W		58S		無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
-	H27-Br-12	範囲外	①	58.40	59.38	N7E	96	85W	27	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	83	85W	27	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	120	78NW	20	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

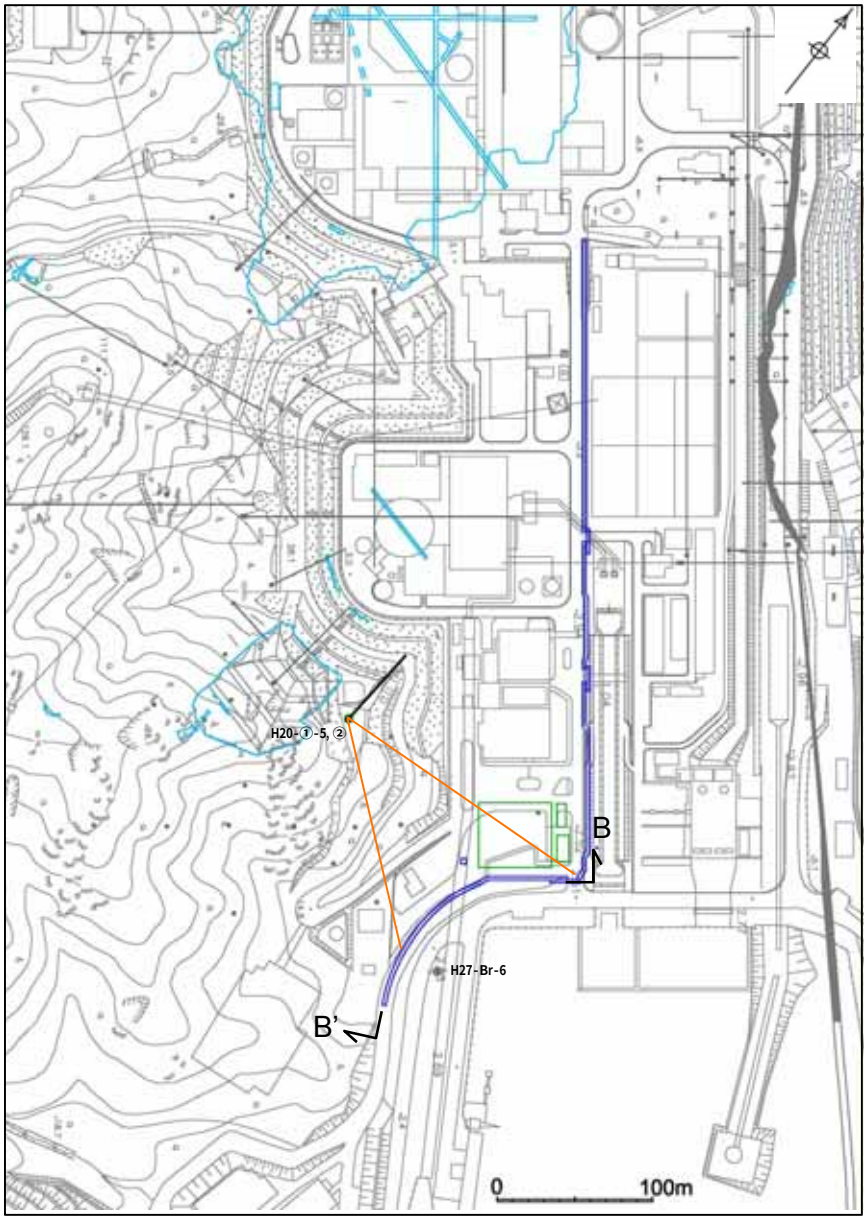
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H20-①-5，②)〔B-B’断面〕



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

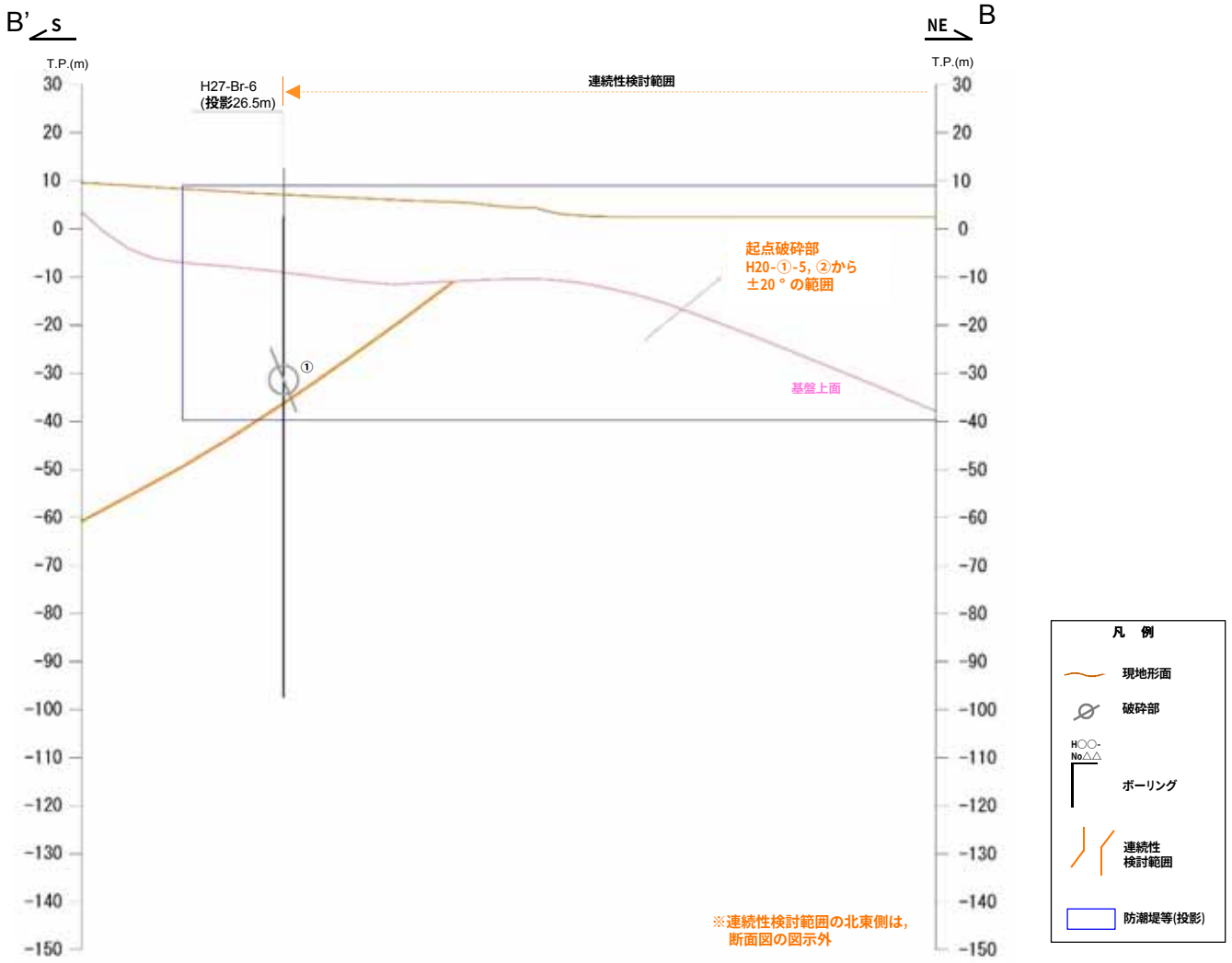
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H20-①-5，②)〔B-B’断面〕



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

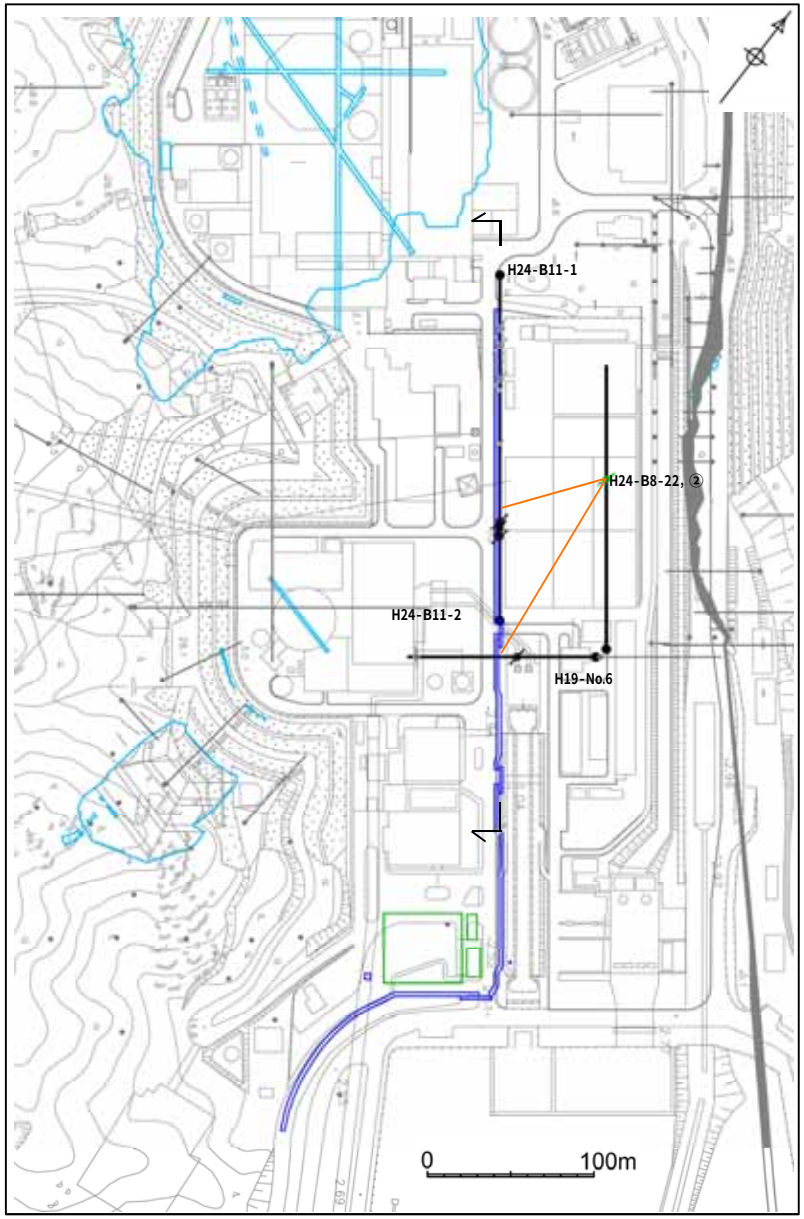
連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H20-①-5，②)〔B-B'断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
				(m)	(m)												
H20-①-5	-	-	②	34.37	34.70	N89W		58S		無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
-	H27-Br-6	範囲外	①	33.02	34.01	N49E	42	72W	14	有	有	85R	N		f-br-6-1	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-22，②)



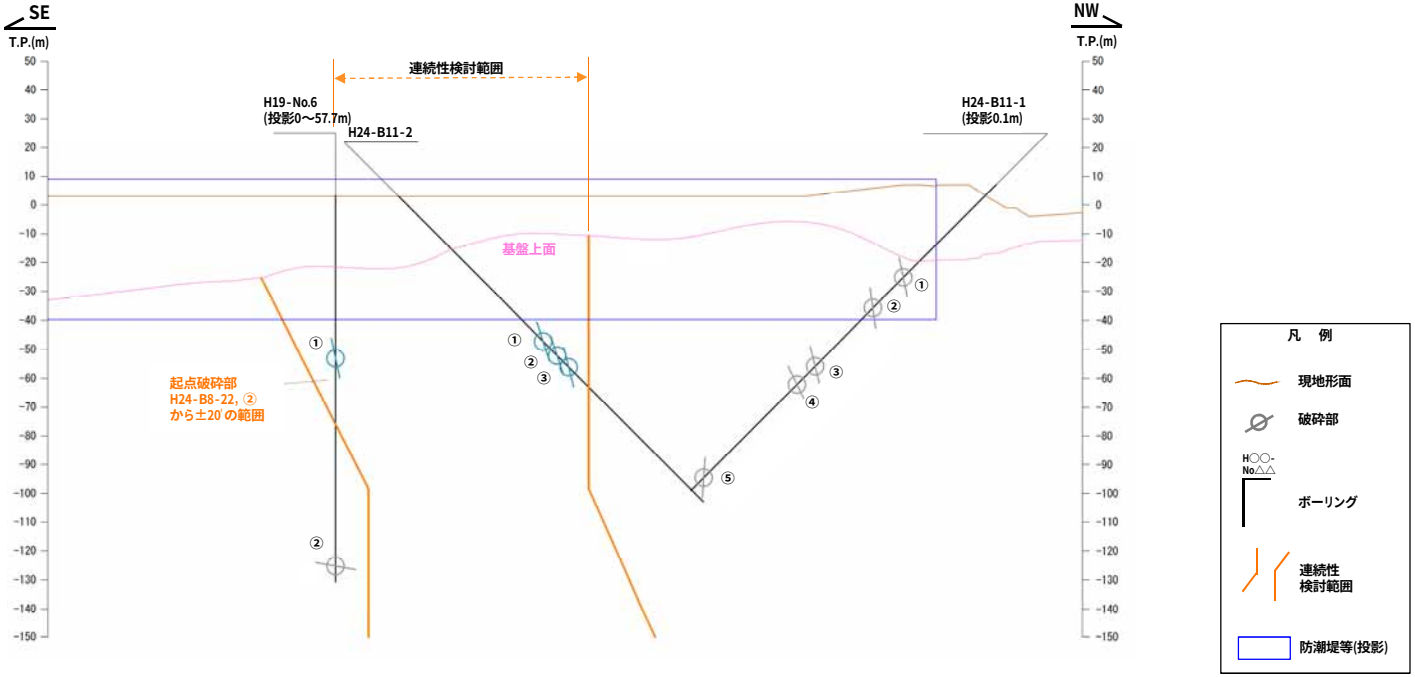
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-22，②)



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-22，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-22	-	-	②	143 52	143.76	N17E		86W		有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45 63	N8W	25	84W	2	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60 60	N8E	9	84W	2	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	13	81W	5	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99 00	N4E	13	72W	14	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143 67	143.77	N8E	9	87E	7	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71 24	N12E	5	76W	10	有	無	25L	N,RL	○	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	17	79W	7	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	8	80W	6	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	11	82W	4	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
		範囲外	②	167 53	168 54	N41W	58	69W	17	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

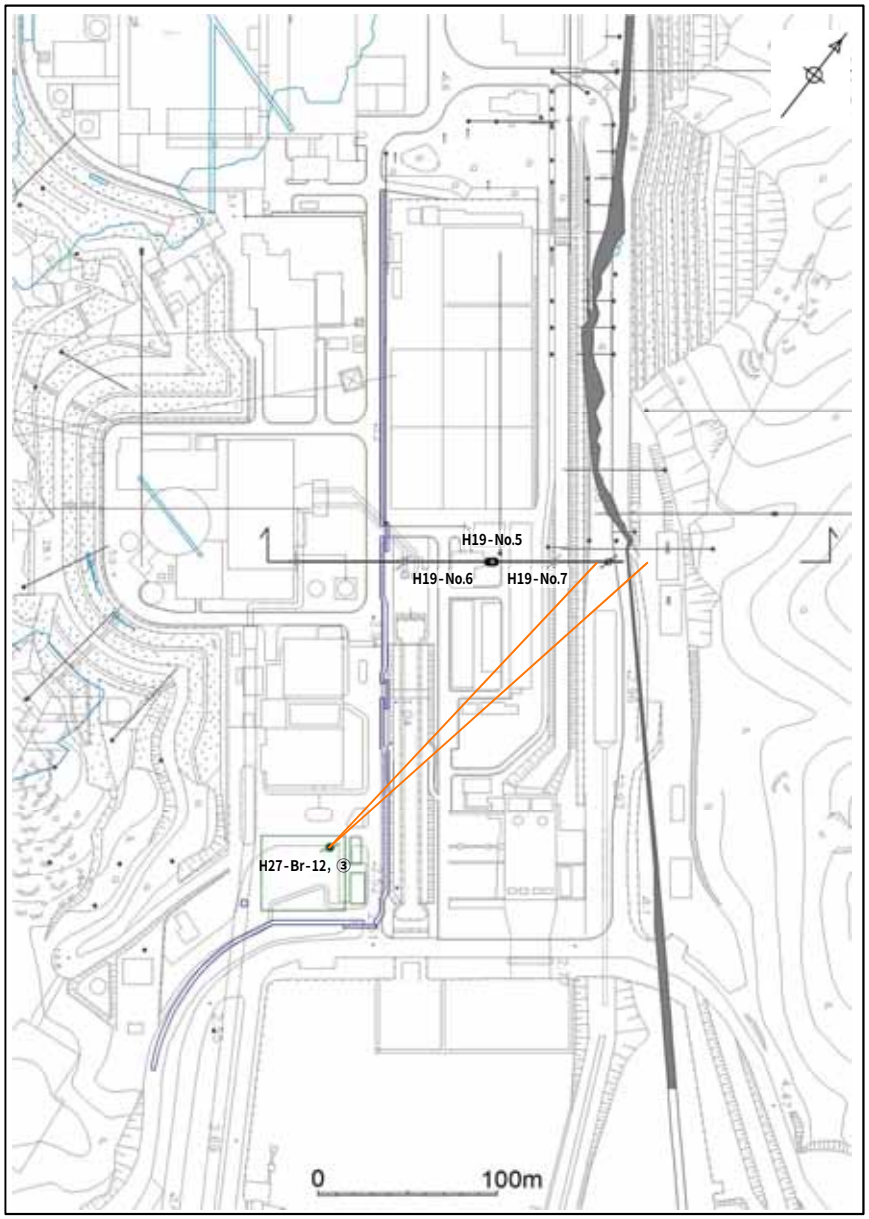
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-12，③)



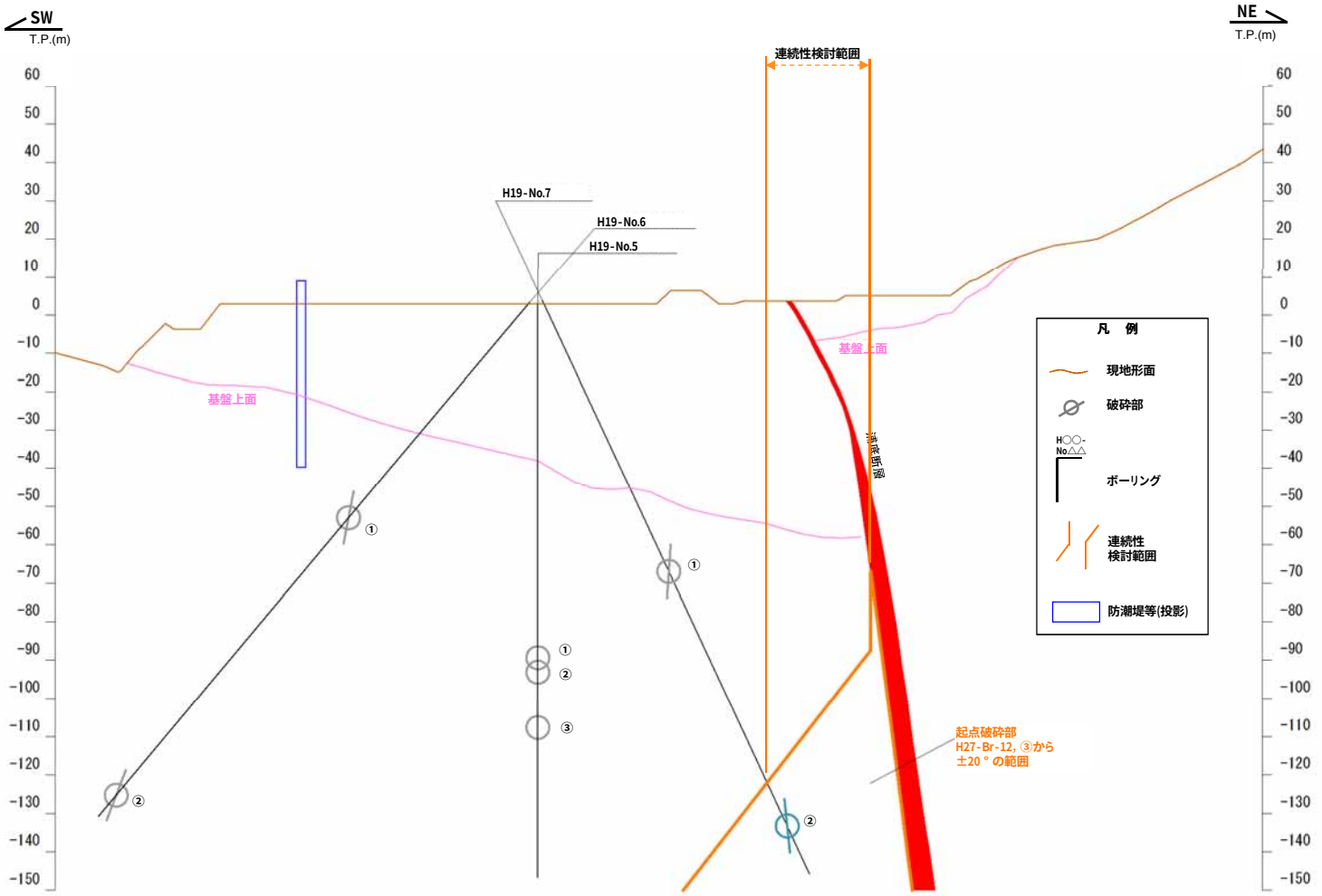
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-12，③)



破砕部着色凡例

- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-12，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-Br-12	-	-	③	89.68	90.32	N31E		78NW		有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	
-	H19-No.5	範囲外	①	92.63	92.65	-	-	(12)	66	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	96.46	96.49	-	-	(52)	26	有	有	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	110.93	110.95	-	-	(35)	43	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	25	82W	4	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168 54	N41W	72	69W	9	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.7		①	78.22	79.56	N7E	24	87W	9	有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
		範囲内	②	151.35	151 38	N15E	16	86E	16	有	有	20L	-		f-8-11	参考2-128	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

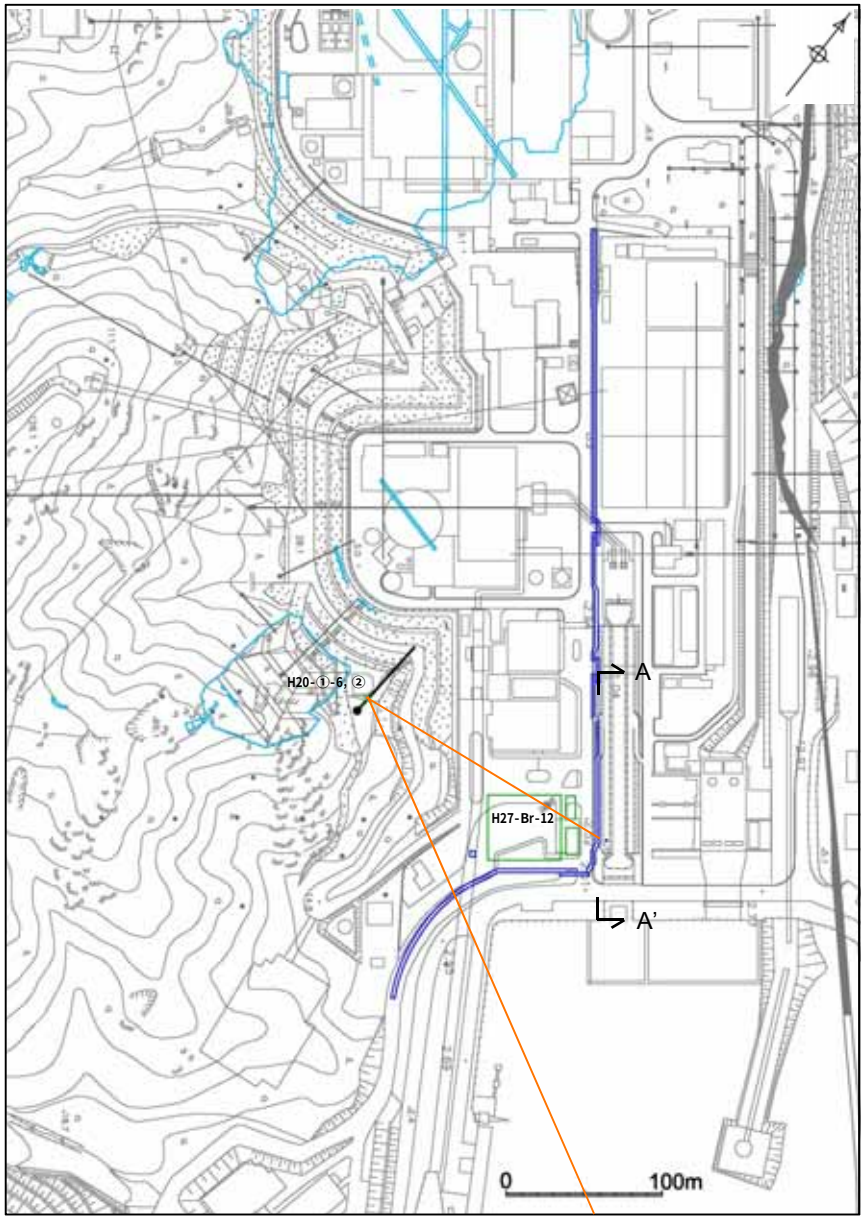
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H20-①-6，②)〔A-A’断面〕



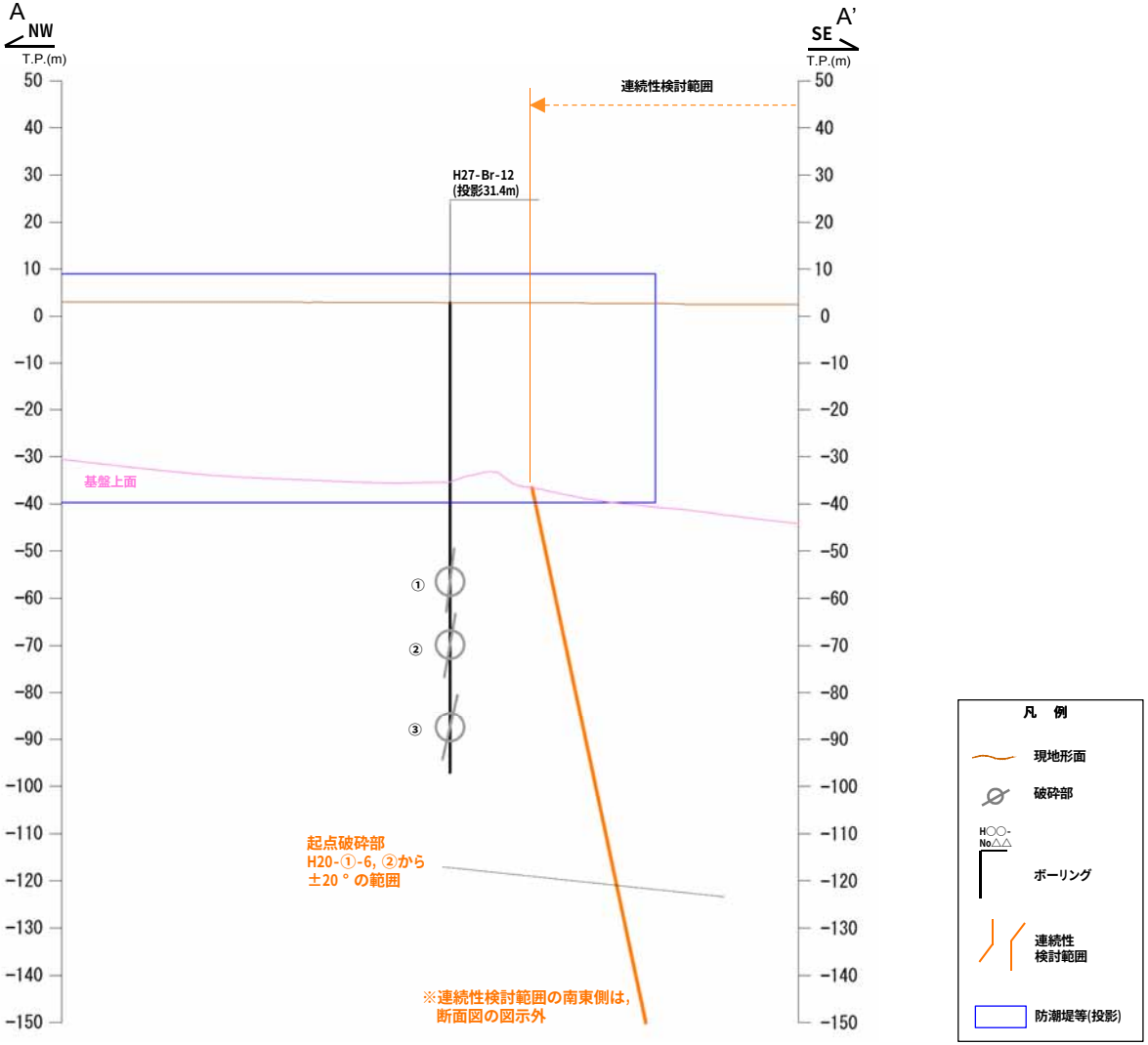
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H20-①-6，②)〔A-A’断面〕



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H20-①-6，②)〔A-A'断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H20-①-6	-	-	②	14.78	15.13	N81W		65S		無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
-	H27-Br-12	範囲外	①	58.40	59 38	N7E	88	85W	20	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72 72	N6W	75	85W	20	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90 32	N31E	68	78NW	13	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

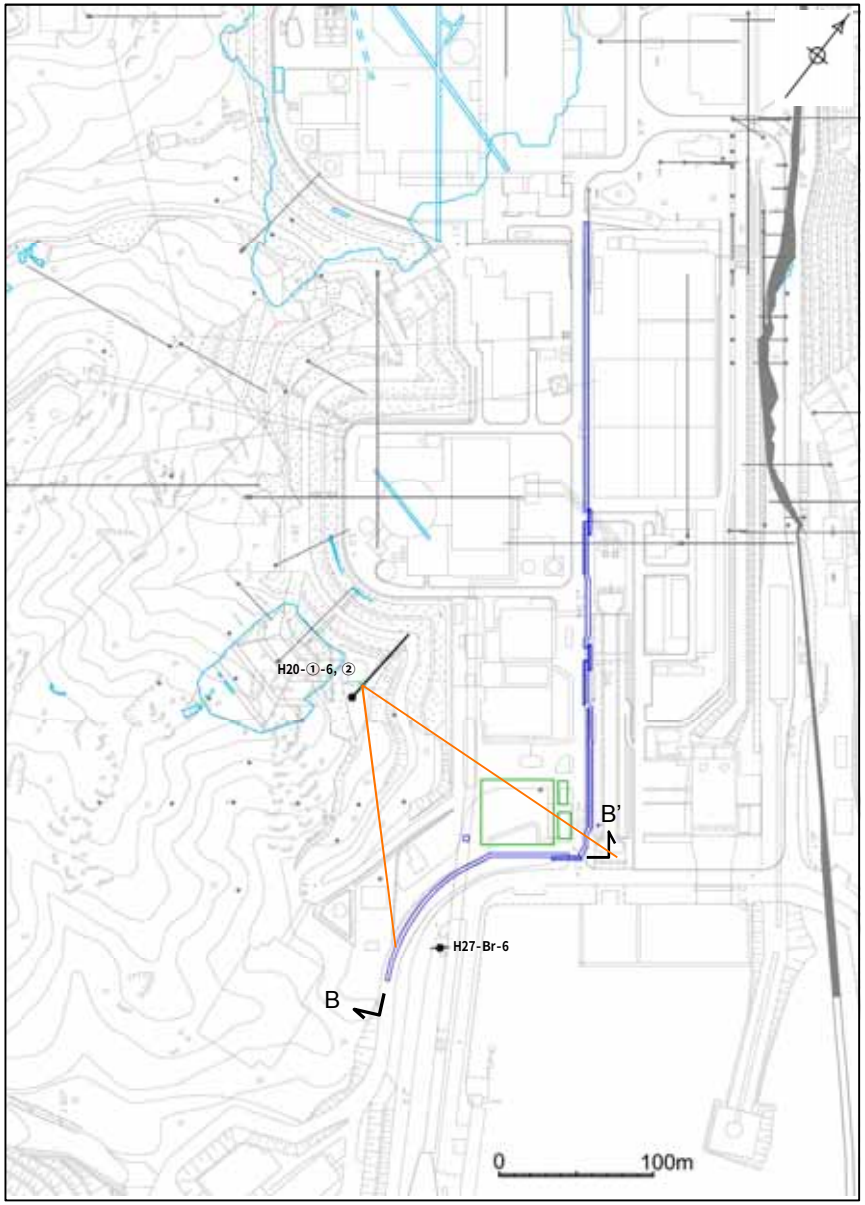
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H20-①-6，②)〔B-B’断面〕



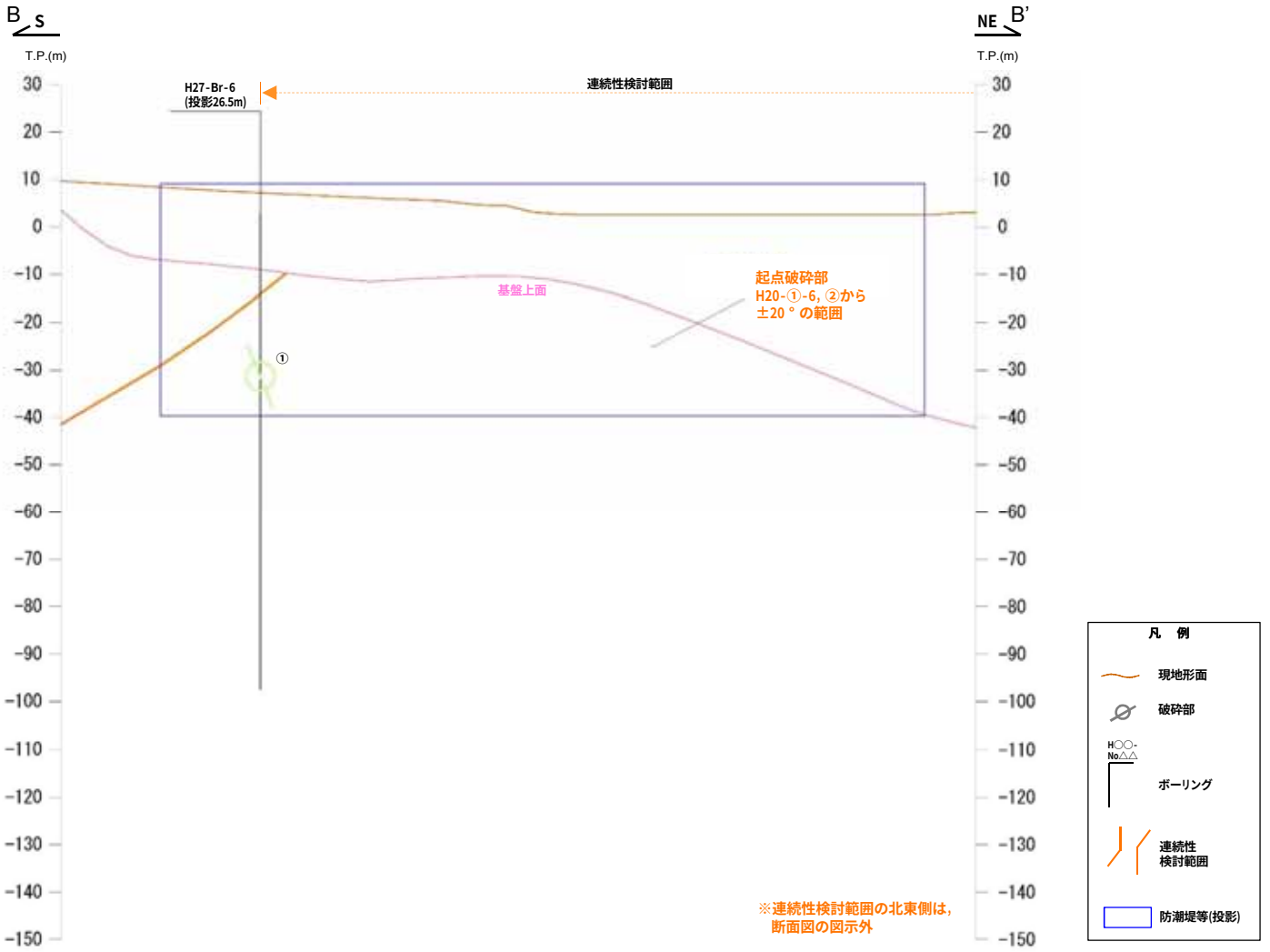
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H20-①-6，②)〔B-B’断面〕



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H20-①-6，②)〔B-B'断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H20-①-6	-	-	②	14.78	15.13	N81W		65S		無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
-	H27-Br-6	範囲内	①	33.02	34.01	N49E	50	72W	7	有	有	85R	N		f-br-6-1	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

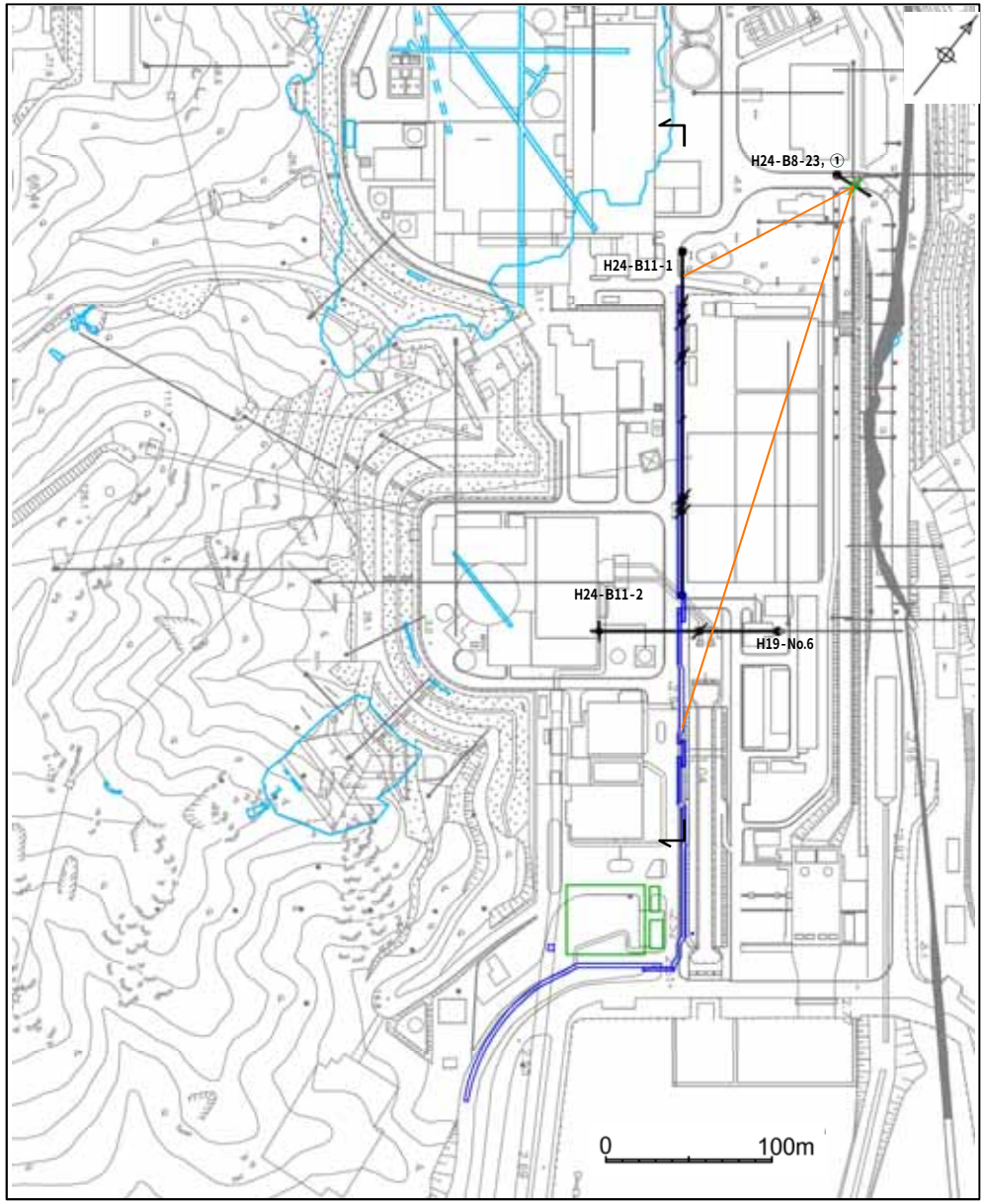
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-23，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

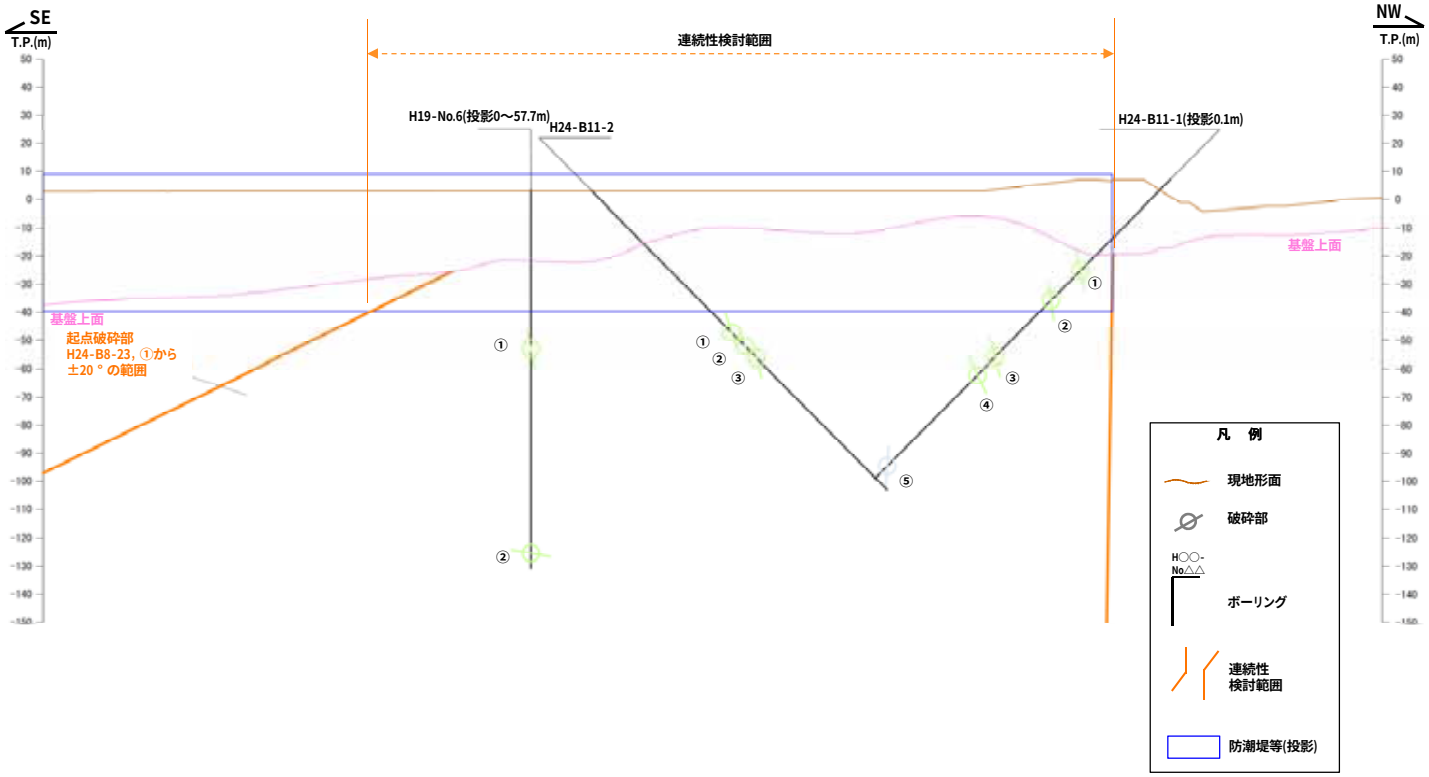
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-23，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-23，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-B8-23	-	-	①	29.99	30.16	N3E		72E		有	有	18R	-		D-36	参考2-115	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	11	84W	24	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	5	84W	24	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	1	81W	27	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	1	72W	36	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	5	87E	15	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	9	76W	32	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	3	79W	29	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	6	80W	28	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	3	82W	26	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	44	69W	39	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

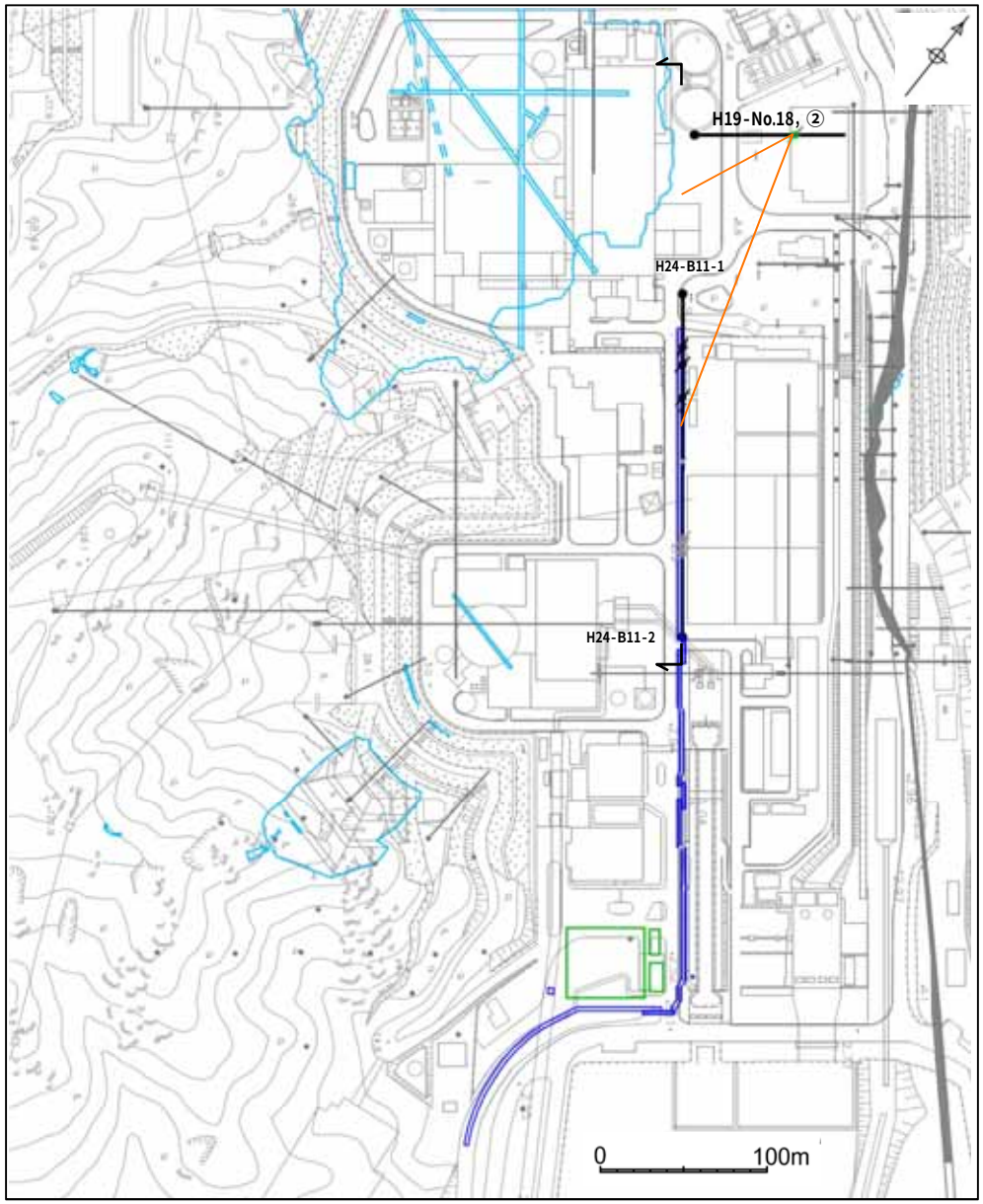
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.18，②)



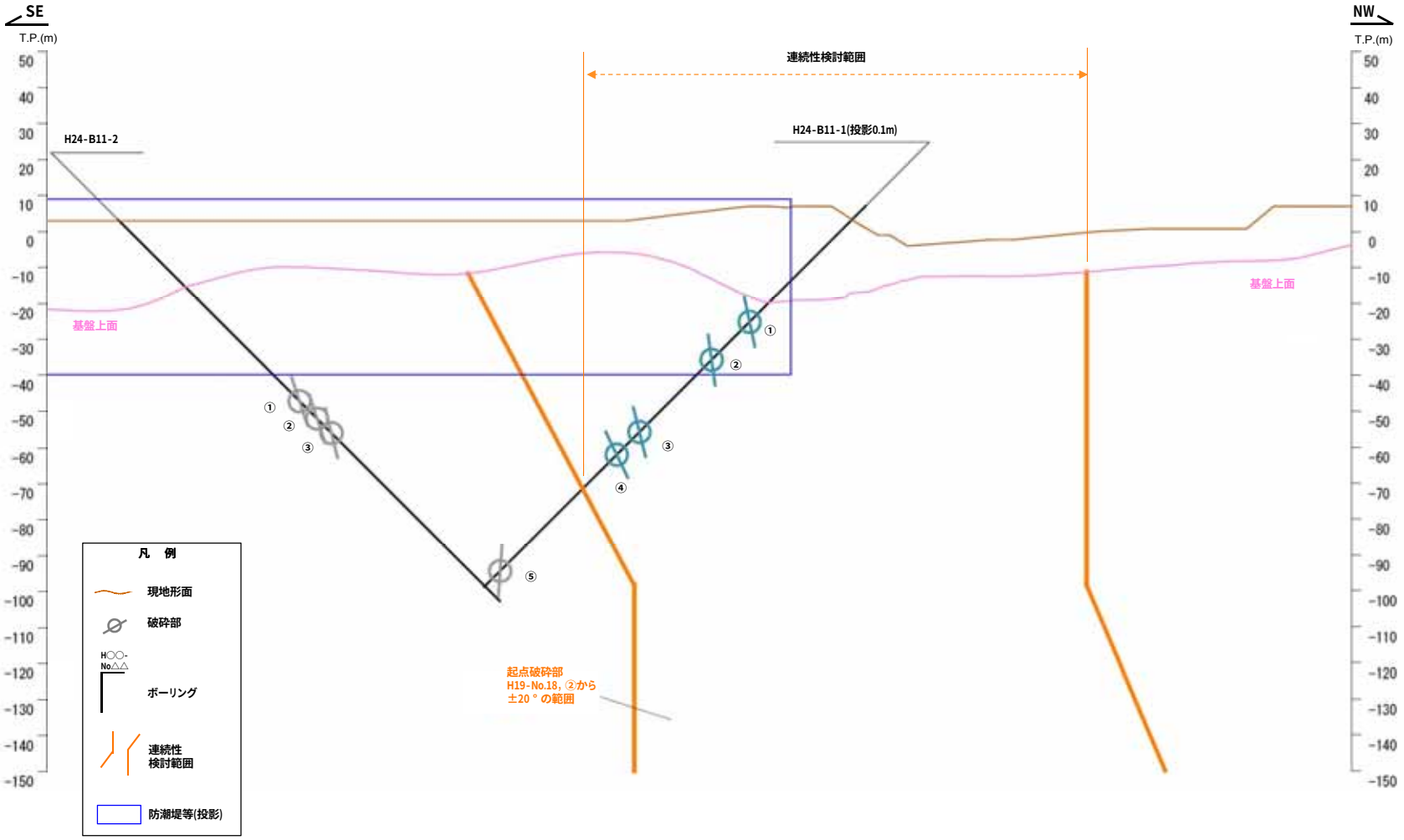
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.18，②)



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.18，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.18	-	-	②	122.16	122.35	N6E		87W		有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	14	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	2	84W	3	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	2	81W	6	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	2	72W	15	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	
		範囲外	⑤	143.67	143.77	N8E	2	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	6	76W	11	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	6	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	3	80W	7	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

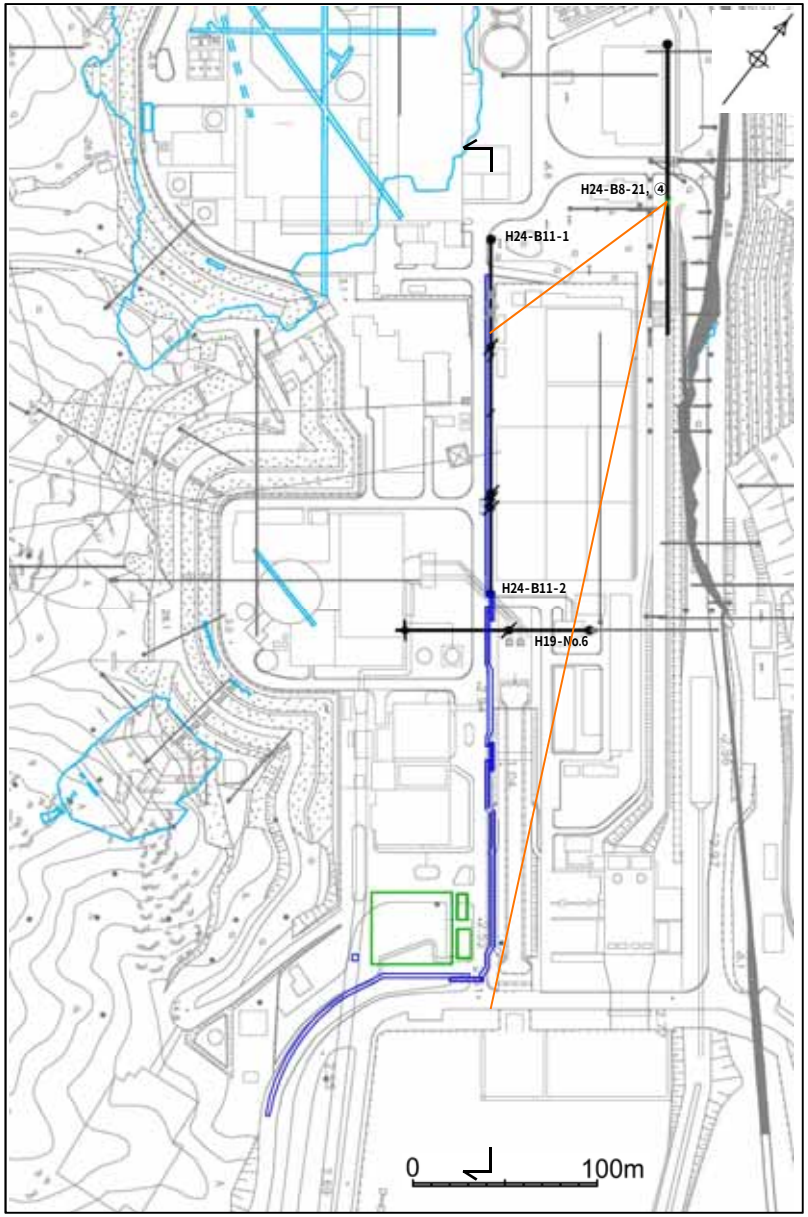
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，④)



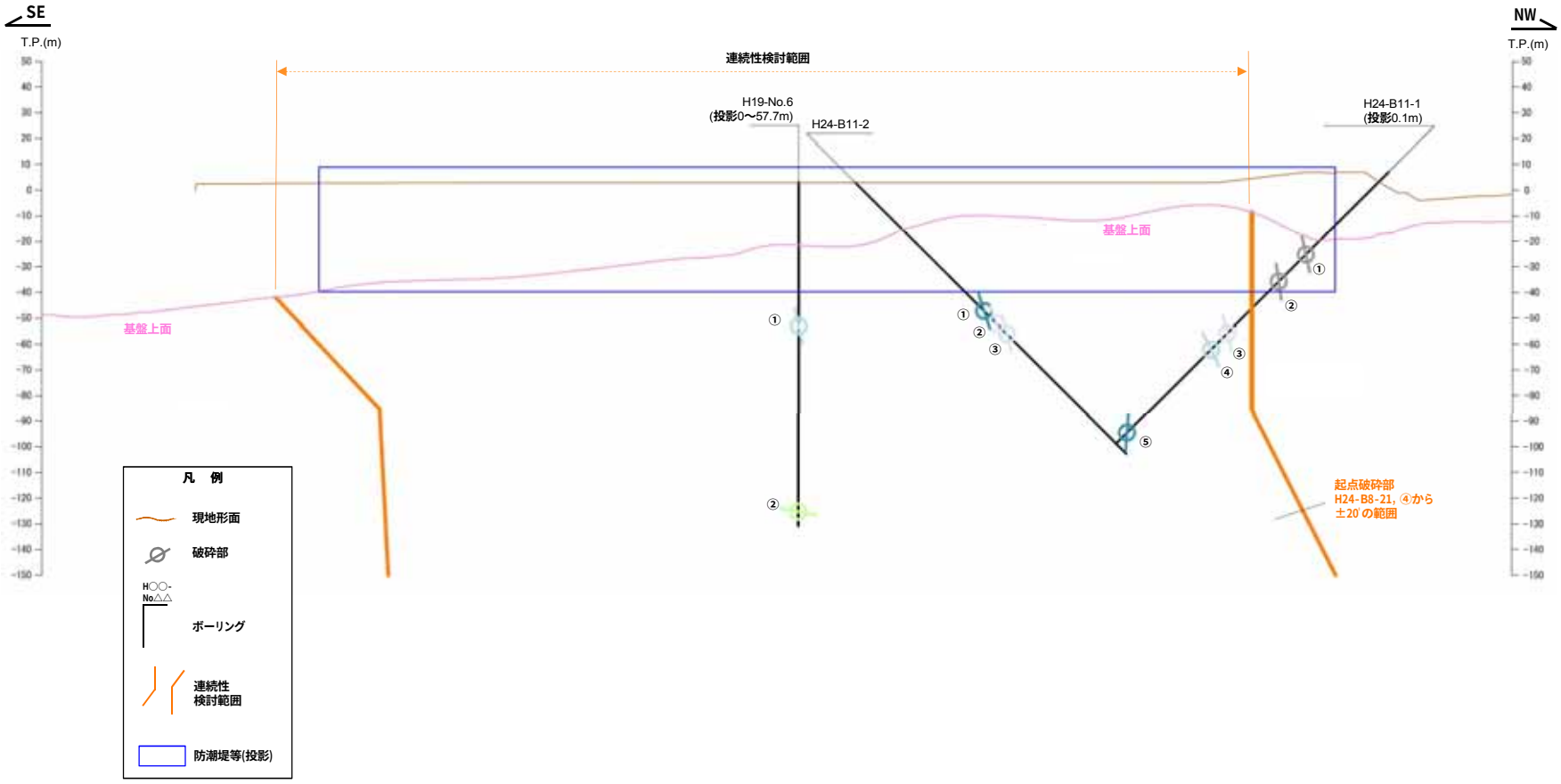
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，④)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-21	-	-	④	131 03	131.14	N3W		84W		無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	5	84W	0	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	11	84W	0	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
		範囲内	③	88.93	88.97	N4E	7	81W	3	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	7	72W	12	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143 67	143.77	N8E	11	87E	9	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※3
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	15	76W	8	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	3	79W	5	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	12	80W	4	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	9	82W	2	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167 53	168.54	N41W	38	69W	15	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

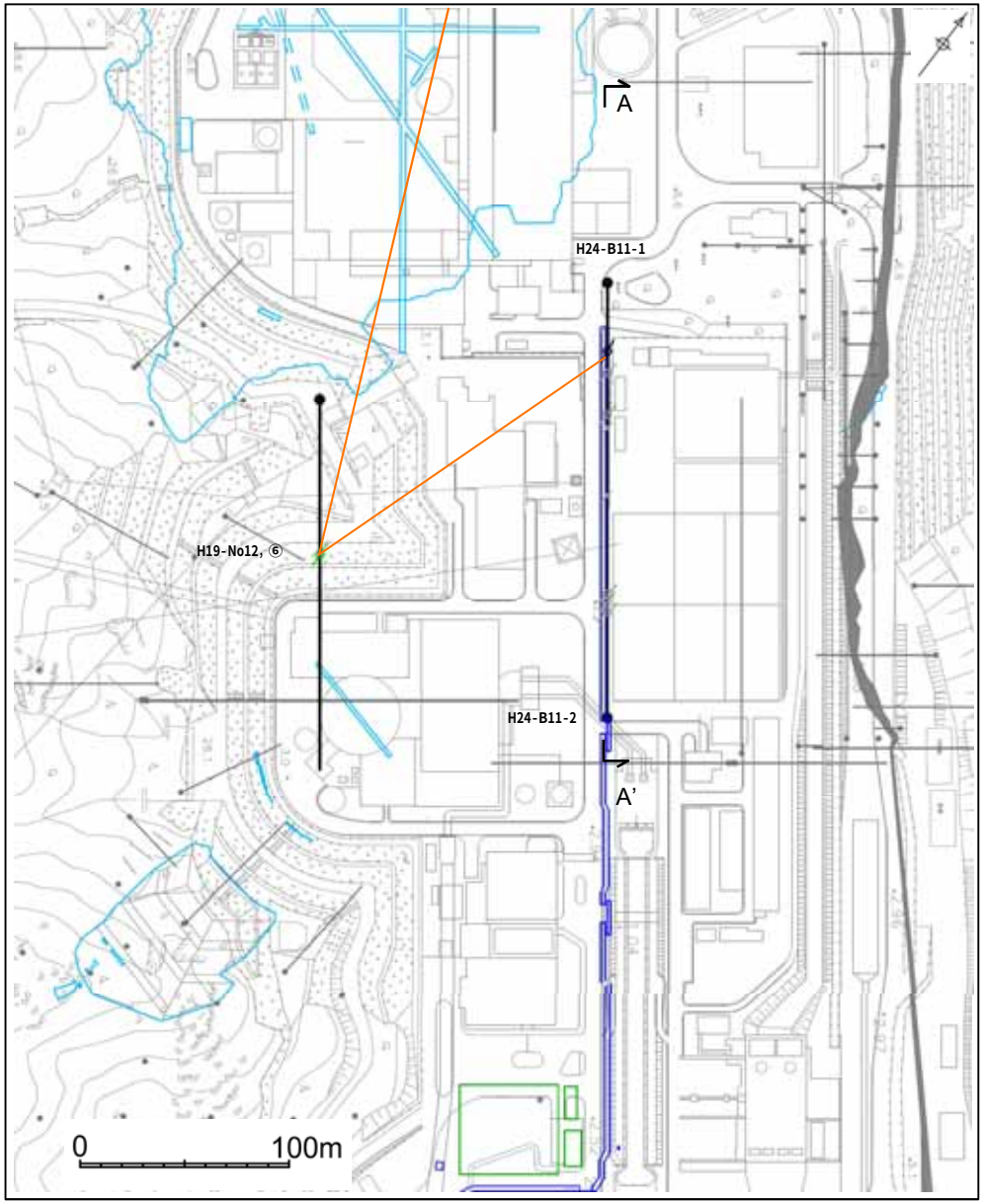
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑥)（A-A’断面）



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

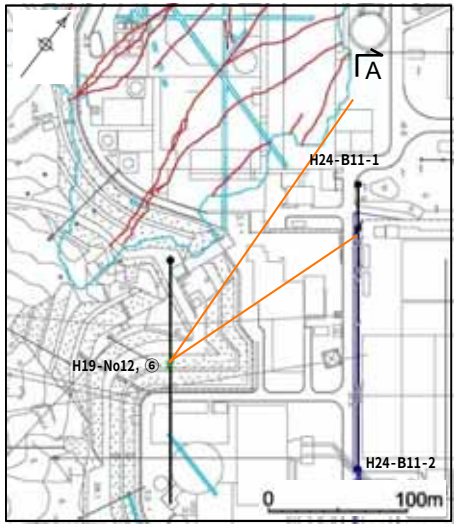
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

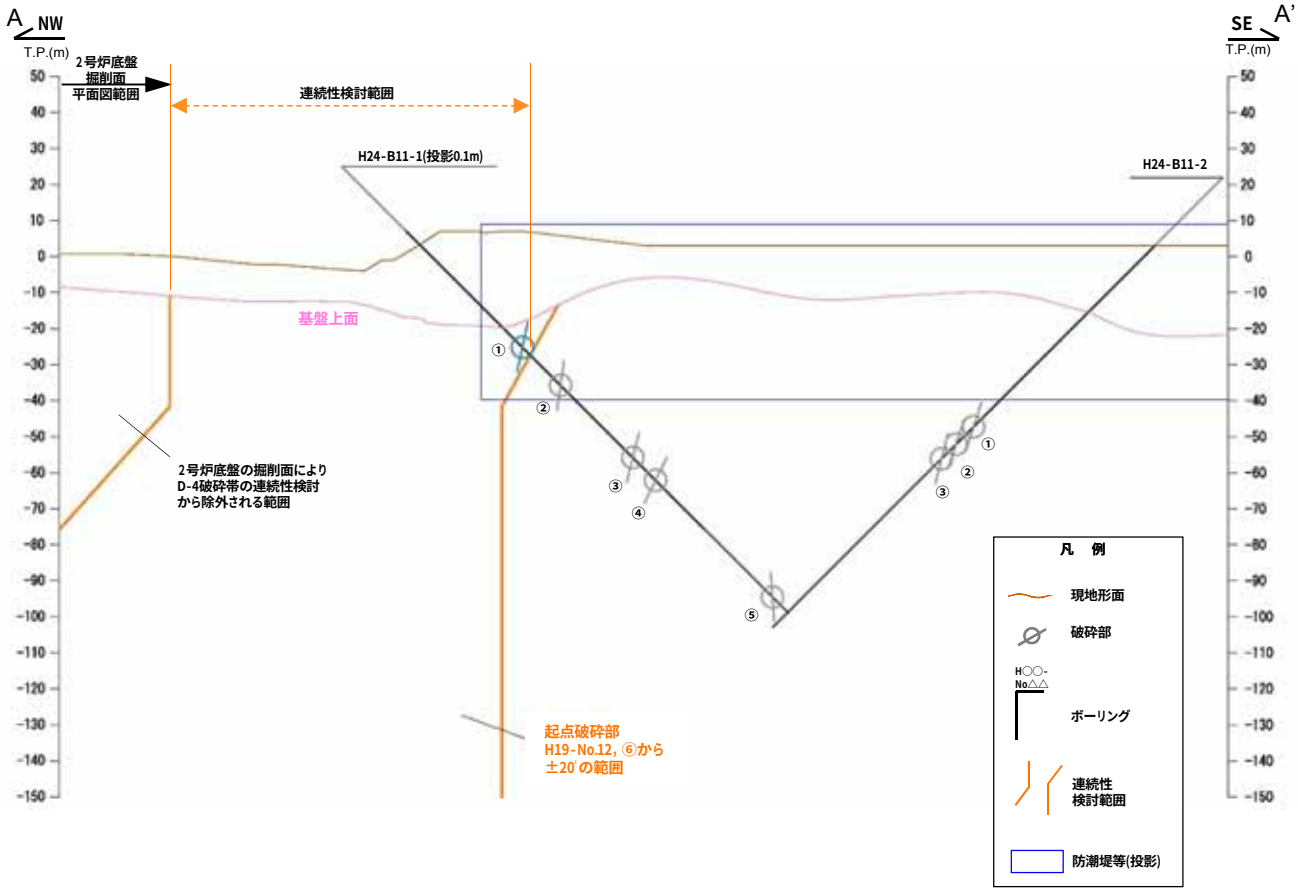
※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑥)〔A-A’断面〕



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）



拡大範囲図凡例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 2号炉底盤掘削面の破砕帯トレース
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑥)〔A-A'断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.12	-	-	⑥	104.12	104.22	N4W		83W		有	無	50L	-		D-4	参考2-89	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45 58	45 63	N8W	4	84W	1	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
		範囲外	②	60 36	60 60	N8E	12	84W	1	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	8	81W	2	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97 87	99 00	N4E	8	72W	11	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	10	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71 21	71 24	N12E	16	76W	7	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	4	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80 50	83.93	N9E	13	80W	3	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

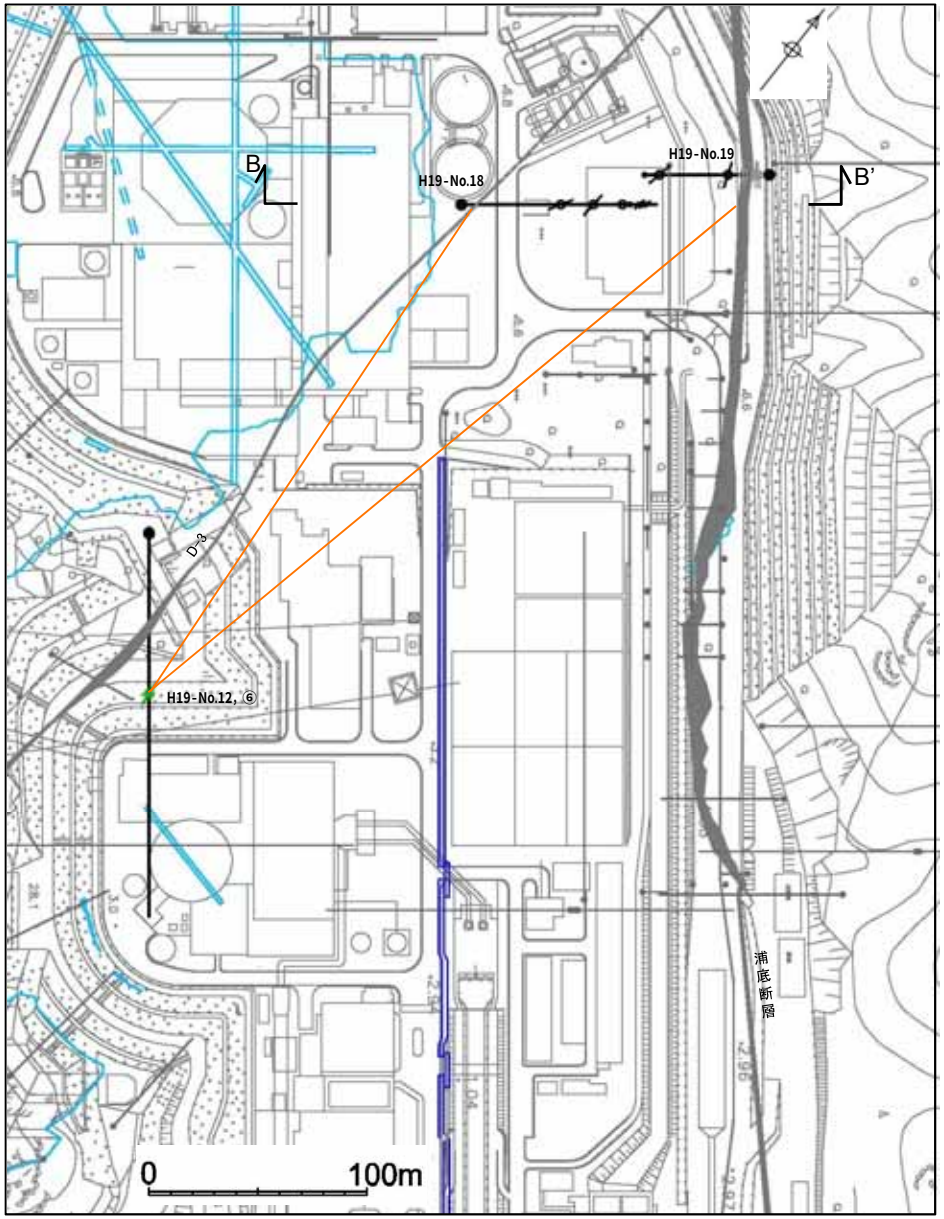
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑥)（B-B’断面）



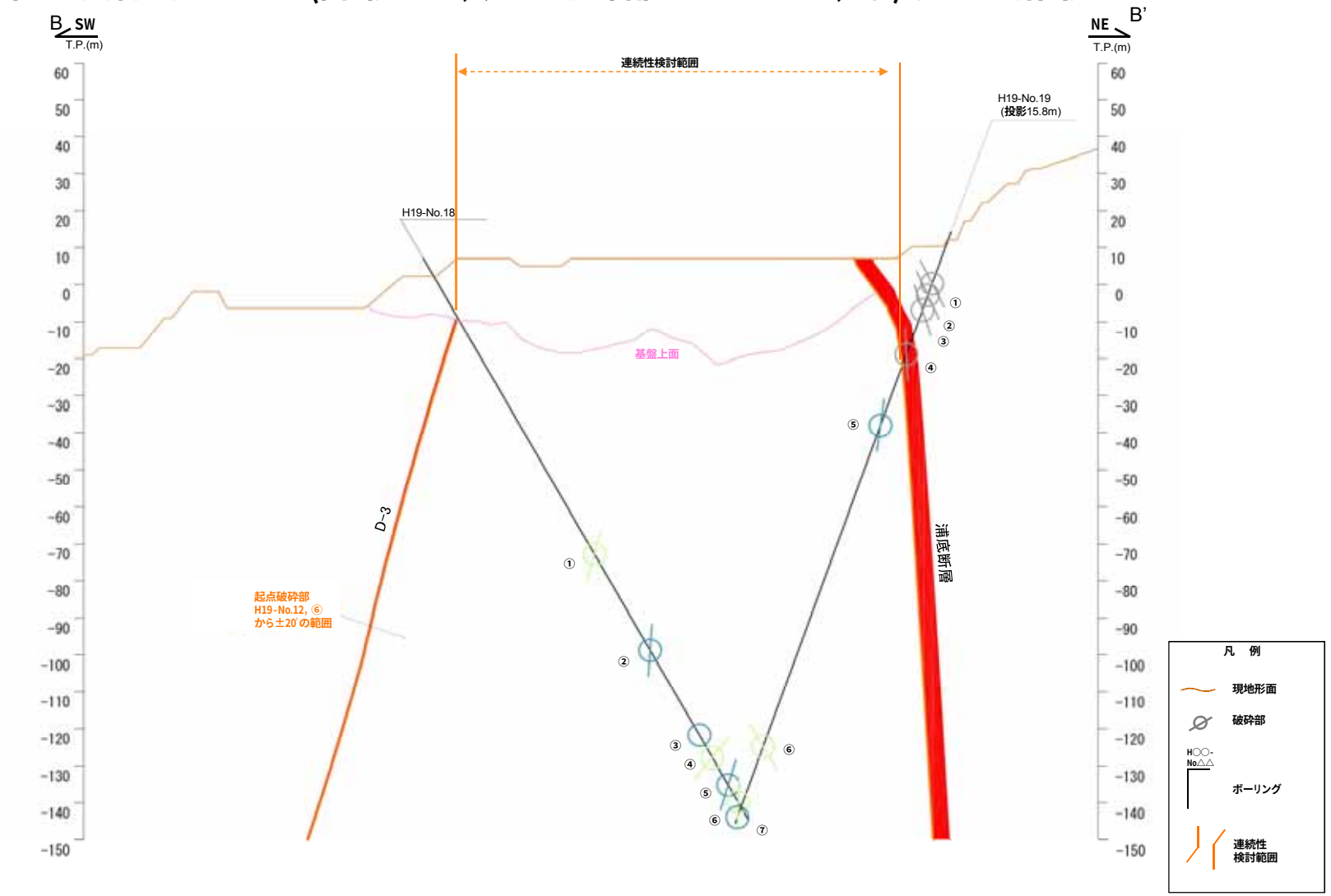
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑥)（B-B’断面）



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑥)（B-B'断面）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	⑥	104.12	104 22	N4W		83W		有	無	50L	N,RL		D-4	参考2-89	
-	H19-No.18	範囲内	①	92.14	92.18	N31E	35	84W	1	有	無	10L	-		f-18-1	参考2-132	
			②	122.16	122 35	N6E	10	87W	4	有	無	73L	-	×	f-18-2	参考2-132	※3
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-39	参考2-117	※3
			④	155.72	155.75	N36E	40	76W	7	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	164 25	N9E	13	78W	5	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3
			⑥	169.62	169 63	N20E	24	89W	6	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	38	63E	34	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	32	65E	32	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	30	72E	25	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	37	87NE	10	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
		範囲内	⑤	55.49	55.56	N20W	16	82W	1	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
			⑥	147.93	148.12	N13E	17	68E	29	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

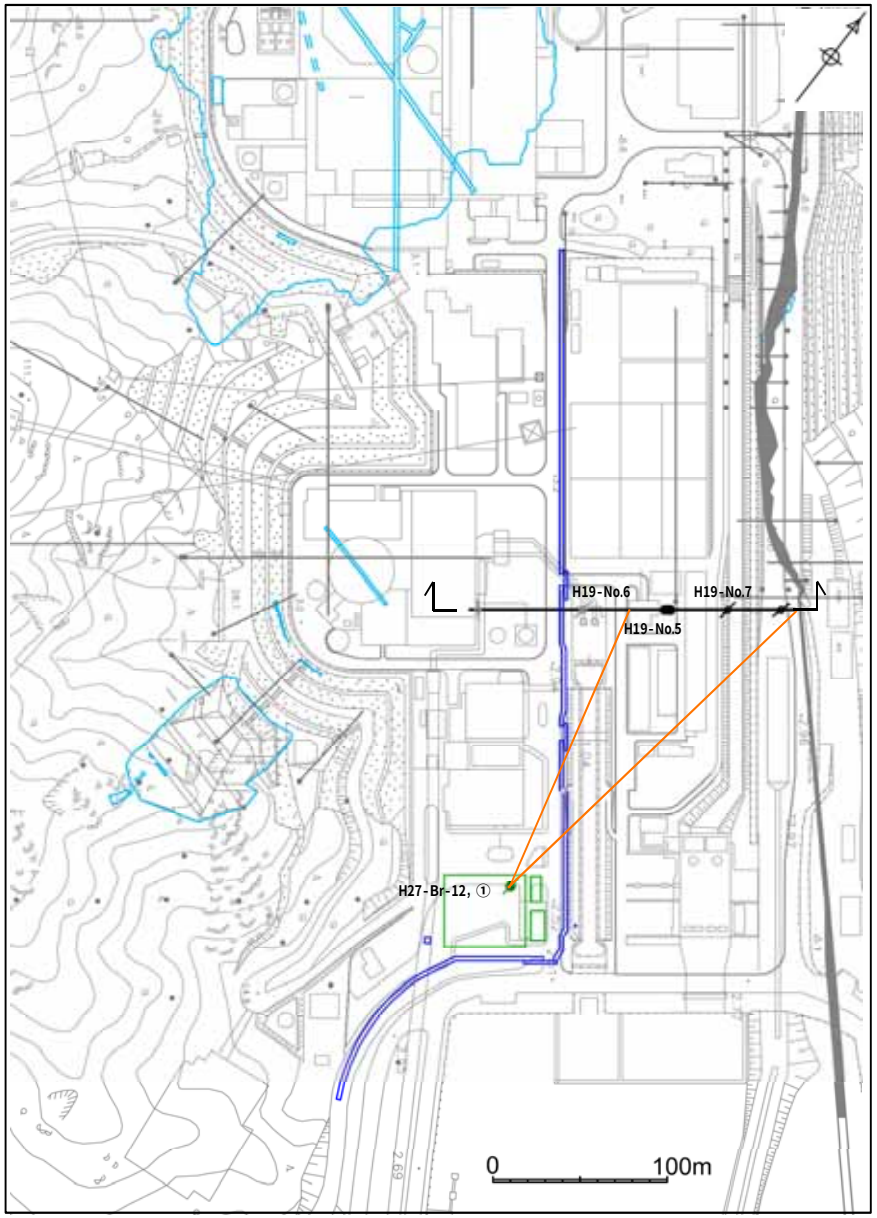
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-12，①)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

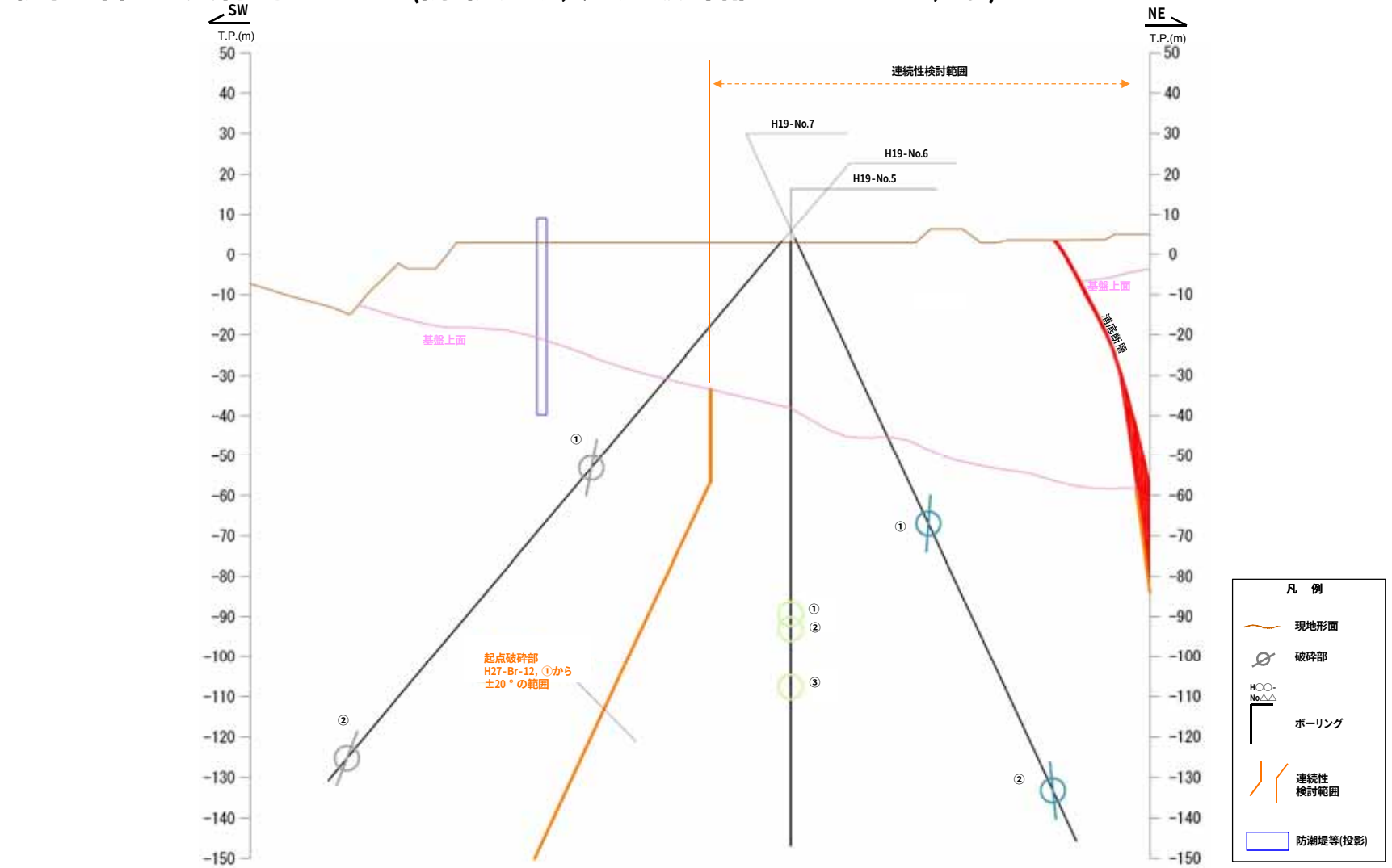
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-12，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-12，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-Br-12	-	-	①	58.40	59 38	N7E		85W		有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
-	H19-No 5	範囲内	①	92 63	92 65	-	-	(12)	73	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	96.46	96.49	-	-	(52)	33	有	有	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	110.93	110.95	-	-	(35)	50	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
	H19-No 6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	1	82W	3	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167 53	168.54	N41W	48	69W	16	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.7	範囲内	①	78 22	79 56	N7E	0	87W	2	有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
			②	151 35	151.38	N15E	8	86E	9	有	有	20L	-	×	f-8-11	参考2-128	※3

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

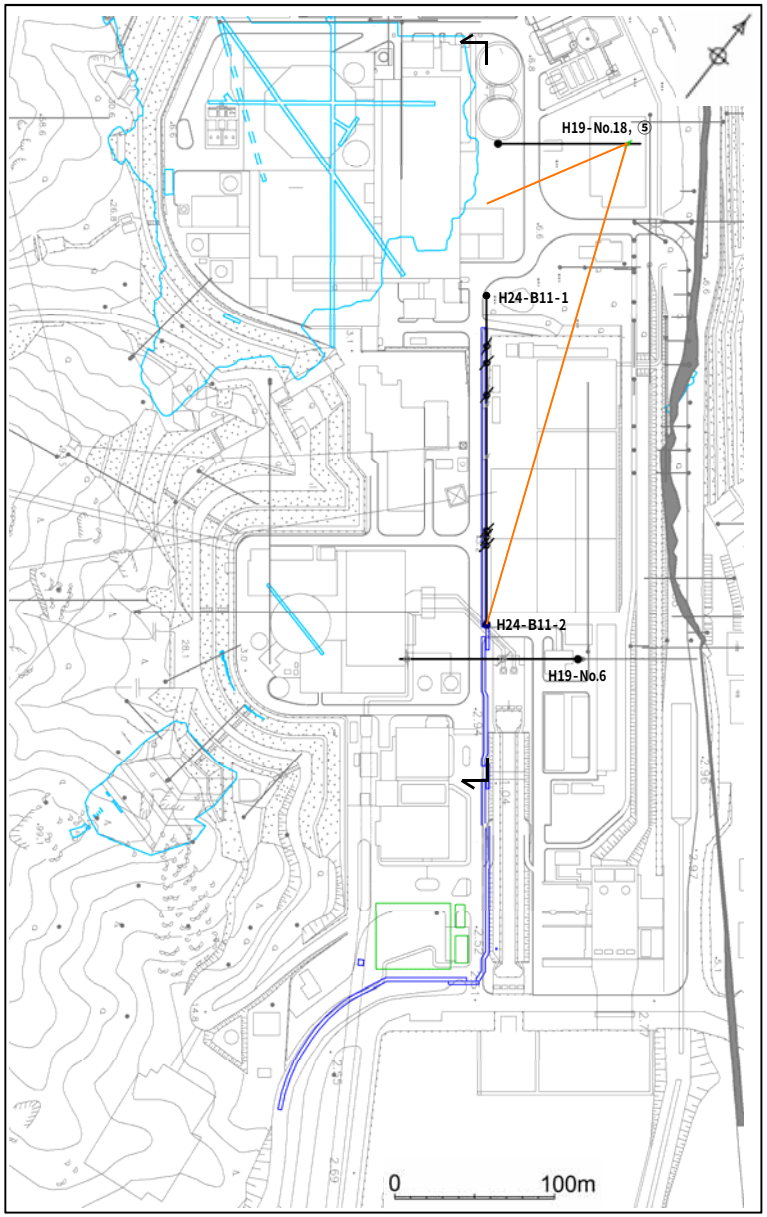
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.18，⑤)



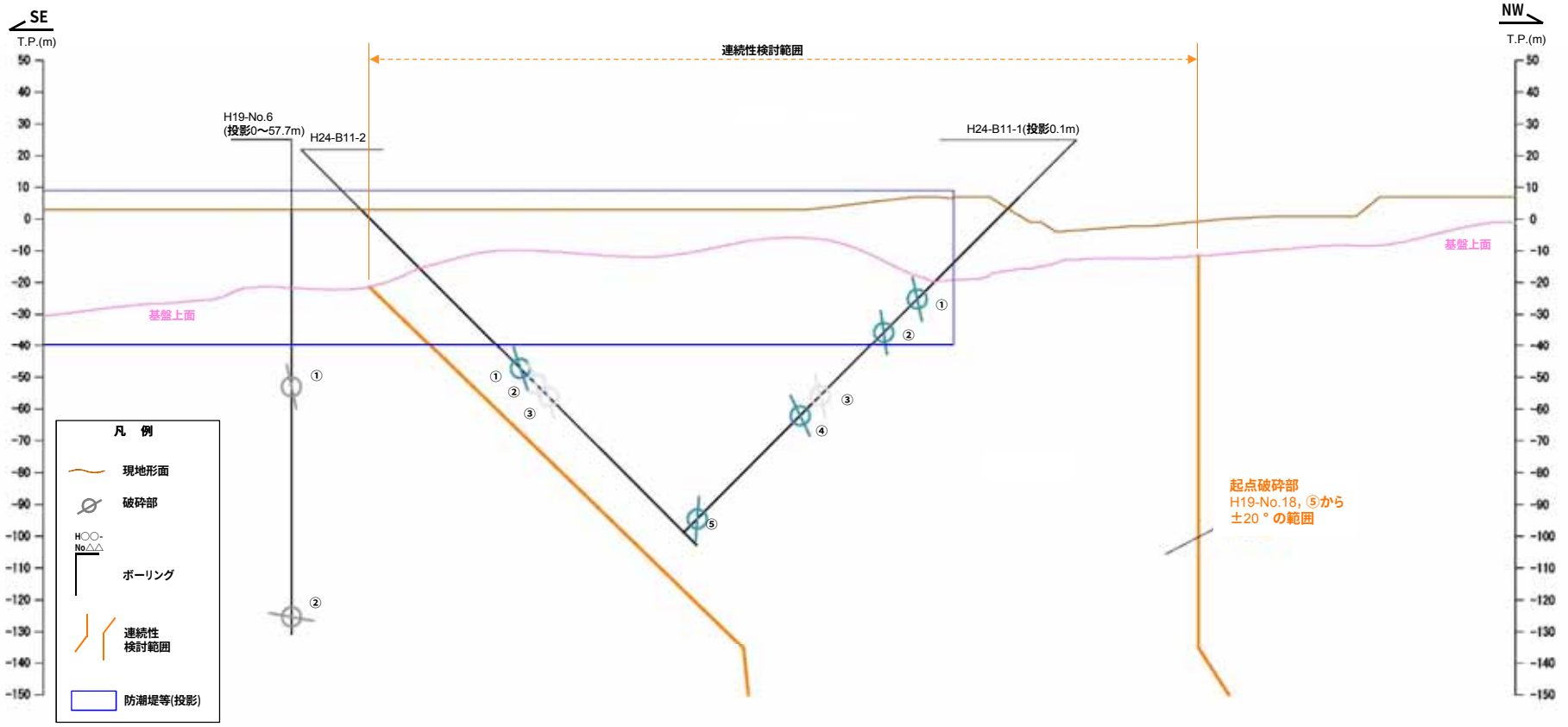
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.18，⑤)



破砕部着色凡例

- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.18，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.18	-	-	⑤	164.15	164.25	N9E		78W		無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45 58	45.63	N8W	17	84W	6	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60 36	60.60	N8E	1	84W	6	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	5	81W	3	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97 87	99.00	N4E	5	72W	6	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	1	87E	15	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※4
	H24-B11-2		①	71 21	71.24	N12E	3	76W	2	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	9	79W	1	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80 50	83.93	N9E	0	80W	2	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	3	82W	4	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	50	69W	9	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

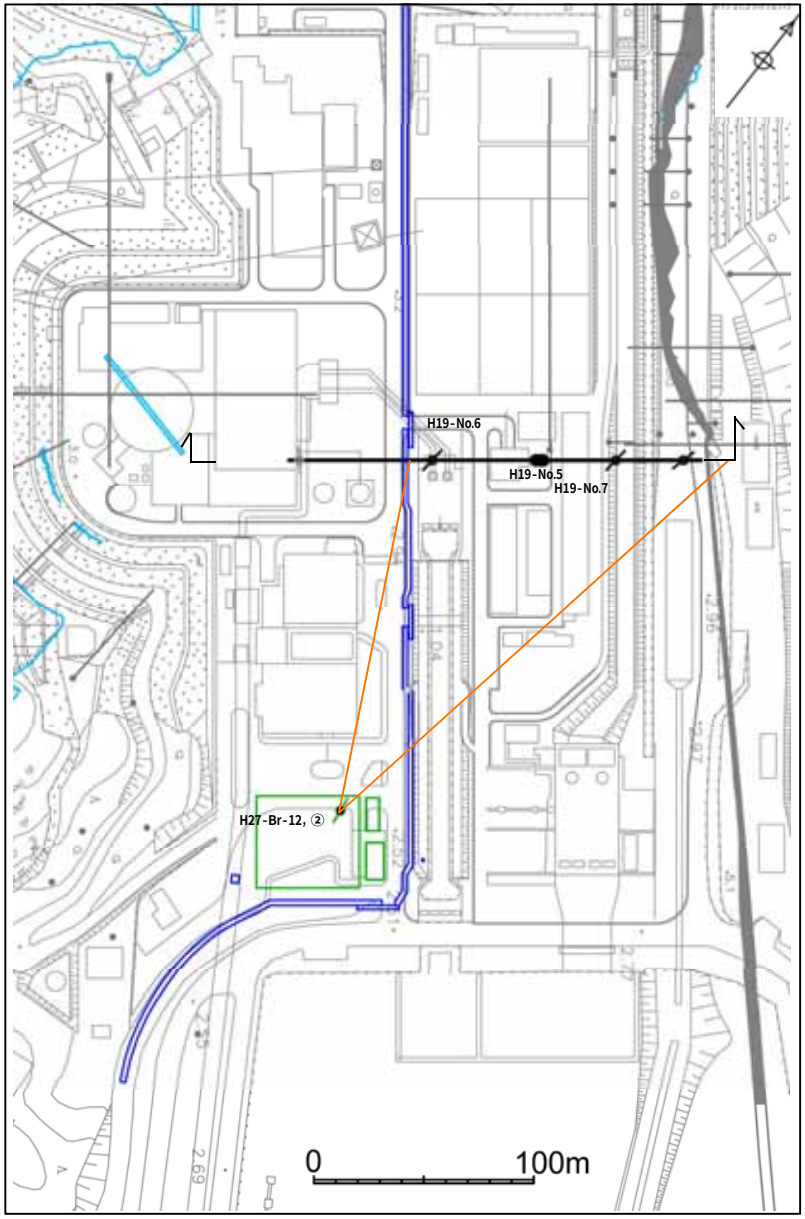
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-12，②)



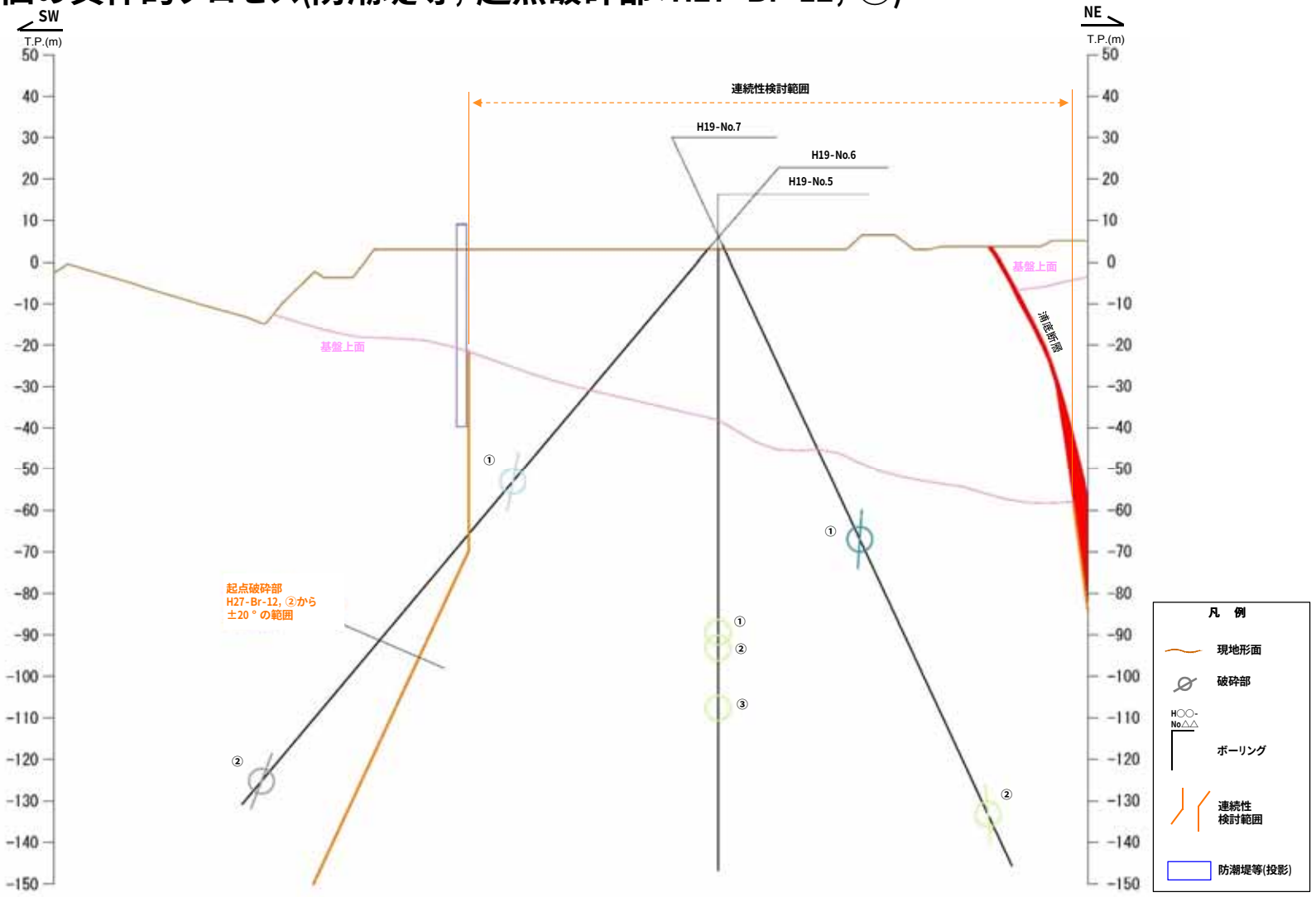
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-12，②)



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-12，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-12	-	-	②	71.95	72.72	N6W		85W		有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
-	H19-No.5	範囲内	①	92.63	92.65	-	-	(12)	73	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	96.46	96.49	-	-	(52)	33	有	有	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	110.93	110.95	-	-	(35)	50	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	12	82W	3	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
		範囲外	②	167.53	168.54	N41W	35	69W	16	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.7	範囲内	①	78.22	79.56	N7E	13	87W	2	有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
			②	151.35	151.38	N15E	21	86E	9	有	有	20L	-		f-8-11	参考2-128	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

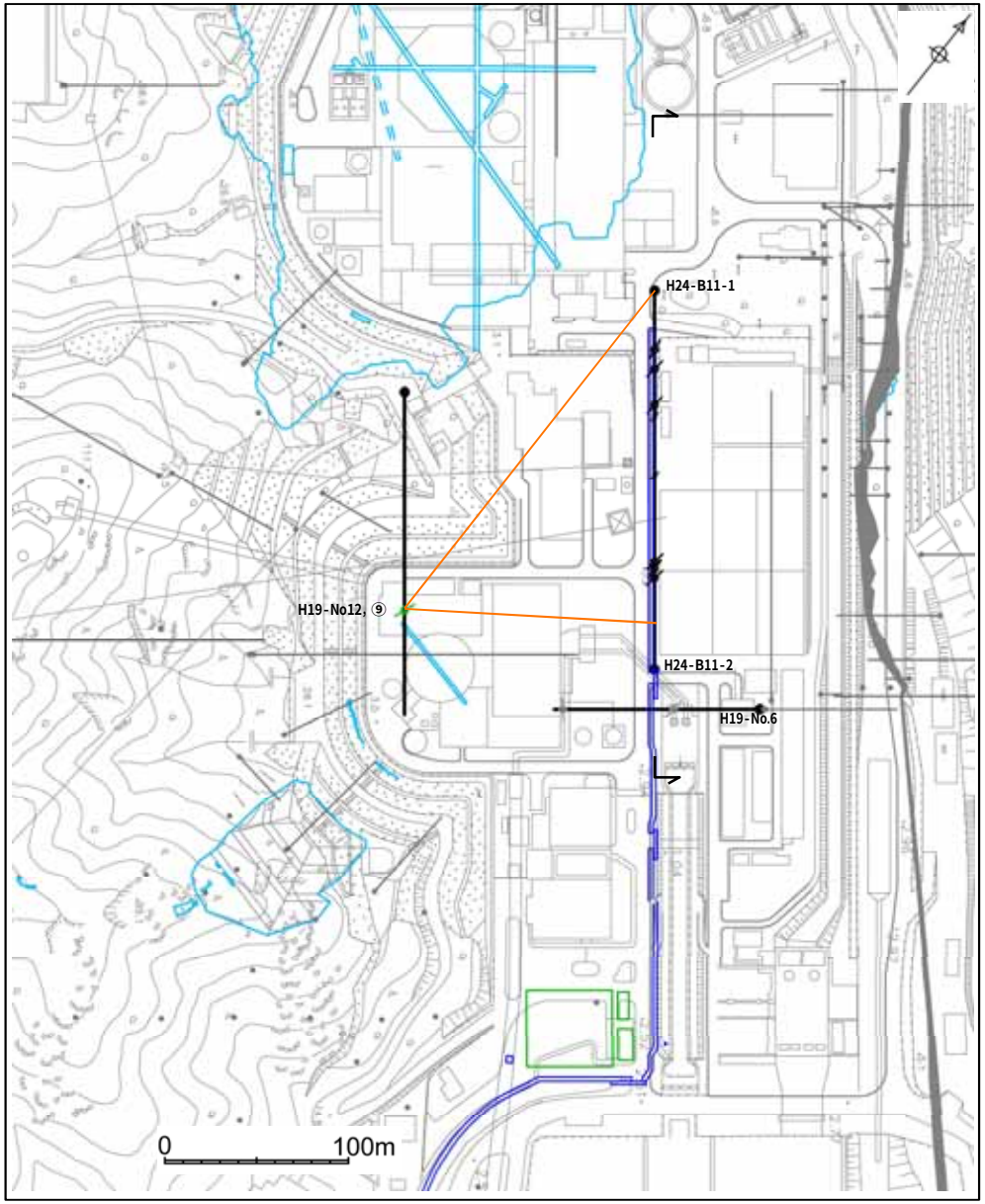
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑨)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

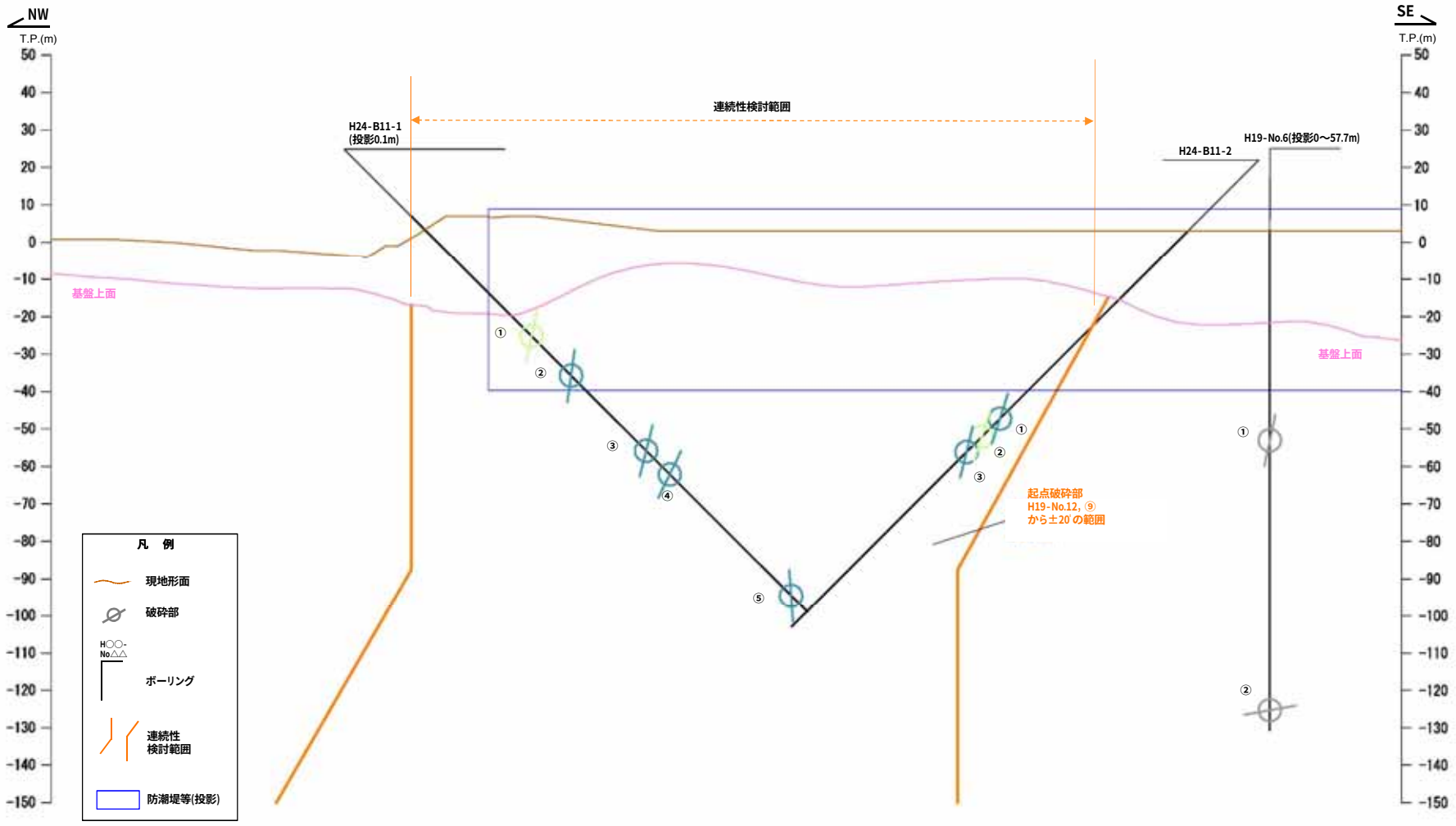
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑨)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑨)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	⑨	169.38	169.46	N21E		84W		有	無	85R	-		f-12-8	参考2-130	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	29	84W	0	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	13	84W	0	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	17	81W	3	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	17	72W	12	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	13	87E	9	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	9	76W	8	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	21	79W	5	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	12	80W	4	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	15	82W	2	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	62	69W	15	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

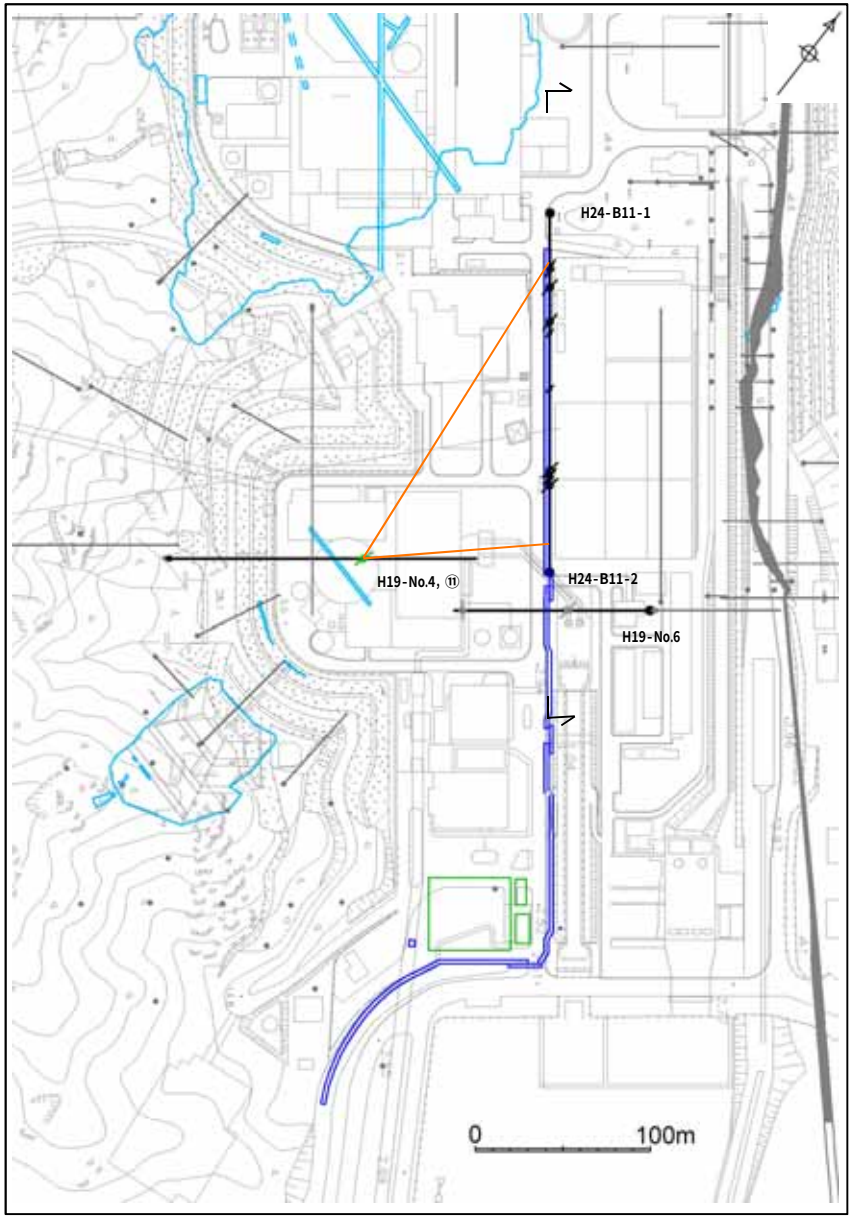
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑪)



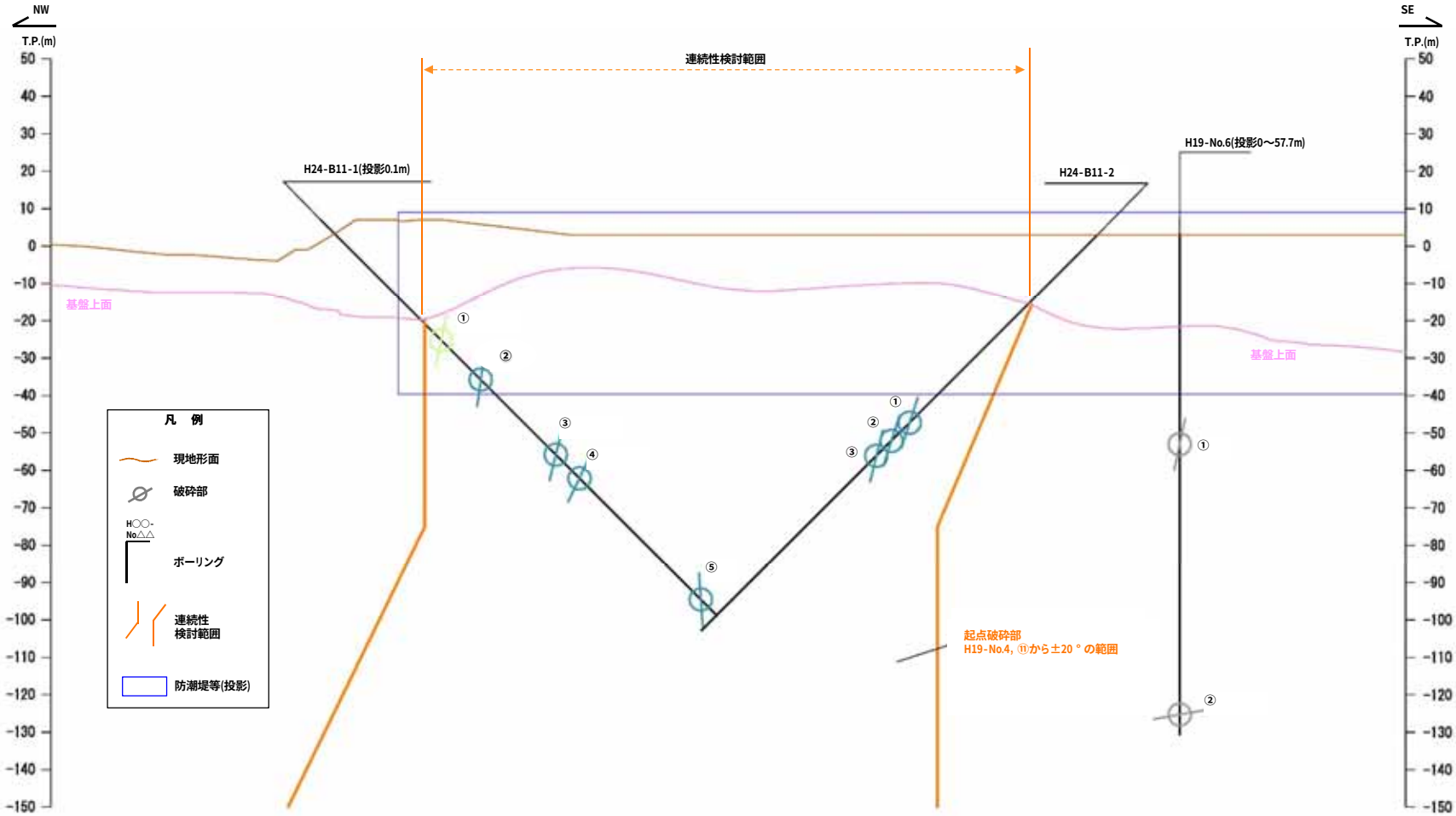
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑪)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑪)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑪	159.77	159.88	N15E		87W		有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45 58	45 63	N8W	23	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60 36	60 60	N8E	7	84W	3	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	11	81W	6	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	97 87	99 00	N4E	11	72W	15	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	7	87E	6	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※4
	H24-B11-2		①	71 21	71 24	N12E	3	76W	11	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	15	79W	8	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80 50	83.93	N9E	6	80W	7	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	9	82W	5	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	56	69W	18	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

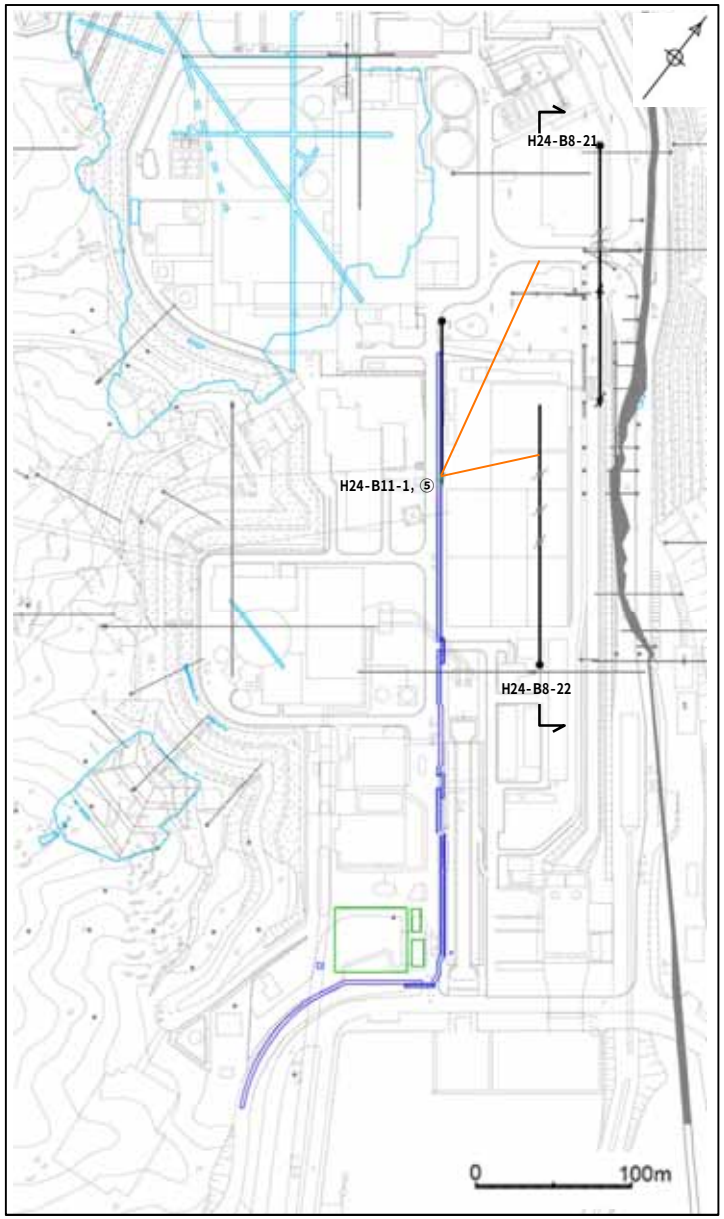
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，⑤)



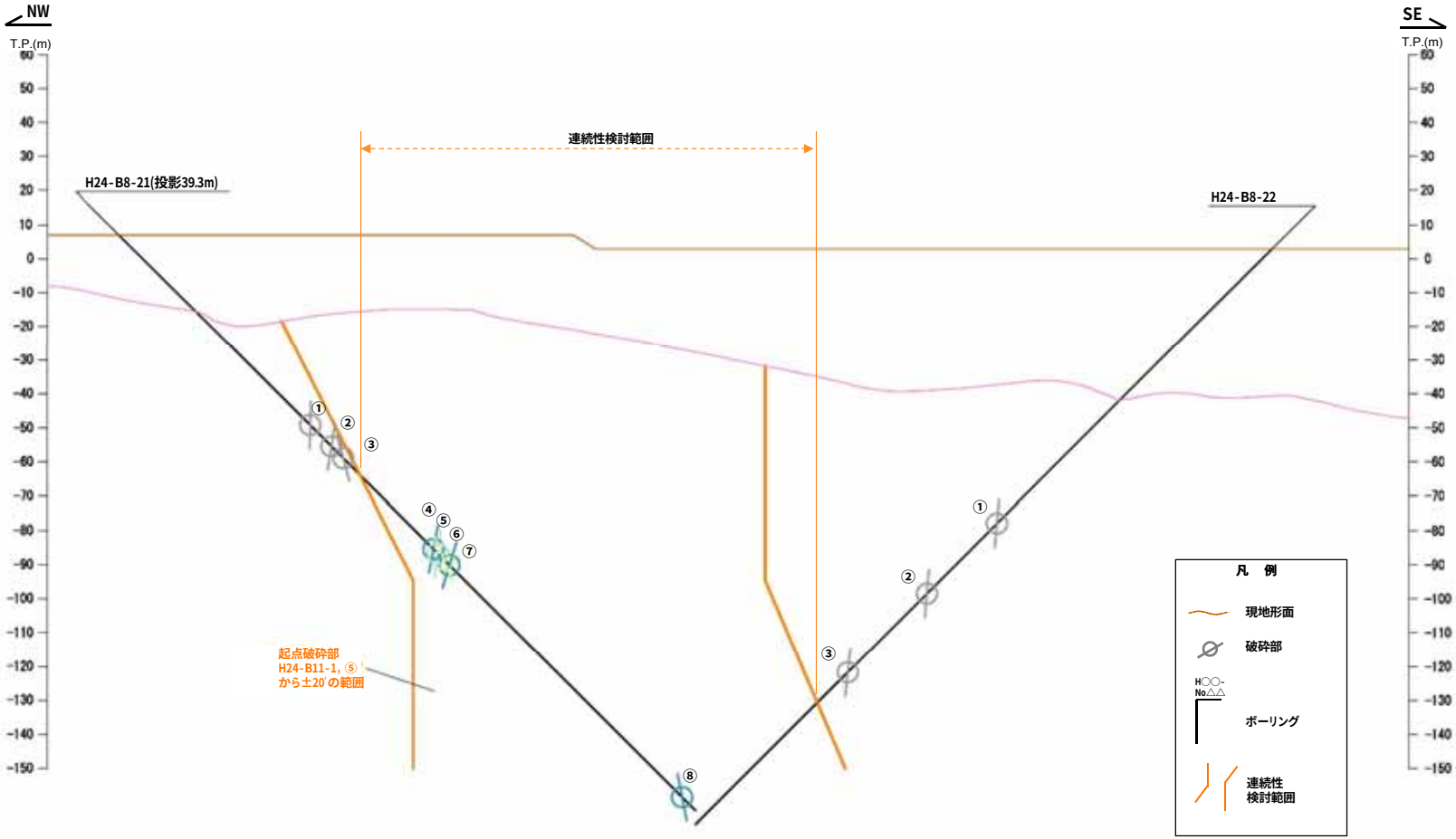
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，⑤)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B11-1	-	-	⑤	143.67	143.77	N8E		87E		無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-192	
-	H24-B8-21	範囲外	①	79.86	80.17	N18E	10	89W	4	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
			②	88.67	88.71	N41E	33	81NW	12	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
			③	92.86	93.53	N5W	13	82E	5	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
		範囲内	④	131.03	131.14	N3W	11	84W	9	無	-	20R	RL	×	非モデル化	参考2-189	
			⑤	131.88	132.82	N1E	7	85W	8	有	無	65R	N,LL		非モデル化	参考2-189	
			⑥	135.30	135.52	N58E	50	68S	19	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑦	137.72	138.18	N4E	4	79W	14	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑧	234.23	234.38	N3W	11	84E	3	有	無	20L	RL	×	D-37	参考2-116	※3
	H24-B8-22	範囲外	①	114.71	115.13	N3E	5	87W	6	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
			②	143.52	143.76	N17E	9	86W	7	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
			③	176.68	177.31	N19E	11	85W	8	有	有	40L	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

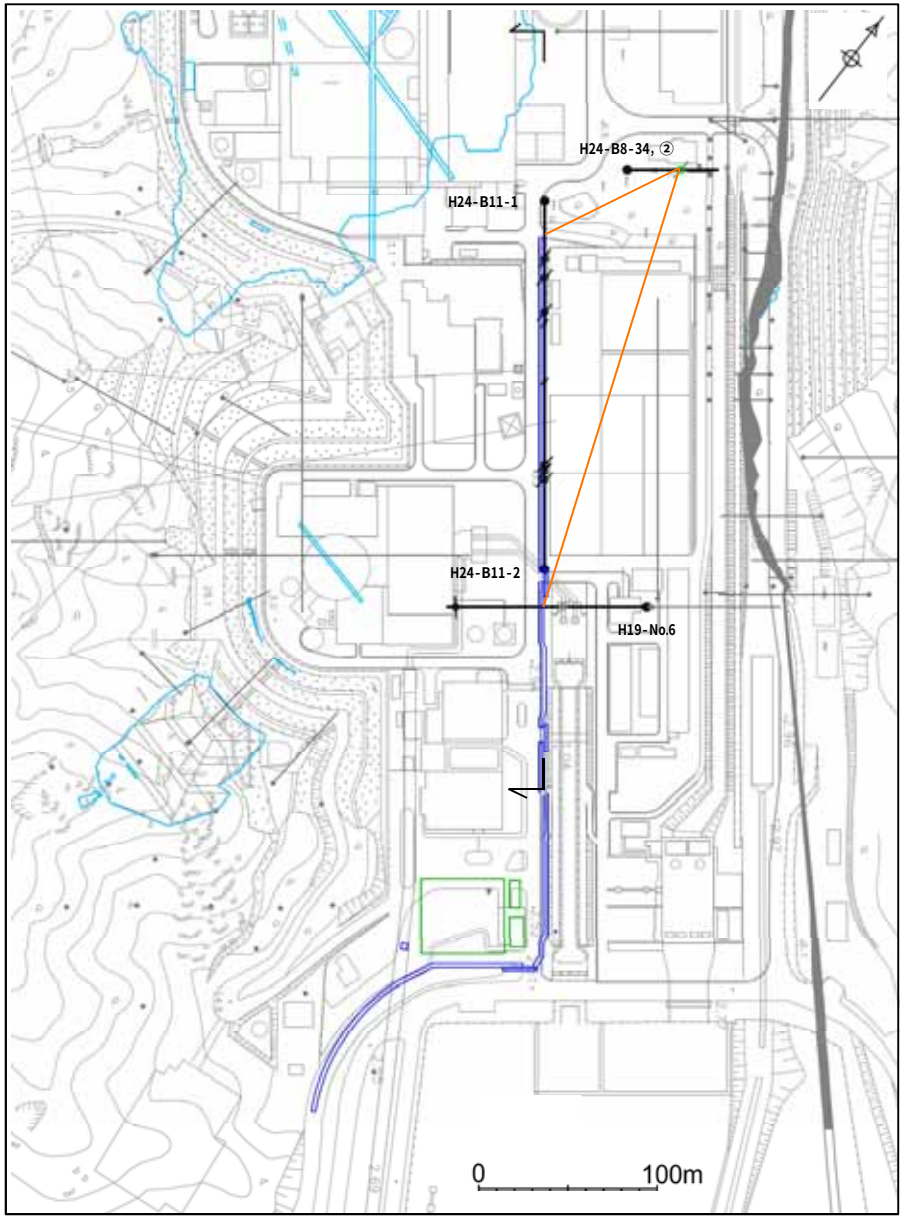
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-34，②)



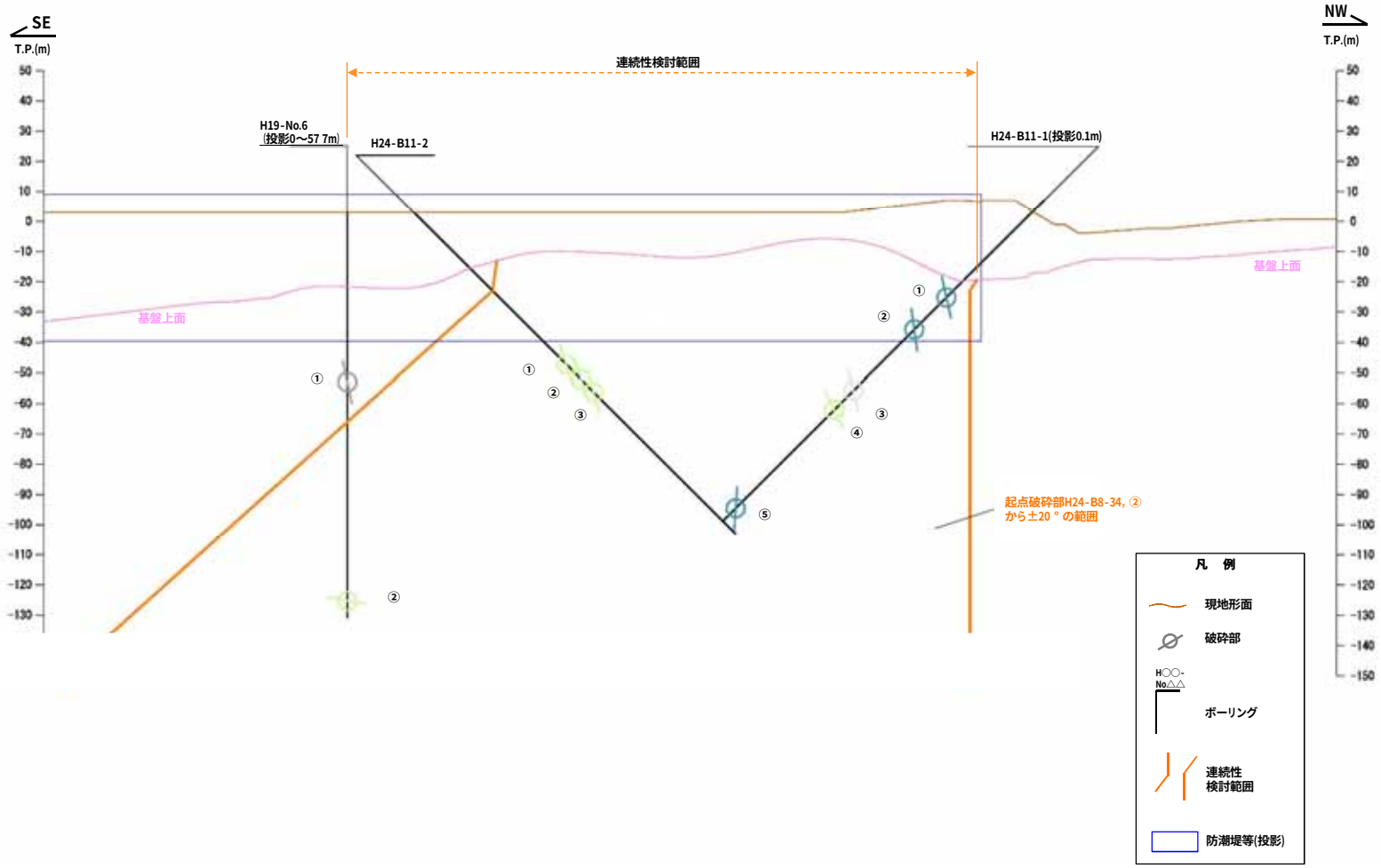
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-34，②)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-34，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度(m)	下端深度(m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H24-B8-34	-	-	②	42.86	42.97	N4E		79E		無	-	75L	-		f-b8-34-2	参考2-160	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	12	84W	17	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	4	84W	17	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	0	81W	20	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	0	72W	29	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	4	87E	8	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	8	76W	25	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	22	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	5	80W	21	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	2	82W	19	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
		範囲内	②	167.53	168.54	N41W	45	69W	32	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

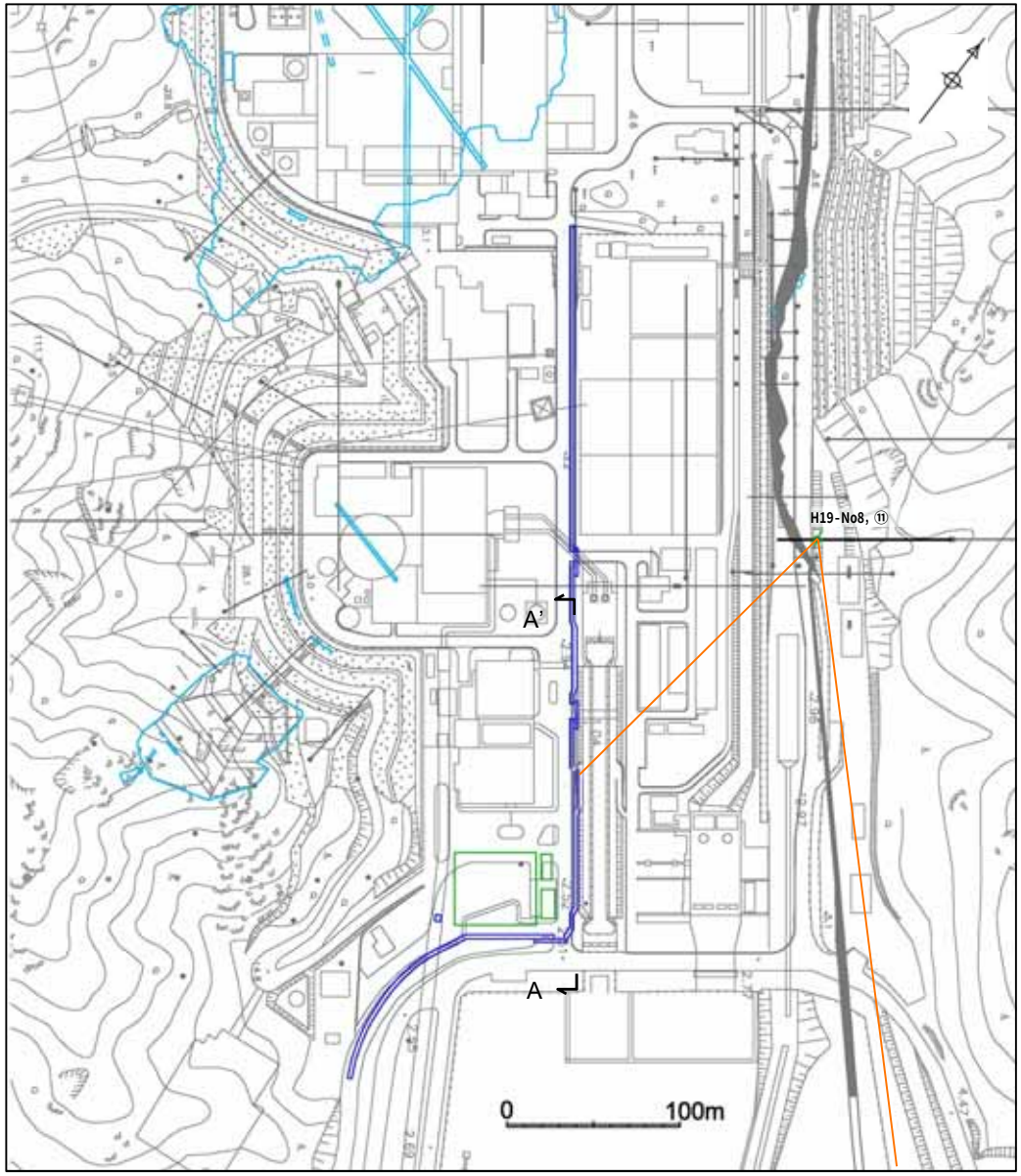
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.8，⑪)〔A-A’断面〕



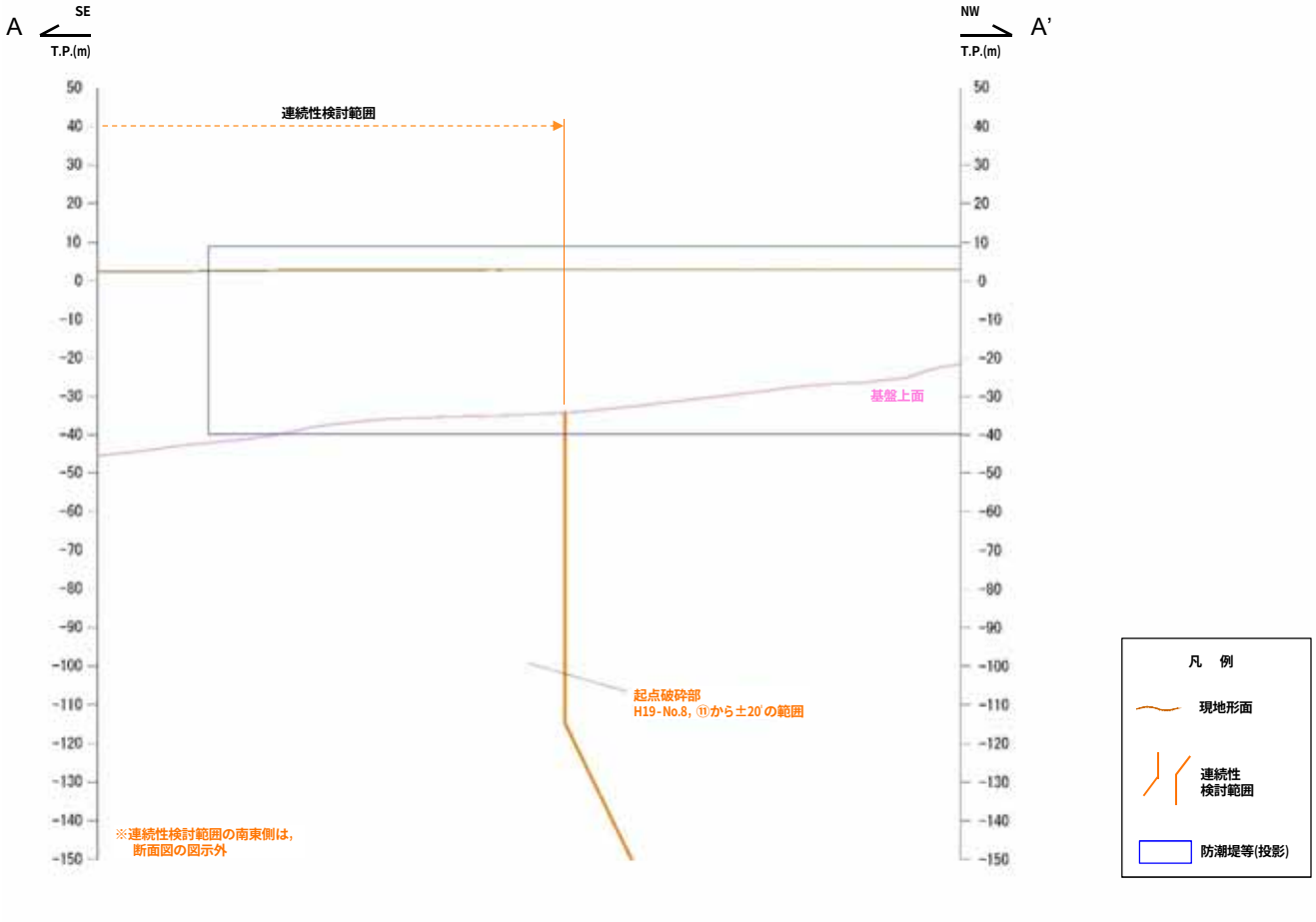
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 浦底断層（T.P.-15m）

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.8，⑪)〔A-A’断面〕

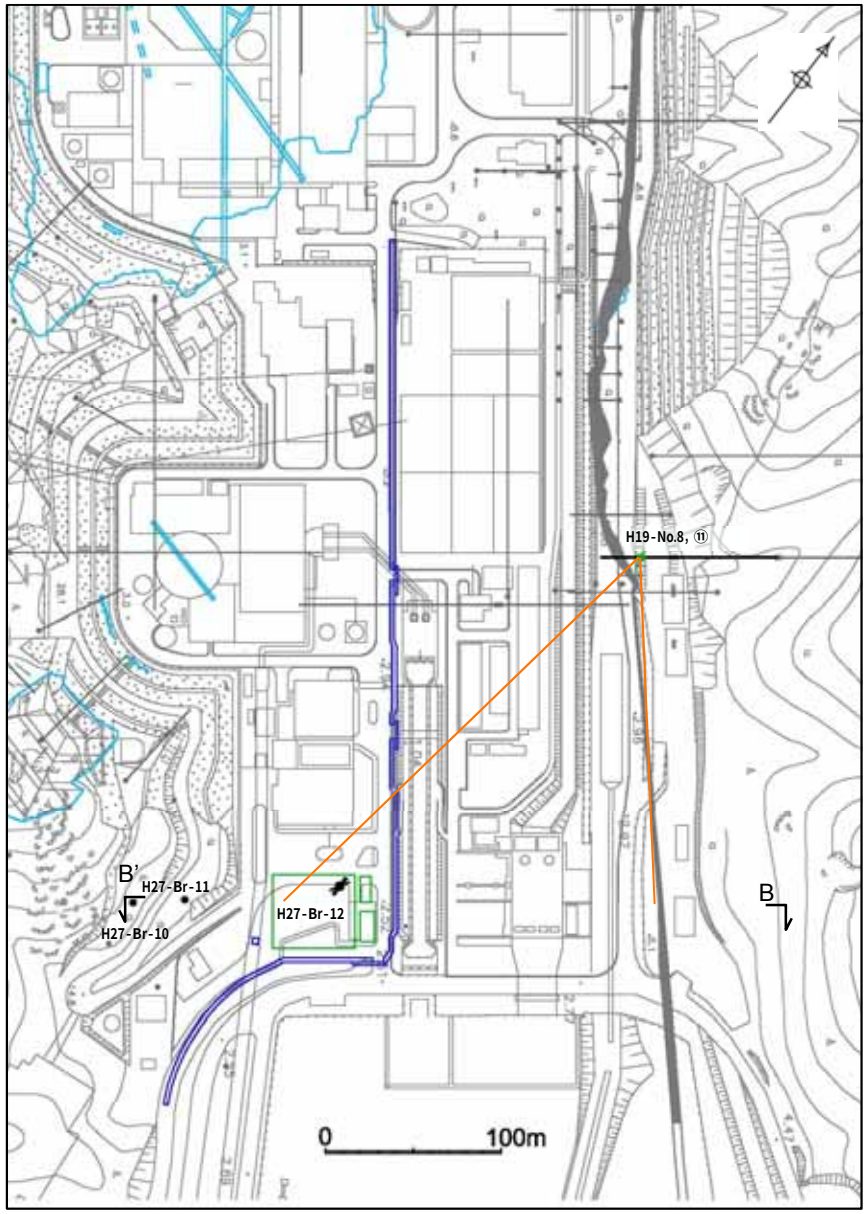


連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.8，⑪)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度(m)	下端深度(m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.8	-	-	⑪	155.50	155.55	N12W		86W		無	-	30L	-		f-8-11	参考2-128	
検討対象範囲に調査無し																	

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.8，⑪)〔B-B’断面〕



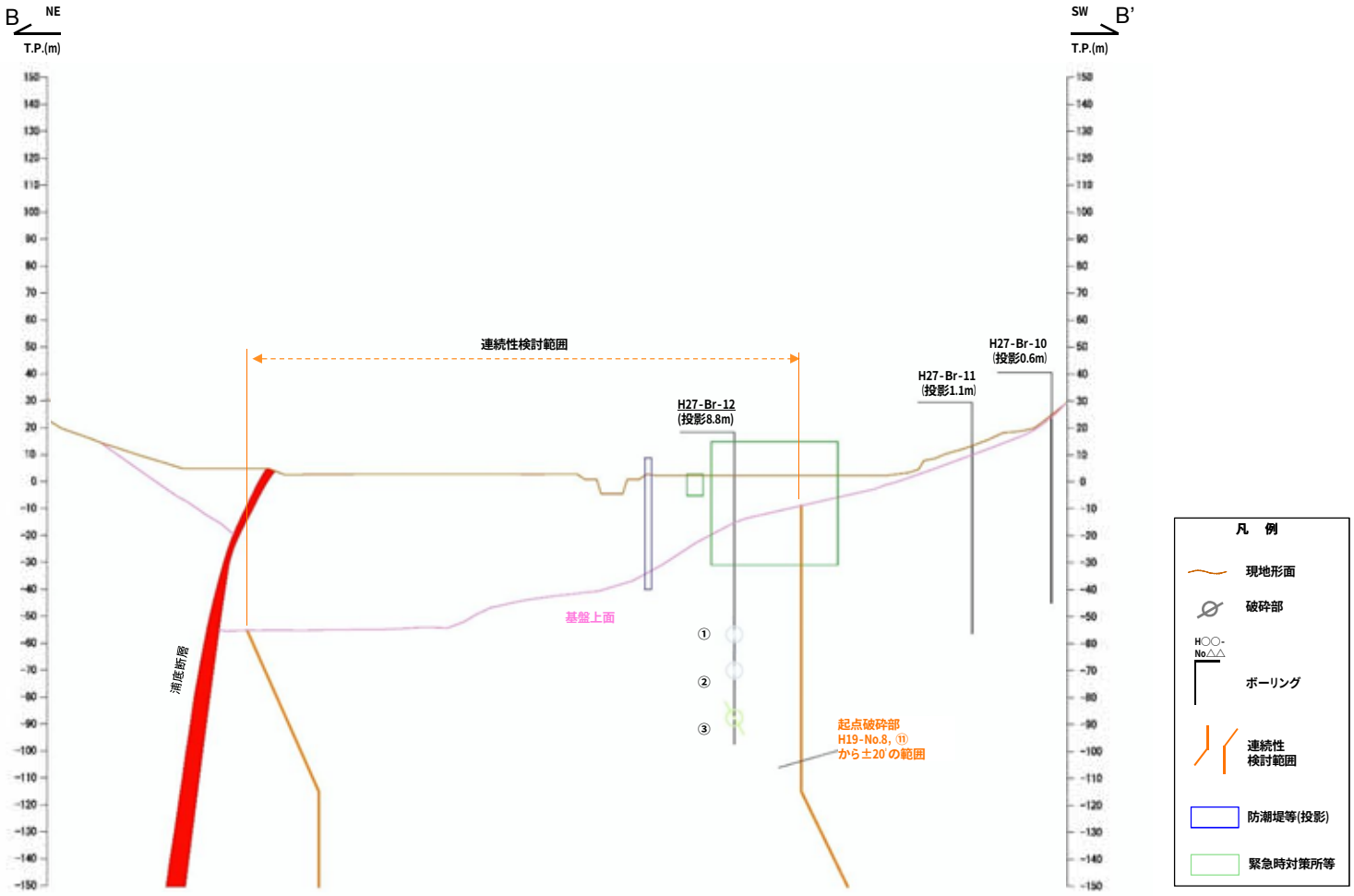
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.8，⑪)〔B-B’断面〕



注）H27-Br-10孔及びH27-Br-11孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

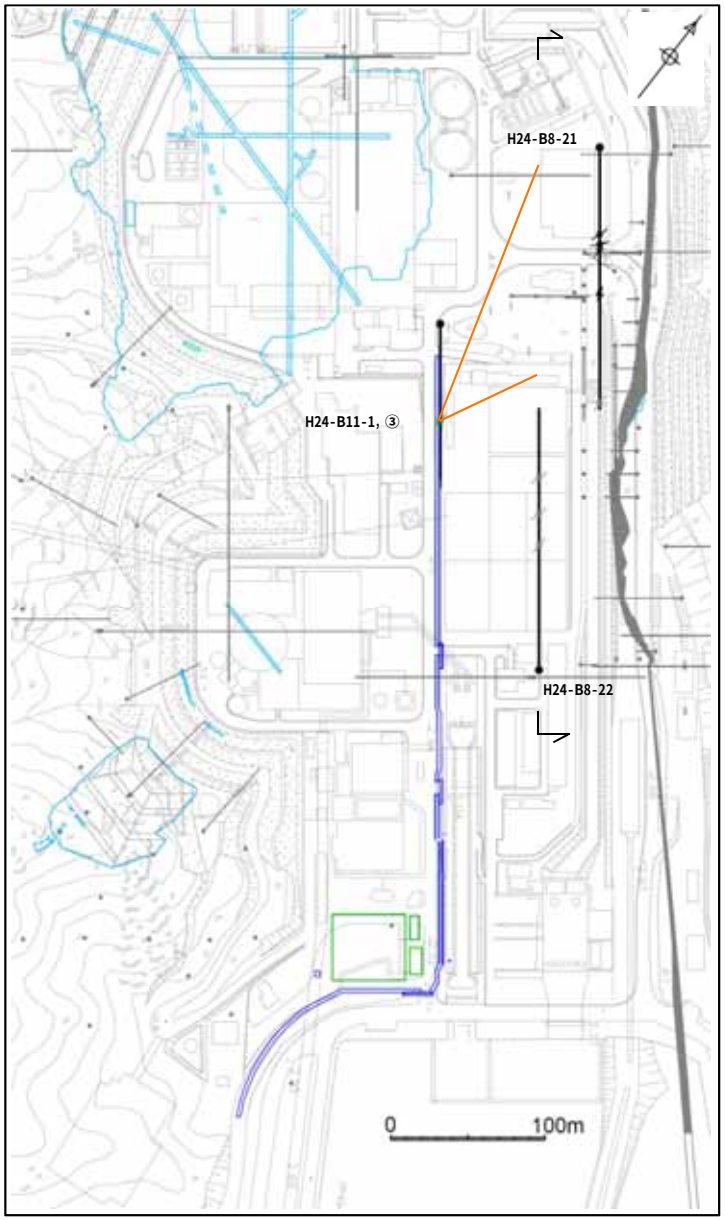
連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.8，⑪)〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.8	-	-	⑪	155.50	155.55	N12W		86W		無	-	30L	-		f-8-11	参考2-128	
-	H27-Br-12	範囲内	①	58.40	59.38	N7E	19	85W	1	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	6	85W	1	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	43	78NW	8	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，③)



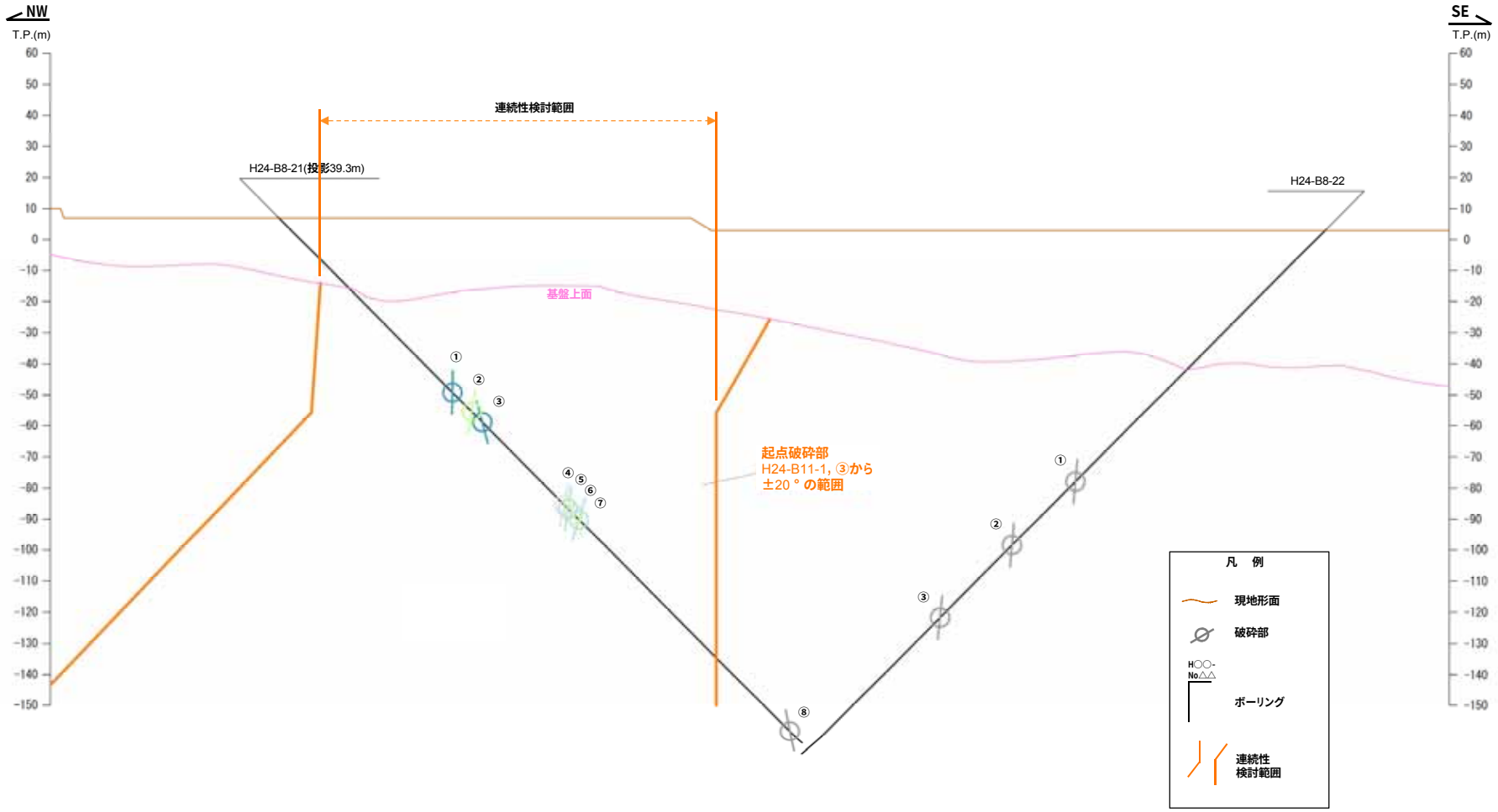
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，③)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B11-1	-	-	③	88.93	88.97	N4E		81W		有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
-	H24-B8-21	範囲内	①	79.86	80.17	N18E	14	89W	8	有	有	35L	N,RL	×	f-b8-21-1	参考2-160	※3
			②	88.67	88.71	N41E	37	81NW	0	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
			③	92.86	93.53	N5W	9	82E	17	有	有	-	N,RL	○	D-5	参考2-70	
			④	131.03	131.14	N3W	7	84W	3	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
			⑤	131.88	132.82	N1E	3	85W	4	有	無	65R	N,LL		非モデル化	参考2-189	
			⑥	135.30	135.52	N58E	54	68S	31	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑦	137.72	138.18	N4E	0	79W	2	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
		範囲外	⑧	234.23	234.38	N3W	7	84E	15	有	無	20L	RL		D-37	参考2-116	
	H24-B8-22		①	114.71	115.13	N3E	1	87W	6	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
			②	143.52	143.76	N17E	13	86W	5	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
			③	176.68	177.31	N19E	15	85W	4	有	有	40L	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

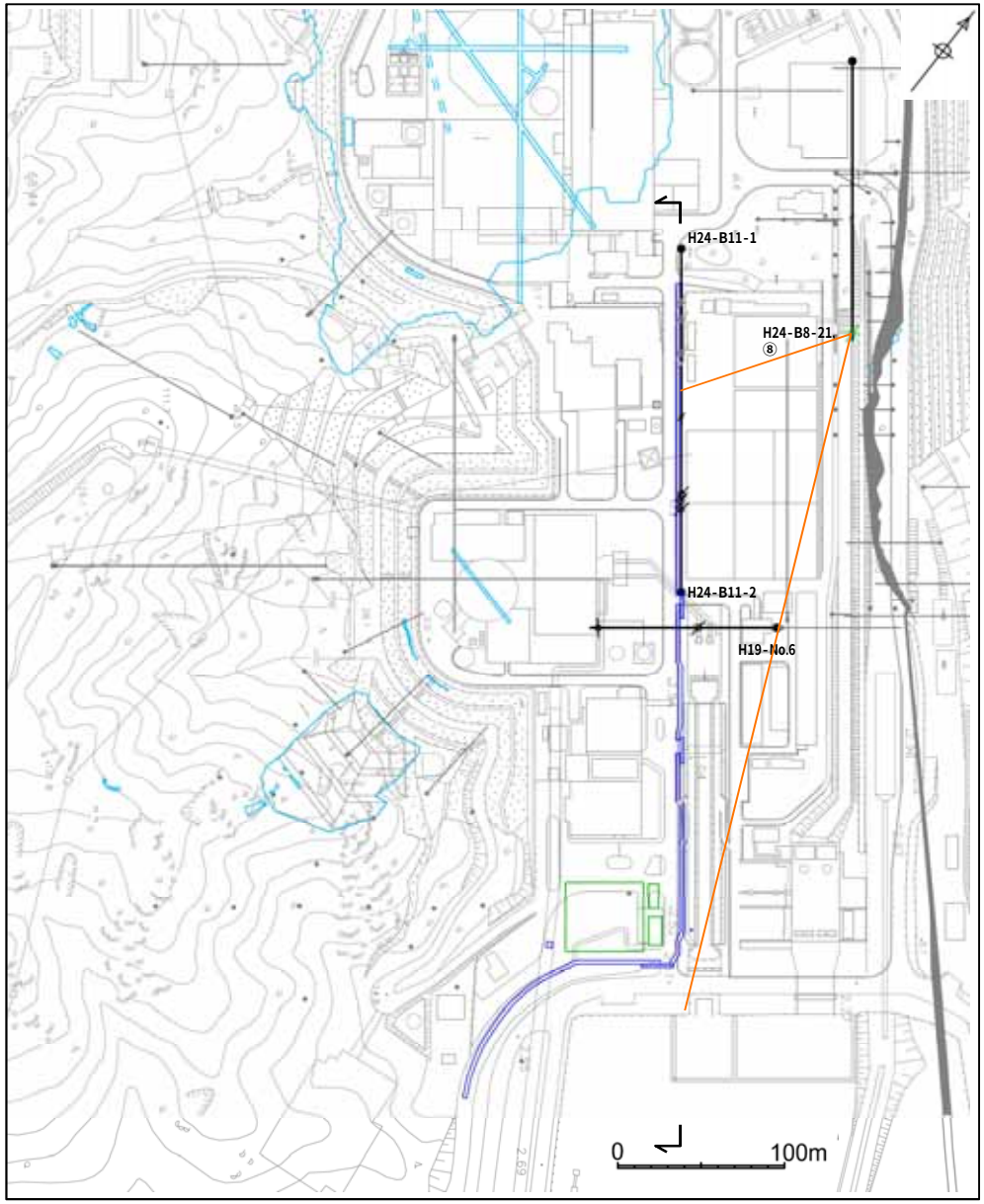
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，⑧)



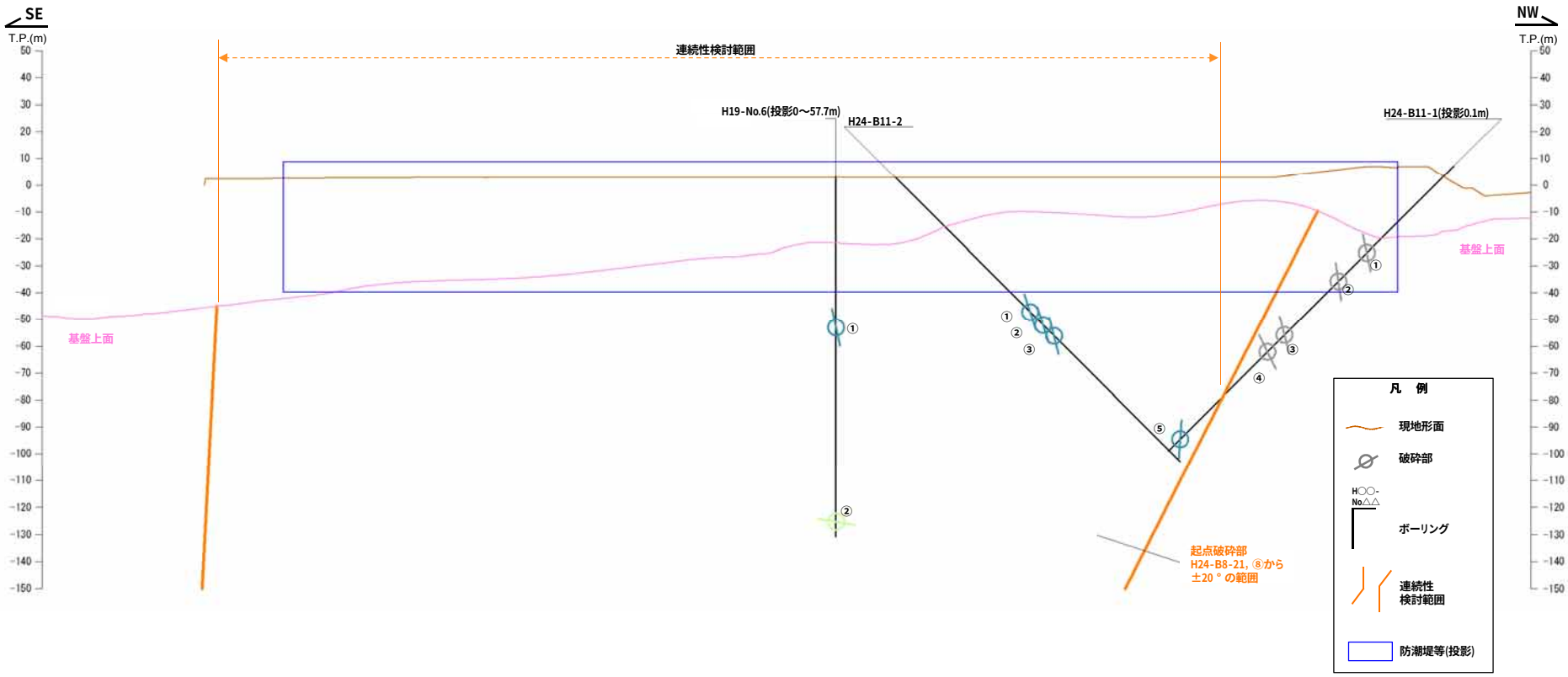
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，⑧)



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，⑧)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-21	-	-	⑧	234.23	234.38	N3W		84E		有	無	20L	RL		D-37	参考2-116	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	5	84W	12	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	11	84W	12	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	7	81W	15	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	7	72W	24	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
		範囲内	⑤	143.67	143.77	N8E	11	87E	3	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※3
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	15	76W	20	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	3	79W	17	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	12	80W	16	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	9	82W	14	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	38	69W	27	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

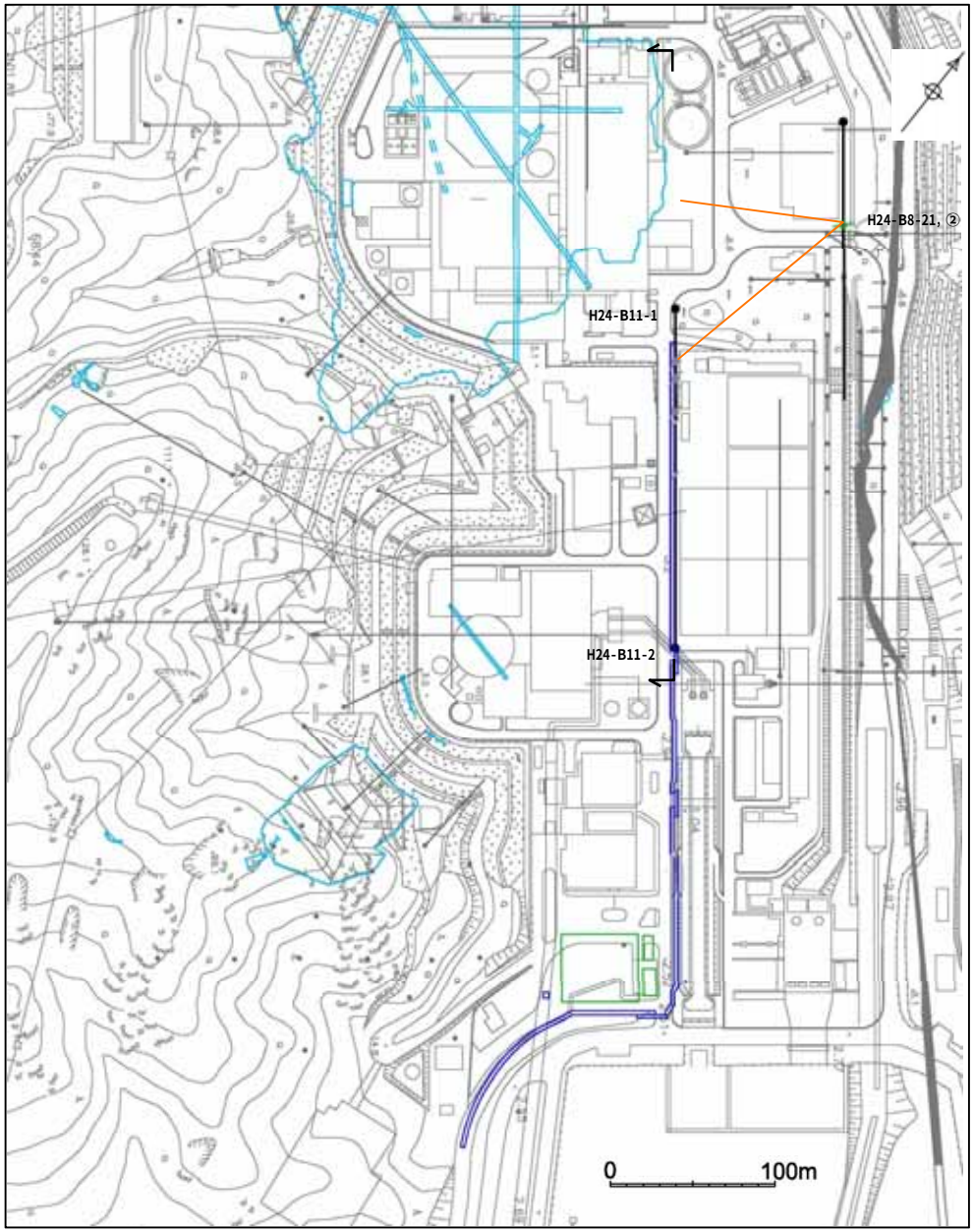
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，②)



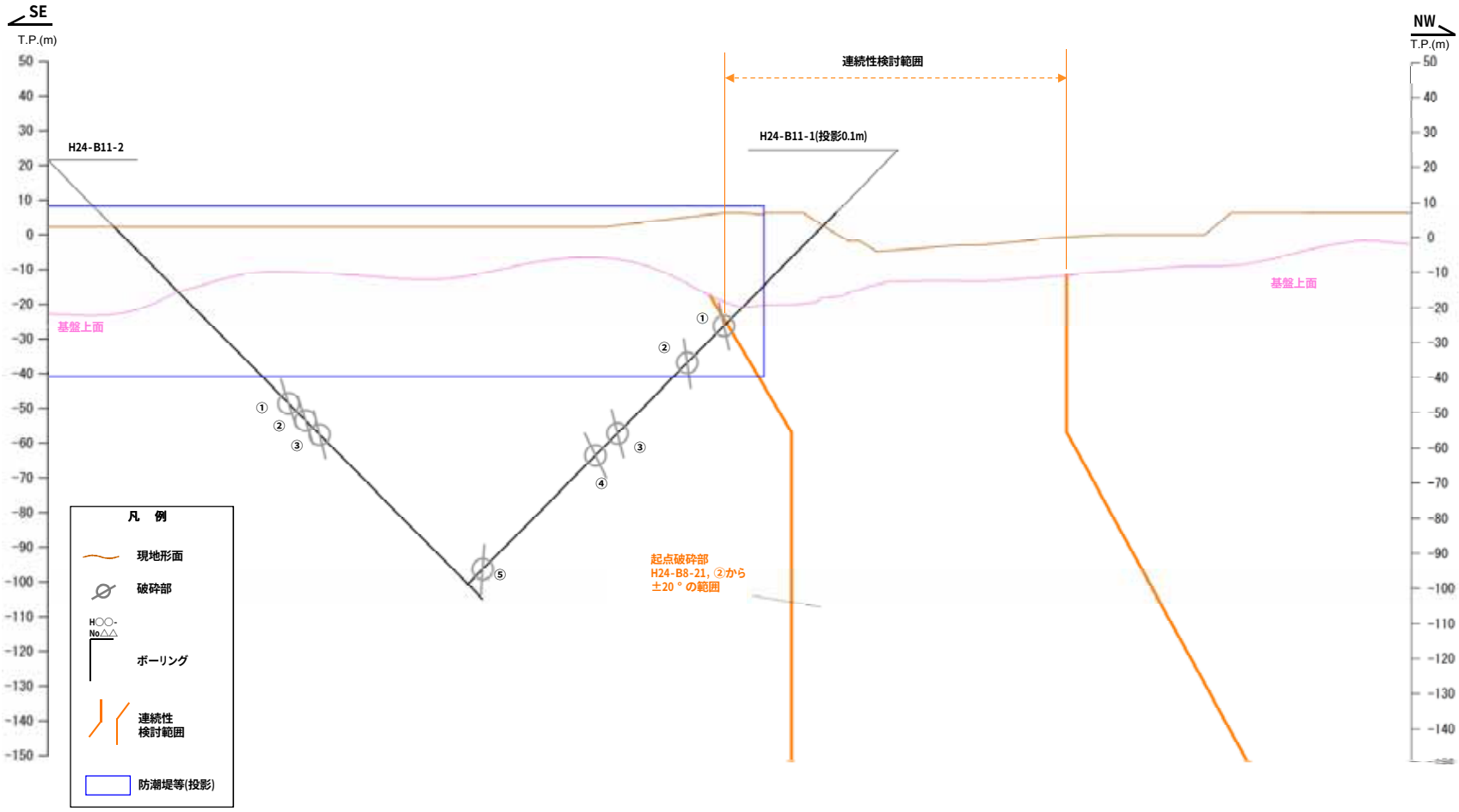
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，②)



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-B8-21	-	-	②	88.67	88.71	N41E		81NW		有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	49	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	33	84W	3	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	37	81W	0	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	37	72W	9	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	33	87E	12	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	29	76W	5	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	41	79W	2	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	32	80W	1	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

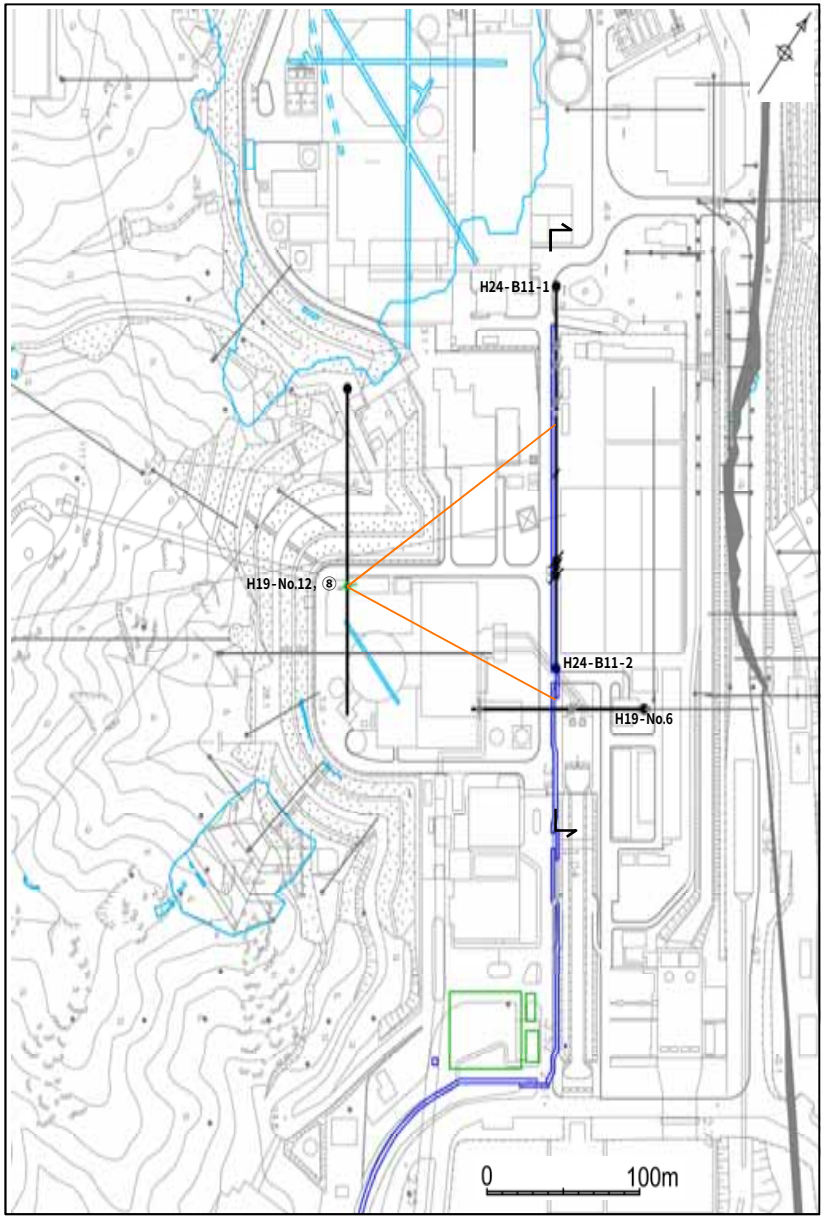
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑧)



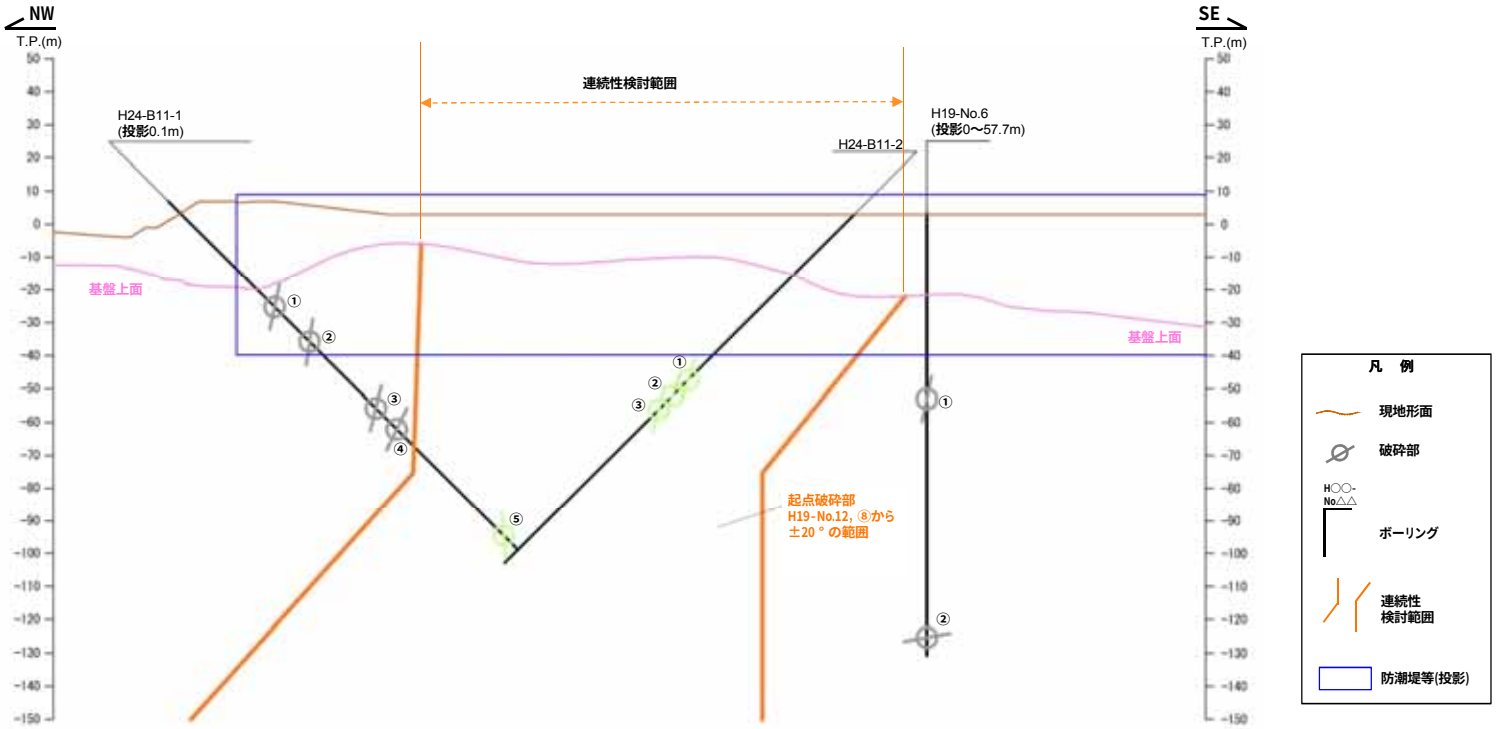
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑧)



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑧)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.12	-	-	⑧	152.06	152.09	N40E		71W		有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	48	84W	13	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	32	84W	13	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	36	81W	10	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	36	72W	1	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
		範囲内	⑤	143.67	143.77	N8E	32	87E	22	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	28	76W	5	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	40	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	31	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	34	82W	11	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	81	69W	2	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

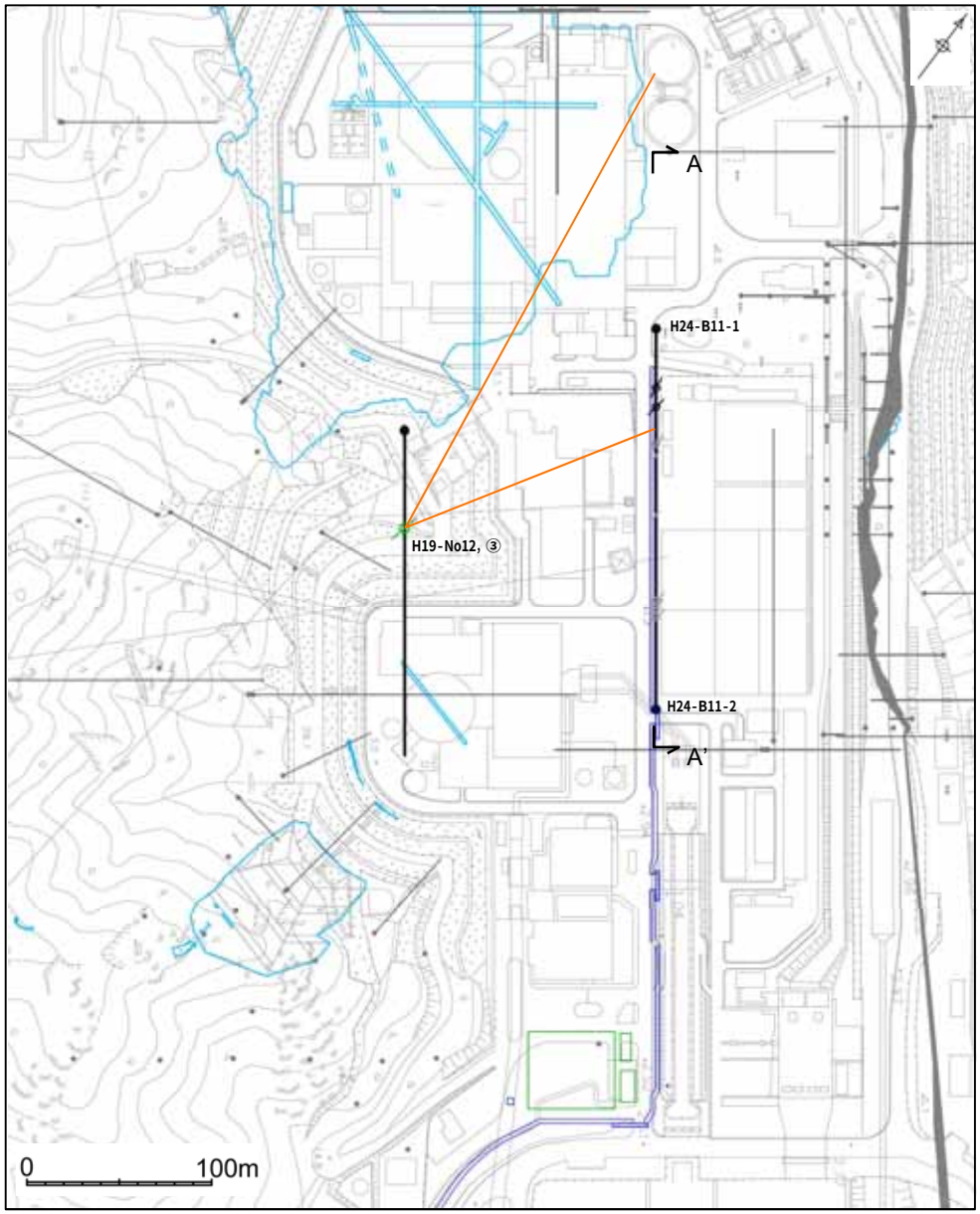
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，③)〔A-A’断面〕



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

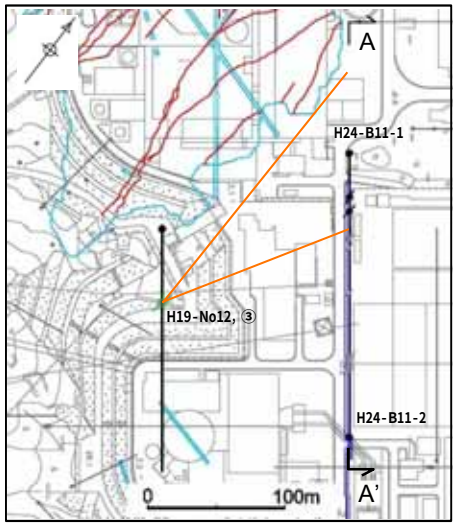
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

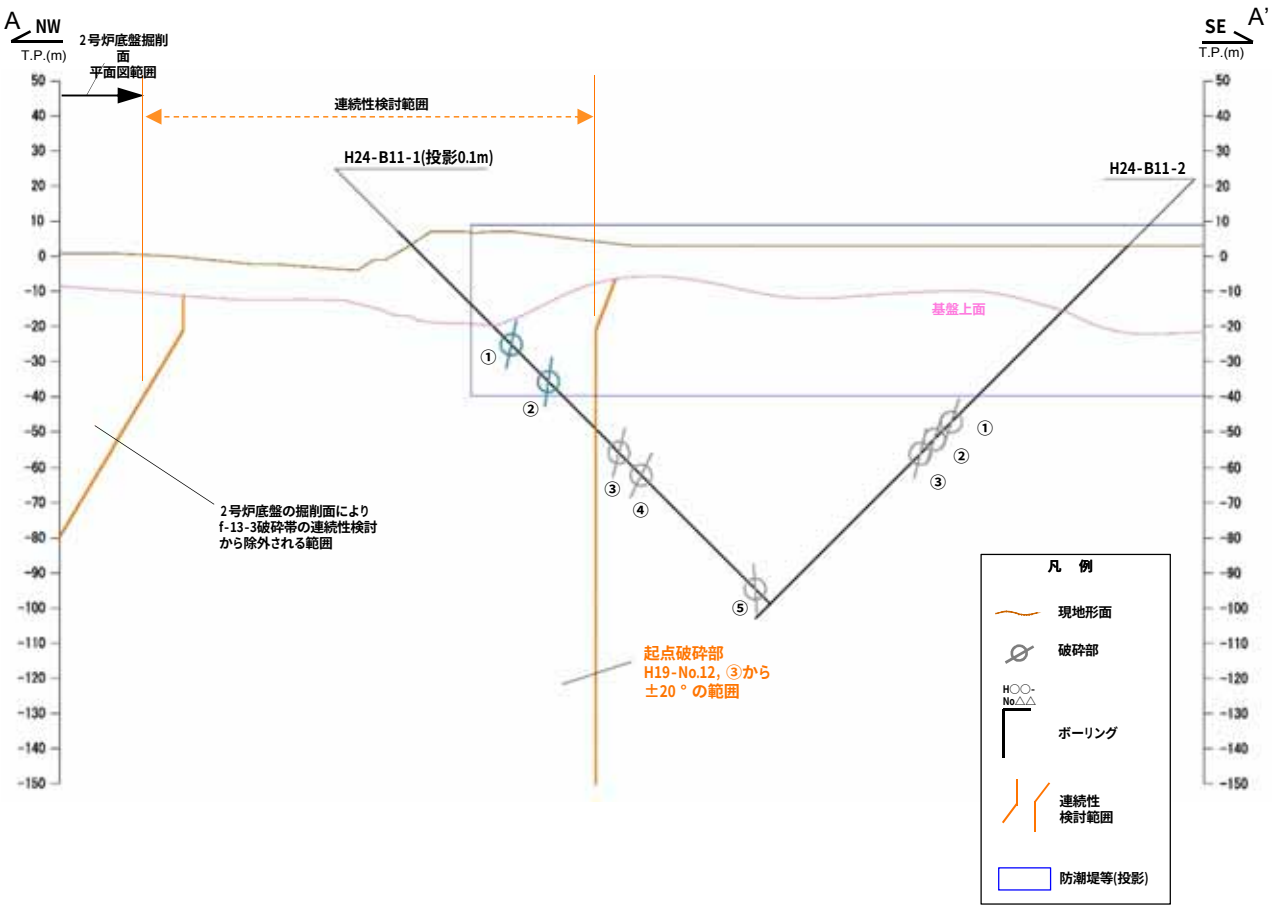
※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，③)（A-A’断面）



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）



拡大範囲図凡例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 2号炉底盤掘削面の破砕帯トレース
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，③)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.12	-	-	③	75.04	75.08	N12E		89W		無	-	25L	-		f-13-3	参考2-130	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	20	84W	5	有	無	15R	-	×	f-b11-1-1	参考2-159	※3
			②	60.36	60.60	N8E	4	84W	5	有	無	62R	-		D-39	参考2-117	
		範囲外	③	88.93	88.97	N4E	8	81W	8	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	8	72W	17	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	4	87E	4	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	0	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	12	79W	10	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	3	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

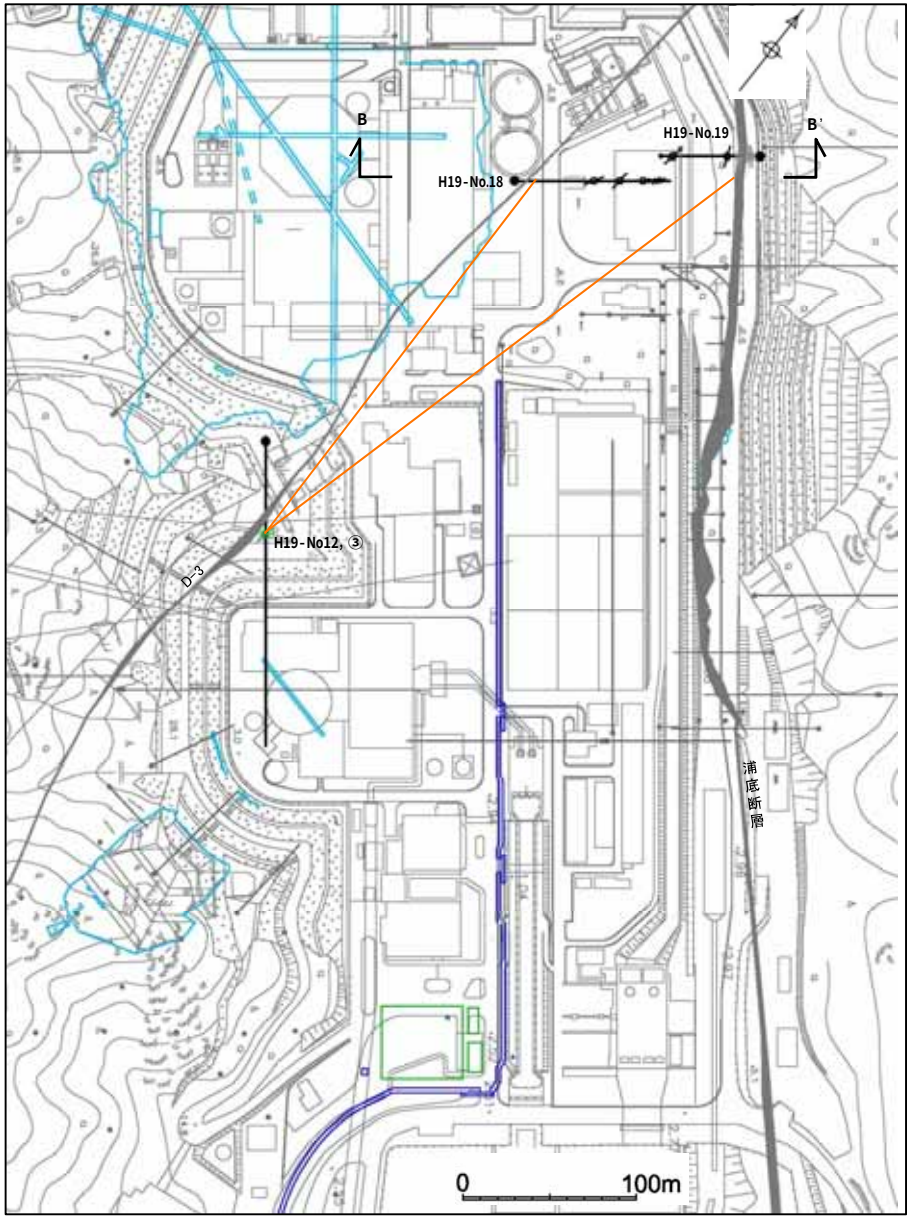
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，③)（B-B’断面）



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

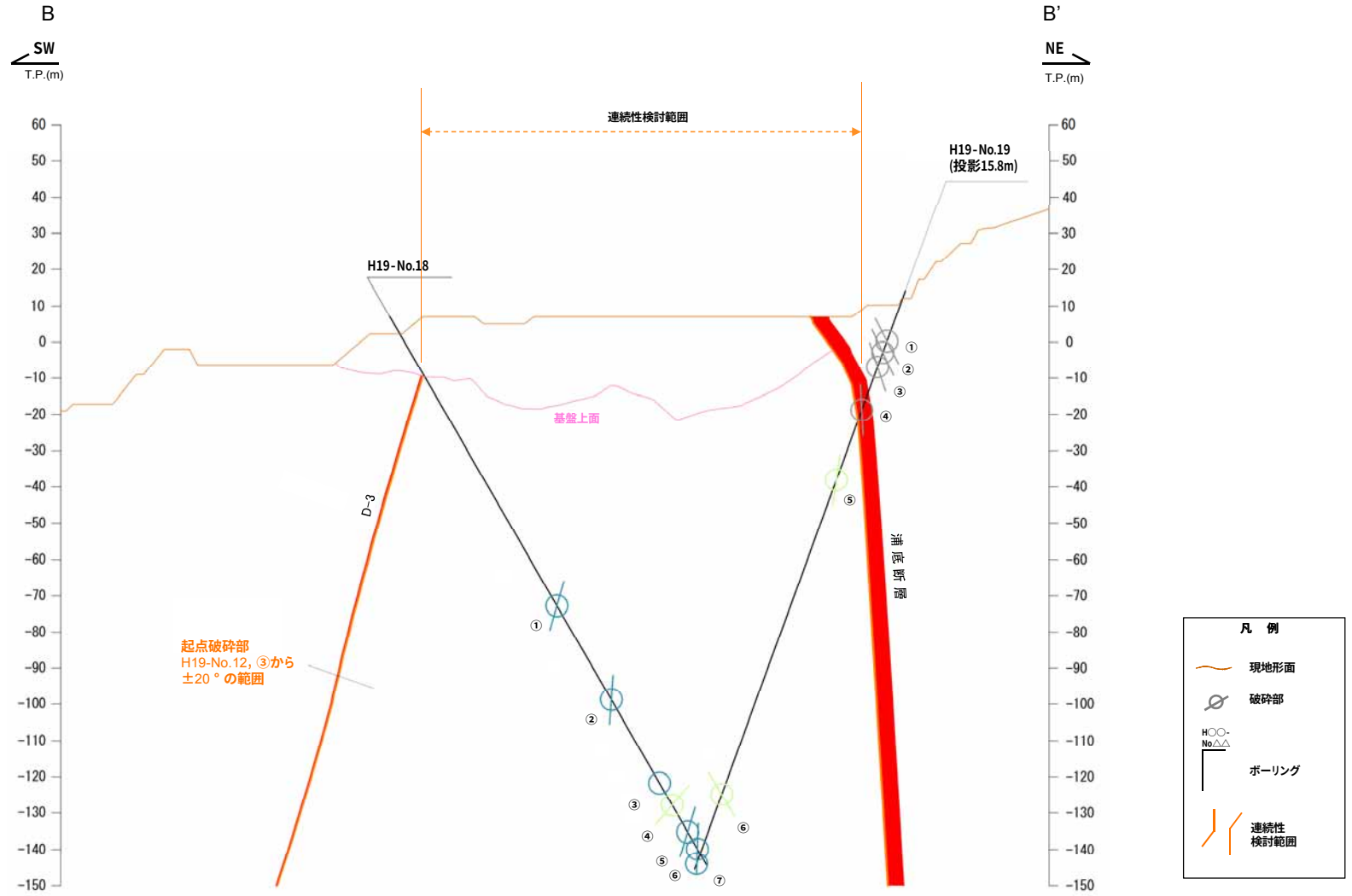
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，③)（B-B’断面）



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

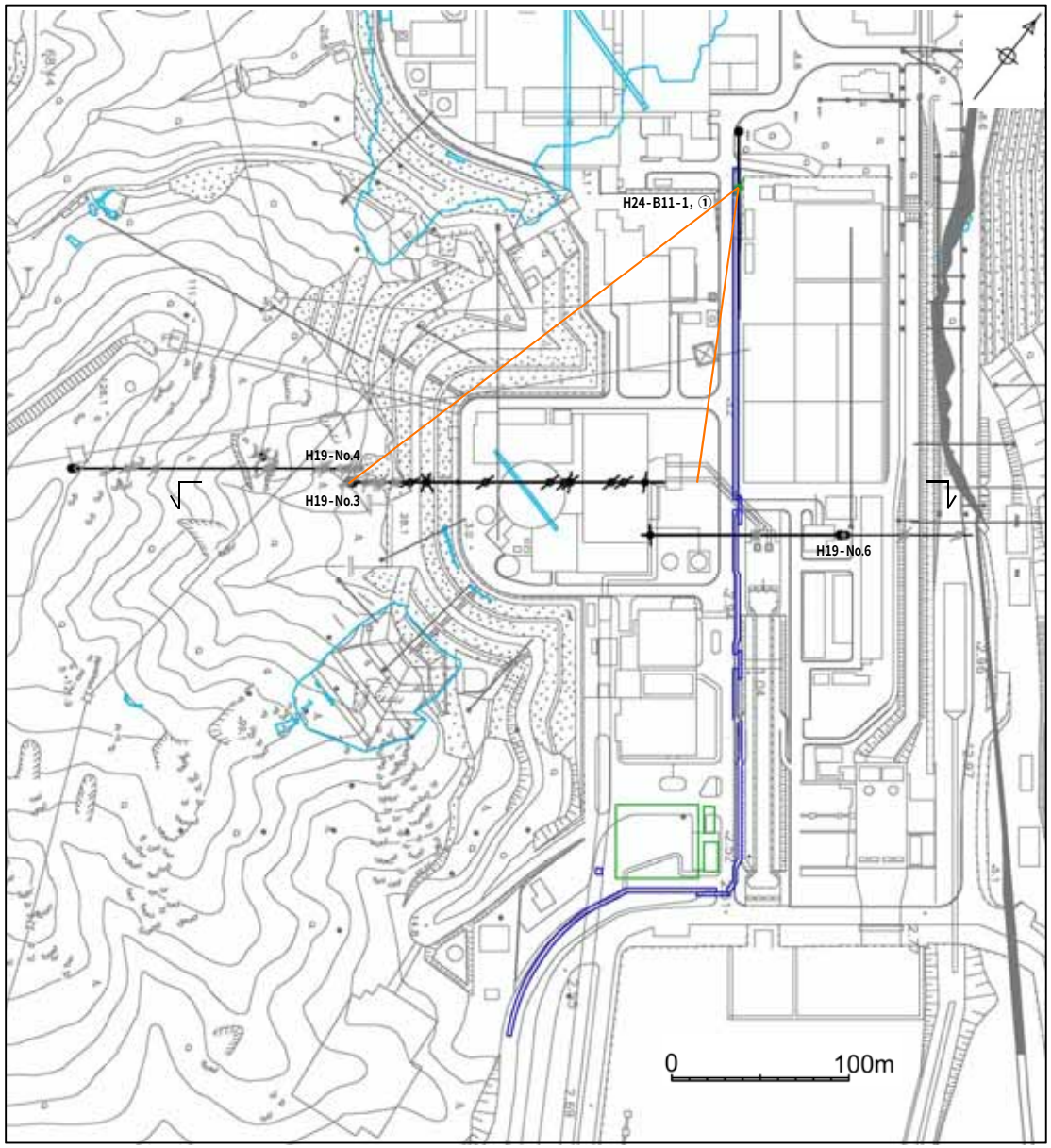
連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，③)（B-B’断面）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.12	-	-	③	75.04	75.08	N12E		89W		無	-	25L	-		f-13-3	参考2-130	
-	H19-No.18	範囲内	①	92.14	92.18	N31E	19	84W	5	有	無	10L	-	×	f-18-1	参考2-132	※3
			②	122.16	122.35	N6E	6	87W	2	有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-39	参考2-117	
			④	155.72	155.75	N36E	24	76W	13	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	164.25	N9E	3	78W	11	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※4
			⑥	169.62	169.63	N20E	8	89W	0	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	54	63E	28	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	48	65E	26	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	46	72E	19	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	53	87NE	4	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
		範囲内	⑤	55.49	55.56	N20W	32	82W	7	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
			⑥	147.93	148.12	N13E	1	68E	23	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，①-S)



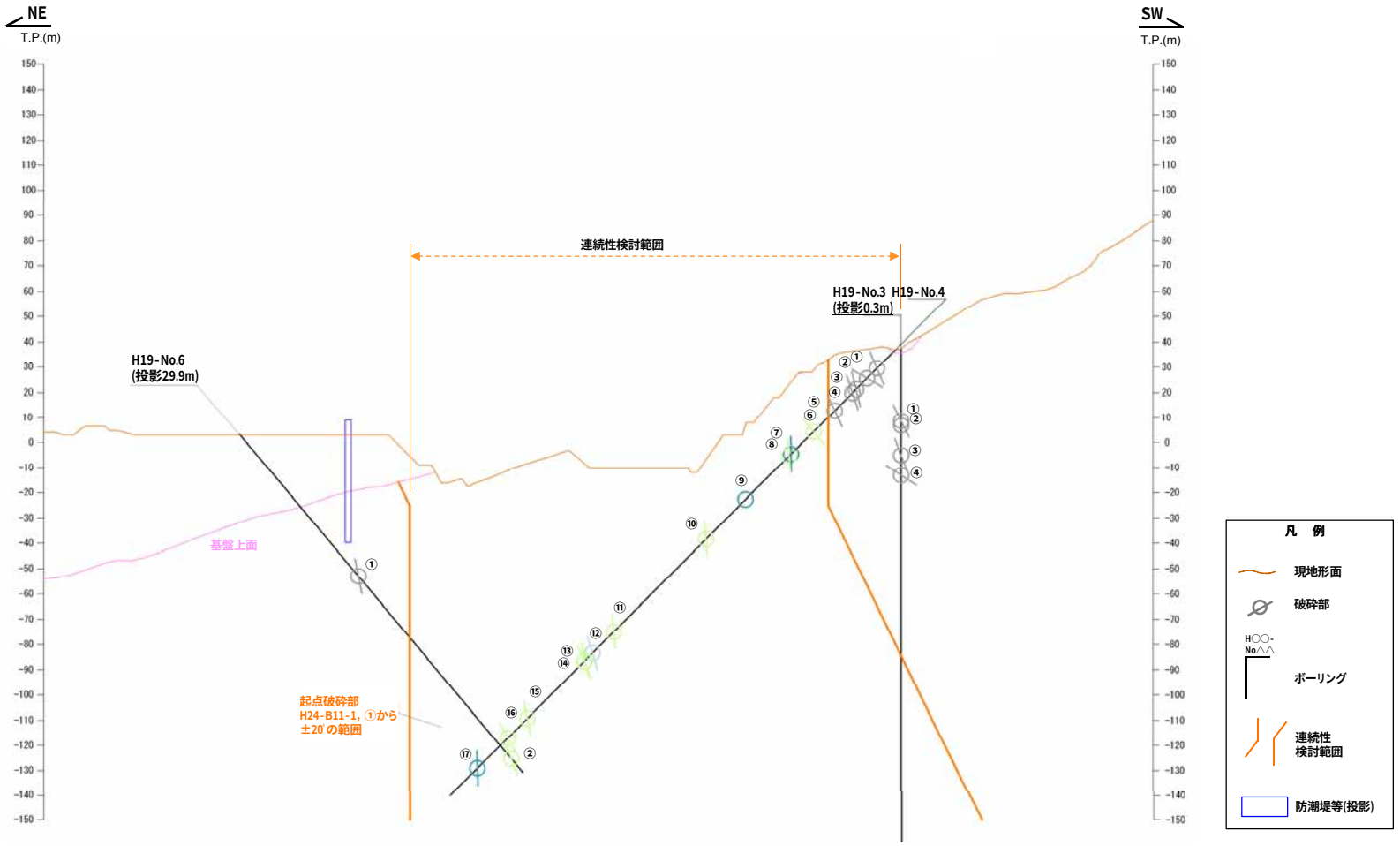
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，①-S)



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，①-S)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B11-1	-	-	①	45.58	45.63	N8W		84W		有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
-	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	40	80W	4	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	21	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	25	77W	7	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	45	67W	17	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	4	70W	14	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	43	62W	22	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	11	79W	5	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	1	73W	11	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	20	73W	11	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
		範囲内	⑥	46.13	46.38	N29E	37	72W	12	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	2	89W	5	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	63	86N	10	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※1
			⑩	107.54	109.94	N16E	24	87W	3	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	23	87W	3	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	17	78W	6	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	21	78W	6	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	22	76W	8	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	21	83W	1	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	28	74W	10	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	20	88W	4	無	-	20R	-	×	f-6-2	参考2-127	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	14	82W	2	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
		範囲内	②	167.53	168.54	N41W	33	69W	15	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

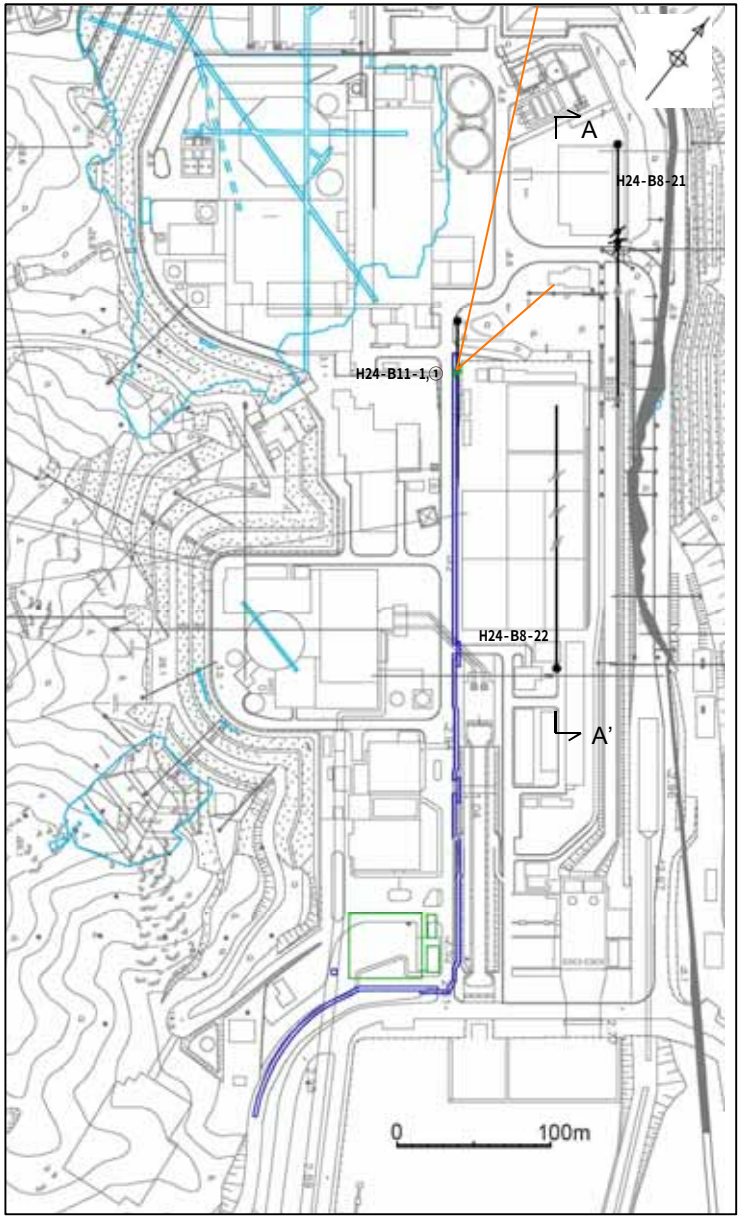
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，① -N)（A-A’断面）



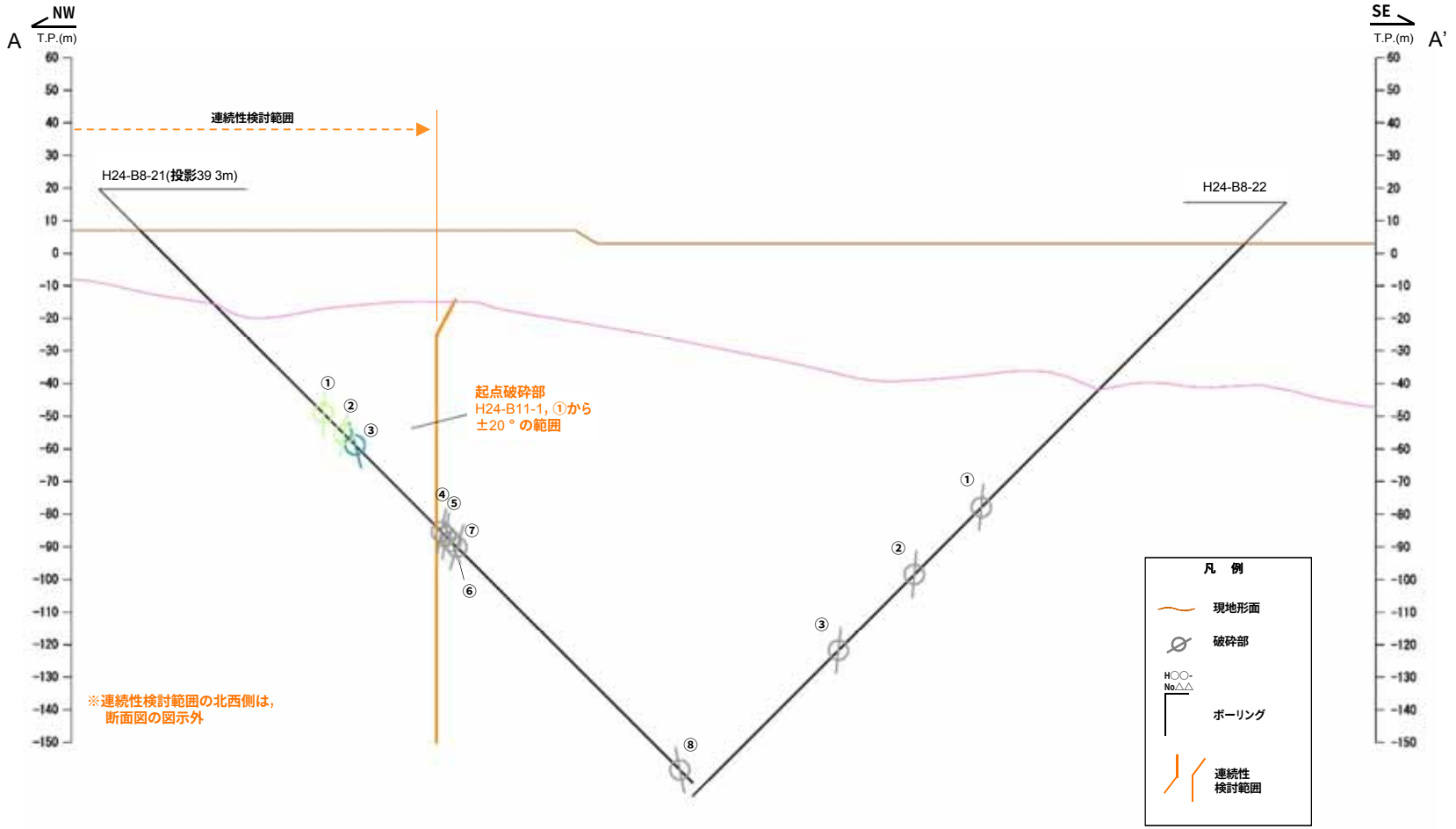
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，① -N)（A-A’断面）



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，① -N)〔A-A'断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度(m)	下端深度(m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H24-B11-1	-	-	①	45.58	45.63	N8W		84W		有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
-	H24-B8-21	範囲内	①	79.86	80.17	N18E	26	89W	5	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
			②	88.67	88.71	N41E	49	81W	3	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
			③	92.86	93.53	N5W	3	82E	14	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
		範囲外	④	131.03	131.14	N3W	5	84W	0	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
			⑤	131.88	132.82	N1E	9	85W	1	有	無	65R	N,LL		非モデル化	参考2-189	
			⑥	135.30	135.52	N58E	66	68S	28	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑦	137.72	138.18	N4E	12	79W	5	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑧	234.23	234.38	N3W	5	84E	12	有	無	20L	RL		D-37	参考2-116	
	H24-B8-22		①	114.71	115.13	N3E	11	87W	3	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
			②	143.52	143.76	N17E	25	86W	2	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
			③	176.68	177.31	N19E	27	85W	1	有	有	40L	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

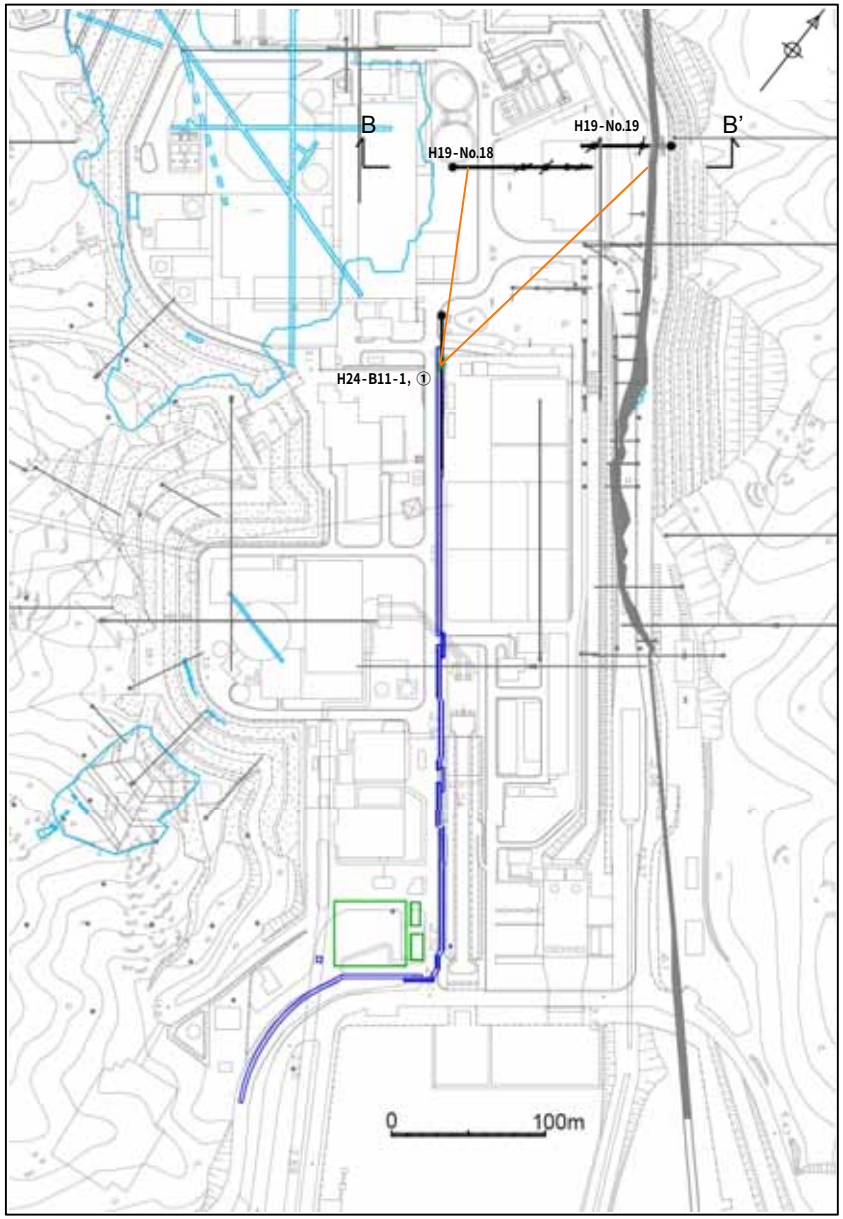
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，① -N)（B-B’断面）



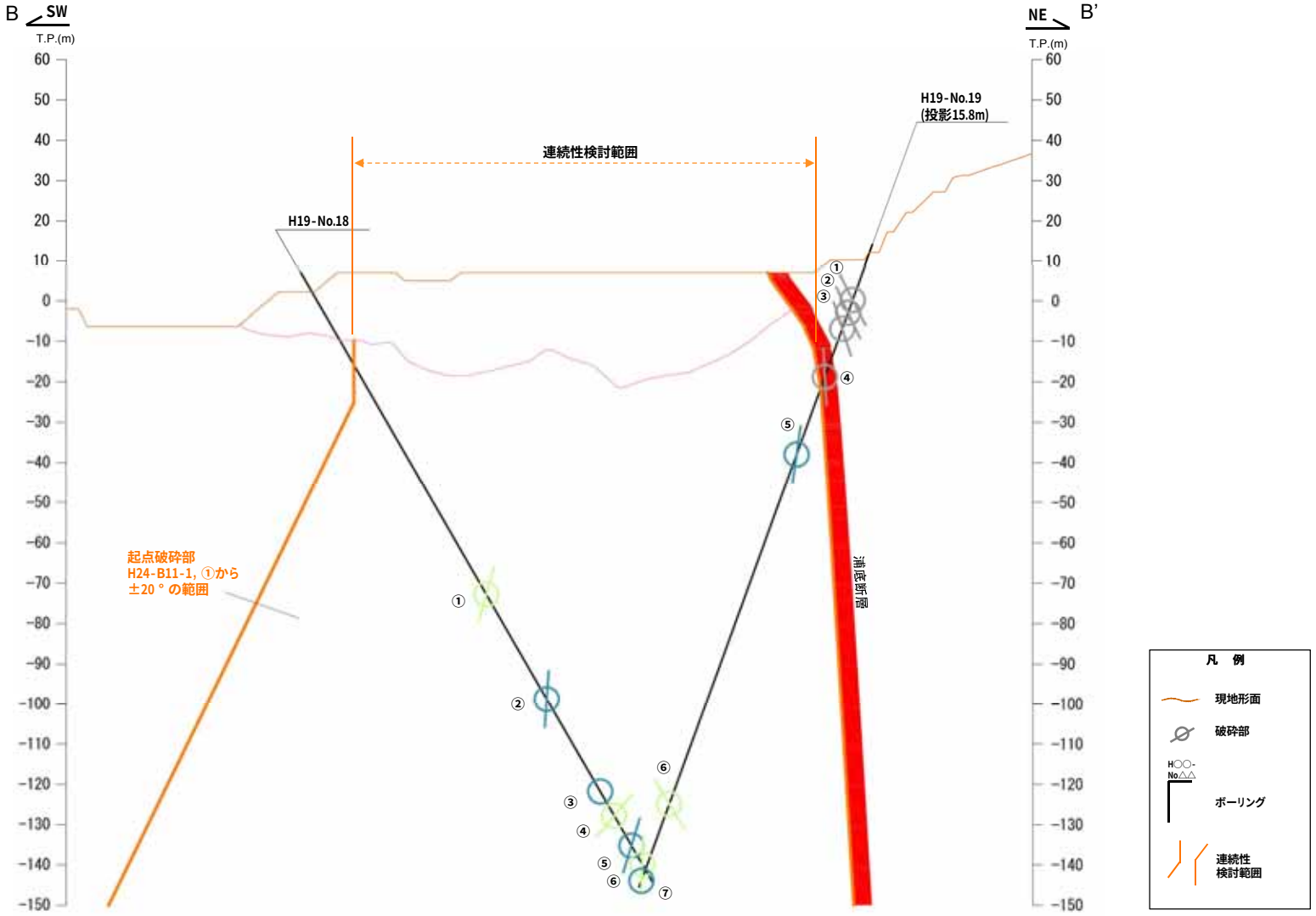
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，① -N)（B-B’断面）



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，① -N)（B-B’断面）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B11-1	-	-	①	45.58	45.63	N8W		84W		有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
-	H19-No.18	範囲内	①	92.14	92.18	N31E	39	84W	0	有	無	10L	-		f-18-1	参考2-132	
			②	122.16	122.35	N6E	14	87W	3	有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-39	参考2-117	
			④	155.72	155.75	N36E	44	76W	8	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	164.25	N9E	17	78W	6	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3
			⑥	169.62	169.63	N20E	28	89W	5	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	34	63E	33	有	有	22L(不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	28	65E	31	有	有	69L(不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	26	72E	24	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	33	87NE	9	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
		範囲内	⑤	55.49	55.56	N20W	12	82W	2	有	有	4L	-	×	f-19-5	参考2-133	※3
			⑥	147.93	148.12	N13E	21	68E	28	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

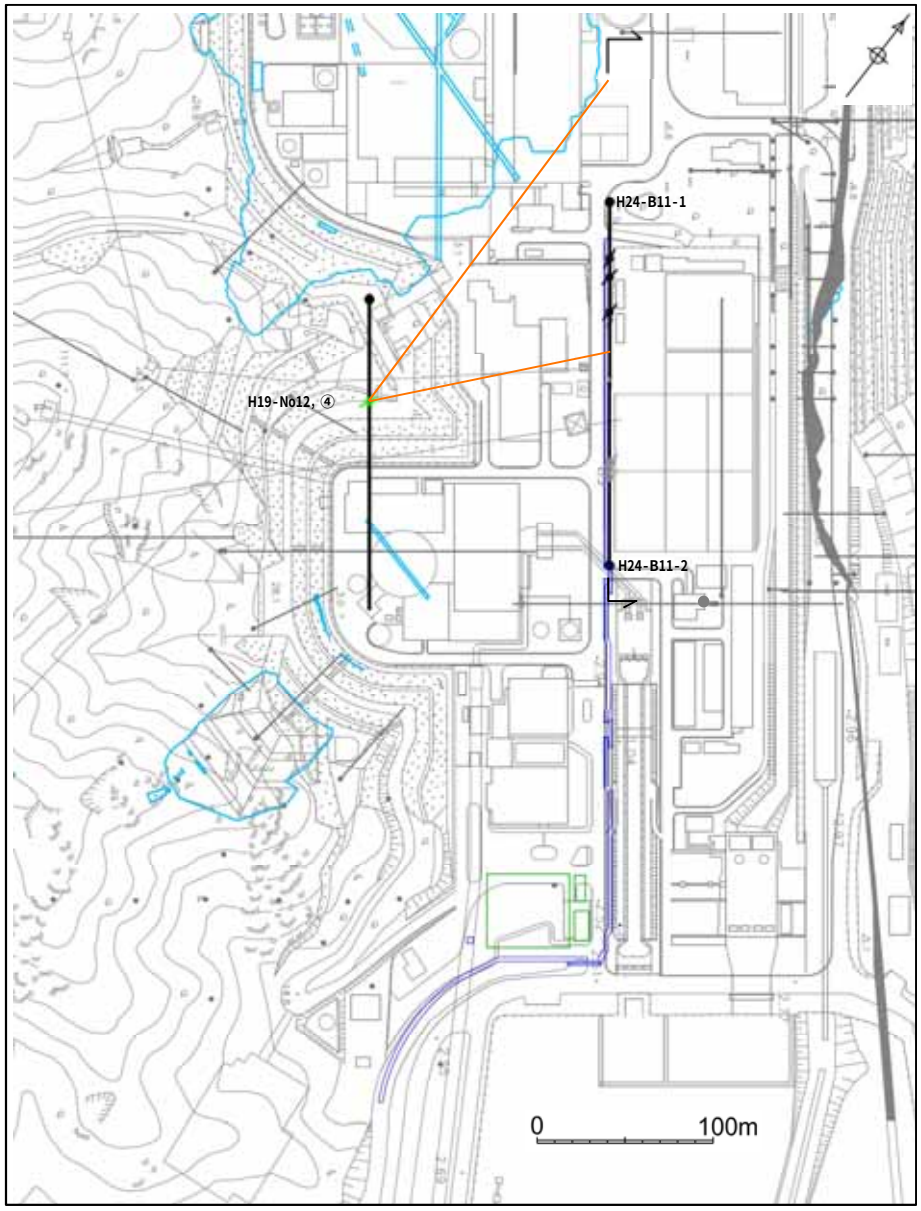
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，④)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

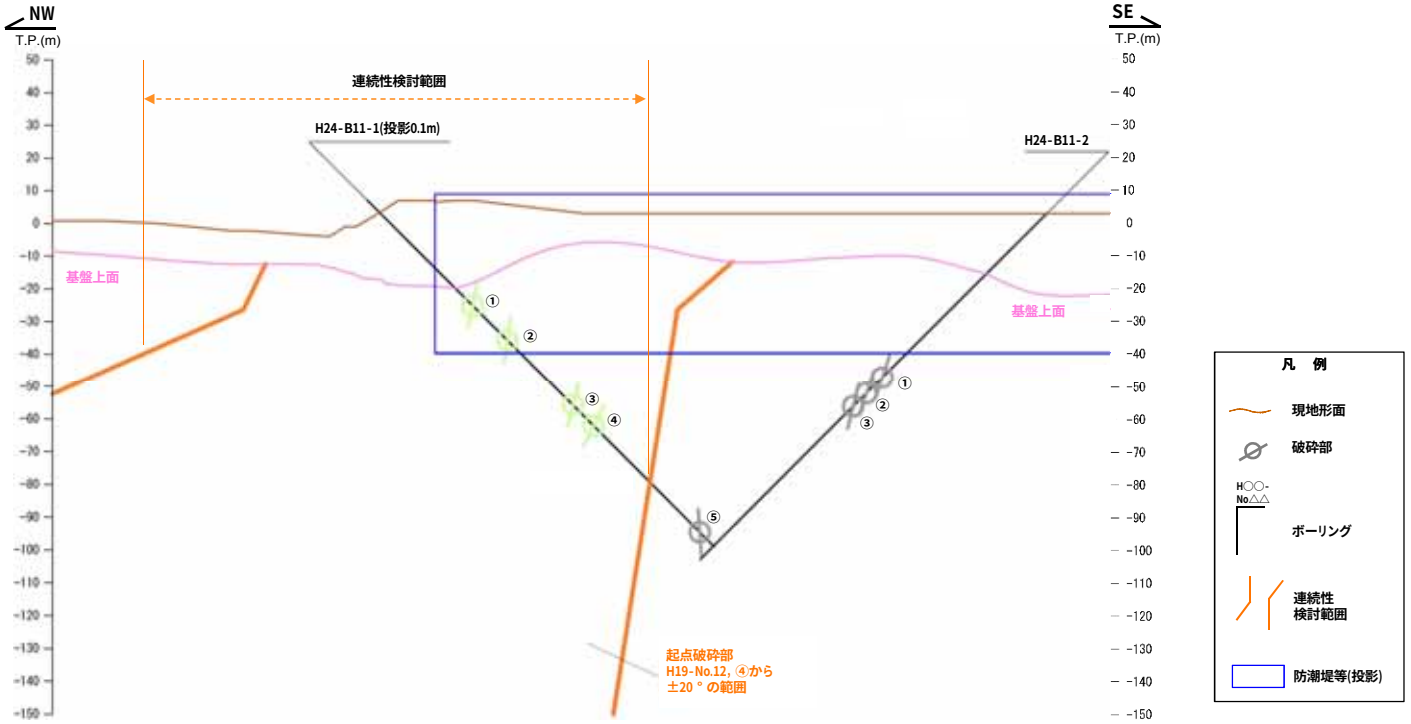
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，④)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.12	-	-	④	82.48	82.50	N25E		61W		無	-	56L	-		f-12-3	参考2-129	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	33	84W	23	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	17	84W	23	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	21	81W	20	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	21	72W	11	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
		範囲外	⑤	143.67	143.77	N8E	17	87E	32	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	13	76W	15	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	25	79W	18	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	16	80W	19	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

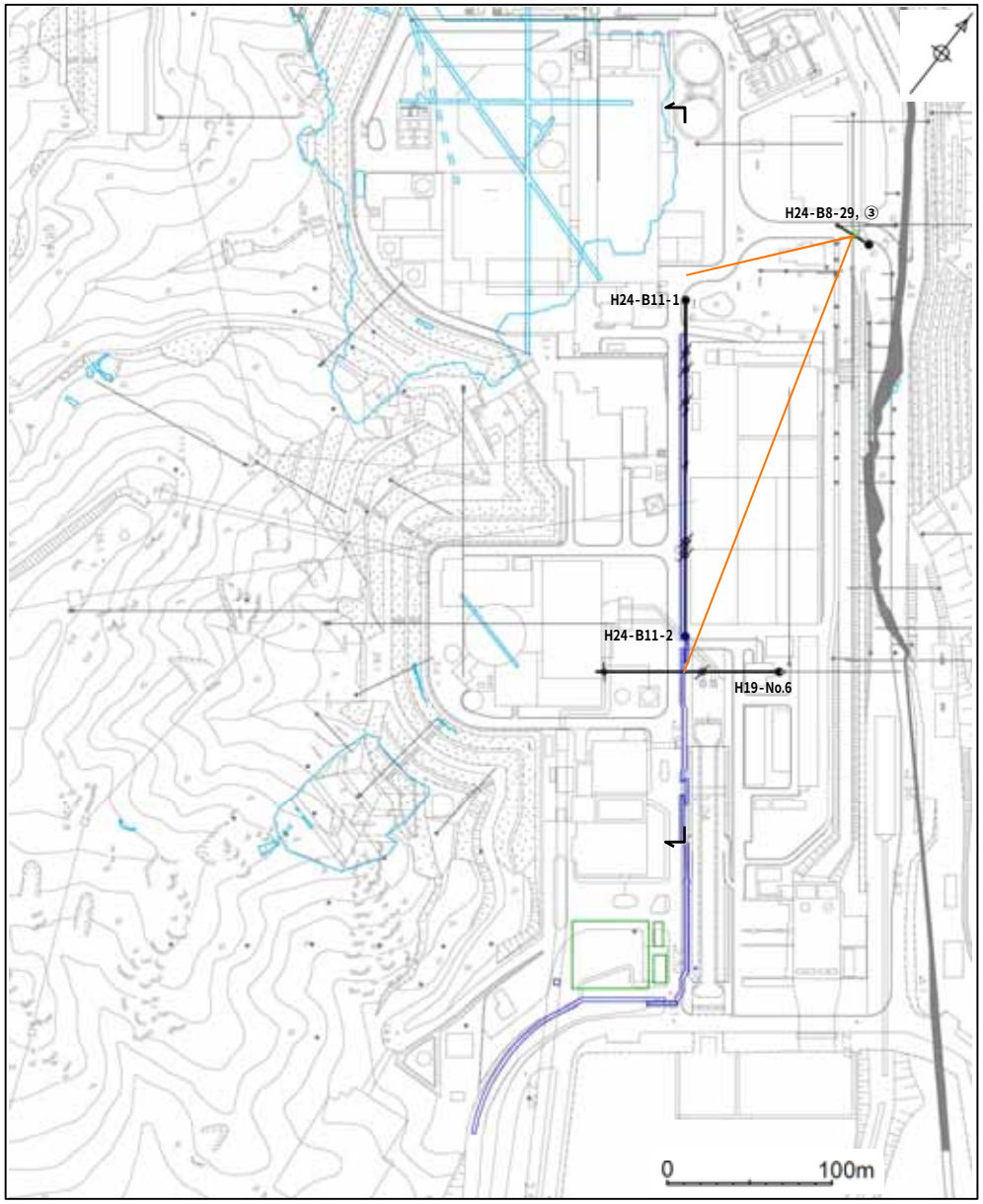
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-29，③)



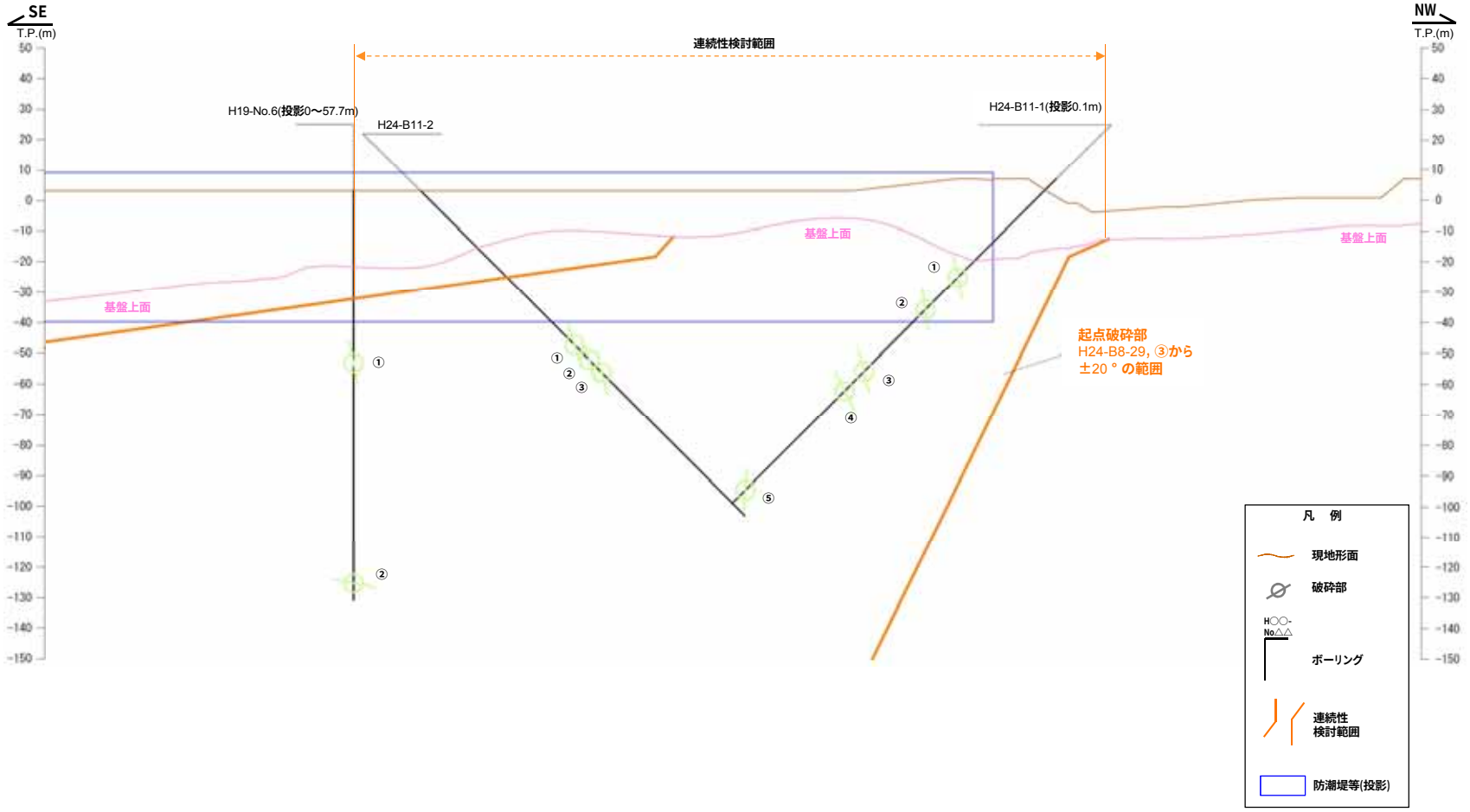
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-29，③)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-29，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H24-B8-29	-	-	③	29.51	29.61	N15E		45E		無	-	-	-		非モデル化	参考2-190	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	23	84W	51	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	7	84W	51	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	11	81W	54	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	11	72W	63	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143 77	N8E	7	87E	42	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	3	76W	59	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	15	79W	56	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	6	80W	55	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No 6		①	73.43	73.45	N6E	9	82W	53	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168 54	N41W	56	69W	66	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

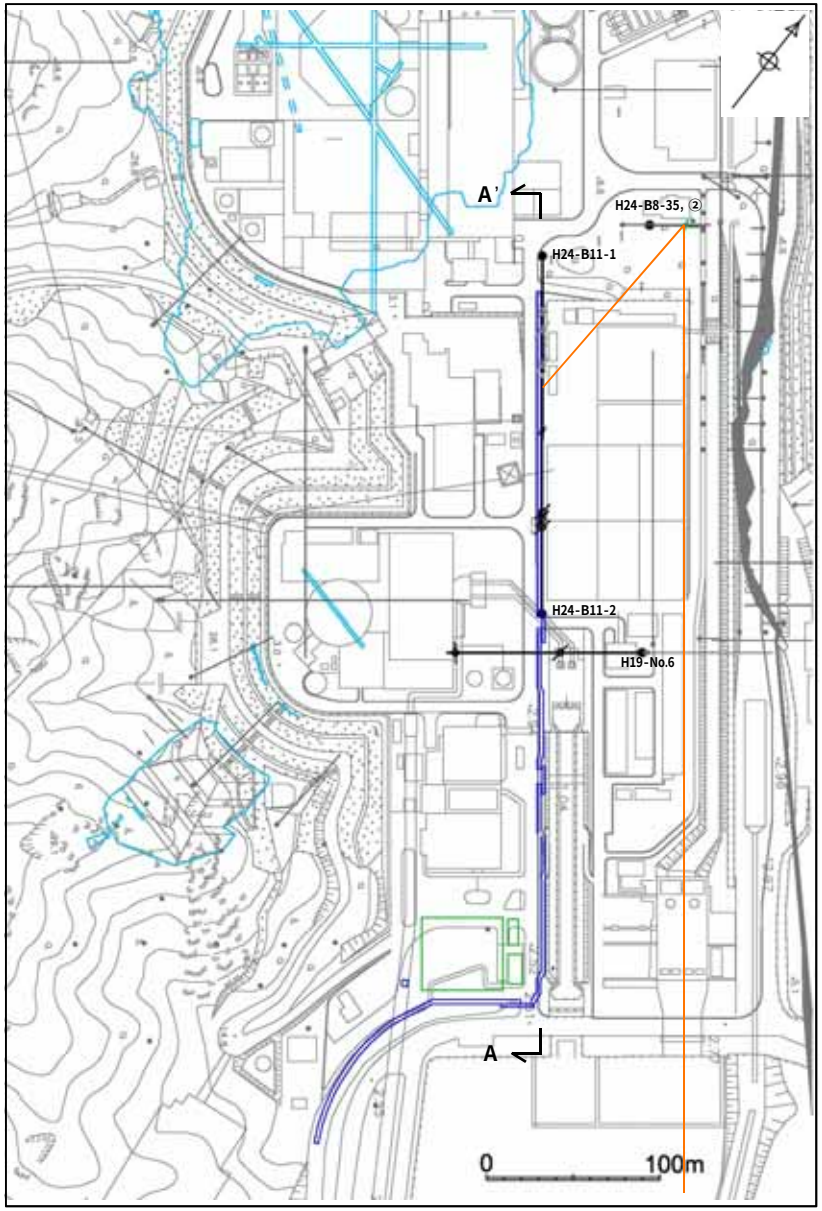
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-35，②)〔A-A’断面〕



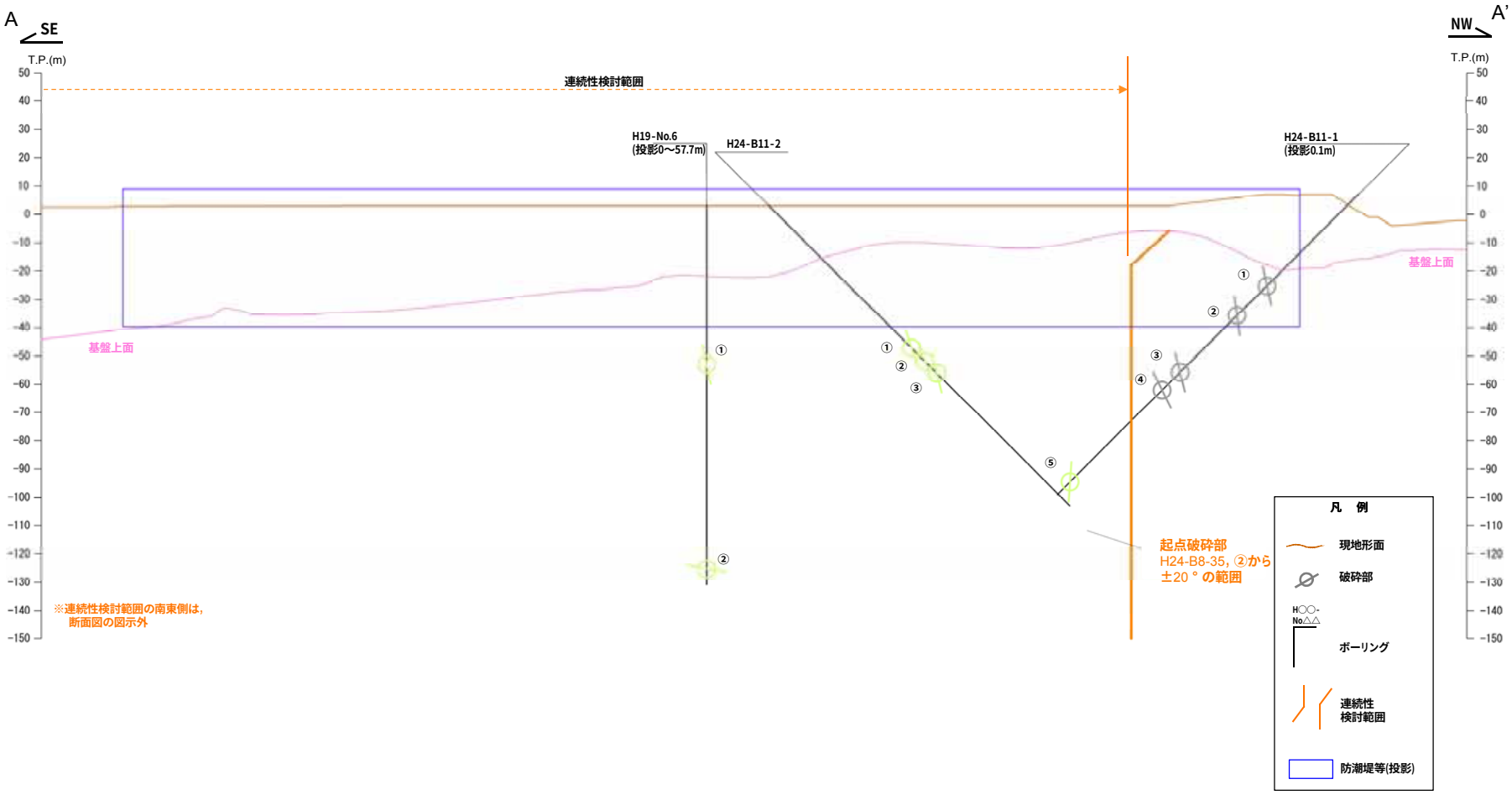
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-35，②)〔A-A’断面〕



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-35，②)〔A-A'断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H24-B8-35	-	-	②	32 68	32.71	N15W		81E		無	-	-	-		非モデル化	参考2-191	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45 58	45.63	N8W	7	84W	15	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60 36	60.60	N8E	23	84W	15	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	19	81W	18	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97 87	99.00	N4E	19	72W	27	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
		範囲内	⑤	143.67	143.77	N8E	23	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71 21	71.24	N12E	27	76W	23	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	15	79W	20	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80 50	83.93	N9E	24	80W	19	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	21	82W	17	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	26	69W	30	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

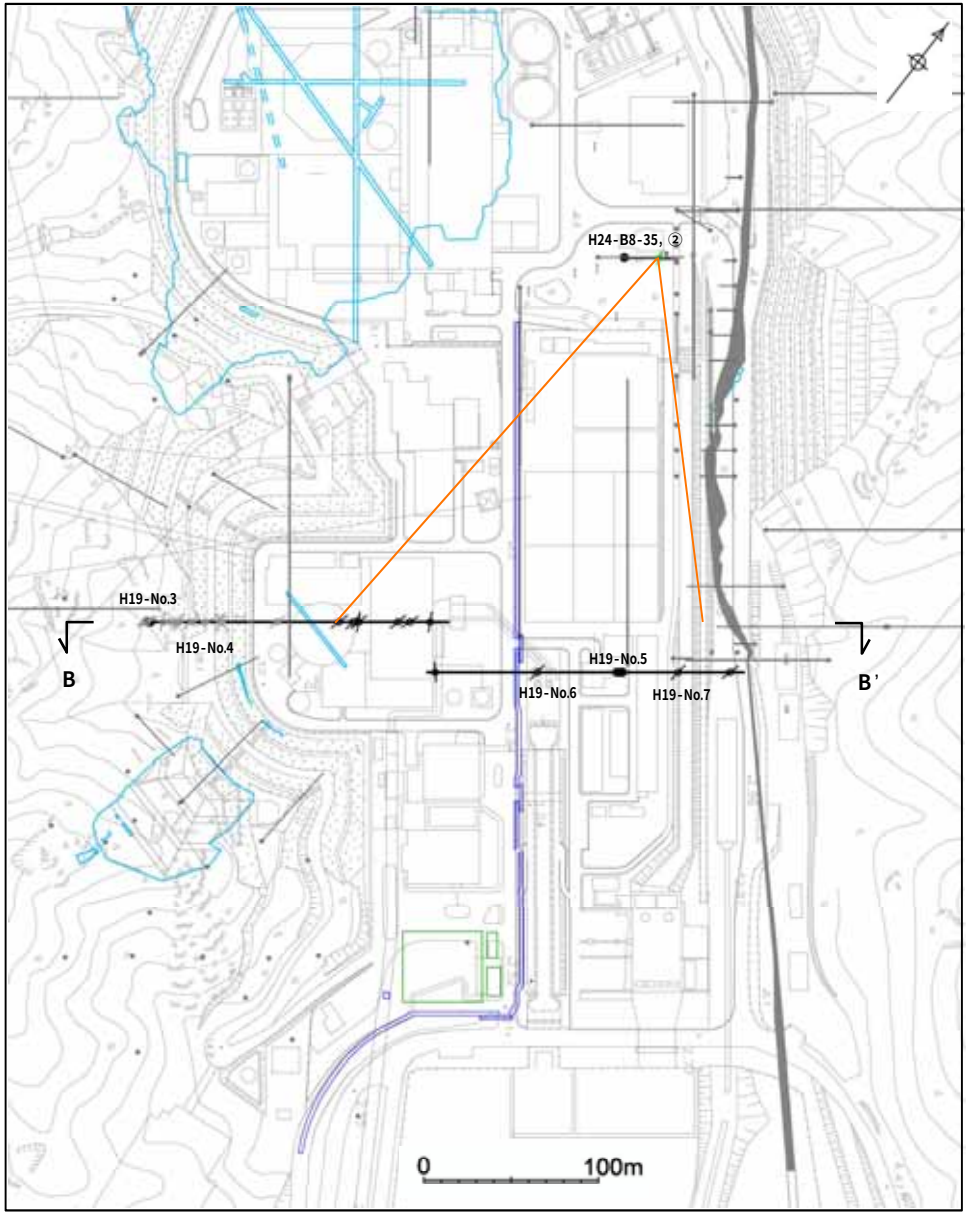
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-35，②)〔B-B'断面〕



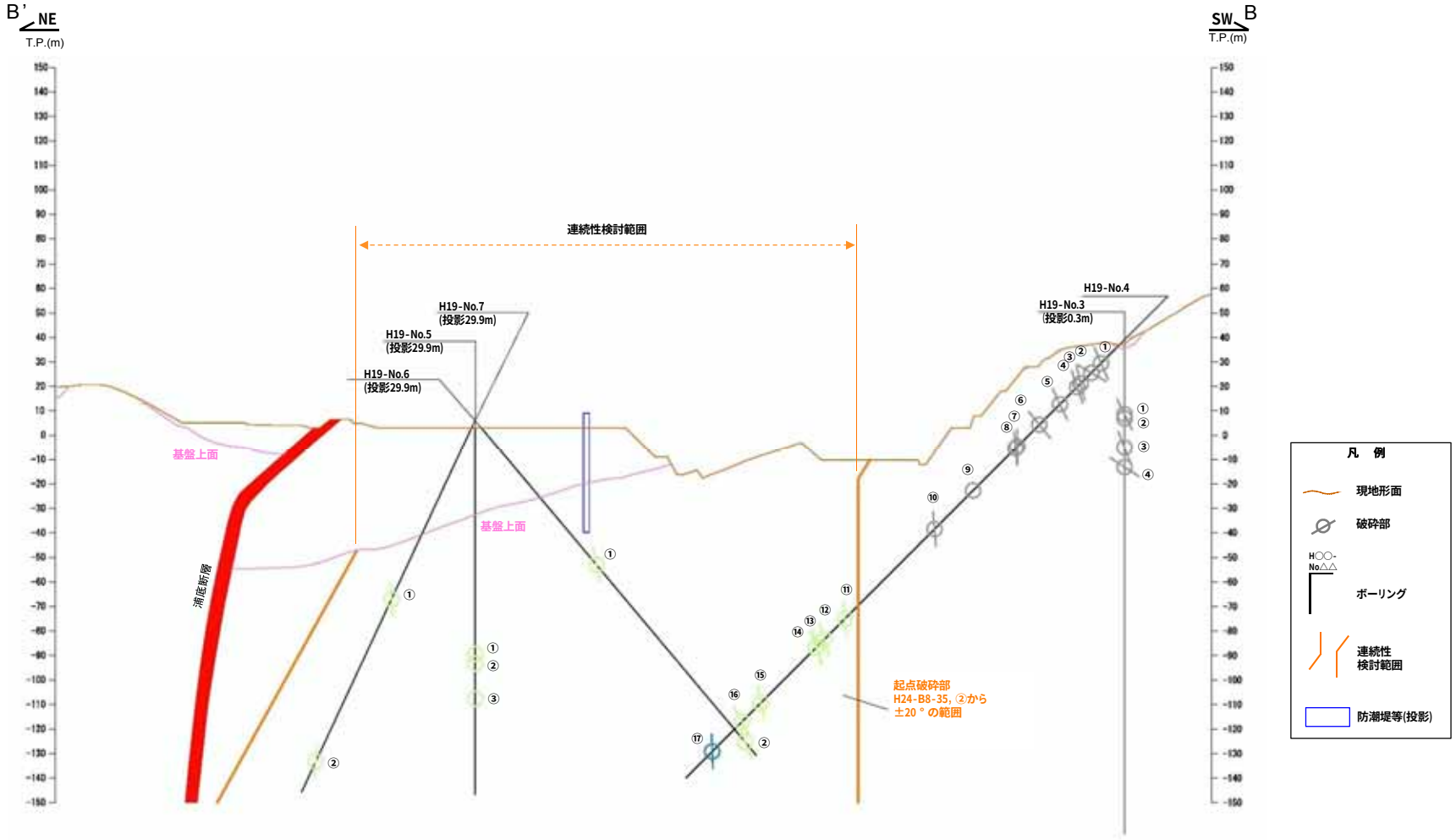
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-35，②)〔B-B’断面〕



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-35，②)〔B-B'断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-35	-	-	②	32 68	32.71	N15W		81E		無	-	-	-		非モデル化	参考2-191	
-	H19-No.3	範囲外	①	28 77	28.82	N32E	47	80W	19	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30 38	30.48	-	-	-	-	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42 75	42.81	N17E	32	77W	22	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50 35	50.48	N37E	52	67W	32	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	11	70W	29	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	50	62W	37	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22 20	22.26	N3E	18	79W	20	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	8	73W	26	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34 24	34.38	N12E	27	73W	26	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	44	72W	27	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59 22	59.59	N10W	5	89W	10	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60 32	60.36	N71W	56	86N	5	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84 25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	31	87W	12	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
		範囲内	⑪	159.77	159.88	N15E	30	87W	12	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	24	78W	21	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	14	78W	21	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	29	76W	23	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	28	83W	16	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	35	74W	25	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	13	88W	11	無	-	20R	-	×	f-6-2	参考2-127	
	H19-No.5		①	92 63	92.65	-	-	(12)	69	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	96.46	96.49	-	-	(52)	29	有	有	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	110.93	110.95	-	-	(35)	46	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	21	82W	17	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	26	69W	30	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.7		①	78 22	79.56	N7E	22	87W	12	有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
			②	151.35	151.38	N15E	30	86E	5	有	有	20L	-		f-8-11	参考2-128	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

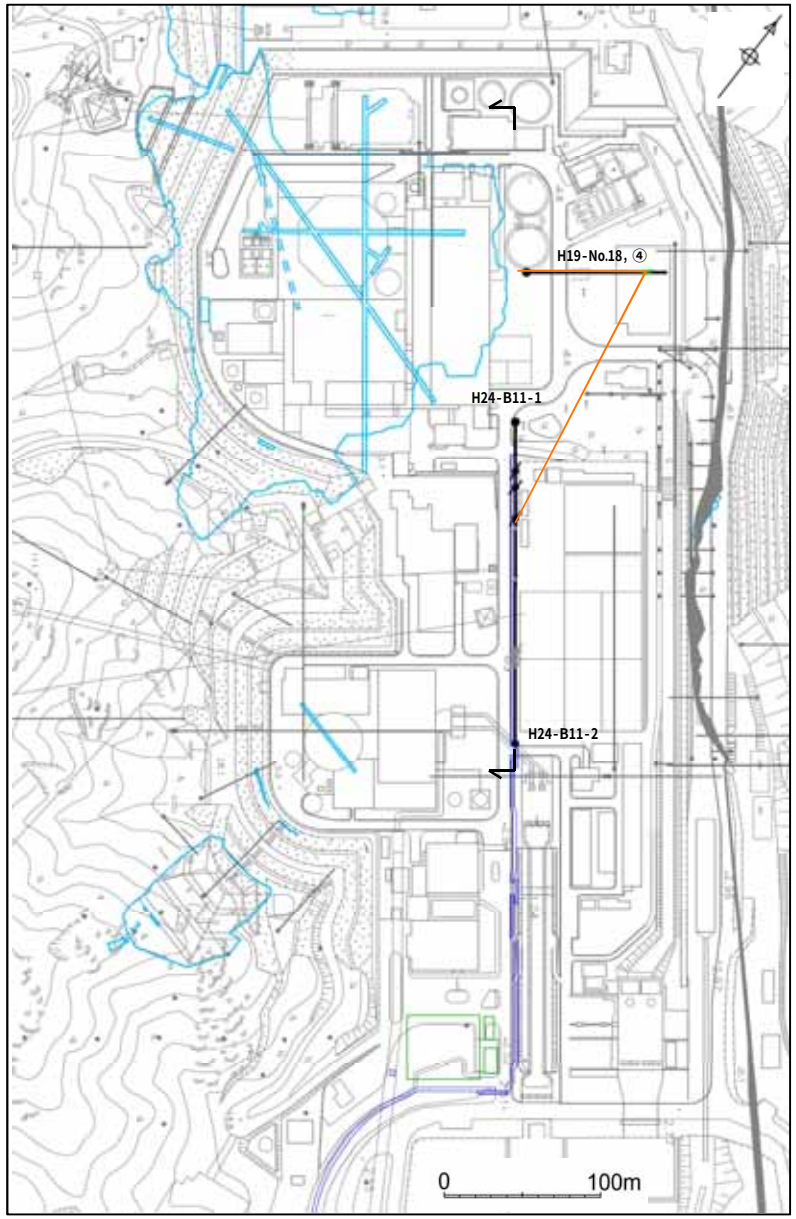
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.18，④)



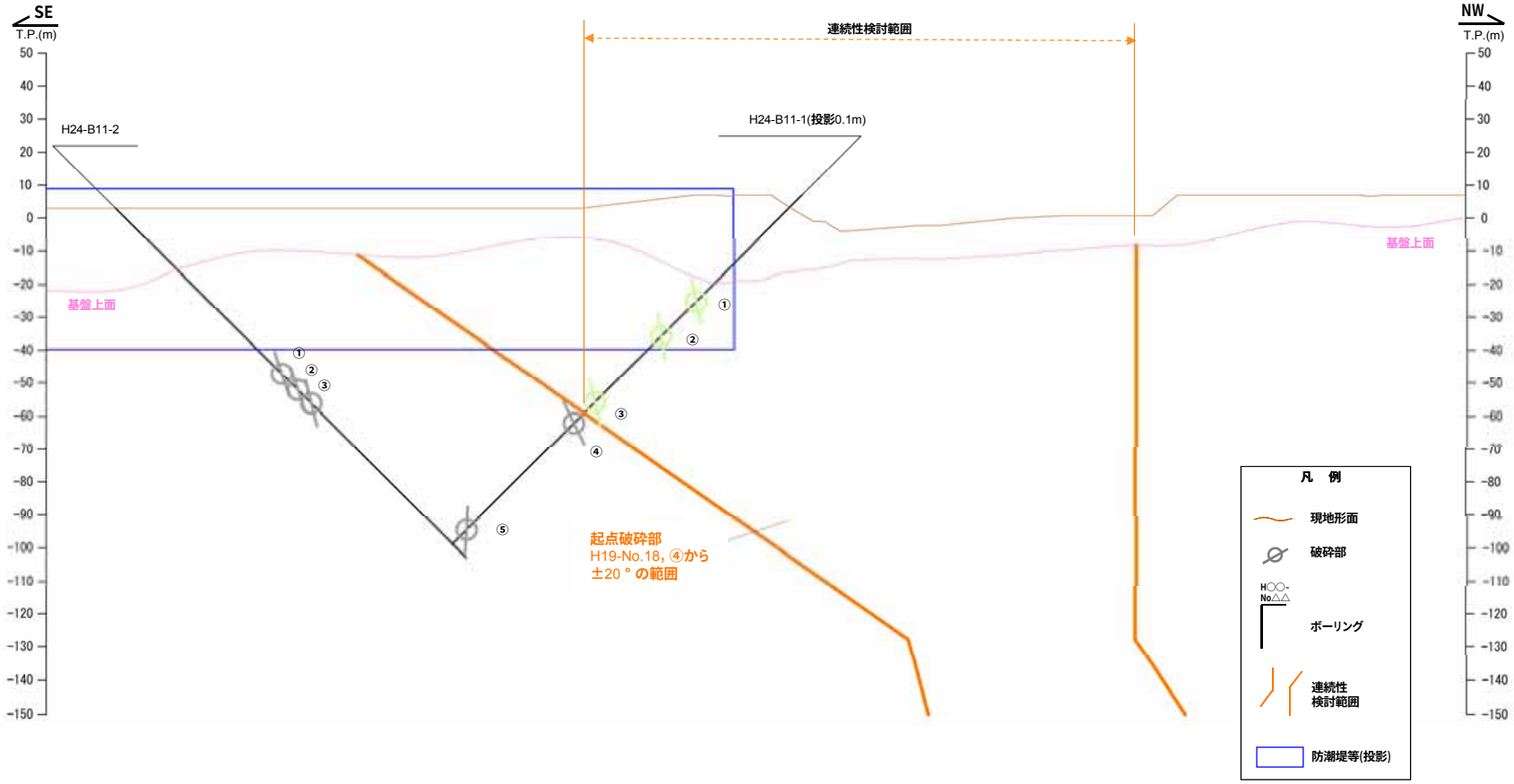
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.18，④)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.18，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.18	-	-	④	155.72	155 75	N36E		76W		有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	44	84W	8	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	28	84W	8	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	32	81W	5	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
		範囲外	④	97.87	99.00	N4E	32	72W	4	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143 77	N8E	28	87E	17	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	24	76W	0	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	36	79W	3	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	27	80W	4	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

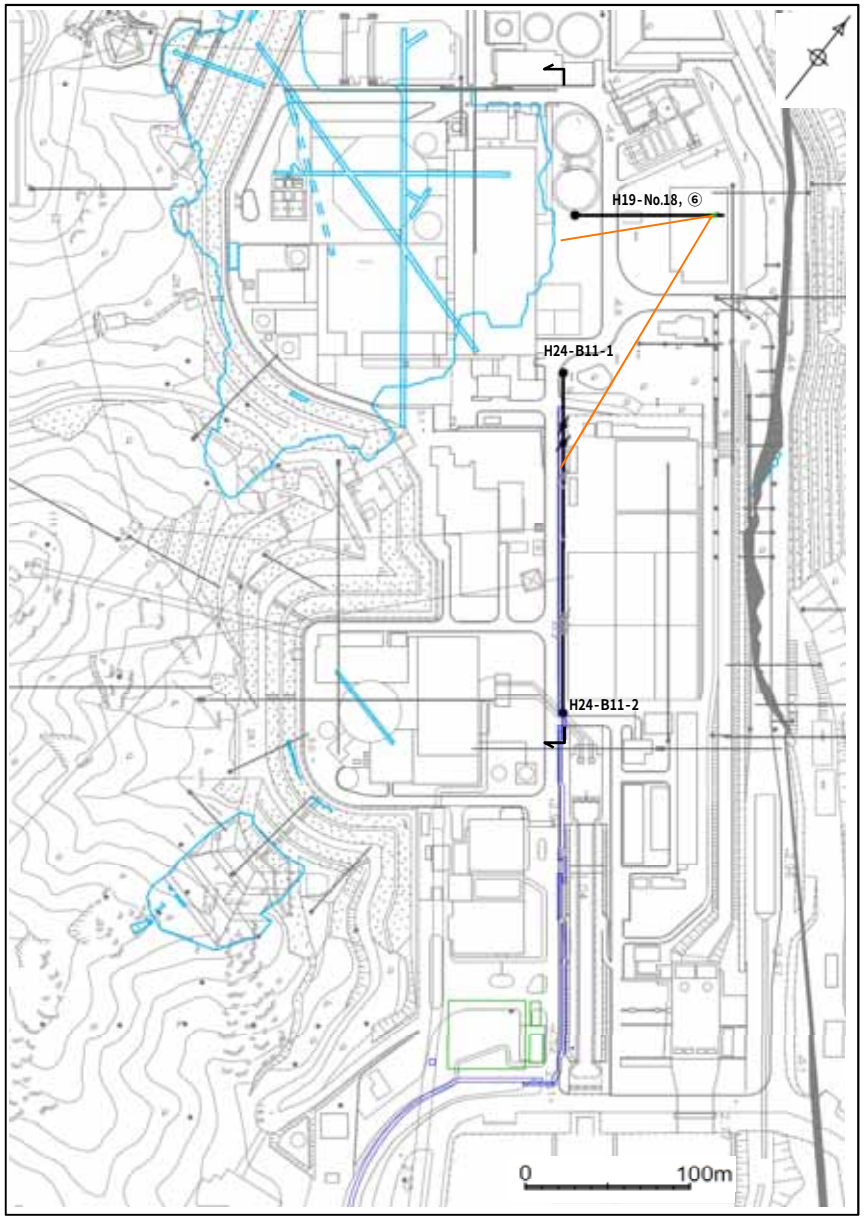
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.18，⑥)



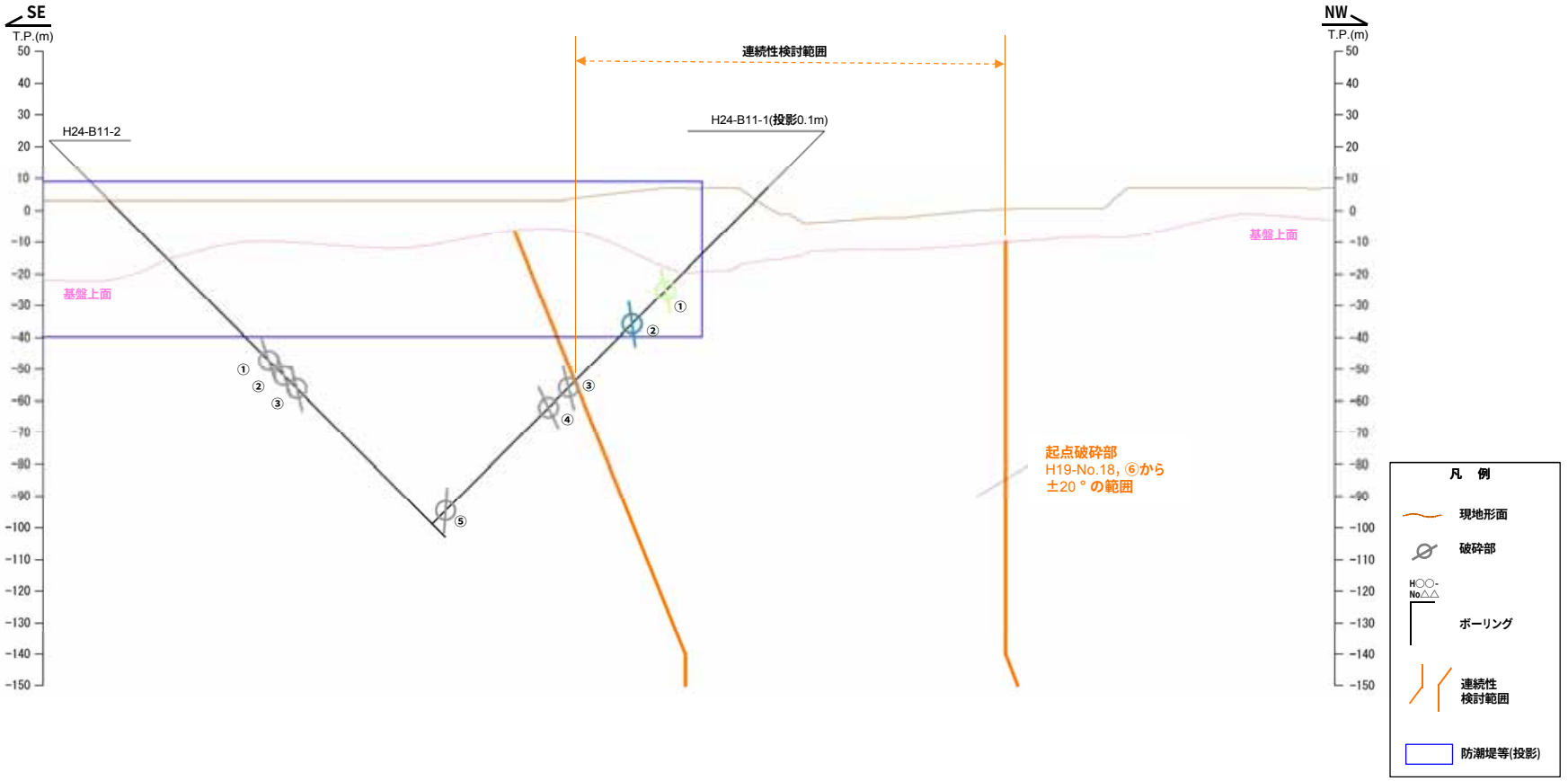
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.18，⑥)



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.18，⑥)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.18	-	-	⑥	169.62	169 63	N20E		89W		有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	28	84W	5	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	12	84W	5	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	
		範囲外	③	88.93	88.97	N4E	16	81W	8	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	16	72W	17	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143 77	N8E	12	87E	4	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	8	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	20	79W	10	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	11	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

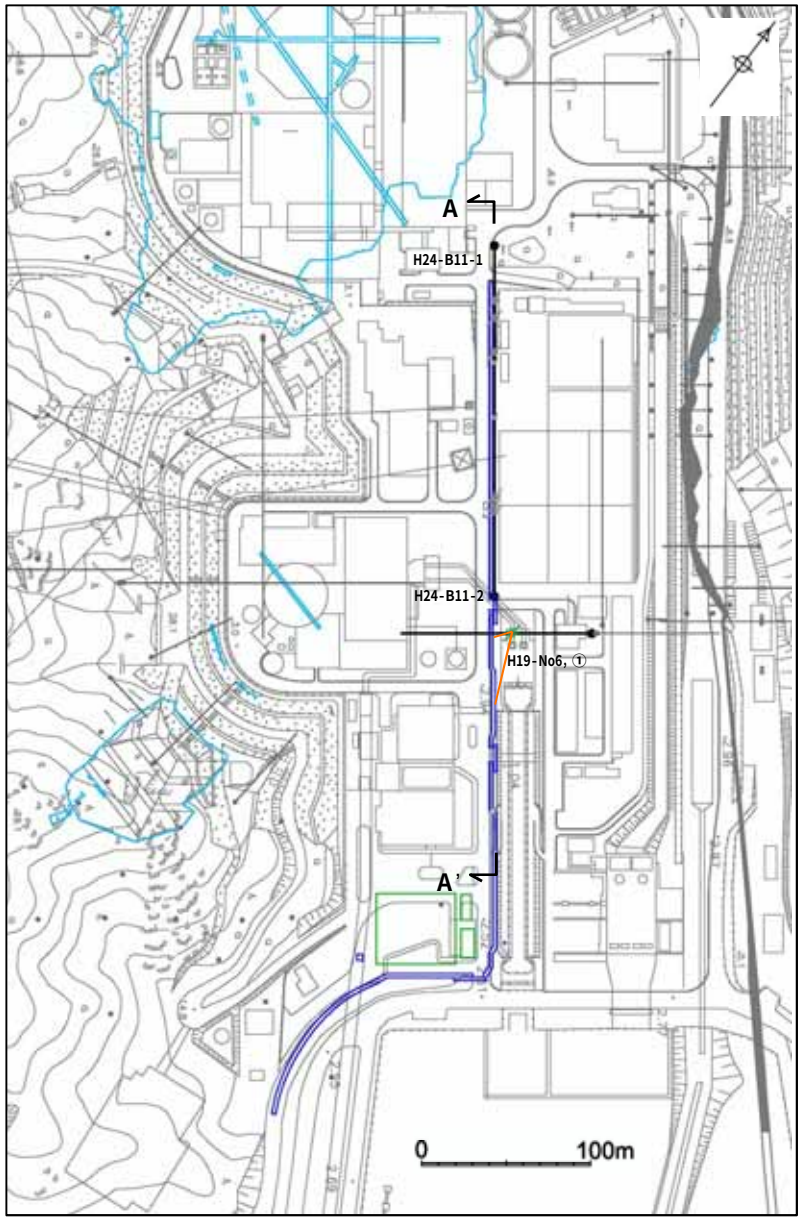
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.6，①)〔A-A’断面〕



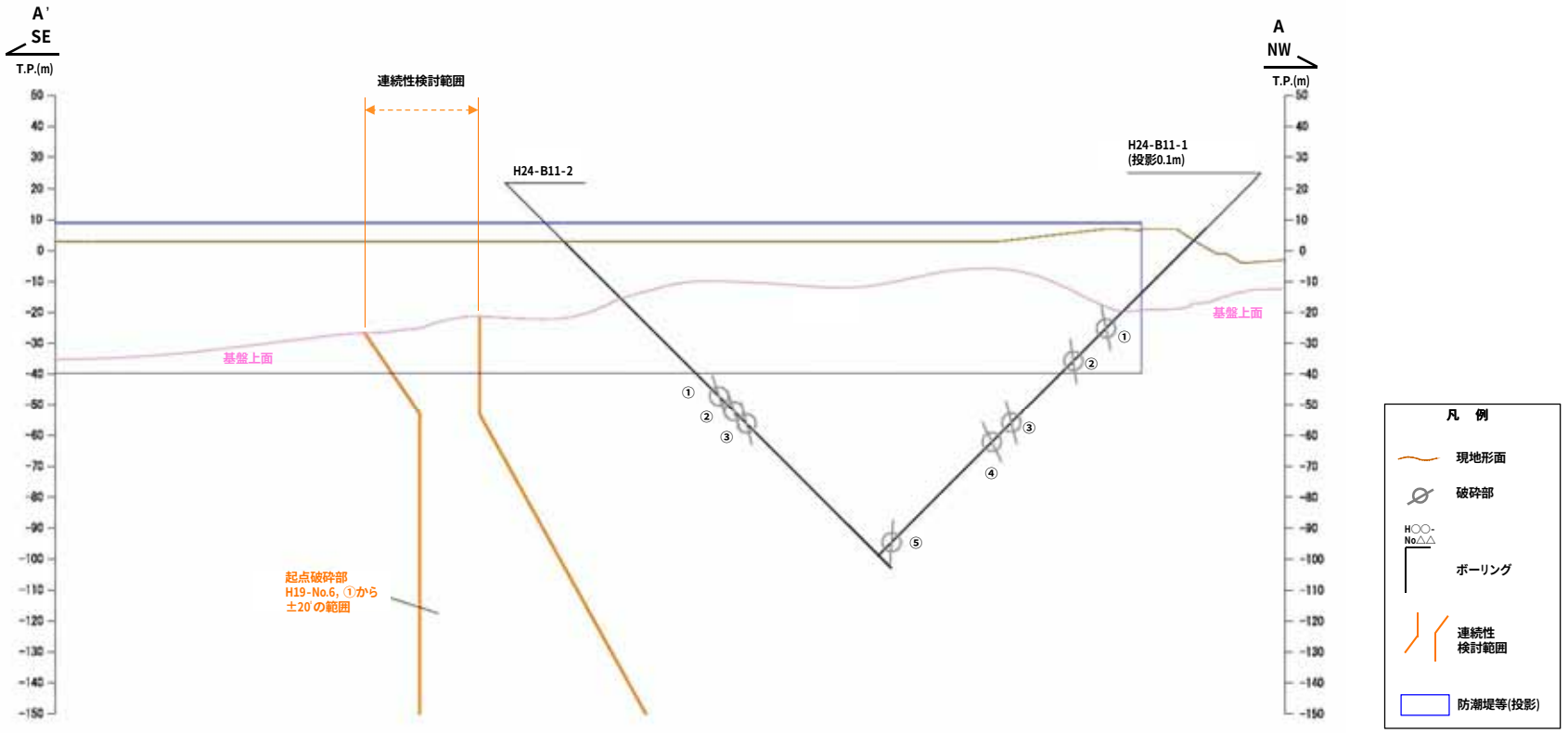
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 破砕帯の連続性検討範囲

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.6，①)〔A-A’断面〕



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.6，①)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.6	-	-	①	73.43	73.45	N6E		82W		有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	14	84W	2	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	2	84W	2	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	2	81W	1	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	2	72W	10	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	2	87E	11	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	6	76W	6	無	-	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	6	79W	3	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	3	80W	2	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

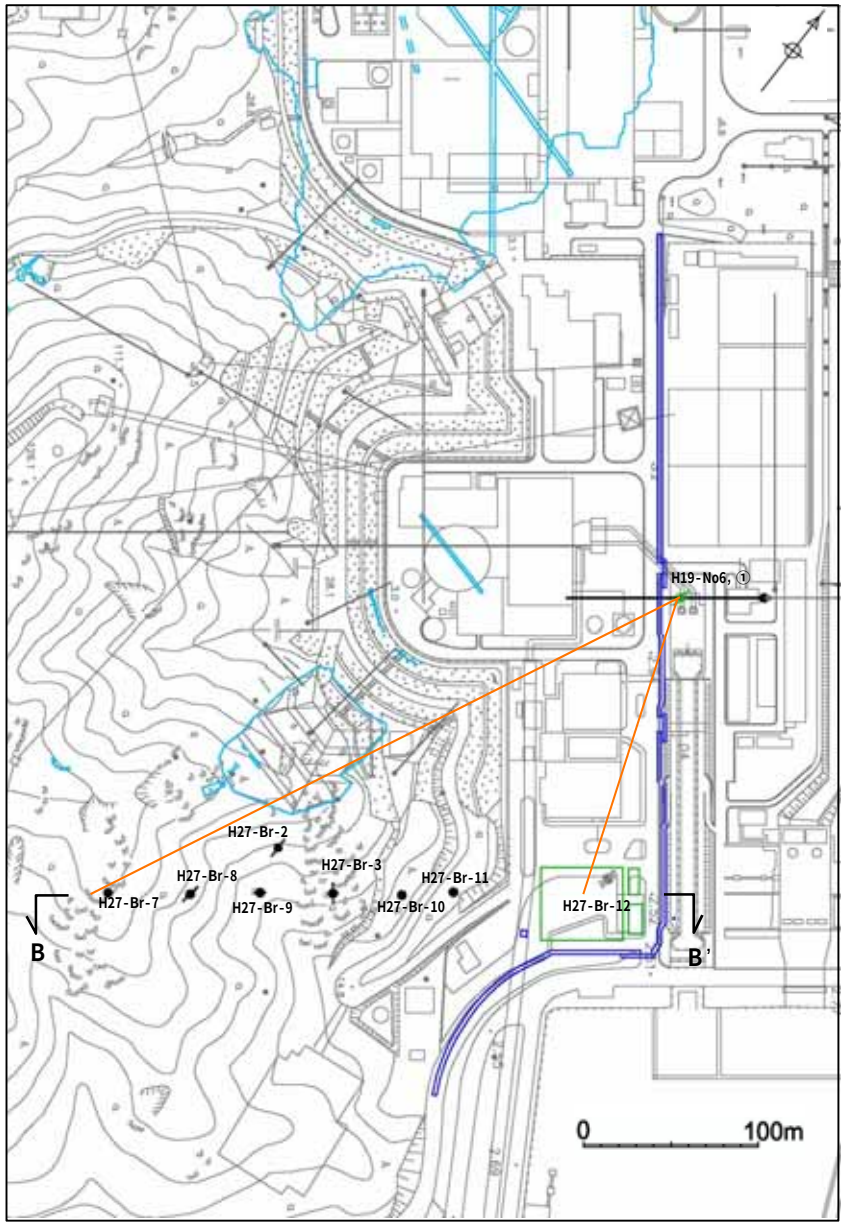
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.6，①)〔B-B’断面〕



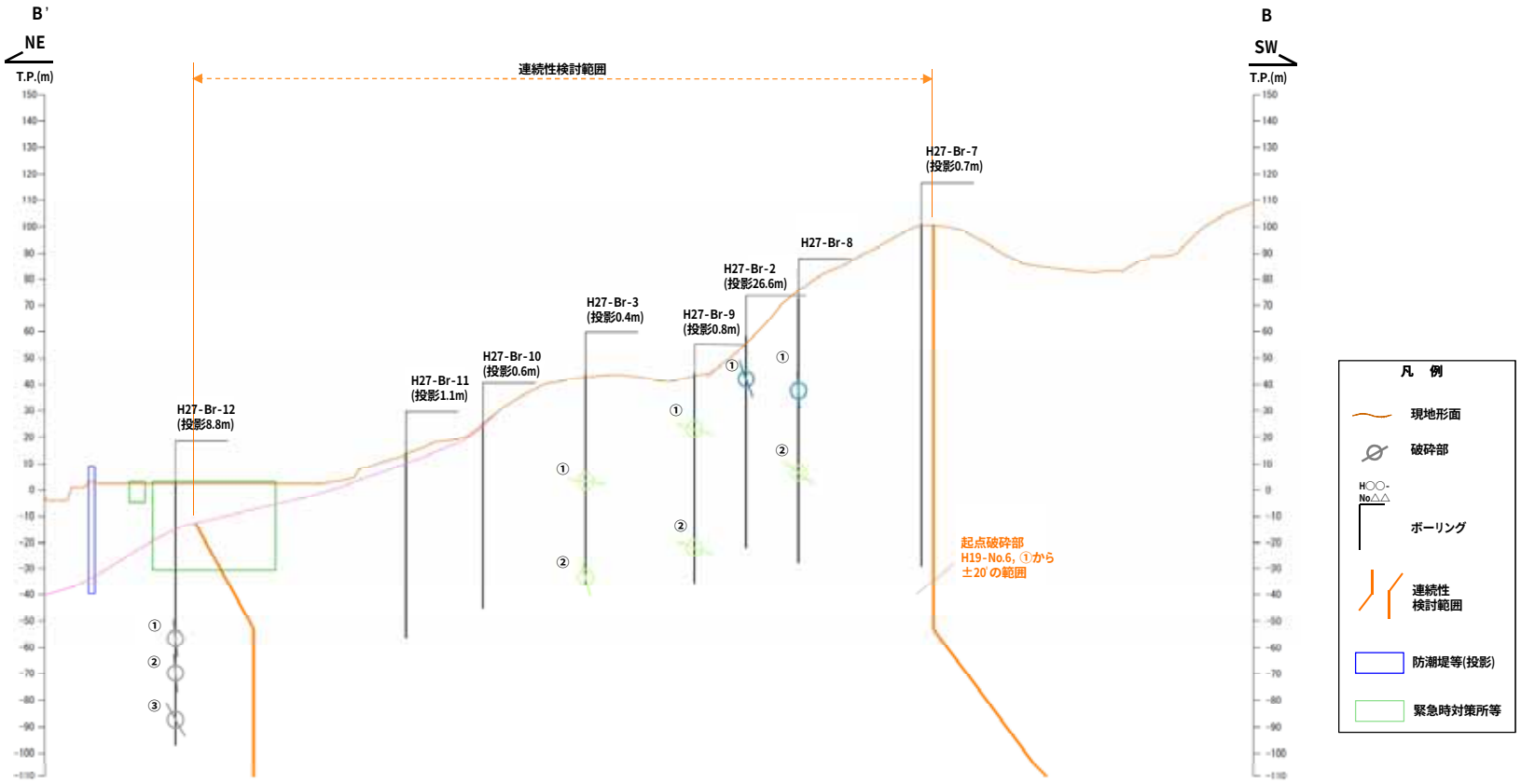
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.6，①)〔B-B’断面〕



注）H27-Br-7孔，H27-Br-10孔，及びH27-Br-11孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.6，①)〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.6	-	-	①	73.43	73.45	N6E		82W		有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
-	H27-Br-2	範囲内	①	15.94	16.99	NS	6	74W	8	有	有	80L	N	×	D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	45	73NW	9	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	44	76SW	6	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-8		①	32.97	34.58	N9E	3	87W	5	有	有	70L	N	×	D-7	参考2-91	
			②	65.81	67.33	N23E	17	56W	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-9		①	21.26	21.33	N45E	39	63NW	19	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	66.50	66.77	N48E	42	77NW	5	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-12	範囲外	①	58.40	59.38	N7E	1	85W	3	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	12	85W	3	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	25	78NW	4	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

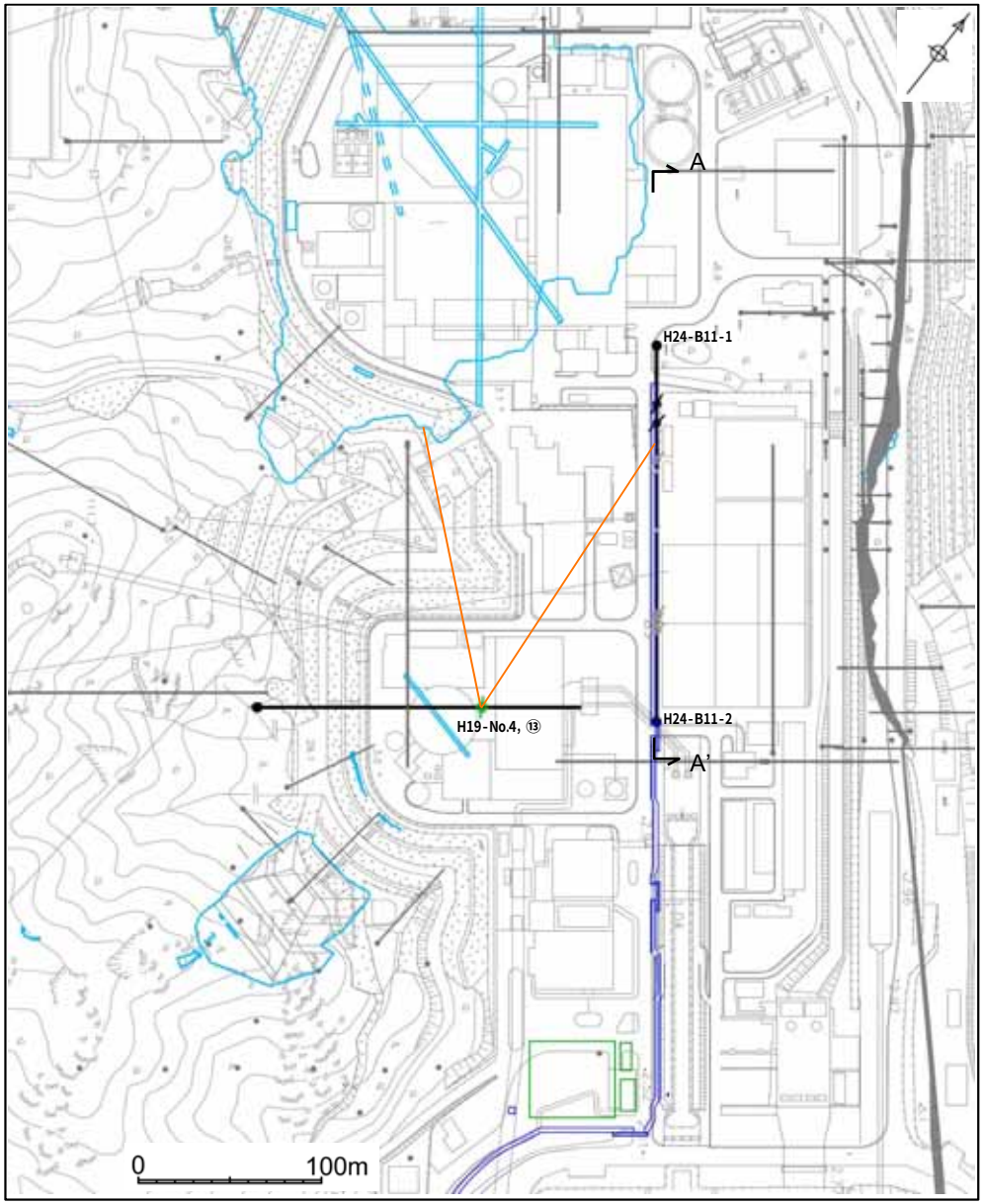
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑬)〔A-A’断面〕



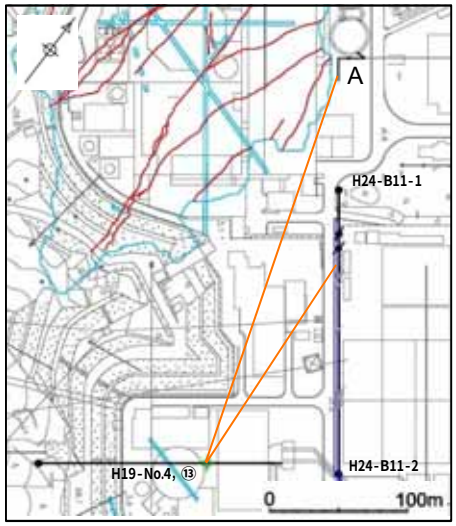
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

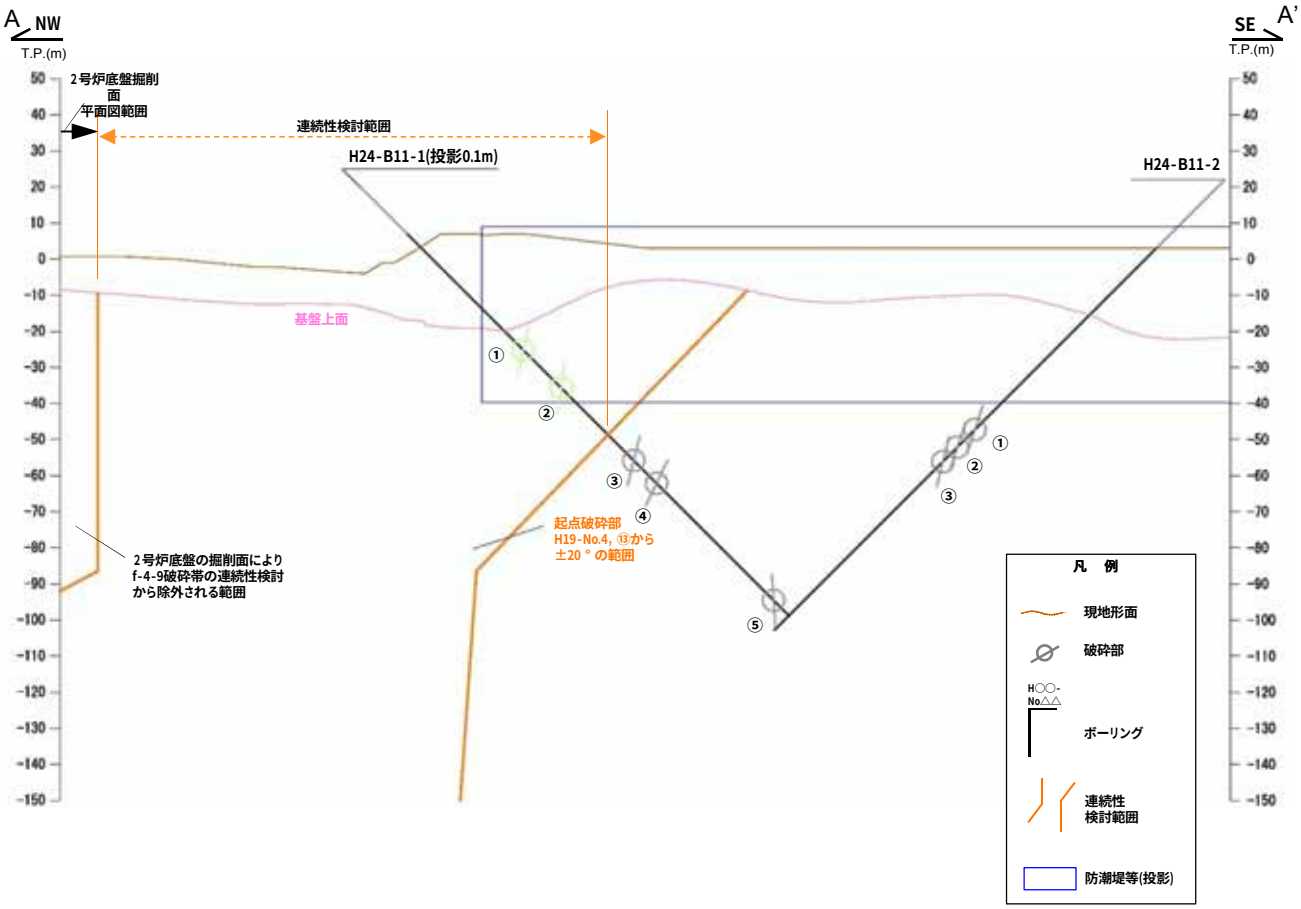
- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑬)〔A-A’断面〕



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）



拡大範囲図凡例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 2号炉底盤掘削面の破砕帯トレース
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑬)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑬	175.27	175.28	N29W		78W		有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	21	84W	6	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	37	84W	6	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
		範囲外	③	88.93	88.97	N4E	33	81W	3	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	33	72W	6	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	37	87E	15	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	41	76W	2	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	29	79W	1	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	38	80W	2	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

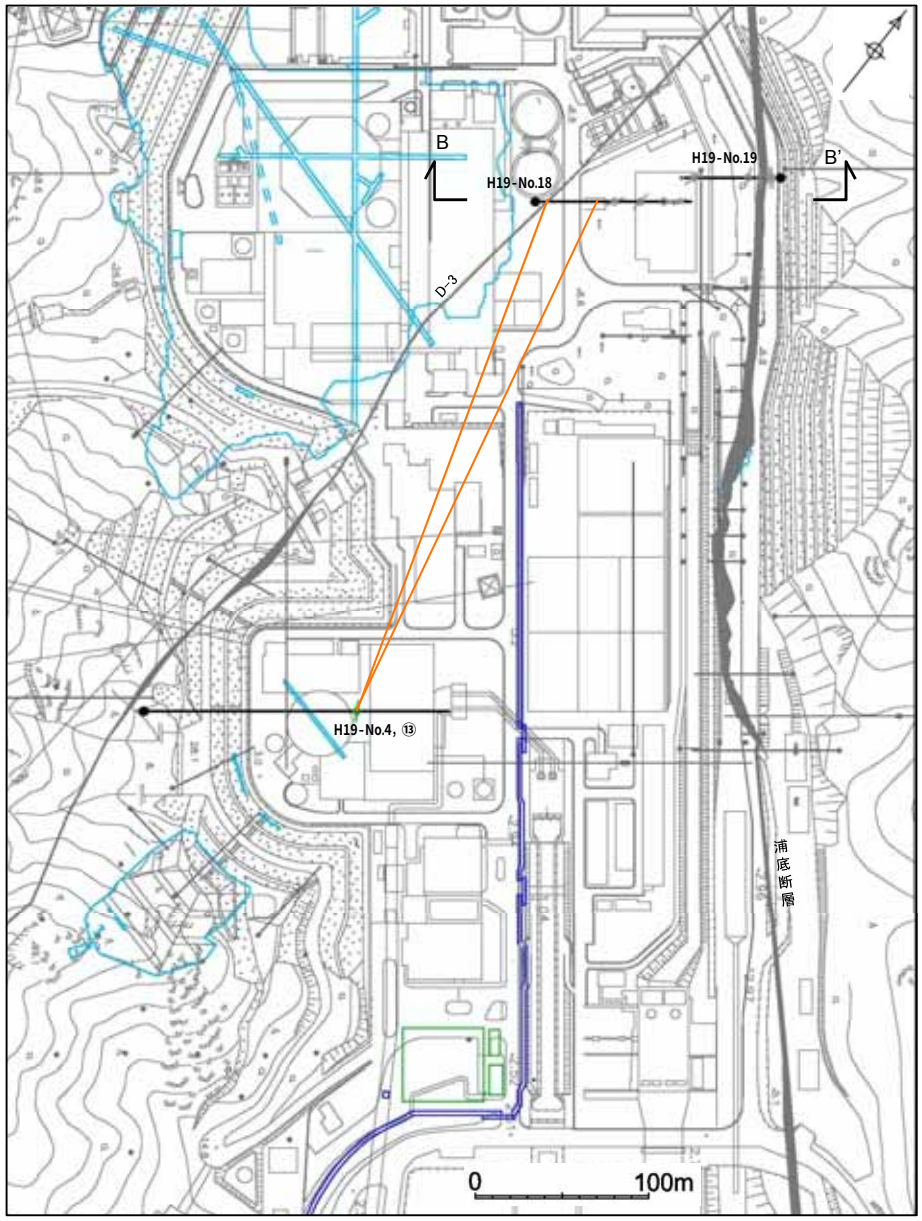
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑬)〔B-B’断面〕



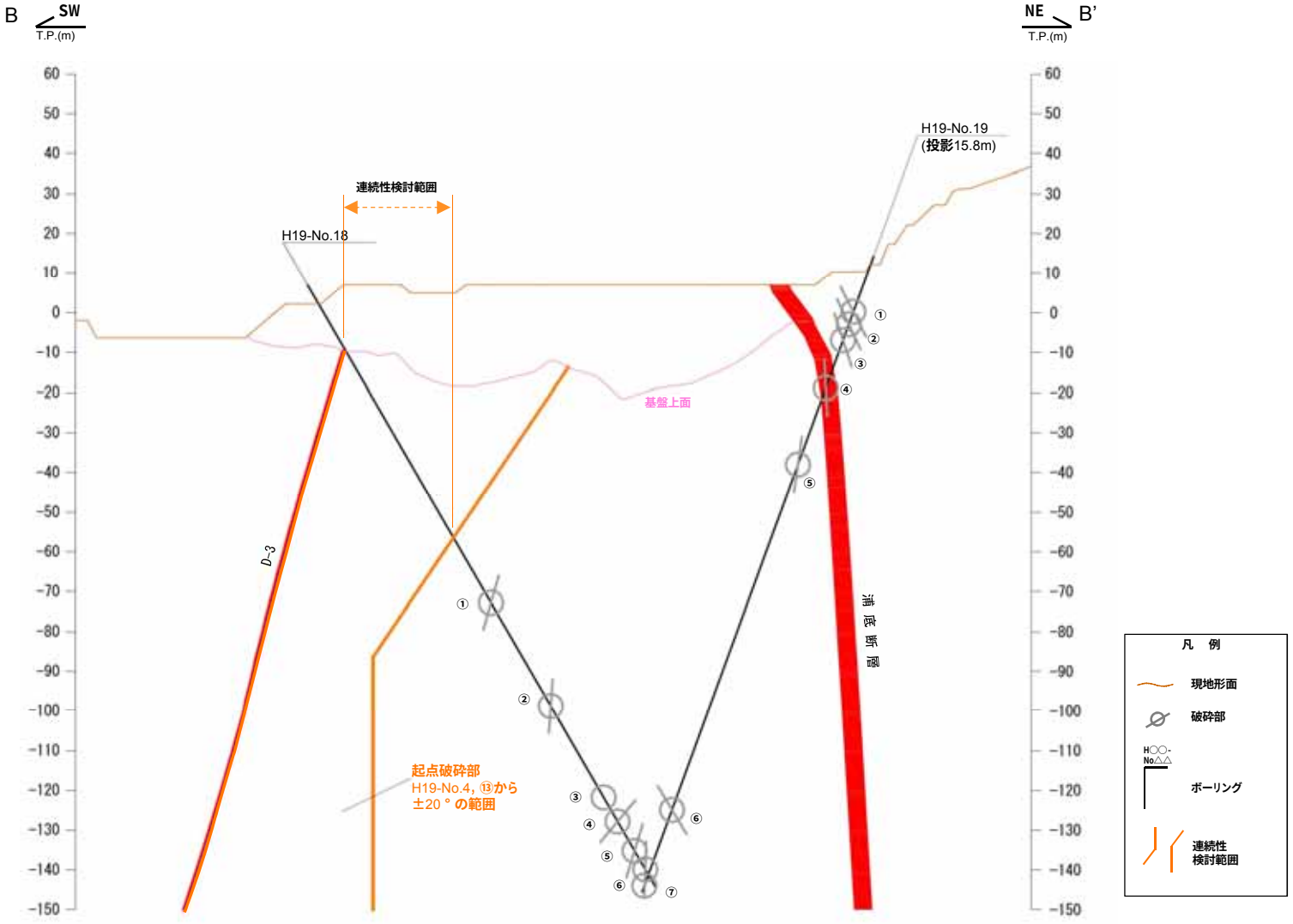
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑬)〔B-B’断面〕



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑬)〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度(m)	下端深度(m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.4	-	-	⑬	175.27	175.28	N29W		78W		有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
-	H19-No.18	範囲外	①	92.14	92.18	N31E	60	84W	6	有	無	10L	-		f-18-1	参考2-132	
			②	122.16	122.35	N6E	35	87W	9	有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-		D-39	参考2-117	
			④	155.72	155.75	N36E	65	76W	2	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	164.25	N9E	38	78W	0	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑥	169.62	169.63	N20E	49	89W	11	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
	H19-No.19		①	14.73	14.86	N42W	13	63E	39	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	7	65E	37	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	5	72E	30	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	12	87NE	15	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
			⑤	55.49	55.56	N20W	9	82W	4	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
			⑥	147.93	148.12	N13E	42	68E	34	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

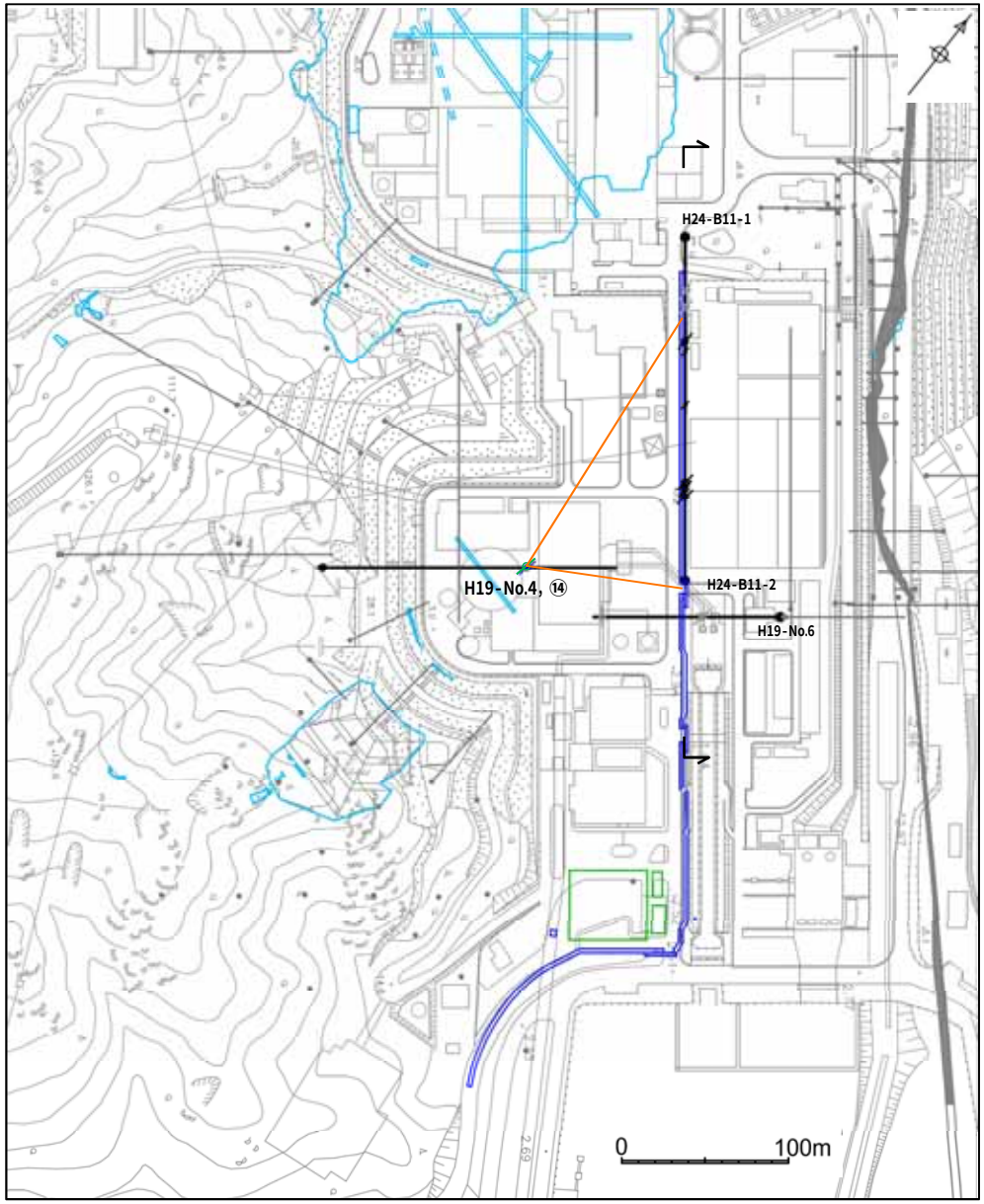
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑭)



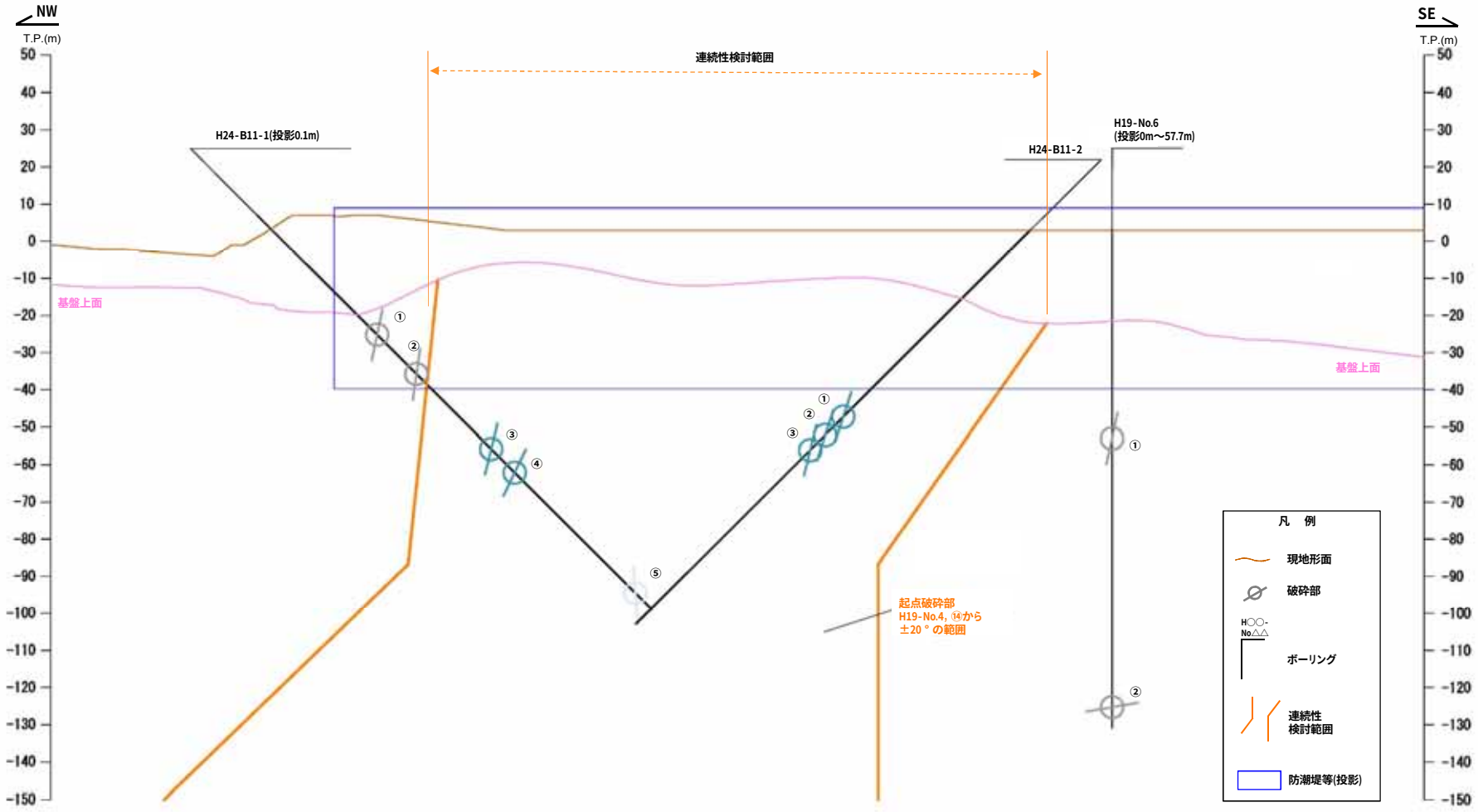
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑭)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑭)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑭	175.64	175.65	N14E		76W		有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	22	84W	8	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	6	84W	8	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
		範囲内	③	88.93	88.97	N4E	10	81W	5	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	10	72W	4	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	6	87E	17	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	2	76W	0	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	14	79W	3	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	5	80W	4	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	8	82W	6	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	55	69W	7	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

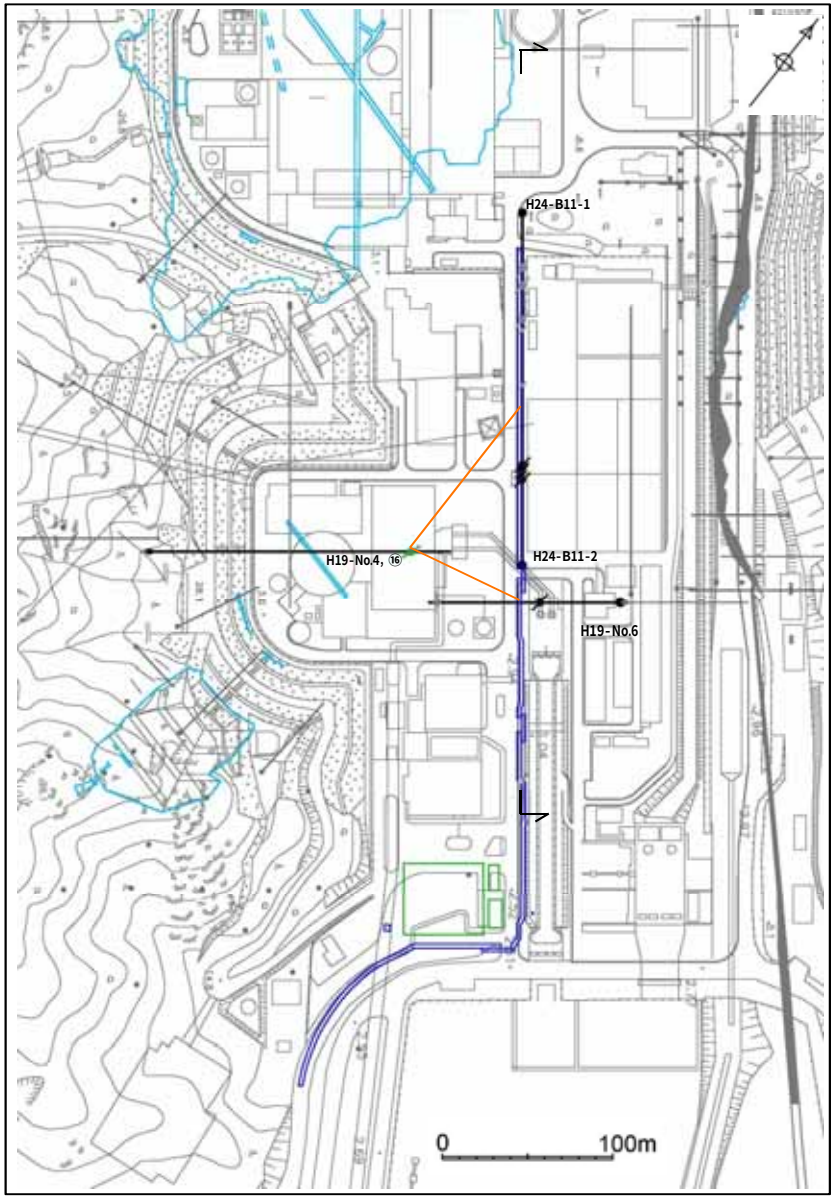
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑯)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

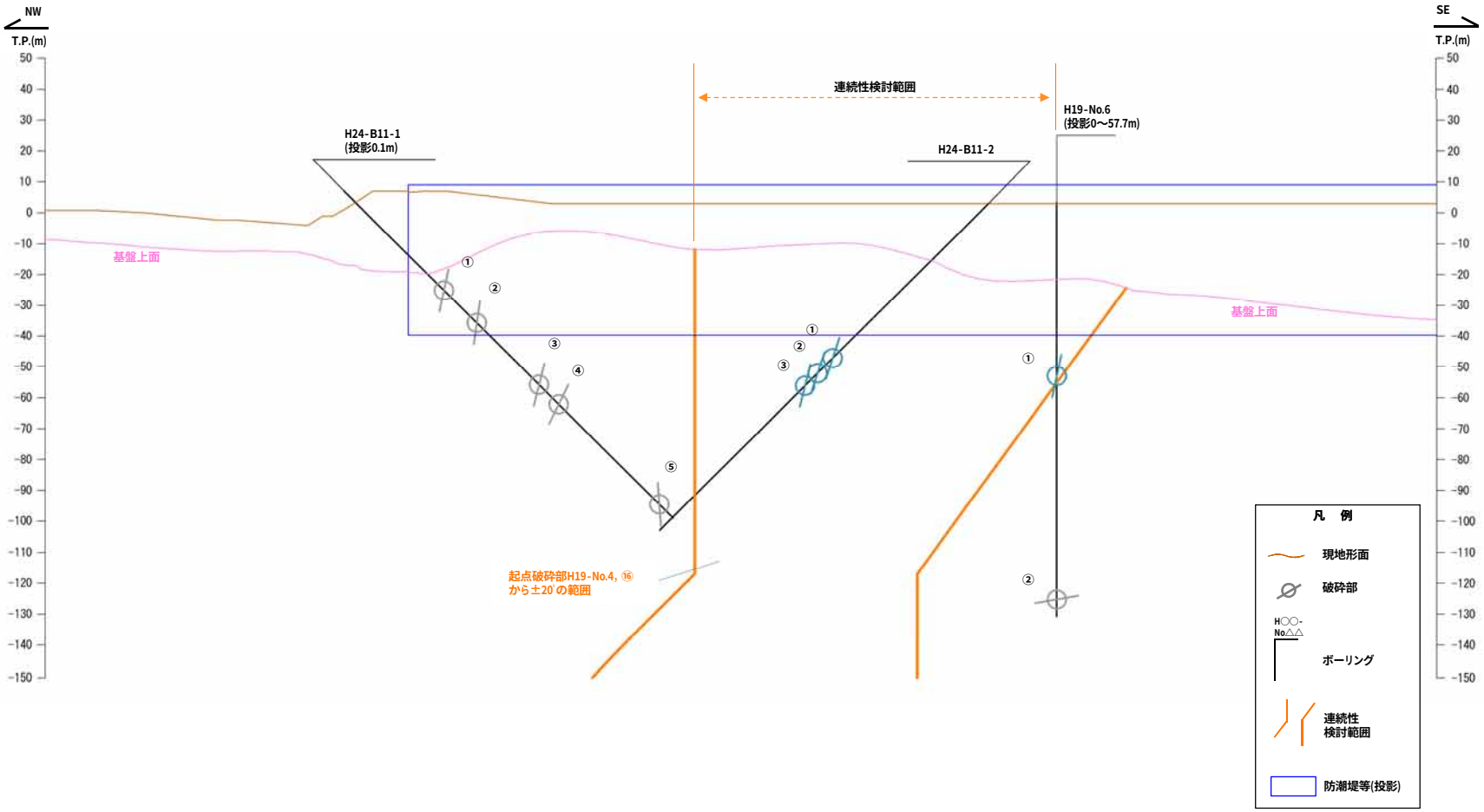
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑯)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑯)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.4	-	-	⑯	218.73	218.74	N20E		74W		有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	28	84W	10	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	12	84W	10	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	16	81W	7	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	16	72W	2	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	19	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	8	76W	2	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	20	79W	5	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	11	80W	6	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	14	82W	8	有	無	75R	N	×	D-38	参考2-116	
		範囲外	②	167.53	168.54	N41W	61	69W	5	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

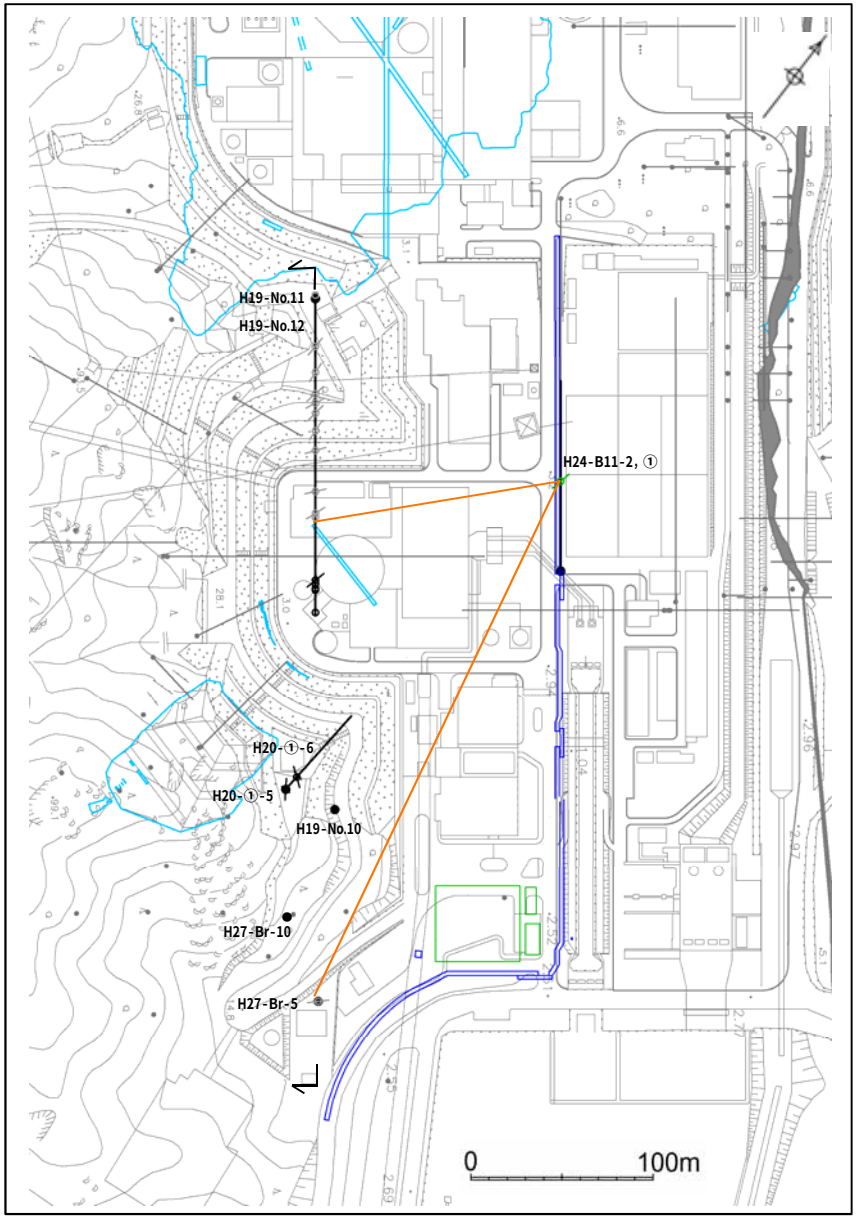
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-2，① -S)



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

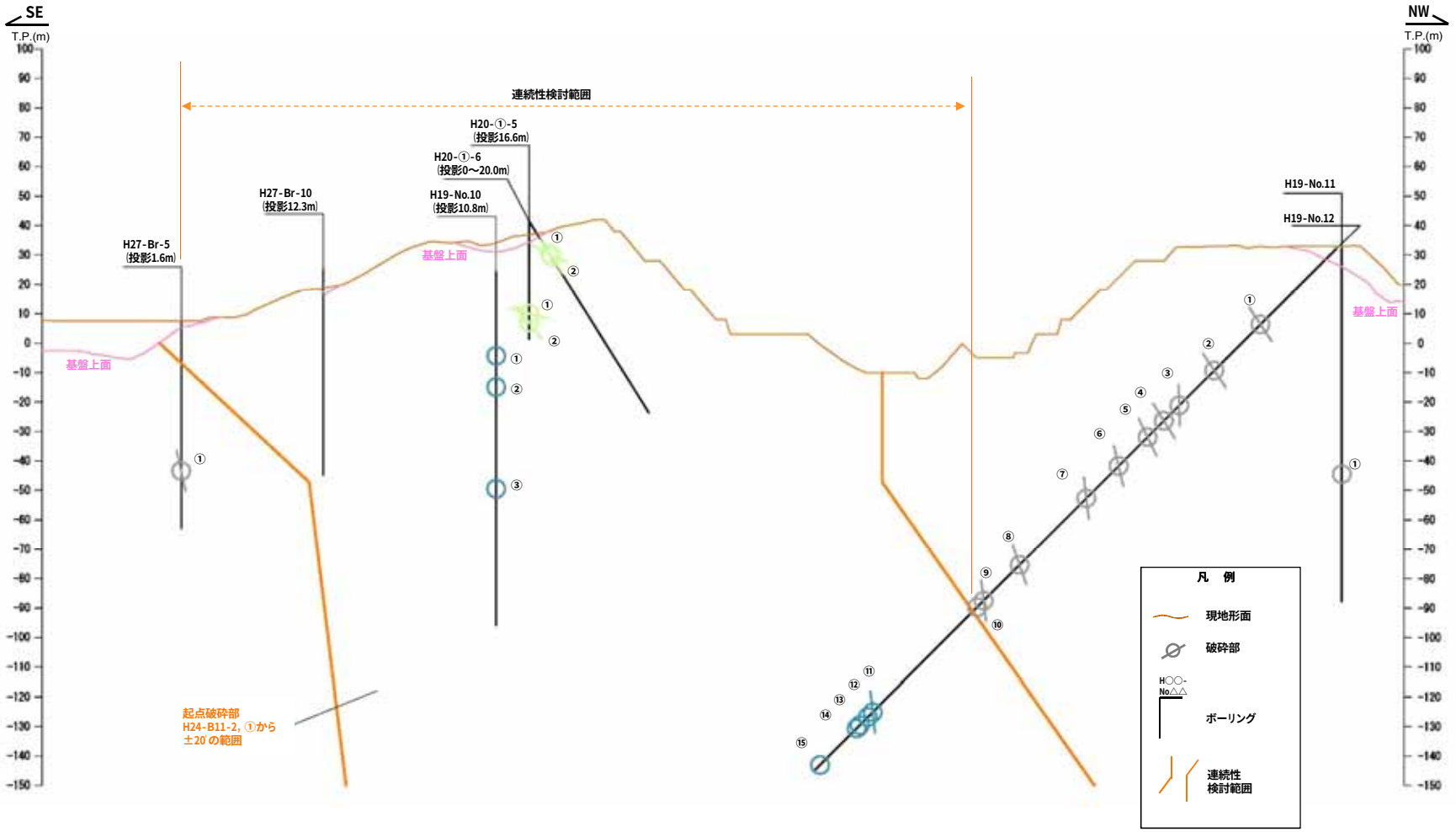
凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-2，① -S)



注）H27-Br-10孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-2，① -S)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H24-B11-2	-	-	①	71.21	71.24	N12E		76W		有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
-	H19-No.11	範囲外	①	76.60	77.00	-	-	(74)	2	有	無	-	-		D-2	参考2-86	
	H19-No.12		①	36.35	36.58	-	-	-	-	有	無	57L	-		D-2	参考2-86	
			②	58.41	58.43	N4W	16	70W	6	有	有	75L	-		D-3	参考2-87	
			③	75.04	75.08	N12E	0	89W	13	無	-	25L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	82.48	82.50	N25E	13	61W	15	無	-	56L	-		f-12-3	参考2-129	
			⑤	90.45	90.66	N8E	4	71W	5	無	-	30R	-		f-12-4	参考2-129	
			⑥	104.12	104.22	N4W	16	83W	7	有	無	50L	N,RL		D-4	参考2-89	
			⑦	119.64	119.72	N37E	25	83W	7	有	無	42L	-		f-12-6	参考2-129	
			⑧	152.06	152.09	N40E	28	71W	5	有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129	
			⑨	169.38	169.46	N21E	9	84W	8	有	無	85R	-		f-12-8	参考2-130	
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-		D-5	参考2-70	
		範囲内	⑪	222.85	222.88	N14E	2	85W	9	有	無	24L	-	×	f-12-10	参考2-130	※1
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-6	参考2-57	
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-19	参考2-99	※3
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※3
			⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-	○	D-7	参考2-90	
	H20-①-5		①	31.28	31.44	N33W	45	75W	1	無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
			②	34.37	34.70	N89W	79	58S	18	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	65	60S	16	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	87	65S	11	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H19-No.10		①	28.46	28.53	-	-	(63)	13	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※4
			②	39.09	39.14	-	-	(73)	3	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※4
			③	73.62	73.63	-	-	(68)	8	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※4
	H27-Br-5	範囲外	①	50.48	51.16	N46E	34	78NW	2	有	有	80R	N		f-br-5-1	参考2-177	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

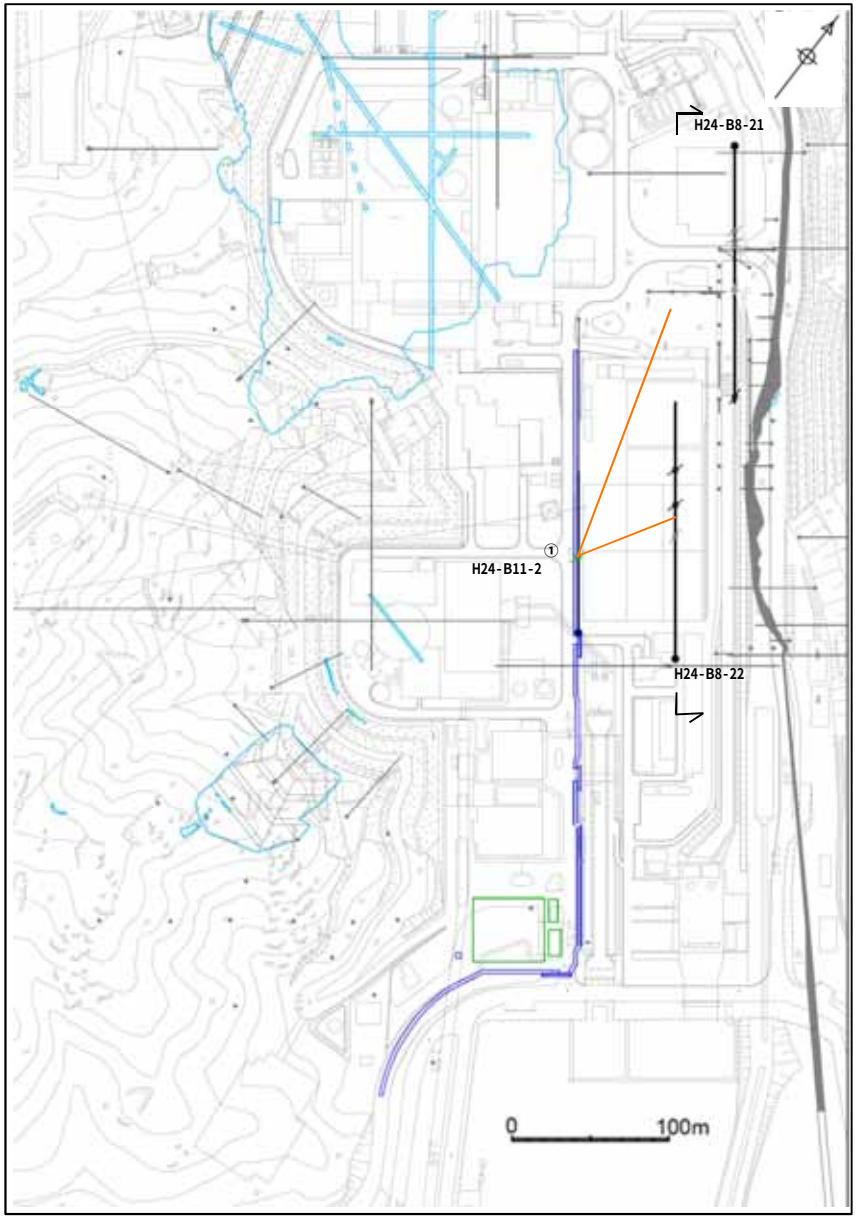
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-2，① -N)



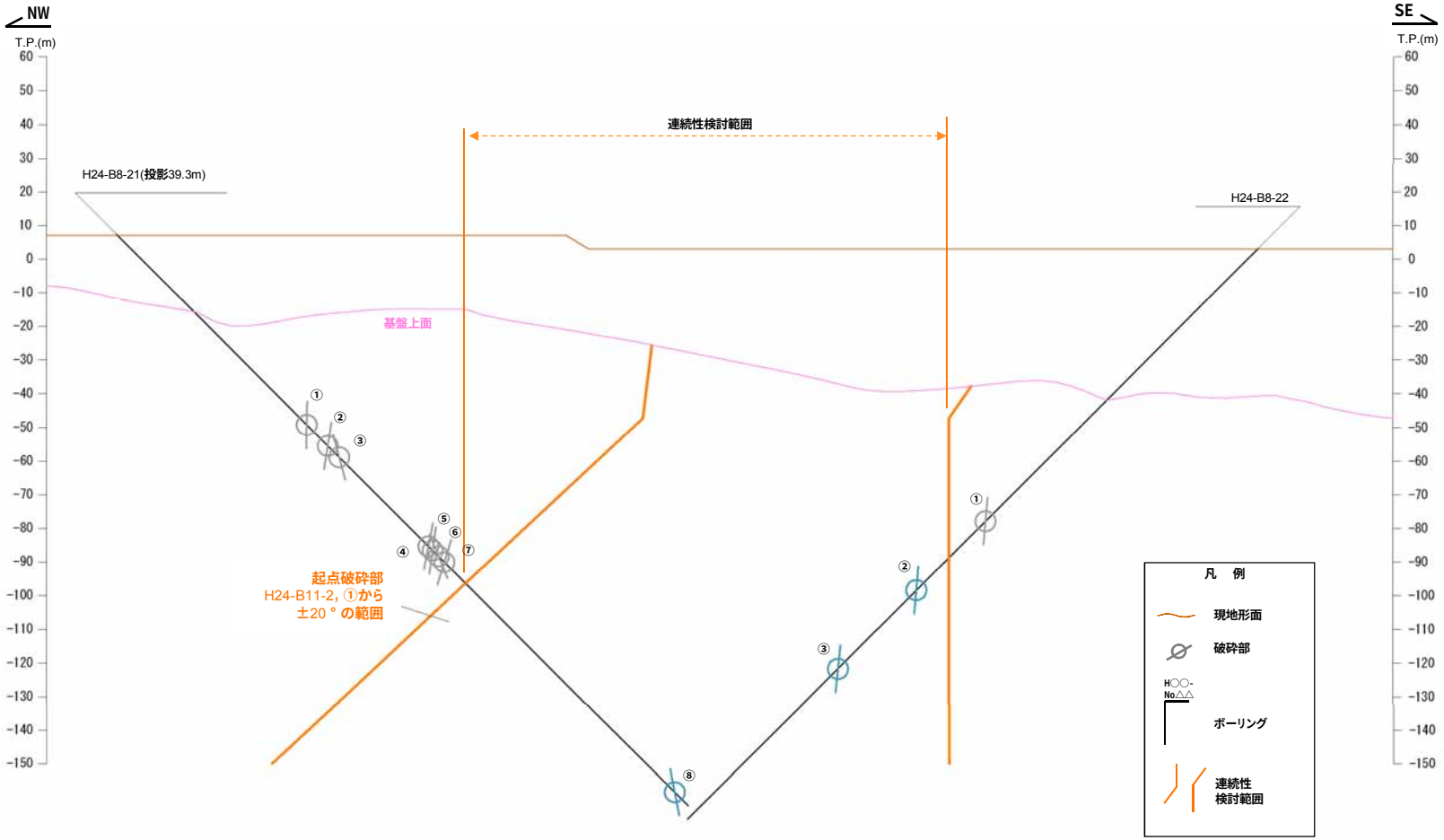
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層（T.P.-15m）
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
  ※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-2，① -N)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-2，① -N)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H24-B11-2	-	-	①	71.21	71.24	N12E		76W		有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
-	H24-B8-21	範囲外	①	79.86	80.17	N18E	6	89W	13	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
			②	88.67	88.71	N41E	29	81NW	5	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
			③	92.86	93.53	N5W	17	82E	22	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	131.03	131.14	N3W	15	84W	8	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
			⑤	131.88	132.82	N1E	11	85W	9	有	無	65R	N,LL		非モデル化	参考2-189	
			⑥	135.30	135.52	N58E	46	68S	36	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑦	137.72	138.18	N4E	8	79W	3	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
		範囲内	⑧	234.23	234.38	N3W	15	84E	20	有	無	20L	RL	×	D-37	参考2-116	※3
	H24-B8-22	範囲外	①	114.71	115.13	N3E	9	87W	11	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
		範囲内	②	143.52	143.76	N17E	5	86W	10	有	無	40L	N,RL	○	D-7	参考2-90	
			③	176.68	177.31	N19E	7	85W	9	有	有	40L	N,RL	×	D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

余白